

Jai Shri Mataji Nirmala Devi!

Translations - Japanese 2023-0501

1977-0321, Birthday Puja, Understanding Sahaja Yoga Through Heart	4
1982-0220, Mahashivaratri Puja	6
1982-1219, Shri Mahakali Puja	9
1982-1225, クリスマス プージャ	12
1983-0321, Birthday Puja, Overcoming The Six Enemies	14
1983-0828, Shri Krishna Puja, The Ultimate Of The Fatherhood	18
1984-0714, Guru Puja, The State of Guru	20
1984-0923, 1st Day of Navaratri, The Discipline	23
1984-1123, Pre-Christmas Talk and Farewell Puja	27
1985-0505, サハスララ プージャ、ニラナンダ / サハスララ プージャ	31
1985-0901, シュリ ヴィシュヌマヤー プージャ、姉妹の力 /	33
1986-0713, Shri Kartikeya Puja	38
1986-0907, Shri Ganesha Puja, Establishing Shri Ganesha Principle	42
1986-1225, Christmas Puja	46
1987-0114, Makar Sankranti Puja	48
1987-0809, シュリ ヴィシュヌマヤー プージャ	50
1987-1025, Diwali Puja, Power of Innocence	55
1988-0110, Makar Sankranti/Shri Surya Puja	57
1988-0731, Guru Puja, Gravity of Guruship	61
1988-0806, シュリ クリシュナ プージャ、目撃する状態 / シュリ クリシュナ プージャ	63
1989-0506, Sahasrara Puja, Jump Into the Ocean of Joy	67
1989-0719, Paramchaitanya Puja	70
1989-0806, Shri Bhairava Puja, Bhairava and Left Side	73
1989-1008, ナヴァラトリ10日目、深さと満足/ナヴァラトリ プージャ	75
1990-0321, Birthday Puja, Sincerity	79
1990-1225, Christmas Puja	83
1991-0216, Mahashivaratri Puja, Four Nadis of the Heart	86
1991-0328, Shri Mahavira Puja, Dead Spirits	91
1991-0804, Shri Buddha Puja, You must become desireless	94
1991-0901, Shri Krishna Puja, The Technique of the Play	99
1991-1013, 6th Day of Navaratri, Recognize Me	105
1991-1206, シュリ ラジャ ラジャスワリ プージャ	108
1992-0719, グル プージャ、重力	112
1992-0913, Hamsa Chakra Puja	117
1992-1225, クリスマス プージャ、人生でキリストを表現しなさい	121
1993-0321, Birthday Puja, Satya Yuga	125
1993-0606, Shri Adi Shakti Kundalini Puja	129
1993-1225, Christmas Puja	134
1994-0314, Mahashivaratri Puja, Surrender	139
1994-0321, パースデイ プージャ、注意力	143
1994-1009, 5th Day of Navaratri, Innocence and Enlightened Faith	146
1995-0226, Mahashivaratri Puja, How To Get Detached and Ascend	151
1995-0507, Sahasrara Puja, Achieve Complete Freedom	156
1996-0321, パースデイ プージャ、気持ちは幻	158
1996-1110, Diwali Puja	163
1997-0504, Sahasrara Puja, At Sahasrara you stand on Truth and go beyond Dharma	168
1997-0525, Adi Shakti Puja, Respect the Mother Earth	171
1997-0720, Guru Puja, A Guru Should Be Humble And Wise	175
1998-0419, Easter Puja, You Can Spread Sahaja Yoga Only Through Love and Compassion	179
1998-0816, Shri Krishna Puja	183
1998-1025, Diwali Puja, Expression of Love	186
1999-0925, Shri Ganesha Puja	190
1999-1017, ナヴァラトリ8日目、シュリ マハカリの力/ナヴァラトリ プージャ	194
1999-1225, クリスマス プージャ	198
2000-0723, Guru Puja, Shaddha	201
2000-0820, Shri Krishna Puja	206
2001-0225, Mahashivaratri Puja, Destructive Power of Shri Mahadeva	211
2001-0603, Adi Shakti Puja, The Work of the Adi Shakti	216
2001-0922, Shri Ganesha Puja, You Have To Protect The Innocent	220
2002-0321, Birthday Puja	224
2002-0421, Easter Puja	227
2002-0623, Adi Shakti Puja, Use Your Right Side For Giving Realization	230
2002-1027, Navaratri Puja, Develop Wisdom Through Meditation, Bhakti & Shraddha	233

2004-0215, マハシヴァラトリ プージャ、グルの資格	238
2004-0509, Sahasrara Puja, Continue To Live A Life of Reality	239
2004-0606, アデイ シャクティ プージャ	240
2007-1013, ナヴァラトリ 2 日目、スワディスタンを満たしなさい	242
2007-1021, ナヴァラトリ10日目、ダッシェラのお祭り、ダッシェラ	243

1977-0321, Birthday Puja, Understanding Sahaja Yoga Through Heart

[View online.](#)

54th Birthday Puja, Understanding Sahaja Yoga Through Heart, Mumbai (India), March 21st, 1977

誇り高いサハジャヨギたち ヴァイディヤ判事 そして奥様 バクシさんとドウマルさん 考古学者であるガヴィン ブラウンさん
ヒンディー学教授である プラミタ シャルマさん カビール研究者でもあります 地理学者のジェーン ブラウンさん
皆ケンブリッジ大学の方々です 副議長のザクレさん 素晴らしい歌手であるショバ ゴトウさん
遠方からわざわざ駆けつけてくれて 私は歌うことしかできないので バジヤンを2曲歌わせてくださいと
ここに集まってくれたサハジャ ヨギ達 他のご列席頂いた皆様 私の誕生日を祝って下さり 大変感謝しています
喜びで胸一杯です このカリユガの時代に母なる存在に ヴァイブレーションを与える存在に 感謝する人がいることに
涙を禁じ得ません 実際私が与えているわけではなく ただ私から放たれるもので それが スワバヴァ 私の資質なのです
どうすることもできないのです そうであるべき存在で 他にはあり得ません そのように働き続けます あなた方を愛することも
私のコントロールを越えています 人々がどうしても憎むのかわかりません 私は皆を愛する時間が足りません
24時間は短すぎます どうして人が憎しみでもって冷徹に 他者を操ろうとするのかわかりません
憎しみは他者もろとも自分を破壊します 今日の佳き日に いつも愛について 考えるようお願いします 愛が知識の全てであり
知識は愛です それを超えるものはありません 知識を有するなら 愛の試験に合格しなければなりません
誰かを知っているだけなら 外面だけなので 記憶に残りませんが その人を愛するなら 全てがわかります 全てがわかります
こういった知識を パラナレージといって それを求めるべきなのです どんな書物も それを示しているだけです
それら書物は単に布石であって 先に進みなさいと告げるだけです 神の王国に招き入れてはくれません
皆さんがそのレベルにまで 上がるようお願いします 自身の内なる神 神の愛を理解する事です あなたの内にあり
流れ出そうとしています そして与えることを 楽しもうとしています 与えることに 最大の喜びがあります
奪うことには喜びがありません 与えられると与えるようになります ドウマルがいかにラフリで 働きかけたか聞いたでしょう
ラフリ大学に行った際 近所の村民は車のルートを 知っていました 彼らは普通の村民でヨギについて 読んだこともありません
ヴァイブレーション以外は何も 分かりません 自分の感覚の 主観的な知識です 言葉にできない 主観的体験です 指先から全身
存在で感じる神の恩恵です それに車に乗っていて 引かれる感じがありました 沢山の人が沿道に立って 車を止める人もいて
ジェイ!

と叫び出したりして びっくりしました どうして私が車に乗ってるのが 分かったのと訊いたら シュリマタジ あなたが
ヴァイブレーションをくれました ヴァイブレーションでこの車だと 分かりましたと言うのです 降りて下さいと言うから
降りてみんなを抱きしめました 反対側にサハジャヨギ達がいて 大丈夫だからと伝えました これがサハジャヨギです
何て愛しい人たちでしょう ラーマの時代を思い出します 素朴な信心(シュラッダ) 深い人々 いかに愛を受け止め感じるか
誰もがこの世で愛を求めます それなしでは生きて行けません あなたの存在まるごとが 愛を基盤としています
この国の皆さんに分かって欲しいのは ハートに愛を持つまで外で 何かしないことです それが直ぐにばれるからです
人は誰でも愛を理解するものです 多くのことがあなたの内面で起こっています 宇宙的变化が起こりつつある
私は分かっています シュリ チャクラそのものが 地上に降りて サッチャユガが始まったのです だからあなたたちが
ヴァイブレーションを指で感じます これを言ったグルヤリシは 一人としていません シュリ チャクラが降りて
初めて可能なことです 今がそうです 感じて理解しなさい 皆が心を開いて受け止めなさい 私はあなたから何も要りません
何も要りません 子ども達が幸せでいて欲しいだけです 彼らの幸せを祈り 彼らのために生きます 寝ても覚めても まどろんでも
あなたがサブランタと呼べば あなたと一緒にです いつもあなたを思っています 今日あなたはあなたの良い新年を祈ります
今日はナヴロズだからです ナヴロズとはツアラトウストラが この世で活動を始めた日です 彼は素晴らしいサハジャヨギです
ダッタトレヤそのものの化身です モハメッドが父であると語りましたが 彼自身がダッタトレヤの化身で
普通の人間ではありませんでした でも彼は常に人々により 迫害されました そしてハズラット アリは偉大な化身です
ブラマデヴァの唯一の化身です 偉大な化身達です 彼らを批判してはなりません 彼らの言葉一語一語がマントラです
ナマーズについて彼らが唱えたこと どれもがクンダリニを 覚醒させます ムハンマド サヒブはサハジャヨギで
絶大な功績を残しました クンダリニの覚醒に関して 最も偉大な実績です 批判できる訳がありません 彼に反する言葉は
一言も聞きたくありません どれ程迫害されたか 同じ人々が現代に生まれ 彼を批判しているのです
足下にも及ばないのにどうして そんな大それたことをするのでしょうか 彼が生前成したことが 分かっているのでしょうか
こんな素晴らしい人々を批判するとは あなたは誰だというのでしょうか クワジャ ニザムディンが偉大な

聖者だったのも間違いありません 悪王キルジが彼を迫害 しようとした それに彼は殺害されて 名前も忘れ去られています
今日彼のヴァイブレーションをみてみなさい チスティ マクバラも アジマル シャリフも パトナのパトナ サヒブも マハビール
サハブも ヴァイブレーションがあります 皆私のいう真理と同じことを 唱えています 今なら分かります 彼らが理解できます
どうか謙虚になってください まずはこの普遍的真理を 得ることです 自分の存在を主観的道具にして 神を理解するので
あちこちで読んだりしたこと 惑わされないでください 狭量でエゴ中心の愚かさに 惑わされないでください
皆が騙されています 嘆かわしい この偉大な理解に覚醒してください この流動する力があなた方から 沸き上がって来ています
私達は这个世界を美しい創造に 変えなければなりません 創造主は自分の創造が破壊されるのを 容認しません
あなたが真理を受け入れないと あなたが破壊されます だからどうか母親として あなたをお願いします
聖なる真理と愛を受け入れ それと一つになってください 皆さんサハジャヨギ及び 全ての探求者に
最も偉大な功績を祈念します それこそが神と愛の自覚です さもなくば他の全ては虚しい
サトウィックであれタマシックであれ 別の探求は無駄になりました 彼らは地獄へ行き 完全に破壊されました
あなたはそうなりたくないですね 皆さん素朴な普通の人です それゆえ最高の人々です 極端に走らないからです
素朴で信心深いし 貞節な結婚生活を送っています これはブッダの言った中道です サハジャヨギはあらゆる心理の統合で
それを証明できます クンダリー二によって事実であると 分かります ハズラットアリの名を唱えない限り
あなたのスワディスタンチャクラは治らないし サハジャヨギはそれを皆知っています サハジャヨギのプージャでは
ムハンマドやハズラットアリの名を 繰り返し唱えます それにキリストの名も唱えます
彼はクリシュナがヴァガヴァッドギーたで言った アシュラヤ 世界の保護者でした 彼はマハヴィシュヌでもあります
読んでみると驚くはずですが マハヴィシュヌについての記述が 完全にキリストと一致しています
だから狭量にならないでください まだあなた方は真理を知りません だから自分の感覚を用いて理解しなさい
私の言うことは本にかかれています 私はそれを実際にできるというか 私がしているのではなく それが起こるのです
私が生まれたのは それを起こすためです これが最後の点火です その予定だったし その通りになります この美しいヨギの国で
何人がそれを授かるでしょう 神の恩恵がありますように 繰り返し祝福します 25日にロンドンに行きますが
この2日でリアリゼーションを得た方々は パラティヤ ヴィディア ヴァヴァンの プログラムに火曜日来てください
アルタマウント通りに良い センターがあります ここで住所をもらって アルタマウント通りの
一階の部屋です美容院の向かいで カマル美容室とか何とか モラさんがその部屋を 親切にも提供してくれました
是非サハジャヨギを更に知ろうとしてください クンダリー二の技法をマスターしてください 我々の多くが知っているので
聞いてください プログラムで私のレクチャーを聞くと 分かってくるでしょう でも聞いて解るものではなく
ハートで理解する類いのものです ヴァイブレーションの感覚でのみ クンダリー二は解るのです 昨日も沢山お願いしましたが
返す返すお願いします サハジャヨギを理解してください あまり頭は要りません ハートにシュラッダヴァン
信心深いハートが必要です あなた方はそれを持っています だから上手くいきます 花が果実になる時が来ました
私への多大な愛を見せてくれて 重ねて感謝します 愛の大海を私が感じると あなた方皆のハートにそれが流れ
私にその波が帰ってきます 放物線を描くのです 私の愛があなたを通り帰ってきます 私はそれが楽しい 美しい経験です
それは何か言葉に出来ないような 筆舌に尽くしがたいものなのでしょう 本当ににありがとう 役員の方々も
あなた方も本当にありがとう 神の恩恵により繁栄と 良縁と優しさが永遠にありますように
パラマチャイタンニヤがあなたの意識に 降り注ぎますように

1982-0220, Mahashivaratri Puja

[View online.](#)

Mahashivaratri Puja

シヴァは永遠で常在するのに なぜその誕生を祝うのでしょうか 今日祝うのは 地上でのシヴァの確立で 物質的な自己にあります 全ての物質は神格によって創られ そこに神が宿ります なのでアディシャクティは まずシヴァを確立しようとした 究極の存在であるシヴァ抜きでは 何も確立しないからです なのでシヴァを確立しなければなりません どうすればよいのでしょうか 彼はタモ グナの神です 冷たく 静的なものの全ての神です まず 地球は熱い太陽から離れた月の近くに置かれます 月はシヴァの義兄です 地球は月に近づき 氷に覆われるようになりました それから次第に太陽の方に近づいていきました すると氷が溶けだします それでも氷が溶けずに残る その場所でシヴァが確立されました その地点は今もあり それがカイラスです 溶けずにある氷は シヴァの顔のように 目や鼻など年中はつきりと 形が見えます シヴァは このようにして創られ 地上で起こること全てを 観ずる存在としています 宇宙のクンダリーニであるインドのある南を向いています 彼は両手を このようにして南を向き アディ クンダリーニの スペクタクルを観ている そのように創られました 宇宙のハートは イギリスですが シヴァはサハスラに座していて そこが彼の玉座なのです シヴァはあなたのハートに 宿っていても 彼の座は頭頂で そこからすべての身体を 観ています だから脚は南 頭は北 左手は東で 右手は西です このように宇宙が創られたと 見ることができます 立たないで座っていなさい 写真をとらないで私の話を 注意して聞きなさい 瞑想的に聞くのです 私の話を最大限 役立てたいでしょう 瞑想的に聞きなさい そうすればはつきりと聞けます なにかせず 瞑想することです なのであなたは 目撃者として南を向いています 誰かが南の人は南枕で 寝る人がいると聞きました するとシヴァに足を向け 寝ることに なります カイラスは北です ね なのに何故脚を 北に向けるのでしょうか 理屈にあいません ブラミンが言ったからといって 反対のことをしているのです ブラミンからこの国が 守られるといいのですが ブラマ(神)のことを 知らないくせに聖職者でいます 彼らが本物であれば必ずこの国を治める用になると思います シヴァが物質において まず確立されるなら 私達においても同様に 胎児が形成されるとき シヴァの確立によって心拍が起きます シヴァが確立された というサインです 心臓に問題がある場合 シヴァの確立が 不完全であると言わざるを得ません 悪い人ということではなく 長生きする運命ではなく 後世で別の心臓を持つかもしれません もしくは前世で何らかの問題が あったのかもしれません シヴァの原理に 注意を払えば治ります 最も大切な臓器は 心臓です 心臓が止まれば 存在することができません なので アトマであるシヴァを大切にすることが最重要です 私達は些細な 世事にかまけています あれこれと心配し スピリットに関心を向けません それが私達の 最大の問題です スピリットに 注意を払えば 全宇宙が歓びそのものである パラブラマと共鳴いたします ですがスピリットに注意を払わずに 人生を楽しもうと思ってもできません 無意味な事に囚われて スピリットを忘れていては人生を楽しめません 完全な静寂はスピリット以外からは 得られないのです 内なるスピリットが目覚めると 静寂が働きだしてリラックスして 自分自身でいられるようになります 問題はなく 普通人が求めるものを求めず 自分自身と共にありたいと 思うでしょう ただ 同じようにスピリットを見つけた 他のサハジャ ヨギを求め ハートに宿るスピリットの交流をするでしょう スピリットは私達の内なる普遍性で 合一により普遍的な意識をもたらします シヴァやその原理には 多くの性質があり 全てはお伝えしませんが もう一つの次元があります シヴァの原理を持っている人は 冷静なタイプだということです そのような人は 熱いヴァイブレーションではなく 活動的なタイプでなく 極めて冷静な性質を発達させます 低血圧であったり スピリチュアルな性質を持ちすぎるゆえ 下痢気味だったりするかもしれません レフトサイドの作用で 愛の側に立つ人かもしれない レフトサイドはいわゆるカバの側で 粘液質のことです レフトサイドなので 風邪をひきやすいタイプです このような人は風邪などから 身を守る方法を サハジャ ヨガで 学ぶ必要があります スピリット自体は 健康問題を超越しています ですが スピリットの事ばかり考える レフトサイドな人は偏ってくるので この世に生きるなら バランスが必要です 自身のスピリチュアルな成長のための活動に従事する事です スピリチュアルに成長した人が シヴァの原理で地上に生活することはできません バランスのとれた性質でいなければなりません そのバランスが発達すると スピリットがハートから頭頂に登ります これが第2段階で ここは集合性 コレクティヴィティです 愛と情を中枢神経に注ぎ込んで 頭頂のヴィラータに導くと あなたの集合的な存在から 愛が広がり始めます そうなって初めて あなたは十全な人格となります でなければシヴァの原理は 宇宙の存在と無関係に存在しています シヴァの原理の重力に 宇宙は存在し 消滅していきます スピリチュアルな渴望を持つ者は 自身のシヴァをハートから頭頂へあげて 自分をサハスラの デイタッチした在り方に導くべきです 完全なバランスとは どこにあるでしょう サハジャ ヨガでは多くの人が 優しく愛を持った良い人達です 例えばデリーでは ムンバイの人のようにきつくありません ムンバイの人はきついし

プーナの人はもっときついです　ですが　ムンバイや　プーナのヨギは深いのです　彼らは同情心のような感情を超えて少しバランスをとれているからです　“人にきつくしてはダメです不親切にしないで”　という態度も変な場合があります例えば昨日は私も　皆と同じ場所で寝ました　ムンバイやプーナだったら　話し声は全く聞こえませんライオンやトラがいる森のように　静まり返るでしょう　トラがいれば　何マイルも手前から　分かります静まり返っているからです　それがデリーでは　皆が話しています　お金のことなどベチャクチャとしゃべり外国からのヨギもそれに参加します　驚くほどです　なぜあんなにいつも　お喋りするのでしょうか　逆に　私が寝ているときには皆座って瞑想をするべきです　なのに　無意味な話をしています　皆がベチャクチャと喋っていて　どうしたら良いのでしょうか　同情的な態度をもつかぎり　話し続けるのです　“仕事でこんな問題があつて”とか　“私も同じですよ　彼らはダメですよ　他にも問題あつたらしいですよ”とか　サハジャ　ヨギに　無関係な話をしています　サハジャ　ヨギの話ですら私の前で話すべきではありません　このような態度はサハジャ　ヨギに　相応しくないとお願いしなければなりません私の前で口を開くことすら　良くありません　詳細には　立ち入りたくありませんが　シヴァの原理をハートから上げるにはたくさんのことを学ぶ必要があります　あなた方は人を歓ばせ　まとめることには　長けているし　口論もありませんムンバイやプーナの　サハジャ　ヨギたちは口論好きです　でもプーナやムンバイのサハジャ　ヨギたちは個人としての深みに到達しました　彼らは次に　ハートに　少し帰ってくる段階です　彼らはちょっと人に厳しすぎるので次の段階はそうなるのです　ただ　ある程度の厳しさが　必要なのです　例えば“マザーのおみ足に触ってはいけません”と言われたら　悪い気がしますが　世俗的にはそうなります　それが“私の足に触らないで下さい”と私が言ったら　それに従い　自分ではなく　私を歓ばせるべきです　“彼らは初めてなので　これを言わないほうが良いです”という迎合的なアテンションを変えなさい　やりなさい　でないと私をアブラサンナにしてそれが問題を引き起こすことになります　プーナやムンバイの　マラティ語のようにきつくでなくちゃんとしたウルドゥ語のように　人を不快にさせないようにしつつ　言うことは　言わなければいけません私の邪魔をするようにしないで下さい　きちんとするように伝えるべきです　自分に深く入るために　一人になり瞑想と黙想に入りなさい　デリーのヨギが皆そうだとはいいませんし　ここでは組織運営が上手で　ムンバイやプーナのヨギは学ぶ必要があります　皆が口論し　飽き飽きします　お互いをすり減らすのも　気に入りません　でも　個人としては　彼らは良いので個人的になります　個人的な人と社会的な人がいて　両極端になりがちです　サハジャ　ヨギはどうすべきでしょうマザー依存症になるべきです　マザーが好むことをするべきです　分かりませんか　世間や個人を　喜ばせる必要はなくマザーを歓ばせるというシンプルな事で　アディシャンカラチャリヤが言ったことです　“何がマザーを歓ばせるか”を学問にしなさい　分かりませんか　シヴァの原理として　私を歓ばせるのはたやすいことです　間違いをして耳を引っ張っても大丈夫です　でも　やり過ぎないように　間違ふのはいいけれど　当前と思い　間違え続けてはいけません長いロープを掴んでも　結局それで首をつつてしまうでしょう　だからロープを与えられたら　却って気をつけないといけません世間や自分の意見に　こだわるべきではありません　どちらも間違いです　私の中の全ての神格を　歓ばせるように振る舞いなさい私は存在しないのです　信じて下さい　私は多くの存在の　集合にすぎません　宇宙にも　この体にも　私は見当たりませんたまに“これは一体何か”　と思います　外部として感じられます　でも　そこに行き渡り　楽しみ　生活する一方　私はそこに存在せずどこにもいない　何がマザーを歓ばせるかを理解しようとすれば　私の望むような威厳を持てるでしょう　私の望むように歓びを感じられるでしょう　私の与えるヴァイブレーションを　さらに得る能力をえられるでしょう　何であれ　あなたが自分に良いことをすれば私は歓びます　ただ　自分に良いことを自分流に考えて　また個人主義になるかもしれません　もしくは世間に迎合するかもしれない　私が午後7時前に　プログラムを予定しないように言う　都合が合わないと言うかもしれませんが私に合うかどうかかが問題なのです　私にしか　できないことがあるからです　それをできる時間は　決まっています私の予定をあなたの都合に　合わせないでください　午前11時以前に　予定すべきではありません　早朝5時であれば　良いですがある時間は別の目的に　使わなければならないのです　何であれ私に合わせる事が　あなたの善につながるのですそれが最も効果的です　あなたのために　私のトリックを教えてあげているのです　しかし働く人は来られないだろうと言うのです　来なくて良いのです　7時に映画があれば　彼らは行くのではないですか　だったらなぜ安易にマザーを　彼らの都合に合わせさせるのでしょうか　人が少なければ　そのほうがずっといいのです　そのほうが天国がゆったりします　私を安売りしてはなりません　理解するべきです　マザーの威厳を保ちなさい　皆や世間を助ける必要はありますが　でないと　ゴミの駆除ができません　捨てるべきものが　沢山あります　ゴミの部分を　心配しないで下さい　最良のものを選びますが　その際にきつい話し方をしないことです　“どけどけどけ”　と　話すべきではありません話し方を変えなさい　どう柔らかく話すかを　皆に教えなさい　これは大切で　さもくば最後は聖人をも侮辱してしまうかもしれません　だからやめるべきです　分かりなさい　あなたは人前で　正しい概念　行い　態度と知識を示すことができます　正しい理性ではなく　絶対的な正しさです　シヴァは絶対で　絶対的知識を与え　私の歓ばせ方を知っています私を不快になるその瞬間に　劇を中断します　彼は私のために　それを観察しています　ダメだと思ったら　劇を止めて　“中止です　終わりなさい”　シヴァは観察者と言いましたが　裁判官でもあります　なのでちゃんとしなさい　私はシヴァを

歓ばせるようにしています シヴァのもとで 宇宙が良き場所であり あなたが約束された 永遠の生を得られるように
でも何がマザーを歓ばせるか 理解しなさい 私をじっと見つめる者もいます それもいけません 目を伏せなさい
馬鹿げた行いです 馬鹿げているだけでなく 私を歓ばせません あなたもそうされれば 同じでしょう 私はあなたを
歓ばせようとしています どうやって歓ばせるか 私から学びなさい もちろん 私のようにはできません “マザー
そこに行ったら馬をもらって・・・” と話しても 自己を達成できません 私はあなたの問題を解決できますが
あなたは私の問題を解決できません あなたを歓ばせるのは 容易いです どんな仕方でも良かれと思って
人を不快にしないことです 特別なことを する必要はないのです この簡単な事が分かれれば よかれと思って
私を不快にさせることもないでしょう 特別な事をする必要はなく 優しく 愛を持っていれば 私はいいのです
そもそも私は上機嫌なので あなたに満足です いかにかれら乗り越えて 何を達成すべきかですが
今のところデリーの人はハートから サハスララに行く必要があります ムンバイやプーナの人は ハートに戻る必要があります
ラフリの人は ちょうどあいだだと思います ちょうど中間です オーガナイズ上手だし 個人としても私に問題事をつくりません
ラフリがおそらく 私のメツカかもしれません でも誰でもそうなるのです 皆が伝え合い 教え合い 高め合えるのです
自分を本当に愛し 進化させようと思えば自然にできます 本当にしたければ 何かする必要はありません 次第に上手いき
バランスがとれてくるでしょう おしゃべりな人は あまり喋ってはいはいけません しゃべりすぎるなら
話を終えたらやめるべきです 必要なときに話し 必要なければ話さないことです そのような人格を 育てることができます
どこまで話し どこには触れないかの知恵です やらない というのが シヴァの性質です 彼は何をせず
座って全ての喜劇を観ています 彼は何もせず 観ずる方なのです 彼が観るのをやめれば 劇は全ておわりです 何もしないことで
彼がどれほどしているか分かりますか その対比を見なさい 彼は皆を踊らせて 楽しんでます 同じように
あなたにも両面があります サハジャ ヨギとして そのバランスを達成できます それはあなたの善や進化 発展のためです
さあ今日は 全てに浸透するシヴァの原理を 個々に伸ばすチャンスです カビラは美しい詩句に 表しました “私は愛を起こし
取り出して その波動を5大要素に注ぎ込む” と 偉大さが 分かるでしょう 彼は心から取り出して 5大要素に注ぎ込むのです
これこそが サハジャ ヨガです これが分かれば 他に何も分かる必要がありません ハートにおいてそれを得たら
心の資本家となり 外では社会主義になります このバランスをきちんと 取れるようになれば終わりです できます
皆でやりましょう そして世界に それができると示すのです いわゆる普通の人が 非凡になれます
今日はそれをサハジャにすると 決意しなさい 常に自分を見続ければ 分かるでしょう 自分に言い訳しないことです
そこがポイントではなく そうするのは馬鹿げています 自分に挑戦しなさい “どうしてこんなことになったのか”と
そうして自分をワークアウトできます 力があるのだから間違いありません あなたのスピリチュアルな
そしてコレクティブな成長を私は祝福します どちらも大切です コレクティブなしにスピリチュアルな
成長をしても意味がありませんし スピリチュアルな成長なしに コレクティブがあっても意味がありません
両者を統合しなさい シヴァをヴィラータに持っていき そこで確立するのです やりなさい これさえ分かれば
人との関係も末永く 実りある 良好なものになるでしょう そしてサハジャ ヨギの人生の質が すばらしいものとなります
神の祝福を

[View online.](#)

このヨガのすばらしい国に サハジャ ヨギの皆さんを歓迎します 今日はず 自身の中に望みを 確立しないといけません 真理の探究者であり 自身の完全な成長と 成熟を得ることへの望みです 今日のプージャは 全宇宙のためです 全宇宙があなたの望みで 啓発されないといけません あなたの望みが 強いことで スピリットに到達するという 純粋な望みである マハ カリの純粋なヴァイブレーションを 放出しないといけません これが真の望みです 他のすべての望みは 幻のようなものです あなたは望みを表現し それを得るために 神によって 選ばれた者です 強い清浄への 望みによって あなたは全世界を 浄化しなければなりません 真理を探究する者だけではなく 真理を探究しない者をもです 究極を スピリットを得るという 望みでもって この宇宙に オーラをつくらないといけません 望みなしにこの宇宙は 創造されませんでした 神のこの望みは 聖霊であり この包括的な力であり あなたの中のクンダリーニです クンダリーニの 望みは一つです スピリットになることです 他のことを望めば クンダリーニは上昇しません 真理を探究する者を前にし この望みが満たされると わかった時のみ覚醒します 望みがなければ 誰もあなたに強制できません サハジャ ヨギは決して 他者にこの望みを強制させてはいけません セルフ リアリゼーションを得て まず直面することは あなたが家族について 考え始めるということです 私の母が 父が 妻が 子供たちが まだ得ていないと 考え始めるのです これらの関係は 世俗的なものだとは知るべきです サンスクリット語で ロキックです 彼らはアロキックではないのです 世俗的な関係を 越えていません 世俗的な関係です これらの執着は世俗的です それに悩まされるなら マハ マヤ シャクティは 自由にそれをさせてくれます 好きなだけやりなさい 人々は親戚皆を 私の下に連れてきます そして最後には 間違っていたと気がつくのです 彼らは多くの大切な時間を 何時間も何年も無駄にし お母さんのアテンションに値しない者に エネルギーを費やします この望みが 自分の中にあっても いわゆる世俗的な親族には ないかもしれないことを 早く気がつくほど良いです 関係ないことなのです キリストは兄弟姉妹が 外で待っていますよと言われ “私の兄弟とは誰ですか 私の姉妹とは誰ですか” 常に家族の問題を抱えている者 私の注意を引こうとする者は 私がただ遊んでいると 気づくべきです あなたにとって あなたの成長にとって 何の価値もないのです あなたの親族に 望みを持たないこと これがマハ カリの力を 確立する最初の原理です 特にインドでは 家族に あまりにも執着しています とても大きな問題です ひとりの人に リアリゼーションをあげると 親戚全員が ブーツであることに驚きます ひとりにリアリゼーションをあげると 面倒なことになります ゆっくりとブーツが入り始め 私を苦しめます 私のエネルギーを無駄に費やし うんざりさせられます これは吉兆ではないと 理解するようにしないといけません 時間を無駄にしたいのであれば あなたに時間を無駄にさせておきます しかし早く 成長したいのであれば まずこれらの親戚は 全く世俗的な関係であり あなたの純粋な望みでは ないと覚えておくべきです ですから望みと 世俗的な望みを分けなさい あなたの家族を お母さんを 姉妹を 諦めなさいと提案しているのではありません あなたは彼らを目撃するのです 他の人を見るのと同じように見るのです そして彼らがその望みを 持っているかどうか見極めるのです 彼らがあなたの親戚だからといって 適していないというわけではありません あなたの親戚だからといって 適しているというわけでもありません ですからサハジャ ヨガで あなたの望みを純粋な望みにするには 多くのことから 抜けなければいけません 家族に執着している者 家族に縛られている者は 親戚の誰にもサハジャ ヨガを 強制してはいけなと理解するべきです せめて私に 押し付けなさいことです 私は毎日しゃべっています シュリ クリシュナについて 話さないといけません でないと彼は私がマハ カリについてだけ 話していると思ってしまうでしょう 私たちの中にあるこの望み 現れるマハ カリの力は 多様な形で出てきます まず親戚に何かしてあげよう という気持ちで あなた達はサハジャ ヨギなので リアリゼーションのあとで出てきます そして私たちに出てくる 二番目の望みは 親戚である人達を 治してあげようということです あなた達の中の多くが感じている ことだと知るべきですし向き合うべきです ハンセン病から風邪や くしゃみなど小さなものまで 自分達が抱えているものが 何であれ お母さんに見てもらうべきだと 考えます 家族の心配事すべてを 見てもらうべきだと考えます 妊娠やくしゃみのような とても普通な 自然なことも あなたのアテンションにあるのです それがアテンションに あるのなら 私は “やっでござんなさい 可能なら 解決してござんなさい”と言います しかしあなたのアテンションになれば それらは私のアテンションにあります 私のアテンションに任せなさい うまくやります しかしこれも悪循環です それは頭の精妙な反応です “私のアテンションに置かないので お母さんが面倒を見た方がいいです” というなら間違っています あなた自身の中に 強い望みを持つべきです 私はスピリットになっているが 私は自分の究極を得たか 世俗的な望みと 真の望みを区別しているか 浄化しなさい 一度それを浄化し始めたら 抜けたところは私が面倒を見ます これはただの確約であって 保証ではありません 私のアテンションに値するなら 私はそれを確実に面倒みます 私が私のアテンションを尊重するように あなたのアテンションを尊重しなさい あなたのアテンションを 私のより尊重しないといけません 私はより多くのことを

管理できるからです　すべてが　私のアテンションにあるからです　あなたが直面している世俗的な　問題から望みを離し
清めないといけません　考えが膨らみ　私たちの国の問題は　どうなのかと考え始めるでしょう　それならあなたの国の
地図を私にください　それだけで十分です　ですから自分自身を　浄化しなさい　持っている望みを　私に任せなさい
一度浄化されればその部分は　あなたのアテンションで助けることができます　それを克服したときのみ
あなたはそこに光を当てられます　しかしあなたがその中にいるなら　光が隠れてしまいます　その望みより　上にいきなさい
望みが出るたび　その上にいくのです　そうすることで　あなたが直面している　私が解決すべき問題に　光が放たれます
これらすべてはあなた自身が　請け負っている私の問題です　あなたはスピリットになるという
ひとつのことをしなければいけません　とても簡単なことです　それ以外のことは私の問題です　さて
集合的な望みにおける悩みは　大変異なるものであるべきです　あなたの清浄を　実証するのに　あなたの清浄に
良い香りをもたせるのに　アテンションは　違う側にあるべきです　あなたは私と向かい合っているのではなく
私と共に全世界に向いているのです　すべての姿勢が　変わるでしょう　その姿勢は“私が何を　与えられるか”にあるべきです
“どうやって与えられるか” “与えることにおいて　どこが至らないのか” “私はもっと　敏感でないといけない” “私のアテンションは
どこにあるのか” “自分に対して敏感でないといけない　私は何をしているのか” “私の責任は何か”
あなたは純粋であることを望むべきで　純粋な望みであるべきです　つまりスピリットであるべきです　自身の責任は
何であるかです　あなた自身の責任が表れないといけない　完全にならないといけないと望むべきです　そしてこのサハジャ
ヨガに　対するあなたの責任です　サハジャ　ヨガに対する　責任は何かです　それは始まっている神の仕事であり
あなたは私の手であるということです　神の仕事を　しないといけません　神に反する要素　悪魔的な要素と
戦わなければいけません　あなたはもはや　家族に責任はありません　でなければ生半可なヨギで　何の役にも立ちません　脱落して
家族も苦しむでしょう　今　選別が始まるほどの力が　結集しているからです　あなたはスピリットになることに　責任があります
あなたはサハジャ　ヨガに　責任があります　あなたは私をもっともっと　理解する責任があります　自身のメカニズムを
理解する責任があります　このメカニズムがいかにか全てを　うまくいかせるか理解する責任があります　あなたの責任はいかにか
自身のグルになるかです　あなたの責任はいかにか品位ある　称賛に値する者になるかです　立派な者になることで
安っぽい者にならないということです　あなた達ひとりひとりが　宇宙に匹敵するほどの価値があります
もしあなたがその高みまで　上昇したければです　宇宙という宇宙を　あなたの足元に投げ出せます　あなたがその高みまで
上昇したければ　その大きさを　あなたの中に育むことができます　しかし低いレベルでまだ生きていたい者は
上昇することはできません　例えば西洋の　サハジャ　ヨギ達は　お母さんに対して　罪を犯すという問題を持っています
東洋のサハジャ　ヨギはお父さんに対して　罪を犯すという問題を持っています　そこから抜け出すのは
あなたにとって全く難しいことはありません　アテンションは純粋に　保たなければいけません　いかにアテンションを
純粋に保てるかについて　あなたはサハジャ　ヨガの　あらゆる方法を知っています　アテンションが純粋でなければ　この望みは
自分の成長に何の意味もない　無意味なことに常に攻撃されるでしょう　良いサハジャ　ヨギは服装や
自分について人が何を言っているか　どんな態度かは気にしません　それらに注意はありません　人に対する　批判はありません
他者への攻撃性もありません　なぜなら　他の者は存在しないからです　しかし問題は　私の言うことが自分のことだと
思わないことです　攻撃的な者は攻撃的でない者について考え　攻撃的でない者もまた同じです　攻撃的な者について言えば
自分のこと　ではなく攻撃的な者について考えます　あなたはすぐに　自分の注意を他の者に移します　他の者の欠点を探します
するとこの望みは次第に低く　低く　さらに低くなります　それに課される負担のためです　注意深さが重要です　完全は注意深さ
サタルカタ　自分の純粋な望みを保つために　自分の注意をしっかりとさせておくことです　望みはあなたのハートから来ます
あなたのプランマランドラも　ハートであるようにできています　きれいなハートがなければ　きれいに保てません　サハジャ
ヨガについて偉そうに話せば　自分は大丈夫だと思っている者がいます　彼らは自分自身を　騙しているのです
ハートが開いていなければ　ここは閉じてしまいます　ですからあなたのハートを投影することで　開いておきなさい
それを投影するのです　今日のこのプージャで　マハ　カリの崇拝をする　この特別なヤグニャをすることで
私たちが確実にオーラをつくり　宇宙を啓発することを願います　あなたの見解は　これにどれぐらい貢献できたかにあります
“まだ他の人のことを　考えているか” “自分の小さなつまらない問題　について考えているか” “あるいは自分のスピリット
について考えているか”　左側はシュリ　ガネーシャで始まり　シュリ　ガネーシャで終わります　シュリ　ガネーシャは
たったひとつ基本的な本質があります　完全にお母さんにサレンダーしていて　他の神を知らないということです
父親も知りません　自分の母親しか知りません　彼女に完全にサレンダーしています　この純粋な望みには
実践的な面も必要ですが　それについては後日　プージャをするにあたってお話します　しかし今日はスピリットになるという
純粋な望みを確立しましょう　西洋の考えからいくと　“どうやってそれを得るのか”と尋ねるでしょう　その方法について
常に考えるのです　お話ししましょう　とても簡単なことです　アディ　シャンカラチャリアは　多くの本を書きました
しかし多くの知識人達は　彼の人生を苦しめました　そして彼らは　どうしてなのかと問うのです　彼はこれらの人達を
忘れなさいと言っています　彼はお母さんについての　説明を書きました　彼女への献身を綴り

彼が書いた連句はすべてマントラでした それは精神です 頭です サレンダーではなく ハートでサレンダーすることでした それは完全にあなたのハートを サレンダーすることなのです ネガティブの攻撃を受け続けてきたことは 西洋のサハジャ ヨギ達は よく知っています 特にフロイトのような ひどい人が 人々の基礎 人々のルーツ (根本) を 破壊しに来ました いかにも西洋人がそれを 盲目的に受け入れたか 彼らを地獄の道へと 陥れるものだったか それらは 取り除かれるべきです それらは無意味で間違っていて 完全に神に反しています 私たちのお母さんは 崇高な 気高い 養う 上昇させる 解放させる 全ての源であり これが私たちの基礎 根本を 破壊することである とあなたが言うことで 完全に戦うことができると 気付くでしょう 人間を動物のような生き物として見なし 低いレベルに貶めることで 彼は私たちを 根本から引き裂こうとしたのです あなた方に降り注いだ攻撃を 理解することは大切です それらのいかなるものとも 同一視しないことです あなた方はこの国に新芽を見るためでなく 根を見出すために来ました 西洋的な態度を変えなさい 電話は良くありません ここでは電話をかけられません 郵便もひどいです 私たちは鉄道を使っていますが 鉄道は最悪です しかし人々はすばらしいです ダルマを知っています 彼らはクンダリーニのおかげで 攻撃されませんでした 攻撃されないように ガネーシャが座っています このマハラシュトラには 彼らを守る八つのガネーシャがあります これを知っているか 分かりませんが またマルティが多くいます 誰がこの国を 攻撃できるでしょう 彼らが金銭主義である以外は ネガティブな攻撃はありません それが唯一の災いであり それから抜け出せば偉大な人たちです ですから私たちはこの国に 西洋の快適さを楽しむためではなく スピリットの安らぎを 楽しむために来ました インドに対する考えを 変えないといけません インド航空で来なさいと 言っているのではありません サハジャ ヨギだからと インド航空で来るのは間違いです サハジャ ヨギとは 関係ありません あらゆる鉄道 すべてのものは サハジャ ヨギとは関係ありません 愛国主義でもって自国の 航空会社を使ってください ここに着くと人々が 純真であると気づくでしょう 彼らはフロイトを 理解できません この観点でいうと 高いレベルの人達です 攻撃されていないからです あなたは攻撃されたにもかかわらず そこから抜け出しました そして顔をそむけ 違うところにいるのです とてもすばらしいことです 同じように信じる者が この国には多くいて あなたを支える人口があることに 自信が持てるでしょう 当惑することはありません 今日 このマハ カリの プージャを始めないといけません またガウリの日 であるとも言えます今日はガネーシャ ガウリの日です シデユの暦によると違うかもしれませんが 私によるとそうです もっと精妙なレベルで 純粹になる望み そして 内にあるあらゆる障害や不純なものを 浄化する望みを確立しましょう 偉大なサハジャ ヨギになる 望みです 責任あるサハジャ ヨギ になる望みです あなたのお母さんに サレンダーする望みです 難しいことはありません 最後の望みは簡単です 何をサレンダーするかですが あなたが私の愛を受け入れる以外は 私は何も望みません サレンダーとはハートを開き 私の愛を受け入れることです エゴを捨てなさい それだけです うまくいくでしょう うまくいくと確信しています 私はあなたのハートに 私自身を入り込ませようとしています そして私は確実に そこに座すでしょう マハ カリは泣くという 特別な能力を持っています レフト サイドにいるからです どうすることもできない時や行動に移すことが できない時 彼女は泣きます これはマハ カリの 唯一の現れです 望みが叶えられないと ただ泣くのです それはどうしようもないときに 彼女ができる唯一のことです そして時折 愛に満ちている時 あなた方がここに来て 多くの人が座っているのを見ると 彼女は自身をハートすべてで 十分に表現できず 歎びに涙を流します 今日のプージャで 神のご加護がありますように みなさんがこのことを 十分に受け入れ 自分の中に 精妙な中でも 最高の精妙さや感受性 そして歎びへと極まる愛を目覚めさせる ことができるように願っています 歎びの香りへと花咲く愛が 今日のプージャで表れますように 神のご加護がありますように

1982-1225, クリスマス プージャ

View [online](#).

クリスマス プージャ 1982年12月25日 今日 私たちは キリストの誕生を祝います 人間の意識において 転機でした
ご存じのように 彼はアギア チャクラに生まれ エゴとスーパーエゴを 吸収します 私たちにある
コンディショニングとエゴをです そのような 偉大な事が起こりました 二千年ほど前です この地上における偉大な出現を
今活かす時です キリストを理解するには まず彼がオムカラに 他ならないと理解すべきです 彼はヴァイブレーションで
できています それ故復活しました 彼には執着が ありませんでした それが彼の本質です ですから私たちも無執着で
いるべきだと理解すべきです まずは自分の考えに 執着しないことです 人を許すことでできます しかし人には
微細な執着があります キリスト教徒はキリストを 自分のもののよう考えます 自分と共にいるのだと しかし彼らとは
全く関係ありません “あなたが私をキリストと呼ぼうと 私はあなたを知りません” ですから キリストを自分たちの
ものだと考えてはいけません 長くキリスト教徒を していてもです 実際キリスト教徒として 生きていません そのような者が
キリスト教徒だと自称しても 真の意味で 信奉していません 自ら変わることで 信奉しなければいけません
彼を私たちの生き方に同化しない限り 彼の出現の偉大さを理解できません キリスト教徒だから 彼に関係があると言っても
彼と同一視してると言っても キリストの本質を備えなければ 意味がありません 彼は生きた手本で 偉大な出現でした
地上に化身し 純粹で聖なる人生を送りました あなたの清浄と 神聖さを向上させなさい 神やキリストに反するものと戦える
強力な神聖さと吉兆さをです 今日は彼の誕生を 祝う日です 彼を私たちの内に 人格に 振る舞いに 気質に生まれさせましょう
彼には執着がありません 物質的なものに 執着しません 大工の息子でしたから 生活は決して 良くありませんでした
しかし細かいことに 悩まされません 大工の家は 暮らすには危険です あらゆる釘や 道具があるからです つまづいて
怪我するかもしれません 寝る場所もほとんどなく 辺りは木材だらけで 人はその上で寝ます しかし キリスト教徒は
その逆で快適さにこだわります 人のことを 容易く非難します 市場へ行けば 何かと難癖つけます 馬鹿げています
自分はどのようなでしょう 自分の内には何があるでしょう 内側をきれいに しないといけません 内側が居心地良
くないといけません 外側でなく 内にある悪いものに 居心地悪さを感じないといけません 注意が内側に 向かないといけません
キリストの人生を見ても 外側に向いて生きていません 今日 私たちの新しい誕生で これを理解しないといけません
心配すべきは内側の快適さで 外側ではありません 昨日見た写真にあなたが好感を 持てなかったのは良い兆候です
でもそれすら外側のことです 内側の汚れはどうなのですか 頭にある馬鹿げた考えは どうなのですか 取り除き 失くさない
蓮の花のように 再び生まれなさい 生涯そのように生きて私たちの為に死に 復活したキリストのようにです
私たちの人格の中に 人生の中に備えられる 偉大な手本があります パスポートがあれば大丈夫だと 思いがちですが違います
内にキリストのような 振る舞いを確立することです 最も偉大なのは許しです 許すことです 私たちに欠けています
それを発達させないと エゴはなくせません 真のキリスト教徒になりたければ エゴがない状態でないといけません
キリストの誕生について話すときに 理解すべきことは 彼が環境の悪い所で 生まれたことです 王宮でも良かったのに
なぜでしょう キリスト教徒の快適さへの欲心を 知っていたからです 快適な家を欲しがります そして絨毯が汚れれば
些細なことで怒鳴ります 大変低劣です 大切なのはあなたが より高次に上昇することです 高次において なぜ居心地の悪い
牛や馬糞のある馬小屋で キリストが生まれたか 理解しないといけません 彼は全く 気にもかけませんでした
あなたが訪ねようとも 思わない場所です 母がそこをきれいにし 彼が生まれました 浄化するための 天国の輝かしい星でした
あなたが浄化されれば 他の者も浄化します このすばらしい日に このヨガの国でお祝いしましょう 神聖で吉兆な
キリストの完全に執着のない気質を 私たちも備えることが できるようにです そしてキリストの 彼の生き方の
真の信奉者となれるようにです 私たちはサハジャ ヨギです いかなる宗教にも属しません サハジャ ヨガの宇宙的な
宗教があるだけです そこでキリストが崇拝されます 皆が崇拝するのは少数のために 化身したわけではないからです
崇拝する者は彼の特質を 生き方を表さなければいけません 物質主義者は 彼を語れません 彼の身体に
物質的なものはありません ヴァイブレーションそのものです 水の上も歩けます 物質主義者はキリストについて
何も宣言することはできません 宣言する者は 正反対のことをしています あなたは 達成しないといけません 一度達成すれば
神が面倒をみていることに 驚くでしょう 荒地からいかに花が 繁茂することか いかに水を与えられ 面倒をみていることか
いかに美しいか 同じようにあなたが 美しい存在であるスピリットであれば 面倒をみられています 祝福を 歓びを得ます
歓びの源が 作用するからです しかしその歓びがエゴで 覆れると歓びは無くなります エゴを浄化しなさい
自分のエゴを見ることで 取り除きなさい 自分や他者に対する 愛情で 優しさで キリストが私たちのために 創ってくれた領域へ
天の国である大脳辺縁系へ より高次に上昇するようにしなさい キリストの生き方に従い 彼の本質を備えられるよう
神の祝福がありますように 私はお母さんとして 教えるためにいます どうすればよいか教えています 私が執着しないように
あなたも執着しないようにしなさい 色々な贈物で 私を喜ばせようと思いますが ご存じのように 私は執着しません

執着というものを 理解できません 贈物をもらえば ほほ笑みますが 私は執着できません 執着できるものが 私にはありません
私は動くクンダリーニの力です 執着できません 常に動いています 執着することは 不可能です この力の中に入り
私と一緒に動きなさい あなたの進歩を阻害する その他全は忘れなさい 威厳を持って 進歩しなければいけません 上昇できると
確信しています 今回 皆さんとても賢明で 批判的でなく そうでない者の中にはいても ほとんどが大変優しく 威厳を持ち
コレクティブも良く この国で大変良くやっていることに 喜ばしく感じます 神の祝福がありますように

1983-0321, Birthday Puja, Overcoming The Six Enemies

[View online.](#)

Birthday Puja, "Overcoming The Six Enemies". Sydney (Australia) 21 March 1983.

このよき日をあなた方と 共にできるのは素晴らしいことです オーストラリアの サハジャヨギは とても良いヨギと分かりました 短い間に スピリチュアルな 生活において 早く成長しました こうして私の子供たちと ここに居るのが とても嬉しいです ご存じのとおり 私には多くの子供たちが 世界中にいます 実際に産んだ 子供たちの他にです ここに来ていない 者たちのことも 私たちは 思い出すべきです 彼らは何千マイルも 離れたところで スピリットの上昇を祈っています 人はスピリットの 上昇のみを願うべきです 上昇すれば 他は全てついてくるからです 必要なものを得られないとしたら 上昇が足りないのです そのために 問題があるのです 未だに私が解決しなければ ならないこともあります プージャに来る前にです ですからスピリチュアルに 上昇すると決心すれば 必要なものは 全て得られるでしょう 神があなたに 注ぐべき恩恵の全て 彼の王国の民に なるための全て 裁かれることのない国 罰せられることもなく 試されることもない 神の愛とその栄光に 永遠に包まれる 場所にです 10年で これ程達成できるとは 10年前には 考えられませんでした 私たちはサハジャヨギと 他の偽のグルとを 比べるべきではありません 一人の預言者を作るのでさえ 千もの生を必要とするのに 多くの者が預言者になったのは 偉大なことです 自分の欠点は忘れましょう 自分が預言者であると 自覚しましょう この自覚を確かにしなさい あなたが何者になったか 自覚できれば 神の栄光を放つでしょう 花が咲く時のように ある香りが 自然に漂うでしょう でも 自覚しないということもまた 人間だけが持っている自由です 自らを偽り 演出することも 正しく自覚することもできます 預言者になってもなお 自分とは違う幻に しがみついたりします まだ恐れていて エゴ中心です それは偽りで 本当のあなたではなく 俳優が 演じているようなものです シヴァジ王のような 振る舞いを演じていると シヴァジのようになつてくると同様に 生き方まで変わって シヴァジのようになりますが 同じ人が ヒトラーを演じていると ヒトラーになつてしまいます どちらも人為ですが そうなります あなた方が 真に預言者であると 本来の自分自身であることが 難しいと分かります しかし 以前の人為が 無くなっているのです 無くなつていて 罪人は死んだのです エゴイストはもういません 恐れる人も消えて あなたは預言者なのです その人格の栄光まで 昇りなさい 預言者でないものは 神に背く者でさえ 自分を預言者だと 言うことはできますが 本当の預言者は “自分自身”を偽りたがりません あなたは 自覚さえすればなれるのです 私たちは今まで 慣れ親しんできたこの種の 心のトリックを 乗り越える必要があります 偽りは 全てはがれ落ちるべきです もちろん お伝えした通り 誘惑的で 悪魔的な力だらけの中で 10年でこれほど達成できるとは 思っていませんでした これは あなた方の達成でもあります 多くの問題や ハードルにも関わらず あなた方は上昇しました 高く高く上昇し 美しい預言者になりました あなたは大きく変わり 自覚さえ持てば とても優しい気持ちに なれるでしょう 私が上の孫と話した際に 11歳の小さい女の子ながら 自分の母親に言いました “もうおばあちゃんと話せないわ だって女神様なのよ” “恥ずかしくて 話せる訳ないでしょ” あんな歳でいうのです 彼女はいつも クラスで一番で 学校新聞の 編集員をしています 素晴らしい子です その上とても謙虚で “恥ずかしくておばあちゃんとは 話せない”というのです “女神様なのよ 話せる訳ない”と ラスタムが彼女から ヴァイブレーションが出ていると言いましたが あなた方も そう成長するべきです まず 自分が預言者だと 知らなければなりません そして私が聖霊であると 知る必要があります 私はアディシャクティです 私はこの偉業のために 初めてこの姿で 地上に現れた者です これを理解するほど 良くなります 驚くほど変わるでしょう いつかオープンに言うことだと 知っていました そして明らかにされました さあ 次はあなた方が それを証明する番です キリストの弟子たちは リアライズ ソールですら ありませんでしたが どこであれ キリスト教を布教しました キリストが磔になつてしまい 残されたのは たった12人という状況で 彼らは耐え抜きました 彼らは極めて 謙虚な人たちでした それにキリストと自分 そしてマザーの違いを知っていました そして自分たちと他の者たちの 違いも知っていました 清らかな キリストに啓蒙された 人生を送りました 彼らはリアライズ ソールでは なかったのに 自身を浄化し 生活を美しく保ちました なのでサハジャヨギであれば 尚のこと 次の6つの敵に 与せません まず かんしゃくです これは 慈悲を含みません かんしゃくを慈悲に 置き換えなさい 今日 60歳の誕生日ですが 心の中で戦うべきは たった6つの敵です 第2は色情です すでにあなた方のほとんどが 倒錯への注意を正しました あなた方殆どが 前より良くなり キョロキョロしなくなりました ですが まだ エゴ中心です うぬぼれがあります まだ競争心があり 嫉妬があります まだ隠れた 物質主義があります そして新しく 家族への 執着が起りつつあります それを 変えなければいけません 違った用途にです 神の仕事にも 同じことが使えます サハジャヨギの 6つの手として使えます まず 怒り 自分が間違ったら 自分に怒りなさい 負い目を感じなくとも 間違ったことをした自分に怒るのです 罪悪感とは自分を変えないために 最も役立つものです 鍵のついた 個人的な倉庫みたいなものです 私はあなた方の罪悪感で ひどい思いを沢山してきました それは 次々と出てくるのです

罪悪感を感じたら 自分に怒る必要があります “どうして私が罪悪感なんか 感じれるだろう” “なぜしたのだろう もうそれはしない”と 他人ではなく 自分への怒りを育てなさい それに怒りは戦いのために とっておくこともできます でないと本当に 戦う必要があるときに アルジュナがしようとしたように 武器を置いてしまいます それに対して人々は “アルジュナは戦争が始まるまでは 偉大な戦士だった”というでしょう なので力を無駄に使わず 些細なことで戦争をせず 幻と戦うことはやめることです 性欲 倒錯は 自身のパートナー 妻に向けられるべきです そして貞節を守ることです 全てが貞節に集約されます 貞節な生活を送りなさい 動物的でなく 人間としてです そういったすべての意識を 貞節の力にきなさい それがあなたを守り 神とのつながりになります 強いられる貞節ではなく 理解とバランスに基づいた 貞節です 家族と 妻と 貞節な生活を送ることができます 女性にはもっと それが当てはまります 夫を悪く言うような もしくは夫に刃向うよう 吹聴するような別の男性に 耳を貸してはいけません 女性の夫を悪く言うような 男性は皆 サハジャヨガから 一掃されるべきです 婚姻は聖域です 夫婦の間に 割って入ってはいけません そんな権利は だれにもありません 問題があるなら 私に伝えてください それは 愚かさのサインです 次にうぬぼれば プライドに変えられます 自分がヨギであると プライドを持ち 本当に誇りなさい プライドで頭を上げなさい “私たちはサハジャヨギだ”と 誇りは押しつけがましくなく 栄えあるものです ですがうぬぼれば 押しつけがましいです プライドとは 自尊心の表れに他なりません 物乞いや債務 猿まねなどは全て 自己理解の不足によります うぬぼれば プライドに変わるべきで プライドとは 自尊心の表現です 自尊心とエゴは大違いです 自尊心は実物ですが エゴは偽物です 男性は男性らしくあるべきで 女々しくてはいけません 牛のように従順で 女性の思いに 縛られてばかりでははいけません 社会を リードしなければならないのです インドでは女性の権利のために 戦っているのは女性ではなく 男性です 女性ではなく 男性です なぜなら男性は 女性の父でも 兄弟でもあるからです そして女性の幸福を 気にかけているからです 女性は男性と戦うと きりがないと知っているので 滅多に戦うことはありません 男性と共存すべきと 知っているので戦わないのです ですが男性同士では戦います アメリカですら 女性の解放のために戦ったのは 女性ではなく アブラハムリンカーンでした なので うぬぼれでなくプライドです サハジャヨギであることを誇り この時代に生まれたことを誇りなさい 神の仕事を することのできる時代です 神はあなたを選んだのです あなたの上昇のためにです サハジャヨガのなかで 急に気難しい 隠遁者になるものがあります 神が多くを与えたのに 許されないことです 誰かがあなたに ダイヤを与えたとします あなたは 見せびらかそうとします スピリットを与えられたら それを誇りに思うべきで 隠れるべきではありません 働かないほうがいい とか考える者もいます “外にはいかず 瞑想だけしよう” サハジャ ヨガにはそういった人の 居場所がありません “私にはできません” といいますが “できません”ということばは 皆の辞書から削除されるべきです 仮にもサハジャヨギであるなら “私にはできません” とは言えません 自尊心はあなたに サハジャ ヨギとして必要な ダイナミズムを与えます 分別のある 賢いダイナミズムです 私があなたの問題を解決する 必要はなくなります 競争と嫉妬の性質は 方向をかえて 自分自身に 向けられるべきです 過去の自分と 現在の自分の競争です 過去が現在か どちらが勝つでしょう 現在が より早くなり続けるべきです 過去をできるだけ 置いていくのです サハジャ ヨギどうしの競争は あってはなりません 何を入手したかなど 競争が見受けられます どんったり 悲鳴を上げたり 誰かにつらく当たるなど 激しく争っています 慈愛の心の競争をしましょう マイルドさ 優しさ 美しい態度 誰がより文化的で 紳士的か だれがより深遠か お手本を誰か見つけなさい あなたから見て紳士な人 レディーというに ふさわしい人を 反対に 男性のように振る舞う女性を 理想としてしまったら それも間違っています 女性のような男性もです それは理想ではありません 逆もしかりです 男性とは違う 女性の権利ばかりを 強調するような女性もです サハジャ ヨガでは 男性も女性もありません 男性だから女性だからと いうことでなく スピリットなのです あなたの姿かたち 肉体 あなたのランプや光は 違うものです 光を灯し続けるためには 女性は女性らしく 男性は男性でなければなりません 昨日お伝えしました りんごがマンゴになろうとか マンゴがりんごになろうとしてはダメです 一番のりんごと 一番のマンゴになれば良いのです なので隠遁して 逃げようという人たちは 人間的というよりは なんと云うべきかわかりませんが 動物はそんなことしませんね 失業手当をもらいながら 怠け者になってはいけません まず できるだけ 手当をもらって欲しくありません 良いヨギではありません 皆ハードワーキングで あるべきで 学業的にも そして何より人格的に 優れているべきです よき生徒 よき料理人 良き母親 良き父親 良き役人 そういった人達に 一体どこで会えるのでしょうか 私たちは皿洗いに なるわけには行きません さて 男女の競争は 止めるべきです それぞれの 居場所を持つべきです 女性は男性が 自分の両手だと知りなさい あなたが動力源だとすると 彼らは機械なので壊してはなりません 怒鳴ったり 金切り声で 彼らの自信を 失わせてはなりません 自分の立場がなくなります 彼らが聖なる仕事ができるように 励ますべきです サポートすることです 世話をしなさい 彼らは あなたの機械であり 両手であり あなたは彼らの 動力源だからです 彼らが動力源に逆らえば もちろんひどい目にあいます 子供同士や親子の争いも 我が子と人の子を比べて 張り合わないことです そこから気を逸らして 完全に共存すべきです なので競争心は 共有によって止められます どれだけ分かちあえるか 酔っ払い 独りで飲めなくて 誰かが 一緒にいて欲しいものです 泥棒ですら徒党を組みますなのに神の恩恵を賜い どうして独り占めできるでしょう 楽しめません

一人だと喜びが欠けています　お互いに　優しく親切になりましょう　神の恩恵を楽しむなら　いかに多くの人とそれを分かちあえるかで　競争すべきです　誰がより分け与えるか　より気前がいいか　物質主義は　美に変えられます　一つの手造りの製品が　とても美しく　金銭的価値を上回ります　人は金銭を求めて　昼夜お金の勘定をしていると　変になります　どこか頭に異常をきたして　結局お金も失います　恩恵を数えなさい　命や　物に込められた　美を見なさい　命がいかに働くか　木を見れば　そこに独特の模様が見えます　無味乾燥な　死んだものではなく　それは　生気に満ちています　芸術を鑑賞することもできます　美しいものの全てを　見るができます　神の創造の力の反映です　そうしてあなたに　幸福感を与えます　モノに支配されることは　望んでいません　あなた方が主人です　最後に　自分の子供への執着です　または自分の妻であったり自分の　自分のと　“自分の”といっても　それは“自分”ではありません　自分の家　それは“自分”ではありません　“私のこれ”“私の私の”というのは　止めるべきです　“ママトヴァ”を壊しましょう　それに代わり　“私たち”というべきです　“私たち”というのは良い言葉で　私もよく使います　それでいつだったか　誰かが私に尋ねました　“私たちというのはどういう意味ですか”“一体感を感じて　私たち　というのは可能でしょうか”“もちろん可能です”あなたは私の体の一部なので　私たちは一つじゃないですか　心臓と指を分けたりしませんね　あなたが　私の体の一部であるなら　“私たち”という言葉を使うべきです　私は集合的な存在として　皆がここに居ることに意識的です　なので“私”でも“私の”でもなく　“私たち”といいます　自分に話すときも　3人称を使えます　例えば　“このニルマラがロンドンに行く”とか　本当にです　なぜなら行くのは体であって私そのものではないからです　“アディ　シャクティである私が行く”　といっても　どこへ行くといのでしょうか　どこへも行きません　私はどこにでも存在しています　私が存在しない場所は　ありません　どこかに行かなければ　ならないなら地獄だけでしょうが　行きたくはありません　なので　“今　ニルマラが発つ”という　言い方ができます　“オーストラリアから出発する”と　私は明日発ちますが　何が起こるといのでしょうか　私の体が移動するだけです　そのように自分の体に対して　語りかけてみなさい　私の心　とか　誰々さんの心とか　自分を何々さんと言ったほうが良いでしょう　自分に“誰々さん　起きてください”　と言ってみなさい　子供はそうします　三人称を使うので驚きます　あらゆる場面でのユーモアを感じることができます　自分を　笑うことができます　“さあ　あなたこちらに来てください　こんなことして”　そうやって自律を　マスターするでしょう　どうやってこの赤ん坊を　扱うか分かってきます　そうやって　成熟していくでしょう　“私の子供です　私の妻です”　というのは　もちろん子供も妻も　あなたの責任において　世話する必要がありますが　他人の子にはもっと　自分の子以上に　構ってあげなさい　自分の子供に対する　過保護は　あなたにトラブルを与えます　あなたの家族は　父なる神の家族であり　母なる神が　世話をしています　自分で世話ができる　と思うならばやってみなさい　過保護にならないように　心配しすぎないようにしなさい　家族のことで　慌てすぎないように　社会的な態度を保ち　子供が同じように　ならないようにしなさい　分かち合いを教えなさい　子供が転んだら　別の子に助けるように言いなさい　子供が遊びの中で　身体の不自由な子に　自然に別の子供たちが集まり　助けようとする　そんな場面を経験させなさい　劇や物語を通して　様々なことを通じて　良いことを教えなさい　助けるという意識なく　助けなさい　それは喜びであり　光栄なことです　大いに光栄なことです　考えを完全に変えなさい　我が子優先で　我が子にまず与える　これは全く下品です　育ちの悪さが出ています　まず他者に与え　その後に自分の家族です　我が子のために　何かを確保し　食べ物を持っ　こういったことは全て　“クパマンドウラ”つまり　“井の中の蛙”のしるしです　克服しなさい　試してみなさい　男女それぞれ　グループを作ってみなさい　男性から女性にあまり　指示をだすべきではありません　良くありません　おかしい事を　沢山見つけました　解りません　どうして　そうになってしまうのでしょうか　一方で家族は　もうたくさんだと感じて　夫はたくさんだと言い　家族から　離れておきながら　夫をあきらめます　彼はだめだ　結婚は失敗だと言いつつ　別の何かにくっついたりします　それは　更なる破滅への道です　なので　どちらも良くありません　自分の夫や妻　子供の側に立ちなさい　適切な時にはです　ただ　あからさまに　することはありません　“わかった　いいよ”“でも人前ではダメ”　というべきです　その子があなたの子だと　分からないようにすべきです　ほかの子と交わって　一緒にいて分かち合う　それがサハジャ　ヨギです　ご存じのように私は　自分の子に　リアリゼーションすら与えていません　信じられますか　クンダリーニの知識は　とってあります　いつでも教えられると　知っています　時間も　全く与えていません　分かりますか　全くです　どれだけ自分の娘たちに時間を　与えたかという　ほとんどなしです　今年は　年にせいぜい3日です　今もっとも大切な人間関係は　サハジャ　ヨガや　サハジャ　ヨギなのです　親に手紙を書くヨギを　見受けま　自分の母や　兄には書きますが　サハジャ　ヨギには　あまり書きません　驚くことです　父には書けけれど　サハジャ　ヨギには書かない　ヨギに書くようにしなさい　ロンドンにすんでいる皆　誰か彼らに書いていますか　友達になりましたか　さっぱりです　自分の問題で一杯一杯で　わざわざ　愛の繋がりを　作ろうとしません　サハジャ　ヨガに　関心がないかのようです　ロンドンの　アシュラムにいましたが　何人が　彼らに手紙をしましたか　ロンドンの皆に　何人書きましたか　プログラムで会った彼らに　あなた達の何人が手紙して　関係を持っているでしょう　手間はかからないことです　今日帰ったらすぐにでも　この誕生日について　手紙するべきです　どんなお祝いだったかを　美しく　家族にではなく　自分の周りの人でない　人に書きなさい　そこら中にいることを　知っているはずで　代表者に書きなさい　たとえばグレゴアに　またはイタリアのルースに　ジェノヴァの　ジェネヴィーヴにも書けます　会ったことがあるのだから　書きなさい　女性は女性に　男性は男性に書きなさい

アルノーがローザンヌにいます　なぜ書かないのですか　知っていますか　彼の妻は出産のために　アメリカに行きました
お互いのことを　知っているべきです　私は多くの人の　細かいことまで知っています　こうやって自分を　愛で満たすのです
今度アメリカとか　他のところに行ったら　そこに兄弟姉妹がいるのです　マザーについて書きなさい　自分の考えを
あなた方は私には書きますが　お互いに文通しません　私には特にですが　長文の手紙は書かないでください　詩的な
優しい手紙を書くのです　花を贈るようなもので　人を喜ばせます　とても良いアイデアでしょう　こうして　6つの敵を克服して
自分の支配下におき　自分のために使うのです　するとすばらしく変化します　あなたのアシスタントになり
あなたの軍隊の長になり　あなたの装飾品になります　全てあなた次第です　知恵を持ってしなさい　私はこの歳になりましたが
いつも同じ歳でもあります　私は常に今のように成熟しつつ　子供でもあります　若い娘であり　年老いた女性でもあります
毎年毎回同じです　ただ　人間理解においては　確実に成熟しました　人間を理解することに　関しては　間違いなく上達しました
生まれた当初は　アディ　シャクティでありながら　人間のことが　分かりませんでした　自分で創造しておきながら
全く理解できませんでした　でも今は成長して　あなた方がわかります　あなたが私の子供で
私を愛している事を知っています　どれほど親密かも　知っています　なぜそんなに　泣いているの　“トイレに行きたいそうです”
連れて行かせなさい　“私に行きたいそうです”　“自分で行くべきです”　行かせなさい　これなんです
こういった子たちはとても頑固です　憑き物のようですね　行かせなさい　ダメでしょう　行きなさい　ほら　じゃあ降ろして
どうしたことでしょう　とても頑固です　これは憑き物です　こんな大きな子が　トイレに行かれないなんて　邪魔したいだけです
もう叩きなさい　二回叩けば　憑き物がおちるでしょう　後はもうしません　この場合は叩かなければいけません　強くではなく
あなたがこれを受け入れないことを　分からせなさい　憑き物は叩かないと　出ていかない場合があります　子供で特に
起こりやすいようです　二回顔を叩けば　大丈夫になります　憑き物ですから　出ていきます　昨日子供について
教えたことを注意しなさい　子供をサハジャ　ヨガの　資産にしなさい　負債ではなくです　ちゃんとしつけて　育てなさい
彼らは質の良いしつけに　ふさわしい存在です　初めはとても厳しく　罰することが必要です　善悪の判断が　つくようにです
彼らが成長したときに　どれほど重要な資産かわかり驚くでしょう　とても良い子供もいますが　悪い子供の影響が　及んでくると
よい子まで　ダメになるかもしれません　よい子を　褒めた方がよいです　優しい子をです　自分の若い時代を思うと
当時の夢は実現しました　私の夢は　想像を越えています　私に関しては　もう達成しました　あなた方はもう
私をそれほど必要としません　あなたに必要な助言や　他者を啓発し　どう癒すかはもう教えました　あなた方は全て知っています
そのアートの達人になりなさい　過去は忘れなさい　あなた方は　皆が偉大な人です　なので来年会うときは　私の膝の上ではなく
この椅子に座って　自分で子供達に　教えているべきです　第2世代が始まるべきです　第1世代は準備ができています
第2世代が育つために　彼らの世話を　しなければいけません　私は本当のあなたの　お祖母さんになりたいのです
多くの孫に対して　それは本当に光栄なことです　成熟であり成就です　雨がふってきましたね　あなたの精霊を
満たそうとしています　私が聖霊であると　宣言したからです　皆が喜びに　あふれているようです　私をここに招いて下さって
ありがとうございます　そして世界中のサハジャ　ヨギを　思いなさい　皆です　今日はテレグラムを送るべきです　12通ぐらい
できますか　全てのセンターに　“マザーの60歳の誕生日は　喜びと共に祝われました”と　“彼女は皆に恩恵をと伝えています”
という感じで　喜ぶでしょう　でも　インド式では　61歳になります　生まれた日が　一回目の誕生日と数えるからです
それが本当の誕生日でしたので　61歳といわれます　そしてインドでも　大きなプログラムが行われます　皆さんは
特別待遇されています　なので今年は皆さんも私を　特別に迎えて頂ければと思います　あなた方皆が　新しい役割を担い
新しい穏和なスタイルを　男性は従順ではなく　女性に対して穏和な人となり　女性は従順に家庭的になると　美しく　穏和な笑顔が
大きな喜びを産むでしょう　私たちは喜びを産みだすためにいます　権利を主張するためではありません
それは人為的な喜びです　どれだけ喜びを産み出せますか　どれだけ喜びを与えられますか　この善き日に　どうか心に喜びを
感じてください　心の奥底に　歓びの源が存在します　なので内側へ　深く入って行きなさい　そしてあなたの
60歳の母の歓びを感じなさい　私の中にもそれがああります　深く潜りなさい　そこにあります　それを楽しみ　他者に与えなさい
歓びの泉のように流しなさい　神の恩恵がありますように　すべての国に私が聖霊であり
この復活の特別な時のために来たのだと伝えなさい

1983-0828, Shri Krishna Puja, The Ultimate Of The Fatherhood

View [online](#).

Shri Krishna Puja, Geneva (Switzerland), 28 August 1983.

今日 私たちは この神聖な地で シュリ クリシュナの 誕生を祝います お話したようにシュリ クリシュナは 究極の父性です 地上に化身し 究極の父性を例証します 地上において最も高い父性が シュリ クリシュナの意識です しかし神の王国において 天国とも言えますが 全ての最上に位置する領域で 化身しないサダ シヴァが内在します シュリ クリシュナは 父であるサダ シヴァの一つの側面です そして アディ シャクティあるいは聖霊は サダ シヴァのもう一つの側面であり 彼の力です ですからこの地上に シュリ クリシュナが化身したとき アディ シャクティの側面が ラーダとしてこの地上にきました 彼女は キリストの母としても来ました シュリ クリシュナの名にちなんで キリストと名付けました クリシュナの名前であるかのように クリシュナから取りました インドでは彼を “クリシュトウ”と呼びます なぜ彼がイエシュあるいはジェスと 呼ばれたかはお話ししました ではシュリ クリシュナの 二つの側面を見ていきます 神聖な誕生の出現でした ラーマは人生において プルショッタマを つまりこの世における 最高の父を示しました そしてシュリ クリシュナの人生では ヨゲシュワラを つまり神聖な働きとしての 最高の父性を示しました 私たちが理解すべき 最初の側面はヨゲシュワラです 二番目の側面はヴィラータです ヨゲシュワラは ヨガの最高神 ヨガの力という意味です 彼がヨギとして到達すべき 最高峰に到達したので そう言われています あなたが到達すべき理想が 彼であるかのように 彼はヨギとして 王家に生まれましたが 牛や普通の人と共に 密林に 森に住みました 彼は石や草の上のような 普通の所で寝て 牛を工サ場に連れて行きました 彼は大変意識していました 彼の力をエゴなしに 完全に意識していました “サムハラ シャクティ”と呼ばれる 特別な力を持っていて 神聖な出現を傷つけようとする者全てを 滅ぼすことができました この“サムハラ シャクティ”は 彼の手に持つチャクラで現します もう一つは “ガダ”(槌鉾)です これらの力は彼の内にあり ラーダの力によって動きました ラーダがシュリ クリシュナの力を 支える者だからです その証拠に 彼がラーダとゴクルにいたとき “サムハラ”の働きをしました 後に アルジュナのために 二輪戦車の運転手になりました 彼の弟子アルジュナのために 二輪戦車の運転手にもなります ヨゲシュワラのもう一つの 偉大な特質は 備わっている 完全な分別の力です 彼は誰が悪魔でそうでないか 誰が良い者で悪い者が 誰がとりつかれているか 誰が純真でそうでないか知っていました これは彼の内に備わっていた 完全な分別の力です 彼は目撃する能力を より表した能力である “サクシ”を備えていました つまり彼は サクシそのものでした 全世界の戯れを目撃する 能力を持っていました ラーマの時代 ラーマは 自分の問題に自らを巻き込みました 人間が彼を 神と認識しないように 完全な人間であるかのように 示しました どのように彼を神と受け入れられるでしょう “どうであれ 彼は神でした” この彼の内にある 目撃する能力は 全てのヨギになければなりません 彼がコントロールする要素は エーテルです サンスクリット語で “アカシャ”です エーテルはご存じのように テレビ ラジオ あらゆる公共的媒体のために 使われます ヨギとして私たちはエーテルの要素を 使えなければなりません それは最も精妙なもので あなたはそれでもって 全てに浸透でき 超越します プラスチックは 全てに浸透できます 物質や空気までの全てにです しかしエーテルに入ることはできません ですからネガティビティは エーテルに入ることはできません あなたが エーテルの領域に入ると 実際に思考を超えた意識状態の 領域に入ります エーテルの状態を得るには 思考を超えた 意識状態を広げないといけません それを維持するのはキリストです スピリットです ヨギとして自分のあるべき状態が エーテルのようであると認識できます スーパーエゴは どのような状態であるべきでしょう エーテルの状態に入るべきなのは エゴの部分です スーパーエゴにおいては それらを戯れとして見なければなりません ネガティビティの戯れを 見なければなりません ネガティビティは遠退くでしょう 関わってはいけません 振りをしなさい ネガティビティは あなたから離れるでしょう エゴとスーパーエゴはどちらも ヴィシュディから上昇します そしてアギヤ チャクラで 後退します しかしヴィシュディに 吸収されなければなりません ヨゲシュワラの最も偉大な特質は 全く関わらない 完全に執着しないことです 彼が食べ物を口にすれば 食べていません しゃべれば しゃべっていません 見れば 見ていません 聞けば 聞いていません 彼には何の影響もありません 反応も行動もありません いずれにしろ 彼は完全です 16の花弁は 完全な月です 月の16日目は プルニマです このように自分自身において 完全でないといけません 自分に完全に 自信がなければなりません しかし自信を エゴによるものと 混乱してはいけません 自信は完全な叡智です 完全なダルマ 完全な愛 完全な美 完全な神です そうでなければなりません ギ-タの“全てのダルマを断念し 私に帰依しなさい”の意味は “心配事全てを断念して 私と一つになりなさい” “そうすれば あなたの面倒をみます” シュリ クリシュナに 責任を委ねなさい あなたを通して 完全な統轄した神聖が現れます 自分に責任がある と言うのであれば “良いでしょう やってみなさい”と彼は言います しかし “貴方に責任があります” “私は貴方の手の道具にすぎません” と言えば それを大変良く現せます そのようにして

あなたのヴィシュディ チャクラは開きます これは私が話した ヨゲシュワラの一部です 彼が私たちの内にある 脳なので 彼は私たちの脳になります 神聖な脳の特質全てが内にあると 知らなければなりません 私たちの脳で考える 策略や欺き 悪いこと全ては 神聖な目的のために 彼自身汚されることなく 彼によって為されています ポジティブとも言える 別の側面を見ると 政治や外交 リーダーシップのようなもの 将来への思案すら 彼によって為されています 計画や思考や管理など 全てです 全て戯れとして為されています 彼がマスターだからです “ストウラ ダーラ”と呼ばれ 劇における序幕をする方 パントマイムの糸を操る方です サハジャ ヨガのこの段階で理解すべき シュリ クリシュナのもう一つの事は 彼はこの時期に出現する ヴィラータ シャクティだということです 彼の時期のシュリ クリシュナの シャクティではありません 作用する力は もはやラーダやメアリではなく ヴィラタンガナです それ故 全ての聖人の知識よりも サハジャ ヨギの知識の方が 遥かに広いです しかし彼らより深い という意味ではありません 自分の知識を深められるなら この広い知識は 適切な根を育むでしょう 脳はルーツ(根)です 全生命の木の根があります 実際クンダリーニが上昇し まず脳に水を与えることで 全生命の木に神聖な至福や 神聖な知識が注がれます ワークアウトすべきこのヴィラータ シャクティは まず私たちに集合的意識を与えます 私たちは最初に 脳の力を通して理解します 全ての脳の力は ハートによって水を与え 導かれなければなりません サンスクリット語に 美しい言葉があります”シンチャン” 神の愛で吹きかけられる 露の雫のような意味です 脳の統轄はハートで そして肝臓で 行われなければなりません それによってのみ ヴィターラ シャクティが別の形をとります 殺す武器から 許す武器に変わります あらゆる破壊的力が 建設的なものに使われます 騙されたようにです これらのグルをいかに騙すかの トリックについてお話しました 彼らの力は 彼ら自身を騙すのに使われます 彼らの歯が彼らの喉に 向けられなければいけません 歯を取り除くのではなく 彼らの喉に向けます それができるなら 私たちに及ぼされる 影響はありません あなたがより力強く 巧みだからです ヴィラータ シャクティは今 その形をとっています 木のように 上に向かって育ちます しかし果実がなると 下に降ります まずその花自体で 木やその他の部分自体で 魅力的です 人はそのために 摘み取ろうとします しかし果実がなれば それを保存します 木も謙虚さで下に向きます 大変価値があります あなたは果実です ヴィラタンガナ シャクティである 果実です あなたは大変価値があるので 地上から神聖な力を滅ぼし 破壊しようとする者が これらの果実から 何か得るべきだと考え始めるほどです 今日ヴィラータ シャクティが あなたに偉大な価値を与えました 人はサハジャ ヨギが 一人でもいれば貴重に思います 例えば普通の人 が リアリゼーションを得て 彼の価値を高めるとします 彼がそれに見合うサハジャ ヨギなら 彼は価値において尊敬され 愛され 最も高次なものを与えられるでしょう 今日はそのヴィラータ シャクティを 理解すべきです 私たちは果実を与えてくれた ヴィラータ シャクティを崇拝します 結果 これらの異なる教会 熱狂主義 無神論主義 共産主義 全ての主義は中和されます それに恩恵を見るからです あなたはそれに ならなければなりません 大事なことは 母なる大地に頭を下げることです 謙虚であることです 完全に内から謙虚にいることは あなたにサハジャ ヨガの果実の 完全な価値を与えます 自分自身について自慢する サハジャ ヨギは 木になる腐っている 果実のようなものです 頭を下げた果実のみが 熟した良い果実として受け入れられます 自分は高みにいると主張する者は 良い果実ではありません これに乗じてネガティブな者は 自分は頭を下げていたので素晴らしいと 決して言うてはいけません 論理にかなってはいません 自分が謙虚だという振りをします 腐った果実でさえ頭を下げます しかし熟した果実は その重みによって 謙虚さを表します それはグルタトゥワの重みです あなたは 果実になるまでの成熟の力を ヴィラタンガナの力によって 授かります そして グルの原理によって 祝福されます より良い陽光や より良い水の供給などを欲する者は まだ成熟していません 果実はそれ以上 何も必要としません 母なる大地やその要素から 何も必要としません それは帰依し 頭を下げ 母なる大地に礼拝します ですからマザーに質問をし続ける 個人的な問題や 愚かな考え ネガティブティをもってくるサハジャ ヨギは まだ果実ではありません 成熟した者とは サレンダーする者 母なる大地に礼拝する者です ですから頭を下げられる能力は 自己を判断する最良の方法です あなたのために全ての仕事をする あなたのお母さんの重力に全てを委ねて あなたの些細な 小さな心配事を委ねて これらの破壊の力の上へ 上昇しなければなりません 完全なヴィラータ シャクティを 達成しなければなりません 最終的には “マドゥーラ シャクティ”となります “マドゥーラ”は英語にありませんが “優しい力”という意味です 果実が甘くなるようです そのようにあなたは 優しくならなければなりません クリシュナは優しさが 全てに及ぶようにしました 彼の全ての戯れや踊りや話を 読めば分かるように ゴパスやゴピス ヨギに対して マドゥラ シャクティが作用していました ヨギを喜ばせることによって お母さんを喜ばせなければなりません 他の者を喜ばせるのではありません 彼らは重要ではありません 今日のプージャは時間を短くします 短くするために 二階で時間をとりました 失われた時間は 永遠に得られる時間となります 神の祝福がありますように

1984-0714, Guru Puja, The State of Guru

View [online](#).

Guru Puja, Leysin (Switzerland), 14 July 1984.

世界中のサハジャヨギに 敬礼いたします グルプージャのために 皆がたくさん集まったのを見て とても嬉しく思います
グルを直接崇拝できることは 最高の恩恵とみなされます 私の場合はとても特別で 母でありながら グルでもあります
あなたはシュリ ガネーシャが いかに母を崇拝したかわかりますね あなた方も皆 シュリ ガネーシャと
同じように産まれたのですが 彼は母を敬い その後最初のグル アディグルになりました 彼こそがマスター（修得）
の本源です 母だけが 子供を達人にできます 男性であれ女性であれ グルの中の母性が 弟子を 指導者へと育てるのです
まずあなたは母性を 自身の中に育むことで預言者となり その上で他者をも 預言者にしていきます ではグルになるために
リアリゼーションの後に 何をなすべきでしょう グルとは 重力を意味します 重力とは 重く 深く 惹きつける人という意味です
御存知の通り サハジャ ヨガでは リアリゼーションは 全く努力なしに起こります 普通グルは弟子を 努力なしの状態
何もすることなく プラヤトゥナ シェティリヤとなり クンダリーニが上昇しました プラヤトゥナ シェティリヤ
「努力を緩める」ようにします そして第2の段階 ヴィチャラ シェティリヤ 無思考の状態があります これも何もせずに
得ることが出来ました 第3は思考の完全な否定 アパーヴァ 平穩の恵みです この3つの段階の必要性を 理解する必要があります
まず リアリゼーションを得るときは 当面全て自発的に得られます 誰かのクンダリーニを上げるのも 自然に起こります
今やあなたも 人々のクンダリーニを上げ 確立する力を持っています ですがヴィチャラ シェティリヤを
もってされるべきことを理解しなさい なぜなら 思考を投影すると リアリティではなく 人為的になるからです 思考は常に
あなたと現実の間に立ちます 努力をすることで体現することに 反することになります 例えば 私があなたを癒やすなら
手をかざせばそれで終わりです 私はそういう存在なので 努力がありません あなたがリアリゼーションを得たのも
私がそういう存在だからです 私は努力して考えたりしません 私はそうあるだけです 誰かを見るだけで そうなります
誰かに注意をするだけで そうなります 少し願うだけで そうなります あなたがそうだから 自分の好きなようにできます
金に例えることができます 金は錆びません 錆びないように考えることも 努力することもなく 錆びません なので
そうであるために 努力は要りません 努力がいるなら あなたはまだそれに なっていないということです 太陽も輝こうと
努力することもなく輝きます なので何かになろうと努力しているなら あなたは造りものです 花は美しいので
自らを飾る必要がありません 理解しなさい あなたの内面がそうであれば 努力する必要があるでしょうか ですが
私がそう言うとは 無為なグルになって 無気力でいればよいと 考えたりします だから段階があると はじめに言ったのです さて
初めの段階は シュリ ガネーシャで 母に帰依すること これが始まりです 帰依するというのは 何もしないことではなく
高次の存在を敬い 従うということです 反応したり 言い返したりせずに 受け入れるということです 母親の母乳を子どもが
無条件に吸収するようにです なのでキリストは 「子どもようであれ」と言いました しかし疑うのであれば
あなたは子どもではありません なのでまず第1には 子どものような意識を育てることです ですが 子どもが覚醒していて
重力を獲得するにはどうでしょう 子ども時代を確立してはじめて 成熟に向かいます 初めが肝心です 重力とは成熟で
軽薄さではありません ガネーシャの性質は ヴィヴェカ 分別です 彼は分別そのものです 分別を育て シュリ
ガネーシャにシュブッディ 智慧を授かりなさい このためにシュリ ガネーシャに 従う必要があるのです この段階では
努力を否定する必要があります 例えば ガネーシャ 純真に反することにはなんであれ それを否定するべきです
だから努力の否定は 否定する努力によって 達成されるということになります 初めはあなたは
努力なしになれないでしょうから そのための 努力が必要です 例えばキリストが 「不純な目を持たないように」
といましたが あなたの目は純真ですか サハジャ ヨガでは 目を汚すような努力から 関心をそらす方法があります
母なる大地に 草木に注意を置くなどです こうやって避けること自体は 努力です なので新しい人はあらゆる努力を
やめる努力が必要だと理解しなさい 例えば 放棄について語っても 快適な暮らしを求める人がいます そのような人は
快適な習慣から出て 母なる大地に寝るべきです キョロキョロと あちこちを見回す人もいます 注意を固定しなさい
すると徐々に自分が 鍛錬されてくるでしょう なのでサハジャ ヨガではまず 努力をすることが大切なのです 他には
西洋では皮肉やいやみのような 隠微な暴力がよくみられます ても鈍感で「自分は 自分は」と エゴ丸出しの人もいます
そういう人は喋らない努力をして 話すことを完全にやめることです 自分がいやみや無意味なことを
言っていないか監視しなさい この監視も 努力が必要です 発芽は簡単でも その後育てるのには 努力が必要なのです 成熟すれば
自分のものになります だからまず第一には エゴやスーパーエゴにより 間違った方向に努力しようとする
ところを守るための努力です でも分別をわきまえるように 気をつけなさい ほどほどが一番で 極端にならないようにしなさい
例えば音楽好きな人 彼らは 音楽だけを追求します 詩歌が好きな人は そればかりになります これらが悪いということでは

全くありませんが 自分がそこで得たものは コレクティブに還元されるべきだし 他の人の発見も あなたは楽しむべきです 例えば学があり ドライナ人は 優しくなるように 努力すべきです 中庸に戻ることで 極端な性質を中和するようにしなさい 「なんでも好きです」 というのが一番です 「置かれている状態が幸せです」と 自己暗示しなさい 「私は満足であり 品格です」 これらの徳や善を 自分に当てはめて 「自分に品位があるなら そんなことはできるか」と問いなさい こうやって自問して 自己を評価しなさい ケチな人が「寛容になりなさい」と 言っているとしてもそれは偽善ですが 自分がケチであることを自覚するなら 偽善者ではありません なので自分にあえて 価値や目標を当てはめ 努力してそうならうと 努めなさい すると自然に自己批判により 自分の欠点を知り 他者批判をしなくなります 他者の欠点を知って 何になるというのでしょうか イギリスでインドの状況を 良くしようとしたり インドがイギリスを 良くしようとするようなものです けれどもこれでさえ人の脳には 逃げ道があります 自己批判をするときに レフト ヴィシュッディに溜め込むことです ずる賢く 小賢しいほど レフト ヴィシュッディが悪くなります そして汚物を全部そこに 溜め込んで抱え込むのです 悪い主婦が家のゴミをある部屋に 詰め込んで溜め込みながら 「ああ、うまく片付いた」と 言うのと同じです それに向き合って正すことで あなたは力を得ます 自分の機械が ポンコツなのに 人の機械を良くしようとして どうするのですか その上機械が壊れたら ロッカーにしまって 「さあこれで大丈夫」というのです さもなくば自分以外の誰かを あれこれと責めるのです 有り難いことにあなた達は リアライゼーションを得たので 私が浄化する必要はなく 自分自身ですることが出来ます つまり 自分のグルになる ということです 自分を離れてみて言うのです 「こんにちは いかがですか いらっしゃい」 でもサハジャ ヨガには 無意味な工ゴで 自分が仙人とか 偉大なグルと思いたす人がいます そして「マザー 私はあなたを 愛していたから」といいます 私を愛すれば あとの浄化は私の責任と考えます それは グルの態度ではありません グルがすることは 自他を浄化して 神格に花を捧げることです あなた方皆が グルになるまでは 私があなたのグルですが あなたがグルになれば 私はあなたの神格になります 彼らがグルになるまでは 私が彼らのグルです 彼らがその意識に 達するまでです 彼らがグルになれば 私は彼らの神格です グルは皆 例えばムハンマドも 「神は偉大なり」と言いました 彼はグルだったので 聖霊や復活について語りました そして何を言うにしても 自身が導かれる源 そこを指して 完全な自信を持って言いました モーゼやキリストも 父なる神を指さしました なので自身のグルになるまでは まず努力が必要です すると次第に努力なく 達成できるようになります 努力しないことは証明できませんが 確かめることは出来ます 分別ある人の前では 他者も分別を弁えるものです 正直な人の前では 正直になります サンスクリットで 「ヤタ ラジャ タタ プラジャ」 王のように民がなる といわれます あなたがグルなら あなたはお手本です お手本になりなさい 指導者である立場の人間も 様々なようです 教授とか教師とか 彼らもスピリチュアルな グルでは無いけれどもグルです 彼らも非凡さのない凡庸な生活 をしていれば弟子の信頼を失います 政治家だって 好色だったり 弱点があれば 信頼や支持を失うでしょう 彼らも人格や価値観が 求められるのです ならばスピリチュアルな 指導者はどうでしょう 優秀な人たち であるべきです 内と外の生活の区別が あってははいけません 内と外がひとつになると 努力なしになるので そうなるべきです 内側から働きかけなさい 外を内には入れられません 内は外に出て行きます これがアンタル ヨガ 内なるヨガの始まりです 第2の段階では 無思考になるべきです 西洋人は 思考に生きているので 他の粗雑な問題はありませんが これが大切です 例えば法律を 恐れるように育てられます カーペットなど全てを キレイに保つように育てられます 物質的なものは 全てキレイに保たれます その分内面で 調節するので 外見は上品ですが 内面はキレイではありません 振る舞いも 眼差しも キレイではありません 内面に毒をもっていて たまに嫌味を言ったり 毒を吐くのを好みます それが他国への 悪意ある攻撃になって現れます 世界を 破壊しようとしていても イデオロギーのためなら 悪いとも思いません イデオロギーで高尚な話があれば 何だってできます この汚れは とても精巧です 風呂にも入らない人が 香水でごまかすようにです だからまず内面に 良い考えを持とうとすべきです ところを観察しなさい 他人を どう思っていますか 人種差別は この病の一つです 地位もあって 上品な服装の人が 肌の色が違ったり途上国の人に 一言多いのを見てきました サハジャ ヨギですら そうするのを見ました 私は他ならぬ サハジャ ヨギに話しているのです 急に死んだものが 生き返ってきます ところが汚れて 色情や食欲 怒りと嫉妬で一杯です だからとても 気をつけなければならないかもしれません 洗練された人は 弱みも洗練されているので 嫉妬が共通の病です 先日「なんでお父さんが息子や 兄弟に怒っているの?」と訊いたら 兄弟がその息子を 面倒見ていたと 普通のことで 自分の留守に息子を見てもらったら感謝するべきです でもその人には 独占欲があります そもそも人を不安にさせるから 自分も不安になり 独占しようとするのです 不安には 多くの原因がありますが 自分の醜さを 他人に見るというのがその一つです この内面の穢れをとるのが 外面よりもずっと大変です 単に威張りたいたから 人に指図する人もいます でも まず自分に 指図しましたか 自分を十分に 修めましたか あなたは自分の師ですか 自分を修めていない人は 人に命令しがります でも 自分を修めた人は 誰をも支配する必要がありません 師になります 努力することなく マスターします そして正すため マスターのための コツを沢山知っています 話すかもしれないし 何も言わないかもしれませんが やつてのけます 何もしていないのに 皆が教わることになります そして人は それを感じてわかります 腰の低い 素朴な人 かもしれませんが

それは大いなる幻 マハマヤです ですから力のある人は それを見せようとしません 反対に他人が 気づくようになります
なにも見せびらかす必要はないと わかってくるからです わかっている人がいるのです そんな人がいたら 見習いなさい
第3段階では サットグル である師につく努力です それがあなたが 従うべきことです サハジャ ヨギでも
表面的なことがあります あるサハジャ ヨギがショールを 特定の着方をしていました 彼を指導役として
別のヨギ達のところに派遣したら 皆が同じように ショールを着るようになりました 外見でなく 内面に従うべきです あなたは
グルになる時はなります あつという間になります 自分に向き合えば なるには もう少し足りないと分かるでしょう
こう話している 今でさえ 「マザーはあの人の話をしている」と 自分ではなく他人のことを考えています グルから吸収し
自分のものにするには 自分を観察することです 他人を預言者に しようとするなら まずは自分たちが
預言者になるのが大変重要です 更に高い段階では あなたのグルが神格になります グル ブランマ グル ヴィシュヌ グル デヴォ
マヘシュワラと言う時です そこまでは言っても グルが女神だとは言いません ブランマ ヴィシュヌ マヘシャ
よりも高い段階に行けます グルの状態とは ブランマ ヴィシュヌ マヘシャの イノセンスの力を持っています
しかしそこで「グル サクシャツ パラ ブランマ」と続きます パラ ブランマとは あなたに流れる母の力です
ですからあなたはパラブランマの 道具となりますがどうやってでしょう それは 自己になるだけでなく グルの状態から
神格を反映する状態になることです すると全てのエレメントを コントロールし始めます だからアディ グルの化身達は皆
エレメントをコントロールできたのです 彼らを通してブラマデヴァが 完全に現れています なのでガネーシャから
アディグルは生まれ ブランマ ヴィシュヌ マヘシャの 3者として顕現します 後にブラマデヴァ として4つの顔 ブランマ
ヴィシュヌ マヘシャと シュリ ガネーシャで現れます なのでブラマデヴァが グルのシンボルとなり
ガネーシャはチャトヴァリとして 常に4つの顕現になります そしてブラマデヴァになる段階で
全てのエレメントをコントロールします さて 今日は皆さんにグルパダ グルの状態を説明しようと思いました
ここで理解すべきなのは あなた達はとても幸運で 短い間に泥の中の何もない状態から 蓮の花になったということです
蓮は多くの昆虫を招き入れ 美しくします マドウカといわれ マドウ 蜜を選ぶもの という意味です 蜜を得ることで
自らが蓮になります 汚く汚れた池が 蓮で覆われます グルである蓮は より高く育ち 女神に捧げられます
彼女は蓮の美しい台座の 中心に居ます でも彼女をここに留めるには あなたにハートがなければいけません
グルの多くの性質 についてお話しました 12の全ての側面の最高の性質が グルの中に現れるべきです これらの性質を
有しているのがシヴァです なのでブランマ ヴィシュヌ マヘシャの中で マヘシャ つまりシヴァの本質が
あなたを通じて光るべきです ヴィシュヌの性質は ダルマで まずは良いバランスのために ダルミックになる努力が必要で
そして上昇します するとヴィラ-タに至り 他者にダルマ(徳)を 与えます このように一段一段理解が深まるので
偽善者になることはありません ですがあなたが現実になるので 現実があなた自身から示されます そうなります
だから自分の内なる現実を理解し 向き合い 解決しなさい ですが 大概「マザー私は違います
そうじゃありません」と人は言います 前に座って自分を 見せびらかす人も居ますが それが大切なわけでは ありません
大切なのは あなたがどれくらい 自己理解を得たか つまりセルフリアリゼーションなのです 一度それがわかると
表面ではなく真の意味で他人を理解し 完全に楽しめます ミツパチは造花に ひかれませんが 人間もミツパチのよう
になるべきです グルは自分がグルであると 宣言する必要がありません 今日はあなたを祝福します 私は12年の グル
プージャを終えたので あなた方も真のシヴァの力を 身に付けるべきです 私は 身も心も一身にあなた方の 浄化
成就に完全に寄与してきました 私の努力を どうか無駄にしないでください 自らを見て 助け 高みを目指し
自己を成就するのです 自己となった時に あなたはグルとなります グルとなれば あなたが ブラマデヴァ マヘシャ
ヴィシュヌになります あなた方はまず ガネーシャのように生まれ ブランマ ヴィシュヌ マヘシャとなります
けれどそれはあなたの覚悟 特に正直さと真摯さによります シュリ ガネーシャがあなたに 智慧を与えると良いのですが
シャクティはあなたが一生懸命働く力を シヴァが歓びを与えます サダシヴァが己れを確立できるように
あなたに歓びを与えるでしょう 神の祝福を

1984-0923, 1st Day of Navaratri, The Discipline

[View online.](#)

Navaratri Puja, London Hampstead (UK), 23 September 1984.

今日はナヴァラトリを お祝いできる そして このツアーを通して久しぶりに お互い会える素晴らしい日です イタリアでイギリスは 宇宙のハートであると言いましたが イタリア人は納得しませんでした 驚いていました イギリスが宇宙のハートだとはいえ 信じられなかったのです その理由に イギリス人にとってローマ人はかつてのイギリスの侵略者であり ローマ人にとってもイギリス人は 負けを認めない傲慢な者だったからです 負けても傲慢でした なのでイギリスが宇宙のハートだと 信じられなかったのです ハートであるなら 宇宙の状況はどうか そして私にもイギリス人の傲慢さについて 長々と説明しました 私もそう感じたことがありました 今 最も素晴らしいナヴァラトリを祝うのですから 特別なことがあるに 違いありません ハートを完全に 浄化しないと いけません 身体全体を流れる血が 浄化されるほど完全に浄化します ハートが最高の 器官なわけですから ハートの細胞も最高でないといけません 人間の身体の中で ハートの細胞が最高の細胞で 最高の資質を有し 最も敏感だからです ハートは響きのない音 アナハタを表します 度量の大きい者もいれば おしゃべりな者や 自慢好きな者もいて 度量の小さい者もいます この特別な国 イギリスに生まれたなら 器を大きくできるはずですが その可能性を 内で育まないといけません では何が欠けているのでしょうか 可能性を持ちながら 素晴らしい素質を持ちながら ここにいる利点がありながら なぜサハジャ ヨギが 長年に渡り高みに至らないのか 理由は何でしょう ハートは脈拍し 鼓動でもって動きます 心電図で 確認することができますし 系統だっています とても規則的で それ自身で修めています かすかな音や変化も 図で分かります 大変敏感です しかしここでは 修身が欠けています 常軌を逸した おかしなハートが 工ゴを膨れ上がらせています 何を話そうとも 別の解釈をします 何を言おうとも その時は真面目に聞いていますが 次の瞬間には効果がありません ですからこのことを よく理解しないと いけません その素質があるのに 修身が欠けています 修身がなければ 器は大きくなりません そのためには 内なる知性を持つことです 教育ではなく 内的な知性です 器を大きくする必要があると 理解させる知性です ここにスピリットが脈動しています 力ではなく スピリットです 目撃者であり 神の反映で デヴィの仕事の傍観者です しかしその高みに行かないで “私たちはスピリットなので 見ているだけです”と言うなら その器に 達することはできません 祝福を受けても ハートの七つのオーラのように 七つのアシュラムがあっても 自分自身を修める必要があると 理解しません ただ利点として捉え サハジャ ヨギにいてだけで ヨギであると断言するなら ハートの細胞である ということにはなりません 警告しなければいけません サハジャ ヨギが離陸しようとする この時に大切なことです スピードが増して 離陸しようとしています 残される者は残されます もはや傲慢ではられません まずあなたの人格が 皆が言うように傲慢なら 謙虚になるようにしなさい 地上に取り残されるのではなく 飛行機に乗らないといけなくと理解しなさい 速いスピードで動いています 最も幸運なことに 今日がナヴァラトリで ロンドンに私がいます ナヴァラトリ プージャが ここで行われるということです 他の国にこのような特権は 与えていません これはあなたが出席できる 最も崇高なプージャだからです なぜ私たちは ナヴァラトリをするのでしょうか ハートでナヴァラトリをするのは シャクティの力を受け入れるためです これらのチャクラに 力があると悟り これらが啓蒙されれば これら九つのチャクラの力を 現すことができると悟るためです 七つのチャクラに加え ハートと月で九つです これら七つとその上の もう二つのセンターと言えるでしょう 驚くことに ブレイクも 九つのセンターだと説明しました 上の二つについて 今は言えませんが 七つのセンターについて話しましょう 私たちはこれらのセンターの力を 内で育んでいるのでしょうか 時間もなく 忙しくして 傲慢でいるならどう育むのでしょうか この力を育むのに これらのチャクラに集中しないと いけません 行く先々で私に尋ねることや 彼らの様子には驚かされました 誰も自分の家族や家 仕事 失業などの つまらないことに触れませんでした 彼らはただ “このチャクラの力を育むには どうしたらよいですか”と尋ねました なぜ特定のチャクラについて 尋ねるのか聞くと “自分の中にこれが欠けていて 良くないため”と言いました リアライズ ソウルに 私があなたに 修身させることはできません 今日 厳しく言いたくはありませんが 今警告しなければ 後に私を責めるでしょう 重要な警告として 受け止めてください リアライゼーションのあと 私があなたを 修身させることはできません あなた方には光があるからです あなた方は リアライゼーションは何かを知り リアライズするとは どういうことか分かり どれほどのものを得て 自分の人格がどれほど 向上したかも分かっています でも それだけではいけません 自分を修められているか 見ないと いけません リーダーや他の者に 言われる必要は全くありません あなたはリアライズ ソウルなのです 自分自身のマスター グルです あなた方全員が偉大なグル サットグルです 自分は天使たちに祝福される敬意に値する 聖人だと想像してみてください それでいて傲慢に講義したり 傲慢に話したりしています 神格にとっても 恥ずべきことです 彼らはあなたにガーランドを贈るべきか

黙らせるべきか困っています あなたはリアリゼーションを与えられた すばらしい地位にいます
ただこのすばらしいヨガの美しさを 受け入れるだけです これら七つのチャクラにある あなた自身の力を啓蒙するだけです
まず最初のチャクラの力は ガウリの力です シュリ ガネーシャの母の力です 大変力強いです 彼女の力のおかげで
あなたはリアリゼーションを得ました あなたはその力を育むために 何をしましたか 今日がナヴァラトリの初日なので
何をしたか見るべきです 自分の中に その純真さを育てているか 人は話すとき 大変棘々しく話します 純真なら
なぜ棘々しくなれるでしょう 人は大変傲慢です 純真なら なぜ傲慢になれるでしょう 純真であるなら なぜ人を騙せるでしょう
なぜお互いを傷つけられるでしょう 純真であるなら ナンセンスなことはすべて無くなるはずだと
まず分からないといけません 純真であることを望むなら 純真でないものは 抜け落ちるはずで
無知な者であるなら分かります 純真を知らないでしょう しかしあなたは無知ではありません 知識が豊富です
啓蒙されています 純真の力は大変すばらしいです 完全に恐れのない者にします 傲慢ではなく恐れのない者です
純真である最もすばらしいことは 人に対して敬意を払えるということです あなたの中に 人への 他のサハジャ ヨギへの
敬意を育めないなら アシュラムに対する敬意や 自分を律していく上で 自分自身に敬意を育めないなら サハジャ
ヨガの話をすることさえ 無駄です それが基本だからです はじめは敬意を払えなかったり 傲慢であったり
愚かであっても仕方ありません しかし光を得たあとは 今まで握りしめていた蛇を 手放さなければいけません 簡単なことです
あなたの子供のような 資質によってのみ ガウリの祝福を得ることが出来ます 真に子供のようにでないといけません
さもないと無駄です 自分が賢いと思っているなら 何をあなたに言っても無駄です 全てを知っていると 思っているからです
最初の力を育むのに まず母なる大地に 座るようにしなさい 最初のチャクラは母なる大地でできているので
大地に敬意を払います 母なる大地でもって 自分を安定できるようにしなさい 木に花が咲いても
大地にそれほど敬意を払いませんが 実になれば 母なる大地に頭が垂れます 同じように サハジャ ヨガの果実を得たなら
頭が下がらないといけません 純真は人を大変平穩にする 特別な力があります 怒り 短気 攻撃性は 純真を前に存在できません
純真でないがために 悪賢いか攻撃的なのです ハートに平穩は訪れません 純真な者は波立ちません 純真に生き 完全な平穩と
調和の中ですべてを楽しみます 攻撃性は狡猾になると 出てきて 思考はこう考えます “自分は賢く相手は愚か者だ
相手に怒鳴る権利がある” しかし純真でない者は 決して賢くありません 切れ者のように見えるかもしれませんが
賢くはありません 叡智は純真であるときにあります どれほどの叡智が あなたにありますか それを見るべきです
純真の力が増すと 叡智が現れます 人は“この者は大変賢い” と言うでしょう 例えば 妻のことで 泣いている者がいれば
賢い者は“この者は妻のことで まだ振り回されている” 家のことで 泣いている者がいれば “まだ家のことで
振り回されている”と言うでしょう 彼らにきりがありません サハジャ ヨガについて 一時間講義をしなければと
エゴを膨らませる者を見受けます 一時間講義をしない限り 自分のエゴを発揮できないと思うのです しかし賢い者は
何か言ったり 話したりすることはありません もっと簡単に人に 彼の静寂や叡智を印象づけます
そのことを気付かないといけません 自分を修められているか あなたの成長は まだ初めの段階です
かなり成長しないといけません 人は利己的な気質でもって 自分は成長すべきだと 理解しません あなた方は
大きく成長しないといけません 成長れば この叡智は慈愛で芳しくなります あなたの叡智は 慈愛で芳しくなります
そのようなすばらしい慈愛が あなたの存在から放ち 近づく者は あなたの吉兆さを感じるでしょう リアリゼーションに 自己に
しかるべき敬意を払わないといけません そのためにすべきことは瞑想です ある者からヴァイブレーションのひどい
手紙を受け取りました なぜこんなにひどいのか尋ねると 自分には瞑想は必要ないと 言っていることがわかりました
彼は 14 番目の天国に達していて 瞑想は必要ないと 言い訳をするのは簡単ですが 誰に言い訳をするのでしょうか
自分に言い訳をすべきです 誰も聞きたくありません 自分にだけです 飛行機に乗り遅れるようなもので
すでに飛び立っていれば 誰に言い訳をしても仕方ありません なので言い訳するなら 自分自身にだけです 空や通路に向かって
“こんなことがあって 時間がなくて 渋滞で” と説明したところで 飛行機は飛び立っています 誰に説明するというのですか
ですから皆毎日 瞑想をしなければいけません 大変大事なことです 私のいない イギリス以外の国では皆しています
私がイギリスにいたので 皆さん 私がいることを当たり前のように思っています “マザーがすべてしている”
それなら私は 4 時に起きて あなた方のために 瞑想しなければいけません またそうしないといけません
瞑想の時間がないようなので せめて私があなたのためにしないといけません 皆さん毎日瞑想すると
私に約束しないといけません 朝起きなさい 世界中の皆が起きれるのですから イギリス人だってできます
ウォタルーの戦争では 一番でした 時間通りだったので 戦争に勝ちました その時間の正確さは 今はどうしたのでしょうか
私たちはお酒を飲みません 二日酔いもありません 夜更かしもしません では今日“毎朝起きて瞑想する”
と決断しないといけません そして瞑想中は他者でなく 自分に注意をおかなければいけません
どのチャクラがキャッチしているか どうすればいいか このナヴァラトリの日に 今日という初日に ガウリの力が内で
啓蒙されないといけません それは表れないといけません このすばらしさは 一度にお話できません 本源的なクンダリーニを
考えてみてください 母なる大地に作用し 宇宙に作用します 動物に 物質に 人間に作用します そして今

あなたに作用しています 彼女があなたの容姿を決めます どんな子供を授け どんな子供が あなたに必要なか決めます
彼女があなたに 輝かしい顔や目を与えます これらすべてを あなたのためにしていますが あなた自身の中にある
力はどうか どれほど現せていますか 本源的な力は 一生懸命働いていますが クンダリーニが覚醒されている
あなたの方はどうでしょう どれほど開きましたか クンダリーニは 真の望みに過ぎません 自身を完全に
成長させる真の望みです 真の望みであれば 他のことは重要ではありません 他のすべての望みは 二番手 三番手に下がります
最も重要な望みは 成長することです 誰のためでしょう 自分のためです それが全世界のために なっていきます 今日のサハジャ
ヨギは この宇宙の成長 人類の成長の尺度です あなたが大変重要な役割を 担っていることを理解していますか
世界が崩壊しそうな 重大な時期にです あなた方にはウィリアム ブレイクのような 偉大な聖人や この時期について語っている
偉大な人たちがいました 彼らが培い 伝統的に私たちが培ってきました 長年に渡る偉業がイギリスを
この状態まで上がらせました イギリスのサハジャ ヨギの立場が 大変重要であると気づいていますか なぜ自己を理解せず
叡智に欠け 傲慢で 大声で話せるのですか なぜ自分自身が弱く 傲慢でありながら すべてを仕切ろうと考えるのですか 今日
毎日瞑想している者が 何人かは数えませんが これだけは言えます 毎日瞑想しない者は 来年ここにはいないでしょう 確かです
毎日瞑想しないといけません 自らを修めなさい あなたは新しい展望にいます 新しいヴィジョンです
そのヴィジョンで見据えるなら それを知ったなら ただそこに立っていることは できません 動きなさい 皆 言っていますが
“マザー イギリスのヨギのために” “多くの時間を費やしています なぜですか” 彼らが偉いから 私が尽くしていると
大事なことは あなたがハートの国にいますので 他の国の者より あなた方を もっと浄化させなければいけません
しかし実際は違います 他の者は早く成長していて 彼らのヴァイブレーションや 感受性や理解に驚くほどです 皆
マスターしています ここではただ集まるだけで サハジャ ヨガを理解していないのに 講義したがりです 目上の者への
敬意がありません 年配者や若年者への 敬意がありません 人より早くリアリゼーションを得ているので 偉いと思う者もいます
キリストの言葉を 思い出すべきです “最初に来る者が最後になる” 自分は成長しないと いけないと理解しなさい
これらの力を現せるようにするのは あなた自身です あなたがどれくらい 理解できたか分かりませんが
ガウリの力を備える者は その場に足を踏み入れるや否や みんなのクンダリーニが上がります 讀めるからです
ガウリの力があれば あなたは際立ちます 目に純真な 欲のない 美しい 輝きがあるからです あなたが目を向けるところは
一瞥ですぐさま クンダリーニが上がります 癌や病気で苦しむ者は ガウリの力さえ育めば すぐさま治ります
あなたの悩みもすべて解決します ネガティブなものとはなくなり あらゆるネガティブなものを打ち負かす
美しく芳しい蓮のようになります ある者に感化されたので 自分も自己中心的になったり 自己中心的な者が他の者と話して
その者も同じようになるのは 感受性が高まったからではありません 神に対して感受性を 持たなければいけません
しかし私たちは良いものより 悪いものに感化されやすいです 良いものと同化する力 良いものを放出する力を
あなたは得ることができます それは 称賛することによってではなく あなたの挑戦心と すばらしい好奇心
あなたの飛躍でもって 得なければいけません しかし成長していません イギリスでも成長していません
中にはおかしなタグを着けた おかしな者がいます 彼らに注意すべきです 後で宣告してもかまいません ブラック
リストに載せるべきでしょう 最初はここでプージャを するつもりはありませんでした 大変悲しかったからです
ヴァイブレーションを見ると 様子を見ると イギリスでは人がまるで ピクニックをしているようだからです
あなたは私を常に夢中にさせ あなたの努力を ありがたく感じてきましたが 自身を省みるなら 自身の内をみるなら
一人ひとりが自分の内にある 真意をみるべきです あなた方は友達や婚約者 妻や夫のことを心配します
器の大きさはありません さらに小さくなる一方です よくありません 私の慈愛があなたをだめにしているなら
これ以上上げません あなたはこの国に生まれた 利点を持っています あなたは高みに 達することができます
それについて議論したり 考えたりすることによってではなく すばらしい力を備えることによってです
そしてコレクティブの恩恵に 気づかなければいけません きっと驚くでしょう 限らない恩恵を受けています
それなのになぜその力を 備えられないのでしょうか 何が問題なのでしょう コレクティブでないのなら
自分たち自身の間に問題があるなら そうさせない存在 エゴがあるということです このことを真に分かるようにしましょう
神の恩恵により 大事な時に生まれたという リアリゼーションを授かる 恩恵を賜っているという 私たちは成長しているという
深い理解を持つと誓いましょう しかし私たちは羽を広げるところか 切り落としています 些細なことを心配する
狭心者になってはいけません 何も重要ではありません 自分の前世において 様々な食べ物 旅行 結婚など
すでに時間を浪費しました 無意味なことを様々してきました もう終わっています 新たな事をしなさい
前世において幾度も結婚し 家も何件も持ち 快楽もありました もう終わりにしなさい これは特別な時です あなたが成長すべき
リタンバラの最高の時です この時に成長しないのなら もはや成長しません この利点を使いなさい サハジャ ヨガに
一意専心なさい 仕事を断念することではなく サハジャに専心するなら あなたはすべてにおいて専心します
しかし専心さがありません ミュンヘン行きも急遽決めました ウォレンが話したかわかりませんが
最後の瞬間に行くことを決めました ミュンヘンにひどい人がいると 伺っていました 彼女は大変傲慢だったのだ

ミュンヘン行きを考え直しましたが ヴァイブレーションを感じて 急遽行くことにしました 彼らは私のビザを取得するので 忙しくしていましたが いつものようにうまくいきました この短期間に 何百もの人が集まりました 彼らは大変な専心さで 子どもでさえ私の一言一言に 聞き入っていました 真珠がダイヤモンドを受け取るように 一言一言を書き記していました リアリゼーションを得ると 彼らは驚いていました ドイツ人がです あなた方イギリス人を超えています あなた方はどうなるでしょう 彼らは意志も強く 良いことをしようと思えば 多くを成し遂げるでしょう このようなではありません 私がホールを出ると 彼らはサハジャ ヨガのことを 話しながらまだ驚いていました でもここでは 私が出ていくなり 意味のないことを話し始めます 聞こえますし ヴィブレーションも分かります 専心さがありません 専心さを高めなければいけません これをシュラッタと言います 大変重要です 今年はサハジャ ヨガへの深い理解を あなた方は持てると思います しかし専心さが欠けています 過去において 何か間違いをして それに対して 執着しているのかもしれませんが でもあなたならできます 過去は忘れなさい サハジャ ヨガでは 過去は意味がありません あなたは全くの新しい者です ただ自身の精妙な仕組みを見なさい 私はあなた方に 懸命に働きかけてきました 自分を信じていない以外に 何もおかしいところはありません 自分を信じれない者は 常に傲慢です ですからまず あなたのスピリットに ハートに軸足を置きなさい おしゃべりしたり 自慢するのではなく あなたの力 内的な力を育みなさい 未だ多くの者が 取り憑かれています 恥ずかしいことですが 神の寺院にいながら 邪悪なものに取り憑かれている者もいます なぜでしょう 今も取り憑かれています なぜでしょう 専心さを持たなければいけません 自分は成長できないと思っていても 後々自身のすばらしさに 気づき驚くでしょう まずは自身を修めることです 修めなさい 中には食べすぎる者 おしゃべりが過ぎる者がいます あるいは全く話さなかったり 食べなかったり これでは 自分を修められていません より高次のスピリチュアルな 人生を望むなら スピリットにおいて 自分を修めることです そうすれば自然とできます スピリットに 支配してもらいなさい それは可能です 短い間しかいなかったのも 彼らの名前すら知りません しかしここでは皆さんを名前で ヴァイブレーションで分かります そして彼らは成長しています 今日素晴らしい日です もちろん これはすばらしい特権です 常にあなた方には特権があります 神の家にいるようです しかしある日この神の家が 完全に消えてしまうかもしれません あなた方は神のように 振まわないといけません ですから謙虚をお願いします どうか自分を修めることに対して 崇拜の念を持つようにしてください あれこれしなさいとは言いません あなたは何をすべきか分かっています もはや“わかっている” すべきだったのは知っている”とは言えません 知っているならなぜしないのですか その力は備わっています 今日 自分に対する 上昇に対する完全な自信で 十分な専心さで プージャに望みましょう そしてハートにおいて“私は自分自身を修める”と決断しましょう 神の祝福がありますように

1984-1123, Pre-Christmas Talk and Farewell Puja

[View online.](#)

Pre-Christmas Talk and Farewell Puja. Montague Hall Hounslow (UK), 23 November 1984.

昨日は 素晴らしい日でした 次元の 違うことについて 話しました これまで 世俗的なことについて 話してきましたが 時には そのことがとても 大切です しかし 昨日話した時に あなた方は サハジャ ヨガの 精妙な理解の領域に 飛躍しなければならないと 悟ったことでしょう まず私たちは 家族や我が子 家事 結婚について 心配します 次から次に このような心配をし 些細なことについて 気がかりになります 次に アシラムについて 心配します アシラムの問題についてです 私たちが何をしてきたか どのように問題に取り組んできたか 何が問題を 引き起こしているか考えます こうして人間は 精妙な理解を 持ち始めます それから私たちは 神の寵愛を 受けていること いつも私たちを見ている 偉大な存在に気づきます 何か崇高な力 私たちに特別な注意が 向けられていると悟ります 今日私は 神に助けられている という事実を 私達がいかに 悟り始めたか 説明しました 全ての問題は ある種の原因の結果です あらゆる問題が そうです 例えば モナが書いた手紙によると 高速道路を 運転しているとき 自動車が コントロールを失い ブレーキが 効かなくなりました そして車が 左右から接近し 前後にも 接近していました もう一人ヨギが 同乗していて 2人とも もう終わりだと思いました 原因は車が あるいは ブレーキが機械の 何らかの故障で 結果が すべての問題です ではどうしたら その問題を 乗り越えられるでしょう 結果を無効にしたいでも できません 原因を進展させようとも うまくいきません ではどうしますか 最も簡単なことは 原因を超えることです 原因の上に 超越することです すると原因が 存在しなくなり 結果もなくなります 原因があなたの注意にある限り 結果もあります 彼女は どうしたでしょう ただ私に祈り 私のことを思いました “これが私の 最後のチャンスです” それだけです すると 原因が消えました それを 超越したからです 結果も消えました 彼女は とても驚きました ですから ただ原因から 高次に 上昇すればよいのです “妻がこうだ”とか “夫がこうだ” “家族がこうだ” “ヨギ達がこうだ”という あらゆる問題があります ただの結果です 何が原因でしょう あの人や この人であったりします これは 原因との関係です それを サレンダーしなさい あなたは そうする権利があります 才覚があります 出来ます 能力があります 資格があります しかし あなたはそうしません 忘れてしまうのです 原因を委ねてしまえば 結果はなくなるのです 大切なのは上昇することだと 心に留めて置くことです 原因を超えることは それを取り除く 最良の方法です 私は あなたと遊んでいます 原因があると “マザー 私に 仕事がありません” 仕事が見つかる と次に “仕事が大変だ” と言い 次に “妻をもつべきだ” と言います “妻に問題があり 離婚しなければならない・・・” “悪いのは自分の中に ブーツがあるからです” と言い ブーツを原因にします “このように振る舞うのは ブーツが中にいるから” それは他のせいに しているようなものです あなたがまず “ブーツとは何か ブーツとは誰か” “私はマザーを知っています” “貴方にブーツを任せます” と言うことによって それを超越できます それだけです でも非常事態に 置かれたいといけません その力があっても あなたはしないからです 非常事態にいれば 急速に解決します 非常事態でなければ モナのように使おうとしません もう1つの例は あるジャーナリストが 旅をしているとき 急にブレーキが 効かなくなりました 他にもう1人いました (そのもう1人が 私に話してくれました) 彼はサハジャ ヨギでした 彼はブレーキが 効いていないことに気づき 前から 大きなトラックが 後ろからは 別のトラックが迫ってきました 曲がる道も 抜ける道もなく ブレーキはひどいものでした それほどの 非常事態だったので “ああ 神よ 最後の瞬間が来ました もう終わりです” 前後からトラックが 近づいてきて もう少しで 死ぬところでした そして友人に “マザーを思いなさい” と言いました すると トラックを背後に残し 路上をゆっくり進んでいました ブレーキは効いていました 非常事態でないといけなかったのです 人間は追い込まれなければ 決してそうしないでしょう いったん追い込まれると そうするのです これが人々が 禁欲的な生活をする理由です 禁欲的なら 追い込まれるからです 禁欲者は自分に非常事態をつくり 神を思うためにゴビ砂漠に行きます しかし 砂漠での修業は 時代遅れです 彼らはそこから抜け出るために 追い込まれる状態です サハジャ ヨギは賢ければ そのようなことをする必要はありません しかし どうやってそこに 到達するのでしょうか 瞑想が 唯一の方法です 皆 瞑想しなければ なりません 瞑想しなくても 暫くは続くかもしれませんが 数か月もしくは2年間は 大丈夫かもしれませんが その後去ります 多くの人が “何のために瞑想するのか” “瞑想がなくても構わない” と考えますが違います 瞑想によってのみ 成長するからです 非常事態において 急速に成長します びっくり箱のように バネで跳ね上がります しかし 継続的な 成長を望むなら 瞑想しなければなりません 思考を 次々と浮かばせ 鎮めなさい 思考のない 意識状態になります その思考のない状態のときに 成長します 結果の原因に 囚われないときに成長します 原因がなければ 結果もありません 問題は たいいてい 瞑想しないということです 最終地点に来た時に 落ちるしかなかった時に それを考えます おそらくその瞬間は 助けられるでしょうが 成長しません 瞑想によってのみ 成長します それが 重要な点の一つで 普段から瞑想する者に 真の助けをもたらします 通常の生活において

酸素がなければ 成長できません 酸素や食事は 不可欠です スピリチュアリティにおいては 瞑想で成長します それ以外ありません 瞑想なしに成長できると 思うことは傲慢なことで 実際 傲慢です サハジャについて 語れるからです そのような人を見てきました 大胆な講演ができて バイブレーションがありません 何の役にも立ちません コレクティブの意識がありません 様々な問題を 抱えています 成長は瞑想を通して 得なければなりません これはその一部です 崇拜であり プージャであるといえます 何も諦める 必要はありません ただ執着をなくし 原因自体から 離れればいいのです これはその一部なのです 第二にこれは 感情的な束縛に 精妙な側面をもたらします 感情的な束縛は 帰属意識を与えます キリスト教徒 ヒンドゥー教徒 イスラム教徒 イギリス人や あらゆる人種 何と名付けようと 全て払い落されます 執着のない人格を 手に入れるからです このような束縛“私の兄弟です 姉妹です”“妻が心配です”“子供が心配です”あなたを 小さな人格にする 感情的な束縛は 払い落され 一つの感情的な 束縛を持ちます “私は慈悲において 成長します” “慈悲は働きかけられ 効果的です” “私は慈悲をしっかりとっています 私の慈悲はこの分別です” “私はヨギです” そして次に あなたは サハジャ ヨガの本を読みます サハジャ ヨガについて 知ります サハジャ ヨガの テクニックを知ります クンダリーニを上げます チャクラをきれいにします マントラについて 理解しようとし マントラについて 精通します 神格について精通します 彼らを喜ばせます これら全てが 適切にされた時 あなたの精神的な束縛が 払い落されます 偉大な科学者は これが科学でないこと知るでしょう 神の技法の学問は 遥かに上回ります 本を多く読んできた人は サハジャ ヨガについて読むと 自身で体験し 理解します 今まで読んできたものは 全て馬鹿げたもので 意味もなく空虚であると知るでしょう こうしてある種の 虚無感が襲って来ます エゴの虚無感です 知識の偉大さを知るからです ニュートンは言いました “知識は大海のようだ そして私は 浜辺で小石を拾っている子供のようだ” なんていう 理解力でしょうか あなたの 空白感が入ってきます そして本当の知識が 入ってくるでしょう 真の知識への認識が できます 話せば言葉に 効果があります それはマントラです 軽率に喋りません “私はヨギです 15年間しています” 何の意味もありません 百年していても 口バガ口バであり続けるように 全く変わりません 一年しか していなかったとしても 口バから人間へ そしてヨギへとなることもできます まず初めに 私たちが お母さんに 感情的に執着することで 自分自身を再度 条件付けしなければいけません あなた方は 世界中にいた他のヨギより 利点があります 彼らはお手本が ありませんでした 根源的な母について 知っていましたが 形がありませんでした あなたにはあります 恵まれていて 幸運です 抽象的なものを崇拜するより 形があった方が良いです でなければ どうやって 絶対的意識を崇拜しますか その執着は 私に何か与える ということではありません 与えられるものは ありません ただ原因から 自由になればいいのです うまくいきます あなたは体験しています “どうにか解決しました” と言うでしょう バンダンとは何でしょうか あなたがお母さんと 繋がるということです これは お母さんへの電話です それだけです そして私はあなたに “バンダンします”と言って遊びます 自分自身に バンダンしています 電話です ただの電話です 真の信じる気持ちと 感情的なものに 執着しないでいられます “私の母が・・・” 彼女にバンダンしなさい “私の父が・・・” バンダンしなさい “私の兄が・・・” バンダンしなさい 何であろうと バンダンしなさい あなたはお母さんの保護下に 悩みを置いています 自覚はないでしょう 手を通してお母さんの愛と 彼らを結び付けています このバイブレーションは お母さんの愛です あなたを通して 流れています では あなたのお母さんへの 愛はどうでしょう 完全な非常事態の時は サレンダーをし 作用しています 非常事態を作る 必要はありませんが ゆっくり確実に 解決しなければなりません あなたの中で 自然に確立していきます 内に力を持つでしょう 保障します 瞑想は一つの方法で もう一つはサハジャの知識です 他人に話すのではなく 自分で解決していくことです チャクラがどう作用しているか 自身に働きかけなさい 他人を悟そうとするのは あなたのブーツです 自分のために 自分の内で学んでいくべきです 誰がどのチャクラを 精通したか知っています “こうすべきだ”と他人に 言うことではありません それは完全な 意味のないエゴです してはいけません 聞かれれば 個人的に 話すことはできますが 大勢の前で講義をして 人を 混乱させてはいけません 克服すべきことが 二つあります 感情的に 精妙でない部分と 精神的に 精妙でない部分です 肉体的に 精妙でない部分も同じです 肉体的に 精妙でない部分は 唯一の薬である バイブレーションに 自身をサレンダーすれば 克服できます 孫のアヌバマが 母親に言いました “お母さんはアロパシーで生まれ ホメオパシーを治療法とし” “明日はジャンボパシーに従い その次はナンボパシーをするでしょう” “でもー” “私は神に生まれ 神パシーだけに従います” “そしたら神は私の面倒を見てくれ 私を治します” 娘は言いました “あなたも 変わるかもしれない” 孫は “神は決して変わらない” 単純な答えです 神は あなたを癒すでしょう でもそれを言うには 非常事態の時ぐらいに 上昇していなければなりません 強い気持ちと人格を 持ち合わせていないといけません “神様 助けてください” とだけ言うなら あなたが神のために時間がないように 神もあなたに時間がありません 単純なことです 崇高なことから 平凡なことまで 効果があります ランプであろうと その灯やオイルであろうと 原因を超越して 効果を得るなら あなたは 精妙なレベルにいます あなたは 原因を超越するので 何に対しても 原因をつくりだすことはありません ただその効果を見ます 一度 原因が消えれば その効果は表れます 得るべきもの 正しいものを得られます 最悪なことが 起こるわけではありませんが 原因にこだわれば 起こるでしょう 最良なのは 原因に執着しないことです そうすれば 効果が出てきます 車のブレーキのように 効果があります 車は大丈夫でした 全てが大丈夫で 効果がありました 原因は なくなったわけですから なぜ どうやって どのように全て

上手くいったのでしょうか その効果を尋ねても 説明できません 原因はもうないので 原因を挙げられません 神の業が働いたと言うでしょう 本当に効力のある 唯一の原因というものは 神聖です しかし 神聖を世俗的な 観点でみてはいけません “お母さんの写真があります” “礼拝しました 満足です お母さん おはようございます” そのやり方ではいけません お母さんを知らなければなりません 愛さなくてはなりません それだけのことです 私を愛さなければいけないというのは気恥ずかしいものです しかし 母として 多くの気恥ずかしいことが ありました そのうちの1つが これです 子どもたちに どう言っていかわかりません 事実です 非常事態や そのような問題を経る必要はありません 自然に働きかけられて 上手くいってしまうくらい 成長できるように 自分自身を 高めるだけです 例をあげましょう 驚くことに最も働きかけた イギリスが一番上手いきません 単純な 例を挙げましょう 数か月前 あなた達がインドに来ると決められました 私は今度で 2度目の帰国ですが イギリス人が唯一その場で 払わなければいけませんでしたでもまだ払っていません オーストラリア人は 払いました 80人くらいいましたが 払いました イギリス人はまだです 全てが遅いです エゴに関しては一番です 国旗も一番に来ます エゴはどこで発生したのでしょうか 偉大なるイギリスです 何か始める時 彼らは最も遅く 批判に関しては最も優れています 彼らに地位を与えると エゴが突然みえてきます なぜでしょう 原因があるので 説明できます あなたは言うでしょう “それは情性で” “誰かのせいで ブーツのせいで” “エゴやスーパーエゴのせいで” “私ではありません 私は大丈夫です” なんらかの原因です なぜ今まで 払わなかったのですか 大きな問題です 私は 行かなければいけません 来ないなら 来るべきではなかったのです 払うべきなら 払った方がいいのです どうしたというのですか 行く者が50人から 35人になりました 準備もし 色々注文もしました バスの手配もです でも彼らはいません 誰も強制していません 逆に“少人数で行きましょう” と言いました 350人以下は無理ですとか 300人は大丈夫 200人は大丈夫 210人では無理・・・ どこに泊まるというのでしょうか 世俗的な視点です 他の国はどうでしょう “ともかく行きましょう お母さんがうまくやります” すべてが 上手く行きました 驚いたことにアメリカ人がそれを成し遂げました しかしイギリス人は 行くかどうかさえ 分かりまん まだ何人かいます かわいそうなギャヴィンは走りまわりました 彼こそ 忍耐強い人です 私は11人がまだ払っていないことに 驚いています 信じられますか とても単純なことです 行きたい者が 行けばいいのです 行くか行かないか ただ彼に言えばいいのです 誰もあなたを期待してません こんな些細なことも 出来ないのです “これが起きたから”とか “あれが起きたから”とか・・・ イギリス人はもっと 上昇すべきです あなた方のために 頑張ったのですから 神はさらに5年の 歳月を私に与えました 時折戻るべきではない と感じます というのも 意味がないからです これは とても小さな例です 世俗的なことです これは他の場所でも 見られます 彼らに何か言うと “でもマザー なぜこのような ことが起きたのですか” “なぜ私はこのようにしたのですか”と質問します 原因を聞きます “なぜ私がそのように 振るまったのか” “短気を起こしたのか” サハジャに長く来ていて 実践していながら 他のシュタイナーの ところへ行き 次に他のところに 参加している人を知っています 彼らは私やサハジャ ヨガを 信じていません 狂ったようにあれこれ実践して それを続けています イギリスでのみできることです 特異なことです サハジャ ヨガを 実践せずに サハジャ ヨガに来て 治癒して 助けられた人を 多く知っています それでいて 他のことをします これでいいのでしょうか リーダーを 責める人が多くいます ここに来た時 具合が悪くなってしまいました 8日間具合が悪く その後も大変でした あなた方は私の体の中にいるので 私は苦しみます リーダーが悪いと 言いだし “リーダーは強くあるべきで 手腕を持つべき” “さもないと大変になる”と またしても原因そしてまた原因 あなた方には素晴らしいリーダー ギャヴィンがいます 彼こそ多くのお金を 費やしました 彼の事務所も 私たちのために働きました どうしようもない人達を 受け入れました “この人はエゴが大きいです” といえば彼は雇います “この人にブーツがいます” といえば雇います 私が1日でさえ扱いきれないような ブーツと一緒に働きました 彼はその人の所へ行き “一緒にやろう”と声をかけ 自身の感覚と理解で 多くを救いました しかし率直に人を リードしませんでした 正直に言うべきです “あなたはブーツです 治しなさい 大丈夫です” “ブーツでも構いません レモンやチリがあります 座りなさい” “マザー 彼は自身を最大のブーツと 同一化しています”と言うなら それと向き合いましょう あなたにリーダーの理解があるなら あなたよりも私は解っている と思うべきでしょう これは時折 悲しいことです 人の良さをなぜ理解できないのでしょうか 彼が耐えてきたブーツの量は 私は1日でも耐えられません 中には大変エゴが強く 彼らが私の家の階下に降りてくれば 私のお腹が痛くなる程 邪悪です でも彼は耐えます その必要は何でしょう 彼はただ助けようと思っただけです この人は邪悪であると言う度 ギャヴィンによって雇われます ある日 首にするよう 言わないといけませんでした そして彼らは 首にされました なぜイギリスに 最大量のブーツがいるのでしょうか 彼らを近くに置く 必要があるのでしょうか 私が発つ日に する話ではありませんが 私が行くと ブーツが戻ってくるようですそれが原因となり 結果が出ます あなたがこの偉大な国に生まれて 至高の高さまで上昇できることを 明白なビジョンとして あなたに与えなければいけません しかし ひどく 落ちることもできます それを見てきました あなたは常に誰かのせいにするからです 例えば ギャヴィンに対してです これはあなたがした 最悪のことでしょう それを グレゴアに言えば 彼はその人を 10回細かく 切り刻み その状態で 私のところに 連れてくるでしょう 本当です 彼は言うでしょう“なんと馬鹿げた話 それならやってみなさい” ワーレンに言えば オーストラリア人の

気質で何をするか分かりません　彼らは素晴らしいです　でも　あなた達にはギャヴィン　のような人が相応しいです
彼らは私が大いに　働きかけた特別な人です　でも驚きました　まともな者は　そのような　リーダーは必要ないのです
驚くことにまともな人は　今のオーストラリア人のようです　私に対しての振る舞い方が　大変愛情に満ちています
ギャヴィンは私のために　良いカップとソーサーを買いました　私にそれで紅茶を　入れようと思ったからです　そこで彼は
全てのセンターに買いました　彼ら子供達が　お金を集めました　“ケーキを食べるでしょうから　お皿を用意します”　彼らは
小切手を送りました　なんて優しいのでしょうか　でも知っての通り　私はケーキを食べません　それでも優しい子供達は
用意してくれました　理由はなんでしょう　なぜ私たちは　支配したりされたりするのでしょうか　また原因があります
超えないといけません　私が次に来る時　また間違いを起こさないよう　祝福します　瞑想しなさい　瞑想しなさい　あなたが
インドに来た時　私が働きかけた人達を　みてもらいたいのです　私が訪れたことのない場所でも
誰かがリアリゼーションを与えています　彼らは　素晴らしい花です　ここでは　私が　間違っているのでしょうか　私が一生懸命
働きかけた場所で　人々は原因について　より心配しています　あなたにとっても正直に　言わなければいけません　自分自身の中で
成長しなさい　あなたは寛大ですか？

体系立ってますか？　好印象を与えていますか？　親切ですか？　コレクティブですか？　意味のないことに
まだ執着していませんか？　自慢していませんか？　偉そうに　講義をしていませんか？　謙虚になりなさい　あなたの偉大さが
見えてきます　頭をハートまで下ろさないで　どうやってあなたのお母さんを見れますか？　幸運を祈ります
そして良いクリスマスを　良い新年を　スピリチュアルな成長の　素晴らしい新年となりますように　今日　それを決断しましょう
妻や夫や子供　他の無意味なことを忘れましょう　あなたはヨギです　神聖と繋がっています　成長しなさい　繁栄しなさい
神の祝福が　ありますように

1985-0505, サハスララ プージャ、ニラナンダ / サハスララ プージャ

View [online](#).

1985年5月5日、ウィーン（オーストリア）今日は オーストリア女王によって造られた この美しい場所に集い サハスララ プージャを行います サハスララの領域に入った者だけが このプージャをする権利を持ちます それまでは誰もサハスララについて語らず プージャもしたことがありません あなたがサハスララの領域にいて プージャができることは光栄なことです あなたは選ばれて その権利を持っています ヴィラータのサハスララに入ることは特権で 脳内のサハスララの 細胞として存在します サハスララの細胞には どんな性質があるでしょう これらはスワディスタナによって 特別に造られた細胞です 全てのチャクラを通りぬけ サハスララに至りますが 他の要素に影響されずに 脳の活動に影響を及ぼすことができます 同じように サハジャ ヨギ達も 宇宙の他の細胞である 他人の影響を受けないようになります サハスララにいるサハジャ ヨギはまず 超越“アティートゥ”していきます 多くのことを超えます 例えば“カラティートゥ” 時間を超越します 時間が彼に隷属します どこかに行くにしても 自分が全てに間に合うことが急に分かります 例えば電車に乗るのが 遅れそうになっても 電車のほうが 遅れたりします あなたの都合のために 物事が動くように感じます 時間を超えます “カラティートゥ”です ダルマ（徳）も超えます “ダルマティートゥ”です あなた自身がダルマになる という意味です これをしるとか するとか 言われずともしなくなりますし すべき時には するようになります これらの人間のダルマを 超越するとき... 色情や貪欲などに 注意を奪われると 人間的な徳は 失われてしまいますが 注意が ダルマティートゥになります つまり注意がダルマを超越します 預言者が教えたように 注意をコントロールする必要があります 人間は最も低いレベルから 来たからです これらダルマが人間にはあって それらが害をなす場合は コントロールするすべが必要になります なのでダルマを積み上げ 低次の条件付けからくる性質を調節し コントロールするのです これが人間の偉大さで 低次の性質の更に上に 徳を作り上げたのです 例えば炭素は4つの原子価を持ち その性質通り活動するので それを6に 変えることはできません しかし人間はこれらの性質を 自ら確立することができ それが人間的な徳 “マヌダルマ”となります でも サハスララに至ると 注意がその性質を失うというか 徳や自製の 必要性がなくなります 訓練の必要がなく 自動的に訓練されます これがニルマラダルマの 最初のサインです 純粹で 注意が何にも囚われません 蓮の葉が 水面に浮くように こうしてカラティートゥ ダルマティートゥになり グナティートゥになります つまりライト レフト センターの 3つの気分を超えるのです まずレフトでは 注意が感情に囚われます 第2に身体や考えに 執着します 3つめはダルマへの囚われです 善くあろうとし サットヴィカとして 自他を鍛えようとします 色情や怒り 傲慢 うぬぼれ 虚栄心 強欲などを コントロールしようとし 全ての注意の 制限がなくなり あなたは完全な叡智を 備えた自由な人になります あなたの注意自体が ダルミックになります なので全てのグナはなくなり 訓練ではなく 自発的に 高潔な者“サットグニ”になります 自発的に 徳のある人になります そういった人はときに 理解し難いことがあります 例えばキリストは 教会の前で物を販売していた人を むち打ちしました 原理的には 怒りは望ましくないのですが グナを超えた怒りは分析を超えていて 自発的に起こるものです 女神は悪魔に怒り クリシュナはアルジュナに すでに死んでいるからと 敵の皆を滅ぼすように 言いました これらは超越しないと わからないことです この“アティートゥ” 超越意識が出現します 超越した者だけが コントロールできるのです そこに浸かっている者は コントロールできません 船を引っ張りあげるには あなたは陸にいます 必要があります 超越した者だけが それをすることができます そうやって超越することが “アティートゥ”です でも そういった人は 思考を超えているので 説明することもできません なぜソクラテスが毒を飲んだか 説明できません 何故キリストが 処刑されたかも 人間的理解を超えています あなたは人間的理解を超えた 振る舞いをするようになります 人から認められる必要がなくなります あなたの証明書は 低次の人間からでなく全能の神からきます でなければ犬が人間について あれこれ言うようなものです ここであなたは“ア”の意識に到達します “ない”という意味です ここでは人は考えません 思考のない意識です 貪欲さも 色情もありません “アシェシャ”といわれ 無の意味です 例えばあなたが“空”を作り出したいと どんなに努力しても 必ず何かが残ってしまい 完全な空は作れません 完全な空は作れないのですなのにその意識をもつと 完全な空になり ネガティブさや 攻撃性がなくなります 永遠の存在で 殺されることも害されることも 傷付けられることもありません だれかが怒ろうと 尊敬を向けようと 関係がありません 侮辱されてもされなくても 乱されません 賞賛されても エゴを楽しむ機能がないので おだてられません すると第3の意識に至り “ニヒ”の恩恵を 得ることになります サンスクリットでは私の名は “ニヒ”と“マラ”でニルマラになります “ニヒ”があります “ニ”の音は 揺れて“ニイ”になります もしくは“イ”がつくと “全くの”という意味です でも先の“ニヒ”は “ない”という意味で “ニラ”は “全くの”という意味です 例えばニラナンダ ニラトマは全くのアトマ 歓び以外の何物でもない という意味です でもこの“ニラ”と“ニヒ”は お伝えしたように2つの用法があります ひとつは“ない”とか “欠けている”です もう一つは“絶対の” “絶対”です

なのでニラナンダは絶対的喜び 完全な自由となります あなたは 多くの喜びがあります 例えばスワナンダはスピリットの喜びです あとはブラマナンダは 豊かさの喜びです リーラナンダ クリシュナナンダは 遊びの喜びですがサハスララに至るとニラナンダで 全くの 絶対の喜びです “ニラ”とは私の名前ですが 絶対を意味しますなのでその接頭辞をつければ どんな言葉でも絶対になります このように あなたは絶対になります あなたが絶対の状態になると 自己以外の何かが入る 余地はありません 絶対とは何なのでしょう 相対ではなく 相対的な性質を持たないということです “アトゥルニヤ”といって 比較対象がないので比べられません 何かに関連付けられません絶対なのです 理解可能なものとは 関連がないので理解できません 絶対です 何かを 理解しようとすれば その絶対からそれてしまいます 絶対を分析しようとすれば 必ず違うものにたどり着きます これがサハスララで得ることで ニラナンダです サハジャ ヨガの段階によって 身体の喜びに始まり 魂の喜び そしてエゴの喜びを得ます しかし 今や ニラナンダの意識を確立する時です となれば何が 恐れの問題でしょう 何を話す 必要があるでしょう 話すことができません 何も関連がないからです これはこうですと 私は言えません 絶対を記述する 言葉はありません “これではない これではない”と否定していった 残りが絶対です このように 絶対に辿り着き そこには 絶対以外存在しない 完全な関係の場なのです それゆえサハスララ プージャを行うのです そこにこそ皆が 至ろうとすべきです それこそが上昇で 内面で確立される 必要があります ヒマラヤに行ったり 徹底したことは何も必要ありません 世俗にありながら 絶対になることができます “唯一のもの” “ケヴァラン”です “どうやって”はなく ただそうなるものです 花が果実になるように あなたの中にあります そうさせなさい 放棄することによってのみ そうなれます 放棄すれば 絶対を楽しむ状態の自分に 驚くでしょう これは絶対の愛 絶対の慈悲 絶対の力です 言葉が止まり 記述が止揚します 絶対になり 一体感をとおして それを感じるでしょう だれかが一緒にいないからといって 悩まないことです だれも要りません あなたは1なる存在で 絶対なのです そこで始めてあなたは 他者の絶対を楽しみ その最も良い姿以外は 目に入らなくなるのです 神のご加護がありますように

1985-0901, シュリ ヴィシュヌマーヤ プージャ、姉妹の力 /

[View online.](#)

シュリ ヴィシュヌマーヤ プージャ 1985年9月1日 イギリス ロンドン市、ウィンブルドン 今日の シュリ
クリシュナのシスターである ヴィシュヌマーヤのプージャですが 今までインターナショナルプージャには ありませんでした
神の愛のために 献身者が集まるなら 神でさえ規則を 破らないといけません ですから 行われることになりました せめて一回は
行われても良いでしょう あなた方の愛 そして献身ゆえに望まれ このプージャが 行われることになりました
そのような折りに私が 英国にいるのは自然の成り行きで このプージャを行うなら インドで行われたはずで
このプージャの神格である ヴィシュヌマーヤは その種を植えるには 西洋の国では容易ではないからで
すべてのシャクティは このようにプログラムされています まずシャクティとして お母さんがいます 本源的なお母さんです
彼女から三人のシャクティが生まれます マハカリ マハラクシュミ マハサラスワティです そして彼女達からも子どもが
生まれます 兄弟姉妹です 妻の力が創られる前に シスターの力が創られます ブランマ ヴィシュヌ マヘシャは
この三つのシャクティから生まれました そして彼らにはシスターがいて それぞれ結婚しています
例えばヴィシュヌのシスターは パルヴァティで シヴァと結婚しています この三種類の力が常にチャクラに
働いていることを理解するのは 大切なことです これらの三つの力の作用を 理解すれば ヴィシュヌマーヤの大切さを
理解できるでしょう ヴィシュヌマーヤは 家族におけるシスターの力です 女性は力であって 男性はこれら三つの力を現わす
動的な力です 男性の力が加わると これらの力は連携し 助け合います ヴィシュヌマーヤの力を 理解するのは大切です
お母さんの力は純真さを 守るためにあるからです 大切なことです 純真さを守るのはお母さんの力です
ヴィシュヌマーヤの力は あなたの純潔を守るためです 時にあなたは純潔や 純真とは何か理解しません
純真は行動しない力です 家の中の電気のように 私たちの内に純真があります つまり行動は 純潔を通して行われます
“私はこれを純真にやった” とは言えません 純真さからしたのであれば あなたの人格や純真さや徳深さを
傷つけることはないからです ですから“純真にやったのに” と言うのは間違いで 純真にしたなら それは純潔です
純真さで行われれば 純潔になります 自分の純潔に敬意を 払わないといけません 純潔は内にあるヴィシュヌマーヤの力
ガウリの力 純粋な処女です 結婚はしません ヴィシュヌマーヤは生まれてすぐ カンサに殺されました
内にある純潔を理解するには 純潔はすべてのダルマの礎であると 分かなければいけません 純潔感がない限り
ダルマは持てません ダルマの礎だからです 純潔がなければ 不安定なものでしかありません 純潔の礎がなければ
すぐさま崩れ落ちてしまいます 西洋では挑戦されていますが 純潔は大切なことです
この国で純潔の種を植えるのは難しくても そうならないといけません このプージャが行われるのですから
神聖な計らいがあるのでしょうか 容易いことではありません 純真な者 信心深い 人生を歩んできた者
純潔に敬意を払ってきた者によって 行われるべきです いまやあなたは聖人です 全てが純粋で善いものです
神聖な人生を歩んできたので 純潔が内で覚醒されました 純潔は内でガウリとして クンダリーニとして作用しています
サハジャ ヨガの徳ある 生き方の真髄は純潔です 多様化できません この純潔があなたにマリヤダを与えました
境界を定めました 純潔があなたに マリヤダを 境界を与えます どのように与えるでしょう 空にある雷のようです サハジャ
ヨギを二つの雲とすると 海から発生し 雲から純粋な水が 流れ出ないといけません 接近するとエゴが一線を超え 互いに争い
衝突すると 純潔である雷が起こります 雷が“あなたは間違っている なぜ互いのエゴを戦わせるのか”と言います
そのように注意するのが シスターの仕事です 昨日も大勢の シスターがいましたが シスターの仕事はどちらか一方の
味方をするものではありません 兄弟としての一線を超えれば 雷が落ちます さて雷の力は シュリ クリシュナの力の一部で
彼の一部分から取りました だから彼は大変優しく 温和な化身なのです 自分的一部分から取って
“私のシスターとなって人が不義を働く度に 正させないといけない”と言いました シュリ クリシュナが大変温和で
口マンチックな化身として言われているのは シスターの部分が 取り除かれたからです 彼女は常に彼と共にいて
役割を果たします 家族におけるシスターの役割は 兄弟が争わないようにし 面倒をみて 他から 挑発されないようにし
どこまで相手に踏み込むかの マリヤダを与えることです フロイトや たわ言を言う者が ヴィシュヌマーヤに挑戦するような
間違っただけの理論を打ち出したことは 間違いだと理解することは 大切なことです 兄妹間で そのような関係があるなら
七世代に渡って 家族がひどい病気に苦しむでしょう フロイトが言うような関係なら 14世代に渡って苦しみます
ヴィシュヌマーヤの制限する力は あなたのエゴやスーパーエゴ 家族をコントロールします 内に存在するヴィシュヌマーヤの
純粋な力に導かれ 全てが彼女の力の コントロール下にあります ですが悲しいことに 西洋諸国ではヴィシュヌマーヤが
完全に病んでいます 私の左耳が 聞こえなくなるほどです 純潔感が 完全に欠如しているからです 私たちは無分別の人のことは
忘れないといけません 私たちはサハジャ ヨギなのです 多くが“あの男性とは 良い交友がある”とか
“あの男性とは大変親しい”など おかしな考えを持ちます マリヤダがありません 男女間の交友はあり得ません ばかげています

西洋文化も おかしくなっています 夕食に招かれれば 両側に他人の旦那が座ります 東洋ではそれはありません
ヴィシュヌマーヤが 反対しているからです 彼女が夫婦を 一緒に座るようにさせます ここでは純潔が欠けていて
左のヴィシュディがキャッチしています それについて私が話せば 余計キャッチします あなたは実際 ヴィシュヌマーヤに
自分のシスターに罪悪感がないと 認めているのです 彼女はあなたに 罪悪感を持ってほしくありません
妻ならあなたに罪悪感を 持ってもらいたいかもしれません 自分の力が挑戦されている ライバルがいるとを感じるからです
しかしヴィシュヌマーヤは違います シスターはそうは言いません ブラザーとシスターは 決して友達ではありません
グループの中でも互いが 兄弟姉妹であると分かっています 特定の者や一人のシスターとだけ 親しくはしません ある時
キリスト教徒の 集まりがありました 中に少なくとも30人の従兄弟と 4,5人の兄弟がいました 様々なインド人の
キリスト教徒でした その中に愚かな者達がいて 私たち姉妹に絡んできました 自分にそんなに沢山の従兄弟が
いるとは知りませんでした 急に私たちのところに飛んできて 彼らをやり込めました 兄弟の多さに 改めて気づかされました
兄弟達や私たちは それぞれで話していて そんな中突然大勢の兄弟が 助けにきました シスターの純潔を守るために
飛んできました シスターが彼らの純潔の 基礎だからです いつも話す間柄ではありません 近くはなりません
困難な状況やマリヤダが必要な時 家族に助けが必要な時は シスターのところに行きます 最近 家族に問題が起こったので
弟から手紙をもらいました 母は丁度いませんでしたし 普通シスターの方が役に立つものです すぐ聞いてくれるからです
母親は家族全員の面倒で忙しいわけです なのでシスターの気持ちは とても大切です 私たちの左のヴィシュディが 悪いのは
自分達の純潔に 気にかけてこなかったからです 敬意がありませんでした インドでは違います 女性も男性も自分の純潔に
敬意を払います ある外国の若者に尋ねると 彼らは “間違っただけをしてくれているものの
何かが間違っていることには気づいていました” なぜか尋ねると “シスターの純潔を感じるからです”と
しかし今ではインド人の男性も あなた達のように 自分の純潔を守る力を 失っています 男性は自分の純潔に
敬意を払うべきです 純潔のお陰であることを 分かっていないからです スピリチュアルな存在の基礎がなければ
すぐさま崩壊するでしょう ですから母なる大地や緑に 注意を向けなさいと言っているのです 緑の色です
そこに注意を向けるなら 常にシスターや他人の妻 娘達を 見ることで犯している 不貞から救われます さて 娘やシスター
母の関係は 大変純粋なものです あなたが頭を使い過ぎれば なぜハートがキャッチするのかに繋がります 右側を使い過ぎれば
なぜハートがキャッチするのでしょうか ハートがキャッチする理由は 何でしょう これは理解すべきことです
シヴァとヴィシュヌの関係と同じです まずヴィシュヌの妻は、、、 シヴァのシスターは誰でしょう
シヴァのシスターはサラスワティです サラスワティにおいて働き過ぎると ハートがキャッチします マリヤダがあります
そのように結婚によって繋がる シスターの関係が あなたのチャクラの マリヤダを守るために働きます 度が過ぎれば
急に左や右に傾きます マリヤダを超えるからです このシスターとの関係は 他の化身にも存在します モハメッド
サイーブのシスターは アリの妻でしたが 彼女は彼の 娘として生まれました 娘としてもシスターとしても
生まれることができます 彼女はナナカのシスター ナナキとして生まれました モハメッド サイーブの娘としてもです
それが化身のシスターでも 娘でもあり得ます 娘もシスターも純真で 真の純潔です 純潔の大切さを理解できない者に
法について説明しても無駄です 法の意味が マリヤダだからです それはヴィシュヌマーヤの力を 通して意味をなします
他人の物を盗むのは 良くないと言いますが 他人の人の所有物だからです でも誰がそれは間違っている と言うのでしょうか
もちろん警察はいますが 正しくないと言うのは誰でしょう 法律家でしょうか 無意識の中でその役目を果たすのが
ヴィシュヌマーヤです 何かを盗むや否や 罪悪感を感じるからです 法律にも“有罪” という言葉があります 罪悪感の左の
ヴィシュヌマーヤから来ます ですから純潔感を 持つことは大切です ですが人は分かれています 道徳的な純潔を持つ者は
物質的な純潔を持たないかもしれません 物質的な純潔を持つ者は 道徳的な純潔を持たないかもしれません
道徳的な純潔が生来のものなので まず最初に来ます 大切なことです あなたの道徳的な純潔が 完全に滋養されていれば 自動的に
物質的な純潔が出てきます その効果は同じです サハジャ ヨガで金を騙すのも 道徳的に騙すのも
ヴィシュディはキャッチします 全ての問題は 左のヴィシュディから始まります サハジャ ヨガの中で誰かが騙そうと
お金を騙し取ろうとするとします すぐさまその者の 左のヴィシュディがキャッチします キャッチすると
おかしい態度をとるようになります そのキャッチ全体が表れてきます 不道徳になっても 左のヴィシュディはキャッチします
すべての罪悪感の そこから来ます 何であれ母に口答えするのも 母に対して無礼です 多くの者がよく “マザー
それは違います”と言います 決して言うてはいけません 否定すれば左のヴィシュディが キャッチしてしまいます
ヴィシュヌマーヤの力が何であれ 否定することには我慢しません 多くの者がそれを習慣化していますが 言うてはいけません
一度左のヴィシュディがキャッチすれば 左全体のチャクラが弱くなるからです すべてのチャクラの基礎である
純潔が弱まるからです ですから左のヴィシュディの価値を 理解することは大切です
私達は左のヴィシュディをキャッチしても 大したことはないと考えます “左のヴィシュディね
つまり罪悪感があるということだ” 何をしたのか理解していません 限度を超えたので それが表れているです
ある種の徳を怠ったから 聖なる父母に対して間違ってしまった からだと理解していないのです 左のヴィシュディは

間違えや過ちや罪の印です サハジャ ヨギは左のヴィシュディを キャッチさせてはいけません 人は喫煙や様々なものを吸って問題を悪化させます インドではタマクと呼ばれる 葉タバコを吸います そして何も悪いとは思いませんが左のヴィシュディはキャッチします 左のヴィシュディは 自分の様々な問題の戸口です 何に対しても罪悪感を感じないよう気を付けないといけません その上大変悪循環です 例えば間違えを犯した者が いるとします その者がどう思おうと 私は直に間違っていることを伝えようとして もちろん分かってもらえるよう トリックをしますが 私の言おうとしていることが分からないのであれば “私の中にあなたをいさせることはできません” と言いサハジャ ヨギから出てもらいます サハジャ ヨギから出れば せめて私の頭痛はなくなります この負の力が働くと 人はそれに向き合うことをしません “私が間違っていたそれは間違いだった”といったように 間違いに向き合わず 言い訳をします 言い訳をすれば 左のヴィシュディがこぶのように大きくなります そうすると治すことも 浄化もできなくなります ですから人は“なぜ間違ったのか”と 言い訳をします 一度間違ったと言え 間違いを受け入れるだけです “次はその間違いはいらない すみません”と このすみませんという言葉は 西洋では曖昧です インド人のサハジャ ヨギにも “すみません”と言う者がいます 良いことにインド人は 決して罪悪感を感じませんし すみませんとも言いません 間違いを犯した後 自分は人間だということを理解すべきなのです 間違えるのは人間だからで 許すのは神聖です しかし間違えた事実を知らないといけません 言い訳をし続けるなら 神が全てを知っていることに 気づいていないのです 神に間違いを犯したと言われたなら やはり間違えたわけです それに対して“あれが理由で間違えてしまった”とは言えないはずです あなたにショックを与える 電気の力が働きます すると間違いに気づくのです ですから自分にショックを与えるような 機会を与えないことです ショックに至るような 振る舞いはしないことです もちろんお母さんの力は許しです サダシヴァの力は許しです ですからあなたがしていることをしばらくは続けさせてくれます しかしこれは間違っていると 教わっているはずです 例えば完全に自分の限界を超えるとは すると突然ヴィシュヌマーヤが現れ すべて暴露します サハジャ ヨギでは 暴露されます なのでこの力は大変助けになり 導いてくれ 向上させ 滋養され あなたを守りますが ある点までだと 理解しないと いけません さもないと 彼女があなたを暴露します あなたのその愚かな行いに 彼女は耐えられません ですからそれを続けるなら 暴露します 人の低劣な行いを あなたは知っているはずです 沢山の首相や社長を知っていますが 彼らが死ぬと暴露されます 誰もそのような者が 純潔であったとは言いません 国のリーダーの中には純潔な者が 僅かにいましたが 大変稀です 人生において権力を得れば 自由を得た 好きなことができる と考えるからです 純潔でもそうでなくとも 好きなことができます “自分には力があり 最高の地位にいる” という概念に負かされます そしてそれは その者にとって完全な 幻になり 純潔が大切だと忘れさせます 高い地位になればなるほど エゴを甘やかすものを 得るほど 左のヴィシュディが圧迫されます そのような者は 左のヴィシュディに逃げ込みます 心の奥底で無意識に 罪悪感を感じるからです 全てが左のヴィシュディに 罪悪感としてきます 罪悪感として左のヴィシュディにあると 状況は厳しいです 非常に敏感になるからです その者に何か言えば もっと罪悪感を感じます 正そうとすれば もっと悪くなります 左のヴィシュディをキャッチする者にとって良くない状況です またそのような者は 常に言い訳をします 右のヴィシュディなら 傲慢になりますが 左のヴィシュディは 口答えをし 全てに言い訳をする悪賢さを持ちます 言うことは何であれ “マザー違います こうです” そしてそこで終わらず 皮肉を加えます だから西洋の者は常に 率直に言わず皮肉的です 伝えるのが難しくても皮肉的に話さない限り 率直に言うのは愚かで 知性に欠けると考えます なので大変ひねくれた 話し方をします この話し方は左のヴィシュディの 問題から来ます あなたの左のヴィシュディが 良くならない限り 優しさや美しさや感謝できるものは得られません 左のヴィシュディに問題があれば 決して感謝できません 左のヴィシュディに苦しむ者は他人の良さを見れません エゴにとって問題が存在しないと いけないので“自分が一番だ”と考えます それは相手の方が秀でていることを 人に従わなければいけないことを 人から教えられることを 受け入れたくない歪んだエゴです 特に私と一緒にいる者は 左のヴィシュディがすぐキャッチします プロトコールに欠けるからです プロトコールに欠けると 左のヴィシュディにきます 私と一緒にいることはブッシングですが プロトコールに逸脱しないよう 最新の注意を払わなければいけません 馴れ合いになってはしゃいではいけません 中には度を越え 左のヴィシュディをキャッチします マザーに対する畏怖の念や 敬意を持つべきです それは左のヴィシュディによって 守られるものです これはシュリ ガネーシャの 隠れた力です シュリ ガネーシャの力は左のヴィシュディで 純潔として作用します ガネーシャの力は 左のヴィシュディを通して表されます ですからガネーシャを信じる者 純粋な純真さを信じる者は 毎日自分の振る舞いや行動において 純潔でないといけません ガネーシャは 純潔の花として表されます 神聖な法において 純潔がなければ どのように人は境界を持ち 正し 浄化し 進化できるでしょう 例えば育つ木に 限界がなければ 際限なく伸び放題で 收拾つきません ですから人をより高次にするには 制限が要ります 父がよく良い例を話してくれました 小麦が、、、 (邪魔しないでください) (出ていきたいなら出てください) (ただ人に迷惑は かけないでください) これも同じです 左のヴィシュディによる 動乱に過ぎません 目立ちたがったり 邪魔したり 圧力を与えたり 出しゃばる傲慢さは全て 左のヴィシュディが原因です

自分の左のヴィシュディに 打ち克ちたいのでそうするのです だからそれらが加わるのです
打ち克とうとすればするほど加わります 父の話してくれたことをお話しします 小麦があるとします
小麦を広げるとアテンションのように なくなってしまうです でも黄麻袋に入れると まとめることができます
高さも得ることができます 同じように純潔なしにアテンションを 散漫にすれば 広がってしまいます 制限がありません
形がありません しかし制限があれば あなたはより高くなれます スピリチュアルな人生において 高く上昇できます
あなたはスピリチュアルな 人生を望んでいるので 左のヴィシュディは正されないと いけないと理解すべきです
では左のヴィシュディは どのように正すのでしょうか 時折私はこれに対して うんざりすることがあります
キャッチしていることを伝えれば 余計ひどくなります 悪循環です それをどう治せるでしょう 向き合うことです
“何のために罪悪感を感じるのか 同じことを繰り返している” 自分に喝を入れるべきです なのにその代わりに
“マザー違います”と言い始めます 自分に言いなさい “自分が違うのだ” “私は今日も明日も明後日もしてしまう” もう止めなさい
この時点で止めなさい そうやってヴィシュヌマーヤの 力を働かせます ヴィシュヌマーヤの力は 中和されないとはいけません
あなたの間違いによってです その力を取り戻すなら ヴィシュヌマーヤ の力を使わなければいけません
自分にショックを与えることです そうすること によってのみ可能です あなたはヴィシュヌマーヤの見地で
それをしないとはいけません このプージャについて考えていました あなた方が私に このプージャをする際
私が何か言えばさらに あなたにヴィシュヌマーヤを創ります “私は罪深く感じる”とあなたは 簡単に処理できるからです
“自分は罰を受け 罪深い” と言います 陪審員に有罪を言われ 受け入れるようです でも罰はありません
ですが間違いを犯したのであれば 自分に罰を与えなさい 人には二通りの方法があって 一つは“私は断食する”
と言って自ら罰する者です しかし断食の習慣を持つ者は 逆に周りを困らせ攻撃的になります 人間は大変歪んでいます
歪んだナイフで自分を殺せます それでは自分を正せません 正すのであれば 適切な方法で 自分に向き合わないといけません
何か間違いを犯したなら 人はいつも自分が好むことをして 罰を与えます すみません間違えました
自分がいつも好むことをしてはいけません 正すにあたって ある者は庭や 花の手入れを好んでいるとします
間違いを犯したなら しばらくは花を見ないことです 花から目を遠ざけます ある者は 歌うのが好きだとします
間違いを犯したなら 歌うのをやめなさい そのようにして 自分にショックを与えます
ご存知のようにヴィシュヌマーヤは雷です 講義もそうでないといけません シュリ クリシュナのように 優しくてはいけません
強力です ヴィシュヌマーヤの力が神によって あなた達の内に目覚めますように 人間が持てる最も強力な 最も吉兆なものです
あなたは聖なる人格を持ちます 神のリアリゼーションを得る 方法の一つです 昨日 良いタイミングで
純潔を確立するための質問がありました バンダンやヴァイブレーションを もらうだけで去っては無意味です 朝から晩まで
自身を正しなさい 自身と向き合い 罪悪感を感じないことです そして新しいことを学びます あなたどうすればが向上するかを
教えるのは マザーでなくシスターです マザーに“違います” と言えるからです でもシスターにそのようなことを言えば
電気ショックです プラグに指を入れてみなさい 分かるでしょう 説明は要りません このような理解で 今日純潔を
感情における 精神における純潔を 確立するためにプージャをします 今までしてきたことや 過去は忘れなさい
過去を忘れることは大事なことです でないと言い訳できます “あれがあったから こうなった
私の父母がこうだったから・・・” 母も父も皆忘れなさい あなたは聖なる家族の一員です 聖人である皆とあなたは 共にいます
そしてこの法が 自動的に作用します あなたが誰と仲良くするかを 私が言う必要ありません 常に異性への関心を持つことは
純潔の印ではありません それどころか完全に馬鹿げていて あなたを愚かにします ある男性は女性の香水を 熟知しています
何のためでしょう 無意味なことに長けます 男性なら男性らしく生きなさい そして女性は純潔感を持たないとはいけません
女性は力だからです なぜ男性のように ならうとするのですか 男性の後ろにいる力なのです 女性は自分の純潔の
面倒をみないといけません その面でインドの女性は尊敬します 彼女達は謙虚で 彼女達から学ぶべきでしょう
もちろんそうでない者もいますが 謙虚さがあります ですが謙虚さを持たない 部類の者がいます それは化身です 残念ですが
私は謙虚さを持てません あなたが大事にできる資質のうちで 私が持てないものがあります 自分自身を
謙虚にすることはできません そうあるべきではないのです どの化身も謙虚ではありません 不可能です
なぜなら罪悪感がないからです 私は罪悪感を持つ者を多く ヴィシュディに入れてきて 浄化するのに 耳がブロックしています
あなたが罪悪感を 浄化できるなら開いてきます ですからどうか左のヴィシュディを 良い状態に保つようお願いします
罪悪感を感じてはいけません センターでいなさい 自身を見て向き合いなさい ショックを与え直しなさい
そのような者のみ上昇できます もう一つの方法は瞑想です 左手を写真に向け 手元に炎を灯し
大地に右手を置きワークアウトします 炎をかざしてバンダンすることで ワークアウトできます でも心からしないと
儀式的になります なのでまず精神面で向き合い これらの方法を使いなさい 感情面においても理解しなさい
感情に罪悪感を持つてはいけません 罪悪感を示すような言葉を 使わないことです 謙虚でいなさい 罪悪感を持つことと
謙虚でいることは違います 罪悪感を持つ者は ストレスを感じていたりしますが 謙虚な者は自由人です 自身の自由の中で
謙虚さを持っています 木に実が生って母なる大地に 頭を下げるのと同じです 海では周りのココナツの木が

海に向かって頭を下げます 海がその特性を与えたからです ココナッツの水は 海からきています
全ての木が海に対する謙虚さで 敬意を払います 同じように罪悪感を持たない者だけが 真に謙虚になれます
罪悪感を持つ者は皮肉や汚い言葉 口答えや言い訳で攻撃的だからです 謙虚な者は自由です 謙虚さ 親切心 穏やかさ
慈悲深さにおいても自由です そのようなサハジャ ヨギ でなくてははいけません 謙虚さで人に 感銘を与えられるようにです
謙虚さは何にも従属しません 純真さや謙虚さは 私が持ち合わせていない資質です 私は謙虚ではいられません
私を謙虚にさせることはできません してはいけません 私の振る舞いは謙虚でない とは誰も言えませんが 私は大変謙虚な者
のように演じます 謙虚な者を演じることができません 正直言って謙虚さはありません 慈愛は謙虚さとは違います
謙虚さは人間の資質で バクタのみが持てる特別な資質です バクタのみが持て 至福が注がれる 大変素晴らしい資質です
至福を与える側は謙虚になれません 何も受け取れないからです 謙虚である人間のみ得ることができ 受け取れます
受け取れない者は大変孤独です そのような者は 誰とも友好関係を持てません 与えなければいけないからです 孤独で
全てを自身で 向き合わないといけません 謙虚な者は互いに親切で 自分達の問題を分かち合えます 私はできません
あなたに解決法がないからです 私は自身の問題を 解決しなければはいけません ですから謙虚さが 明確に表現する助けとなり
皆と親密な関係を持たせ 困難を分かち合えます ですがあなたの謙虚さは 同情から来るものではないけません 謙虚さは
執着のない資質からきます 特定の者に 執着するものではありません 不必要に傲慢であったり
怒鳴ったりすることもない謙虚な生き方です インドでは牛は 大変謙虚な動物とされます ミルクを与え 全てを与えますが
誰にも攻撃はしません 謙虚さはあなたの守りです 時には謙虚な者を利用しようする 者もいますが構いません
謙虚さが失われない限り 全て大丈夫です ですが人は謙虚さを失います 人に困らされる時 人はレフト
ヴィシュディにきて謙虚さを失います 失ってはいけないものです 神聖と繋がりを持つなら 謙虚でないといけません
他に方法はありません 謙虚でなければ 良い関係は保てません 二つの資質であり プラグとソケットのようなものです
プラグはあくまでもプラグであって ソケットはソケットでないといけません 神聖から何かを得たいのであれば
謙虚であるべきです 傲慢さからは 攻撃性からは何も得ません “マザーを愛している”と思っても その愛は完全な謙虚さで
表されないといけません 私に近づける唯一の方法で 唯一の経路です 他にはありません 今日は大変高次の 段階までいきました
それは神のリアリゼーションの 始まりです あなた方は私と共に 加速しなければはいけません
神のリアリゼーションへと向かうのであれば まず純潔感や謙虚さを確立しなさい 神の祝福がありますように

1986-0713, Shri Kartikeya Puja

[View online.](#)

Shri Kartikeya Puja. Grosshartpenning, Munich (Germany), 13 July 1986.

遅くなってすみません このプージャがこのような 美しい場所で開催されるとは 思いませんでした ここにミケランジェロの美しい絵画があります あなた方を救い 助けたいという神の 父の願望が現れています そしてワークアウトしています ドイツでは 大変攻撃的な 出来事がありました 西洋の国中に 壊滅的な影響をもたらしました 価値観が崩れ 道徳観も乱れました 女性が 男性のように振る舞い 大勢の人が亡くなり 大変若い人々が 亡くなりました 彼らの望みも叶わず 生涯を戦争に捧げざる負えませんでした 熱波のようなものが襲い 精妙さを破壊しました 自然が憤怒すると 粗野なものだけを破壊しますが 人間が破壊し始めると 精妙なものでさえ破壊します 例えば 人の価値観や人格 純潔 純真さ 忍耐強さをです 戦争はより精妙なレベルで起こっています これらのことが 西洋の人々に破壊的な影響を もたらしたと理解すべきです ですから まずしなければならぬ 努力はそれを正すことです 再び自分の足で 立てるようにすることです 人々は 自分の人格や伝統 拠り所や根源を 失くしてしまったからです そして知的体験を 求めるようになりました 女性は大変自立し 問題は自分で解決できるし 男性のようになれると思い始めました そして問題は よりひどくなりました 女性は女性であるべきだからです 女性の中にも少しは 男性の面があるかもしれませんが 自分の特質を ないがしろにし わずかにある性質を 発達させればおかしくなってきます

すでに亡くなった沢山の男性に 取り憑かれているのかもしれませんが 男性のようになりたい という願望は 女性の精神に入りたがっている 沢山のブーツを惹きつけます 取り憑かれると 体裁は女性であっても その精神は悪魔です その邪悪さで世俗的に成功するので その女性は気づきません 暮らし向きが良かったり 人を支配できるかもしれませんが 男性のように注意深く 几帳面で 整然としているかもしれませんが 美しさ優しさはありません そのような女性は ついには 吸血鬼のようになります 戦争はすでに終わっていますが ドイツの女性に影響しています 以前アマゾニックと呼ばれる 女性達による攻撃について耳にしました 歴史がまた 繰り返されています この間ドイツ人の女性との インタビューがありました 彼女の態度に 驚かされました 内にナチスがいるようでした ナチスのブーツが取り憑いています 二重人格のように 一方ではやさしく話し もう一方では ナチスでした ファシストでした 大変狡猾な 話し口調です 言うことと言えば “私たちはインド人のような 虐げられた人々の味方です” “インド人はアーリア人です 私たちもアーリア人です” “私たちは アーリア人に同情します” インド人は スピリチュアルな者です 彼女達がインド人のようだと 言うのです 信じられません ポイントは生活の質が 向上されることです 何回も言っていますが 男性の質は女性のとは違います 女性が男性のようになろうとすれば 正しいものは 何も得られません そのような人は多くいます 毛沢東の妻や 蒋介石の妻もです 彼女の名前はマルコスです そのような女性は大勢います 彼女達が男性のようになると 破壊的です 歴史に残る 女性は多くいますが インドでも 素晴らしい女性がいました 英国と戦ったジャンシ キ ラニ のような女性です 未亡人でした 我が子をおぶって 英国と闘いました 55メートルの要塞の小塔から 馬で飛び降りたと言われていて “勝利は我々にあるが栄光はジャンシにある”と英国人は明記しています インドには 偉大な女性がいました たとえばヌル ジャハンなども そうです 彼女達は女性でした 男性の工ゴはありません 女性も男性のように オフィスで働くこともできますが 男性のようになることはありません 私自身の例でいうと ある時ラクナオに 家を建てなければいけませんでした 大変女性的な やり方で進めました 素敵な家ができました 男性が建てるより はるかに安くできました 男性なら まず建築家に相談し すべてを測定し 前もってすべて合うようにします そして工ゴで高いお店にいき 高価なものを買って騙されます そしてまた工ゴで高いお金を出して人を雇います すべてを仕切ります 私は違うやり方でしました お金があったので 適任者と最高のレンガを見つけました 家はレンガで 建てることになっていました その他にいるものは 何かです 女性が食べ物を 料理するようです 砂がいります セメントも必要です あと格子 そして労働です ですから男性のようには しませんでした またレンガを売る 適任者を見つけました 彼は“まずレンガを入れる炉がないと いけないがそのお金がない” 私は“炉をまるまるひとつ買います いくら必要ですか” “5千ルピーで十分ですが” “うまいかなければ 火が回らな ければ責任はとれません” “構いません 私の名前で炉を準備してください” そこで彼から炉を買いました 炉に全てのレンガを入れ 泥で覆い 下から火を焚きます 時にはうまいかず 全部だめになることもあるようです 私は“やってください 5千だけです” 火がつけられ出来上がると 5万ルピー以上のものになりました 次に川に行き 大きな砂の山の一部は いくらかと尋ねました 彼らは“夏場は安いですが 冬場は高くなります” 男性なら必要最低限の分を 買うでしょうが “夏場は安く買えるなら その砂を全部を買います”と言いました そこで砂の山 全部を買いました 次に鉄器商を訪ね 鉄について聞きました “塊で注文すればもっと安くします 即時払いでこれくらいです” “注文します” 料理の材料を準備するかのように すべて準備しました 次に木材が必要でした そこで彼らは “木はネパールから来ます” その他にはどこからか 尋ねました

“どこの森からも可能です”　そこでインドの中央にある　ジャバルプールに行き注文しました　全ての木が新たに切られ競売でその木を沢山買いました　あるだけ買って　さらに大理石も買いました　その大理石は一度も使われたことがないものでした　“シンプルですね　大理石は何にでも使えます”　ですからそこから大理石と木材を手に入れました　次に労働者です　そこで友人に石細工が得意な　職人について尋ねましたその者達皆を呼びました　私は“住み込みで働けば　私の家に住み食事や世話もします”　すると彼らは　家族と共に移り住み私は彼らのために　料理をしました　料理のお陰で彼らは　私のために何でもしてくれました　私に大変親切で　新しい技術を使いセメントで　大理石のような効果を出していました　さまざまな芸術を　そこに施しました　寝室が20室　客間が5室と食堂のある大きな家が　一年以内に建てられました　誰もその家にかかった　費用も信じられませんでした　建築家が手掛ける10分の1の値段です　帳簿についても知りませんでした　うまくつけられました　毎日“今日はこれだけ　使います”と言いだすだけ　その日使いました　そしてそれを帳簿につけ　1ルピーの誤差もありませんでした　ですから起訴されず問題もありませんでした　普通　家を建てようと思えば　沢山の問題と所得税に悩まされます　私は僅かな費用で建てることができました　“タジマハールが倒れてもこの家は　倒れない”と言う人もいました　丈夫な土台を　作ったからですレンガを　安く買えたおかげです　炉をまるごと　格安で買ったため　沢山残ったので　半分売りました　砂も全部必要でなかったので半分売りました　2倍の値段で売れたので　ただ同然でした　買った木材も切ってもらい　倉庫にすべて入れました天候から守るようにです　その半分を取り出し　100の窓と60のドアに使い　残りを売りました　木くずでさえ燃やすために売られました　材木用に　そして小屋を建てる用に　売られました　私は彼らのために　手料理をし　世話をしベッドと毛布を準備し　彼らは大変喜んでいました　そのように　女性がワークアウトさせます私の帳簿に何の誤差もなかったことに　皆驚いていました　主人の友達に　私から離れるよう勧めました　首相と一緒に働いていたので“彼女は賄賂を受け取っている”と言いかねません　あるいは私に　これは言いか　悪いとか言ったでしょうなので近づけませんでしたが　男性は議論好きです　女性は結果を出します　会議も要りません　“仕事をさせてください”と言いました　これらの人たちと　すばらしい家を建てられました　写真に撮ったと思います　あなた方もそれを見れるかもしれません　サハジャ　ヨギ二であれば　これらの特質を育むべきです　女性はとても直観的です常に正しい結論に達します　女性であればです　半分男性で少しだけ女性なら　何者が分かれませんが　女性のようになろうとすべきです　女性は大変強力です　さまざまなことに耐えられる　母なる大地のようで　最高のものを与えられます非常に献身的で　気前がよく　忍耐強く　愛深く　許します　男性が女性の資質を育めば　聖人になれます　女性の追い回す資質ではありません　このような　ナンセンスはありません　ウイルスに　ならないといけません　騎士道的で　勇敢でないといけません勇敢でありながら　慈愛や許しの心を　持たないといけません　ドイツでは　その逆のようです　西洋のサハジャ　ヨギにも見受けられます　女性は　ひどいエゴがあります　インドでは女性は働きます　何でもします　長いこと有名な演説者もいましたがエゴはありませんでした　私の母は　学位を持っていました　当時数人の女性しか　持てませんでした　母にエゴはありませんでした　私の娘たちも建築を修めました　室内装飾もです　彼女は夫が働いているので　働いていませんが人のために家を設計し　無料で助けています　そして沢山の友達がいます　では女性が　得るものはなんでしょう　女性の周りには沢山人がいます　人間的な力です　女性の周りには　より多くの人が集まります　男性の能力は何でしょう　家や保険の支払いをしなければいけません　車の修理代もです　汚れた仕事はやってもらいましょう　女性は子ども達や夫　周りにラブレターをもらいます　彼女達は愛されます　面倒をみてもらえます　今は女性は男性のようになって　しまってこのような強みがありません　以前はバスに乗れば　女性に席を譲ったものです　ある時　高齢の女性が乗ってきて若い男性が座っていました　私は“席を譲ってはどうか”　彼は“必要ありません　彼女もズボンをはいています”　この女性はズボンををはいていました　“席を譲ることはありません”　“お互いズボンををはいているので　違いはありません”男性のようになることで　私たちの強みや特権を失っています　それで何を失うのでしょうか　実際その反対です　現代女性は以前より男性に隷属しています　動揺します　例えばあるサハジャ　ヨギ二は　キャッチがひどく問題を抱えています考えることといえば“夫が私を捨て　子どもを連れて　行ってしまおう　どうしよう？”　サハジャ　ヨギのことは　決して考えませんでもある時　素晴らしい女性に　会いました　真の女性です　“マザー　私は統合失調症です　コレクティブから離れます”　“夫と別れ子ども達とも会いません”　“なによりサハジャ　ヨギが　自分や夫や子供より大切だからです”　“女性の真髄です”　彼女は“子供の時から統合失調症で　今分かります　症状が出ています”　大抵の女性は　自分のことを心配します　“夫と別れるなんて”　夫を利用しようと　しているのです　“子どもと離れるなんて”　ではサハジャ　ヨギはどうですか　サハジャ　ヨギに最も重きをおくなら　統合失調症も治せます　神はあなたを助ける　必要があるでしょうか　普通の女性のように自分のことばかり心配するならです　サハジャ　ヨギのことを　心配しないならです　男性も同じです　男性はあまり恐れませんが自分の足で立てると　思うからです　女性は自分はヨギ二で　お母さんが　面倒を見ていると知るべきです　でも自分のことや夫　家我が子のことだけを心配するなら　おしまいですが　女性ではありません　良き女性の象徴ではありません　女性は全ての子ども達を愛せる者です　愛する力は　計り知れませんが　でも食欲で狭量でいるなら　女性ではありません　孫娘に　将来の夢を尋ねました　まだ小さい子どもです　看護婦さんか　客室乗務員と言いました　“なぜその仕事がいいの？”　“おばあちゃん　この二つの仕事なら

食べ物にサーブしてあげれる”他の仕事では そうはいきません 食べ物をサーブする喜びは オフィスで働くよりすばらしいです 事務仕事はひどいものです クッキングをしていた方が いいです 沢山の人が食べて 楽しんでくれると考える方が ペーパーワークをするより いいです でも女性は 分別を失っています 良識はありません 愚かです ドイツでは 気をつけなければいけません オーストリアでもです オーストリアの女性は すばらしいですが ドイツの女性は男性のようになろうとしないことです まずしゃべり過ぎないことです 男性のように話せば ブーツが入って 男性のようにしか話せなくなります 男性がいかに コントロールされるか分かります インドの女性は いかに男性を コントロールするか心得ています 離婚がありません 問題がありません 口喧嘩はしますが 男性は別の女性の後を追いません 女性は着飾ったり 美容院に行ったりしません 様々な 美容グッズはありません ですから自尊心を育てなさい あなた方は シャクティです 力です 夫をキャベツのようにするなら 子ども達はどうなるでしょう 敬意を払いなさい 彼らを男にしない 男らしさを楽しみなさい そうすれば決して あなたを捨てたりしません 二人の間に 競争心はありません ドイツにおける今日の問題は 女性が良識を失っていることです ドイツの女性に 全くそう感じます 音楽においても 芸術においても 広範囲に及んでいます 誰の記憶に残っているでしょう 音楽家でいえば モーツァルトです 誰もがモーツァルトを 覚えています チョコレートにも モーツァルトがいます 彼自身チョコレートを 食べたかどうか分かりませんが また人はミケランジェロやレオナルド ダ ヴンチを覚えています 誰もその当時の 書類を持って走り回る公務員は 覚えていません ですから女性は 永遠の価値を持ち それを育むべきです 最もすばらしいことは 女性には愛することができるということです しかし女性が 自己中心的になったり 自分のことをだけを心配するなら 内側の美しさはありません 今日私をカルティケヤとして崇拝する のでこのことについて取り上げました カルティケヤは二人の子どもの 母であるパルヴァティ ウマの息子です ガネーシャとカルティケヤです ある日 両親のシャンカラと パルヴァティが言いました “二人の内 先に母なる地球を 回った方にご褒美をあげましょう” するとカルティケヤは 男性的な力でしたので “自分の乗り物に乗って さっそく行こう”と乗り出しました 孔雀でした ガネーシャは 自分にこう言います “僕は小さな男の子で彼とは違う 乗り物も小さなネズミだ” “どうしよう” そこで彼は考えて “僕のお母さんは 全宇宙より偉大だ” “ということは 母なる地球は・・・” カルティケヤはすでに母なる地球を 回り始めていました シュリ ガネーシャはお母さんの 周りを三回回ってご褒美をもらいました 彼の母性の資質が お母さんが最も偉大で サダシヴァよりも 偉大だと気づかせました 驚くことにそれを サダシヴァは好むのです 母に 内にある母性に 敬意を払うことをです “女性が敬意を払われるところには 神々が内在する” 女性はとても重要です 西洋の男性にも 非があるというべきです 女性を冷遇し 宗教からも除外し 蔑んできました インドではイスラム教徒が そうしてきましたが 西洋ではさらに洗練された 攻撃者です 非常にひどく扱い 蔑んできました しかし彼らを許し 女性的に 力強くなるようにしなさい 女性の力は 神の力である愛です 理屈っぽい知性を使うより 愛を使うべきです 無駄なエネルギーを使わないでください 特にドイツのサハジャ ヨギには より女性らしくなってもらいたいです いい料理を作ること だけではありません 人生対する 態度においてです サハジャ ヨギがあなたの愛の力に 頼るほどの視野の広さです 私たちは非常に 愛深く 優しく サハジャ ヨギの面倒を 見ないといけません できる限りの歓びを 与えられるようにです さもなければこの国の女性は 吸血鬼のようになります ですから気をつけてください 男性もそのような女性がいれば 敬意を払わないといけません 特権を与えないといけません 面倒をみないといけません 女性は子供たちを 世話しますが 援助し 必要なお金を 与えないといけません 家計簿を確認したりせず 任せなさい 最悪でも 破産するぐらいです もうしていますが まず女性のサハジャ ヨギに対する 態度をみることです 家で女性が財布を握っていると 男性が管理しているよりも サハジャ ヨギの仕事のために もっとお金が使えるのを見てきました 驚くべきことです 男性が管理すれば自分の車や 大きなことを考えますが 女性が管理すれば お金の貯め方が分かります 私のお金のやりくりは お話しした通りです 男性は節約できません 女性だけができます より大きな関心があればです 自分のことばかり 考えるなら 夫のシャツや自分のサリーに 全部つぎ込んでしまいます より幅広い関心があれば 大変賢くお金を使え 他の者のために使うお金が 常にあるでしょう 私の場合 主人からのお金で 家計をうまくやりくりしています 結構もらっていますが 市場で買い お金を節約します あらゆるところで 節約しています 初めて良さそうなクリーニング屋に 自分のセーターを出しました そのように女性は節約し みんなのために使います それが真の 女性の満足感だからです 自分たちの結婚生活や社会生活に バランスのとれた見方ができるなら この世界で 理想的な者になれます 学校についてはっきり言っていますが もし聞きたいのであれば・・・ パンフレットはありますが 見たいです ないのですか 男性みたいですね 彼ら自身ここで見たいと 言っていたが 男性に料理を頼めば すべて足りなくなります “シュリ マタジ 敬意を持ってお尋ねします” “男性でいることに 少しでも利点はあるのでしょうか” 男性なしに 女性は 自分自身を表現できません 潜在能力だからです 可能性だからです 全く相関的な用語です 女性は男性なしに 存在できません 母なる大地に すべての香りがあったとしても 花がない限り 母なる大地に香りが あるとどうわかるのですか 男性は最も大切です さもないと すべての力が無駄になります 女性が母なる大地であるなら あなた方は花です 利点ですか あなたを人々は見るのですから しかたありません そうなのですから 電車でも 電車が止まれば 男性は電車から降ります

そこに座ってはいられません 私は主人に言いました “あなたはなぜいつも 家から出ようとするの” “しばらく家で座ってはいられないの” 彼は“男性の側からすれば 家にいる者はカルゴスナと言われ” “常に家にいるという意味だ” 私は“家から逃げる者はカルバグナ?” つまり逃げる者という意味です 中間があるべきでしょう でもそれが男性的なのでしょう しかしサハジャ ヨガでその両者に バランスをもたらすことができます それがサハジャ ヨガです バランスを与えます するとお互いを 楽しめるようになり 家でも楽しめますし 外でも楽しめます なので家でも外でも 一緒にいられます お互いの関心が同じです 関心が同じに なっていくからです まるで花が母なる大地に落ち 母なる大地を香しくするようです するとその大地が 香しくなります そのように美しいのです 教育に関して 指示を出しました モンテッソーリ教育について 気にすることはないと話しました サハジャ ヨガの 学校を建てます モンテッソーリの教育をする女性が ひどくなっていくのを見てきました 彼女達の工ゴの大きさには 驚きます ですからあなた方が サハジャ ヨガの先生になって サハジャ ヨガの 学校にしましょう シドニーとメルボルンで 学校を始めましたね 公式な学校です それについて 恐れることはありません 公式にサハジャ ヨガの 学校です 皆の役に立っています 批判もありません 胸をはってサハジャ ヨガの 学校だと言えます ですから先生達は サハジャ ヨガの専門家です つまりすばらしいサハジャ ヨギ ヨギ二でないといけません 工ゴが強くてはいけません キャッチがあつてはいけません いい先生になれません モンテッソーリの先生は 夜に酒を飲み タバコを吸い 朝になると先生をします あなたはまずサハジャ ヨギになって 初めて先生になれます その資質がないといけません 大切です リアライズ ソウルの生徒や リアリゼーションを得られる生徒を受け入れることが大切です 今日カルティケヤのためにする 特別なプージャです カルティケヤは偉大な ガナ達の隊長とも言える リーダーを象徴します ガネーシャは王様ですが 彼は隊長です ドイツ人は全てにおいて 指揮権を持つ性質があるので この場所でプージャをし スピリットと男性的な資質の 指揮がとれるようになります 女性は女性的な資質の指揮を とれるようになります 指揮をとるのは マスターになるのとは違います マスターはそれを所有しますが 指揮官は所有しません 所有しません 所有権がなくなり 指揮するだけです その状態にならないといけません ガネーシャの状態から カルティケヤの状態です ガネーシャはやさしく 王様で すべての力を備え座っています 純真があります カルティケヤは 純真を指揮し その指揮する力を あなたに与えます 彼が指揮します グル プージャの後 他の者を指揮する力を持つべきです そしてその指揮する スピリットは 男性においては 話すことや ダイナミックさや 個人的な達成によって出てきます そして女性においては 愛する力 忍耐力 慈悲深い態度 許す心 慈愛によって出てきます それを今日育みましょう 指揮ができるようにです 備わっているのではなく 指揮する立場にあるという意味です カルティケヤについて あなたが理解できることを願います 神の祝福がありますように

1986-0907, Shri Ganesha Puja, Establishing Shri Ganesha Principle

[View online.](#)

Shri Ganesha Puja, "Establishing Shri Ganesha Principle". San Diego (USA), 7 September 1986.

今日は シュリ クリシュナの土地で シュリ ガネーシャの 誕生を祝います 先例のないことです 大変意味深いことに シュリ クリシュナ自身の土地で 息子の誕生を祝います シュリ ガネーシャは 地上におけるマハヴィシュヌであり ラーダの息子 キリストとして化身したことは ご存じの通りです つまりこの誕生を祝うことで 主イエス キリストが シュリ クリシュナの息子であることを あなた方は認めるのです デヴィマハトミヤムには この原初の子が 卵の形になり シュリ ガネーシャとマハヴィシュヌに 分化したかが述べられています 進化の過程に これらの故事は 記録されていますが キリストがガネーシャ神の化身であると 今日人間が理解したことに とても満足を感じます キリストは ガネーシャ神の化身です 彼は永遠の子どもですが シュリ クリシュナの息子 キリストとしてやってきたのです ですが創造の際 シュリ ガネーシャは パルヴァティによってのみ産まれました 父がいませんでした パルヴァティは 自ら息子を望んだのです ガナ達が シヴァだけに仕えるように ヴィシュヌやシヴァに 仕える天使がいます そこで パルヴァティは 彼女の力を地上に及ぼすため 息子を望みました ですからまず シャクティは宇宙を創造し サダシヴァが 彼女の被造物を観ずるなか 最初に地上で 創られたのが純真で その体現が シュリ ガネーシャなのです 宇宙全体が 純真で包まれ それをオムカラと呼びます この純真が 全ての物質に浸透し あらゆる創造を 守護しました 物質は純真無垢です 物を叩けば 反作用が返ってきます そういう性質があるからです 作用すれば反作用があるだけで あなたを害する 意図はありません 自然に作用する性質があり ジャダと呼ばれます 動物も別の意味で純真で 罪の意識を持ちません 別の動物を殺したり 縄張りや犯したりすることで 法や罪を犯している という意識はありません 彼らは本能に従い 生きていて パシユースと呼ばれています パシヤとは従属を意味します 彼らは神の法に 従属しています シュリ シヴァは パシバティと呼ばれています 動物の段階までは 純真は保たれ 自我の発達はありません だから動物は純真なのです 虎が牛を食べようと 象が人間を踏みつけようと 彼らは純真です より高い意識へ至るために 母性のシャクティ 原初の母が 人間の純真を守る存在を 創ろうとしました 物質や動物の上位に シュリ ガネーシャを創りました 像の頭のシュリ ガネーシャ についてはご存知でしょう 彼は人間でありながら 動物のようで シュリ ガジャナナの頭であり 動物界で最も賢い 象の頭を持ちます 純真である 頭を持っているので エゴは発達しません エゴのない意識状態です しかし人間はそうではなく 炭素はアミノ酸の産生に 向けられます アミノ酸を定着させる 作用もあります ヴィシュッディのレベルで 人間はこのように直立し 新たな進化を遂げました 動物の頭は 地面に面しているので 大地に向かって エネルギーが流れますが 人間は重力に反して 頭を持ち上げました すると新たな気が流れ始めましたが 新たな問題も起こります ヴィシュッディの問題があると クンダリーニが作用できなくなります 大地から頭をあげると 大地の自然の力から 遠ざかるからです そのようにヴィシュッディを 上向きにすると 結果 このヴィシュッディの国では 自然に反する機械に頼り 自然を絞り採り 原子爆弾を作るのに 核分裂させてみたりと自然を害しています 頭を上げたことで 自然に反し始めたということです でもそれが神への完全な 帰依として行われたなら 母なる自然に 頭を垂れて為されたなら あなたを害しないでしょう しかし美しい自然から 完全に切り離されてしまったら どうなるでしょう 昨日この国の美しい自然の写真を あなた方は見ましたが アメリカのように豊かな国が 創造主に感謝せずに 頭が高いと ヴィシュッディの問題が起こります あらゆる場面において 自然に反する 社会構造ができています 結果 無垢さに ムラダーラに害が及んでいます ムーラダーラの自然さが 忘れられています キリストやアブラハム モーゼの時代のずっと前から 婚姻は聖なる制度として 永く社会に認知されてきました しかし人は傲慢にも 正常な人の道である婚姻に 反する声をあげました 私生活が 自然であるなら なぜ人は 様々な病気になるのでしょうか あなたが自然な人であれば 何の病気にもならないでしょう 自然に反する結果 この国では多くの男女が 嫉妬によって殺害されています 10人の男女が 愛しあうのが自然なら なぜ嫉妬がおこるのでしょうか あなたは幸せであるべきで それが自然です シュリ クリシュナに帰依することなく ヴィシュッディチャクラで頭を上げたことで 生命に抗うような雰囲気が 拡がりました このような生活により この国や今は 破滅の崖っぷちにありますが 無垢に対する攻撃が この国の一番の弱さです 流行をつくる人々による 最大の間違いは 貞操の力や節操ある生活に 価値をおかないことです ガネーシャは創造の根本です あなたがシュリ ガネーシャに反するなら 根無し草になるでしょう するとどんな馬鹿げたものでも 新しいことに飛びつくでしょう “不順な目を持つなかれ” といったキリストを忘れて フロイトを 崇拝するほどになります ガネーシャのレベルには 視線すらも無垢である必要があります 視線に 色情があるべきではありません しかし 傲慢さが “何が悪い”と感じさせます “これの何が悪いのか” 今や国中が傲慢な試みによって 危機に瀕しています その上 その破滅を 受難として受け止めています シュリ

ガネーシャの土地に住む サハジャ ヨギは大変な責任を負っています しかしシュリ クリシュナの 土地に住む人々は責任がその肩に 完全にかかっていて 逃れることができません あなた方が無垢の大切さを 理解しない限り私が何をしたところで この国を救うことはできません 他でもない あなた方が救うのです あなた方にしかできません

クンダリーニが引き上げられると あなたがかつて敬ったことの無い シュリ ガネーシャが 傷を負い沈んだ状態から ゆっくりと覚醒します そこでどうやって養うかです どうやって彼の成長を 支持するか アメリカのサハジャ ヨギの責任は大きいですが これ以上自分を 裏切ることにはできません 傲慢さを満たすこともできません

これまでの過ちは酷いものでした あなた方はその間違いに対する 十字軍として立ち上がり シュリ ガネーシャを 十分に確立し 自らの根を滋養して 必要なバランスを得るべきです まずもってショッキングです あなた方が理解できないことがあのような馬鹿げた考えを 受け入れることはあり得ません あんなおかしな 明らかに酷いことをするなんて例えば売春という言葉の意味を 知っていませんか 他にも汚らしい言葉があります 今口にしたいことはありません

その言葉の汚さを 分かっています 人はそれに気づいていましたし 知っていました 自分に何をしたのか わからない程 私達は教習を 失ってしまったのでしょうか 自尊心がありません この傲慢さは非常に危険で 何が起こるか分かりません 神のみがそのような行いの 結果を知っています サハジャ ヨギには 特にアメリカの女性には いかに自分のプライバシーを敬うべきかを伝えました 自らがシャクティであろうとするなら 自身を 自身の純潔を敬うべきです 驚くことに外で起こっていることは 驚くことで サハジャ ヨギにきた後でも 地獄行きの一員に ならんとする者がいます

彼らを救おうとするなら 自分をしっかり直しなさい シュリ ガネーシャは 4つの手に パラシャの 破壊の兵器をもっています それに注意しなさい これは彼の仕事で 彼をおなざりにすると その力が働いて リアリゼーションにも関わらず あなたは自分を救えないかもしれません 自分のリアリゼーションを 当たり前と思わないで下さい ガネーシャが 確立しない限りリアリゼーションは 意味がありません 気をつけなさい 不純な目をしていませんか 不純な心を持っていますか 何をサハジャ ヨギに 求めていますか 多くの者が サハジャ ヨギによって恩恵を得て 健康や金銭 地位や権力を 得られると考えます まず純粋なガネーシャを ニルマラ ガネーシャを望むべきです “マザー どうか” “純粋なガネーシャの原理を 確立して下さい”

振る舞い 態度 関係において 自分が無垢に判断しなさい キリストは “自分に反することは耐えるが” “アディシャクティに反することは 許さない”と言いました ですが 母として言いますが それは違います 私に反することがあってもキリストや 主ガネーシャに 反することはいけません リアリゼーション以後に 彼に反した行いにより あなたは神の領域から完全に墮落した者として 追い出されるでしょう これは受け入れられない 許されない 耐え難いことです 過去は終わりました

あなたは生まれたばかりの鳥です しかし成熟した後に なお過ちを犯し それに耽るなら 私はあなたを助けられません つまり純真さ故にシュリ ガネーシャは 私の息子なのです いまや彼だけが私の息子ではありません 私は多くの息子や娘がいて私はあなた方を シュリ ガネーシャと同じように 父親なしで創造しました 心身の無垢さこそが 母には喜びなのです

不純なものは何であれ 捨てられるべきです 私の名前自体 純粋を意味します あなたにはできます その力が備わっています

クンダリーニがあります まず自分を浄化して 後は心配しないことです シュリ ガネーシャが 面倒を見てくれます

一つのチャクラを綺麗に保てば 他は上手くいきます 筋肉の問題であれ 統合失調症や心身症であれ

ガンのような不治の病であれ 全てがムラダーラの阻害から 来ています 根が傷んでいるのに どうやって木を治すというのでしょうか 根が丈夫なら 薬が何処にでも効きますが 根がダメなら どうしようもありません

今日は 私の中のシュリ ガネーシャを 崇拝するために招かれました 私の中のシュリ ガネーシャは パワフルな神格です 崇拝することで そのパワフルさを確立し 表すことです シュリ ガネーシャの 力の偉大さは吉兆です それは科学で言うある係数 公式で それが吉兆を現します それは母なる地球の磁力です 同じ磁力が シュリ ガネーシャとしてあなたにも存在しています 一人でも 私は東西南北が 言い当てられます 目を閉じてでもできるでしょう

多くの渡り鳥がオーストラリアから シベリアへと渡っていきます 彼らには純真 磁力が備わっているからです 多くの魚にもその磁力があります 科学者が発見するべきです 同じように 私達の中の シュリ ガネーシャも磁力です なのでシュリ ガネーシャが 覚醒した人には磁力があり それは鉄を 落ち葉ではなく 鉄を引きよせます 鉄はグルの原理のようです

“鉄人”というのは 人格と信念を持ち 誘惑に囚われない人 のことです このように この磁力は 鉄を引き寄せます 鉄にはひとつだけ 欠点があり それはドライで 柔軟性にかけることです が 磁力は鉄が引き寄せられる

特質を引き出すということです 同じようにこの性質が目覚めると あなたは驚くでしょう

人がアシュラムから離れていくどころか 皆があなたに駆け寄ってくるでしょう 私がどの家を訪ねるにしろ

人がそれを知ろうものなら どこからでも来ます この磁力は何でしょう 純粋な愛です 純粋な愛とは 他の何にも依存しないという概念です それ自身が支えです 光が自身の性質により 拡がります 何も必要とせず 欲しないようにです ただ拡がり

人々の心を照らします それ故 人は惹かれます カルカッタのような場所では 私に会ったことも

知ることもなかった人々が押し寄せて “警察を呼ばなくては” というほどでした “呼ばなくて良いです

何とかします”と言ったものです プーネでは 群衆があまりに多く ホールの責任者が恐れたほどでした

“これではホールがもたません” “屋外の広い土地を 使して下さい” “心配しないで すべてうまく収まります” と言いました

聴衆が沢山いたものだから 地面や階段やそこら中に人が座って 私の話が始まるまで 絵のように微動だにしませんでした
そして1時間半話しました 静止画のようでした 手足や目の動きもありません まるで絵のように ホールのオーナーは初めて
そんな様子を目にしました 1時間半の間 何の動きもありません それが何かというと 磁力なのです
あなたが鉄でも引き寄せますが 磁力があれば 引き寄せ続けます なのでヨガにおいては 子どものように無垢な シュリ
ガネーシャの磁力を備えることです 子どもが一人いれば 皆がその子に惹きつけられます 子どもがどこか高いところで
動けなくなっていれば ロシア人であろうと アメリカ人やアラブ人であろうと 皆がその子の 心配をするでしょう
アラブの子だとか アメリカの子だとか 悪魔でない限り そう考えません 子どもに惹きつけられるのは 磁力があるからです
エゴがまだ発達していません エゴは私達が 自らの自由において 善悪を判断するために 発達しました なので エゴの発展は
必要なことです ある程度のエゴが私達には必要です ですが 発達させすぎて スーパーエゴを 覆い隠しました
そうになると何の調節もなく 好きなことをするだけでしょう 今日は半ズボン履き 明日は長ズボン履きます
次に髪をいじったり あれこれ始めます 何のプレーキもありません スーパーエゴ(超自我)が エゴで包まれてしまっています
このエゴはガネーシャの原理が 保たれている限りで大丈夫なのです これはガネーシャの叡智です ガネーシャの2つ目の力が
叡智です 農民と学者を見てみましょう 学位を持つ者より農民が ずっと賢いことがわかるでしょう なぜか それは彼らが毎日
大地に関わるからです 彼らは命の原理を知っています 母なる大地の無垢さを知っています なので素朴な人が 最も賢いのです
無邪気な一人の子は 10人のエゴ中心の人々より 賢いのです シュリ ガネーシャの2つ目の能力は
それにあなたが賢くなるということです あなたが話せば 人々が耳を貸すでしょう あなたは カピラやナナカのように話します
人々が スピリットを 感じるように話します それこそが 私の言うサハジャ ヨギです 叡智のない サハジャ
ヨギは役に立ちません そんな人はサハジャ ヨガに来ると とても粗暴で こちらで誰かとぶつかり
むこうで別の人とぶつかりします そして3人の傷ついた人に聞くと “あの 例の雄牛が”となります
皆が同じ雄牛の報告をします “ああ 例のあのね そうそう”と とにかく 叡智です シュリ ガネーシャの力により
あなたの目がキラキラします あなたは目に輝きを得ます 彼により 目に光が与えられます 色情や強欲をもつ人
を見られなくなります しかし あなたの視線が とても強くなり ひと目で何千の人を 浄化できるようになります
ただ目を開きさえすれば 暗い闇夜が美しい朝に 状況が一変するでしょう 一瞥が クンダリーニを引き上げます シュリ
ガネーシャが許さない限り クンダリーニは上がりません 彼は各チャクラに座る 判事ようです “よろしい 行きなさい”と
チャクラへの許可を与えます そしてシュリ ガネーシャが目覚め クンダリーニが上がります でも彼が眠ると 彼によって
クンダリーニは元に戻されます さて 私達は 無垢さを失ったと考えますが 簡単には失われません
破壊することができないものです ただ覆い隠され シュリ ガネーシャの原理が 現れなくなっているだけです
あなたはそれを押し込めたのです プレッシャーをかけました 無意味なことを これでもかと負わせたのです それだけです
死ぬことはありません それが宇宙の永遠の原理です シュリ ガネーシャの力をもつ人の もう一つの性質は 障害を取り除く
ということです 誰か一人 そんな人が近くにいれば 何かのトラブルやアクシデントから 全員が助かったりするでしょう
あなたもそのうち分かるでしょう 彼はガナパティで ガナ達の主だからです 彼があなたを導きます シュリ ガネーシャなしに
サハジャ ヨガは作用しません 彼こそがサハジャな存在です 彼こそが世界の自発性を 生み出す存在です
あなたを正しい道へ導きます 彼こそが全てを たやすく与えるのです 彼こそ全ての不思議な力 世界中の奇跡を担う者です
彼こそガナパティです 彼こそガナの上位に位置し ガナの王です シュリ ガネーシャを歓ばせる者は
全ての神と女神を歓ばせます 全ての神々が シュリ ガネーシャを歓ばせるからです そして彼はとても賢いです
彼はとにかく母を歓ばせれば いいことを知っています 世界の全ての力を得るには マザーを歓ばせるようにすれば良いのです
多くの性質が シュリ ガネーシャにはあるとされます 彼は食べる喜びを与える者です 何かを食べて
好むと好まざるとにかかわらず サハジャ ヨギによって マザーによって創られたと教えてくれます つまり彼が
食べ物に愛情の味を添えます 彼は愛だからです 彼はいかに愛を表すか 思いつかせます 一度 歌うように頼まれました
昔は歌が上手でしたが 講義を何回もしたことで 声を枯らしたようです うまく歌えませんでした ある日
歌うように頼まれました 一つの歌が思い浮かんで 歌いました そして一年ほど経って プログラムで “マザーに一曲歌いたい”
と言われました この曲は 誰にも知られていませんでした どこでメロディを知ったのでしょうか 彼らは同じ曲を 歌い始めました
あまりの喜びに 涙が出てきました 喜びを抑えられませんでした この喜びの気持ちは シュリ ガネーシャによって創られた
仕掛けから来ます 彼は人との美しい関係を 築くので忙しいです 子どもの誕生日に 何を言いますか “翌朝 鳥が
プレゼントを運んでくるよ” 鳥はいませんが シュリ ガネーシャが そのような思いつきをさせます
彼はサンタクロースだと言えます あなたにその方法や いかに繊細に人との関係を 純粋な関係を築くかを教えます
プレゼントを隠したり 包んだり 見つけさせたりする方法もです “わー すごい” そして花束を差しだします すべてシュリ
ガネーシャの努力です 彼のやり方であり 提案です 創造物の中で 花はシュリ ガネーシャの 本質を表します シュリ
ガネーシャの本質は 母なる大地の本質 その香りから来ます シュリ ガネーシャの恩恵に 授かる者には 香りがあります
白檀であったり バラであったり このガーデニアのようです どこからともなく 香りますが その香りは シュリ

ガネーシャから来ます そしてそれが あなたの中の磁力です そのような者には香りがあり 常にすばらしい芳香です シュリ
ガネーシャが そのような者から香りを出します それはあなたのシュリ ガネーシャが 大丈夫なときに感じられます
あなたの中のこの偉大な神格の 説明には終わりがありません 彼はそこにいて 浄化されるのを常に待っています
沼の中の蓮の花のように 彼の頭が出るのを待っています それに敬意を払うことで助けます するとあなたの中で香ります
ヴィラータに 集合性に シュリ クリシュナにサレンダーせずに 私たちは頭を上げたので この国にとっては 大切なことです
私たちは頭を上げましたが シュリ ガネーシャで頭を下げます 神が授けた 豊かさに対してです 傲慢さはシュリ ガネーシャの
蓮の御み足において消えます 彼が私たちに叡智を与えます 理解力を与えます 内にある傲慢さを克服する 力を与えます
彼こそが知識を与えます 光を与えます インドでは多くの者が シュリ ガネーシャを崇拝し おかしなことをします
それは不必要に 自分を騙すのと同じです 自分の中にシュリ ガネーシャを 確立するのは簡単です でもサハジャ ヨギである
あなた方にとって シュリ ガネーシャを確立することは 重要であると理解しなさい それは静かに作用します
静かな力ですが作用します 音もなく 密やかに作動する力です 私が心から これらのことを言ったことで あなた方サハジャ
ヨギの中で シュリ ガネーシャが確立されるでしょう そして あなた方を通して 力が放たれ あなた方の国でシュリ
ガネーシャが 確立されていくでしょう 神の祝福がありますように

1986-1225, Christmas Puja

View [online](#).

Christmas Puja, Pune (India) 25 December 1986.

今日 私たちは 主イエス キリストの 誕生を祝うことを 心待ちにしていました このような 場所にいるのは 深い意味があります イエスが生まれたときと 同じような小屋です 風が四方から 吹いていて 部屋を温かく保つのは 難しいです しかし 正しく言えば 彼は 12月に 生まれていません もっと温かい そんなに寒くない 時期でした 彼が感じた気候は 恐らくあなたが今 感じているくらいでしょう 今日の気候は 示唆的です あなた方は この気候や環境 簡素な生活に 不快を感じないでしょう 彼は全く不快を感じませんでした 彼の母も同じです 私たちの意識が スピリットにあるとき 私たちは 自然や世俗的なことに 不快を感じません 最初の兆候として サハジャ ヨギが 快適さに 不満を持ち始めます サハジャ ヨギになりきれていない という兆候です まず 私たちは 気候と 完全に順応します 気候の特徴 移り変わり 私たちをいかに形作るか を楽しみます 自然と身体には 摩擦がありません なぜなら 同調させるスピリットが 自然と一体になるよう あなたを助け 最良な部分を 楽しませてくれるからです いかに楽しんでいるかで 偉大なサハジャ ヨギは表せます 私のおかげだと思います 全ての不快が 楽しみに代わりました キリストの到来は 大きな出来事でした アギヤ チャクラを 確立するため この地上に生まれました しかし 大分前に意識において すでに生まれていました その完全な意識自体が イエス キリストの誕生でした リアライズソールなら 彼の人生を説明することができます でなければ 彼が誰で どんな働きをしたか 話すことはできません それでも サハジャ ヨギで 多くを説明するのは 難しいです 経験するだけです 今日 あなたは 湖から水が沸き出るのを 見ました これは誰も 専門家でさえ 説明することはできません 水が興奮して 神聖を感じ 泡のように 愛が沸き出たのです 水でさえ 感じられるのです あなたは光が それを感じるのを見ました 同じように どの要素も感じられます 全ての要素は 私たちの中にあります 最も崇高なのは 光と言えます 光には 効力があるからです それはイエス キリストによって 統轄されています 光には効力があります 正しいものを あらわにします それが私たちに 世俗的な全ての次元を 理解させ 最終的にこの光が スピリットから来て スピリットを啓蒙すると あなたは他の次元を 見始めます 時には あなたを笑わせ ほぼ笑ませ 時には涙させます サハジャ ヨギを通して 美しく 新しい 次元を得ました しかし全て あなたの内にあり 達成するものでした 一方 大変な努力をした者もいます 例えば イエス キリストは 小さな馬小屋で生まれました 神聖が王家に生まれる必要がない と示すためです 馬小屋でも 生まれることができます 神聖にとっては 関係ありません しかし 人は 誤った捉え方をします 人は 惨めでなければならず 神に全てを奉納すべきだ という者もいます 神は何も望んでいませんし 所有しません 人は何も与えられません 乞食のようになり 神に与える という認識は間違いです 望んでいません 望んでいることは あなたが幸福で喜びに満ち 楽しむことです これが一番大切なことです ほんの少しでも 神に捧げれば 神はその百倍 あなたに与えるでしょう ほんの少しでも 神に捧げることです いけにえとして 木に自分の首を 吊るすことはありません キリストがあなたのために 全てをしました 彼の人生の 美しさは 生まれた時から 全く物質的な豊かさを 享受しなかったことを 表しています 私たちが知る 世俗的なことは 全く楽しみませんでした そして それは 世俗的なことを 渴望する必要がないことを 私たちが 分かるようにしたものです それらが私たちを 渴望します このようなことで 心配する必要はありません 心配すべきことは あなたのスピリットです 彼の人生は 短かったと言えます 彼は努力をしました 人について 大変興味を 持っていました 人間とはどのようなものか 知らなかったからです 人間界から かけ離れた者でした ですから 彼は 見極めようとして 見極める中で 理解すべき 大変すばらしいことを 多く語っています その中の一つに 彼は “あなたを 理解したくない者に” “真珠を投げてはいけない” と言っています ヨギにとって これを 理解することは大切です 反神論者にサハジャのことを 話すべきではありません あなたの兄弟や姉妹 父親かもしれませんが サハジャ ヨギについて 説得すべきではありません 彼らは あなたに関係しません 主人や兄弟を説得する事を 心配する者が多くいますが あなたがそれをワークアウトする 必要は全くありません このことに関して 断念しなさい もう一つ 大変大事なことを 私たちに伝えています 許すことです 彼は許すという最も偉大な武器を 私たちに与えました 許すということは 大変実用的です あなたがただ許すなら 相手は存在しなくなります 相手はもはや あなたを煩わせません 注意にも入ってきません 許すことは 私たちが受ける世俗的な 精神的な苦痛から 解放される 最も簡単で最良なことです 彼の人生は スピリチュアルな 物語でした 様々な苦難を経ました スピリットがやり通せる あらゆる問題を経ました 誰もスピリットを殺せない と示すためです ギータで語っています 殺すことはできません 永遠の命です 人生を通して 永遠性を証明しようとして 始めから終わりまで スピリットは 物質を超えていて 何にも支配されることはない と示しました 私たちのために 大変な偉業を成し遂げました 大きな自信を 私たちのスピリットに もたらしめました 疑いなく証明しました あなた方が理解し 些細なつまらない事で 私や自分達を困らせないよう願います それは大切ではありません もっと大事な事 永遠なもの 価値のあるものを 求めなさい

この場所を気に入り 楽しんでいることに 嬉しく思います 加えて今日は 多くの結婚を発表しました この短い期間に
多くのイベントがありました このクリスマス イブに 神の祝福がありますように メリークリスマス ハッピー ニューイヤー

1987-0114, Makar Sankranti Puja

View [online](#).

Makar Sankranti Puja. English part and Marathi part, Rahuri (India), 14 January 1987.

今日は太陽が 北回帰線へと 移動することを祝う日です 北回帰線は 地球の母性を象徴します 地球の母性です 北回帰線は 広範囲に渡りますが 南回帰線は そうではありません 広範囲において 大地に母性の本質の 異なった美しさを見せます 太陽が 新たな範囲へと移ります 私達は その変化を祝います 世界中に太陽の温かみが 行き渡るようにです 太陽の温かさは 神の愛の温かさを象徴します それ故 胡麻で作られた お菓子を食べて祝います 胡麻は熱を与えるからです この時期は 寒い季節から 暑い季節へ移るので 太陽の温かさに 身体を慣らすため 来たる暖かさや 太陽の温かさを象徴する 胡麻でできた 特別なお菓子を作ります インドは暑すぎますが 人々はこの時期を心待ちにし 温かい心で祝います この時期に 胡麻と砂糖を食べるのは 優しい口調で 話せるようにです “ゴッド ゴッドボラ”とは 優しい口調で話すという意味です 優しく話すことは とても大切です 中には乱暴に 話すことは賢明で 怒鳴るのは知性があるから と考える者もいますが 誰もそのような人は 好みません 例えその者が利口で 鋭く抜け目なくても テレビでそのような者を 見たいかもしれませんが 仲間や友達に なりたくありません 大変優しい口調で 話すことは 育ちの良さや良い文化背景や 神への畏怖の念を表します 神への畏怖の念を持つ者は 乱暴な話し方をしません 同じスピリットの輝きを 他者に見るからです 自分達と同じように 全能なる神によって創られた者に対して きつく当たったり 怒鳴ったりすることはありません 互いのこの愛深い 美しい関係を 特にサハジャ ヨギに なった後も 互いに優しく話すことで 表しましょう 優しくできる方法は たくさんあります ちょっとしたこと 優しさを添えることができます 尖った話し口調でなく 鋭い記憶力が必要です 私は何度もそれを 活かしてきました ある素晴らしい 行動力のある サハジャ ヨギがいました 車で一緒にいた 彼は運転手が誰かに ナイフを盗まれ 大変怒っていました “貧しくて盗んだのでしょうか 忘れなさい”と言いました 彼は“スイスの友人からの贈り物で 大切にしていました” “失くしてしまい 申し訳なく感じます”と言いました 私がスイスに行ったとき 同じナイフを買い 彼に渡すと 彼は言葉を失いました “昔の話を なぜ覚えていたのですか” “どうやって 手に入れたのですか” “私は記憶力がいいのです それが問題なぐらいです” 記憶力があまりに良くて 相手を恥ずかしく思わせてしまうほどです 何であれ私は忘れません もちろんひどいことは忘れます 悪いことを覚えておくことや それを考えることはありません 許すことでいつも 悪いことは忘れられます 良いことを覚えているなら あなたの喜びは倍増します 悪いことを覚えておこうとすれば 喜びはなくなります 人と会う度にその人が あなたにした良いことを その人の良さを 思い出しなさい 良いことが記憶に残れば すばらしい時間を持てます 今日は皆さん インドに発つ日です 明後日出発する者もいます いずれにせよ あなた方の為に 喜びと幸せを与えるために 精一杯のことがなされました 帰国しても耳にしたことや 素晴らしいことを覚えていてください 人々がいかにあなたを称賛し 愛し 親切であったか 素晴らしい出会いや経験を 覚えていてください 価値のないことを くよくよ考えてはいけません 人に不快なことを言われたり 言ったかもしれません 忘れなさい 人生を楽しむチャンスを 台無しにしていると理解しなさい 誰も傷ついていません たくさんの人との出会いがあり 結婚式があり 素晴らしい時間を持ちました どの瞬間も喜びとヴァイブレーションに 満ちていたと 幸せを感じなさい 中には悲しく思う者も いるでしょう 奥さんと旦那さんが 帰ってしまったからです 惨めに思う者がいるのも 見受けられます 良いことです 愛ゆえに互いへの思いや お互いを楽しんでいるからです 大変良いと思います いずれまた会うわけですし かけた言葉や楽しい思い出を 胸にハッピーでいなさい 時間は早く過ぎます サハジャ ヨギにいと 時間を忘れます そして また旦那さんや 奥さんと一緒になれます ですから悲しく 思うことはありません 笑顔でいなさい 彼らが発発するとき 涙を浮かべた顔ではいけません 希望ある確かな 勇気に満ちた顔で送りなさい すぐ会えます 悲しむことはありません 今日は全てを楽しみ 私達の周りにある 神の恩恵を感じる日です 太陽がその栄光において 戻ってきました 来たる年の成功を 望まないといけません マハラシュトラでは しばらく雨が降っていません 問題になっています 太陽に幸運を祈って 雨が降るよう 太陽のエネルギーで 必要なことがこの国にもたらされるよう 祈らないといけません 国に戻っても 太陽のように 輝かないといけません この国より暑くありませんし 温かさもないからです この国の人々が温かく 愛深いのは太陽の恵みです その太陽を持ち帰り 人々に愛情と温かさを与えなさい インドより持ち込まれたと 感じてもらいなさい どの国へ行こうと 太陽は明るく照らします インド人は太陽を持ちこむ という云われがあります 実際ポケットには 入りませんが ハートに入っているようです 太陽が素晴らしく輝いていたのは そのせいかもしれませんが 皆が全てを楽しみました ですからあなたは優しく話し 互いに思いやり 助け合い 親切にすることで 太陽を携えないといけません なぜならあなた方はヨギです 普通の人ではありません 徳や善 慈悲 愛深さを持つ 代表者です あなた方に幸運を祈ります 旅行を楽しみなさい 全てを楽しみなさい ここで得た喜びを 他のサハジャ ヨギに サハジャ ヨギでない人にも 与えなさい

神の祝福がありますように

1987-0809, シュリ ヴィシュヌマーヤ プージャ

[View online.](#)

シュリ ヴィシュヌマーヤ プージャ、1997年、8月9日、ニューヨーク（アメリカ） 今日 私たちはシュリ ヴィシュヌマーヤヘ プージャをするために集まりました ヴィシュヌマーヤは 人間の努力によっても創造されます さて雲は互いに擦れることで 電気が発生します ですから まずはじめに 雲が作られました 太陽が海に働きかけます 沢山のチャクラが 関連しています 海はヴォイドです 太陽は海に作用します 月も海に作用します その結果 雲が発生します 大海で電気は生まれません 問題が起こるからです 皆が見れて 聞こえるように 空で発生します まず見て その後聞こえます 全てが計算されています それがヴィシュヌマーヤです しかしまたこの地上の人間の 知力によっても作られました 最初 人は二つの雲が 擦れるのを見ました 原始時代に人は二つの物質を 擦り合わせることで電気を作りました 二つの物質 つまり物質の二箇所を 擦り合わせて電気を発生しました 大変意味深いことです 物質は電気を発生させるのに 使うことができます 電気の火花は 物質から発生します 物質なしに 料理もできません ですから ヴォイドの助けにもなります まず大海から空へ渡り 人々に電気は起こせるという メッセージを与えました それは愛です 人はより簡単に消化できるように 料理の仕方も学びました 私たちのためになっています 人間はより良い生活のために 自然界から学び 実践します この慈悲深いエネルギーは 人間のためにあり 利用されます これはすべて ヴィシュヌマーヤの創造です なのでマヤ(幻)なのです 電気でもマヤを作れます それをどう作るかはご存知の通りです 幸運にも自発的にマヤを作るための この電気と関わる者が多くいます アメリカはこの電気 ヴィシュヌマーヤによって助けられています 感謝していません 例えばナイアガラ滝や 沢山の滝があります 水が低い所まで落ちると タービンが動き 電気を作ります 静圧による電気です 石炭からも電気は作れます ここでもまた 母なる大地が彼女の中で 石炭を作ることで 人間のより良い生活に 作用します 彼女が全てのバダを腹部に 取り入れているに違いありません 石炭を作るために 石は燃やされ その石炭は 電気を作るために使われます 自然が私たちの善のために 働いています ニューヨークは 電気無しには存在しません 15分でも止まれば 電気の力がわかります それ無しで動くことも 存在することもできません それは作られなければいけません 人に善を与えます 料理したり 見れたり 聞いたりでき 楽しめます 電気無しには テレビも 何もありません この出口のサインもなければ 壁にぶつかってしまいます このヴィシュヌマーヤは 大変作用しています でも彼女はマヤです マヤを作ります これが人のマインドに “私たちは世界の頂点にいる” という大きなマヤを作りました 仮に電気がなくなれば 石を擦り合わせて電気を起こす 原始人に戻ります この電気の流れは破滅のためではなく 自身の善のために使います しかし今日 あなたは 自分の破滅のために使っています 30、40年か もっと前のことですが 映画は白黒でした アメリカの映画は以前は 誠実味のある素晴らしい映画でした 既婚者が別の既婚者を 追い回すものは全くなく 素晴らしい家族を描く 大変純粋なものでした 全てを滋養するようなものでした 悪が打ち克つようなものを見せることはありませんでした 今では泥棒がヒーローになるような ものを作っています そして人は 特に子ども達が そのような映画を見て 泥棒を偉大なものの象徴のように思います 彼らは完全にヴォイドに 内なる宗教に反しています ヴォイドを滋養する物が 原子価を保たせる物が 今では完全に ヴォイドを害しています それがそのマヤの部分です あなたに正しい道を示すべき同じ電気が 暗闇に光を照らすべき電気が 今では崩壊への磁石のように 人を引っ張っています これはヴィシュヌマーヤの仕業です それは至る所に広がっています それは人々に概念を与えたり ある生き方を取り入れさせます ハリウッドや著名な人々は この電気で成功しています しかしヴィシュヌマーヤに感謝することなく 人はヴィシュヌマーヤに反することをしています このヴィシュヌマーヤは あなたを助ける者です 彼女がシュリ クリシュナの シスターだからです シュリ クリシュナの領土なので あなたを助けるためにここにきました 彼女はシスターです よく理解すべきです シスターとの関係は 純粋です ここでは全てが混乱していますが これは兄弟姉妹の 最も純粋な関係です ブラザーはシスターによって 守られています そしてシスターの純潔は ブラザーによって面倒を見られます シスターの純潔が 危機に晒されていたり 彼女が不純でいることに心が痛まないなら 彼はブラザーとは言えません シスターの純潔を 保たせる責任があります そして彼女の純潔のみが 彼を守ります これは相互作用です この気持ちが悪く育まれないなら、、、 “彼女は私のシスターで 私が 彼女の純潔を面倒見なければいけない” “私の欠点を気づかれないように きちんとしていなければならない” この関係はあなたを 大変浄化する工程があります 電気にも同じ工程があるようにです 電気がよくしているように シスターもブラザーのためにします 彼のために料理し 彼に正しい道を教え 彼を啓蒙し 時には彼に衝撃を与えます 彼らには衝撃が必要です でなければどうワークアウトして 良いかわかりません 何よりも シスターの扱い方に対して 大変注意深いなければいけません シスターの扱いが 分からないなら あなたは完全に 間違えを犯すでしょう 思いもよらないことが起こりえます ですからいかにシスターを 扱うか心得ないといけません シュリ クリシュナの時代に シュリ ヴィシュヌマーヤが ドラウパディとして再び生まれたことは 理解すべきことです

彼女はドラウパディとして生まれました　ドラウパディが　カウラヴァスによって攻撃された時　彼らは彼女のサリーを取ろうとしました　サリーを取る行為は　彼女の純潔への挑戦に値します　マヤ　ナグリを考えると　女性達は体を覆わなければいけないという認識が全くありません　このマヤ　ナグリにおいて　全く逆なことをしています　大変責任ある者さえ“私たちの文化では　女性は露出しなければいけない”と言います　なんという文化でしょう　全く反クリシュナ反ヴィシュヌマヤです　そのような者は　電気の問題に陥ります　シスターの夫の純潔を　気にかけなかったり　逆に彼を支持したり　間違っただけをさせたりするブラザーは　同じように責任があります　サハジャ　ヨガではシスターは　守られなければいけません　シスターの夫が間違っただけをしていたら　ブラザーが忠告します　一度インドで　ある新聞社が　私に対して批判しました　私の弟は憤慨しました　私は“問題が起きそうだ　どうしたものか”と　事実大きな問題になりました　彼らは訴えようとした　“私は法廷に行きません”と　“私たちが行きます”主人と兄弟が　一緒になると手に負えません　どうしたら良いか分かりませんでした　そこで私は　言伝を頼みました　“編集長に私の兄弟に気をつけるよう　伝えなさい　彼らは影響力があります”　でも彼らは謝罪しませんでした　そこで私はヴィシュヌマヤを思いました　すると大きなストが起き　新聞社が丁度六ヶ月閉鎖になりました　彼らは大きな損害を被りました　業務が再び始めると　働いていた人々が言いました　“なぜシュリ　マタジに対して批判をしたのか　もう辞めます”ようやく新聞社は謝罪しました　ブラザーの愛はアディ　シャクティが　通常しないことでさえさせることができます　同じようにドラウパディが　挑戦された時　シュリ　クリシュナは　ハスティナプールにはいませんでした　彼は少なくとも千マイル以上　離れていました　しかしこう伝えられています　“シャンカ　チャクラ　ガダ　パドゥマ　ガルダ　ライ　シダーレ”　彼は全ての武器を携え　コンドルに乗って来ました　シスターの純潔を救うために　これら全てを携えました　私たちの歴史には　多くの出来事がありました　例えばアブラハム　リンカーンは　自由の女神の　偉大なるブラザーであったと思います　純粋な愛で全く金銭を介さずに　女性のために　飲んだくれの亭主を　罰するため戦いました　素晴らしい強力な　ブラザーの振る舞いです　しかしこのような心持ちを持つ者は　今ではあまり見ません　しかしロシアで　レーニンの家を訪ねた時ですが　彼は奥さん以外に　彼のシスターの助けがありました　彼のためにタイプしたり　公的な仕事をしたりしました　彼は54年の短い生涯で　本を何巻も書きました　まず第一に彼はシベリアにいました　彼のシスターが　そのほとんどをタイプしたのです　私たちは滞在中も　そのシスターの存在を感じました　いかに彼女が　ブラザーを助けたかを感じました　この関係は何の見返りも求めない　大変純粋なものです　普通であれば妻は　“私にコートをくれないなら離婚する”と　イギリスやアメリカでもありえます　しかしシスターと　離婚はありません　離婚できません　今回新聞社の出来事で　私のブラザーの名前が公に出ました　“どうしたら良いでしょう　彼は私のブラザーです”　良くも悪くも　彼は私のブラザーです　彼と離婚は出来ません　全く切れることのない関係です　自然がこの関係を　あなたに与えました　しかしコレクティブにおいても　この関係に敬意を払うことは　大変大切です　あなたができなければ　コレクティブの生活を浄化できません　私がパーティに行くと　おかしなことが起こっているのを感じます　別の妻が　別の旦那と大変親密です　おかしなことが起こっています　自分の妻以外は皆シスターです　そうであるなら　純粋さが落ち着きます　“彼女達は私のシスターです”　そして目も落ち着きます　あなたの目から純真が煌きます　大変簡単なことです　リアリゼーションを得ると　目に煌きを得ます　輝きがあります　それがヴィシュヌマヤです　あなたの目を通して輝く　ヴィシュヌマヤです　そしてヴィシュヌマヤが　彼女が作り出すマヤを超えさせます　目の煌きをリアライズソールに見たことがあるはずで　そしてこの煌きこそが　兄弟姉妹関係の力や　美しさを感じさせ　理解させます　サハジャ　ヨガが始まった頃　これを　確立させるのは不可能だと思いました　なのでヴィシュヌマヤを　試してみようと思いました　うまくいきました　現にこれは間違っているあれが　間違っていると自然に分かります　それに対して　掟を作る必要はありません　ある女性が兄弟と　アメリカに行きました　彼女は私に言いました　“大変おかしな場所です”　“節約のために　一つの部屋に泊まろうとしました”　しかし“ダメです　兄弟姉妹は　一部屋には泊まれません”　インドなら泊まります　むしろ“兄弟姉妹以外は泊まれません”　しかしここでは兄弟姉妹は　一部屋に泊まれません　法律上ホテルに同じ部屋で　泊まることはできません　父と娘なら泊まることができます　馬鹿げています　インド人にとってはショックです　私は“なぜですか”と　理解できませんでした　今や法律になるほどです　私たちにとって　そのような法は馬鹿げています　電気について　あなた方から多く学びました　あなた方もヴィシュヌマヤの力について　私たちから学んだ方が良いでしょう　根について学ぶことは　害ではありません　木が駄目になっていけば　根から本質的なことを学びます　ブラザーとシスターの間の　純粋な関係についてです　シスターとの関係は常に　夫婦間の接合剤の役割もあります　夫が私を困らせるなら　彼のシスターが彼をたしなめるでしょう　彼は気をつけないといけません　私も同じで　私が何か間違っていたとしたら　ブラザーが夫の味方になります　私の味方ではありません　それが関係を　大変強固にさせます　歴史において二つの　大変素晴らしい出来事をお話します　一つはシヴァジについてです　大変素晴らしい出来事が　シヴァジの人生に二度起こりました　一度大変美しい女性が　彼の前に連れてこられました　彼女は服飾品を奪われていました　イスラム教徒の宮廷に　仕える者の娘だったからです　そして彼らはこの美しい女性を夫から奪って　シヴァジの前に連れてきました　シヴァジは彼女を見て言いました　“どうかヴェールをとってください”

イスラム教徒はヴェールをします 彼女がヴェールを取ると 彼は言いました “私の母があなたと同じくらい美しかったら 私は同じように美しかったでしょう” なんていう詩的な言葉でしょう つまり“あなたが私の母なら 私はあなたと同じくらい美しかったでしょう”と つまり自分のシスターである ことを喻しています

そして彼はこれらの人々には 腹を立てて “女性に対してもそのようなことを 決してしてはいけません”

そう言うだけではなく彼女に 沢山の服飾品や様々な物を与え “彼女は夫の元に敬意をもって帰る 私のシスターだ”と言いました 実は彼女の夫は シヴァジの最悪の敵でした いかにも純粋さで その問題を解決したか

その夫は彼のその振る舞いで 大変温和な者になりました そして彼の人生における 二つ目の出来事は プーネの私の家の近くにある 城砦についてです カマル クマリと呼ばれる ラージプートの女性がいました

その城砦の役人である イスラム教徒の男性に捕まっていた “あなたは私と結婚しなければいけない”

しかし彼女は受け入れませんでした 彼女は力尽くで 連れて来られたのです 彼女は受け入れませんでした

彼女はラージプートでした しかし彼は“明日には 私と結婚しなければならない” この女性はどのようにして良いか 分かりませんでした そこで密かにシヴァジに ラーキーと共に手紙を送りました でもそれは シヴァジの母に届きました

お母さんは馬でシヴァジに メッセージを送りました “出来る限り早くここに来てください 食事中ならここで手を洗いなさい”と

シヴァジはお母さんに 大変従順でした 人は彼の人格から 学ばなければいけません 彼は母の下に急ぎました

従順が彼の力だったからです “お母さん どうしたのですか” “私はあなたと チェスがしたいのです” “なぜですか”

彼は理解出来ませんでした そこで彼女はチェスをして 彼に勝ちました 彼女はただ言うことも出来ましたが

彼にヴィシヌマヤを作用させたかったのです 彼は負けて “お母さん 何が望みですか” “今夜中にこの城砦を 占領してほしいのです” “今日ですか” “そうです”

そして彼女は 手紙とラーキーを見せました ラーキーは大変強力です 母が息子に頼まなければいけないほどでした 息子はイスラム教徒から マハラシュトラの解放に責任のある立場でした

つまり彼こそこの城砦に行つて 占領することができます その紐に大変強力な メッセージがあります “分かりました”

でも彼はどうしたら良いかと 動揺していました するとタナジと呼ばれる 男性が現れました 息子の結婚式に 招待するために来ました

そして彼の動揺を見て “どうしたのですか” “母にこのように頼まれました” “私が行きます あなたが行く必要はありません” “私のようなタナジはたくさんいますが シヴァジはあなただけです”

“しかし息子が結婚するのですよ” “私の剣がこの城砦と結婚します その後息子は結婚します”

そのような素晴らしい人がいました 大変な犠牲心です たった一つのラーキーのためにです

彼らはこの女性について何も知りません 見たこともありません 今日そのようなことを する人はいるでしょうか

先進的で偉大とされている人がいますが 誰もこのような映画を見には行きません 人はつまらないと感じるからです

さて彼はそこへ行き 大きなトカゲのようなものを使いました 釘を打ち ロープで登り その城砦を勝ち取りました

シヴァジが見えるように 成功したら火を灯すと決めていました 彼は早朝にその火を見て そこへ行きました

木の下にタナジの死体が 横たわっていました 彼は彼を見て言いました “私たちは城砦を手にしませんが ライオンを失いました”

それ故ライオンの城砦 と呼ばれています 私の家からも見るができます ラーキーと呼ばれる 小さな記念碑です

城砦を次から次へと 占領することができるという 象徴の表現です もう一つの出来事は 前にもお話ししましたが アレキサンダー大王がプルと呼ばれる 王に逮捕された時のことです

彼はインドの女性を 妻にしていました そして偉大なるアレキサンダーは 投獄されていました それはヴィシヌマヤの日でした

妻は大変賢い女性で 素敵に覆われた小さなタリーに ラーキーを入れて王様へ送りました 儀式通り その日に彼に贈られました

贈物は受け取らなければいけません シスターはわざと送ったわけですが 彼は受け取りました そしてラーキーが結ばれると “シスターは誰ですか” “あなたのシスターは アレキサンダーの妻です” “なんていうことだ 義理の兄弟を逮捕してしまった”

すぐさま彼と 義理の兄弟です 別に結婚式が行われた訳でなく 義理の兄弟となりました 彼は牢屋に急ぎ

偉大なる皇帝の前にひれ伏しました アレキサンダーは理解できませんでした “プルに何が起こったのか” そしてプル王は 自国の言葉で謝罪しました

“貴方が私の義理の兄弟だとは 知りませんでした 許してくれますか”

そして彼を王座に座らせました 彼は理解できませんでした 彼を座らせ花輪を捧げ アーティをして

宝飾品やダイヤモンドやルビーなど 大きな首飾りを与えました 足に触れて洗い 大いなる敬意をもって彼を家に返しました

しかし彼は“狂ったのか 誰かに憑依されてしまったのか” 彼の謙虚な態度にギリシャ人が 取り憑いたのかと思ったのでしょうか

彼が家に帰ると妻が笑顔でいました “なぜ笑っているのか” “私はインド人の心に効く トリックを知っていました”

“トリックとは何か” 彼女は彼に一本の紐を見せました 彼は理解できず “これは何なのか”

“これはラーキーでこれを彼に送りました これはシスターのシンボルです “だから解放されたのです” アレキサンダーは座って

“なんていうことか この者達は 自分の敵を一本の紐で解放するのか” “そのような者達を捕られない あまりにも良い人達だ”

”このような精妙さを理解することは できない”彼は自国へ戻りました 彼は彼の賛美を歌う 何人かの詩人を連れ来ました

ギリシャではそのような精妙な者を 見るのはむしろ驚きです 彼らが精妙さを理解する 時だったのかもかもしれません

しかし今日では あまり望めません 人を見ると 彼らは精妙ではありません ヒーローとして崇拝している

オナシスのような人しかいません どこからこうなったのでしょうか ひどいものを良いものとしています 同じヴィシユヌマヤがこのマヤを起こしていると言えます そうなれば地獄行きです 彼女がこれを あなたのためにアレンジしました 彼女はアメリカ人が ヨギに値するとは考えていません 私と戦っているのは彼女です 彼女は“マザー 忘れて下さい”映画を見ると どれもひどいものです 最近の映画は見ることさえできません 目を閉じてしまうほどです 同じ力があなたの崩壊のためにあります あなた自身で使っています これらの映画は全て 人を互いに戦わせ 殺させ 凶暴にさせ 醜くさせ 恥とも思わせない 全く自尊心も 互いへの敬意も 持たせないように作用させます 全てメディアからきます 子どもも無礼になっています 誰も人の言うことを聞きません 目上の者に敬意を払いません 人は素朴で正直で知的で聡明な者が いれば愚か者だと考えます 彼らをどう出し抜き 話を切り返すか どう侮辱できるか分からないからです 全ての映画産業はより侮辱的な 言葉を生み出そうとしています 侮辱的な言葉ほど良いとされ 公衆もそれを望みます 経済目的のために 映画を作ります お金が全てになると 墮落と言えます お金を得て何が悪いのか お金さえあれば良いのです あなたはお金を得たいのですか この国の野蛮な子ども達をそのままにするのですか 何が得られますか 金銭主義はあまりにも酷く アメリカ人は最も狭量で 自己陶醉していると言えます 一方でヴィシユヌマヤは 最も寛容です 彼女は光をあなたに与えるために 自身を燃やします 狭量さは金銭主義から来ます 彼らは大変悪意があり 時には極悪で酷いことをしようとします すると電気が 作用せざるを得ません 彼女がどのように作用させるかは 分かりませんが大変怒っています 特にアメリカ人にです 彼女のブラザーが 統治しているからです 彼女は全てが 安泰であってほしいのです ここから全世界を滅ぼしている 無意味な映画が作られているからです エイズはヴィシユヌマヤの 恩恵の一つです 左のヴィシユディからきます まず左のヴィシユディから 汗をかき始めます 人が罪悪感を感じるなら 向き合い なくさなければいけません もちろんそれは右側に 傾くことで始まります この右側に傾く傾向が 結局は左のヴィシユディにいきます その内在している部分が 人の中である種の弱さを作ります それは母性の 純粋な形だからです センターハートです 母性の純粋な形です 純真な女の子を見ると 彼女の興味は小さなお人形です 彼女は完全にお母さんです 彼女が正しく育つなら 幼い頃から彼女はお母さんです 母性は女性の典型です ヨギの中にも結婚後も子どもを 欲しがらない愚かな者がいます サハジャ ヨガから 直ちに出るべきです これら全てを子どもを望まない人のために してきたわけではありません できるならそうすべきです 生まれたいと望む偉大な魂が 沢山いるからです それらはあなたの家族の木に 繁栄する偉大な果実です 子どもを全く望まないのであれば あなたはここで何をしていますのですか ヴィシユヌマヤの 最も主要なことは 女性が母親にならなければ いけないということです するとその母性が輝くための 特別な力を授けます さてエイズはレフト ヴィシユディで始まり センターハートにいきます センターハートが挑戦され 母性が失われます このようにして抗体が弱まり 病気と戦うことができなくなります エイズにかかった者は抗体が 全くない状態で戦わないといけません 全てにアレルギーを起こし 死んでしまいます エイズに立ち向かうのに シスターとブラザーの関係は 確立されなければいけません そうすることシスターが 男性の振る舞いにおいて 注意してあげることができ そして彼らもシスターを 注意してあげることができます 全ての 悪魔的な動きにおいて 男性は肉体的に攻撃され 女性は精神的に攻撃されます そのような攻撃の中では 女性はそこから抜け出すことが難しいです まず第一に私たちの目的が 何かを決めなければいけません それはスピリットになることで 色情のためではありません このマヤがあなたの目的を 完全に変えました あなたを虫けらのようにしています 実際アメリカ人がどこに向かっているか 理解すべきです 皆アメリカ人が半分気が 狂っていると思っています アメリカ人が来れば “気をつけなさい アメリカ人だ” アメリカ人は自覚して いないかもしれませんが 人はアメリカ人を 正気な者だとは考えません この奇妙で愚かな 考えがあるからです しかしここでは人は 愚かで狂う基本的な権利を もっていると主張していると聞きました 今日この国で起こっていることは そのようなことです あなたは彼らの矛先を神に セルフ リアリゼーションに向けないといけません これはサハジャ ヨギにとって 大変難しい仕事です 私はあなたにお願いします そして祈ります あなたがヴィシユヌマヤの力を育み ヴィシユヌマヤの力で あなたが輝くように 自由の女神を見ると 彼女はヴィシユヌマヤだと思います なぜ男性ではなく 女性なのでしょう 彼女はシスターの ヴィシユヌマヤのシンボルです あなたが自由を持たなければ ならないのなら持てます しかしそれは歡智の自由で 愚かさの自由ではありません このシュリ クリシュナの偉大な国で 今日私はこのことを 話さなければいけません 注意していないといけません 南米で彼女は本当に 適切に支配していると言えます そこは彼女の領域でもあります そこでは電気が至る所にはありません 墮落が始まっています 彼らはあなたのレフト ヴィシユディ をダメにするために コカインや 他の酷いものを作っています 北米では罪悪感を感じる一方 もう一方ではコカインを作り あなたのヴィシユディをダメにするために ここに輸出して悪化させています これはヴィシユヌマヤに対する攻撃で 輸出からくる 南からくる別の攻撃です なぜ輸出しているのか 尋ねました “自国の民を救うのは彼らの問題で 私たちではありません” コロンビアでは公に このように感じています “アメリカは自身で世話できないのに なぜ私たちは国民の面倒を見れるでしょう” 彼らはあなた方から 多大なお金を儲けています それはあなた方がお金に 大変な注意をおいているからです “構いません 私たちはあなたに

ヴィシュディをダメにする物を与えることで儲けます” “お金をそんなに大切だと思うなら あなたからお金をもらいます”
大変大きな戯れです マヤです この国が陥っている 酷いマヤです 簡単に物を受け入れたり
酷いことに気づかせる輝かしい例によって あなたは行動しなければいけません ヴィシュヌマヤがここで
硬い殻を破ると確信しています サハジャ ヨギ達が歩める 新しい道を作ることを望みます そして適切でダイナミックな方法で
サハジャ ヨガに多くの人が来るように サハジャ ヨガに落ち着くように 神の祝福がありますように

1987-1025, Diwali Puja, Power of Innocence

View [online](#).

Diwali Puja, "Power of Innocence". Lecco (Italy), 25 October 1987.

私達は始めに シュリ ガネーシャに礼拝します シュリ ガネーシャは 私達の内にある純真の源だからです ですから内にある純真に礼拝します この純真は あなたに啓蒙を与えます 昨日お話ししたように 光は一般に純真で表されますがそれは知識のない 純真さです しかしあなたの光の純真さには 知識が備わっています 人は知識ある者は決して純真にはなれないと 素朴にはなれないと考えます 純真に対する 概念においても 純真な者は常に騙され軽視されると考えます しかし純真は力です 守る力を与えます 知識の光を与えます 世俗的な意味で 知識は いかにも人を利用し騙し 金儲けをし 人をいかにからかうか 蔑むかを指します しかし純真の光は 愛が最も高いものであると 分かせますそしてそれは人をいかに愛し 気かけ 優しくするかを教えます またあなたの内に 光をもたらしませ世俗にあるアヴィッディヤとは 対称的です 外的なアヴィッディヤは 私達に 競争心やいかに人を 貶めるかを教えますそこに恐れや 不安があるからです この知識に安心感は 全くありません 安心感があれば そのようには振る舞いませ純真の光は 全てを知っています そこに恐れはありません “子どもは純真だ”と言うとき 純真の力を持っているということです 子どもが高い所から落ちて 助かったケースが多くあります 一方若者はさほど高くない所からでも 死ぬことがあります 子どもは落ちる恐怖心がなく ただ楽しめます パラシュートを 使っているかのようです そして落ちた後も立ち上がって皆に微笑みます なぜ皆が心配しているか 理解できません その純真さの中で子どもは世話され守られていることを知ります 自分より高次な力があると 感じています ですから心配しませ しかし子どもに様々な概念を植え付けると 子どもは純真の力を 失い始めます そして臆病になり ずる賢くなり 不道徳になります それでも子どもの純真さは ある意味 無知の純真さと言えます 人生における危険を 知らないからです しかし純真の光はすべての危険を知っています どう取り除くかも知っています そのような者といかに 関わらないかも知っていますある賢い者が 階段を下りようとしていました そこへ下から愚か者が 上がろうとしていました 愚か者は劣等感があるゆえに常に攻撃的です そこで愚か者は 一人しか通れないため “馬鹿な者にゆずる気はない” と言いました すると賢い者は “私は馬鹿な者にゆずりますよ” と言い道を開けました このように純真の光は どこまで相手に踏み込むか どこまで話すか相手の人格や問題に どこまで立ち入るか教えてくれます この者は相手が愚かな者だと理解し “ゆずります”と言いましたそのような者には 気にもかけませ この純真の光は 分別を与えます どこまで踏み込むか 分かります “私は彼を愛しています”相手に蹴られても 叩かれ 困らされても 取り憑かれても その者に 惚れ込む者がいます 自尊心もありませ 世間的には純真かもしれませんが その者は啓蒙も 純真もありませ 啓蒙され 純真であるなら あなたの純真に力がありますそれはまずあなたに 分別を与えます 手にランプを 持っているとしませ すると持っている物が 蛇か紐か分かりますランプがなしには 見れませ 蛇だと分かっても 逃げ出すか 愚か者なら “噛んでみてどうなるか様子をみよう”と言うかもしませ しかし啓蒙された者なら 蛇に “放っておいてください” と言うでしょう 蛇も理解して去るでしょう邪悪な蛇なら ただ蛇を一瞥するだけで 蛇の方から 逃げ出すでしょう ですからこの純真の力は とても大切ですそれは啓蒙を通してのみ 得られます 人は始めは 無知で純真です 後に純真でも 無知でもなくなります 啓蒙もありませ両方の本質がなければ ずる賢くなります また無知ではなく 知識があり すべてに長けていて 知性や知識の豊富さゆえに名声を得たとしても そのような者は 世間的な知識はありますが 純真さはありません そのような者は思考をコントロールしようとしませ そして純真さが失われます 純真さは愚かさだと考え 純真さに敬意を払いませ人を巧みに操ろうとしたり 過激なことしたり 傷つけたり ひどいことを言います そのようなことに 脳は使われませ純真に戻れないからです 私達はそのような者を 好みませ 彼らは “自分たちは優れていて 選ばれた者だ”と自讃し同じ考えの者達と しようとしませ ですから無知に いわゆる知識が加わります 内側は完全に無知で 外側に知識があります そうなると内に 真実を求めようとしませ 彼らの外側に いわゆる知識に満足するからです その状態で突き進めば痛い目を見て “内側が全くの暗闇だ” と気づきませ 私達は太陽が輝く中 窓を密閉して生きることはできません内側に光がないといけませ 自分達は何者で 自分の力は何で どれくらい高められるか 人生の目標を どう達成させているかを見ることのできる光を 持たないといけませ これらの光の啓蒙は あなたの内にヴァイブレーションとしてチャイタンニヤとして現れませ チャイタンニヤ自身が光です この光と普通の光には 違いがあります 普通の光はあなたの目に訴えるだけです 対象が石であるか木であるか 家か人間の顔かを教えます しかしその人が 良いか悪いかがこの家にヴァイブレーションが あるかないかは教えられませ あなたに吉兆を与えませ 吉兆感も教えられませ私達はガネーシャの 純真について話しますが それは私達に吉兆感を与え 私達自身を吉兆にします ですからチャイタンニヤ自身が 啓蒙です それが持つ全ての知識を あなたに教えます いかに微細であるか

想像してみてください 大変微細な チャイタンニャが 知性を持ち 分別を持ち その者が良い者が 悪い者を教えます
大変簡単に サハジャ ヨガで得ました 自身の複雑な仕組みに 何が起こったか気にもしないほどです それには知識があります
その人が良い者が悪い者が 分かるだけでなく どのような問題を 抱えているかも分かります
普通の光は人の容姿や歩き方といった 一次元までの理解を与えます 人が何かを想像すれば “私はこう思う” と言います
内に流れるチャイタンニャによって あらゆるものを感じることができます それは全てに遍いていて
全ての分子に脈打っています そして私達に 全ての物質や動物 人間 全ての神格についての知識を与えます
この光なしにあなたは私を 認識することはできませんでした どの神格も 認識できませんでした
人生における立ち位置や目標を 知ることもできませんでした 人生の目的や なぜここにいるのかもです
あなたはここに金儲けのために 貯金したり 株を買うためにいるのですか あるいは家を買うため 妻に手の内で踊らされるため
妻に対して支配的になったり 子どもの成長に精を出すためですか チャイタンニャがはっきりと それは違うと教えるでしょう
しかし これらに頓着するなら コレクティブな現象から 完全に切り離されてしまいます そしてこの光は消えます
この光が繋がりを失うやいなや 光をもつことはできません ですからヴァイブレーションの繋がりが 強くないといけません
完全で 安定していないといけません 例えば不安定で 動く光があるとする 物事を適切に 理解することができません
ヴァイブレーションは 全てを知っていますが あなたがヴァイブレーションに 敬意を払わない道具でいるなら
ヴァイブレーションで伝達ができない 不完全な道具でいるなら どう伝達するというのですか 子どもを外に
連れ出してください あまり無理しないように 子どもに短気になっては いけません 子どもが泣いているのは
何か欲しいのでしょうか

1988-0110, Makar Sankranti/Shri Surya Puja

[View online.](#)

Makar Sankranti – Shri Surya Puja. India Tour, Bombay (India), 10 January 1988.

これは 大変特別な機会です あなた方に ボンベイで再会できました そして あなた方は国へ帰ります 今日行われるのは 特別な類のプージャです これは 太陽へのプージャです マカール サンクラントゥ と呼ばれています マカールの意味は “南回帰線”です または “やぎ座の回帰線”です 今 太陽が 南回帰線から 北回帰線へ動きます 太陽と関係しているため 常に決まった日にちです 唯一 インドの暦で 毎年同じ日です 太陽によるからです しかし今回は なぜか分かりませんが 今月の 15 日になっています いつも 14 日です 今日 変わります 季節が 変わろうとしています 太陽は移動するまで 6 か月かかります 南半球へ移動し 温かくします 明日から 北半球へ移動します つまり 今日是最後の日です 今日インドでもっとも寒い日といえます この後 暑さが増します 夏季に吉兆なことを することができます プージャの後に 吉兆なことを行えます 夏は大変暑いですが 人々は太陽の活動や 温かさを望みます 太陽のおかげで 田畑の作物や果実 全てが育ちます そのため太陽がない 6 ヶ月間を サンクラントゥと呼びます ある意味災害です ヨーロッパ諸国 例えばイギリスや アメリカでは 太陽がない この時期は災害です ここでさえ そのように思われています サンクランツの終わる日です つまり災害の終わりです 人々は胡麻の入った 甘いものを食べます 胡麻は 熱を与えるからです ですから 今日是最も 寒い日なので胡麻を食べます 熱を蓄えて これからの暑さに 身体を調整します これはある意味 大変グロースなレベルです 十分な温かさを 保たせます またこの時期に 愛の温かさは 表されるべきである と言われています 最も寒い日だからです 人に優しい言葉を かけるという 特別なことをする と言われています より温かい国に住む者は 寒い場所に住む者より優しいです 寒い場所では 自然が厳しいからです 彼らの気質を 非難できません 自然が厳しいからです インドではどこにでも 住むことができます 木の下でも 森でも幸せに暮らせます 飲み水や水浴びできる 場所さえあれば暮らせます 世界で直面しているような 問題はありません 他の国は 外出に 20 分かけて着飾ります ここではそのまま家を出て 夏の間 空けっぱなしにできます 自然に関して言うなら 何の問題もありません 夏季の自然は 大変寛大です 木は青々と茂り 人々は大変幸せです 全ての活動が 太陽のエネルギーによって 活発になります しかし 西洋では 太陽があまり出ません そのため人々はより家に留まり 暖房や他の機器に頼ります そして戸口を閉め ハートも閉じてしまいます 他者とのコミュニケーションが 難しくなります 南へ行けば あなたの国もそうですが 人はより温かく 素朴でとても寛容です 太陽のおかげで 人々の心は開き 客を招き入れるような 心になります サハジャ ヨガの 観点から見ると 太陽の経路は 右側です 月は左側です 月の経路において 人は望みを持てますが 行動することはできません 左の経路において 極端になれば破壊的になります 家にいて何もしなければ (今日失業の 問題がありますが) あなたは 考え過ぎてしまいます これは望みの エネルギーの作用であって 行動ではありません 行動なしでは このエネルギーは 大変破壊的になります それ故 “怠惰な心は悪魔の仕事場” という ことわざがあります 人が行動しないとき 行動が起らないとき 大変破壊的になります ですから温かい国と そうでない国は 状況が違います しかし 温か過ぎる国 例えばアフリカでは 熱がありすぎが 問題のもとになります 赤道が通る地域は 強く熱せられるため 高い木が育ち 密林地帯になります その場所全体が 群葉で覆われ 陽光が届きません そして 暗闇が広がります この極端さは 冬季の極端さと同じです 当然そこは太陽が あまり出ないため 住む者は あまり成長しません 人は原始的であつたり 大変攻撃的であつたりします 彼らは動物から学ぶため 大変攻撃的になりえます ですから バランスが必要です バランスとは 望みそして 行動することです しかし 問題は 人間の環境にあります 労働の区分にあると 思います 国の中で 考える者と活動する者が 分かれています この状況では 何もうまくいきません スシユムナが作用する バランスが必要です スシユムナの経路は 位置でいう赤道です 赤道というより 母なる地球の軸です 母なる地球の軸は スシユムナです 作用されるべきです 軸はつまり バランスを もたらすものです 実際は 母なる地球の中に 私たちが軸と呼んでいる 大きな柱のようなものはありません 母なる地球の中に 軸と呼ばれる物質的なものはありません しかし それは エネルギーであり 広大な宇宙で 物凄いスピードで 地球を 動かしています それだけでなく 私たちのために昼夜を創ります 昼は働き 夜に寝ることで 私たちにバランスをもたらしています 太陽の周りを回ることによって 地球の半分の国々が 夏季に太陽の恩恵に授かります もう半分は 冬季に恩恵を授かります この軸が作用させ 全てに働きかけます またこの軸は 宇宙の他の惑星や衛星から 必要な距離を保たせます この軸は 母なる地球の知性です 知性だけでなく 芳香であり 母なる地球の スシユムナの経路です この軸によって スワヤンブーが出現し 地震などの 現象が起こります この軸は動くものです エネルギーとして 捉えられます 様々な方向へ 溶岩層を動かします 様々な領域にぶつかって 地震を引き起こします また 火山も引き起こします 軸は何をすべきか分かるので このような現象を起こします この軸は 私たちを愛しています この軸は 季節をつくります 季節は 私たちに様々な種類の食べ物や 物を与えるために 美しく創られています 母なる地球の熱が

失われれば この地上に 何も存在しません 全てが凍り 雪に覆われ 食べ物もありません 月のようになってしまいます ですから 特別に創られました 太陽の熱によって 母なる大地は誕生しました つまり 太陽は 母なる大地の父と言えます 次に地球は月の近くに移動し 温度を下げました 完全に冷え 雪に覆われました そして 太陽の近くに 移動しました 生命が誕生可能な 地点まで移動しました その場所で命が育まれるよう 全てがすばらしく体系化されました 生命が誕生したことで 炭素が形成されたことが分かります 炭素は 同じ軸で形成されます 軸に熱があるためです 熱のエネルギーが 植物を炭素に変えます この炭素は後に 含水炭素あるいは 全ての有機体の生産の ための基盤となります しかし 生命誕生には その他に窒素が必要です 窒素は驚くことに 同じ軸の動きから 創られています この窒素が創られたとき 私たちにアミノ酸をもたらしました 私たちの内に アミノ酸が創られたとき 私たちの生命の起源である アメーバが誕生しました もちろん 全ての始まりは海です 海で窒素がつくられ 生命が生まれたからです 海から始まりました そのようにして 私たちにはアミノ酸があります アミノ酸の形成は 多様な 生命をもたらしました 進化の過程において 母なる地球は軸を通して 大きな役割を果たしました 同じように 人間にとって軸は 最も大切なものです 軸は私たち生命の 主要な原理です 私たちは自分の軸で 立たなければいけません 自分の軸で立たない者は 左か右に傾いて立ちます 完全に崩壊する 可能性があります 右や左に傾き過ぎるため 滅びます ですから 自分の軸は しっかり保たなければいけません しっかりした軸を 持たない者は 様々なチャクラや その者の資質に 影響します 自分の軸を伸ばしすぎる者は このように頭を反らせます 大変右に傾き エゴの問題が起こります 卑屈な者のように 頭がうなだれる者は 自分を 破滅へ追い込みます この両者には 問題があります 一方は支配的で 他者を支配して 破滅させるだけでなく 自分も破滅します 例えばインドは イギリス人に 支配されました フランス人も 他国を支配しました ポルトガル人も 他国を支配しました しかし 支配したことに対しての 反動がありました インド人は支配されたことによって 大変卑屈になりました 今日でさえ大変卑屈であるべき 自主的な軸がありません 大変卑屈です インド人が西洋へ行くと さらに卑屈になります 彼らは白人を喜ばせようと 卑屈な行動を取ります インドで白人は 崇敬されるようになりました それが 白人のエゴを増長させ 今日そのエゴが 彼らを滅ぼしています エゴのため 破壊寸前です ですから大変 不自然で表面的です 人間にとって最も大切なのは軸だと理解しなければいけません 軸は全ての人にあります それぞれの軸を尊重しなければいけません サハジャ ヨガで私は あなたを顔では知りません チャクラで どのようなスシュムナかで あなたを知っています 深いスシュムナなら 深い者だと分かります 表面的なスシュムナなら 上辺だけの者だと分かります 親切に 振る舞っていても サハジャについて話し よく知っていたとしても 達人であるかのようにして 人を当惑させることを言ったとしても あなたの深さは 知っています 軸の深みが 何よりも大切です 軸が 深くなければいけません “軸は軸であって なぜ深く なるのですか”と尋ねるでしょう 人間の内にある軸は 三巻き半に巻かれた 紙のようです その中心が ブランマの経路です ブランマの経路とは 大変細い 髪の毛のようなもので 髪の毛の細さのクンダリーニが 通ることができます 深い者なら ブランマの経路は太く 外側に巻かれている ものはより細いです 一方 深みのない者は 外側に被さるものが 内側より太いです そのような者は外見上 大変ダイナミックに見えます 知的で賢く見えて 容姿も良いですが 内的には 深くありません 深い者は 態度全てが素晴らしいです 大変 歓びを与える者です そうでない者に会えば 喜びに満ちているようでも 喜ばせようとしていても その喜びは 真に深くありません それは喜びを 殺すようなものです ですから 軸をより深めることは とても大切です これにおいて 私たちは 適切な配慮や 努力に欠けています 自然に 大変深い 軸である者もいれば ある意味 大変収縮された軸を 持つ者もいます この軸は 成長させなければいけません プージャに来れば 確かに軸は広がります しかし それは 一時的なものです その状態を保つには 自宅またはコレクティブで 働きかけなければいけません 自宅での瞑想で 働きかけなければいけません ただし真剣にすべきです ただの遊びであったり 軽薄であっては いけません 献身的なものとして 真面目にしなければいけません それは瞑想的なもので 神への祈りのようなもので 神へのプージャです そのような敬意で なされなければいけません 敬意はそれを 達成する鍵だからです 自分に対して また 人に対して敬意がなければ 達成できません まず人生に 敬意を持つべきです 人生に対して 何をし 何を無駄にしているか なぜ深く ならないのか 何らかの目的があるに違いない 目的に向かっているのか このようなことを 考えるなら 自分のエゴと戦えると 理解できます 通常 人は些細なことで 戦うからです サハジャ ヨガでも 完全に無益なことで 戦う者がいます 戦いや喧嘩について 言及することすら 愚かしく感じます 深い者は あまりしゃべらなくても あまり 見せびらかさなくても 前列に座らなくても 自分の深さで 自分を表します それを通して より働きかけられます これを育むには 瞑想しなければいけません 大事なことは 毎日の瞑想です 食べない日があっても 寝ない日があっても 仕事に行かない日が あっても 日常的なことをしない 時があっても 毎日 瞑想しなければ いけません 中央の収縮された部分を より育むことは 大切な事です それが育まれると 自分について まず気付くことは 快適さを 求めないということです 物質的なことに 煩わされません 何であれ あなたは その上をいきます 自分が属さないものに 首をつっこもうとしません それから離れ “手に負えません 私が気にすることではありません” あなたの注意は 内側に向きます 内側に向くと 軸がより広がります ブランマの経路である 内側の部分です そしてさらに 広がり始めます 些細な事に関しても 例えば 私が いる者に対して 言及せず 他の者に対して 言及するとします “マザーは私のことを 口にしなかった”と感じます あまりにも些細で 気に止めても 仕方ありません 深い軸がありさえすれば

あなたは私といますし 私はあなたといます 完全に一つです 外側のことは “他の者は素敵なサリーをもらえて” “私はもらえなかった”など これら全てが 頭に浮かぶなら あなたに何か欠けているものがある ということです 不満を言うでしょう “バスで 立たなければならなかった” 全くあなたは 快適でなかったということです 軸の広がりがあるのを 快適にします それが快適にさせます どんな状況でも どんな地位でも どんな暮らしでも あなたに快適さを感じさせます それ以外の快適さを あなたは欲しません それを瞑想によって 育まなければいけません 次にサハジャヨガは集合的現象 だと知らなければいけません 特にインドの男性は 自分で手仕事をしません 間違っています 全く自分でしないので 集合性にひどく欠けます インド人は 集合性において最悪です アシュラムも 建てる必要があるのかと思う程誰も使いません 自分の家や家族 子どもたちにこだわり 集合性において最悪です インドの男性は決して手仕事をしないからです 一本の釘さえ打ちません 多くがそうです 何かを修理するのは もつての他です 彼らは腰に手をおき指示するだけです マラティ語に 面白い言葉があります “ラクダに乗って ヤギを追いかう” という言葉です これはインド人特有です 彼らは修理も 何もできません 何か広げ始める者がいれば 立って見るだけで手を出しません どのサハジャ ヨギも シアマダンが大切です シアマダンを しなければいけません シアマダンとは労力を提供するという事です それが 私たちに欠けています それにあたって 家をきれいにしたり 家の外観をきれいにしたり 庭の手入れをしたり 家にペンキを塗ったり 自分の手を使うべきです することがなくても 髪をといたり 何かできます とても簡単なことから 始められます それさえしない人も いるからです ひげも剃らず 誰かに任せたりします 彼らは完全に怠慢です 逆に西洋は 自分の手を使います 自分の手を使うので 大変コレクティブです コレクティブであることに プラスになります 一方 インド人には伝統があり クンダリーニや ガネーシャのことを知っている という利点があります 左側が望みで 右側が行動です アンバランスが生じる という話しに戻ります 西洋では 行動に移しますが ここでは考えるだけ 計画するだけです 全てが計画だけです 何も上手くいきません 計画を立て続けるだけです この10年間でデリーに アシュラムが一つ建ちました まるでタージマハールです 大して 大きくないのに なぜそんなに年月を費やしたのか 理解するのは難しいです これはサハジャ ヨギだけでは ありません 他も同じです 皆がそうだからです 全てが延期され 全てが 次の日に行われます ある人が来ても 他の人が来なかったりします 同じように学校で 足し算をしたり 問題を 解いたりしますが 一つの家を建てるのに 3人が働きに来て一人が逃げました そして 2人の人が働きに来て 一人が残り二人が逃げました 次に五人働きにきて 二人が逃げました いつ家が建つのでしょうか 建ちません 逃げる人がいては 完成しません そのようです つまり 集合性の欠如です インド人は 行って何かを植えられる 場所を探すべきです そのような場所を探し 素晴らしい菩提樹の種を植え 共に水やりをして 育てるべきです その点で インドの女性は良いです しかし欠けている ところもあります 知性です 考えることです 考えていることと言えば “夫はこうです 夫のために料理をしなければ” 夫が食事にレモンを必要とすれば 家にレモンがなければ 女性はあらゆる場所へ行き レモンを手に入れるでしょう でなければ彼は 食べ物を食べないでしょう 食事を抜く時があっても 構いません それでも 女性はしようとします 夫の嗜好を守ろうとするからです それで夫の分別も 保っています 男性は 大抵の夫は 虎のようだからです ですから餌を与え続けなければ いつ飛びかかってくるか分かりません イギリスやアメリカは逆です 夫がヤギで 女性が虎のようです 西洋化した インドの女性もそのようです 西洋に行けば 素朴な女性でさえ虎のようになります 突然の変貌には 驚きます ジーンズを履かなくてもそうなります 南回帰線でも北回帰線でもない 母なる地球の軸を 持つべきだと理解しないと 人間はバランスを崩し始めます このバランスは 私たちの深みからきます それを深めていかなければ いけません サハジャ ヨガのことを 話すことによってではなく 実際 真剣に瞑想をする ことによってです 次にコレクティブの事を しなければいけません 例えば インドの建築家は 自分の手で 決して何も触りません 座って 設計するだけです 設計が終われば 勝手にさせます そして実質的な問題が 生じます 彼は一本も 釘を打てません 彼らはいわゆる ホワイトカラーです 手仕事には 全く役に立ちません 如何なる手仕事も できません 折りたたみ式椅子を持ちあげて 立てることすらできません 集合性に関して 破滅的な社会から 私たちは来ていると これらの状況化で 理解しなければいけません ですから コレクティブになりましょう コレクティブで 何かするようにしましょう インドでは集合性に関して 大変乏しいです 妻にも優しくしません 妻や子どもたちと 楽しく話しません 妻に優しくするのは 不道德だと考えます 一方 西洋の人は コレクティブを重んじ 何であれ 妥協しようとし 家庭生活を 円満に保とうとします ですから両極端です しかしながらインド女性の 観智のおかげで 家庭生活は うまく回っています イギリスの男性を見ると インドの男性が女性にする ナンセンスが耐えがたく見えます 彼らの振る舞いは 全く許されるものではありません 男女間のバランスにおいて 軸となるのは 家庭です 家庭が軸です 家庭内での どのような会話をするか 何を考え どんな問題があるのか どこに注意が向いているか どんな話題をするか 大変大切です その中で 家族に 何が起きているのか分かります 互いに 悪口を言い合っているのは 夫が子どもに 妻のことを告げ口しては 妻も子どもに 夫のことを告げ口しては そのようなことが 続いているのは しっかりした軸は ありえません 軸は 愛そのものです 利用するものでも 甘やかすものでもなく 愛です 私たちのような国では 何が軸でしょう 私たちの国の軸は スピリチュアリティです 私たちは お金や発展への渴望を 乗り越えなければいけません まずスピリチュアリティです 発展する前に 国民がリアリゼーションを得れば ここにアメリカがもう一つできる という心配はありません

共産主義者になることも 何ともありません 共産主義者は アメリカ人と同じです 気質において 違いはありません
アメリカ人がロシアに滞在すれば ロシア人と同じように振る舞うでしょう そして また 逆も同じです 違いはありません
人のスピリチュアルな 成長を可能にする国において スピリチュアリティの軸が 最も大切なものとなるなら
そして得られるなら 如何なる発展があろうと その国を 滅ぼすことはできません 戦争はありません 至る所に
平穏と歓びがあるでしょう ですから マカール サンクタントウの日に サンクタントウ (災害) は終わった と言いましょう
私たちを祝福する 新しい月の新たな時代を 待ち望まなければいけません そして私たちに 必要なエネルギーを与える
すばらしい太陽の日の出に サハジャ ヨガの黄金の時代の 出現を祝ってまいましょう 神の祝福がありますように

1988-0731, Guru Puja, Gravity of Guruship

View [online](#).

Guru Puja, "Gravity of Guruship". Andorra (Europe), 31 July 1988.

今日は皆さん グルの崇拜の ために集まりました ご存知のように グルの原理はヴォイドにあります この原理がバランスと重力をあなたに与えます 地球の重力が あなたのグルの原理によって 表現されています 重力に関して まず あなた方は世俗に飲み込まれず 小競り合いに囚われない人格や 気質を示すべきです 自らの深みにいる グルの人格はたやすく飲み込まれる ことがありません これがグルの第一の性質 重力です お伝えしたように 何にも飲み込まれない性質です あなたの人格の 深くに位置取り 水面に浮かぶこともありません 先進国の人は 個人に強い力があると 考えがちですが 個人が自由を謳歌することが 民主国家の目的になり 集合性が 見過ごされています もちろん個人は大事ですが コレクティブに寄与する必要があります しかし 重みがなく 表面を漂っているようでは 簡単に流されてしまいます だからファッションに 流される人がいるのです ファッションには知恵にも 健康にも合理的ではありません 人格的成長や健康に 良いファッションはありません 時に変で 愚かに見えます すると人は “愚かで何が悪い” “バ力になる事の何が悪い” といいます 個人の自由ですが 人格は育ちません 人格的にゼロで 空っぽです 自分で何も決められません 流行っていれば 何にでも従います これは西側の状況ですが インドのような国でも ある狂った傾向が見られます 彼らも豊かさというものを 経験しなければならないからです 他人の芝を見て 彼らもやはりするでしょう 自分が得をするためには 何でもするでしょう あなた方が ファッションに惹かれたように 物質主義に陥るでしょう 個人主義は ある程度までは良いですが 度を越すとおかしくなります 特に西側では 人格が未熟なので 簡単に商売人に 騙されてしまいます 例えば愚かな人がポイズン (毒) という 名を使い始めると 皆がポイズンを買うのが 良いこととなります 愚かな者がある名を使うと 皆がそれを買いだすのです 特別なものではありません 何も特別でないのに 注目されます それであなたが 偉くなるわけではありません 有名ブランドというだけで 皆が買います “ああ あのブランドですね” と 非常におかしなことです そして髪型や足 首 爪 眉毛などの スタイルも流行ります 重みがないので どんな馬鹿げたことでも 自分の身体にしてしまうのです 重みがある人は そんなことはしません まず それに合理性があるかを 吟味します ただ変化のためなら おかしな流行なので流されません 水面に漂う藁のように流されないことが 人の重みを示しています 流されず 深い理解の海の真珠の ようにとどまります 今日ここに来ている皆さんは 自分の内なるグルを崇拜し まずは気質における重みが 必要なことを理解しなさい そのために大学教育は 必要ありません 読書や何かも必要ありません 自分の価値観を 正すだけです 価値観が正されると 何が社会に良いか理解します 何が自分に良いかもです 例えば 蓮の花は 泥や汚れを出しません バラのような 良い香りを常に放ちます 香りだけを放ち 汚いものは出しません 重みを獲得して 自分がグルと思うなら 醜悪なもの愛をたり 書いたりすることがないでしょう これが第二の点 価値観です まずは吉兆さを理解し 聖なる美や 精神のモラルを理解しなさい これら三つを悟り 身につけることで 人々が “あの人は重みがあって ある美しさがある” と気づくべきです 内面が変わると 外に現れます そのような落ち着いた人 落ち着いた格好をします 誰かを魅了しようと着飾ったり 自分を見せびらかしたりしません 自分の体を 尊重するために着ます 口を開くと知恵を語ります つまらない 下品で役立たずな話はしません 何かをするときは 品位と礼節があります 専門家になろうとする 人のようにです グルを崇拜する人は 仕事においても専門家になろうとします 例えばエンジニアのように お金や名声 他人の賛辞には無関心です 関心があるのは 対象を本当に理解できるかどうかです 凡庸ではないでしょう 音楽家は完全に音楽家で 芸術家は完全に芸術家で なければいけません 一般的なり方で 上達しようとはせず スピリットの導きによって 向上しようとし 詩人なら スピリットの次元で 向上しようとし 商業的な成功は 望みません 凡人は多数派に娯楽を 与えようとするものです 社会の役に立たない低俗な本を売り 売名することに恥を感じません グルの持つ 価値観というより 彼のライフスタイルや言説 態度により表現されたことに 人は重力のように 惹きつけられるのです その結果 バランスの 価値体系が蓄積されます 何かの専門家になることは 別の面をおなざりにすることではないのです バランスです 例えば音楽家が絵画を理解しなければ そもそも芸術家ではありません あなたが芸術家で まだサハジャ ヨガを理解しなければ あなたはヨギではありません スピリットの核心から始めると 全ての知識が統合され 表現されることに驚くでしょう あらゆる意味で どんなことにもエキスパートになります 何を聞かれても あなたは何でも知っています ですが 価値の優劣を わきまえなさい 大切なことを 理解しようとしなさい お酒の種類とか 価値の無いものに 関する知識を手放すのです そこで上達しようとし ないことです カーベットの種類の専門家に ならうとも思わないでしょう サリーやカメラの種類 知識も 知りたくないでしょう 知っていても良いですが 知らないことを気にすることはありません 人格における重みこそが 大切と分かってくるでしょう シンプルに言えば 吉兆さが解るようになるということです

吉兆とは何でしょう フェアプレイについては ご存知ですね 他者に対するフェアプレイとは 何でしょう
神の目における正義とは何かが 分かってきます あなたのクンダリー二を引き上げる 聖なる音楽を知るでしょう
つまり重みによって あなたは分別を得るのです 何が人格で 何があなたを取り巻く 水気なのか解ります
どう分別を弁えればよいか 分別の感覚は 内なるグルの原理から来ます しかし グルの原理が
おかしい状態になることもあります 偽りの指導者を 信奉して本を読み 理論や教義にかぶれると おかしくなります その結果
頭部の エカデシャ・ルドラが増大します また 生活の一方だけに 自分を投影して 働き過ぎたりなど 極端な性格だと
心身やスピリットの問題が グルの原理に影響し エカデシャ・ルドラによって 破滅が始まります いかにもグルの原理が
大切であるか 殆どの病気は この原理に反した結果 エカデシャ・ルドラのレベルまで その悪影響が至った結果なのです
リアライズド・ソールとして あなた方はブラマナディを通過し サハスララを抜けて これら全てを超越しました しかし
だからといって 例の重力を獲得したことにはなりません あなたはある意識を 既に獲得したのです 花を水面におけば
浮かびますが 花は熟せば実になり それは浮かばず 沈んで 水に溶けることもありません 同一性を保ちます
それこそがあなたになるべき者です サハジャ ヨガの果実になるべきです 花咲く季節は終わり あなたが果実になり
人々はあなた方には バランスの悪さがないと思うべきです あなた方は特別な重みを持っています なのでサハジャ ヨガの
プログラムで 決して子どもじみたり 馬鹿げた振る舞いをすべきではありません 私の前に座ってクンダリー二を
上げる人がいました 馬鹿がっています バンダンするのも 馬鹿がっています サハジャ ヨガに 来たあとでも 馬鹿げた重みのない
振る舞いをすることはありえます サハジャ ヨガに来て まだ以前のように振舞っているなら もっと成熟した実にならなければなりません
それこそがあなたがグルの原理を 獲得したしるしです 母なる地球の重力を 知ることが大切です
高速で回転しながらも いかにも彼女は聖なる愛で私達を 美しく抱きかかえているか分かります 大きな山々を見ると
それらは偉大な聖者が座して 瞑想にふけているようです 海から放たれるグルの原理を つかめるのは彼らだけなのです
ご存知の通り 海がグルの原理ですが それをつかめるのは とても高い山々なのです つまりあなた方は重みがありつつも
高い水準を保っています なので誘惑や人を惑わすような 馬鹿げた考えを超越しています 歴史上の偉人のように
他の皆より高く強く立っています かつて存在した 10人のグルの名を教えました アディナス 孔子 ソクラテス 後にアブラハム
モーゼからサイナスまで 10人ほど存在しました 今日ここに 沢山のグルが座っています 皆さんはグルで そのように振る舞い
働くべきです 今日 自身の中にこの重みと理解を どう発展させられるかをみるべきです この平穏が あなたの中に宿れば
サハジャ ヨギになる喜びが真にわかり 皆が楽しめることでしょう 神の恩恵がありますよう

1988-0806, シュリ クリシュナ プージャ、目撃する状態 / シュリ クリシュナ プージャ

[View online.](#)

1988年8月6日、イタリア、コモ市、ガーレイト、 今日私たちは シュリ クリシュナを崇拝するために 集まりました 私たちは ヴィシュディ チャクラにおける シュリ クリシュナの出現の意味を 理解しないといけません ご存知のように 一度か二度 シュリ プランマデーヴァが 化身しました そしてシュリ ガネーシャも 主イエスキリストとして 再び生まれました しかしヴィシュヌの原理は 女神が何度も化身しているように 何度も化身しています ヴィシュヌの原理は何度も マハラクシュミの原理と共に 働かなければいけませんでした 人々の上昇を助けるためです ですからシュリ ヴィシュヌの原理は あなたの上昇のためにあります 人間の進化の過程のためです この出現や マハラクシュミの力を通して 私たちをアメーバの段階から 人間へと進化させました 私たちにとっては進化は 自然の行程に沿って進みました しかしヴィシュヌの原理においては 様々な化身を通して 進化しました ご存知のように まず魚から シュリ ヴィシュヌの化身から始まり シュリ クリシュナへと 化身しています そこで彼は完全体になった と言われています 理解しなければならないことは 彼が私たちの中枢神経系に作用し 育んだということです 進化の過程において 中枢神経系が育まれました この中枢神経系が 人間としての意識を与えています そうでなければ 私たちは石同様でした 私たちの意識が育まれ 内に次々と 異なるチャクラが形成されていきました ヴィシュヌの原理が 私たちに真実を追求させ 最終的にサジャ ヨギになるための 理解へと導きました なのでシュリ クリシュナの原理は 大変重要で このヴィシュディ チャクラの段階において 私たちは完全になります ある意味 サハスララが開いた時 あなた方はヴァイブレーションを感じ始めましたが 完全ではありません 完全であったなら あなたの進化の 最終点であったはずですが その時点で終わりであれば サジャ ヨギは 必要なかったはずですが 実際は一度サハスララが開くと ヴィシュディまで降りて来ないといけません つまりコレクティブにです もしあなたのヴィシュディが 啓蒙されておらず ワークアウトしていなければ ヴァイブレーションを感じません 昨日演奏者が全く新しい次元で 演奏していました クンダリーニの覚醒があった というだけではなく もちろんありましたが 彼らのヴィシュディ チャクラに 降りてこないといけませんでした 降りて来させなければ 彼らの手は それほどまでに早く動かなかったはずですが その優しさ シュリ クリシュナの マドゥリヤを感じれなかったでしょうし それを現すこともできませんでした あなたの指先や手で 表されるすべては マドゥリヤ 優しさを創りだす 新たな意識を得させます 芸術や音楽においても 身振りやすべてにおいて あなたの手の大変重要になってきます ヴィシュディ チャクラはまた16の 副神経叢に大きな役割を担っています 私たちの顔 耳鼻 首は ヴィシュディ チャクラによって世話されます その結果偉大な俳優にもなれますし 純粋な目や輝かしい肌を持つこともできます 神聖な音楽を聴く耳も持てます あなたの威厳を現す鼻も持てます 同じように あなたの顔の表情全てが変わります いつも短気で 洗面であったり 常に乞食のようだったり 泣いてばかり 惨めな顔ばかりしていても すべて変わります 中庸になります 神聖さにおいて 美しく魅力的に見えます また大変優しい 顔つきになります 歯や舌もヴィシュディによって 世話されているので 歯の病気も治ります お話したように私は一度も 歯医者にかかったことがありません あなたのヴィシュディが大丈夫なら 歯医者に行く必要がありません 舌も良くなります 例えば中には 大変皮肉じみた人もいます 優しい言葉はかけられませんが 常に皮肉を言います また別の者は口汚い言葉を使う癖があったり 常に無礼な人もいます 威厳は全くなく 優しさもありません 自信が全くない人や どもってばかりの人もいます 前に立って話すことが できない人もいます これらすべてヴィシュディ チャクラが 良くなればなくなります これらは外的な側面です ヴィシュディ チャクラが改善することで シュリ クリシュナが覚醒することで 現れる外的なものです 内側においては あなたは目撃者になります つまり動揺させ 困らせ 問題となることに対して目撃します 目撃できるようになり それに害されることはありません その見る状態 目撃する状態には物凄い力があります 何も考えずに見るなら 問題は解決します どんな問題であっても この目撃する状態になれば 動く波を岸から眺めるという意味の タタスタという状態になれば どう問題を解決できるかが分かります 目撃する状態を 育まないといけません 時にはその目撃の状態を育むのに 苦勞する人もいます これは大切なことで 一度クンダリーニが サハスララから降りてきて 各チャクラを滋養し始めると ヴィシュディ チャクラに留まり 少しだけ混乱を生じさせます あなたはそこで“人生が恩恵に満ちていたのにどうしたのか”と思うでしょう しかしこの時こそあなたは タタスタ(目撃者)にならないといけません 目撃者になれば すべてが改善します 例えば ある所で働いているとします 目撃者になると あなたのアテンションは内側にいきます 物事を内側から見始めます そして何が間違っているのか見れます あなたの目撃する力で 抱えている問題を克服できます それに巻き込まれずに 全ての状況を目撃することができるなら 問題は容易に解決します これはサクシスワルパと呼ばれる 最善の状態です クンダリーニが上昇し つながりが確立した時 神聖な恩寵が流れ始め あなたのヴィシュディ チャクラを 滋養することで得られます シュリ クリシュナの

名前の由来はクリシで 耕すという意味です 作物を植えるために 農地を耕すことです 彼は私たちのために耕す方です
つまり時期がきたら芽が出るように 私たちを創りました それでいて私たち人間は数々の過ちを
犯すことでヴィシユディをだめにします 喫煙したり 麻薬をしたりで だめにします 全く話さなかったり しゃべり過ぎたり
叫んだり 短気で 癇癪を起すなら それもまた ヴィシユディをだめにします ヴィシユディ チャクラを使うにあたって
まず覚えておくべきことは 優しさ マドウリヤのために 使われるべきであるということです 誰かに何かを言いたいのであれば
優しいこと 素敵なことを言うようにしなさい それを練習しなさい またある所では 特別な喋り方を習慣にしていたり
優しい言葉を使わないことが 流行っています 優しく話すことが ダルマに反すると思っています 傷つけるように話さないとい
けないと信じています 人を傷つけることは シュリ クリシュナのダルマではありません 彼は誰かを殺すか優しくするかで
その中間はありません 人に優しくするか殺すかですが あなたは殺すことはありません ただ優しくするだけです
互いに優しくしないといけません 特にサジャ ヨギは互に 優しくないといけません 誰かに間違ったところがあれば
優しく伝えます “サジャ ヨギに来たのですから こう振る舞うと良いかもしれません” シュリ クリシュナの人生には
また別の意味もありました 彼はシュリ ヴィシユヌでもある シュリ ラーマの出現の後に化身しました シュリ
ラーマが化身した時 人々は大変無知でした ダルマが何かを知りませんでした なので彼は王としてダルマとは何かを
教えたかったので大変厳粛でした ゆえに彼の化身は厳粛な父親として 様々な混乱を経て 慈悲深い王様の象徴を創りました
その結果 彼の化身の後 人々の考え方が非常に厳格になりました 宗教における深刻さが始まり 儀式的になり 厳格になりました
人生における歓びはなくなり 厳格さの中で様々なものが始まりました バラモン教が始まりました
バラモンは生まれながらの権利を持つとし インドで始まりましたが バラモンになる権限は 誰にもありません
なっていくものです リアリゼーションの後 バラモンになります これはシュリ クリシュナの時代だけでなく シュリ
ラーマの時代からの事実です シュリ ラーマ自身 バラモンではありませんでした 彼は指定カーストである 漁夫のヴァルミキに
ラーマヤナを書かせました 驚くことに彼はバラモンではない漁夫に ラーマヤナを書かせたのです
ブランマを知ったという意味でああなたが バラモンになったように彼も後になりました ブランマを知る者こそバラモンであって
カーストではなれません なので邪悪な者 いかなる罪をも 犯せるような者がバラモンになれることに 人々は困惑しました
いかなる宗教や信念を信じようと 改善しません 自分をキリスト教徒と呼ぶなら キリスト教徒として
不純な目を持つことはできません 何人のキリスト教徒が そうだと言えるでしょう 不純な目を持たないということは
例えば女性なら物に対して 不純な目を持たないということです 自称するだけで真のキリスト教徒に
なったことにはなりません ヒンズー教も同じです クリシュナはすべての者に アートマが内在すると言っています
どこに生まれたかでジャティが カーストが決まるとは言っていない しかしヒンズー教徒は ジャティがあると信じています
それに従って皆違うと考えます ある者は低く ある者は高く扱われます 全ての者の中にアートマがあると説く シュリ
クリシュナとは正反対です サジャ ヨギで証明されました ああなたがどんな宗教に従おうと 如何なる概念や哲学を信じようと
リアライズ ソウルになれるということです 高い低いの身分はありません しかし彼らは自分たちだけが 正しいと思っています
そう信じる者は皆 地獄に落ちることになるでしょう 真実に到達していないからです 真実はあなたがリアライズ ソウルに
なったということです リアライズ ソウルでなければ 神に全く近づいていません あなたは神の王国に 入らないといけません
キリスト曰く“神の王国に入らないと 再び生まれないといけない”と “私をキリストと呼んでも
私はあなたが誰か分からないでしょう” はっきり警告しています モハメッドも明確に言っています “復活の時にあなたの手が
語り始めるでしょう” “キヤマまでは これらのことをしても” “キヤマ 復活の時が来れば する必要がありません”
明確に言っていますが誰も キヤマとは何か知ろうとしませんでした あれこれ間違っただけを探し
互いに戦い合っているだけです 彼はすでに言及していました つまりサジャ ヨギにおいてです そのようなことは
もはやすることはないので あなたはビールになりました 一度ワリになればこのようなことは 必要ありません
あなたはダルマティートになりました つまり宗教を超越することはシュリ クリシュナ
によってインド哲学でも言われています つまり宗教が あなたの一部分になります 役立たずの 上辺だけの宗教は必要ありません
シュリ クリシュナは誰よりも 明確に言っています グナを ダルマを 超えないといけないと つまり内に 宗教を持つことです
キリスト教徒やヒンズー教徒 イスラム教徒といった外側のものではなく 内側から そうならないといけません
その結果どうなるか シュリ クリシュナは言っています “一度内からそうなると” “考えてはいけない 飲酒はいけな
いと私が言う必要がなくなり” “ただあなたはしなくなります” してはいけないのだと 理解するようになります
宗教の様々なナンセンスを克服するために シュリ クリシュナの出現がありました 何人が理解しているか分か
りませんが重要な出現でした 彼はすべてリーラであると教えるために 来ました すべて神のリーラです 深刻になることも
儀式的になることもありません 神をいかなる儀式に 縛り付けられません 彼はそのために化身しました 無意味な儀式に自身を
束縛すべきでないという教えるためです 何年も前 六千年も前の教えですが どの宗教を見ても 多くの儀式が行われています
その化身が亡くなると人は おかしな儀式を始めました シュリ クリシュナが亡くなった時も 人は途方に暮れました
彼は“儀式は必要ない 喜ばしい 踊りや歌を歌いなさい”と言いました そして人は 新しいことを始めました

“ロマンチックにやろう”と 人間はすべてを真逆にします その道の天才のようです そこで人は彼をラーダと戯れる
ロマンチックな人物に仕立てました ラがエネルギーで ダはエネルギーを 維持する者のことです
彼女とのロマンスではありません 彼女はマハラクシュミ自身でしたが 人は彼との関係を夫婦のようにしたり
夫婦仲のように描く 詩があったりします 神聖な関係において 夫婦のような関係はありません ポテンシャルな
動的なエネルギーのことで 人間のような関係は 全くありません 人間は神聖な化身を自分達の
レベルまで下げる習性があります ギリシャ人が良い例で 全ての化身を 人間のレベルに落としています 同じようにシュリ
クリシュナに対しても 自分達に合ったロマンチストにしました 多くの愚かな人に 適した人物像でした
ラクナオで365人の妻を持つ ナワブがいました 彼はシュリ クリシュナの ように装いました 踊ったり“シュリ
クリシュナになった”と言います 多くのグルが シュリ クリシュナのふりをします フルートを吹き 他の者をゴピスと呼んだり
そのような活動をする グループが沢山あります ブランマ クマリスなどです クリシュナが一人いて その他はゴピスで
結婚しないというナンセンスなものです 全く愚かで 邪悪で シュリ クリシュナの名を汚します シュリ クリシュナは
ヨゲシュワラでした 全く執着がありません ある時 彼の力である妻が 聖人を崇拝する為川を渡ろうとしました
彼は“では渡って行きなさい”と言いましたが“洪水の為 渡り方が分かりません”と 彼は“水を引かせるようシュリ クリシュナ
が言っていると川に伝えなさい”と “シュリ クリシュナがヨゲシュワラで 妻を持たないのであれば” “水位が下がるはずだ”
そこで彼女達は 川に行き言いました “シュリ クリシュナに妻はなく ヨゲシュワラ ならどうか水位を下げてください”
水位が下がりました 夫でいて ヨゲシュワラであるので 彼女達は驚きました 彼は全く執着していません そして川を渡り
聖人を崇拝しました 聖人が帰るように言うと 川がまた洪水になっていました 彼女達は聖人に 帰り方を尋ねました
“行きはシュリ クリシュナがヨゲシュワラ なら水位を下げるよう言いました” “それなら川に 聖人は何も食していないし
完全に執着がないと言いなさい” 彼にご馳走し 全て平らげた後 だったのが驚きました そして川に“聖人は何も食べていない
無執着です”と伝え 水位が下がりました 聖人は全て平らげたのにと 彼女達は驚きました つまり彼はアスワダでした
食べ物に執着しません 人間の概念からすると 嘘のようですが事実です 彼はヨゲシュワラで 完全に無執着です
人は神聖を理解できません 一万六千人ともう五人の妻を持つ者が 結婚していないことに理解できません
彼はヨゲシュワラです あなた方もヨゲシュワラに ならないといけません あなた方は結婚し子どもがいます
結婚は吉兆なので喜ばしいですが “私の子どもが 家族が”と 常に巻き込まれてはいけません 多くがサジャ ヨガに来て
結婚してはいなくなります 家族を楽しみ 世話をする 結婚生活が一番なのです 私たちの家族は全宇宙です
妻や子どもだけではなく 全宇宙が家族です これがシュリ クリシュナが人生を通して 示そうとしたことです
あなたは宇宙的な存在です これを彼は説こうとしたのです あなたは宇宙的な存在で 全体の一部にならないといけません
小宇宙が大宇宙になります 集合的意識が育まれるように あなた自身に起こらないといけません これがシュリ
クリシュナからの贈り物です 脳において 彼がヴィラータになるからです 私たちの内には三つの アイデンティティがあります
ハートにシヴァが 脳にヴィラータである シュリ クリシュナが そして肝臓に ブランマデーヴァが内在します
三つのアイデンティティがあり ヴォイドにはグルの原理があります アディナートゥ モハメッドからシルディ
サイナートゥまで偉大なグル達です 彼らがグルの原理で 前回アンドラにいた時に崇拝しました 彼らは互い関連があり
皆共にワークアウトさせながら あなたをこの目撃する状態に持ってきました 重要なことです あなたのヴィシュディは
改善されるべきです まず罪悪感ですが昨日は大変強くて それを取るのに大変でした 罪悪感を感じる必要は全くありません
流行のようなものです 朝から晩まで“すみません”と 人間あるいはサジャ ヨギであることが 申し訳ないのですか 自分に対して
心地良くないといけません 常に“すみません これをすべきではなかった”と 自分を悪く思い罪悪感を感じれば
左のヴィシュディをだめにします するとシュリ クリシュナの原理が なくなってしまう コレクティブも感じられません
自分の間違いが理解できません すみませんというのであれば 神に言って これ以上すまないと思わないことです
向き合いなさい 間違ったことが何であれ向き合いなさい 同じ過ちを繰り返さなければいいのです 口論することも
引きずることもありません ただ向き合い“間違っていた 二度としない”と それで終わりです あなた方はすでに聖人なのです
ワリになりました リアライズ ソウルです アトゥマジャです あなたにはブランマチャイタンニャが あります
頭上には光があります 私の証明書は要りません ただ理解し あなたの 立ち位置に気づきなさい シュリ クリシュナが言うように
自己に気づかなければいけません まずセルフ リアライゼーションを得て あなたの立ち位置に気づくことです
確かなアテンションと 深い理解を得ていることに驚くでしょう その目撃する状態を得たと分かれば
それをすぐさますのは簡単なことです 自分自身を目撃者にしなさい 何を見ても思考を超えた意識状態に なりなさい
それがあなたの砦です 考えてはいけません そこにある美しさを見なさい これらの木々がいかに静寂に
あなたを見守っているか ただ目撃しなさい 葉一つ動くこともなく 見守っています “マザーが風を吹かせるまで
そのまま静かに見守つていよう” これらの山々もただ静かに佇み 歓びと美しさを放って目撃しています 同じように目撃者に
ならないといけません 沢山話すことも 黙っていることもありませんが リーラとして全てを センターで目撃すべきです
それゆえ彼は リーラダラと呼ばれています リーラを維持する方 という意味です あなたを狂人にも おかしくもしません

歓びに満ちた者にします　　そうさせるのはシュリ　　クリシュナの　　ヴィシュヌの原理です　　この後も私たち皆が
ヴィシュヌの原理を楽しめますように　瞑想することで前も楽しみました　瞑想すると思考を超えた　意識状態になるからです
思考を超えた時のみ成長できます　　それ以外はありません　　何をしようと成長できません　　瞑想をしない限り
思考を超えた意識にはなれません　　人生において　　どの次元においても　　アーティストや科学者など
偉業を成し遂げようと願う者は　　瞑想することが　　サジャ　　ヨガにおいて大切です　　さもないとクンダリーニが落ち
全ての才能を失います　それは事実で　言われなければいけません　人は変われますが　時には一時的なこともあり得ます
ちゃんとした方法でしないと　落ちてしまうことがあります　あなたが目撃する状態に達する　幸運に恵まれますように
目撃する状態において　おかしな風に自分を表さないものです　ただ自分自身を見るだけです　全ての問題は自分で作り上げたに
過ぎないからです　自身から切り離すことで　問題を見ることができ　解決できます　私の知る限り　神の恩恵により
あなた方は成長します　この状態を　得ないといけません　どの状態においても　恩恵　進歩　混乱が　あっても
耐航性がないといけません　耐航性がある船は　すばらしい航海で　混乱や嵐にも　向き合うことができます
神の祝福がありますように

1989-0506, Sahasrara Puja, Jump Into the Ocean of Joy

[View online.](#)

Sahasrara Puja, "Jump into the Ocean of Love". Sorrento (Italy) 6 May 1989.

昨晩は 真っ暗な夜でした その日は マウシアと呼ばれ 月相の始まりでした 今日私たちは サハスララが開かれた日を祝う為に集まりました 写真で見たかと思います サハスララがいかに開かれたかを示す 私の脳の写真です 脳の光を撮ることができるのは 現代がもたらした すばらしいことです 神の存在を証明する多くのものを 現代はもたしていますそしてまた 私についても 証明することができます 私が誰であるか 確信させることができます これは とても重要なことです 現代において この出現は十分に 認められなければならないからです これはサハジャ ヨギの 条件のひとつですでは現代において 人の脳において 何が起きているのでしょうか 人の脳において 今日 サハスララは 攻撃されています長い間 攻撃されていましたが この現代が最悪です 大脳辺縁系をとて 鈍くさせようとしています とても憂鬱にさせる小説や思考 憂鬱にさせる音楽が 溢れています ギリシャ悲劇の戯言のような これらすべては 中世のものから来ました しかしこの- 新しい時代が始まるまで と言えるでしょう それらは大脳辺縁系に 全く良くありませんでした 私たちを憂鬱にしました いわゆる 惨めさから逃れる為に アルコールに走ったのです そして現代に至っては 人は過活動になり過度の行動が始まりました 脳の活動も過度になり 以前からの鈍さに加え 極端な 過活動の状態になりましたさらに鈍くするのに 麻薬に走ったり ひどい音楽に 走りました それにより 大脳辺縁系をさらに 鈍感にしていきました刺激を得るために 始めた麻薬も 後には 苛酷な状態になるまで 量を増やさざるをえなくなり 麻薬が救われる唯一の方法だと思ひ込むのです なぜでしょう 緊張が原因です 現代には 緊張というものがあるわけです 以前はありませんでした話題にもなりません 今では誰もが緊張していると言います この緊張とはなんでしょう それは 私の出現ゆえにあるのです 大脳辺縁系は 私を知ろうとしています サハジャ ヨギが 広まるにつれ 人々の中でクンダリーニも引き上げられようとしています あなたが媒体だからです あなたが行くところ全てに ヴァイブレーションを 発していますこれらのヴァイブレーションが 人々のクンダリーニに 挑戦します メッセージを与えます 人のクンダリーニを 引き上げます サハスララまで 引き上げられないかもしれませんが でも もとに戻ります そこに 認識がないからです 何かをするたびにクンダリーニが引き上げられ サハスララが開いていないので 圧迫を与えます それは閉じた戸です 戸が開いているので頭に圧迫感を与えます それを理解できないので 緊張と呼んでいるわけです 実際 クンダリーニが外に突き抜けようとしているのですが 出られないのです リアリゼーションを得た者も サハスララを 良く保たなければ緊張してしまいます サハスララを何年前に 開いたとしても しなければならないことがありますそれは私たちのサハスララを きれいにすることです まず始めに サハスララが開きます 一度開くと ブランマランドラが開くと神の恩恵を感じ始め それが イダとピンガラにいきます クンダリーニではなく 恩恵がです 恩恵 つまり全てを取り巻くチャイタンニヤは 私たちの左側と右側を 落ち着かせます すると チャクラがさらに開き クンダリーニの糸もより貫くようになっていきます ですから私は 常にヨギ達に言いますが 瞑想は とても大事ですあなたのサハスララが大丈夫であれば 全てのチャクラも大丈夫です 全てのチャクラをコントロールするセンターであるピタが 脳にあるからです 大脳辺縁系の辺りにあります あなたのサハスララがきれいであれば また違う形で すべてが上手くいきます どのようにサハスララを 良く保てるでしょう よく尋ねられます私がサハスララに内在していることは 皆が知っています 私は千の蓮の花びらの上に 化身しています ですからそれを開くことができたわけです 今日あなたの目に映るように 私がいますが サハスララは マハマヤだと言われていますこれは幻です あなたの為にある 幻のような存在です そうでなければならなかったのです なぜなら 私から様々な光が放ち昨日見たように サハスララから抽象的な色が あちらこちらに出て 光が放出されていては あなたは私と向き合うことはできません 私が話している時は 写真を撮らないでください 後で撮れます 私の話に注意を向けてください 注意を向けてください 大事なことです プージャの間は写真を撮ってはいけなく 前もって伝えるべきですワークアウトしなければいけない 重大なことだからです 理解できなかったとしても 効果があります 私が話している時は十分に注意を向けてください その方がうまくいきます あなたはサハスララを 世話しなければいけません それはあなたのお母さんの神殿です 私を心に留めるということは 実際私をサハスララにおくということです このブランマランドラ 大脳辺縁系には 心をコントロールするセンター ピタがあるからです サダ シヴァの座ですシヴァのと言えるでしょう 私を心におく時 実際私をそこにおいています 心からそこへ上げるのに あるいは心へもってくるのに 二つのタイプのの人に 問題があります 心が繊細な者 例えばヨ一口ッパではイタリア人が繊細と言えるでしょう 彼らは私を見ると まずハートに手を当てます それなのです私を心で感じるようにする方が 簡単です 私を心で感じるには どうすればよいかと あなたは 尋ねるかもしれません

私があなたを愛するように 私を愛さなければいけません 自分のどの細胞も 愛さなければいけません あなた達は皆私の中にいるからです どのように愛するか 教えることはできません 愛は自分の中にあるものです そして愛は現れるものですが 心を開けばいいのです 何が障害となるか 考えてみましょう まずコンディショニングです 西洋では自分の愛を表現するのは 罪深いとされています “愛しています”と言うのに 時間がかかります “憎んでいます”は子供ですら言います “憎んでいます”と言い続けるわけです しかし人を憎むことは 罪深いことです 誰に対しても憎むことは罪深いことです 憎んでいますと口に出すことは 罪深い行為です 何を言うべきかという “愛しています”と言い続けることです つまりあなたにとって 親愛なる人を愛すべきです 普通は自分に何か良いことをしてくれた人を愛します しかし アディ シャクティ自身があなたに リアリゼーションを与えたのなら 愛することはたやすいはずですが 彼女が“あなた達皆は 私の身体の中にいます”と言えば お互いを愛することは とても簡単ではありません サハスララの浄化全ては この愛を通して行われます この愛は 条件付けからくるものでもなく 抑制されるものでもなく 休息を与えるものでもなく 如何なる見返りも 求めません しかし往々にして愛は 条件付けが強すぎるのです するとまずコンディショニングの問題が起こります コンディショニングは 誰かを憎ませたり 人を愛させなかったりします しかし実際一つ一つみていくと コンディショニング自体 とてもばかげています 簡単に言うと コンディショニングについて理解してもらいたいのですが 面白い記事がありました “恋愛を台無しにしたのは誰か” という記事でした 彼が言うには美容師だとのことです 恋愛になぜ美容師が 関わっているのかと思いますが 美容院に通う女性は ある髪型を一人の男性から気に入られていました 彼はその髪型に 好意をもっていました 彼の奥さんあるいは恋人が 全く違う髪型に変えたといいますすると彼は 彼女の髪型が原因で 彼女に憎いと言うのです 彼は特定の髪型ゆえに 彼女を愛していたわけですが 違う髪型ならあなたを嫌いだ というのでしょうか まったく好きではないあるいは好きである というのは コンディショニングが強すぎる象徴です まともな髪型やまともな服を装う人に 大嫌いだと言うわけです そのようなことを言う権利はないはずです あなたは裁判所で任命された 裁判官でもありません ではなぜ そのように言うのでしょうか 大嫌いだと言って人を傷つけるのでしょうか “それも気にしていますが” もっと良い格好もあります”とも言えます それが愛です その人のよさが出てくるような 格好をしてもらいたいのです しかしこれはとても 低いレベルの話です 次に人は如何に知的で賢く カリスマ性を持ち チャーミングであるかを見ます チャーミングという言葉は 捉えにくいものです それらを持つ者が 愛するに値し 愛していると思うのは コンディショニングです それら全ては外観です 金持ちだという理由で愛しているように見える人もいます 金銭を切り離して 考えられないわけです その人は もっとお金をもっていて より高級な車をもっていて 良い格好を しているという理由で愛しているのです このような考えを持つことは 愛を殺しています 愛がなければ 欲びも失われます 愛なしに欲びはありません 欲びも愛も 同じものと言えます 精妙なより精妙なレベルになると 我が子愛する という話になります 中には我が子さえ愛することも 出来ない人もいます 様々な人がいますが “この子は私の子供です 私の子供です” と主張します これもまた愛が死んでいます 木の樹液が上に向かって上がっていき 全ての実や葉 どの部分にも 行き渡り そして戻ります 執着していません 美しいからといって一つの部分 一つの花に執着していたら 木が枯れてしまい 花も枯れてしまいます これが愛の死です 偏らず 執着のない愛でなければいけません 私がこのような話しをするたびに どうすればできるか訊かれますが スピリットの愛がそれなのです コンディショニングのある 精神からくる愛は違います コンディショニングのある精神は 制限のある愛しかできません コンディショニングがあるからです 愛の最大の敵は 私たちの中にあるエゴです 私たちの頭にある 風船のようなものです エゴが私たちに 大変大きな緊張を与えます コンディショニングとは一 例えば誰かが ある絨毯(じゅうたん)を見ます その者のコンディショニングにとって あまりよくないものであれば “なんてひどい絨毯でしょう” と言うでしょう これは低いレベルにおけるものですが 高いレベルにおいて言うならば “自分の国を愛している” と言うようなものです “私の国が一番です” 人を殺しても 世界平和を壊したとしても その国に属していれば 構わないと思うのです 自分の国や国民を非難することは決してしません さらに精妙になりますが 知的な面においては最悪です 知的に 何かが良いと理解したなら 誰も何も言えないのです なぜなら あなたの脳で理解したからです ラビンドラナート・タゴールの本を読んでいた頃 実際私は驚きました とても美しい序文と序説を イギリス人が書いていました 彼は 西洋では創造性を 殺しているといっています 彼はインド人の評論家である 男性に尋ねました “あなたの国の詩人は 批判しないのですか?” “評論家の人は いないのですか?” “もちろん評論家はいます 批判します” “では何に批判しますか?” “この時期に雨が降らなかったので 問題に繋がった等と批判します” “いいえ 詩人についてです” “詩人を批判しますか? 芸術家を批判しますか?” 批判の対象になるものなのでしょうか 創造されたものです 彼が感じたものを 創造したわけです 仮に彼が下品なものを創ったとします それなら 私たちは好みません しかし美しい精神で創られたものなら 美しいに違いありません それなら 批判しないのです 彼は“人はそのように 創造できないから”と言います ではなぜ創造するのですか 理性的に判断し すべてに規範をつくっています 芸術や 全ての創造においてです “この絨毯が 好きではありません” 私たちが達した 知的な理解の規範に訴えないからです その枠にはまらないので 好まないのです その一インチでさえ あなたは創れますか? ですからこのエゴが あなたに権限外の行動をさせます 権限外です あなたには 批判する権限がありません 何もできないのに

なぜ批判するのでしょうか それより鑑賞して 自分自身で自分には権限がないこと 批判するに値しないことを 知るべきです それに値しないのなら 批判することはありません そしてまた あなたは 自分の工ゴの奴隷であると知るべきです あなたの工ゴの 命ずるところには あなたの知性が いわゆる知性が規範をもたらし それが特定の共同体 特定の国 特定のイデオロギーの 集合的工ゴになるのです これはコレクティブです 彼らは“私たち” “私たちはこれを芸術とはみなしません”と言います それ故 芸術界に 巨匠がいらないのです レンブラントのような芸術家も 出てきませんし 彼自身 大変苦しかったでしょう ゴーギャンも苦しみました これらの芸術家は 苦しみました ミケランジェロでさえです 金銭面だけでなく 批判され続けたのです ですから皆さん 諦めたのでしょうか 多くの作品を手掛けた 芸術家に会いました 自分のために創ったと言い 見せてくれませんでした でもお願いして 見せてもらいました 大変美しかったです なぜ見せないのが尋ねると “人は批判するだけです 自分の歓びのために創っています” “彼らは私の作品の歓びを汚すだけです”と言いました 基本的なこととして 人を批判することは避けるべきです 自分自身を批判する方がいいです 自分自身を批判する 自分の兄弟姉妹を批判する 自分の国や 自分の悪い習慣を批判する そして自分自身に笑うことが 最良の方法です 自分自身に笑うことを知れば 他の者の如何なる創造物に対して 反論したり邪魔したりしないはずですから工ゴがあると 権限外になんでも批判できます 誰に批判する権利を 与えられたのが自問すべきです 誰を批判できるのでしょうか 聖人なので もちろん今あなた達はそうですが 誰がキャッチがひどく 悪いヴァイブレーションを与えているか 誰が問題を抱えているか あなたは解ります それはコンディショニングではありません 工ゴがから来る認識ではなく あなたの指先で感じています それはあなたの中の 実際の感覚です それはボーダです あなたは知っているということです では何をすべきでしょう あなたの愛で 相手に伝えるのです できれば“ここが間違っています 直した方がいいです”と言いなさい でも彼ができるようにです 言うことによって反対に 今より悪い状態になったのなら その人を愛していないのです 皆が成長できるようにしなさい サハジャ ヨガには 大変良い人やすばらしい人がいます しかし中には 大変難しい人もいます 頭にひびが入っているのか 何かが欠けているのか ねじが緩んでいるような 人がいます 時折 道化師のように振る舞う人や 手に負えないような人もいます 他ではとても知的で 俊敏になれるでしょうが サハジャ ヨガでは 成長が可能なレベルまで 至ることはできないようです 例えば 母なる大地が 太陽のように熱いとします 成長しないでしょう あるいは月のように寒ければ 成長しません 両者の均衡が取れるような 中庸にいなければいけません 同じように人間も 節度や均衡を保ったり 如何なるものにも 極端に走ったりしないことを理解し ワークアウトしないといけません そのバランスは 誰かを愛した時に学べます サハジャ ヨガでは 知つての通り ある人にはサハジャ ヨガを 出るように言うことがあります これは彼らへの愛からです 一度出ると彼らが 向上するからです 大変向上したのをみてきました しかし彼らが サハジャ ヨガに留まるなら 厄介な存在になります 彼らの工ゴが働き コンディショニングが働き より厄介になります なんてあれ 厄介になろうとします “どうかしばらく出てください” と言わなければいけません 厄介でいる意味がなくなれば 彼は正直にならないといけません もはや厄介ではいられません この理由で出て行ってほしいと その人に告げて 論理的に 訴えることができます 彼らがうんざりするほど 面倒になることもあります あなたは 完全な忍耐と完全な理解を示し 愛する者として 話さなければいけません 愛には力があるもので 愛していないと示唆するようなことは したくないものです 愛は大変力強いです 何かをしたいと思わせる 美しい方法で人を結びつけます 例えば私に花を贈るのは 花が好きだと知っているからです 愛を表すために あなたは花を贈ります ただ表すためです 私を愛しているのは知っています 私への思いを ただ強調したいのです 私への愛そして想いを表すために あなたは私に花を贈ります このような物質的なものは あなたの愛を表現するのに使われます 相手が 愛とは何かを知ることができるような形で 表現することができます サハスララの力すべては愛です 脳は愛さなければいけません サハジャ ヨガの力を あなたの脳と知性で確認し もはや分析したり統合したりするのは 意味がないと解ったなら 単純に愛であると解るでしょう 以前は分析したり 批判したり 無意味なことに使われていた脳が 同じサハスララが 今は愛することを望み 愛を楽しみます ただ愛するという絶頂に 脳は到達しなければいけません 愛するだけです なぜなら愛の力をみただからです あなたはある論理的な結論に達し 重要な点をつかんだのです アディ シャンカラは 多くのものを書きました 様々な論文を書き 断念しました 彼はこれではないと悟り お母さんへの賛美を書きました 一度そこに達したなら ニルヴィカルパにいますと言えます ヴィカルパはないからです 愛しているので あなたの頭には疑いがありません 愛において あなたは疑いません 考える時のみ疑います 愛している時 疑いません あなたはただ愛します 愛を楽しんでいるからです ですから愛は歓びで 歓びは愛なのです 幾日もかかって サハスララが開きました 瞑想の過程を通して 自分自身や他者を理解し おそらく 論理的にも理解することで 私たちは自分達のサハスララを 再度開かなければいけません それ以外はありません 最後に到達しています すべての論理が終わりました 愛の大海に飛び込むだけです 一度愛の大海に飛び込んだなら 他にすることはありません 楽しむだけです 全ての波を 全ての色を 全ての感触をです サハジャ ヨガは 愛以外の何ものでもない結論付けて これを学ぶべきでしょう 神の祝福がありますように

1989-0719, Paramchaitanya Puja

View [online](#).

Paramchaitanya Puja. Taufkirchen (Germany), 19 July 1989.

質問を受けました “今日は何のプージャを するのですか” 秘密にしていました 今日 パラマチャイタンニヤを 包括的な神の愛の力を 崇拝します 私たちは パラマチャイタンニヤが すべてをしていると気づいています せめて頭では アディシャクティの力である パラマチャイタンニヤの恩恵によって すべてがワークアウトされている と分かっています しかし ハートにおいて 私たちの意識において 明瞭ではありません パラマチャイタンニヤは 大海に例えることができます それ自身で すべてを含有する大海です すべてが すべての働きが それ自身の限界の内にあります ですから 他とは比較できません 太陽は 陽光は太陽から出て 作用します 例えば権力がある者は その力を外に 誇示しないといけません 彼自身の中で 表すものではありません 種も 種の中から 木が育ち 実となります そしてそれが売られ 人は食べます すべて種の中にあります それがパラマチャイタンニヤです ですから私たちは その中に包まれています 私たちはその波だけを見ます 波にいますので 切り離されたように見えます 私たちが “これはドイツ”だとか “これはイギリス”“これはインド”だと 感じるようにです これらはパラマチャイタンニヤの サリーのひだにすぎません 切り離されているように 見えても つながっています そのつながりは 完全です ここから一本の糸を引き抜くと 全体から抜かれます 同じように このパラマチャイタンニヤは それ自体の中で 働きます それ以外ではありません ですからあなたが サハジャ ヨギなら 特別な注意が注がれます あなたと完全に一つになると 言えるでしょう あなたが望むものは 欲するものは 同じパラマチャイタンニヤ から来ます それと一つであるなら 例えば 荒れ狂う大海で いくつかの滴が 空中に飛び出たします そして “私たちは超越している” “世俗から離れた 大海から離れた” と考えたとしても 再び同じところに 落ちないといけません ですから この形のないエネルギーには すべての知性 協調 組織 コンピューターやテレビなどの 考える コミュニケーションのすべてが 統治する 管理するすべてが 備わっていて 何よりも愛なのです 神の愛です あなたのお母さんの愛です ですからパラマチャイタンニヤと 一つになろうとするなら あなたがリアリティにならないと いけないと知るべきです 例えば 私のここに座っている 写真を撮るなら 私の写真から生きたヴァイブレーションが発せられるでしょう 写真ではありませんが 他の人の写真では サハジャ ヨギは ワークアウトしません 理由はその者が リアリティになっていないからです 絵画と同じです 降っている雨を描いた 絵を見ても その雨は 花に水をやれません そこにいる者たちの服を 濡らすことはできません 静止画です そこにいる者たちの服を 濡らすことはできません 静止画です なので無知において リアリティのことについて描いた 静止画があります それゆえ人は自分たちですべて ワークアウトできると考えます 仮に誰かが “この絵の雨を本物にします” と言ったとしても 不可能です 好きに色はつけられます 故意に色をつけられても そこにはリアリティの力や 性質はありません 人間は常にリアルでないものを 扱っています そして何かすごいことを していると思ひ込みます 人はリアルな花を 手にできますし 感じることもできます 本物そっくりに造花を作ること 絵を描くこともできます しかし自分で一輪の花さえ 創ることはできません リアリティに いないといけません 母なる大地がそれを創ります そして太陽が 母なる大地を助けます なのであなた方 サハジャ ヨギは リアリティにおいて あなたは何もしていない すべてパラマチャイタンニヤが していると分からないといけません これがサハジャ ヨギと そうでない者の違いです サハジャ ヨギでない者には 分かりません 仮に分かっているとしても ハートにおいて真実ではありません その者の一部ではありません しかしサハジャ ヨギは リアリティが パラマチャイタンニヤで リアリティがすべてをワークアウト していると分かっています そしてこのリアリティは 神聖な愛です 人は愛と行動を 常に切り離します 愛を人に対する 異常な振る舞いと捉えます いかん愛するかの ノウハウはありません それは何の理解なしに 作用します 誰かを愛するとき 人はよく分かっています 愛していると思っても 明日には“あなたを憎んでいる” と言い始めます それが愛である わけがありません 私たちは自分の子供や 家族や友達を愛します それは全く リアルではありません リアルであるなら 失敗はありません 今日息子のために働いても 息子中心に考えていたとしても 明日彼がどんな態度をとるか 彼にどんな態度をとるか分かりません しかしパラマチャイタンニヤは 知っています 愛の表し方を知っています それだけでなく それは永遠の愛の感じ です 色合いは変わろうとも 愛における 関心は変わりません 愛の本質は関心です 誰かが間違ったことを するとします 神聖の関心は その者を正すことです 関心を「ヒタ」と言います 善です その者の善のためへの 関心が常にあります 残酷に見えたり 愛深く見えたり わがままにさせている ように見えても 波のように いかなる形をとったとしても どんな方法であつたとしても 実際あなたの 善のためなのです あなたの善のために働きます あなたの善のためだけではなく コレクティブの善のためです そして何をすべきかいかに ワークアウトすべきが良く知っています どこかに行って 教わることはありません すべてのノウハウの完全な知識が それ自体の中にあるからです 物凄い知恵 知識 そして愛の宝庫です ですから 逸脱することはありません 一度サハジャ

ヨギになると あなたの善のための 関心が常に注がれます 罰せられるとか 罰せられない とかの話ではありません ある者は仕事を
得るかもしれませんが ある者は仕事を 得ないかもしれません この方法でワークアウトする者も いれば しない者もいます
“なぜパラマチャイタンニヤは そうするのか”と思っても すべてあなたを正すためです 激しくかき回します
あなたを正すためです あなたの善のためです これを理解するなら あなたは人生において 失望はありません
それ自体への善には 関心がありません それ自体 完全な 善だからです どうすればそれ自体の助けになるか
など決して考えません 煩わされることが ないからです 世俗的なものすべてを 手にした者がいても もっと手にとりたいと
考えるかもしれません そこには欲があります しかしそれは完全 プルナなのです 欲がありません それ自体で
完全に満足しています とても強力で 知識を備えているので 全く疑いはありません 誰も傷つけられないので
全く恐れはありません あなたはパラマチャイタンニヤを感じています あなたは 完全に恐れのない 穏やかで歎びに満ちた人生
を与えられているはずです まるでお母さんを見つけた子供が 泣き止むようです 同じようにあなたは
パラマチャイタンニヤを見つけ つながりを得ました ですから何も 心配することはありません 考えることも
計画を立てることもありません ただそれに 飛び込むだけです ただ飛び込み リアリティの 一部になったと分かるだけです
このことを理解するなら 私たちは大きなことを 成し遂げたと思います 私たちはドイツにいます ドイツにはかつて
人類の希望を壊そうとした 者達がいました そのような出来事が あったとしても 多くの者が亡くなった 残酷な出来事でしたが
(もちろんまた生まれ変わって いるので問題はありませんが) 全世界が終わるだろうと 思うような問題でした
人は大変心配し この世が終わると思いましたが でもそれは 起こりませんでした この戦争は 私たちに教訓を与えました 私たちを
よりコレクティブにしました お互いを 理解できるようにしました そうでなければ“自分たちはこの国 あの国の者だ”という
無知から抜けられません 差別主義や 国家主義 愛国主義 これらの切り離す力や不和を 起こすことから抜けられません 私たちは
全くもって人間です 人間として扱われるべきです 歴史を見ると どの戦争の後も 知識に対する
世界が一つであるという知識への 迅速な動きがありました まるで コンテナが次々と つながっている宇宙船が
スピードを増すごとに 下層部のコンテナが 爆発するようにできているようです 爆発すると上部の宇宙船を 高速させます
速度が増します そのようにして 宇宙へ飛び立ちます 同じように このような残酷な出来事は 自分たちは間違っている
リアルでないものの中で 生きているという知識へと導く 爆発のようなものです 今日の問題は 例えば 環境問題や エイズ
麻薬などの 現代の問題や貧困です 目撃者として見るなら これらはかなりショッキングです 大変ショッキングです
しかしこれらは私たちのマインドに 衝撃を与えるべき事柄です なぜこのような問題があるのか
これらの問題を愚かな指導者は お金で解決できると考えます お金で環境問題から 自分たちを守れると考えます
お金があるので 環境を汚染してもかまわない マスクをつければ大丈夫 自分たちを守るために お金を儲けようと考えます
なので環境問題があっても かまわないわけです ガスが充滿する区域に 入ろうとしているかのようです
このような愚かな考えは 人間の尊厳が何か 分からないからです 人間はすべてのものを 超越している
機械や世俗のすべての物質を 超越していると理解しないからです 機械を調和させる 話ではなく 人間が機械に
隷属する話をしています お金が大事だからです もっと儲けて環境問題から 自分たちを守ると主張します ばかげています
人間の尊厳を 理解するのなら 今までしてきたナンセンスなこと すべてを止めるために 人間として大変ポジティブな
賢い方法をとらないといけません 例えば フランスのほとんどの 海岸が汚染されています 海岸で休日を楽しむためにと
おかしなことを始めたからです これが結果です 好き勝手にはできません やめなければいけません 人間の頭は
自分の間違いを理解する代わりに “きれいにするために 新しい何かを始めよう”と考えます 間違いを 咎めようとしません
海岸でおかしな快楽に 夢中になります エイズにおいては 驚くことに アメリカでは ロスアンゼルスだけで 70万人が
エイズの殉教者だと 自身を讃えています 無意味な人生を達成しようと しているからです 大きな改革さながらです
偉大な革命家のように 自分たちのエイズ疾患を 支え讃える偉大な者だと 彼ら自身思い込みます
このような主張が受け入れられるなんて信じられますか 人々は笑うでしょう すべてが お金儲け主義だからです 宣伝し
お金の支援 について話したいのです このようなことが起こったのも お金があれば麻薬がもっとできた
のにと言いたいのでしょう お金がないので 盗むのだと 麻薬が そのような人生が 送れるように 彼らにお金をあげないと
いけないのです 概して人は 生涯を全くリアルでないものに 生きています 間違いを犯したことに 向き合う時
その間違いをすべきでない と言うとき 人は後ずさりし 別の栄光あるもの 不自然な偽りのものに走って “私たちは偉大だ
殉教者だ” と主張します これをカリ ヨガと呼びます 恥ずべき 忌み嫌うべきものすべてが 達成する目的になります
私たちを包括する力こそが サハジャ ヨガをしていると あなたをサハジャ ヨガに 連れてきたと
そしてあなたに恩恵を授けていると 理解できると思います パラマチャイタンニヤを通して ワークアウトします
今日は私たちが よりそれを意識でき 私たちは パラマチャイタンニヤの一部であり それを感じ その力を
使うことができるよう祈るべきです そのように感じるのが できるなら すでに沢山のことが 成し遂げられたでしょう
それに対して 神の恩恵がありますように このプージャをするとき 私をパラマチャイタンニヤとして
崇拜していることを忘れないでください あなたが対象としているのは リアリティ自体であると思ってください

その理解であなたは このプージャをしないと いけません 神の恩恵がありますように

1989-0806, Shri Bhairava Puja, Bhairava and Left Side

[View online.](#)

Shri Bhairavanath puja. Garlate, Milan (Italy), 6 August 1989.

今日はバイラヴァナスへの プージャで ここへ集まりました まだ私たちは イダ ナディを上下する バイラヴァナスの意味を理解していません イダ ナディはチャムンダ 月の経路です なので私たちを冷やす チャンネルです バイラヴァナスの役割は私たちを冷やすことです 例えばエゴや肝臓が原因で 怒りっぽい人に バイラヴァナスは トリックをかけて冷やします 彼はガナ達を操り ガナバティの助けを得て 怒りを沈め バランスを与えるのです 誰かがかんしゃく持ちで 暴走するなら バイラヴァナスが ハヌマナと共に 怒りが馬鹿げていることを 示します レフトサイドで落ち込んだ人を 助け出そうとするのは ハヌマナですが バイラヴァナスも かなり助けになるのです それでレフトサイドな人は コレクティブになれません レフトサイドな人にとっては いつも悲しんでいて 不快感や心配を抱えている人には とても難しいです 一方 かんしゃく持ちでライトサイドな人は コレクティブを楽しまないし 他者が楽しむこともさせませんが コレクティブに居続けて 自分の優位を見せつけます 自分の優位を 見せびらかそうとするので 当然コレクティブを楽しめません 反対に いつも落ち込んでいて “誰も自分を構ってくれない 気分が落ち込む”と言う人は いつも人から何かを期待していることで コレクティブを楽しめなくなります そんなレフトサイドな人は 何につけ不幸な点を探し出します 例えば先日 私はモスクワへ行きました そこにレフトサイドな サハジャ ヨギニがいました 私たちは食事のため外出しましたが 雨でタクシーがつかまらず 車に乗り込みました すると遅かったのにより高いほうの席へ 座るように言われました するとその女性が言いました “何という問題でしょう” “タクシーもみつからず 雨も降っていて 席もとれないなんて” “これは楽しいことで 問題ではありません”と言いました 問題という言葉は私たちの頃は 幾何学でしか使わなかったものです このような全てを否定的にみる ネガティブな態度で 私たちはレフトサイドを ダメにしてしまうのです ですが男性がきて “私たちは反対側で待っていた”というのです ということは私たちは反対側に行って 美味しいものを食べて良かったわけで “ほら あなたは 悪い面ばかりを見て” “面白いことを見落としているんですよ” と言いました 彼女は“どうすればいいんですか” と訊きました “バイラヴァの名前を言いなさい” “座って写真に左手を向け 右手を地面に置けば” “否定的なモノが出て行くでしょう” と言いました バイラヴァはいつも手の光です イダ ナディを上下して 光を与え 否定的なことなんて何もない と気づかせます 否定性はいろんな形でやって来ます 一つは “私のもの” “私の子” “私の夫” “私の資産” という“私の”ということです こんな風に執着してしまうと 子供がネガティブになるものです ポジティブになりたいければ どこに自分の注意がいつているか 見るべきです あなたは問題を見ていますか それとも楽しみを見ていますか 何一つとして 楽しめない人がいます 天気がいいと言っては “あー いい天気になってしまった”と言い 曇りなら“曇りだ”と 愚痴を言います 喜ばないのです しかし どんな否定的なことも 肯定的に楽しめるのが サハジャ ヨギの能力です ネガティビティというのは存在しません それはただの無知です 無知というものも存在しないので 無知ですらありません すべてが偏在的な力であるなら 無知がどうして存在できるでしょう でも あなたがその力から隠れて 逃げてしまえば ネガティビティが 存在するというでしょう 洞窟に逃げ込んで 入り口を塞いでしまえば 太陽がない といえるように なので コレクティブになれない人 というのは 左右どちらか なかでもレフトサイドに 傾いていることが多いです ですが レフトサイドの人たちは ネガティビティのコレクティブを作ります 幽霊達の友の会があるのです 酔っぱらいが一緒にいるのを見ると “環境問題とか問題だらけだ” と言ったりしています 皆が酔っぱらっていて “他の問題もあるし いつ解決するんだ” と言ったと思えば “ちょっと待て 世界が終わるという 話も聞いたぞ”という者があらわれ 更には “ああ 神よ みんな破滅だ 終わりだ”と 4人目は “このパブはどうなるんだろう” すると“皆死んでるんだから そんなことどうでもいいだろう” こうして幽霊の友の会は続きます 彼らは楽しみを見ることが出来ず 否定性において ある意味瞑想的で 達観していくのです しかし 彼らは 結局狂気に駆られます そしてライトサイドなら 白痴になります 精神病院に行った時に ある女性患者と話しました 彼女は結構大丈夫に見えたのです 話も賢くて “義兄がいて 彼を助けるべきと思うし こんなことするべきじゃない”など あらゆる話をして 彼女は優しく善人なのに 誰も 彼女を助けていないような口ぶりでした その上“私は怖いんです” と言ったりします 突然 ドクターが来たら 彼女は怒鳴り始めました “これはどうしたんですか”と訊くと ドクターはスタッフに “女を押さえて”と言います “彼女は一番危険なのに” “どうして彼女と話したんですか” と言われました 頭痛はしたけれど 彼女が発病しているとは知りませんでした 私の前では霊が逃げたか ごまかそうとしたのでしょうか 見るからに明らかでした サハジャ ヨギであるなら 私の子供だから 私のもの 私の と感情的に執着して 誰かの心配ばかりして 人生を無駄にすべきではありません サハジャ ヨギが コレクティブになれないなら その人はサハジャ ヨギではありません これが私たちの 内なるバイラヴァナスの作用です 別の作用は 私たちの内面の 悪霊をやっつけることで

執着に対する悪い思考や狂気　抑うつを取り除くことです　今日はとても気分が良いです　というのもバイラヴァはガネーシャとゆかりが深いからです　知っての通り　ガネーシャはムラダーラにいて　バイラヴァはレフトサイドを動きライトサイドへわたります　なので　あらゆる　コンディショニング　悪癖を　バイラヴァナスの助けにより　克服できます　ネパールにはバイラヴァナスの　大きな像があり　それはスワヤンブで　地元の人々はレフトサイド故に　それを恐れています　なので盗みなどの　悪癖がある人を　灯をともしたその像の前に　連れて行きます　つまり警察が　“バイラヴァナスの前で白状しろ”と罪を認めさせるのです　彼は窃盗などの　陰險な悪行からあなたを守ります　なにか隠れて出来ると思っていることもバイラヴァナスには隠せません　あなたが変わらなければ　彼はあなたを完全に暴きます　そのようにして彼は偽の指導者を暴いてきました　今日は　この偉大なバイラヴァナス　後にマハヴィーラとして　化身した神を讃えます　彼は地獄の門に立ち　人々が地獄へ落ちないように　守っています　しかし　本人が自ら　それを望むのであれば　“よろしい行きなさい”と　彼は言うでしょう　しかし　ご存知のように　地獄も混雑していますので　否定性と戦って他者を好きになって楽しみ　人があなたに　どうしたかを気にせずに　あなたが人に　何を出来るかを考えなさい　さあ今日はバイラヴァナスの　特別なプージャなので　笑い　楽しみましょう　神の恩恵がありますよう

1989-1008, ナヴァラトリ10日目、深さと満足/ナヴァラトリ プージャ

[View online.](#)

「自身の中のデーモンを壊しなさい」1989年10月8日マルゲート（イギリス） デヴィ プージャを イギリスですることは自然の流れで決まりました ここで行われるべきでした ここがサダ シヴァの場所であり アディ シャクティが崇拝されるべき場所だからです なぜデヴィ プージャをするのか 今日 理解すべきです デヴィ プージャをする 理由は何でしょうそれから何をされるでしょう 私たちの内実において 何を求めるべきなのでしょう まずクンダリーニはデヴィです彼女はアディ シャクティの反映です なのでデヴィを崇拝するとき まずあなた自身の クンダリーニを崇拝しますあなたにリアリゼーションを 与えたからです 普通の人に比べ デヴィのプージャに対して持つ 理解は遥かに深いです彼らはリアライズ ソウル ではないからです クンダリーニが覚醒していません なのでデヴィ プージャの目的はリアリゼーションを得るためです デヴィを歓ばせて 人はリアリゼーションを得ます あるいはリアリゼーションを与える人に会う機会を得ます しかし あなたはもはや 違うレベルにいます ですから 自身のクンダリーニに対する アディ シャクティに対する 感謝から行うものです 内にあり アディ シャクティによって 反映されたクンダリーニによって 奇跡的に起こったことに対する賞賛です しかし 私たちが リアライズ ソウルであるということは ポイントではありません ヴィブレーションを感じられるというもの ポイントではありません 他者にリアリゼーションを与えられるということもポイントではありません それでは何が大事なのでしょう 重要なのは内にある内実です何が内にあるかが大事です これらは内にあるものの 現れにすぎません 例えばある者は 気前がいいとしますそしてその者が金持ちだと分かります そうでないといけません なので自分たちの内実を 見なければいけません 内実において自然界で真の内実があるのは どこでしょう 海を見ると 水で満たされています あらゆるところから水を吸収し 太陽によって蒸発し 雨になります ですが海は 最も低い高度にあります そしてあらゆるところから 水を吸収します 同じようにサハジャ ヨギが より良い内実を望むなら 外側において高いところにいることは ないと知るべきです 聖書に「柔和であれ」とありますが 意味は説明されていないと思います 強い者のみが柔和になれる 安定している者が柔和になれる 真髄において 豊かな者が柔和になれる 不安定な者にはなれません 不安定な者が どうして柔和になれるでしょう いわゆる金持ちも 柔和になれません 寛容でないからです 満足していません 哲学的ではありません 豊かさはなく 欲深い乞食のようです ですから内実が大事です 私たちの内実は何でしょう あなたは私を愛していて 私もあなたを愛しています いいことです しかし あなたが私を愛する時 サハジャ ヨギとして愛すべき資質が あることを知らないといけません 人はサハジャ ヨギをしていても 我を見失います 何に対しても克服できる 大丈夫だと考えれば 自分を見失います 私たちが柔和である時 その内実は謙虚さです 人に対し謙虚でいなさい すると自分自身を好きになります その資質を楽しめます “私は他の者より謙虚である” その他に内実において 大きな山が挙げられます 高さがあるからです 山が雲に触れます なので海の謙虚さと山の高さには関係があります サハジャ ヨギは そのようでないといけません なぜなら 大海には内実が潤っておりそれが雲となり 山の高みに シヴァが住まうカイルス山に触れます なので大変 歓びを与えるものです 私が描かれた絵のように昔の私の状況はそうでした 今日め精妙なレベルにおいて 働きかけています 沢山のネガティブティがあり 様々なレベルで働きかける必要があるからです 人間が悪魔になっても仕方ない という言い訳はできませんし サハジャ ヨギはもってのほかです しかし私はあなたを 我が子と呼んでいるので 多少祝福はあります 長い口で例えれば 気にすべきは口でなく あなた自身の資質 吸収する内なる力です ありのままの海を見ると 海は周りの水を取り込む性質があります そして太陽が スピリットとも言えますが 太陽によって蒸発します 海だからこそ可能です 川ではそれほどできません 海は大変広大で 深く 無尽蔵だからです そして完全に 純粋なものができて ハートに触れます サハジャ ヨギだからできます ハートがシヴァが内在する高みの レベルにあるからです 純粋さ 心の広さ 深さ 謙虚さやマリヤダがないと そこに至ることはできません 海は決して マリヤダを超えることはありません 片方から押し寄せれば もう片方に表れ 決してその範囲を超えません もし太平洋がもう30メートル深ければ 問題があったでしょう なのでその深さ 高さ 広がりにおいて 自身のマリヤダがありますが そのマリヤダの中で 自然とお母さんと一つである という感触があります 母なる大地を乱すことなく 母なる大地の一部に 適切に位置されています 自然は神聖の下に束縛され 神聖が自然を世話しています すべてが美しく作用し 自由があります サハジャ ヨギを始めると より大きな自由を得ます 完全な自由です 無意味なもの 罪深いもの 低俗なものには束縛されません あなたは山のようにそれらを超越します 山と海が組み合わせられ そこに船を通すことができます 深みある者のみが 深さがある岸に辿り着きます そのようにしてあなたのハートと バヴァサガラの繋がりにより 自分の深みを得ます そこは人があなたのところに来て これは素晴らしいと 分かる美しい場所です 皆分かっています 私は普通の女性に見えるでしょう あなた方は違って見えたかもしれませんが 通常は・・・ どのくらいの方が プログラムに来るでしょう どのように来るでしょう

コロンビアでは私の名前すら 聞いたことがない者が 何千人も来ました 驚くべきことです 座る場所に困るぐらいでした
ロシアでも私のことはもちろん 誰も知りませんでした 出版された本もありませんでした なので “貴方が集合的無意識を
操作をしました”と言うでしょうが していません ですがそうだったようです なのでサハジャ ヨギが 内実を高めると
集合的意識が 神聖が確実に作用します 広告を出せば 人が来るようなものです 人はお金をとると 買えると考えます
しかしお金やビジネスは関係なく ただ素朴な者であれば 神聖によってすべて成されます 神聖がワークアウトさせます
しかしその場のヨギが 何の役にも立たないのであれば 私がそこにいたとしても ワークアウトしません 生半可な者では
ワークアウトしません あなた方を失望させる つもりはありませんが 自身の内実を育み 自身を完全に信じないといけません
これはサハジャ ヨギの 最も素晴らしい財産です ではこの大海は何でしょう 愛です それは愛です それは話すことも
何かを成すこともありません ただ自発的に働きます 自分でしようとしないうほど 良いです “私はこれをします
処理できます”ではなく あなたはただ 自身の内実を育むだけです 皆さん幸運です 誰もが持てなかったものを 沢山持っています
人々はジャングルに入り グルの怒りを受けないと いけませんでした 彼らを守る者もいませんでした 崇拝する アディ
シャクティもいません あなた方には アディ シャクティがいます その力は神聖です あなた方は大変 有利な状況にいますが
まずそれに 気付かないといけません 内実を育むとき その器は 強くないといけません そうでないといふすべてが壊れます
この力であなただが 完全に守られていると知ることです 誰もあなたを傷つけません しかし試されないと
完全に安全であると分かりません あなたが理解しているか見るために トリックが起こるかもしれませんが 何もせずとも
すべてが解決します どのように解決したか ワークアウトしたか分からないでしょう 問題はサハジャ ヨギが
この力をどのように持つかです 私はそれをシュラッタだと言います シュラッタとは 盲信ではありません サハジャ
ヨガを始めたあと リアリゼーションのあと あなたはすべてを分かります あなたは 私の写真を見ました サハジャ ヨガが
いかに作用するか 人のクンダリーニの 上げ方も分かりました ヴァイブレーションを感じることができます 人について分かり
治すことができます これらの力すべては あなたの中にあります エゴなしにこの力について ただ悟ることがあなたの力です
あなたが強力なときエゴはありません 必要ないからです エゴは力がないときに 出てきます もっと欲するからです
十分であれば エゴはありません なのでこの力をまず 確かめないとはいけません あなたに力があるかどうか まず確かめます
例えば椅子に座る前に 壊れていないか確かめます “大丈夫だ 座れる” サハジャ ヨギの中には 際にいる者がいます
時には高みに達した者と 外側にいる者に大きく差があります これらすべて 昔滅ぼされたネガティブな力です 彼らを殺すのに
シャクティ一人です十分でした カリ シャクティや ドゥルガ シャクティです でもあなた方には沢山います マハラクシュミ
シャクティや サラスワティ シャクティがいます 12人の神格が あなたのために働いています では
あなたがそれに気付くということは 自分を完全に 信じるということです 未だに自分を疑っているなら
これも人間の資質ですが 犬は自分が 犬か猫か疑っていません 虎も分かっています 自分の能力も分かっています
人間だけが他の愚かな資質に加え 自分自身を疑うことをします この疑う資質が 彼らを臆病にしています サハジャ
ヨガでは自分に対す る疑いを持つべきではありません “私は未だこうです このようにしてしまいます”
それなら取り除きなさい 背中に猿を担ぎたいなら 私は問題を解決できません “まだ背中に猿がいます” 取り除きなさい
簡単です 私のシンプルな理論では これが答えです 猿を担ぎながら “マザー 私は猿を担いでいます” 見えてます 頭や背中から
取り除きなさい 簡単です あなた方はサハジャ ヨギです ロシア人は違うようです 彼らに猿はいません 驚きです
全く猿がいません 誰にもです 個人的 公的 その他問題ははありません 全くです 議論もありません 彼らは“政府がこうだから”と
言えたかもしれませんが言いません うんざりしたのでしょうか 大変学識があり専門家で 謙虚で 心を開いていました
ただリアリゼーションを望みました “貴方は私たちの 解放の為に来ました” 私のサリーや歩いたところに
触れようとはしません ヴァイブレーションのことも 私が アディ シャクティだとも話していません
どのように私を認識したでしょう 彼らは自身の内に力を シュラッタを育みました 自国で神について
決して話したことはありません 教会やイスラム寺院を立てる 愚かな者もいましたが ほとんどの者が大変強く
内実が現れていました プログラムがある度に 今でさえ フォローアップのときも 最低でも千人はいます このイギリスでは
デヴィ プージャに千人もいません それに人々は何千キロも遠くから シベリアなどから来ます 自分たちでホールを予約し
支払います サハジャ ヨギはお金を取りませんが ホール代はかかります 生半可な者はワークアウトしようとも
頑張ろうとしません それはサハジャ ヨギの 生き方ではありません 私たちは 悪魔を殺すことはありません
デヴィと共に戦ったように 戦争に参加することも 兵士のように 戦う必要もありません あなたは内にあるネガティブティを
倦怠感を取り除くだけです そしてワークアウトさせるだけです マントラを言ったり マントラの力を知っていても
神格が起きた状態 でないといけません そのため何度も言いますが 瞑想しないといけません ただ座って“分かりました
ゴルフと同じですね”違います まじめなことです あなたはアディ シャクティを 崇拝しているのです 完全な理解と献身で
瞑想しないといけません 機械的ではなく 遊びでもありません 大変精妙で特別なことです 行動で示せるものではありません
ただ大変深い気持ちです その深みは他のどの 気持ちとも比べられません その想いで 瞑想しないといけません
その後結果を見ます 多くの者が“あれこれしたのに まだ問題があります”と言います それは十分深くないからです

祈りの長さや言葉の多さは 関係ありません 神聖の御み足をどれほどの深みで 触れたかが大切です なので今日
デヴィがすべての ネガティビティを取り除くために 私たちのハートを剣でもって貫き シヴァのために蓮の花を根付くよう
植えるのだと理解することが重要です デヴィは私たちの内から すべての醜さを取り除きたいのです まるでデリケートな
素晴らしく成される手術のようで あなたは それを感じないほどです この間ある本をもらいました
ヴァイブレーションのことをスパンダと 呼んでいました 脈打つという意味です サンスクリット語でアナハタです
震動がないという意味です しかし この本を読むと 大変回りくどく 説明だらけで誰も理解できません ひどいものです
私はそれ以上のことを 簡単に説明しています その本を2ページ読めば 頭痛がします でもあなた方はサハジャ ヨガの
全知識をすばらしく得ました すばらしいことです 別のマントラについて読めば その説明は現実とは 無縁だったりします
現実と関係あったとしても とても回りくどく 複雑です アディ シャンカラチャリヤは それに気付いて論文を断念し
“お母さんの賛美をただ讃えれば 全て大丈夫です”と 人は難しく捉えますが とてもシンプルです 人間は大した専門家です
ラジオのように次々賛美し 何もハートには入ってきません あなたはその深みを 育まないといけません サハジャ
ヨガでは脳ではなく ハートを通して理解します あなたはハートを育み ハートで他者の素晴らしさを
受け止めないといけません 人は他者の間違いを 簡単に見えます 自分の間違いは見ません 知的な者は特にです
リアリゼーションは必要ありません しかし賢い者は 自分の間違いを見ます そして賢いので 自分を信じられます
疑いはありません 自分が賢いと分かっています 自分の間違いや すべきことを分かっています 今日における女神の仕事は
大変違います 明白です もちろん象徴的には同じですが 大変精妙になりました まず第一の仕事は存在する
ネガティビティを減らすことです より光があれば 無知は消えます 光が広がり 暗闇がなくなります あなたが光です
あなたは光を灯し その光を世話しないといけません そしてその光を 永遠のものにしないといけません
これはあなたがしている 仕事の一つです 光を広げ人々を啓蒙することは あなたがするすばらしい女神の仕事です
あなたの周りにあるネガティビティは あなたの内にあるものより 危険ではありません 今日では さらに精妙になりました
ネガティビティはより 精妙になっています あなたの中に入り込みます 気をつけないといけません いつでもあなたを倒します
あなたが登ろうとするとき 一步でも間違えれば 落ちることができません なので緊張することなく 注意深くいないといけません
すると注意深さが育ちます 光が内にあれば それを見始めます すぐさま見れます どう正すかも分かります
すぐに取り組むでしょう 素敵なサリーに汚れがつけば すぐにきれいにすると同じです 同じように私たちは
大変注意深くいないといけません ダクシャです 以前はこれは女神の仕事でした 女神が啓蒙し 人々のために注意深くいました
子どもたちのために 虎のように座りました 人は祈り プージャや ハヴァンを捧げました 女神は彼らの前に座り
ネガティビティから守り 悪魔を殺し あらゆることをしました しかしその段階は 終わっています 彼女はあなたの中に入
っています なのであなたは自分のネガティビティ を殺さないといけません お母さんと 同じ力を備えています
いかなるネガティビティも あなたに触れることはできません あなたはリアリゼーションを与えられます
その力を備えています そして他者ではなく 自分の欠点を見ることができず そして取り除けます あなたの善にも
上昇のためにもならないからです 誰も得しません それはコレクティブ レベルにおいて 自動的に作用します
心配することはありません 煩わせる者はいなくなります 盲目の者が崖から 落ちてしまうようなものです これについて
心配することはありません ただ作用します あなたはすでに見てきています あなたにある もう一つの資質は
あなたを通して女神が作用していると 信じれることです 彼女はあなたの中に内在しています その力を備えています
あなたは人を癒すことも 治すことも 平穏や至福を 与えることもできます 女神があなたに 至福を与えたからです
あなたは至福になった ということです 冷房がかかっているとします 涼しい風がきます 同じようにあなたが至福を発するなら
他の者に至福を与えています しかし内に至福がなければ 与えることはできません ですからヨギは女神のように
至福に満ちていないといけません 彼女には 極端な性格があります 非常に残酷でもありえますし 非常に温和でもあり得ます
昨日の二つのラーガのようにです 彼女は 人間の想像以上に 非常に凄絶にもなれますし 非常に温厚にもなれます
この凄絶な側面を あなたは持つ必要はありません ただ作用します この側面は 神聖のみが持つものです あなた方は
もう一方の側面を持ちなさい 凄絶な側面は 神聖に任せなさい いずれにせよ神聖も 仕事をしないといけませんので
あなたがすべての仕事をするなら することがなくなってしまうので神聖が その面を世話します
女神が自身を楽しむように あなたも自身を楽しまないといけません 彼女は自身の至福を 平穏を 創造のすべてを 子どもたちを
彼らの愛を楽しんでいます 同じようにあなたも 楽しまなければいけません すべてを知らなければいけません
すべてを熟知する者 でないといけません “神聖よ どうか私たちをお守りください” という以外は 全く言う必要がありません
せめてそれだけです 仮に言わなくとも 守られています 見えていなくても神聖が その舞台をワークアウトしています
あなたはその舞台にいます 彼らが光をどこに照らし 何を变えるか すべてアレンジしています あなたは
居心地良くいるだけです 全ての仕事をする 必要はありません あなたは演じたり 台詞を言ったりして
自分の仕事をするだけです 他は彼らにさせなさい うまくやります 彼らはすばらしく 配置された専門家です
神聖の手に任せることを “サレンダー”と言います それができるなら ほとんどのことは 奇跡的にワークアウトするでしょう

驚くほどです “マザー このようにワークアウトするとは 思ってもいませんでした” 大変大きな力が 作用しています その力
すべてのエネルギーの 源であるそのエネルギーです この偉大な宇宙を創造し 母なる大地や 太陽を創造し
あなたをデリケートに 創った力です その力が働いています その力があなたを世話し あなたがこのステージにいることを
誇りに思っています 今日は女神に “どうか私たちの内にあるネガティ ビティと戦えるよう助けてください”
“戦えるようあなたの虎をください ライオンをください”と祈ります 私たちの内にいる 恐ろしい動物たちや
恐ろしい取り憑くもの 恐ろしいコンディショニング それらを取り除かないといけません 自分をよく見ると
沢山のコンディショニングがあります 薄いカーテンで覆われていて 見れなくなっていますが そこにあります
その洞穴に虎を入れて 見つけなさい するとあなたは女神のように馬や ライオンや虎にまたがって楽しめます
結局子どもたちはお母さんから 受け継いでいる財産があります あなたはそれらを 使うことができます しかしあなたは
それに値する者でないといけません 自分にはその価値があると 気づかないといけません それに値し それができると
今日私たちは このプージャのためにここにいます パースで予定されていましたが ここになりました
このプージャができるのは 幸運なことです そしてこれはより深く より精妙な性質のものです あなたの血のように
この七日間で女神は血の色の赤を 常に身に付けると言われています 胎児は母の子宮の中で まず赤色を目にします
それは安心感です 一方で赤い服を意味し もう一方で 安心感を意味します あなたの周りに 安心感を与えます
あなたが行くところが どこであれ安心感があります ただ感じなさい あなたは 神の王国に入っています 疑いようがありません
皆さんそこに入り すばらしく落ち着いています 神の祝福がありますように

1990-0321, Birthday Puja, Sincerity

[View online.](#)

Puja for the 67° Birthday, Sydney (Australia), 21 March 1990.

世界中の 何という熱意でしょう シドニーにある花全てが 買い占められたようです すばらしい言葉やカード 手紙 美しい詩をもらいました 子どもたちも 美しく歌っています 誠実な幸福の 気持ちに対して 歓びの気持ちを表す 言葉がありません あなたには 世話をしてくれる 気にかけてくれる 叡智でああなたを変えてくれる お母さんが必要でした ですから 誕生日が来るたびに サハジャ ヨギは より寛大になり もはや一滴ではなく大海の一部であると気付いていると感じます その大海はあなた方を強め 世話しています あなた方を養います そしてその大海によって 導かれます ですから一滴と大海のつながりは 完全に確立されなければいけません 一滴の限界は 大海の偉大さによって 完全になくならなければいけません 配慮と優しい言葉で コレクティブの深さを 向上させることができます コレクティブになりたいという 誠実な望みでもってできます コレクティブになりたいという望みは 大変誠実でないといけません するとあなた自身に 広がりがあります まず必要なのは 自分に対する誠実さです 一滴の状態から つまり小さな限界を持つ 一滴から来ているので 何度も限界に 突き当たりますが 自身のヴィジョンを見なければいけません 将来あなたは どうなっていたいか コレクティブになりたいと思う 誠実さは 全ての障害を取り除きます どんな目的に対しても誠実であれば 時間も労力も全て忘れます 小さなことでさえ 得ようと望みます ではこの誠実さは どこから来るのでしょうか 2つの事によって 誠実さは作用します まずサハジャ ヨギとは何か あなたに何をもたらしたかを 自分自身で見なければいけません リアリゼーションを与えました より広いヴィジョンを与えました 集合的意識や 思考を超えた 疑いを超えた 意識状態を与えました 卵から鳥になるように 新しい人格を与えました あなたは鶏になりました 殻に戻ることはできません 一度サハジャ ヨギが あなたのために何をしたか気づけば そしてまたあなたが 何を得たかを気付けば・・・ あなたは長年内密だった クンダリー二の知識を得ました 完全に内密で 誰も知りませんでした クンダリー二についての知識を 大学やいかなる学びの場で 学ぶことなしに得ました 実験室に行くことなく 経験しました 理解しました クンダリー二の 上昇を見ました 人にリアリゼーションを与えました 聖霊の涼しい風を経験しただけでなく 自分自身の力も体験しました また 物事を理解する ための知識は 以前と比べると 大変変わりました あなたの知識は 大変豊かになり クンダリー二を上げる権利を 与えられています 以前は偉大な聖人でさえ 偉大な預言者や聖者でさえ できませんでした ほんの少数の者しか クンダリー二を上げられませんでした それを得ています チャクラを理解し 診断できます 子どもでもできます あなたが気付いていない すばらしさです 人間の段階では それについて クンダリー二という言葉さえ 知りませんでした しかしあなたは短い時間で その知識に精通しました サハジャ ヨギの恩恵です 豊かな知識や アテンションの光の作用をみると たくさんの恩恵に満ちていて 自動的に 何もすることなく結果を得ていて 驚きます どうやって起こるか どう作用するか理解できません “突然そこでこれが起きた” どうやってでしょう この大海はどの瞬間も 細部に渡って作用します これら全ての事柄が示す あなたはもはや普通の人間でなく 聖人であるという事実を 目を開かなければいけません 私達の姿勢が 変わらないといけません 多くの人間は未だ動物です 互いを殺したり 振る舞い方を見れば 人間ですらありません そのような者と 共に住んでいます 彼らは犯罪者で それだけでなく 彼らの中には 大変低いレベルの文化があります 動物とも呼べます 半分人間で 半分動物の者もいれば 完全に人間で 真実の探究者である者もいます サハジャ ヨギで 得たものへの理解から 自分が何者であるかを 悟るべきです 全て私達に 自然に起こったことであれば それに対して 大変誠実であるべきです 私達が得たものはすばらしいものだ と 感じなければいけません ですから私達は 誠実でなければいけません メンタルにも 感じないといけません これはとても重要で 価値のあることだと メンタルにも まず第一に感じることで それに対してあなたは 大変誠実になります 次の段階では 見て 知ったことに対して 心を開き始めます 次の段階として あなたはハートを開かないといけません つまり誠実さは ハートからきます ハートが開いていなければ 誠実にはなれません 心が開いていないとは どういうことでしょうか あなたは再び生まれ リアリゼーションを得ました ある意味 あなたの誕生日です あなたの知識と 理解の成長において あなたは今まで自分のハートと 歩調を合わせていませんでした 何があなたのハートを そのようにさせるのでしょうか ハートが身体や脳を支配していることは 容易に分かります ハートが止まれば 全て停止するからです 脳が止まっても 心臓は止まりません ですからハートが最も大切で あなたの中で全てを支配しています 大変繊細で循環する この特別な器官が石のようなら どのように鼓動できるでしょう ですから “心を広げる”という時 石のような固いハートが 溶けないといけません なぜ石のようになるのでしょうか 私達はそのルーツに いかないといけません ハートが脳をコントロールしているので 石のようになります 脳に七つのオーラがあるように ハートにも七つのオーラがあります そしてこれらのオーラ全てが 脳のオーラをコントロールしています

脳にはエゴとコンディショニングの 2 つがあります それらが脳を抑えつけます 結果として 脳のオーラは抑えつけられます
ですからハートを取り巻く オーラも抑えつけられます しかし脳は考えることができます “これは大変いいです
どうクンダリーニを上げるか知っています” 考えることができるので 石のようにはなりません どんなにハートが石のようでも
脳は考えることができます ヒットラーのようにです ですから脳は コンディショニングやエゴによって 石になったり
考えられなくなったりはしません 大きなエゴがあれば その者は 愚かになるかもしれません しかし考えます
本当に愚かになります エゴイストは アギヤが キャッチしている者は愚か者になります 確かです その者の態度や話し方
行動にみてとれます 自慢しがります 大変愚かになります 賢い者は その愚かさに気づきます 頭がスーパーエゴで
覆われていても 脳は固い石の ようにはなりません 代わりに その者を大変愚かにします そのような者は 永遠と話し続けます
人はすぐさま その者の愚かさに気づきます コンディショニングは さらにひどいです 大変陰險です
コンディショニングが強い者は 表だってそれを出さないからです 自慢しません しかし 悪賢く サハジャでない考えで
頭がいっぱいです プージャで私が手を洗った水を とっておくのを見るとします すると“なぜとっておくのか”
お母さんの手を洗ったものです 別の者が“マザーの手には 強いヴァイブレーションがあり” “そこにヴァイブレーションが
浸透します” その者は 信じられませんでした コンディショニングが強く 汚れだけが出ると思うのです
ヴァイブレーションのことを 考えられないのです そのようなコンディショニングが 人の頭にはあります
コンディショニングがあるために ハートで理解できません その者は悪賢い考えをしたり 嘘を言ったり
ナンセンスなことを言ったりして まともであると納得させようとします その者達は愚かではなく 馬鹿なのです
馬鹿な者のように話します 馬鹿なことを受け入れます 叡智がありません 一方は愚か者で もう一方は馬鹿です 間にサハジャ
ヨギがいます コンディショニングは 頭を歪めますが 石にはしません 精神錯乱を持って 生まれた者であれば
考えることができず 石のようになります 普通の脳は考え続けます コンディショニングかエゴでもって 考え続けます
脳によってハートに 影響を及ぼすべきではありません ハートが脳に 影響を与えるものです ハートから出ているオーラは
鈍くなったり 消えたりします ハートのオーラは大変敏感で “脳に光を与えても仕方がない” と感じます するとオーラは
どんどん小さくなります そしてハートが小さくなります そこに居続ける意味が なくなるので小さくなります 結果として
ハートが小さくなります “心が狭い人” “臆病者” とも言いますが そのような者を “石のようなハート”と言います
コンディショニングやエゴがあるため これが起こります その結果はハートが 石のようになることで感じられます
ハートは敏感で 脳は敏感ではないからです 柔らかいものを茹でるなら 固くなりますが 石を茹でても 固さは変わりません
敏感で繊細なハートは 石のようになります 脳波の熱で茹でようです 大変固い石になります 一言も優しい言葉は
出てきません 常に人を攻撃し 言うべきでないことを言ったり “人を傷つけるために何を言おう” と考えます
悪賢いので“人をおとしめるには どうしたらいいか”と考えます またハートはエゴで凍ります そしてハートは考えます
脳にオーラを 放つことができなくなります 脳は“ハートはコントロールする力がない” と考えます するとハートも
“私は私ですべての仕事をします” ハートは小さく 石のようになり 作用しません そして脳が支配権を得ます
脳は理解が及ばないことを し始めます 動物のように 悪魔のように振る舞います 大変残忍になり
人にどう優しい言葉をかけていいか 分からなくなります 間違ったプライドを持ち 他者を傷つけたりします 同類が現れて
共に破滅するまで互いを軽蔑し合います それが全てにおける 問題点ですが そうでなければ 全滅しているでしょう
エゴが強い二人は一緒にいれないので 互いを無力化するからです おかげで 彼らから救われています ですから脳にある
これらの二つの状況が ハートを凍らせ ハートの領域をなくし 脳がそれ自体で 主張し始めます それ故
どう人に優しくしていいか どう助けていいか どう人を安心させ 守っていいか分かりません これら全ては受け継いでいます
あなたがサハジャ ヨギに来た時は 石のようなハートで 脳はエゴがスーパーエゴで いっぱいでした しかし
クンダリーニの上昇は 頭を一扫します クンダリーニが動いて ハートの座である ブランマ ランドウラに触れると
誠実さがでけます すると王が戻ってくるように ハートが戻り 脳を支配し始めます ハートが戻ると
怒りを感じていた人や話したくない人や 関係ない人に対し 親切になります 人は様々なやり方で あなたを傷つけました
すべての危害や 全てがただ消えます そして 大変優しく すばらしくなります クンダリーニがハートの座である ブランマ
ランドウラに触れたということです それが開き始めるや否や ハートも開き “脳に支配されるなんて” と目が覚めます
人が突如変わるのを見ると 驚くでしょう アメリカにある男性がいました “マザー リアリゼーションの後” “あまりに変わって
大変穏和になりました” “伯父や誰に対しても 幸運を祝ったことがありませんでしたが” “伯父さん こんにちは” 伯父は彼を見て
“大丈夫かい” そんな風に声を かけたことがありませんでした “伯父さん 何かできることはありませんか”
と素敵な言葉をかけました 伯父は “酔っ払っているのか” “なぜそんな優しい言葉をかけるのか 信じられない”
このように起こります 簡単に抜け落ちると 理解すべきです それらを身につけたからです 身につけたので なくせます
それらによって 煩わされることはありません 一度ハートが目覚めれば エゴとスーパーエゴを 立ち退かせることができます
ですから人と接する時 良いコミュニケーションをとることで 氷を壊さないといけません 自分自身に言い聞かせます “この者は
そんなに悪い人ではない” “まともかもしれない” 誰かを悪く決めつけるのは 簡単です 一度そう思い始めると

自分の周りに要塞をつくり 自分が最高で 周りは良くないと考えます そしてこの考えは 地域や社会 人類全てに害を及ぼします サハジャ ヨガはそれを直す 唯一の方法です サハジャ ヨガがこれらを終わらせる 唯一の方法です あなた達によって なされなければいけません クンダリーニを上げて ブランマ ランドウラを開くことです そして人はこれによって 誠実さが戻ると理解できます あなたのハートは上昇します 覚醒された人格になり 常に狂ったように考える脳を 支配できます これが一度起こると 疑いのない意識状態に 飛び込んだことに気付くでしょう 2つの関係は 理解されていないといけません まずハートの支配が ハートの王国が挑戦されて力を失うと 脳が王になり 私達を支配し始めます “私はこう考える” “私はこう感じる”と 脳が エゴが言います “私はこう考える” “私はこうしたい” と言うことを断念すれば 全てうまくいきます 代わりにこの身体が それを望んでいると言うべきです 自分から切り離します “私がこうしたい”と言わないことで 自分と切り離し始めます “この身体が この手が この頭が” と言うべきです 切り離します 一度切り離すとエゴやスーパーエゴの 障害が消えるでしょう またこの2つを取り除くのは 容易いです クンダリーニを上げて ブランマ ランドウラを貫くことによってだけです これはあなたが得た 最高のことです ブランマ ランドウラを貫き クンダリーニが包括的な力と繋がるだけです ですから瞑想しなさいと言います そうすればうまく作用します 外側のことにあまり 注意をおいてはいけません もちろんある意味 あなたは サハジャ ヨガに責任があります それに対して誠実だからです 自分を強制できません ですから何度も言います 自分の誠実さを計りなさい “いかにサハジャ ヨガに 誠実であるか” ある者は軽率にも “マザー 私は馬鹿でした 混乱していました” そのように言えないはずですが あなたはサハジャ ヨガに 恩義があるからです あなたの人生が 新しくなりました “混乱していました 馬鹿でした” などとは言えません 自分にはできないと 言うのですか お母さんは誠実さに 働きかけてきました それに対して 不誠実ではられません 偽善者ではたくありません 感謝の気持ちや 自尊心があるなら “混乱していました 馬鹿でした” とは決して言うべきではありません 自分が冴えない者だと 言っているようなものです サハジャ ヨガや自分自身に対して 全く感謝の気持ちがありません サハジャ ヨガはあなたを 必要としているわけではありません あなたがサハジャ ヨガを 必要としています サハジャ ヨガ自体 完全体です 完璧です そのままであり続けます それ自体の位置づけ 重要性 威厳があり 完全です それから何かを得ようとするなら あなたが作用させなければいけません ガンジス川から 水を汲むなら 必要な深さの 水差しが必要です 石を持って行っても 汲めません ガンジス川は流れ続けます それ自体の容量で あり続けます 石を持っていても 変わりません クンダリーニを 出来る限り上げることが大切です 常にクンダリーニに 注意をおきなさい 問題がどこか見て 完全に取り除きなさい 問題がどこかを探り 何回もクンダリーニを上げ 大脳辺縁系に 流れているのを感じなさい そうすることで ハートが開きます ある意味 機械的なプロセスと言えます しかし それさえしませんでしたら ハートが大きいはずですが “私のハートがアジアのように 大きくなった”と言うでしょう ハートの奇跡を見るでしょう あなたは ヴァイブレーションを放ち それによって慈悲深く ダイナミックになります サハジャ ヨガに 誠実になります 今日のプージャで 心を開くようお願いします あなた方は歓喜に満ちています 心を開いたからに違いありません 私に対して大きなハートを持っている ためですが 自分に対してではありません 私のために何でもしますが 自分のためには何もしません ホールを飾るために 朝から晩まで働きます これらの花を 私のために揃えました “自分の為に瞑想しなさい” と言うとしません “自分のためにこれを習得しなさい” と言うとしません そういう状況です これらを飾ることで力を無駄にせず 自分自身を飾るべきです 誠実さでもって ハートを大きく保てると 自分の想像や知性や良識を使うことが できると信じることによってです これが世界中への 今日の誕生日のメッセージです 全世界が一つの脈動する 大きなハートのように感じたからです 電話を取ってからここに来ました 電話がかかったり お花が届いたり すばらしい言葉が送られました それに浸っています あまりにもすばらしいです 子どもや女性 男性から 心温まるものをいただき いかに彼らが私の誕生日に対して 歓びに満ちているかをみると驚きます 同じように毎日が あなたの誕生日だと考えてください 常にクンダリーニを 上げておかなければいけません クンダリーニの基準を より高く保ちなさい ハートが開けば開く程 クンダリーニの糸が上がって あなたのハートはより開きます 目覚めます より力強くなります 開いた 大きな 力強いハートで おかしな考えを与える脳を 支配できます 今年そうなることを願います 大きなハートが持てるように 努力してほしいです 大きなハートとは 愚かさではありません 私を入れられるハートのことです 私はかなり大きな人です 私が内在できるほどの 大きなハートを持たないといけません 大きなハートです それを持つべきです これが起これば 全てがうまく作用するでしょう どのようにサレンダーすればよいか 知らなければいけません サレンダーできない部分をどう保つか 知らなければいけません サレンダーは あなたのハートを 完全に開くことですからです 私をハートにおきなさい そして自分自身を 完全にコントロールできたときに贈る 私への花を持っていなさい 持っている花のように あなたの感情や気持ちを持ちます それはあなたの ハートの大海の一部です 一度準備ができれば 全て整います もし家の準備ができていれば 花を 感情を 美しいものを 持ってきて それらを大切にします 他者にかける優しい言葉 についての本があるべきです そのような本を探すべきです あるいはどう優しく言えるか いかに他の者の面倒を見れるか どうすれば愛を感じてもらえるか の本を書くべきです そのような本は 人に素敵な言葉をかける手助けになります 何か優しい言葉をかけると その優しさは戻ってきます まるでさざ波が浜辺に触れ

嬉しく感じるのと同じです 優しい 心地よい ありがたく感じられる 言葉を言い続けなさい 誠実さから言うなら 表面的に良いからといって 適当な言葉を言うのではなく 心から言うなら 相手のハートが開き 感情の美しい花が あなたに流れるでしょう 一方で自分のハートを 開かないといけません そしてもう一方で 美しい繊細な気持ちを あらゆるところから吸収して取り入れ 適切な時に それを他へと注ぐのです それは芸術です この花も庭で育てられ 適切な時にここに運ばれました 花は適切な時に使われて 光栄に感じています 私達のハートも そうでないといけません 人間は大変繊細だからです 大変美しいものです 美しくさせるには 美しいことを言わないといけません この口は乱暴なことを 言うためにはありません 他の者にもその美しさが出てくるような 美しいことを言うためにあります すばらしい言葉は 私の心に残ります “このような言葉を 人に言える機会がいつ訪れるだろう” “これはすばらしい言葉だ 優しい言葉だった” “ではどこでこの言葉を使おう” と思います 店に行つて 何か良いものを見つけると “あの人が喜ぶだろう では買おう” と思います 同じように 素晴らしい気持ちや 素晴らしい感情に触れたら 素敵な言葉を言われたら あなたはどうしますか それを集めます 心に留め 適切な時に 適切な場所で使います これはシュリ ガネーシャの叢智です 純真な者は 最も誠実な者です 狡猾な者は 誠実にはなれません 彼らは狡猾さを 楽しんでるからです 素朴な者 愛深い者 何よりも愛を大切にする者が 素晴らしい言葉を 誠実に言うことができます 今日はオーストラリアでの この誕生日が どんなにすばしかったか お話したかったのですが 言葉がありません オーストラリアは 大変遠い所にあります たくさんの人がここに来て “アガタ スワガタ”を歌っていることは 信じられませんが お金をあげたわけでも 受け取ったわけでもありません そのようなことを 言ったこともありません 歌っているだけでなく 楽しんでます 素晴らしいことです あなた方は楽しんでます ハートが大きければ 他者のために何をするにせよ楽しめます 素晴らしいことをしたり 言ったりすることを楽しみます ですから 美しい言葉の精選された 花を持つべきです 互いに表現できる 精選された気持ちを持つべきです 今日から始めなさい 常にお互い美しい言葉を かけあわないといけません 耳を澄まし 目を開き 機会あるごとに すばらしい言葉を聞いたなら 心に留め 使うようにしなさい 大変 遠く離れた オーストラリアに こんなにたくさんのヨギがいると 思うだけで感激です サハジャ ヨギに対して誠実であることは あなたの責任です 誠実さでもって 全てをすれば 以前耳にしたような おかしな口論は起きないでしょう “私達はマザーを愛していて” “お互いを愛し 常に素敵なことを 互いに言うことで愛が増す” と考えるようにしなさい 悪く言うことは 人のハートを壊すようなことを 言うことは罪深いです 聖人のハートを壊すことはひどい罪で 罰せられるでしょう あなた方は皆聖人です お互い尊重しないといけません それだけでなく 自分の誠実さを楽しまないといけません それ故 誠実さを 楽しみなさいと言います 頭によぎる 愚かな考えをなくしなさい 口論を耳にすると これは何かと思いました 彼らはサハジャ ヨギなのか それとも普通の人なのか あれこれ起きたり 子どもたちについてもです インドに送りなさいと 言い続けています あなたは 自己中心的でした まともに育ちません インドに送りなさい ハートが開きます 全世界が あなたの家族だからです 世界のどこへ行こうと あなたを愛する人や 何でもしてくれる人に会えるでしょう あなたに会うのを心待ちにしている人が どこにでもいると分かります このミュージシャン達は シンガポールに行きます どこに泊まるでしょう 色々計画を立てます 突然 私はバンダンをしました すると電話がきました パラが言うには “私のお母さんが世話をします” いかなる問題も解決できます あなたが誠実だからです 不誠実であるなら 不誠実な人だけに会えば 概算通りに 人を評価したようになるでしょう サハジャ ヨギに 不誠実な人の居場所はありません 誠実さを育てなさい 何度もクンダリー二をあげなさい サハスラに留めなさい そしてハートが 開いているかみなさい “どうハートを開くか”尋ねるでしょう “鍵を取りなさい”としか言えません “心を開く”とは クンダリー二を上げ プランマ ランドウラに留め プランマ ランドウラが開いているか見ることです ハートが開いたら 人に優しくすることで どう感じるかを見なさい あまり話さない 人に会わない者がいます そのような者はなんらかの憑きものが 頭に取り憑いているようです そうでなければ サハジャ ヨギにとって不自然です 今日たくさんのことを お話しました 気遣い 愛情 叢智 忍耐が 備わるべきだからです 私があなたのグルなら お母さんなら これらの資質を備えるべきです 私は全てにおいて心配します 誰かに問題があれば心配します 問題を解決しようとして 問題が解決するまで 私は気にかけます そして子どもや妻 夫について “正した方が良い”と率直に話します あなたを気にかけているからです これがサハジャ ヨギに対する サハジャ ヨギに対する態度であるべきです これがあなたを大変強くします あなたが気にかけるので 他の者も気にかけるからです 多くが私のようなインド人を こんなにも気にかけています なぜ私を気にかけるでしょう あなた方はサハジャ ヨギですが そうでない人も大勢います 子どもの頃から 知っている人達や家族も 皆が気にかけます 私が気にかけているからです 心配するからです 私に問題を打ち明ける者がいれば 解決するまで頭から離れません 問題を解決できないかと 見ようとして 自分の問題は 全くありません あなたも自分の問題を 持つべきではありません そうすれば うまく対処できます いいですね 神の祝福がありますように 来年の誕生日は インドに来てくれることを望みます ツアーを考えています 恐らくうまくいくでしょう もっと安くで来ればと思います 多くのことを気にかけないといけません うまくいくでしょう

1990-1225, Christmas Puja

View [online](#).

Christmas Puja (English/Hindi). Ganipatipule (India), 25 December 1990.

今日私たちは キリストの誕生を祝う機会に 恵まれました 彼は馬小屋で生まれました これら全ては
あらかじめ計画されていました 大変困難な状況の中 馬小屋で生まれ 裕福な生まれであろうと 貧しい生まれであろうと
どんなに困難な状況でも あなたの内に神聖があれば それ自身で輝くということを示しました キリスト教は誤った
逸脱した道を行き キリストの意味を 決して理解しませんでした 無原罪懐胎は彼らにとって ありえないことです
ほとんどの者が 神話だと考えています しかしインドでは ガウリが 自らのヴァイブレーションから シュリ
ガネーシャを創りました そしてムラダーラの神格と なったと信じられています 受け入れています しかし西洋では
決して受け入れません メンタルな部分が発達しすぎていて それが支配しているからです 恐らくインド人のように
全てを超越する神がいると理解できるほど 成長していないのでしょう 神の概念も メンタルな捉え方です
キリスト教のあり方も 正しく導くものではありませんでした 行き詰れば “これは神秘だ”と言います しかし インド人にとって
理解するのは容易いです “神にとって何でも可能である 結局は神だから” “全能だから” スピリットにおける知識より
遥かに低いこのメンタルに留まる姿勢は 平凡で取るに足らない 表面的な知識にあなたを留め
神の偉大さを受け入れさせません 私には祖母がいました 父の叔母です 神に会いに行こうとする者の
すばらしい話をしてくれたものです もちろんインドでは 誰でも理解できます どうやって神に会いに行くのか
とは誰も言いません 会いに行く途中 道端で 神の賛美を歌う男性に会います “神に会いに行くのかい” と尋ねられ “そうです
何か伝言はありますか” “大丈夫だけど” “食べ物がなくなってきたので 何かいただければと伝えてくれるかい”
“それでいいのですね” “神に全てしてもらっているけど 一応伝えてね” 旅を続けると逆立ちや
ポーズをしている男性に会いました 彼は“全て試した” “神にいつお目見えできるか 姿を拝見したい” “伝えましょう”
神の下へ行き 仕事を終えると 神は尋ねました “何か伝えることはありますか” “特にありませんが 全てを試した男性に会い”
“お目見えしたいと 言っていました” “逆立ちし ポーズをし 教会やモスクで祈りも捧げています” いつ会いにきてくれるか
と言っていました 神は“もう少し続けるように と伝えなさい” “簡単ではありません” “サハジャ ヨガが来たら 会えるでしょう”
男はさらに続けました “もう一人会いました 彼は歌いながら楽しんでいました” “食べ物がなくなりそうです” “言っていました”
“そうなのですか” と神はすぐさま答え “早く行って世話してあげなさい” “すでに手配しました” “では大丈夫ですね”
彼は理解できませんでした 様々なことをしている男性には 待ちなさいと言い ただ神の歌を歌い 何もしていない男性には
なぜ感銘を受けているのか 神は彼が幻にいと 気づき 言いました “戻って二人に 次のことを伝えなさい” “神のところへ行くと
針の穴にラクダを 通しているのを見た と” “本当に言うべきですか” “そのように伝え 反応を見なさい” そして戻って
最初の男性に会い伝えました “神はサハジャ ヨガが来るまで 続けなさいと言っていました” “いつサハジャ ヨガは来るのか”
“でも神はいつか来るのだな サハジャ ヨガが来てほしい” 大変落ち込んでいました 彼は“神に会って何を 見たか”と尋ねました
“針の穴にラクダを 通していたのを見ました” “できるはずがない” “針の穴にラクダを通すなんて” “大きさをみれば分かることだ
通れないに決まってる” “作り話だ 神に会ったから 自慢しているだけだ” “この馬鹿げた話は信じられん 騙そうとしても無駄だ”
次の男性に会うと 道でおいしそうに食べていました “あなたが着く前に 神が手配してくれたよ”
“神は常に面倒を見てくれる そこで何を見たの?” “驚くべきことに全能なる神は 針の穴にラクダを通していましたよ”
“驚くこと? 彼は神だよ!” “君も彼は神だと知っているでしょ? 彼は何でもできるんだ” そこで彼は理解しました 神が全能だと
理解しているなら マハラシトウラにヒマラヤを動かせる という意味ではありません 全能というのは
最も精妙なことができるということで 人間の頭脳 メンタルな部分で 理解できないことができます 人間が考える
概念を超えるものです これが神なのです 神が人間を創造しました 人間を超越しているはずです
陶芸家が壺を創ったのであれば 壺を超えています 壺は陶芸家を 創ることはできません 壺は陶芸家によって 創られているので
壺より遥かに 力があるはずです しかし これは 信じられないことです 人間の概念を超えています この
すばらしいコンピューターを 創造した神の偉大さは理解できません 人は全て 当然のように捉えます 人はわずかな粘土も
創れません 何も創ることができません 石があれば どこかに置くことはできます 粘土があれば 家を建てることはできます
物から物は生み出せます 蠟燭を創れますか バダを燃やす蠟燭です 自分の目で見えるように バダは私の写真の前で 燃えます
あなたにできますか 複雑で繊細な機械が いかんに作用しているか 人は理解できません 繊細かつダイナミックで
爆発する機械です いかんに人間を創り 宇宙を創り これらの美しい 花や木を創ったことが 星をごらんください こんなにあります
その中から この母なる地球を選びました 人間を創りました いかんに創ったことが 自分の息子を送りこむなら
どんな方法でもできます これに対して 挑戦することすら 精神が泥の中に 浸かっています ですから いかんガウリから シュリ

ガネーシャが生まれたかは 真の聖人のみが 教えられます しかし それを信じるには・・・ まずサハジャ ヨギに来ると 奇跡を見始めます 奇跡が起こると理解できます 起こるべき奇跡があるなら いずれにせよ起こります 何もせずとも起こります それを疑いません 一度疑い始めると 泥の中に埋もれ 人間と同じになります あなたは開花した 蓮の花のようです 根は下にありますが あなたはもう蓮の花です 蓮の花にマハラクシュミの 原理が生まれます マハラクシュミの原理は シタジとして ラーダとして メアリ(聖母マリア)として 地上に来た者です マハラクシュミは海から 生まれたと言われています メアリの意味は何でしょう マリとは海です 彼女は海から生まれました 彼女自身で子どもを創れます 問題はありません 何でも可能です つまり 超えないといけません キリスト教徒は キリスト教を超えないといけません ガネーシャの原理の 化身であるキリストは 大変偉大であると 理解しないといけません ガネーシャがマハヴィシュヌになったことは 大きなことで 理解すべきことです ガネーシャはシヴァの息子です シュリ ガネーシャは 他の何よりもまず始めに 創られました 彼がオムカラだからです オムカラはアディ シャクティが シヴァから分離したことで始まります その音 “タンカル” と呼ばれています そこからオムカラが始まり 彼がオムカラを体現する者です ですからこの音が シュリ ガネーシャの力です それがまず始めに 創られました 神聖を創るためです この神聖が創られたとき 海に様々なものが 創られました そしてキリストとして化身しました マハヴィシュヌとしてです シヴァの息子としてではなく マハヴィシュヌとしてです ヴィシュヌとは誰でしょう シュリ ガネーシャの伯父です 彼の母の兄弟はシュリ ヴィシュヌです 彼はマハヴィシュヌによって 育てられました マハラクシュミは シュリ ガネーシャの原理を用います クンダリーニのチャートではシュリ ガネーシャ が左側イダ ナディと繋がっていて クンダリーニが その上をいくことが分かります つまり彼が その部分を超えます 彼が救世主として来るなら マハラクシュミの息子として 来ないといけませんでした マハラクシュミが彼を キリストとして産まないといけません そしてマハヴィシュヌになりました 神々や女神の家族においては 何でも可能です 彼らは神だからです いかにもその領域で これらのことが起こっているか 人間の理解を超えます あなたは 涼しい風として感じられます そして新しいことが あなたに起こっています 神や女神の関係において 不純なことは一切ありません 彼らにおいて 人間的なものは全くありません 彼らは 全てが神聖で純粋です 一度これを理解すると なぜシュリ ガネーシャが マハラクシュミの息子になって キリストとして生まれたか 分かります アギヤに来なければ ならなかったからです 救済としてです ガネーシャとしては 救済はしません 純粋のため 神聖のため 叡智のため そしてまたネガティビティを 破壊するために彼がいるからです しかし彼は 化身しなければいけませんでした 唯一 ガネーシャが この収縮されたチャクラ アギヤ チャクラに 来ることができず ではなぜ収縮されるのでしょうか 今日話しますが 科学的なことです 収縮されるべきもので さらに収縮されます このアギヤ チャクラは 考えれば考えるほど より左や右に傾き このようになります ですから この大変精妙な領域に 化身できるのはキリストだけです なぜなら彼は精妙の中で 最も精妙な者だからです 原子より精妙です シンメトリックや反シンメトリックな 動きをするヴァイブレーションは 原子よりさらに精妙です そしてこれはより精妙です ですから この収縮した領域において唯一 純真以外何者でもない キリストのような人格が来れます 彼には純真以外の 要素はありません 他の化身には 全ての5つの要素がありますが 彼は純粋なヴァイブレーション 以外の何者でもありません それ故 彼は水面を 歩くことができました 彼の身体には 物質が存在しなかったからです チャイタンニヤ以外の 要素はありません オムカラがガネーシャになります 彼女の身体から出てきた チャイタンニヤだけです ガネーシャの段階において チャイタンニヤはその形に留まりましたが キリストの段階では ありませんでした 後に彼の死や復活といった ドラマが起こりました 彼が私たちの救済に 責任ある者だからです 彼は門だからです 彼は道です ガネーシャだからです オムカラが道です そして彼は門です しかし 彼が最終目的ではありません 彼のお母さんが最終目的です マハラクシュミでもありません マハカリ マハサラスワティでもなく あなたが到達すべき 最終目的はアディ シャクティです これらは聖書に 決して語られていません 彼がほとんど4年しか 公の場に出ていないからです 当時の者は そのことを触れたくありませんでした 知らなかったし 神聖なもの すべてにおいて抑圧があったからです 社会は営利化した制度でした インドにも営利化した 制度がみられます しかしインドにおける唯一の利点は 宗教が組織化していないことです しかし彼らはキリストや 彼の原理を組織化しました 今は彼を 良い人間だと思っています なんていうことでしょう 今日私たちは オムカラの誕生を祝います 大変大きなことです あなたに理解できるでしょうか 全てに動き・・・ 原子や分子 組織化する化学 周期律や引力 動く全てがこのオムカラです そしてあなたのヴァイブレーションは オムカラ以外の何ものでもありません 実際私の写真において ヴァイブレーションはオムカラとしてきます 人間の頭上には オムカラが描かれています これらの光がオムカラのように 見えるのはなぜでしょうか なぜサハジャ ヨギの頭上に オムカラがあるのでしょうか アラビア語でアラーです 私の名前も アラビア語ではそうです これは誰がしているのでしょうか 全て彼がしています オムカラ自身が形を採り アディ シャクティについて あなたに納得させます 彼がこれらの力を操ります 彼は写真には入りません トリックをします 写真は 光を通して写されます 光が直線に射すからです しかし彼が望めば 光の道を曲げることができます 他のものに変えることができます 好きにできます そしてあなたを納得させます 彼が言うには

“私に対して何であれ我慢できますが” “聖霊に対してはできません” そしてこの聖霊とは アディ シャクティです
あなたは彼なしに サハスララに到達できません 全ての戯れにおいて 彼はストウラダーラです 彼は指揮者です
操り人形の紐を動かす者です プージャをする度に シュリ ガネーシャに祈ることは大切です そのようにして私たちは 主イエス
キリストにも祈っています 私たちは彼の吉兆さ 助けなしに サハジャ ヨガをすることはできません 彼は管理人です
私はここに座っています そして彼が管理人です 管理人なしに 私は何をどう話すでしょう 何も起こりません 彼は大変有能です
全てを作用させ 全てを為します

1991-0216, Mahashivaratri Puja, Four Nadis of the Heart

[View online.](#)

Mahashivaratri Puja. Chianciano Terme (Italy), 16 February 1991.

今日私たちは サダシヴァを崇拝するために 集まりました 私たちの内にシヴァとして スピリットとして反映しています 彼は私たちのハートに 反映しています 私たちの人生の目標は スピリットの状態に到達することです 先日何冊か本を読みました スピリットを知るための リアリゼーションを どのように求めたか いかに人々が 苦しんだかについてです まず彼らは 自らを拒絶したり 無視したり 身体を痛めつけるよう求められました 身体が快適さを求めれば まずベッドではなく 絨毯の上に寝るように言われました それでもだめなら ゴザの上に寝て それでもだめなら 大地に寝るようにし それでも身体が嫌がれば 石の上に寝るようにしました それでも ヒマラヤはほど遠く シヴァは カイラス山にいるからですのでヒマラヤに行き 氷の上に寝ました これは最低限 求められました もし良い食べ物を 好むなら 贅沢な食べ物を好み 沢山食べたいのなら まず好きな食べ物を 全て拒むように言われます 例えばイタリア人なら パスタを食べられません それを断念します しかしそれでも 十分ではありません その後 大変苦い物を食べます 禅のように108倍もの 苦さの物を食べます 完全に苦い物 あるいは完全に甘い物です 舌を試します それでもまだ 食欲があります 過食するなら 一日断食します 十分でないなら 7日間断食します 次に40日間断食します 一か月は30日なので 40日断食したらもう死んでいます そのようにして ニルヴァナの苦行をしました 死んでいるなら いずれにせよニルヴァナを得ます 何も残りません 骨だけです その骨がニルヴァナになっても 結局は死に至り 終わりになります 疑いなくニルヴァナです 次に家には住みません 快適だからです 妻や子供 全員を断念し 布だけをまとい 物乞いをします その布でさえ執着するので 問題となります そこで誰もいない ヒマラヤに行き 服を脱ぎ 寒さの中 震えながら耐えます そしてニルヴァナを得ます 身体の欲求をなくすため まずこのような 条件が課せられました “ニルヴァナを得るためなら 何もいらない” と言い聞かせました 第二に快楽さ 喜びを求めようとさせる頭を なくすことでした 例えば何かとても 欲しているものがあるとします それを拒みます 頭が言うものに “いらない いらない” と言います サンスクリット語で シュロカがあります “これもいらない これもいらない” と言い続けます そして初めて ニルヴァナのことを口にできます その前はニルヴァナのことを 話すことすらできません この本を読んだとき “これはやりすぎだ” と言いました サハジャ ヨガでは 全くその逆です まず建物の小尖塔を建て 次に土台を建てます はじめに得るものは サハスララの開花です そしてそのサハスララの光で 自分自身を見なければいけません ヴァイブレーションを通して 内省することの方が良いのです そして見ることです なぜ私はこれを望み アテンションが 快適さに行くのか なぜ食べ物や自分の家族 子供に行くのか 至高の状態に 到達しなければいけないのに そこで内省し始めます すると自分のヴァイブレーションで 何かがおかしいとわかります 他の者の何がおかしいのか 見ません 自分自身を見ようとして 得なければいけないのは あなた自身の上昇だからです しかし昔はこのようなことが 個人レベルで行われました ニルヴァナを得ようとする者は 人里離れたところに行き 人を遠ざけ 関わらないようにして 上昇を リアリゼーションを 得ようとして 自分のためだけにです 他の人のためではありません その者は完全に隠者となり 誰とも話さず 会わず 人里離れた山の頂で 瞑想しました 近づく者には石を投げ ひどいことを言って 決して 会おうとしませんでした サハジャ ヨガは違います サハジャ ヨガは 全体の上昇です このような個人の達成は 何にもなりません 聖人はもちろん 人々と話し リアリゼーションについて 神について 徳や価値観について 教えようとしていましたが 人は彼らを変人と見なし 苦しめ困らせました なので個人レベルの 上昇の段階では それについて話したり 教えたりする以外には サハジャ ヨガが始まるまで 手立てはありませんでした 話すことすら 禁止されていました インドでは12世紀まで 公の場では 誰も話しませんでした すべてサンスクリット語でした 数人の熱望者だけが理解できる 難しいサンスクリット語の本でした 極少数の者に 説明されました それでもリアリゼーションを 与えることは拒否されました なので一人の師に 弟子が一人つきました すべて個人的な上昇 個人的なワークアウトでした 弟子は他の者から遠ざけられ 内密に働きかけました その者は歌ったり 詩を書いたり 至福について 話したかもしれませんが 他者にリアリゼーションを与える 権利はありませんでしたし 与え方も知りませんでした あなた方がどれほど 上昇したかわかりでしょう 断念することもなく リアリゼーションを得ました より広く 働きかけられます リアリゼーションを与えます サハジャ ヨガについての 精妙な知識を知っています 今日は私たちが知るべき 大切なことをお話します 知ることは とても大切です 教会に行くかのように サハジャ ヨガをする人がいるからです ハートからしていません ハートは スピリットの住まいです 私たちの内にある シヴァです なのでハートについて 知らないといけません とても大切なことです ご存じのように 三つのナディがあります イダ ピンガラ スシュムナですが ハートには 四つのナディがあります 一つ目のナディは

ムラダーラに行きます ムラダーラの一線を越えると 地獄に落ちます それゆえシヴァは 破壊者であると言われています
実際自ら 破壊を招きます 自ら招き そうなります すべて滅ぼしたとしてもです 実がなるとき花びらは
朽ちていくように見えます あなたの コンディショニングやエゴ 人種主義 熱狂主義が 破壊されるようにです これらすべて
サハジャ ヨガで破壊されます 美しさが現れてくるために 破壊されなければいけないものです ある境界線を越えると
自らの破壊に至ります 四つのナディがあるので 四つの方向で破壊があります ではどうすべきでしょう
最初のナディが地獄へといくの この破壊をどう食い止めるのでしょうか シヴァの資質の一つは 純真です 彼は非常に純真です
子供のようにです 彼は純真を体現しています なので 私たちの世俗的な欲求を 純真に 純真の大海に 溶け込ませないといけません
純真の大海に 溶け込ませます 純真は その良さをわかり 理解し 楽しめないといけません 動物を見ると純真です
子供たちを見ても 花を見ても 純真です あなたのアテンションを これらに向けなさい 道を歩くとき 高さ100センチ以下に
目をやるのが最良です 100センチ以下には 花や 美しい芝や 子供たちがいます そちらに 目を向けると良いです
それ以上の高さのものに 目をやる必要はありません 100センチ高さのものを 見なさい 人の脚を見ても 構いません
純真でない人の目は 見ないことです ですからこの欲求を 純真さに溶け込ませなさい 純真であるこのムラダーラは
朽ちることなく 純真で高潔です シュリ ガネーシャの資質です 純粋です この世俗にしようとも
人間のように暮らしていたとしても 子供がいたとしても あなたは純真であり続けます 一度シュリ クリシュナの 妻たちが
彼には1万6千人の 妻がいました それにもう5人です 1万6千人は彼の力でした そして5人は要素です
彼女たちは大変有名な聖人に 祈願しようと思いました 彼に会って 敬意を払おうとしました そこでシュリ クリシュナの
許しを請いましたが 川が氾濫し 渡ることが困難だと知り 渡れませんでした 彼女たちは戻り
“どのように渡ればいいのか” と言いました クリシュナは “そこに行き こう言いなさい” “シュリ クリシュナが
ヨゲシワラであるなら” “性的に完全に純真なら 水も沈まりなさい” “そんなことはできるのだろうか 私たちは数多くの妻です”
彼女たちは川に行き その通り言いました すると水が 引き始めました 彼女たちは夫の言ったことに 大変驚きました
そして川を渡り そのリシを崇拝し また戻ろうとしました するとまた川が氾濫していました そこでリシのもとに戻り
どうすれば良いか尋ねました 彼に“どのように渡ったか”尋ねられ シュリ クリシュナの話をしました
彼女たちはリシに沢山の食べ物や 果物をもてなしていました “では川に行き リシが 全く何も食べていないと言いなさい”
彼女たちは驚きました 彼女たちが戻って川にそう伝えようと 川の水が引きました ですからこの世俗に生きていても 妻であり
夫であったとしても 結婚していても あなたは純真でいられます 完全に純真でいられます それが純粋の象徴です
あなたを破滅へと導く 二番目のナディは欲望です それゆえお釈迦様は 欲望を持たないことが 老いない 病気にならない
心配にならない 唯一の道であると言ったのです 私たちが持つ “欲しい”という欲求は どこよりも 西洋に強くあります
企業家が日々新たな物を 生産しているからです 例えば髪に関しても 女性は様々なウィッグを欲しがります “これが欲しかった
このウィッグをつけたい” 他の女性は “私はこれがいい”と言います 男性の欲しがるものといえば
“彼がロールスロイスを持つなら 私も持たなければ” 他者のロールスロイスを 楽しむことができません
自分の物でなければいけません 所有していなければいけません 欲求は物質的なものでなくても 何にでも持てます
メンタルなものでも あり得ます “この女性は この子は 自分のものだ” 様々な所有欲として できます それが執着のためだとは
言えません 執着ではなく ただもっと 自分のものにしたいのです どんどん自分のものにしても 幸せや満足感は感じません
このような欲求の理由は それが純粋な望みではないからです 不純な望みです そのような望みが働く
と極端に走ることもあります サダム フセインや ヒットラーのようにです 限度を超えた 完全な欲求に他なりません
他者を支配したいのです これもまた 別の欲求です このような欲求は 最終的に破壊へと導きます 歓びや 幸せがないからです
例えば サリーが欲しいとします するとサリーを 買いたいと思います アテンションがいかにサリーを
手にするかすべて注がれます アテンションがつまらないものの ために汚され乱されます スピリットを楽しみ
養うアテンションが 欲求のために乱されます 第一に純真でないので アテンションが乱されます 第二に欲求があるので
アテンションが混乱します では欲求に対して 私たちはどうしたらいいでしょう 欲求は物質的欲求から 審美的な欲求へと
美しいものへと移すことができます 真に審美的に 豊かなものを持つようにします それがシヴァの資質だからです
彼がすべてに審美を与えています 例えばこれが簡素に見えとします 機械的だともいえるかもしれません
もしシヴァの仕事なら 彼はそれを美しいものにするでしょう ですからシヴァの資質は プランマデーヴァによって 創造され
ヴィシュヌによって進化したもの すべてを美化することです 審美的なものを創造する 精妙な仕事をするのが彼です
光が沢山写っている私の写真を 見たことがあるでしょう 彼の仕事です 彼がしています 彼が光を放ち あなたに私のことを
納得させるために写し出しています なので彼の仕事は 審美的なものを創り出すことです 振る舞いの美しさ 詩の美しさをです
創造する全てが 美しく創られます 歓びを与えるものにします それが彼の資質です ですからあなたが 望むものが何であれ
それをワークアウトさせ 手作りの審美的なものを望めば 次第にヴァイブレーションに 行きつくとわかるでしょう
美しいもの全てに ヴァイブレーションがあるからです ヴァイブレーションに至るには 純粋な望みでないといけません
なので狂気に満ちた あなたを狂ったようにさせる つまらない退屈な欲求が 純粋な望みになります あなたの欲求すべてを

ヴァイブレーションに 溶け込ませないといけないからです しばらくするとあなたは
ヴァイブレーション以外は求めなくなります ヴァイブレーションのない物を 買いません ヴァイブレーションがない者とは
話しません 相手にヴァイブレーションが全く なければ逃げ出すでしょう 猿に追いかけられているかのように
人から逃げる者もいます よく見ると 酔っ払いであつたりします 以前は自分が 酔っ払いだったかもしれません “今はもう沢山だ
とんでもない” 以前ヒッピーだった者達と 一緒にいたことがありました 今はあなた方同様普通で サハジャ ヨギです
その時4、5人のヒッピーが プログラムにきました ラフリだったと思います 彼らが恐怖を感じていたので
私は“どうしたのですか” そこでやってきたヒッピーたちを 見ようと振り返りましたが その時には彼らは 出て行っていました
ですからすべての欲求が ヴァイブレーションに終わります そうでなければ 何か欠けていると知るべきです そうならなければ
あなたは終いに破滅します 彼が破壊者であると言うのは 一方的な捉え方です 彼には 両方の力があります
あなたにヴァイブレーションを 与える力があります 彼が与えます 女神がその力 シャクティですが
彼がヴァイブレーションを創ります 例えば これは指ですが あなたをくすぐれば それはシヴァです 指は女神のです くすぐれば
歓びや幸せを与えます それはシヴァです バクティです バクティの歓びは シヴァから来ます 今日お話ししましたが ある女性が
デヴィの献身者で バクティについて沢山学んでいました 沢山のことを知っていて 私に溶け込んでいました
彼女が何をしてきたか 知りませんが 通常人が デヴィについて読めば “これはデヴィについてで
これはマタジについて”と分けます 人はデヴィについて 読んでいるとは知りません 彼女は “マザー 私には分かります”
“貴方がいかに 優しいか綴っています” “女神がいかに私に触れ 私の面倒をみているか” “いかに注意が 私に注がれているか”
“カタクシャ カタクシャ ニルクシャナ” という文があります “すべての一瞥が視察です” 視察は適切な言葉 ではありません
ニルクシャナは 神聖な視察という意味です “いつも貴方であると感じます 常に貴方です” “音楽を聴けば感じます
私を見ています” “私を感じています 養っています” “いつも貴方の愛を感じます” このようにバクティがでできます
あなたにあるヴァイブレーションは 無味乾燥ではありません それはバクティの歓びです バクティを崇拝や
他の言葉に変えたとしても 神である愛の大海です あなたはそれに浸るだけです それは言葉で表現できません
あなたが感じるのは それなのです スピリットであなたと あなたのお母さん あるいはお父さんとの つながりを持てたのです
違いはありません あなたはその大海と一つです 大海に浸っています あなたは滴であり 大海です そのバクティと 一つなのです
そのバクティは 機械的ではありません 人間の作るものでは ないからです なので サハジャ ヨギを楽しむとき
それは無味乾燥な ヴァイブレーションではなく バクティだと知るべきです それが シヴァの資質の歓びです
彼が私たちの人生に 与える歓びの資質です すべてが取り囲まれているように 反響しているように見えます 歓びも同じです
“私は神に愛されている” “神が私を愛していて 私の人生に意義がある”と感じるなら まずエゴがなくなります
そしてコンディショニングも なくなります 三番目のナディは 私たちが執着を感じる 人に執着を感じるナディです
例えばこれは私の子供です 夫です 家族です 妻 父 母です サハジャ ヨギを始めると皆 初心者なので 自分の家族全員のことを
話します “私の父がこうです 母は病気で 母の妹の兄が具合悪いです” まるで契約を 結んだかのようです
今日ある人に聞きました ある夫婦が最初の子供を 亡くしたそうです 別の部屋に 寝かせたからです
“小さい子は母親と寝るべきです 面倒を見るべきです”と言いました インドにはそのような 母親はいません
それができなければ 夫を追い出すでしょう “一緒に寝るべきだと伝えなさい” と言いましたが 彼らは信じません
どうしようもありません その子の面倒を見るという 契約はありませんが 私たちの言うことさえ 耳に傾けません 始めの頃に
良くある考えですが “マザー サハジャ ヨギを 一か月していますが” “私の経済的な問題が 改善しません” まるで私をそのために
訴えるかのようです 私ががっかりさせた かのようです 自分たちはサハジャ ヨギを始めた ばかりだと理解していません
あるいは何年もしていても サハジャ ヨギではないのです 何か欠けています それに値しません サハジャ ヨギでなく
あなたに問題があります しかし人は何か契約を 交わしたかのように感じます すぐさま知らせてきます “この人
あの人が病気で サハジャ ヨギを5人送ってください” 何のためでしょう これらの執着が 私たちの内で働きます
ある者は自分の子供に 大変執着します そして甘やかし続けます “私の子 私の子” すると突如 子供が悪魔のようにな
っていると気付きます 口答えしたり ひどいことを言ったり 暴力を振ったり 不作法に振る舞います 愛情を注いだのに
ひどくなったとわかります さらにひどく感じます “私はこんなに妻に 夫に尽くしたのに このような仕打ちをされている”
なぜそんなに尽くすのですか 必要はありません そうするなら ただ尽くし あとは忘れなさい 私はそのように
感じたことはありません 一生懸命働きかけた ヨギが墮落しました 私が気に掛けるなら “今後どうやってゆくのか”
それが唯一の関心です 私に何が起こるかではありません 何も私には起こらないからです 彼らが罪深いのであれば
彼らの将来を案じます ですから違います このような執着をサンスクリット語で ママツトゥといいます “これは私のです
これは私の子 私の 私の” あなたの親族がサハジャ ヨギです 覚えておいてください 次のことを 覚えておいてください
“私の親族は サハジャ ヨギだけです” “妻や子供であろうと誰も” “サハジャ ヨギを 困らせたりさせない” “そうならば私とは
関係ない者である” サハジャ ヨギに害を及ぼさない限り 関係は大丈夫です サハジャ ヨギを傷つけるなら 関係はないからです
そのような者を沢山見てきました すばらしいヨギで 自分の妻や子の 肩を持ちません もしそうするなら彼らを罪深く

だめにしてしまうからです 自分の上昇を気かけます 家族に他のヨギを 困らせることはさせません 刃向かう 問題を起こす 暴力的な子供をみてきました 親は“マザー 正してください 貴方にお任せします” 他の者なら“私の子はそんなことをする子じゃない”と言うでしょう なので分別を 理解しないといけません “なぜ私は執着をするのか” この直喩を 何回も与えました まるで 樹液が上がっていき 木の様々なところに行き 幹 枝 葉 花 実を滋養し 戻るか 蒸発するかと同じです どこにも執着しません 一か所に偏れば 木は死んでしまいます そしてその樹液が行ったところも また死んでしまいます しかし樹液の方が 私たちより分別があります 彼女たちにとって 夫が第一です 夫や妻に関して 数多く問題があります なのでグルは“サニヤーシに なりなさい”と言いました “そうすれば妻子について 話さないでしょう” “まずサニヤーシになりなさい” グルの頭痛の種も なくなります 家族の話をするなりグルは “出ていきなさい”と言ったものです しかしサハジャ ヨギには より深い仕事があります 社会面 政治面 経済面に 入り込まなければいけません 全世界の解放です あなたの 責任を理解しなさい 個人の禁欲的な上昇のために いるわけではありません あなたは全世界を解放するために 選ばれたと理解するのに どれほどの叡智 愛 分別 が必要でしょう 破壊へと 至らせないための方法は いわゆる限られた愛ではなく 無限の愛です シヴァは愛に他ならないからです 彼は愛です あなたを正し 滋養し あなたの善を望む愛です それがシヴァです あなたの善を望みます あなたの善の面倒をみます 他の者の善のために 愛でもって尽くすなら 人生が変わります 生活が変わります それを楽しみます なぜなら 多くの者や多くの家族 他の者の問題に 関心を持って その者達と一つであると 感じるからです 今日沢山の サハジャ ヨギがここにいます 初めて イタリアに行った時 グレゴアールの奥さん キャサリンと行きました 彼女が唯一 イタリア語を話せました ホールを予約し 広告を載せるよう 新聞社に頼みましたがだめでした 結果誰も来ませんでした そこで彼女とチラシを張るのに 回りましたが誰も来ませんでした 今日沢山の人がいます 私達はお互い愛で つながっていると知るべきです その愛は私たちの善のため 私たちの上昇のためです するとみんなを楽しめます 人種や国やその人については 気にしません サハジャ ヨギであるだけです あなたは普遍的な 人格になります この姿勢で なければいけません インド人の若い女性が 苦しめられていると聞いて なぜそのようなことができるでしょう 肌が黒いからといって インド人が下層階級だからといって 不当な扱いをするなど ありえません 全員が全体の 一部分だからです みんな同じ母から生まれた 兄弟姉妹です しかしこれは 偉大な 無限の愛の大海に あなたの限定された関係を 溶け込ませたときに可能です それができないなら 正当化しないことです ただ自分自身を目撃します 自分が皆を真に 愛しているか見なさい 私は常に 買い物に行くと “これはあの人に 良いかもしれない”と考えます 自分自身のために 何か買うのは不可能です 早急に必要でない限り ないと困るのでなければですが 喉が渴いていても 飲み物ですら買いません すべてが他者のための 歓びだからです “これはあの人に良いだろう この人に似あうだろう” これらすべては 最も歓びに満ちたことです 他にはありません 自分のことを考えると “なぜ私はここにいるのでしょうか” “私は皆を楽しむために ここにいます” “皆リアライズ ソウルです” “美しい蓮の花です” “私は泥とは無関係です” “私はもはや蓮の花です” このようにして ハートを開きます あなたのハートの蓮をです そのような者の香りは 大変すばらしいです あなたは分裂的になりません お互いばらばらになりたいと 思いません どこでも構いません 快く同意するでしょう ここでなければ あそこでなければとは思いません 皆一緒であればです あなたにある 小さな執着を シヴァであるこの愛の大海に 溶け込ませないといけません 四番目は 私たち皆にとって大切です レフト ヴィシュディを通して ハートへとつながるナディです ハートから始まり 上にあがって アギヤを通ります 4つの花卉があり 開きます トゥーリヤと呼ばれる状態を あなたに与えます 私たちは3つの状態において 生きています 起きている状態 ジャグルティにおいて 私たちのアテンションは散漫します アテンションを汚します 二つ目の状態は いわゆる寝ている状態です 眠っていると 過去に起こったことが 甦ってきます そしてスシュプティと呼ばれる 深い眠りがあります 深い眠りの状態です 現実の夢を見ます 私のことを 夢で見るかもしれません 潜在意識の エーテルの部分のようです そこですばらしい情報が 得られます 例えばイタリアに 私が行くとします イタリア人はスシュプティで 私が来たと分かるでしょう 人によります 四番目の状態はトゥーリヤで もう二つ状態があります あなたは トゥーリヤの状態にいます “トゥーリヤ”は 四番目の意味です 思考を超えた意識状態が 四番目の状態です 思考がないとき あなたは純真です 思考がないとき ヴァイブレーションがあります 思考がないとき 誰にも執着しません “トゥーリヤ ステイティ”です この状態にあなたがいると あなたの内にある これらの四つの花卉が脳で開きます あなたのハートから 脳にいぎます そこであなたは 神が何であるか 完全に理解します 完全に神を理解します その時 真の知識を人は得ます しかし四つの花卉が開かない限り また戻ります それゆえ サハジャ ヨギの中には 手を付けるべきでないものに 手を出す者がいます 彼らは神が何であるか 理解していません それもある一つの点を理解するような 理解ではありません それはハートから 脳へといくものです 脳からハートではありません それはまるで 蜜のようなバクティが 脳を覆うようです 完全にです 例えば シャンカラチャリヤが 素晴らしい論文 “ヴィベカ チュダマニ”を書きました 神は何かを記しました “ヴィベカ”とは意識のことです それについて語っています しかしシャーマというひどい人が 彼に抗議しました 彼をうんざりさせました そこで彼は “サンダリヤ ラハリ”を書きました お母さんを称賛する マントラでした “私はお母さんを知っている 称賛させてほしい”

“討論は必要ない 愚か者には理解できまい” 彼は悟りました “彼らは私が知ることを理解する 能力も感受性も持っていない” 真の知識は神が何であるか 分かることです それが神であるなら なぜあなたは疑ったり 分析したりすることがありますか 神です すべてを知っていて 成していて 楽しんでいる全能なる神です それこそギャーナというべき 真の知識です 純粋な知識です チャクラの知識 ヴァイブレーションの知識 クンダリーニの知識でもありません 全能なる神の知識です そして全能なる神の知識は メンタルではありません もう一度言います ハートから始まり 脳に行きます 歓びの経験から来るものが 脳を覆います すると脳はもはや それを否定できません あなたはお母さんの愛を 知っています でも説明できません あなたのハートから来ます “お母さんはそのようなことはしない 良く知っている” お母さんについての知識は・・・ 生みのお母さんはいいお母さんとは いえないかもしれませんが 愛であり 真実であり すべてを知る神についての知識は あなたの一部分になります その時ニルヴァナであると 言えます 特に西洋の人にとって ハートを開くことはとても大切です ハートから始まり 脳からではないからです 人をヴァイブレーションで 判断してはいけません 自分自身を常に判断しなさい シヴァ プージャはより多くの説明と 理解を意味します 他のプージャでは 様々なマントラなどがあるからです しかしこのプージャでは 知識を知ることです それは神です 神を知るということは すばらしいことです 彼女がマハマヤであれ何であれ “私は彼女を知っている”ということです 一冊の本でも100冊の本でも 説明できません 言葉では説明できません 神を分かることです つまりそれが神です 全能なる神です そしてそれがあなたに 素晴らしいサレンダーを与えます そこは愛の大海において 完全な安心感をあなたに感じさせます その状態を皆が 得られることを願います 神の祝福がありますように

1991-0328, Shri Mahavira Puja, Dead Spirits

[View online.](#)

Mahavira Puja. Perth (Australia), 28 March 1991.

今日はマハヴィラの 誕生日を祝います マハヴィラは バイラヴァナスの化身です 同時に聖ミカエルでもあります
ご存知のように ガブリエルであるハヌマナと ミカエルの両者がいます 一人はピンガラナディに もう一人の聖ミカエルは
イダナディにいます さあ マハヴィラは 多くの困難を経て 探求しました もちろん彼は 天使でしたが 人として生まれ
自らの探求により レフト サイドについて 学ぶ必要がありました レフト サイドはとても複雑です ライト サイドより
ずっと複雑です レフト サイドにはさらに 7つのナディがあり それらは順々に並んでいます 本にも書かれていて
一つずつ名前が付いています この7つの レフト サイドのナディは ご存知のように 過去に与します 例えばこの一瞬一瞬が
過去になっていきます 現在は過去になり この人生の過去があり 過去生もあります 過去全てが 私たちの内面にあります
天地創造以来の全てです 全ての心身症は ご存知のように 紛れもなく レフトサイドからの 存在の現れです 例えば誰かが
肝臓に問題があると 急に左から攻撃されます 特にムラダーラです もしくはレフト ナビなど レフト サイドのどこでもです
ムラダーラだけが レフトサイドに イダナディと直結していて ライト サイドの ピンガラナディは スワディスタンに
つながっています なのでムラダーラの問題は 人間を超えたもので 攻撃されると レフト サイドのどこであれ 心身症として
体に現れてきます 何度も言いましたが このように左右のセンターは 重なっています ライト サイドを酷使すると
ある時点で急に レフト サイドが賦活され あらゆる病気 例えば糖尿病など 心身症になります とても働き者で考えすぎて
とてもライトサイドだと 急に何かが起こるのです それは遺伝かもしれませんが 過去からの影響で 心身症になるからです
これら心身症は レフト サイドの問題について 熟知していないと治せません なのでマハヴィラはレフト サイドの
深くに沈潜したのです レフトが難しいのは レフトに行くと 動きが直線的になり 下降し始めるからです それに対して
ライトは上昇します このように下降し ぐるぐる巻かれ 渦巻きになります そうやって回り続け 渦の中で我を失うのです
でももう一つは上昇するし 渦もそれほどありません それに上昇するから逃れやすいのです だから レフトに行きやすい人は
過去を考えすぎたり 自己憐憫や不満で泣いていて ライトサイドの人より難しいです ライトの人は他人を害しますが
レフトの人は自分を害します そんなレフトを マハヴィラは しっかり理解したのです もちろん全てを 知っていたと思います
ただ特にレフトについて詳細に 何が起こるかななどを 実践的に語り 地獄の概念をもたらしました 7つの地獄についても
語りましたが 酷い話なので 私は教えたくありません 地獄がどうで いかに残酷で 歓びがなく 全くもって ゾツとする場所で
自分を恨み 自分がどれほど罪を 犯したのかを悟ります パパスです その因果で 罰が下ります 全てマハヴィラがします
彼はどんな罰かを 細かく語りました レフトに行こうとする 人に対してです ライト サイドの人にも 罰がありますが
それほどでもありません なぜなら彼は 両サイドの中でも 主にレフトに関わるからです 多くの人に言いましたが
魂は存在していて コーザル体で出来ていて それは5大要素なのです 例えば地は香りです なので 因果の5大要素で魂も
センターも出来ていて さらに それらが 副交感神経を統括します 脊髄の外側が 副交感神経を 賦活するので
なので全てのセンターと 関係しています これが死後の魂で クンダリー二とスピリットを伴い 空に上がり その魂の導きにより
我々は導かれて 生まれ変わりが起こります だからこれまでに行ったことは全て その魂に記録されています マザー
何か丸い玉が あったのを見ました そう訊かれたりしますが 何でしょう それは死霊です やつと彼らも言われたことを
理解しました 人は亡くなると 魂が出てきます 今も見えます 丸いもので 沢山の時や 線状だったりします
私が指示して顕微鏡で 見たこともあります 細胞に魂は反映します 魂が各細胞を反映します 細胞の一部に 反映する部分があり
それは細胞の片側で 魂も反映します 背後の主な魂は それぞれの 細胞に映された魂を コントロールします その反映の中に
7つのループがあり 7つのループが 8つのチャクラに乗っています 7つのチャクラとムラダーラです それで分かったのは
人が亡くなると いくつかの魂は 何日かして 生まれ変わりますが これらは全く平凡な人々で マハヴィラは
これらの人々を分類しました 彼らは死んだ後 この種の人々は ちょっとの間だけ 集合的な潜在意識にいて 生まれ変わります
とても凡庸な人々で 目的もなく 役に立たない人々です 一方 死後に空にとどまり しばらくの間 自分の叶わなかった望みを
叶えてくれそうな人を 探す者もいます 例えば 酔っ払いがいたとすると 彼が生きていて飲もうとする人にとり憑きます すると
そうやって 飲む習慣ができると その魂が その人へ乗り移って すると 本当の酔っ払いにしていきます 背の低い小さな女性が
キューバ人でしたが 私がアメリカを訪れた際 自分が嫌いだと言いました 旦那は彼女が ウイスキーをボトル一本
飲み干すというのです 彼女を見ると小さくて どうしたらそんなことできるの バンダンしてみたら 大きな黒人が見えました
彼女の背後に立っていました 黒人で知り合いは? 彼女はたちまち飛び上がって マザー 見えましたか? あの人 あの人なんです
私じゃない もちろん 私は彼女を治しました その後彼女は飲酒を完全に 辞めました だから何であれ 悪い習慣を持つと
自分をコントロール できなくなります すると霊が居座り あなたをコントロールします すると

抜け出す道が分からなくなります だから習慣から逃れるのは 大変なのです サハジャ ヨガでは クンダリニが上るとこれらの死霊が あなたから離れ あなたは習慣から脱します そのように働きます マハヴィラはこれを 教えませんでした 発見することもあります 彼は科学者ではなかったんだと思いますが 分かりません 彼はその代わり 地獄について語り こういったことをすると 今生において 地獄に堕ちること さらにその詳細を 忌憚なく語ったのです それは恐ろしいもので自分のことばかりの人間が 最後にどんな地獄を味わうか そこから永遠に 抜けられない者もいます でも化身が生まれると地獄で生きる運命の 悪魔たちが 生まれてきます 生まれると 害を及ぼしますが グルとして生まれるのです 現代でもそれが起こっています 彼らが生まれ人を迷わせるのが よく分かります レフト スワディスタナやレフトサイドを用いて 私たちを抑え込みます 人が憑依されると ヴァイブレーションを感じれなく あらゆる症状が出るのを見たはずですが サハジャ ヨガでは マハヴィラの名前を唱えます マハヴィラがイダナディを渡り いわゆるスーパーエゴに留まるからです そして調整し 働き 浄化するなど 必要な全てを行って サハジャ ヨガに来た人を 正しますなので彼に感謝すべきです この汚い仕事を してくれることに 彼らは全く気にせず 浴室や そこら中で瞑想するのですなんでもする人達で 汚れています タントリカになると何でもします それによって人と神の間に 問題を起こします例えば女神の寺院に行き そこで女性と逸脱します すると女神が消えます 一度女神が居なくなるとレフトのブーツを呼び込みます それで今多くの魂が あちこちにいて 帰ってきて 人の意識に入り 取り憑こうとしていますその上レフト サイドの マスターがいて これらの魂を操り 誰かに取り憑かせたり 人から人へ移したりしますこれは終わりのないプロセスで 人は完全に狂ってしまいます 今私たちはそれを知っていても まだレフト サイドに捕われます サハジャ ヨギも捕らわれます なのでこの マハヴィラの誕生日が 極めて大切な日なのです なぜマハヴィラと呼ばれるのでしょうか ヴィラとは勇敢の意味で 彼のような騎士のような人だけが 自身の存在に分け入り これら恐ろしいラクシャサ ネガティブな悪魔の到来を 滅ぼせたのです 私たちは レフト サイドを酷使し ネガティブィティに苦しめられます そこに助けがなければ マハヴィラなしでは無理です マハヴィラと彼を呼んだり 聖ミカエルとも呼ぶことができますが 人として来たので マハヴィラと呼びましょう これら全てが彼のおかげです 偉大な神格です人として化身しましたが それは聖者には 難しいことです それに 地獄の概念は 聖典に述べられた通りで 真実で実在しますそこに行こうとするなら 私はいつも 眠ってしまって その眠りの中で 相手のことを知ります 何をしていたか 取り憑かれているか 意識的にするのは 難しいことです 潜在意識に行く 必要があります スシブティと言われる深い眠りです そこでレフト サイドが 分かります これはおかしい状態で サハジャ ヨギには お勧めしませんが レフトの問題は 取り除くべきで マハヴィラが助けになります このチャクラがキャッチすると 右側が大きく腫れますならばマハヴィラの名を 唱えなくてはなりません 左側の圧力を 取り除くためです 何故自分が苦勞するか知らない人が沢山います 何も悪いことをしていないのに 何故でしょう 取り憑かれているからです ウイルスとか 心身症 癌など不治の病は レフト サイドが 賦活されたためです そのため不治の病気に なってしまうのです ですからマハヴィラに感謝しなさい 力を与えてくれ レフトの問題を 取り除いてくれます 手に光を与えてくれてバイブレーションも与えてくれ 曖昧さを光によって 例えば私について 明らかにしようとします 彼こそが唯一 心や体の問題の癒し手です 左の問題はご存知の通り 3キャンドルで 簡単に治療できます マハヴィラは光が好きだと わかります暗闇は好みません それによって 十分に行き渡り レフトサイドを浄化し ネガティブィティの強い国々で サハジャ ヨガの確立しようと しているのです 彼はどこでも働いていて どんな心身症でも ロウソクなどで治せます 3キャンドルで治療できます なので彼に感謝すべきで レフト サイドへは分け入り どんな問題があるかを 見つけてくれました今日は彼の誕生日を 彼の好んだ場所で 祝うことができ とても素敵なことです マハヴィラはたまに 裸で描かれますがジャングルで レフト サイドの探求をしていて 起きてみると 藪の中で 身動きが取れなくなり 服の半分を破らなければなりませんでしたが 半分を破って 藪から出た時は 大丈夫でしたが シュリ クリシュナが 子供として現れました 私は貧しく何も持っていないと言います あなたは王ですから 服をもらえませんか この子にあげるからと言って 去って行きました彼はシュリ ヴィユヌに 違いありません この時ヴィシュヌに服を与え せいぜい数秒の間に 彼は王なので この葉で身を隠し城に戻り服を着ました ですがネガティブなことに ジャイナ教徒は裸で歩きます 彼らは厳格な 不殺生のタブーを守り虫さえも殺しません 彼らは小動物を敬い 例えば小さな蛇や 害虫などでも 生き物であると 殺してはならないと言います 彼らは狂っています 極端な菜食主義に走って 虫も殺さず 帽子に虫を集め その帽子を神官が被り 虫に神官の血を吸わせます 神官の血が 完全に吸われたら 虫は地面に落ちます すると神官が出てきて 彼らにダクシナを つまりお金を見返りに 与えます 神官の血を 虫に吸わせたからです このような菜食主義があります ベジタリアンに気をつけなさい ヒットラーでさえベジタリアンでした どんなベジタリアンが 推して知るべしです このような菜食への熱狂は 全くいりません マハヴィラはそれを身をもって 示しました 食べ物にこだわる必要は 全くないといひですか 菜食主義の理論は 馬鹿げた極端に行きすぎていて 私たちは完全に やめるべきです それに対して彼は 何をしたか見なさい タンパク質を摂らねばブーツと戦えませんが ブーツが入っている人は たくさんタンパク質を摂りなさい 炭水化物でなく タンパク質です それでレフト サイドの敵と 戦えます なのにベジタリアンに ならろうとするのです レフト サイドの敵が 中にいるのに

ベジタリアンになるなんて 終わりです どうやって戦うのでしょうか これら全ては 予め分かっている 虫などの人間より劣る動物を 決して殺してはならないと そういう人は 迫害者だと言います これは馬鹿げたことです 私は虫にリアリゼーションを与えません 魚や鶏にもあげられません 人間が必要なのです これらは人間の仕業で彼らの言っていることに 沿っていません キリストは汝不純な目を もつなかれと言いましたが そうではないキリスト教徒にサハジャヨギ以外で 会ったことはありません 男性でも女性でもです 教えられたのと 反対になるのです マハヴィラの場合も同じで 彼の試みはことごとく 肉食主義に 走るような人によって 台無しにされてしまいました もう一つは肉食主義はネミンナスという シュリ クリシュナの時代の 教師が始め 当時の慣習で 彼は結婚し それだけでなくあらゆる肉も食べ ラム肉も羊も 彼の結婚式では出されて それで彼はいわゆる ウバラティ それで気を悪くして何をしたかというと もう肉を食べない と言ったのです こうしてジャイナ教で 肉食主義が始まりましたそして未だに続いています 彼らは喜びに欠けた つまらない人達です お金が好きで 追い回して とてもおかしい態度で振舞うので理解できません 人間ですが その態度は理解不能で 普通ではありません なので マハヴィラの努力にも 関わらず彼のいわゆる弟子である ジャイナ教徒たちが そんな状態です ここで理解すべきは サハジャ ヨギでは それはダメだと何か言われたら 理由を理解しなさい あなたは方法論を知っていて サハジャ ヨギの 詳しい知識があります 全部知っていますなのでどんな形でも 間違った与太話や 大々的な広告に 誘惑されてはなりません とても大事なことです 私たちはサハジャヨギで バランスを心得ています もちろん西洋人や オーストラリア人なら もっと肉より炭水化物を 食べるように言いますなので炭水化物を 摂っても良いですが それは決して 肉食主義ではありません あくまで栄養補給です インドではもっと肉を食べなさいと言います それが効くでしょう でも肉ばかりたべれば 良いわけでもありません バランスをとるべきで一度バランスが取れば リラックスして気分が良く 驚くでしょう 啓蒙され バイブレーションも良くなります食べ物に気をつけることです 衣服も同じで 服に熱狂しないことです 暑くても寒くても 自分に適した服装をしなさい 例えばこんな気候なら自分を 覆う服が要るでしょう ガナパティプーレのように 暑くもなく かつ寒くもない乾燥している場所なら どんな装いが必要でしょう 見てみなさい そこで分かるものが 自分が快適な服を あなたは着るべきですいいですか 私が何か言っても 過剰に 受け止めてはいけません 少しでもダメです 私が何か言ったらそれはあなたのためなのです あなたの性格や傾向が どうであろうと それを養い 向上させバランスを 与えるためです マハヴィラに帰依するなら バランスをとりなさい 同時にシュリハヌマナを 思う必要もあります 両者が大切です 短い講義でマハヴィラについて 教えるのは難しいです ですがサハジャにより彼に かなり繋がっていると思います あなたも彼とその役割が いかにも重要か 分かったはずで 神の恩恵がありますように

1991-0804, Shri Buddha Puja, You must become desireless

[View online.](#)

Shri Buddha Puja, "You must become desireless". Deinze (Belgium), 4 August 1991.

今日 私たちは ブッダ プージャのために 集まりました ご存じのように ブッダは王子でした ある日 彼は 貧しい男を見て ショックを受けます やせて通りを歩く とても不幸な人でした 彼はそれを 悲しく思いました 次に彼は 病気で 瀕死の人を見ます 更には 亡くなった人を見て 人々は泣きながら 火葬場へ 遺体を運んでいました 彼は これら全てに狼狽し 考え始めます あらゆる人間的な 現象に対して 理由を探し始めました まず なぜ人は それほど 惨めになり または 病気になるのか なぜ人はそれほど 不幸に亡くなるのか 彼は ある意味 世界中を旅し ウパニシャッドを読み グルの下へ行きました 精神的教えを受けるため あらゆる場所に赴き ベナレスや多くの場所に行きました 最後は 菩提樹の下に 座っている時に 突如として彼の クンダリーニがアディシャクティ によって覚醒しました そして 悟りました これら全ての原因は 欲望にあると 悟りました サハジャ ヨガでは 私たちは 他のすべての欲望は 純粋ではないことを 知っています 第一に どんな欲望であれ 満たされたとしても 満足することはありません 第二に 欲望は 悪影響をもたらします では 純粋な欲望とは 何でしょう ご存知のとおり クンダリーニです クンダリーニとは 純粋な欲求の力です 精霊になろうとする 欲求を与えます ブッダつまり 目覚めた者となるための 欲求です ブッダとは “悟りを得た者” という意味です なので ゴータマが ブッダになったということです 皆さんが 今はサハジャ ヨギに なったようにです しかし 彼は様々な 苦行を経たので すでに学んだことが 身につけていました サハジャ ヨガは 全てがサハジャ (自然) です しかし 私たちは何でも “これも結局サハジャだから” と結論付けます そして 何かをしようとする際も “最後は自然に上手くいくよ” “いいよ マザーが全てなさるから” といつも言います これはサハジャ ヨガで よく見られる間違いです あなたに長い経過を課すか それとも すぐリアリゼーションを与えるかは 私の問題でした 混乱した今の時代には あなたに長い経過を課す 時間はないからです ブッダにはできましたが あなた方には困難でしょう 何人やり抜けるかわかりません ほとんどが途中で 脱落するでしょう なので それを サハジャにしました あなたは菩提樹の下で座することもなく リアリゼーションを得ました クンダリーニが 引き起こされ 自らを悟りました ですが ブッダのような悟りが あなたに起こったわけでは ありません チャクラがブッダほど 浄化されていないからです でも 体も心も ブッダと同じで リアリゼーションを得た際の 態度も同じです 私たちは神の家を 探していたので 未だ 神の家ばかり 見えています ですが あなたは もう入っています 窓の外を 見ないといけません それを忘れがちです 私たちは 丘の頂に座っていて 交通渋滞などから 自由なのに まだ車を見ながら 恐れています 自分が丘の頂にすることを 知らないのです お母さんが あなたを そこに置いたのに そのように あなたは 振る舞っています 自分が リアライズ ソールだと 解っていないヨギの話を 耳にすると驚きます それゆえブッダは 無欲について唱えています リアリゼーション以前には 無理なことです 後ですら難しいようです ある微妙な欲求があり それを あなたはワークアウト しなければなりません しかし “エゴがキャッチする” と言って ワークアウトさせません つまり状況に合わせて あるやり方をしたり 別のやり方を したりするのです あらゆることの解決は 一つです 私自身 見つけたことですが コレクティブな現象が 解決するということです 個人では人は エゴを克服できません 個人主義の人は エゴを克服できません 個人的に生活し 全てを個人的に 楽しむ者は エゴを克服できません 例の苦行を 経ていないからです でなければ 個人主義の者は苦行を経た後から 戻ってきたほうが 良いでしょう ですから 解決は 全てのチャクラを 浄化することです 人生そのものを コレクティブの中で 浄化します これが エゴの問題の 解決法です 以前なら 皆が個人的に ワークアウトしていました ヒマラヤに 行かなければなりません グルに付いても 追い出されたり また別のグルに行っても 追い出され 生まれ変わっても 再び追い出されるでしょう 最後にグルに 受け入れられても ムチ打たれたり 拷問にかけられたりします その上でようやく その個人に近づく グルがいれば リアリゼーションを 与えられるでしょう そんな状況でした ですが サハジャ ヨガでは ドアが開かれているので 誰でも入れます リアリゼーションを 得られます 私はコレクティブに 信念があるので コレクティブでの生活は 間違いなく あなたに ブッダが個人的な 努力を経て得たものを 与えるでしょう しかし そこでも 私たちは どうコレクティブになればいいか 分からなくなったりします 個人主義はいつも 私たちについてまわります なんでも個人的に考えます コレクティブが良いところは サハジャ ヨガも上手くいき 良くないところは 問題が生じています 自分自身を 見つめることは とても大切です 自分がどれほどコレクティブか 見ることです コレクティブを楽しんでいるかどうか コレクティブを 目的にしているか カベラという場所について 思った時 すぐにその川の畔に アシュラムを建てよう と思いました “マザー 自分の家を 買っていいですか” と尋ねる者がいました すぐにです 何が目的でしょう “マザー うちに食事に いらしてください” “お茶にいらしてください” と言います 私には興味がありません サハジャ ヨガでは あなたが コレクティブにならない限り 上昇も 自分を磨くことも 浄化することも 不可能です

ブッダもある意味 言っています “ブッダン シャラナン ガッチャーミ” まず “私は自らの悟りに帰依します” そして “ダンマン シャラナン ガッチャーミ” “ダルマ 徳に帰依します” それは スピリチュアリティです そして 彼は三番目に “サンガン シャラナン ガッチャーミ” サンガとは コレクティブのことです “私は自らをコレクティブに 帰依します” しかし 彼はリアリゼーションを 集団に与える方法を知りませんでした なので 弟子達は 頭を丸めなければ いけませんでした 身分や性別に関係なく 一枚の布をまといました そして 大部屋で 一枚のマットの上に 寝ました 結婚も夫婦も 全く存在しません 村で施しを 乞いに行き それをグルや 自らの食事としました 不十分であつたとしてもです これは サハジャ ヨガでは ありません サハジャ ヨガでは 最初からなんでも楽しめて あなたは完全に 喜ばしい人のはずです しかし コレクティブの歎びを 知らずには 成長できません 他にはありません 苦行は無意味です コレクティブを楽しむようになるまでは 苦行だと 感じる者もいます すぐ問題を起こし とても批判的です アシラムにいながら 人を批判ばかりする者もいます 完全に 高次の意識を持つ者は 洗脳されません 完全な意識と理解でもって コレクティブにならないといけません これが 私たちの浄化の 解決法です 例えば 私の手が 汚れているとします そこで 蛇口のところへ行き 一滴しか水が出なければ 洗えません そして別の場所へ行くと 水が出ません 三番目の場所でも 何もない事を知ります 最後によく 少しの水を見つけます そこで完全に洗うでしょう 他で無理なのを 知っているからです しかし サハジャ ヨガでは あなたは コレクティブの水に 浸っているのです あなたが それを楽しめて 泳ぐことができれば 何の問題もありません ブッダはご存知のとおり ライト サイドで作用します アギヤです 驚くことに 彼のような神格が ライト サイドで作用します まず 彼はライト サイドにおいて 執着しないこと 無欲であることを 唱えています 無欲なら 何も得るものがないのなら 誰も何もしないでしょ 普通の場合はそうです ですが あなたは 無欲に働く必要があります そうして初めて ライト サイドが 克服されます とても象徴的です 普通 ライト サイドの人は 瘦せています しかし ブッダは太っています ライト サイドの人は 往々にして極端に真面目です くすぐっても 笑わないくらいです ブッダは両手を広げて 笑い 楽しんでいました この対比を見てください なので 無欲に働いて 初めて そういった意識が 持てます いつも 笑っていられるでしょう しかし 自分がやっていると 考える者 何か欲がある者 金儲けを考えるような 低級な者は 意味のないことを続けます それはどんどん 巧妙になります 人が精妙になると 色々な欲も 徐々に精妙になるものです 気を付けなければ 急に出てきます 彼はライト サイドに 位置し レフト サイドへ 渡ります 彼は言っています “ライト サイドにおいて” “無欲であれ”と なんとこの対比でしょう 特に西洋で何かをする度 ため息するのを見かけます スプーンを持っただけです そして そのまま座ります 私が全く疲れないので 驚かれました 私は何もしていません 欲はありません 実際何もしてません ニシクリヤです 何もしてません このようにあなたが 帰依した道具になれば 自分は何もしていない と知れば ライト サイドを マスターすることが できるでしょう どうやって マスターするかというと 何もしないことです どの店でも とにかく入れば 何か見つかるでしょう 何もせずにです 無欲でいれば 思いもしなかった事が 突然 現れるでしょう すぐそこに あなたのためにあります ただ受け取りなさい なので 何かを 達成しようとして 働くと 反動が返ってきます どんな行動も 反動があります 無欲な行動は 反動がありません そもそも 無欲だからです どこかで私が 道に迷ったとしましょう 慌てることはありません そこに行く必要が あつたのかもしれませんが 何かを買おうとするときも 城だとしても 同じです 買うべきことと 欲は異なります “イタリアに家を買います” と急に言うこともあります そして城を見たところ よくありませんでした 構いません 次の城は “いくら出しても買うべきです” と皆が気に入りました 場所が気に入らなくても “皆の願いを叶えましょう” と言いました しかし 皆だまされました 結局 彼らが乗り気でない 別のを買いました 私はそもそも無欲だったので 満足しています すると 最高の結果と なりました 結局 最高のことが 私には起こるからです なんであれ 私に起こることは 最高のことだと知っています 常に 私や サハジャ ヨガのために 起こります 誰かがサハジャ ヨガを 批判するとします すばらしい インドでも ある雑誌で ラジニージがある人物を通して 私を批判しました その女性は私の写真を盗み 勝手に譲渡しました 私の家族は憤慨し 兄弟も夫も 訴えようとしてました 私は “その考えは好みません” と言いました それでいて デリーでの 最初のプログラムは 大勢の人が来ました 車で入れないほどでした 会場の外まで 人が溢れていて ホールの外に スピーカーを 設置したほどでした どうやって来たのか 尋ねると 彼らは “あの週刊誌の写真を見て” “興味を持ちました” と言うのです 何も読まずにです ハルシもそうです 多くがそうやって来ました ただ写真を見て来ました ですから 写真が盗まれたものの 良かったのです 相当な費用がかかるどころ 全く宣伝費用もいらずに 写真が掲載されたのです そして私の家族も その雑誌が 半年間休刊になり 莫大な損失を 出したのを見ました それも 私は願っていません 無欲なら あなたは幸せです 落ち込むことが ないからです イライラもありません 無欲というのは 禁欲主義者のように なる事ではありません 期待をしない ということです “これをすればこうなり あれが起こるから・・・” 心配しないことです したいことをしなさい ひとつ覚えておくことは あなたに何も ひどいことは起きません 悪いことが起こっているなら 何かあなたが間違っているということです もうひとつ言います 私は少し転びました 少しだけです すると “家から出ないほうがいいです” “雨なので関節炎になります” と言うのです そんな事はないのですが 家にいる機会を得て 本を書きました 転んで良かったのです でなければ 招かれたでしょう 家族も 休日で家にいて この四、五日で 書き上げることができました 落胆を最高に 利用するので

落胆することがあっても 微笑み これもあなたの 新しい発見のため より良い何かを見つけるため だと知りなさい しかし
コンディショニングは 強いものです だから“コレクティブでいなさい” と言います 例えば 私たちは インド人
フランス人と様々です 皆のコンディショニング があります インド人ならどこでも インド料理を食べたがるし
とても難しい状況です その意味では皆さん どんなインド料理でも食べられます 私はインド料理を さほど好みません
美味しいけれど 栄養がありません でも あなた方は 何を食べても頓着しません 良いことです でも欲はべつです
あえて言う必要もありません 例えば 女性に化粧品や重いものを あまり持ち歩かないように言いましたが ここに来る度に
大きくて重いスーツケースで 男性達が 手を痛めています 私は“みずぼらしい恰好で” “歩きまわりなさい”
と言っているわけではなく 最低限にいなさい と言っているのです リーダー達の 競争もあつたり 他の者の間でも
問題が起きます 西洋では食べ物ではなく 家庭の問題があります インドにもです インド人の妻や ギリシャ人の妻は
夫を自分に縛り付けようとしす よくあることです ギリシャ人も インド人のように 夫や自分の成長を ダメにします
それは事実です とても支配的です インドの女性は支配的ではありませんが 夫をコントロールしようとしす
家を持とうとしたり インド人は コレクティブを知りません とても個人主義的です もちろん今は サハジャ
ヨガを通して少しずつ 他人といることを 学んでいます 文化的に違う人もいます 自分の文化に固執しがちですが
良い文化は取り入れるべきです 普遍的な文化が サハジャにあるからです ですが 人は つまづくことが多々あります
コンディショニングのせいですが 故にブッダの同時代に 偉大な化身マハヴィーラが存在しました コンディショニングに
こだわる人にとって 何が罰となるかを 指摘しました 彼は恐ろしいことを 話しました コンディショニングを 持つとどうなるか
どんな状況に 追いやられるか どんな地獄に行き着くか 恐ろしいことを 述べました もちろん今日は その話をしません しかし
彼と同時代の聖人に 共通するのは ブッダやカビールも そうでしたが カビールはブッダほどでは なかったけれど 神について
話さないということです 神ではなく 抽象的な 形のないものについて 話します 当時 最もひどい コンディショニングは
如何なる神格でも 崇拝すれば 皆が 奴隷のようになる ということです モハメッドも形のないもの について話しました しかし
二人は 先を行っていて “神はいません 神について話すより リアリゼーションを得なさい”と言いました 私も当初
“まずリアリゼーションを 得なさい”と言いました でないと 誰もが “私が神だ” と言い出しかねないからです だから
彼らも神について 話しませんでした 常に“神ではなく あなたの 自己が存在する”と言ったのです 彼らはニリシュワラと呼ばれ
神の話をタブーにしました 二人とも神を 信じませんでした しかし リアリゼーションは 信じました 彼らは 私が来て
神について 話すことを 知っていました ブッダは未来のブッダ つまり マトレーヤについて 話していました
「マ」は母を意味し 三つの形姿 マハカリ マハラクシュミ マハサラスヴァティを指します 仏教徒にマトレーヤについて
質問させれば そこでリアリゼーションを 与えられるでしょう 彼はマトレーヤについて 話しています マトレーヤがやってきて
神について話すことを 知っていたからです 彼らによると 人はまだ 神について話を聞く 段階ではなかった と言います それで
“神はいない” と言ったのです リアリゼーションのみを 強調しました アトマギヤーン 自己の知識のみです セルフ
リアリゼーションです 初期の仏教徒は 当然ながら 皆 禁欲主義でしたが グノスティクスのように 精霊の涼しい風を感じる
体験をしていました ですが少数でした あなた達ほど 多くではありません ただ 質は とても高いものでした なぜなら 皆が
大変な 苦行をしたからです それで 彼らの質が 高かったのです その質の違いが 大きかったために 他の人々に
理解されませんでした 廃れてしまいました しかし ヴィディタマによって 禅がもたらされました ブッダの弟子です
タオも起こりました これらはどちらも ブッダのサハジャ ヨガの 理想を体現しています タオは サハジャそのものです
“それが如何に働くか” という意味があります 禅とはディヤーナ 瞑想という意味です どちらもクンダリー二の
覚醒を信じました 誰の脊柱も 叩きませんでした 後になって 瞑想に人を導くために 棒で叩くようになりました タオも禅も
仏教から出たものです 本来の仏教 と言うべきでしょう 上昇について話し 神については 話しませんでした しかし
目的は同じで ブッダ (自己) に なることでした しかし 廃れてしまいました 私は禅の代表者を 治療したことがあります なぜ
カッシャパでないのに リーダーなのかと尋ねました カッシャパとは “覚醒した人”です 彼は“カッシャパは
数えて26人しかいなく” “6世紀に 始まりましたが” “ほんの何人かだけで” “その後いなくなった” と打ち明けました
あなた方は どんなに幸運でしょう 覚醒した人々です 私たちの菩提樹は コレクティブです 私たちは コレクティブとして
一体になることで 自らをより精妙にする 必要があります それは 大変喜ばしく 美しいものです それができないと
サハジャでは 成長できません 問題をおこしたり 皆に迷惑をかけます アテンションは悪く 皆が 耐えがたい思いをします
ブッダのメッセージは もちろん エゴを 大きくしないことです しかし どうすれば 良いのでしょうか まず 何をするにつけ
“私がしているのではありません” と言うことです “これは マザーが 行っています” もしくは “神が行っています”
“私は何もしていません” サハジャのために何かしている と感じているなら それを止めた方が 良いでしょう そうでなく
“何もしていないけれど” “たまたまそうなったのです ただそれだけです” そうなれば あなたは 大きな達成を成し遂げます
二つ目は欲望です どんな欲望であれ 大きなものでも 小さなものでも 我が子や妻を 愛することであれ “私の” “私のもの”
と言うすべて こういったすべての 欲求は それが満たされず 不満に感じるなら 何かあなたに非がある ということになります
しかし コレクティブティを 理解すれば とても早く 成長できます インド人は 極めて信心深く 自制のある人々ですが

コレクティブに 欠けています 彼らがコレクティブになれば 突出できます 唯一 良い国はロシアです 共産主義なので
コレクティブで 無欲です あらゆる欲求は 共産主義によって満たされ 他に選択肢が ありませんでした そしてコレクティブです
ある意味 共産主義は 政府でなく民衆に合いました 反対に民主主義は 政府にくみして 民衆が苦勞しました なので 私たちは
コレクティブを学ばずに きたのです コレクティブは西洋で 早く発達するでしょう 疑いありません ずっと早いでしょう しかし
無欲にあまり ならないでしょう 歯を持つ人もいれば 食べ物を持つ人もいる状況です 自分をありのままに見て
“この問題かあの問題かの どちらかだ”と理解するなら その偏りを正そうとするなら 解決できるでしょう
一つを解決することで 他も解決できるからです 中庸に立って 自分を見て “自分の欲は何か”と 一つ一つ数えなさい
“私の欲求は何か”と問えば 私は無思考状態になります ひどいものです “何が欲しいか”と問うと 思考がなくなってしまうのです
“エゴを持とう” と思っても どこから始めてよいかわかりません “皆エゴを持っているのだから
私もあるのではないか”と思っても どうにも始められません 私たちには こんなコンディショニングもあります
負い目を持つことです ブッダの時代には ありませんでした 負い目を感じるというのは 現代のやり方です
何らかのモダニズムに 違いありません なぜこうなるのか わかりません この現代のひどい “負い目”を浄化させる 役目を 私が
担うことになります ブッダの時代には ありませんでした でなければ 彼は 道を作ったでしょう 彼はレフト ヴィシュッディの
浄化を託しました なので 私のレフト ヴィシュッディが いつも痛んでいます これは特に 西洋でひどい現象で
インド人には全くありません しかし これは克服できます ご存知のように ブッダもマハヴィーラも アギヤのセンターを
サポートしています なので とてもクリアな アギヤ チャクラを持つには 一方では無欲になり 許す必要があります
“クシャム”です クシャムとは許すための ビジャ マントラです ライト サイドのための ビジャ マントラです クシャム
私は許します そして レフト サイドは “ハム”です レフト サイドの人はいつも “私はダメだ”と考えがちです “私は良い”と
言うべきです “ハム”は“私は存在する”という意味です ハムとクシャムは必要な 二つのビジャ マントラです もちろん唱えると
作用します 今やあなたの息吹が 啓発されたからです まだ弱いですが 構いません あなたのマントラは 効きます
これら二つのマントラを アギヤ チャクラの浄化に 使いなさい マハヴィーラは 解決法を持っています リアリゼーションの後
キャッチすると アギヤに 頭痛を感じます それがマハヴィーラ のスタイルです 何か間違えると 罰を受けます
何かに耽溺すると 罰を受けます サハジャに反すると 罰を受けます 私ではなく マハヴィーラがするのです 同時に働きます
賢くなろうとしすぎると 裏をかかれます この二つの力が 右から左へ 左から右へと働きます 右に行きすぎると
左があなたを強く叩きます 左に行きすぎると 右があなたを強く叩きます それぞれが 挟み撃ちのようです 一人は
“欲を持つな”と言い もう一方で“はい 欲がありますね” と罰を与えます “子供が欲しい” と言う者がいます
子供を授かると“マザー なぜこんな ひどい子を私に授けたのですか”と言います 例えば 誰かが “マハラシュトラの女性と
結婚したい”と言うと 最近あったケースですが “マザー マハラシュトラの女性と 結婚させてください”と言ったので 特別な形で
罰せられました “マハラシュトラの女性は もうたくさんです”と言います 私もあんなマハラシュトラ出身の
女性は見たことがありません 恐ろしいです こだわりの強い 女性でした “もうたくさんです”と彼らは言いますが “違います
他の皆は すばらしいです” “これはあなたに罰を与える為の まれなケースです” なので 何か欲があって 一線を越えると
罰せられます マハヴィーラによるものです 小さくも大きくもです 例えば ロンドンに 小さな男の子が来ました
とても生意気な子です 何か買って もらいたがりました 普通の店に連れていくと そこにウールの 良いコートがありました
欲しがりません “大きな店に行きたい” “良いでしょう 私は行きませんが” と言い 父親に行かせました 帰ってくると
その店で合成繊維のコートを 買ってきました 合成とは知らずにです いつも普通の店で 買い物せず 大きな店で高いものを
買うので 高いお金を払い それを買ってきたのです サハジャ ヨギは 常に マハヴィーラがそこに 座っているのを知るべきです
ブッダもそこにいて 彼は あなたに示唆を 与えます “止めておきなさい” “あまり欲を持たないように” 彼が限界を作ります
でもそれに耳を貸さなければ マハヴィーラが正します ある程度まで行くと 頭痛がしてきて “マザー なぜ頭痛がするのですか”
と言うのです 自分で招きました すごい自動の機械です サハジャ ヨギとして とても気をつけるべきです なので 今日の教訓は
内側からコレクティブに なる必要がある ということです 何であれ 文句や不満を言わずに コレクティブを 楽しむべきです
コレクティブの もう一面は コレクティブを 乱用しないということです さもないと 問題になります 例えば
バスルームの使い方を 知らない人がいます コレクティブであるなら 他者のコレクティブリティも 尊敬するべきです
あなたがいて 他の人が気分を害することが あってはならないし 侮辱されたり 迷惑に感じたり するべきではありません
なので コレクティブにいるときは 他の人があなたと一緒に いることを楽しむべきで あなたの存在を 楽しむべきなのです
問題は存在しません でも要求がましかったり 自分のことばかり考え その要求ばかりすれば
コレクティブになることは不可能です 代わりに 苦勞するでしょう 自動的に 苦勞することになります これにきちんと
気づいて理解すれば あなたのアギヤは解決です 怒りについても “彼に腹が立つ”と 自慢げに言う人がいます 自慢しています
その怒りをただ 許しに変えなさい すると 自分が 彼の問題に はまり込むことなく 彼が問題に はまってしまうでしょう 怒りは
あなたを乱しますが 許しは 彼を乱します 自動的にです あなたの最も大きな 武器が許しです ブッダの人格に
それがよく現れています 許しは 自尊心を与えます どんなことにも乱されない という自尊心です まるで 船が

航海できるようです 浮かべて壊れるなら 船を作る意味はありません いつも心乱されている サハジャ ヨギに何の意味があるでしょう あなたは航海に 適していないといけません 何にも 乱されることはありません 犬が吠えているとします 吠えさせておきなさい 象が犬を見て 水を少し飲み その水を祝福するように かけます そうすることで 頭は冷えるでしょう あなたに自尊心を 与えるでしょう そしてあなたが他者よりも ずっと崇高であると知るので そのようにして エゴを取り除きます あなたにとって 最大の問題です “マザー どうやったら エゴをなくせますか” エゴは ユーゴー (you go) と言い換えられます この“自分”の意識がなくなった時 自己が現れます 傷ついたり 気分を害することがありますか 人を傷つけることが あるでしょうか 誰かに騙されたとしても あなたが騙したわけではないのですから 機嫌よくしていなさい エゴを 失くしたということは 自らを 委ねたということです 誰もあなたを騙せません わかりますか 誰もあなたを騙せません ある高次の力が あなたを守るからです この様にブッダを 理解するべきです ブッダの性質を 知る必要があります この様に エゴを溶かすのです “マザー 私はあなたに帰依します” と言う時 それは この酷いエゴを 完全に あきらめる ということなのです そうです そうやって エゴがなくなるのです ちょうど今 あなた方のアギヤが 開きました ほとんどがです 何を見ても 笑っていられるでしょう 自分をからかったり 何であれただ楽しむでしょう 神のご加護がありますように

1991-0901, Shri Krishna Puja, The Technique of the Play

View [online](#).

Shri Krishna Puja. Cabella Ligure (Italy), 1 September 1991.

今日は ヨゲシュワラを崇拝します 私たちにはシュリ クリシュナの 最も偉大な名だと思います ヨガの神という意味です
ご存じのとおりヨガとは 神聖との合一を意味します ですが 別の「ユクティ」という意味もあります 英語で適切に
訳せませんが ユクティとは トリックの意です トリックです でもトリックというとおかしな いたずらを連想させますが
この場合は テクニックの意味です テクニックといえば 機械的なことです なのでユクティの 適切な訳語はありません
あえて言えば テクニックを知り それを駆使する技術が ヨガ、ユクティの もう一つの意味です なのにつながりがありあっても
そのトリックを駆使できなければ つながっている 意味がありません 何の役にも立ちません リアリゼーションの後に
テクニックのみでなく そのトリックも 学ばなければなりません クリシュナのレベルに 至るということは シュリ ラーマの後の
化身であり シュリ ラーマは 理想的な礼節を持った マリヤダ プルショッタマで 同時に慈悲深い王 でもありました
ですがシュリ クリシュナの場合 人々が生真面目で堅く 過度に道徳的だったので 別な面を示したのです
儀礼さえしていれば大丈夫だ と考え 人々の成長は止まっていた そこでシュリ ヴィシュヌであるシュリ
クリシュナがくる必要がありました 上昇について そしてそれがすべて 遊びであると唱えました ですが遊びの達人でないと
そのように遊べません 例えば電氣的な コミュニケーションがありますが 皆さんはそれで どう遊ぶかを知りません
どう遊ぶかです つなぎ方とか いかにか遊ぶかではありません 遊びです 例えば技術をすべて知っていたら
それで頭が痛むでしょう あそこが上手くいかないとか どうやって接続するかなど 自分がしていると 常に気になって
疲れて飽き飽きするでしょう でもそれが遊びだったら 達人にとっては遊びですが それが遊びになってしまえば
疲れることなく 楽しめるでしょう それがいわゆるリーラです それゆえ彼はリーラダラと呼ばれます 彼は達人だからです
達人として来ました マスターといっても指導者としてでなく ヨガの技術 ユクティの達人として 彼はとても巧みで有能なので
彼にとっては遊びです 彼にとっては すべてが遊びでした あなたもヨガにおいては 全てが遊びだと理解するべきです
例えば朝5時に起きるのも 遊びであるべきです 朝起きて まだ日が低く やることがまだない時間 月が沈んで
まだ薄暗い時間に起きます とても美しい そんな時間に 瞑想に座るのです 何か堅苦しい つまらないことではなく 遊びなのです
そのためにはあなたが 達人である必要があります ヨガの達人であれば それが遊びになります まず シュリ
ラーマの意識により ヴィシュワ ニルマラ ダルマとなると その後は遊びになります さて 神聖との コミュニケーションは
世界へと広まるべきです 全世界があなたが手に入れた コミュニケーションを得るべきです そこに関して シュリクリシュナは
子供としてシンプルな用意をしました 子供っぽく幼いやり方です ゴピ達が沐浴中に 服を隠したのです インド女性は決して
全裸になりませんが 彼女たちのサリーを隠して 彼女たちの背中を見ていましたが 小さな男の子には何でもありません
彼は木の枝に座って彼女たちの クンダリーニをあげようとしていたのです 彼女たちがラーダによって
清められたヤムナ川から出てきて すでに彼女たちのクンダリーニに ヴァイブレーションがあるわけです
彼女たちはその水を運び 彼は後ろから頭上の水がめを 割るのですが その水にも ヴァイブレーションがあります
するとヴァイブレーションがある水が 彼女たちの背中にこぼれていきます それでクンダリーニを
引きあげようとしていたのです 子供らしい遊びを見なさい 子供らしいやり方でどうやって 遊ぼうとしたか そして後に
子どものようなやり方で 政治や人間関係 コミュニケーション での熟達を見せるのです 彼のパワーはラーダで
ラはエネルギーで ダはその支えです ダレティサ ダルマと いわれるように ラダとはエネルギーを支える者 という意味です
なのでまず彼女からもらったのが アラーダ ダイニの性質です アラーダを表す英語は 見当たりませんが
アラーダとは急に素晴らしいものをみて 歓びを感じるような感覚です とても幸せな感覚ですが 幸福感を表す英単語が
ほとんどありません アラーダとはまるで新鮮な 空気を吸ったような歓びです その感覚がアラーダです 彼女はアラーダ
ダイニで アラーダを与える存在です この彼女の アラーダ ダイニの力で 関わりのあるすべての人に 働きかけたのです
なので彼という牛飼いたちは ラースをすることになります ラとはエネルギーで スとは共にという意で ラダジのエネルギーで
踊るということです 彼がただフルートを吹き 彼女が踊ると 彼女の手をエネルギーが流れて クンダリーニが覚醒されます
ここにもう一つの 遊びがあります 遊ぶだけで彼は クンダリーニを上げたのです ですが現代では それはとても難しいです
そのやり方で クンダリーニを上げるのは 現代では簡単ではありません 人も理解しないでしょう なので現代では サハジ
ャヨガはただクンダリーニを 上げるのではなく サハジャ ヨガの 完全な知識を与え
他者にリアリゼーションを与えられる力を与えるという 大きな仕事でした そのために他者にリアリゼーションを
与える技法を見つける必要がありました 当時はクンダリーニは覚醒しても サハスラは開いていませんでした
クンダリーニはアギアだったり ハートだったりに留まっていたのです そのような人々が シーカーになりました

こうして今日の サハジャ ヨギ達が存在し サハスララが開いていてサハジャ ヨガのユクティを全て知っています ですが サハジャ ヨガのより精妙な ユクティがあります それをマスター しなければなりません 第一に 彼のマドウリの性質です 優しさという意味です 「蜜のように甘く優しい」という表現のように 彼が誰かと話したり 誰かと関わるときは 優しさを通して関わりました このような関りができないなら あなたはヨギであることから ほど遠いです 誰かと優しく話すこと それも自然にです 彼の全てがマドウリです 話も態度も表情も 全てがマドウリです コミュニケーションを語るなら まずは人同士のコミュニケーション が最も大切です そして人との コミュニケーションを考えるなら 多くの人が攻撃的なほうが 上手く人とかかわれると考えます それは違います 誰かが人から 何か得ようとする時に そこへ行って言います これが必要だとか あれこれ言います まるで否定しているようでもあなたが優しい人で 優しく話せば 99%の人は 態度を軟化させるでしょう ではどうやって 人を軟化させるか そのトリックを学ぶべきです いかに優しさで人をほぐすか これは 彼の特別な性質の一つで 人と話す際に 心から優しく話すことで あなたとその人の間の 問題が解決するように 完全にです たくさんのトリックがあります 人とどう話すかを学ぶことは 最も大切なことの一つです 第一に あなたは人より 聡明でないと見せるべきです 私が若い科学者と話す際に ごめんなさい 科学はわからないんです というように 科学者向きじゃないんです すると彼らは そうですか と 気持ちよくなります 音楽家に対しては 音楽はわかりません と 少しだけやったことがあります がそれほどでもありません 音楽家もうれしくなるでしょう エゴをおだてている 確かにそうも言えるでしょう でも自分が相手と比較できないと 言うことに害はありません 人と話す際の第一のトリックは 完全な謙虚さです それが偉大さのサインであり 達成のサインです 実をつけた木がたわむように まずは 私は何も知らないの で 教えてください という態度です それが第一です まずは自らが極めて 謙虚になることです 他人にあなたが何者か わからないのが良いのです それはとても楽しいことです 私の例をお伝えしましょう 私の夫はインドで えらい立場でした 大学まで一緒だった友人と デリーで再開したときに 私がどこに住んでいるか と訊きました 私はミナバという 何の変哲もない場所を言いました 公舎に入れなかったの で とりあえずの場所でした ダンナさんは何をしていたらしゃるの 公務員です とだけ伝えました そこに夫が通りかかり 私に微笑んで立ち去りました 彼を知っていたらしゃるの 私の夫です という と驚いて オーマイゴッド どうして教えてくれ なかったの 急に態度が変わりました 彼女は自分を恥じました ただの事務員が何かと結婚したのねと 私を下に見ていたからです なので下のふりをするのが 一番です 全てにおいて下のふりです マザーに力をもらったのであれもこれも できるというサハジャ ヨギを知っています 自画自賛は役に立ちません 私はとくに力がなく ただのサハジャヨギです でも そういうならやってみます なので下のふりをする ことができます 限りそうしなさい 家で実践しなさい 練習をして実践するのです これが他者とのコミュニケーションの際 最も大切なことのひとつです 第二にはギータ全部を読むと 一つ大切なことがあります クローダ ピラエティ サモアといって 私たちの悪い性質があり 六つの敵があるということです 彼はギータでその中でもまず クローダから説いています 内面に怒りがあるなら あなたは達人であるわけがありません 達人であればそれで遊べるので 怒る必要がありません あなたをこうやって 踊らせることができます かんしゃくを起こす 必要があるでしょうか でもあなたが対人関係において それを習熟していなければ 5、6分も経てば 声が荒くなってきて 結局怒鳴りだすことになります 熱いかんしゃくを まだもっているからです ですが達人にはありません 必要がありません 彼はクローダから説き始めました 全ての問題は怒りから始まります 次から次へと なので自分が怒りっぽいから 注意するべきです 怒りはヴィシュッディから来ます 肝臓から始まりますが ヴィシュッディを通して表現されます 顔や目が赤くなり 口からはあらゆる 罵詈雑言が出てきて 全く違う表現になります あなたが怒るときに この怒りを観察しなさい これはどこにあるのでしょうか 肝臓だ ということなら じゃあ 治そう と マスターするためには はっきりと自分に向き合うことです 皆が彼女はかんしゃくもちで あれもこれもありましたと言います でも本人は いいえ そんなことありません じゃあ何で皆がそういうの わかりません 自分はちゃんとやっています 誰かがそういうなら 自分を観察しなさい あなたはたまに怒りますか あなたはかんしゃくを起しますか 見れば簡単にわかります なので交渉のコツはどれほど 自分に足りないか自ら直視することです まずは 本物の謙虚さが大切で 第二には冷静さです かんしゃくを起す必要は 全くありません 何をしているの どうしてそんなことをするの 言いたくないことを言わせないで そうやって言えばいいのです これが限度です それは嫌いだというぐらいいいでしょう でもそれ以上 行かないことです そこで止めれば かんしゃくを起こす 傲慢な習慣が消えていくでしょう この傲慢さや かんしゃくがなくなり 自分が楽になることに 驚くでしょう 怒りによってその反動で レフトヴィシュッディが キャッチして 負い目を感じるからです なぜあんなことを言ってしまったのか と気分が悪くなります そうやってヴィシュッディが だめになります レフトヴィシュッディなら 頭痛です どんどん怒りや 何かをため込むと レフトヴィシュッディが キャッチします それで起こる問題は ご存じの通りです だから誰かに腹が立っても 負い目に思わないことです そのかわり鏡のまえで 自分にピンタをするのです 腹が立ったら 自分に腹を立てて 鏡の前でこうやってするんです 自分が怒った時と同じようにするんです 負い目に感じないでしょうし もっと起ればなお良いでしょう そうしてレフトヴィシュッディを

空っぽにできます 次は怒らないでしょう 負い目を感じているなら 同じことを何度も繰り返します
怒りの表現も男女で違います 時に女性が心配です 水の力を使うので私も困惑します でも エゴがあるほど 泣き虫になります
それがサインです 何か指摘するとすぐに泣き出すのを 見てきました もうレフトヴィシュッディが
風船のように一杯に膨れているので そこに触れたとたんに 水が出てきます 知ってのとおり 男性の場合は違います
腹を立てたらケンカをして 皆を殴りかかったかと思いきや ちゃっかり座って 飲みものを飲んだりします
もう出してしまおうと言います でも女性は違います ため込んで それが後に涙になります これらは喜びや 幸せの涙ではなく
誰かへの思いでもありません 誰かに自分が悲しいことを 印象づけるための涙です なので第二のトリックは
いかに自分のかんしゃくを克服するかです そして第三にはいかに人の かんしゃくを克服するかです そっちのほうが
ずっと高級です ガガンギリ マハラジのところに行った 話をあなた方にしたでしょうか 彼はとても短気な聖人で
その熱のため水の中に常にいたので 足を悪くして失いました 人は彼がトラに乗っていると言いますが
トラは見かけませんでした 私は彼に会いに行きました 彼は雨を操ることが できるはずだったのですが そこへは四時間半ほど
坂を上ったところです 私が歩き出すとたちまち大雨になり 終始降り続けました 彼は止められませんでした
彼は挑戦されたと思いました 私が到着すると 彼は洞窟の外の岩にすわって 怒りでこうやって どうしようもなかったのです
彼を見て私が洞窟に座ると 彼も来ました 彼は連れられて来て 私の足元にひれ伏したのちに 言いました
なぜ私に雨をとめさせて下さらなかったのか あなたがずぶぬれになってしまった この雨が腹立たしい
私のエゴを抑えるためでしょうか とんでもない あなたにエゴがあるとは 知りませんでした ではなぜ 私はご存知のように
マスターだから いいですか あなたは修行僧で 私にサリーを買いました オレンジ色のです あなたからオレンジ色を
受け取るわけにはいきません あなたが修行僧だからです でもずぶ濡れなれば あなたから受け取れますね するとたちまち彼は
心を開きました でも私は達人でなければ なりませんでした まずどうやって彼を和らげるか 次にどうやって
彼のこころを掴むか これはもっと精妙な面です あなたは人心を掴めます このように人があなたに
してくれたことが分かります 何を用意したか 何が待っているか 未来が分かるとは 言いませんが 人を分かるために
そうするなら その人の全てが分かります シンプルなことです まずその人を 分かつとせなさい 私の父は多くの
トリックを持っていました 加えて とても愉快な人でした ある日 弟のパバママが歌の上手い 友達の話をしました 父に彼の歌は
どうだったか訊くと うん 彼はとても勇気があるね どうして 知らなくても歌おうとするからね 大したもんだ
何て適切な表現でしょう その男性について とても勇気があるって 彼は知らなくても歌うけど 何とかなっていると
勇気があるとは悪口ではないです 勇気がある でも彼のことが 良くわかる言い方で もし変な歌い方をしても
笑わないようにという意味が その「勇気」のことで分かります 同じように 誰かについて学べば その人を
面白いやり方で表せます 欠点や悪いクセがある とかではなく その人の ある一部について述べます これはその人全体を
まるごと理解して 性質や欠点も含めて そのまま受け入れるやり方です その巧みさを あなたは持てるでしょうか
人の特質に注目しなければ 欠点ばかりが目につくでしょう 彼の特質が分かれば 欠点があっても ちょっとした性格上の
スパイスみたいなものです そう 彼はちょっとだけね ちゃんと彼の性格に 注記を加える感じです
するとその人が気にならなくなり 楽しめるでしょう 私の娘婿は 犬が大好きですが 妻の方は賃貸だから犬はダメと
夫婦ゲンカになります プラバットが“会う機会が無くなります” というので それは良くないけれど
なら次は私が犬になろうかしら と言いました たちまち彼は理解しました なのでどう人に話すか ほのめかす事ができます
何がその人の長所で 何が欠点か でも直接言う必要はありません ユーモアをもって 間接的にほのめかす事で
その人は理解するでしょう 人と関わる時には ユーモアのある人であるべきです でもユーモアというと
誰か体が不自由でまっすぐ 歩けないような人を笑ったり 誰かの髪型が変だと笑ったり そういった表面的なことで笑いますが
それはユーモアではありません これは笑いの 形をとった批判です でなければ 皮肉を言う人もいます これは良くありません
鋭いことを 言ったつもりでしょうが あなたはその人を永遠に失います こういわれた とその人は忘れないからです
なので皮肉はあなたの敵であり サハジャ ヨガの敵です 何か言うなら相手を傷つけない 言い方でいいなさい
微妙なユーモアを楽しみつつ 自分の欠点を理解できるように さあ ユーモアをもって あなたに何か言うならば なんだかんだと
直接あなたに言わずに 例えば うちにカラスが やってきてね と言って あなたの性質を そのカラスに移して表すでしょう
そしてカラスが あれこれしたと言うでしょう あなたはすぐに “マザーは私のことを話しているのか”
“それともカラスの話なのか” 考え出します なので誰か別の存在に 移し替えなさい 移し替えるのが ベストな方法です 例えば
プージャに出席する人の 名簿が期限までに必要だとします 今回はアメリカが ホストですので アメリカ人が必要だといった
と言えいいのです 実際には言っていないのですが そういうウソは無害です それで人々はあなたではなく
アメリカ人に腹を立てるでしょうが 問題ありません しばらくの間はいいのです まるで移し替えるように この転移は
アスタントラと言われます 一方から他方へと 移し替えていくことで シュリ クリシュナは この技の匠でした 彼の話で
彼はランチオルダといって 戦場から逃げる 彼は気にせずに逃げ出します なぜなら とても悪い悪魔がいましたが
ブラマデーヴァから恩恵を授かり 多くの人を殺していましたが シュリクリシュナも どうしてよいか分かりません

そこで彼は別の誰かに 彼を任せることにしました 彼は別の特別な ヨギを知っていました
彼は瞑想を通して同じブラマデヴァから 恩恵を授かりましたが それは寝ている最中に 起こされて
まず初めに見たものが灰となる という恩恵でした シュリ クリシュナは仕事を 彼に移したほうがよいと考えました そこで彼は
戦場から逃げ出し その悪魔があとを追いました シュリクリシュナはその聖者の 洞穴にそっと入りました
そして自分のショールを 彼の上にかかけました そしてそこで身を隠しました ここで入ってきた悪魔は シュリ
クリシュナが寝ていると思いました ああ 疲れて寝てしまったか ここでどうやって自分を守るか お手並み拝見としよう
そして彼を起こしたところ この聖者が目を覚まし彼を見て 彼は灰と化したのです なので自分の仕事を 移しなさい
もっと能力があり 上手くできる人に 自分で抱えこんで 直接さあ来いと戦っても 勝てません いわゆる
血みどろの戦いになります 誰かに任せなさい 友達になるなり おだてるなり何でもして ポイントは悪を取り除く ということで
この場合はその悪魔です だから誰でも良いのです 彼は沢山の トリックをかけました マハバーラタでは
ビシュマは神の恩恵のために 自ら望まなければ誰も彼を殺すことは できない というものでした なので シュリ クリシュナは
トリックを使うと決めました そしてアルジュナに言いました 自分は馬車の御者をするだけで アルジュナに言いました
彼を矢の上に 寝せるようにと 矢の上に寝れば 死を選ばしかなくなると ドロナチャリアは アルジュナの偉大なグルですが
カウラバス側についていました どうしたら殺せるでしょう 彼は弓に関する あらゆる技を持っていました
どうすれば良いのでしょうか 彼は弓の達人で アルジュナは彼の弟子なのです どやって彼を 止めるのでしょうか どうしたら彼が
アルジュナの矢に 反応するようにできるでしょう 彼は達人だから反応しない どうするかです そこで
クリシュナは特別な方法を 編み出しました 彼はシカンディという宦官を 連れてきました 彼がいかに宦官になったかは おいて
とにかく有利です そして彼をアルジュナの 前に立たせました 宦官はインドでは 女性扱いになります
ドロナチャリアは戦えない と 女性を殺すわけにはいかない と こうして ドロナチャリアに勝ちました
こうやってトリックを使ったのは 悪者を成敗するためだったのです あなたが出来ないときには 誰かに頼めばよいのです
悪を取り除くのが 大事だからです 謙虚に自分よりできる人に頼めば 自分で戦うよりずっと効果的です 無茶は
何の役にも立ちません マハバーラタを見ると終始 シュリ クリシュナはトリックをしています
軍隊全部と私とどちらかを選ぶように アルジュナに言いました カウラバスは 軍隊を選びました アルジュナは
クリシュナを選びました しかもクリシュナは戦わずに 戦車のドライバーをしますと言います でも彼はトリックのマスターです
武器なんか要らずに 何だってできます なのでアルジュナはドライバーでいいと 受け入れたのです
逐一全てを分かっていたからシュリ クリシュナはいつも微笑んでいました 誰かに相談されると 私も微笑みそうになりますが
我慢するようにしています 見られたくないから でも何をしているか トリックは何か 分かっています
皆さんもトリックに長けていて 色々知っているでしょう 人がトリックをかけて来たら わかるでしょう
そしたら微笑みなさい 優しく微笑んで そうね そうそう そのとおりと これによって人間関係が とても良くなります サハジャ
ヨガで よくある例は “リーダーにお前はブーティッシュだと 言われました”というものです もう一人来て“私はお前は
ブーツだ”と言われました さらに“私はひどいブーツが お前には入ってる”と言われたと これら3つの違いは何でしょう と
なぜ人にブーティッシュだ とかいうのでしょうか 必要ありません 分かるならレフトスワディスターナを
治すように言えば良いのです どこかのグルについていたか 聞いてあげなさい その人が良い人であるなら
なおさら大事なことです ただ外からの悪影響だから 取り除けばよいだけと伝えなさい
ただしアギアとレフトスワディスターナ のキャッチがある場合は お役に立てませんと言うことです
ずる賢いと分かっているからです それと戯れても無駄です 私たちはそれも忘れて だれでもどうぞ となってしまう
誰でもサハジャ ヨガが できるわけではありません 全人類ではないと 知りなさい サハジャ ヨガは 探究者であり
その上勇氣ある人にしか 与えられません ニーラと呼ばれる人たち向けで 普通の人向けではありません
私たちはオープンだから いろいろな人が来て 困った人のために 一生懸命してあげも 彼らが問題を起こすと 分かるのです
まずはシンプルな人達を 相手にしなさい シュリ クリシュナが 牛飼いと戯れたように そのうえで難しい人を扱うときには
コレクティブで対処できるか見なさい でもヒトラーやラジニーシのような人を 変えようとしても無駄です サハジャ
ヨガでは無理なことを しようとしなさい シュリ クリシュナは自ら それを示しました 対処しがたいことを 避けたのです
彼はその達人でしたから やつてのけました もちろん彼は自分に向き合い マスターする必要はなく 彼はヨガの神なので
全てを知っていました 全てを知っていれば マスターする必要すらありません 逆に自分がどれほど知っているか
恐れを感じるほどです 人に関わるときに 一番良いのは サハジャ ヨガで自分がどんな人間か 何の専門かを良く知ることです
どれほど常に自分に向き合っているか 見る必要があります なぜ私はそんなことを 言うのだろう 自分の心に 何が足りないのか
自分の中のネガティヴィティを はっきりと見なさい 何度も言ったように 西洋のネガティヴィティは心が常に
楽をしようと働くことです 働くことを嫌がります 例えば 誰かに 電話をかけるように言うと すぐに言い訳が
10個返ってきます いないかもとか 奥さんが怒るとか 仕事中心とか もう10時だとか あれやこれやです
電話はそこにあるのに かけようとしなさい 100個の言い訳 新しい言い訳は コンピューターの不具合とか

ファックスの不具合とか あなたの脳ミソ以外は 全部働いているのです それが逆で 自分の頭は働いているけれど別の何かがだめだということです 明かりがないとか なんてあれ言い訳になります でもどうして解決策を見つけれないか学ぶべきです 何かしなくては と 例えば前にもいったように 根っこの先がどうやってあちこち探しまわることで 水分を見つけだすか 同じように私たちも これがだめならあれでとしますか それがだめならこれをしようとか 何もないところから 多くを達成できるのです でも いつもあなたが出来ない理由をいつも探し出すならどうでしょう シュリ クリシュナは違います 彼はヴィラータの 神の化身です マスターの中のマスターです ドロウバディは 危機の際に 彼女はヴィシヌマーヤで 彼の姉でしたが シュリ クリシュナのことを 思いました ドゥリヨダナによって サリーをひばられて 彼女はこうして クリと言いましたが そうやってくわえていましたが シュナといった瞬間にサリーが離れました シュナというと サリーが落ちてしまいます サリーは落ち シュリ クリシュナについて 述べました ドワリカ メショラバヨ ショラバヨバリ シャンカ チャクラ ガダ パドマ ガルル レイ シダーリ この音がハスティナプールから ドワリカに数千マイルをこえて届き その音はチャイタンニヤを 通ることで増幅され シャンカ チャクラ ガダ パドマ これらはもちろん武器ですが 全てをもって彼は ガルーダにのり現れます 姉の純潔を守るために あっという間です その瞬間に自然とです サリー 1枚くらいなら後でも大丈夫とは 言いませんでした 皆が私にプージャで 沢山くれたサリーを 彼は取っていったに 違いありません そう感じます でなければ どこからサリーを用意したのでしょうか 私の倉庫からでしょう そのために あなた方はサリーを沢山くれたのです それで彼は多くの女性の 純潔を守っているのです これら全てが 関連した一つの出来事で 壮大なドラマが繰り広げられて いるのですが 見えません でもあなたが自分を信じ 自分がサハジャ ヨギであり 自らの性質と存在 その価値を信じるのなら あなたは間違いなく マスターになれます でもまずもって自分のリアリゼーション の価値を知りません どれほど能力があるかも 知りません まだ自分が平凡な人間で 大学をでてからリアリゼーションを マザーから授かっただけ だれも大学を出ていません キリストも ラーマも大学にいていません クリシュナも大学に行っていないし キリストは大学をでていません 普通の大工の息子でした でもあなたはリアライズソールであり ながら自身の価値を知りません それが分かれば 何にでも微笑むでしょう あなたは世界の頂点に 位置しているから それさえわかれば 習熟してくるでしょう でなければ師が弟子より 下に甘んじているようなものです だからといって支配するわけでは ありません 責任を持つのです 完全に受け持つのです あなたは何でも分かっているし どうすればいいかも分かっています この習得が必要です あなた方皆に それが全く可能です ですがまず自分を修める 必要があると知りなさい そういうとすぐに“マザー 自分が一番難しいんです” 私にはわかりません 人を修めようとするくせに 自分を修められないのですか あなたは常に自分と一緒に それがあなたの財産なのです 人の資産を正すことができるなら 自分のも正せるはずですが た易いことであるはずなのに 自分のものだという確信がありません 自分にできると思っていない できます 今や自分を知っているのです ならばマスターするべきです 自分を見て観察すれば 自分がすべてのトリックを 知っていると気づくでしょう ユクティです 私があれこれと 言う必要はありません 自分で対処できます 私たちは細々した事は 沢山知っています 何かが落ちてくるなら これで支えればいいとか スピリチュアルな生活は 最もた易いはずですが あなたが 知識の大海だからです ただあなたに知識があることを 知らなければ 人と関わる際の トリックが分からないでしょう 人とコミュニケーションする目的は 世界を救済することだからです 無知から救い出すためです そのために習熟が必要です 無意味なことで迷わず 習熟してくためには 早朝の瞑想が必要です まずそれです そして自分に向き合いなさい 常にです なぜそんな事をいったのか ああ あのせいだな と この言葉はあの人から 来ているな 自分に向き合うと 驚くべきことに あなたは常に現実を避けようと ところを使っているのです いつも言いますが ところはあなたを欺きます 最後は シュリ クリシュナは 劇のエキスパートだということ 彼はドラマをつくり それを自ら演じ 更に観客でもあります あなたも この3つで自分を見なさい 自分のドラマをつくり ああ ここはこうか どうやって演じるとしよう そしてその観客にもなる 自分のドラマの 観客になりなさい すると分かるでしょう 自分が何をしていた どうやって進めているかを すると私たちの欺瞞は 常に自分を欺いているものが すっかり消えていきます 芸術家が同時に 鑑賞する側と知っていれば 演者が観客でもあると 意識していれば 自分を欺くことはないでしょう それが演技と知っているからです 自己欺瞞は避けるべきです 直面しなさい でも他の抜け道があります 例えば“手紙を書いたら”というと “分かっている” “手紙書いたほうが良かったん じゃないの お世話になったし・・・” “わかっているよ” “何も連絡しないなんてひどくないですか・・・” “わかっている！” “自分が悪いし ひどい人だし バカだし” “自分が悪かった、全部わかっているよ！ だから何なの”と 自分が悪いと認めたら それで終わりです これは新しい逃げで シュリ クリシュナの時代には なかった現代版です 自分は悪人ですが それが何か これは第2段階です 第1段階では、分かっている！ 第2段階では、だから何？と進化します こうして脱線が始まります こうして あちこちと揺れ始めます 知っているのに どうして直せないんだろう そうあるべきです 自分でそれを分かっている 知っているなら直すトリックも 知るべきです 自分が正そうとする人格から 離れているから 自分を正せるのです そもそもヨガとはそういうもので 自らの意識が神と一体になり 自分の執着を離れて 見ることができて 全てに対する執着が無くなります そしてあなたに来る力は あなたを通して執着に働きます 状況がガラッと変わります

サハジャ ヨガでは 全く変わります 悪い人が サハジャ ヨガにくと 追い出されるか 正されるかどうかです
悪い人は正されるか 追い出されるかです 現代はシュリ クリシュナの時代より 進化しているようです
彼はアルジュナー人に教えたが 私は数千人に知識を与えています 当時は戦時下で 今は平和な時代です シュリ
クリシュナはリアリゼーションを 与えなかったのですと進化したのです あなたはリアリゼーションを得て
全ての精妙な知識を持っています 現代というのはそういうもので あなたはすでにヴィラータの一部です
あなたはヴィラータを見たことが ありませんが すでにその一部なのです あなたは見ているのではなく その中にいるのです
それによって サハジャ ヨガから追い出されるのは 自分を見ないことだけで そうならないように 自分自信を良く見て
自分を正し ヴィラータと一体になることです これがヨゲシュワラのサインです そうやって笑顔でもって 全てを知りつつ
皮肉をいわず 父親の様な笑みを浮かべる そうあるべきです 全ての人に対してです すぐに人は分かるでしょう
小さい子は特にです 子供は極めて親に対して 保護的です 心配しなくても大丈夫 神様が守ってくれるから と
本当に可愛いものです とても優しくて 世界が癒されます 子どもや赤ちゃんから 学ぶことが沢山あります そして内なる
ガネーシャの原理を持って 働きかけるべきです 無心さが最も効果的で なので皆さん 自分に向き合ってください 自分を責めず
正して尊敬しなさい そして自らの栄光へと進んでいきなさい 神の恩恵がありますように！

1991-1013, 6th Day of Navaratri, Recognize Me

[View online.](#)

Navaratri Puja. Cabella (Italy), 13 October 1991

今日はナヴァラトリ プージャのために 集まりました これまでに9回 宇宙的母性が化身しました 目的があつてきましたがそれは帰依者 弟子達 子どもたちを守ることです それは 結びつける愛でした 愛さざるを得なかったのです母の愛は結びつけます 彼女は愛さないわけには いかないのです 彼女はそれを表現し 働かせ 子どもたちに守りを与えますこの守護が現代において もう一人の姿で現れたのです 当時悪が 正しく 善行をつみ 信心深い生活をしようとする人を 害し破壊しようとしていました そこで 彼らを守るために 彼女が受肉したのです 彼らは何が悪で 間違っているか自覚していて 貴重な一生を善く 保とうとしていました 金銭や権力にも 興味がなく ただ女神を崇拝するために 覚醒を欲していましたが彼らが悪に害された際に 彼女が現れる必要があつたのです しかし 現代は複雑で それに伴い状況も複雑です まず社会生活 日常において 善い人に間違つたことをすることに 対する恐れが入り込んでいます 彼らは司祭や教会 寺やモスクを恐れますが全て誤っています 彼らは神を恐れず 信じません 自分たちが神を作り 操れると思つています 態度を見ていれば彼らが畏れ多い 神の存在を信じていないのは明らかです 自分たちに何が起るのか 全く心配していません 生まれ変わりも復活も信じていません 近視眼的で あらゆる悪行さえ行っています さて あなたには産まれた途端 あるブランドが与えられます あなたはこれ あなたはあれと 生まれて直ぐにです つまり宗教がまず 現代人に与えられるブランドです 避けられません何らかの宗教に 属することになります どこかに行くにしても パスポートに書かなくとも “あなたの宗教は？”と訊かれたものです インドでは無宗教だと パスポートすら取得できません まだ悪人やその弟子の資格を持っていないからです なので正しい善良な 神の信仰者が “これを支払わないなら パチが当たる”とか “告解しないなら神の怒りを買う” などと脅され 恐れを 植え付けられるのです “我々のナンセンスが耐え難いなら神の怒りを買うでしょう”と このようなことが人々の脳に 簡単に入り込んでいったのです 飲酒を罪としない宗教や一夫多妻を罪としない 宗教もあり 身分制度を認める 宗教もあります 全て神に反しています そして それらがいわゆる聖職者と呼ばれる人々によって 社会的に続けられています なのでサハジャヨガを始めるときはまずこのようなひどい条件づけがあり 新しいことを始めるのが 難しいとわかるのです ですから母がまず守るのはこの条件付けからです 第二に 国の条件付けです どんな国に あなたがよいとです 近頃はどの国も汚職やマフィアなどのあらゆる問題が 競うようにでてきています どの国でもです 突然明るみにでます 国を信用していたら “彼らはある人物を秘密裏に 援助していたんだ”と 彼らが民民的であろうとなかろうと ある名目で暴力団が関与しています いわゆる法も 騙されやすく 純粋な市民のためであつて 法をまとう側の人間のためではないのです あらゆる収賄をしていながら 法の番人であり続けます 自分たちが法を作つたので 違法行為の仕方も心得ていますこれが現代人の 第二の恐れです 三番目は戦争です 多くの戦争が起こりました 多くの者が戦争を恐れ その反動として自分を守るための 愚かな工ゴを発展させました 自衛のための工ゴにより 今や彼らは攻撃的な人々になりつつあります この種の広義の恐れは 何処へでも向かう 可能性があります それで人種問題 差別が起こります ネオ・ナチズムが 小さなヘビのように 台頭しつつあると聞きました これも昨今の とても危険な動きです 今日 探求者はあらゆるグルにつき 本を読むなど 探求を続けています その過程で汚れた水を飲み 病気になりえます あなたは探求していて乾いていたのです 許されるべきです このように多くの問題が 身体のみならず 脳にも起こりますそれは微妙なことで “あのグルについたんですね”と言っても グルという言葉が出たら最後 聞く耳をもちません彼のグルに反することは 何も言えません その人が悩みだせば 聞こうとするかもしれませんが心からグルを手放させようとする と 彼も傷つくかもしれません とてもデリケートなことです 現代社会については言葉にすることも憚られます フロイトのようなモラルも人格もない 人々によって現代社会の概念ができ 飲酒が崇拝されてこそのいながら それによって価値感を葬ろうとしています 飲酒は前からありましたが今日では誰もが酔っぱらいになる 可能性があります そして恥じていません その飲酒により 私達の価値観が傾き始め人々はそれを普通だと 受け入れてしまいました これが新しい価値観です 以前なら子どもが 神の道に入ろうとしたり 善良でより高い価値を求めるなら 親はそれを喜んで支持したものです しかし昨今ではそれは反対で 親はそういったことを好みません まるで親は全てを 失つたかのような反応をして 子どもや孫を 束縛しようとします完全に洗脳されてしまい 何も頭に残っていません 親と戦うことも 大きな問題です この恐れも大きく “お母さんやお父さんに知られたくない”といひます 四方八方から恐れが炎のように 迫っているカリ・ユガの時代に 私達は サハジャ ヨガを始めましたなので双方向から 守りを作る必要があります 母ももちろん常に あなたを守るためにいます 彼女の力は あなたを守るためですがしかし驚くことに ある条件があります 以前は善は善 悪は悪で 区別がはっきりしていましたが

なので女神に祈ると人々はそれを受け入れ　　女神が現れ　　働いたのです　　ですが現代では人々の脳のあちこちに
微小な悪が入り込みました　　人々は極めて表面的です　　大衆に流されがちで　　ファッションやら何やらを取り入れます
かつて女神の帰依者は　自分が善良であることに自覚的に行動し　自らの脚でしっかりと立っていましたが　今は人格が未熟です
なので現代のサハジャ　ヨギは　かつてとは違います　かつては数十億人に一人が　リアリゼーションを得て　その後も
大変苦労しました　その苦行により浄化され　自己を確立し続けたのです　時間を要する芸術は　注意深く制作されます
現代美術の数本の線よりも　間違いなく何千倍も価値あります　現代人は　この現代美術家のようなのです　線を一本引いて　“人の中に
アイデンティティをみるべきだ”と言いますが　どこにそんなものがあるのでしょうか　たった一本の線です　サハジャ
ヨギ達は　このような状況にいて　悪に囲まれていることを　自覚するべきです　私達の中にも　外にも存在しています
難しいことのように　思われるかもしれませんが　一つだけすればよく　それは　私を認めるということです
確かに私はマハマヤで幻惑的かもしれませんが　同時に正直です　うそ泣きはしません　正直ですが　それでもマハマヤです　では
私を認めるために　何をするべきでしょう　それができれば　あなたは守られます　浄化はサハジャ　ヨギではシンプルで
コレクティブになることです　コレクティブでないなら　あなたの何かがおかしいのです　コレクティブであるなら
ガンジス川で沐浴をしているようなものです　ヒマラヤに行ったり　個人的にサダナ（行）　をする必要はありません
ただコレクティブになりなさい　コレクティブになり　楽しんでいるなら　あなたは清浄で　汚点がありません　完全に大丈夫です
第二の幻は　私があなたの側にいることです　直ぐ側にいる　必要がありました　近くにいて話し　関係をもち　ヨギと自己について
全てを教えるためです　あなたには　心身の合併症がある中で　全てを伝えなければ　ならなかったのです　現実の姿で近づくのが
危険だったので　マハマヤとして近づきました　私が聖なる神格であり　全ての神々が求める者　インカーネーション（神の化身）
であると分かるなら　すべての神々が　あらゆる助け　力や満足　そして守護を与えるでしょう　これは理性的な知性で
理解するにはとても難しいことで　いかにアディ　シャクティが　人間の身体になったのでしょうか　どうやって無限が
有限に現れたのでしょうか　人間にはできないことです　人間には無理ですが　神には可能です　神はやはり神なのです
であるなら写真などの　多くの奇跡があり　それを分かるべきです　私が人々に話す際に　マハマヤである私を理解せず
私に対して軽口を叩く者がいます　口答えする者さえいます　私が何か言うと言いつくする者がいます　こういった自由はあえて
私があなたに与えたものですが　アディ　シャクティに話していると　理解することが非常に大切です　次にあなたの態度が
とても大切です　決して表面的であってはなりません　両手をハートに当てて　感じるのが一番いいでしょう　あなたの母は　アディ
シャクティでこの宇宙を　世界を創造し　あなたを守っているのです　シュリ　クリシュナですら　パンダヴァスを守れませんでした
彼らは森へ行って苦しみました　サハジャ　ヨギは違います　あなたの問題に気づくと　たちまち私の注意が働きます　シュリ
ラーマ自身ジャングルに　行かなければならなかった　あなたが全て与えられているのは　真理を探究したからで
その真理とは私がアディシャクティの　化身であるということです　この真理が　あなたと一つになると
神々がそれを知っているために　恐れるものはなくなります　彼らはこの化身について　よく知っています
あなたの信仰を具現化するために　なんでもする準備があります　写真や空などを通して
何とかしてあなたに与えたがっています　神は彼らが今日　何をするかを知っています　彼らはとても　気にかけています
ステージの後ろにも　前にも　四方にいて　私の話を聞いていて　私が真理を話しているので　上機嫌です　彼らは私を認め
決して反抗しません　同じように振る舞えば　あなたも今日話した　あらゆる問題から守られるでしょう　これをするな
あれをするなとは言いません　何かを盗むなとか　サハジャ　ヨギで利益を得るなとか　何も言いません　飲酒や喫煙するなとも
言ったことがありません　しかし自動的に　誰を前にし　誰に守られているのかが分かれば　自然とやめるでしょう
恐れはなくなるでしょう　認めれば　誰も恐れなくなるでしょう　認めるほどに　分かるほどに　あなたはあらゆる意味で　精神　心理
社会経済　政治的に上昇するでしょう　あなたを愛する　母としてだけでなく　守る力を持った母であると
あなたが分かることはすごいことです　非常に強力です　あなたがそれを知り　心に感じるのであれば　例えば私があなたに
注意したとしても　“アディ　シャクティ自身が私を　気にかけて注意してくれた”と思うでしょう　“この時代に生まれ　彼女の偉業の
一翼を担えるのはなんて幸運だ”　“どうしてだろう”と　こうやって認めることだけで　ナヴァラトリの全ての神々を満足させます
さて　今日は　ドゥルガやカリなど　全ての女神と　その力を崇拝しています　ラダもです　カムサを殺害したのはラダで　シュリ
クリシュナではありません　彼はラダに頼んで　成敗してもらう必要があったのです　その力には　殺傷力があります　だから
あなたのお母さんが　アディ　シャクティであると　分かるかどうかなのです　多くの人が分かっています
ロンドン空港で働く紳士を　困らせようとした者がいました　“気をつけた方がいい　私の母は
非常に力を持っているんだ”と言いました　次の日　その人は仕事を失い　事業を失いました　彼はその紳士のところに戻って
“あなたの母親に会わせてもらいたい”　と言いました　ラフリの近郊の農家に　サトウキビ泥棒が入りましたが
翌日犯人が戻ってきて　“どんな女神を崇拝していますか？”と訊いたそうです　“何故？”と訊くと　“3人のいかつい男たちが
土地を見張っていて”　“サトウキビを盗みに入ったら　彼らにぶたれました”　“怪我はしなかったけれど”　といったそうです
認めることさえすれば　背後にはこのような力が有ります　以下に力が働いたかの話が　本当にたくさんあります
でもあなたが未だ疑っていたり　気持ち半分だったりすれば上手く行きません　自分の評判を　気にする必要はありません

あなたはアディ シャクティである 私の子どもだということを胸に 全速力で どこにでも向かいなさい 酷いと思っていた状況は 全て良くなります フランスのケースでも よくわかります 何の心配入りません ただ私が アディ シャクティと知りなさい 神と女神の全ての力が 私の中にあり あなたを世話します でも認めないと 彼らとてあなたを認めません 今日のナヴァラトリでは あなたはドウルガのみでなく アディ シャクティを崇拝することを 心に留めて下さい ドウルガや全ての女神を崇拝し 敬意を払います かつて恐るべき時代に 彼女らに救われなければ あなたは道を誤り ここにはいなかったでしょうから だから我々が無力だった時に 守ってくれたことを感謝するのです 神の恩恵がありますように！

1991-1206, シュリ ラジャ ラジャスワリ プジャ

[View online.](#)

シュリ ラジャ ラジャスワリ プジャ 1991年12月6日

インド、マドラス 今日、シュリ ガネシャ プジャを行います その前にラジャ ラジャスワリのプジャを行います
女神はいろいろな名前と呼ばれました 詩人アディシャンカラチャルヤは女神をラジャと呼び ラジャ ラジャスワリは
"女王の中の女王"という意味です。 西欧では聖母マリアのこともそう呼びましたが、 これは異教から来ています。
聖書の中に 描かれている聖母からではありません。 つまり、何回も 聖書が書き直されたの事を示しています。
それだけでなく インドの聖典であるギタさえも書き直されています。 そのため全宗教は間違った方向に逸れ始め、
知識人はそれを利用し、 自分自身の考えを主張し始めました。 彼らが言ったり、書いたりしたことは
神聖な神とは全く反したものでした。 あなた達はこの地球上で最も幸運です。 なぜなら、現実を発見したから。 たとえば
神話が真実であり、 知的なものは事実でないということ。 人々を分離する為に使われたものは
真実ではないということを知ったから。 私たちが全ての宗教を信じているので いわゆる信心深い人々は
私たちに反発しています。 なぜなら、彼らは一つの宗教のみを信じ、
その他の宗教に対して戦わなければならないと思っているから。 全ての宗教を信じるということは
全く信心深くないという考え方です。 彼らにとって、私たちが全宗教を信じることは
全てのインカーネーション(化身)を尊重し、 全ての神の統合を信じていることはショッキングなのです。
シュリガネシャを知ったことは、 西欧人にとって大きな驚きだったに違いなく、 インド北部でさえも、シュリガネシャが
インド南部程、崇拝されていません。 特にこの地域とマハラストラには 8つのガネシャスワヤンブ(swayambhu)があり
皆、それを信じています。 盲目的信仰だと言う人もいますが、 あなたはシュリ
ガネシャが私の後ろに立っているのを見たことがあるでしょう。 私の中にいるガネシャも。
つまり、ガネシャという神格は存在するということです。 シュリ ガネシャの半分が見えて、
半分は私のサリーが見える写真も見たいでしょう。 これは全て シュリガネ-シャという神格がいて
ムーラダーラを通して、実際に活動しているということの証です。 この知識はインド人には知られていました。
何千年も前から。 このクチプディダンスも紀元前7世紀に始まりました。 つまり、シュリ ガネシャに関する知識は、
何千年も前からあったということです。 だからこの国の人々はスピリチュアルに進化した。 聖人とは何で、
どんな姿で、どんな役割があるか知っていたのです。 隠された知識ではあったが、 聖人の言うことは何でも受け入れました。
そのことに関してエゴがなかったためです。 不可解なのは、 西欧人のエゴがなぜ、こんなに強くなったのか
今だに良くわからない。 エゴを通して、なぜこんなにアグレッシブになったのか 競争のせいだとか言う人もいますが、
どちらかというと西欧の歴史である、キリストは 謙虚さ以外何者でもないことが
はっきりとあらゆる文書に表されているにもかかわらず、その信者は アグレッシブです。
私たちが理解しなければならないのは謙虚さです。 謙虚はヴィナイvinayと呼ばれ、 シュリガネ-シャの特質である- Vinayaka
"Vidya vinayen shobhate" "知識は謙虚さだけで飾られている。"という意味です。 昨日偉大な芸術家の謙虚さ
そこにいた偉大なグル(指導者)の謙虚さを、 またアカデミーに私を招待してくれたグルは 数多くの奉納を行い、
まるで、女神に奉納するように 私とサハジャを 受け入れてくれたことに感激しました。 このカラクシエトラKelakshetraは
神智学協会(Theosophical Society)に支配されている 彼女は神智学協会のことはあまり気にしませんでした、
この大きな講堂を作り、 全てを芸術に捧げた 神智学協会の人をその中に入れることは許可しなかったが
私をこのように受け入れてくれました。 彼らの献身と理解がわかります。 聖人に対して謙虚になるということは、
この国の暗黙の法律です。 聖人に対するチャレンジや独占は許されず、 聖人が言うことは全て、受け入れなければならない。
シュリ ガネシャが私たちにあたえてくれるのはvinay - "vinay"とは謙虚さです。 謙虚さとは表面的ではなく、たとえば
"ごめんなさい"とか"すみません"とかではありません。 見た目や口先だけではなく、謙虚さは
自分の中から出てくるものでなければならない。 謙虚さはエゴによって、失われます。 エゴは人を惑し、
自分のエゴに気がつかない。 私がエゴのことを話すときも、 マザーは他の人の話しをしていると思い、
"エゴがあるのは自分自身だ"とは思いません。 シュリ ガネシャはエゴを殺すことができる なぜなら、謙虚さのみが
エゴをなくすことができるからです。 謙虚になるため、何をを見なければならぬか? たとえば、皆さんが来たこの国には、
とてもシンプルな人達が所有物もほとんどなく、シンプルに暮らしています。 身の回りに洗練されたものは持っていない。
葉やプラントの上の食べ物を手で食べています。 ここに住んでいた西欧人は、
これらの人々は皆、原始的だと言った人がいた。 でも、この芸術を作り上げてきた業績を見ると、

このような素早さ、このような飛び方でも なかなか達成できるものではありません。 なぜこのように努力するのかそれは芸術に対する謙虚さからです。 芸術は尊重されるべきで、 グルは尊敬されるべきです。 尊敬がなければ、物事を学ぶことはできません。 インド人の血の中にそれがあると思います。 暗黙にグルに従わなければならないということを知っています。 そして、グルは多くの人々を指導している。 ここにはたくさんの女子がいますが、 グルの芸術を表現するためだけにいます。 グルはあまりお金をもらってはいません。 所有物もあまりない。 また、お金もあまり請求しない。 しかし、彼の献身は まるでシュリガネシャが母に対するような献身です。 完全に没頭しています。 他に大事なことも何もない。 謙虚になるため、あなたは注意を他に向けてはなりません。 これは非常に大事なことです。 もしあなたの注意が、他の問題に向けられるなら、もし、あなたがサハジャヨギに 他の理由で来るなら、うまくいきません。 心から謙虚に完全に謙虚にならなければならない。 彼は純粋なので、謙虚です。 純粋でなければ、謙虚にはなれません。 純粋かどうかの証拠は謙虚さでわかります。 良い子供、純粋な子供は非常に従順で、 何を言っても従います。 私の孫ですが、-以前ネパールに行った時、 とても寒かった。 孫の母親が”子供達は頭に何もかぶろうとしない“と言ったので、 私は“1分でそうさせましょう”と言った孫を呼び、ありふれた布切れを渡した。 “頭を覆いなさい”と言った。“はい” 子供達はそれを頭に覆いました。 きちんと覆って、形を整えました。 見た目は少し変だったが、子供達は気にしなかった そうすることが欠けているのです。。 だから、深さが足りないのです。 コンディショニング(様々な環境的条件)だけではないそうとはいいません。 コンディショニングを超えた インド人でさえそうです。 謙虚になるのは非常に難しい。 かなり難しい西欧の影響というかもしれない。 または 過去を忘れてしまったのかもしれない しかし、謙虚さは非常に大事です。 子供の頃から、私の場合、 キリスト教の家に生まれたが、まず母なる大地に触れて、 許しを願わなければならなかった頭を下げて 両親の足元に触れる。 家族の長老たちも足元も-そうでしょう。 家族の中で年長の人々の足元に触れるたとえ、年老いた召使でも、年上の兄弟の面倒を 見てくれた召使の足元もです。 そのような謙虚さが欠けています。 また、年長者が持っていなければならない尊厳も欠けています。 とにかく足元に触れるのは私たちの義務で、年長者の話はしない。 これがサハジャヨギの美しい雰囲気を作ります。 しつこく“これをするのは謙虚か？”と聞きなさい。 “こういうことをして、これを言って、謙虚だったか？” 現在の問題はリーダーに対する批判である リーダーはふさわしいからリーダーになっているわけで もし、良くないリーダーだと分かった日には、その人を追い出します 皆さんもよく知っているでしょう。 それでも謙虚さが無い。 謙虚さはエゴに置き換えられ、そのエゴが リーダーの中にエゴを植え付ける。 リーダーはエゴイスティックになり、多くのリーダーが 追い出されました。 いったい、いつ、バランスが取れるのかわからない どちらを責めたらいいのか？メンバーなのかリーダーなのか とにかくマザーがリーダーを任命したのだから 謙虚になりなさい。 それには何らかの 理由があるはずで、なぜリーダーと喧嘩したり、リーダーのあら捜しをしなければならないのか？ まるで、リーダーに対して結成した組合のように シュリガネシャはとても謙虚で、彼の ganas(天使)はある意味ではもっと謙虚です。 なぜなら、かれらは 母親に対して、謙虚でないガナを決して許さない。 ほんの微妙な目の動きを見ながら戦う準備をしている そして、言われたことは何でもする。 彼らは母親の全ての目線の角度を理解し、 何をしなければいけないかわかる このような献身のみがあなたをさらに深くさせる。 ところが西欧でのやり方は 私たちをもっと広げ、宣伝し、 自分のことをもっと話し、自分のことをもっと自慢しなければならない そうすればするほど、成功する そうすることが毎日見られる。 ”信じる“と言いはる。 信じる、信じないと言っているあなたは誰？ そうことを言っているのは誰？ あなたの自らのイメージはおそらく 偉大なパーソナリティ-とか、プロフィールを持っていることでしょう それで、プロフィールを作る。 全くだけの、ナンセンスなものを 驚くことに、そのようなうわべだけのプロフィールに、 人々は頭を下げる。 おそらく、その人々も見せかけだけなので そのようなうわべだけの人に頭を下げるのかもしれませんが。 驚いたのは、有名な詐欺師がいて、 みんな詐欺師だと知っているのに それでも、人々はその詐欺師の前で土下座をすることです。 たぶん何らかの物質的な利点が欲しいのかもしれない。 何らかの表面的な利点。 そのような人と一緒に写真をとることさえ、素晴らしいこと思われています。 このような考え方はサハジャヨギとしての目を通して見なければならない。 彼らのジョーク、ドラマ、何が起きているのか それを思い起こして、自らに問いかけ、 ”自分に中にはそういうものはありませんように“と。 時々、私たちは他人を笑うことがあるが、自分達もその仲間に入っています。 一度、自らに問いかけ始めると、自分に中にそういうものを見ることが出来る。 “はい、それはあります”と。 ある国のあるサハジャヨギは 報告を受けましたが、突然、 “マザーから特別なパワーをもらった”とか “私はマハマタジ(偉大な母)”とか そう言った人がいた。 私でさえ、自分がマタジだと一度も言ったことがない。

あなた達は私をそう呼ぶが、自らそう言ったことはありません。しかし、彼は"私はマハタジ"と言った。頭がおかしいと言うかもしれないが、これは傲慢が強くなり、本人も自分が何を言っているのかわからないです。同じように、あなた達のリーダーを攻撃することで、リーダーの工ゴを強化するのです。攻撃すればするほど、人は反応をし、反応すれば工ゴが強くなります。今日は先ほど話したように、ラジャラジャスワリRaja Rajeshwariを崇拜します。今まで皆さんの前でこう言ったことはない。グルギータを読みなさいと頼んだこともない。また一度も聖母マリアが"ラジャラジャスワリだ"と言ったこともない。なぜならそう言うとなあなたの工ゴを助長するからです。なぜ彼女が女王中の女王でありえるのか？とかもちろん、キリストの母と呼ぶのはいいが、Matajiではない-それは言い過ぎ！と。だから私は一度もそう言ったことはない。"ババ、わたしは謙虚な母です。それだけ。聖なる母です"で終わりです。それで困惑するかもしれませんが、何であれ、問題が何なのか理解できました。私たちは非常に滑稽な方法でいろいろなことをやりくりしてきた。このようなアーティストや、人々がものを創造しているのを見ると、装飾などに関するあなたの考えに合っていないかもしれないと感じるたとえば、あなたはこれは派手だとか、頭のなかで、見るがままに言うかもしれない。"もう少し地味でもよかったのではないか"とかぼんやりとした感じでもとか批判を始めるかもしれないそれは謙虚でない人の特徴で、自分には批判する能力があると思っている。"この色が好きではない、これは良くない"としかし、アーティストは心を込めて創作したのだから-感謝しなさい！第2の点は感謝すること人生に感謝しなさい；それが何であろうと、感謝し、それを受け入れなさいそれもいいやいやではなく芸術はこうであり、ああであるという考えが頭に中にあるがためにレンブラントやミケランジェロのような人がもう出なくなってしまう。-もう終わりです。芸術は決してメンタルなものではない。これは、内部から出てくるもの内から湧き出てくるものは外からのアイディアとは比較することができない。だから感謝しなければならぬ。インド南部の人は、非常に派手なドレスを着ていると言うかもしれない。しかし、わたしにとってはそうではありません。他の人はまた違ったことを言うかもしれませんが。気が付いたのですが、インド北部の人は、インド南部の人を批判し、南部の人は北部の人を批判するしかし、それが何であれそこから良いものは生まれぬ。それは愚かなことです。でも、感謝して、受け入れれば、吸収することができる。インド北部の人はインド南部の料理が好きではない何を食べても好きになれないまた、音楽も好きではないあなたは、想像することができますか？インドが2つに分かれてインド南部の人はインド北部の料理が好きになれない北部のダンスも好きになれないつまり、私たちの国の中で我々は、全く分離している。ラメシュワラム (Rameshwaram) の人はマドラスの食べ物が好きではなく、マドラスの人はデリーの食べ物を好きではないとかこのような分離、対立は、生来の謙虚さがあなたにないからであるもし、全てのもの、全てのことを楽しむことができるなら、あなたは謙虚です。もし、あなたがすべての表現を感謝することができるなら、あなたは謙虚です。この謙虚さは、非常に奥深い所から来ている特質であるそれはムーラダラ (Mooladhara) から来ているそして、それがシュリガネーシャちょっと想像して下さい。彼はネズミに載って移動するインバラ車やロールスロイスは持っていません。大きなお腹のシュリガネーシャは小さなネズミの上に載って、移動する権力的主張はなく-とても謙虚で、かわいらしい。でも彼はすべてのリズムやヴァイブレーションの生みの親である。彼なしでは、この世界がどうなっていたかわかりません。それこそ私たちが、本当に感謝しなければならぬ存在です。あらやこれやと批判する代わりにたとえば、この部屋の色もあなたは好きではないかもしれないそのように、好きではないものがたくさんあるそこで私は聞きたい。"あなたは何が好きですか?" "ベイクドビーンズ"- いいでしょう！私たちは心を開かなければなりません。謙虚さを持って、心を開き、深く入り込み、広げなさい。謙虚さがなければできない。すべてのものに反対し、異議を唱えれば、壁を作ってしまう。唯一、謙虚さだけが、あなたを広げることができます。今日は、私たちのツアーの最初の日です。私はあなたに非常に非常に謙虚になることをお願いします謙虚さは、非常に簡単で、美しいあなたはあの少女のヴィーナ (veena) の演奏を見ました。非常に難しい原始的な楽器のAdi Vadyamをやさしく、器用にさらに、謙虚に奏でた。そして私のところに来て言った。"マザー、あなたの前で演奏する機会を得たことは何という特権でしょう"と。考えてごらんなさい。あのような天才がそう言ったのです。前回会ったのは、マンドリン奏者でした。同じ年齢ぐらいか、もっと若かったかもしれない彼は世界的に有名になったが、わたしの前で演奏したとき、お金も何もを受け入れず、忘我の境地に入ってしまった。ダンサーも私を見たとき、忘我の境地に入ったと言いました。彼女は力強く見事に踊りました。熱があつたのにもかかわらず。でも彼女は"熱はもうありません"と言った。"もう大丈夫です。"と言った。これらのアーティストを見てください。私のことは全く知らない

サハジャヨガについても何も知らない それでも、神聖なものに対する謙虚な理解がある – なぜなら 彼らが謙虚だからである。
神聖は決して自分自身を主張せず、誇らず、 大きな音を立てることもない。 今、彼らが来ました。来てください グイド？
イタリア人が来ました だから今日プジャを遅らせたのです グイド？ 呼んで下さい。
グイドは前に出ることができないほど謙虚です。 入って、入って、 ちょっとだけ前方に移動して 神の祝福あれ
待っていましたよ。 いらっしゃい。みんなそこに座って いらっしゃい 皆、前に座れますよ。スペースがありますよ
いらっしゃい。みんなそこに座れます わたしはみんなを喜ばしてあげたい イタリアに住んでいるので いらっしゃい 大丈夫
前にいらっしゃい 好きなところに座って どこでもいいから 前に座って、空いているから
とにかく、シュリガネシャのことを語りました。 彼の本質的な力は謙虚さから来ています。
私たちは非常に謙虚になる必要があります。 非常に謙虚で、全てに感謝しなければならない
もちろん、私の講演を聞かなくてはなりません– すでに録音済みなので、
今日わたしが話したことがいることがわかるでしょう それでは、今から、プジャを始めます 神の祝福あれ

1992-0719, グル プージャ、重力

[View online.](#)

グル プージャ 1992年7月19日、イタリア、カベツラ リグーレ 昨日グルの位について 尋ねていましたが位ではなく意識状態です 位というと 外的なことを指します 誰にでも与えます 誰にでも“これがあなたの位だ”と言えます 外的な利点で 人に位を付けることができます しかしグルにおいては 意識状態を指します その意識状態とは己を律することができるレベルまでに進化することです もちろん まずは自分のマスターに ならないといけません 自分のマスターでもなければその意識状態にはなり得ません それは生来のものである と言いましたが すると“生来のもの サハジャであるならどのように習得できるのか”と考えるでしょう まず私たちが育むべき力が いくつかあります 一つ目は 思考を超えることです 瞑想において短い時間 思考を超えることができます 次第にこの短い時間が長くなり 全く思考がなくなります このようになるのも 状態と言えます ではそれを どのように習得できるかです 人は自然に起こることを 理解できません 何かしなければと考えます サハジャでは 大変簡単な方法があります “ニルヴィチャラ”のマントラです この“トワメヴァサクシャツ ニルヴィチャラ”のマントラを唱えることで 何も考えずに目撃するようになります ただ見るだけ 目撃するだけです それ自体を見るだけで 私たちの内に その状態を作ります 最初の目撃者になる状態は とても大切です 目撃者になるや否やあなたが知っているものが 何であれ その全体像が 完全な理解を与えます 精妙な面や 粗野な面においてもです それを見て それを知ります サハジャ ヨギとしての現代の言い方だと あなたの知識になります 何かを見て記憶し 歓びを現します 知識を現します 慈愛を現します あなたが育まなければいけない 次元がたくさんあります これらの次元は育まないといけません 例えばあなたに対処すべき 人がいるとします その者が話し続ける間 思考を超えるとします 思考を超えることで その者の思考や 攻撃による 影響はありません 違う領域にいるからです その領域においてあなたの力が現れてきます その者を落ち着かせ 黙らせます あるいはあなたに この上ない愛を感じるかもしれません さて“グル”という言葉は 重力を意味します 母なる大地に 重力があるように グルである者は 重力がないといけません しかしその重みを どのように育むのでしょうか ある者は わざと重々しく見せたり 自分があたかも 厳粛であるかのように見せます しかしグルの重みは 自分自身の内にあるものです グル バダの 第二の状態において 重みが現れないといけません あなたが目撃者になると 重みがそれ自身表れ始めます 短気な気質や厳粛さとして 現れません すべてが非常に 威厳ある荘重なものとして 現れるでしょう ただそれ自身で 現れるものです ですからあなたが得るその状態は 効力を発揮します 以前はそうではありませんでした 常にあれこれ言うことで 操る必要がありました しかしあなたの静寂さで 重みを現すことができます この重みは 大変磁性を持ち 磁石のように作用します ご存知のように 母なる大地には磁石があります それを重力と呼びます それによって人は引き付けられます 重力のお陰で私たちは この母なる大地に立てます すべてが母なる大地に 引き付けられます ですからあなたに 磁性を帯びた気質 人格が備わります あなたが育む この磁性を帯びた人格は すぐさまその力を現します わかりますか 今私に光が当たっています ただ光が差していますが 何も現れていません 太陽の光線が良い例です 太陽の光線が 葉に注がれるとその光線がク口口フィルを作る力 として現れます 同じように あなたがその高みにいるなら その状態であるなら 何も言わずとも何もせずとも 一瞥で現すことができます それだけではなく すべてを記憶します お気づきのように私は大抵のことを忘れません ある時旅行をしていて サンガネールの近くで 赤い石を見かけました そこでブラティスタンのために 赤石を使つてはどうかと提案しました しかし彼らは マハラシュトラ州にはないと言います サンガネールの 近くにあることを伝えると “通りましたが見ていません” “それでも私は確実に見ましたよ” と言いました そこへ行くと 山のような赤石がありました けれど以前は 誰も気づきませんでした さて 思考なしで 目撃し始めれば 知識を吸収するのに 障害がなくなります 思考がないからです 完全に吸収できます そして現すことができます このように 私たちの内に 神聖な力が働きます 自分の重みで 内なる深みに触れ 神聖な力を現すことができます 内でその深みに触れないかぎり サハジャ ヨギは “ハレ ラーマ ハレ クリシュナ”の宗派と同じです それゆえ 時折サハジャ ヨギは 急に間違った道へ 行くことがあります なぜなら 自身の深みに触れたり 自身の素晴らしさや 栄光を感じたり 神聖な力を現す重みを 使うことができないからです 例えば 多少しか動かない 修理されていない 車があれば 実用的に使えません 生きる上で実際に使えるものは 神聖な力です 非常に軽いものです この神聖な力には 重みを感じません この神聖な力に 圧迫感はありません しかしあなたが 浄化されていないなら 経路が浄化されていないなら この神聖な力は適切に流れ 現れることはできません 自分は全能なる神の 道具であるというなら 例えばこのマイクは 電源と繋がっています この道具が作用していなければ その役割は現れません 私たちはこのような 普通の道具より 最も複雑で 最先端の科学を 遥かに超えています 私たち自身が完全な真実の科学 である状態に達しているからです さてグルにおいて 必要なのは自尊心です 皆さん気づいていない とても大切な点です 自尊心を持つには 内省をし “自分は以前とは違う リアライズ ソウルで” “力を持っている” と分からないといけません もちろん力を持っています 愛の力 慈愛の力 把握する力

創造する力 人にリアリゼーションを 与える力です 以前は誰も 持っていませんでしたが サハジャ ヨガにおいても
なぜか私たちは自覚していません エゴが大きくなるので 自意識過剰になるべきではありませんが 自尊心を持つべきです
自分たちはグルで 平凡な者でも 浮浪者でもなく 特別な者 真実に立つ者であって 道を失っている者や 正気を失っている者を
救済しないといけないのです 今日世界は 最も混沌としています そのような時こそあなたは内で
ある種の静寂を感じるでしょう 危機に直面しても あなたはすぐさま静寂になるでしょう
これも今お話ししている状態なのです あなたを動揺させ 落胆させることがあれば 静寂であるその地点に
その軸に行くようにしなさい この静寂が あなたを真に力強くします この静寂はあなただけのもの ではないからです
静寂にいるとき あなたは宇宙の静寂の中にいます その宇宙の静寂が あなたに作用します 宇宙の力と言えるでしょうが
それ以上で神聖な力です あなたはその力と繋がっています すべての宇宙に作用する神聖な力とです 自身の内に静寂があれば
あなたは神の王国にいます 理解しなさい 王になる素晴らしい名誉を 授けられたら あなたは 自分の王座に座り 周りを見渡し
静寂の状態を感じるでしょう この静寂はあなたが確実に 神聖と繋がったという証です 神聖がすべて世話をしてくれるので
あなたは静寂なのです 何もする必要はありません 静寂でいるだけです 無理矢理のものではなく それは状態なのです
混乱や問題が生じたとき あなたのアテンションは すぐさまその静寂に飛び込むでしょう 一度その静寂に飛び込むと
あなたはすべてを 包括的な力と繋がります 人は未だ包括的な力について それが何か理解していません
この包括的な力は愛です 周りに浮かぶ何かの エネルギーのようなものでしょうか あるいは川のような
エーテルのようなものでしょうか それは 完全な現実全体です それがこの包括的な力です それ以外は現実ではありません
そして現実は大変有能です 大変有能なので このマイクのような不都合は起きません 大変すばらしいものです
それは絡み合ったもので いかにもコントロールしているか 作用しているか 人間の理解では 想像できないほどです
例えば木を見ると バラの木にはバラしか咲きません 林檎は生りません ある高さまで育ちますが
ココナツツの木のように育ちません 自然界の特質は すべて維持され 滋養され 世話され 完全にそのタイミングや時季が
コントロールされています それ故ルタンバラ プラッグヤ とサンスクリット語で言われ ルタとは 季節のことです ルタンバラ
プラッグヤは 季節や啓蒙された知識を 世話するものという意味です しかし人間にはどう作用するか
理解できないほど大変複雑です あなたが認識した すべての奇跡 あなたが気づいていない 多くの奇跡 それらは考え 理解し
協力し調和させ あなたを愛し 世話する この力の戯れに過ぎません あなたの意のままです どこにいても 繋がっています
まるで護衛がついているようです 彼らは周りにいます 私にだけでなく あなたにもです あなたはすでに 契約されていて
彼らはあなたこそ 世話すべき者だと知っています 他の者の世話はしません あなたたち以外の者のためには 何もしません
なので自尊心を持つべきです あなた方はサハジャ ヨギです つまりあなた方は特別な者で あなたが何をしよう
どこにしよう この神聖な力は あなたと繋がっています トランシーバーのようだと 言えるでしょう でも話しかけることも
何か言うことも 命じることも 頼むこともありません あなたの意のままです あなたはすでに 天の国の一員だからです
全てのプロトコルは あなたのものです あなたを侮辱する者や困らせる者は その行為に対して償わなければいけません
ですから心配したり 平凡な次元で悩むことはありません むしろ許すほうがいいです そのようなふるまいをする者に
何が起こるか分かりません 慈愛だけではありません 激怒します あなた方は特別な者です ただ自尊心を持たないといけません
そして自分のバランスを 保つようにしなさい 一度バランスが保てると グルの仕事は 他者にバランスを与えることです
すべてにバランスを与えます 自然 気候 雰囲気 社会 人間にバランスを与えます そのバランスはあなたにバランスを与える
グルの原理から来ます 内にグルの原理があれば バランスを自動的に保てます 自動的にバランスのとれた 人格になれる
誰かに“バランスを持ちなさい” と言われずとも持てます ではそのバランスを どう育むのでしょうか
昔は過酷な方法を使っていました あまり食べず 飢え ヒマラヤへ行き 逆立ちなどをしました 全くバランスがありません
禁欲的なれば 近寄り難い冷淡な者になります 完全に燃えた状態です 禁欲的な考えは どこから来たか分かりません
スピリットにもっと注意を払って もらいたかったからかもしれませんが グルは性質上 禁欲的ではありません
あまりに執着がないので 禁欲的なのです 王や乞食 お偉方や平凡な者でもありえます グルであるなら どの状態においても
その者は完全にバランスを保ちます 何からも 動揺させられません 仮に 王冠を授かっても どうということはありません
それがボール紙でできていようが 銀や金やダイヤモンドでできていようが その者を感じさせることも
バランスを失わせることもできません 例えば食べ物です 食べ物は一つの弱点だと思います
グルは沢山食べるかもしれませんが 全く食べないかもしれません 何かを食べたかったり 食べなくなかったりしても
グルはそれに 支配されることはありません なのでバランスを 保つことができます 食べ物や権力 富 お金に
支配されないのことがグルの証です 何にも支配されません あなたは超越しています 一度あなたがこれらを
超越していると分かれば あなたに怖いものはありません もはや怖いものがなくなります 恐怖心はありません 全くありません
あなたのバランスを 失わせるものは何もありません あなたを支配するものも ありません あなたを 弱くするものはありません
依存させるものもありません 誘惑するものもありません 誘惑するものは もはや存在しません 誘惑もない
欲もないその状態に達したとき 問題はなくなります 何もあなたを 引きずり下ろすものはありません

あなたが普通のトゥルシの ガーランドをしていたとしても 真珠やダイヤモンドを 着けていたとしても 全く影響されません
だからといって 何からも逃げ出しません 逃げ出すのであれば あなたは不自然に禁欲になります 禁欲という性質は
もともと自身の中にあります ですから何の障害もありません 何も問題にはなりません その状態にいると
分からないといけません ヨギの中には“私はグルではない” と思います”と言う者がいます “なぜですか”
“その資質はあるかもしれませんが それでも食欲に支配されます” あなたは逆のことをしています 私が言ったことを負担に思い
自分を非難してはいけません 自分の良さに気づきいて 徐々に上昇するだけです 徐々に上昇し 自身で得た高みに落ち着きます
それをしないで自信をもたず 落胆し 非難するなら “マザーは私たちが こうでないといけな”と言っている”と
常に自分を非難するなら 助けになりません あなたは自信を持つべき者です 自分に確信を持つべきです
非難することも全くありません マザーがそう言ったと 言い続ける者がいますが 場合によっては言ったかもしれませんし
言わなかったかもしれません その時言ったにせよ あなたはどうなのですか “マザーがそう言った”と言うことで
人を困らせます 毎日食べるべきではないと 言ったでしょうか 決して言ってません そのような愚かなことを 言う者がいます
私が言ったとしても支障はありません あなたがどう受け取るかです ですから自分の経験に沿って 何が良いか役立たせます
信じ難いことでしょうか 私は人間として役に立ちません 私にとって難しいことです 現に父から 人間はどのようなもので
どう見せるべきかを 沢山教わりました 私が人間のようにふるまうのは 大変なことでした まずなぜそのように反応するのか
どう対処すべきか分かりませんでした かなり難しいことです ウィリアム ブレイクでさえ 同じように大変でした
しかしあなた方が その状態に達するなら ただ自分自身を楽しむだけです あなた方は私より楽しめます あなた方は
すでに人間であり 人間について 理解しているからです それでいて自らの 上昇を見ることができるようのです あなた方にとって
楽しむことは容易なはずで 私に誘惑を知りません あなた方が持つ 性質を知りません なのでそこから 来るものに対して
どう考えてよいか分かりません 初めから 問題も誘惑も全くなければ すごいというわけではありません
あなた方は人間的なものから 高次のものに上昇したので称賛に値します 私やキリストやシュリ クリシュナが
楽しめるより遥かに楽しめます 上昇した者 成長した者は 自身の徳と資質と 偉大さを感じ 自分自身を楽しむからです
あなたは “私はここにいます” “私を害するものはありません” と言うでしょう その者にとってこの変化への
適切な理解が起ってきます そしてあなたが持つ 能力や知識や 深みや重みを持たない者を 理解できます
あなたが人間であって 今は神聖だからです 人間であったので 他の者を理解できます グルはここでは 大変違う状況のようです
私は“お母さん”であるのに・・・ 私が見てきたグルといえば 大変残忍な者たちでした なぜ叩いたり 鞭打ったり
井戸に吊るせるのか分かりませんでした なぜそうできるのか 理解できませんでしたが 彼らは人間のレベルから
苦痛をへて立ち上がった者たちです なので“人が容易に得るべきではない 同じように苦しむべきだ”と考えます
しかしあなた方は このような問題もなく得ました このようなグルとは違います サハジャに得ました 大変簡単に何もせず
サハジャに得ました 全くサハジャです 何もせずにです ですからグルとしての あなたの役割は
進化した魂になるために苦しんだ これらのグルとは違います さてあなたの態度は もっと慈悲深いもの 理解あるもの
愛に満ちたものでないといけません あなたがサハジャに得たように 他の者もあなたから得ることが出来ます
何かひどい仕打ちことをしたり 怒鳴ることもありません 悲しいことですが ある者が言いました
“あるヨギにひどいことを言われたので サハジャ ヨガを去るしかなかった” サハジャ ヨギは決して誰にも
ひどいことを言うべきではありません あなたは何も言われることなく 無料でリアリゼーションを得ました 何もせずにです
リアリゼーションを得たい者には 同じようにしないといけません 禁欲的な修行を通して 得たわけではありません
なのでこの態度は 変わるべきです このような態度をとるなら あなたはグルになれても サハジャではありません
サハジャのグルとサハジャではない グルの違いを理解するようにしなさい 彼らは大変短気です サハジャのグルは短気である
必要は全くありません すべてが美しく 皆このすばらしい雰囲気を楽しんでいます そこには愛 慈愛 互いへの敬意があります
競争も政治もありません あなたが全てサハジャに得て 同じように他者にも与え 互いに敬意を感じないといけな
いと理解するだけです ですから私たちは サハジャに則っています 皆さんにはすべての力があり グルであり 多くを習得し
多くのことができます それなら サハジャでないといけません サハジャに得たなら 残忍で短気な 厳しいグルにはなれません
しかしサハジャ ヨガの中でも 軍隊の ようなことをしようとする者を見受けます 軍隊的な治療です それはありえません
鍛錬は必要ありません 自らで治めるようになります 皆さんグルです グルに鍛錬を与えることはできません
皆さんサハジャなのです あなた方のやり方は 全く違うはずで これらのグル達は リアリゼーションも与えませんでした
正直にお話しています クンダリーニを自分の手で 上げられるとは知りませんでした 歴史上数人の者だけが
リアリゼーションを与えることが出来ました でもあなた方は来る人に 容易にクンダリーニを上げています
今も“さあこの人を見て！ こうです”と あなた方は 科学の限界を超えています あなた自身神聖の科学となり
それについての全てを知っています “私はここが あなたは このチャクラがキャッチしてる” そして他者とどのように
接するかがグル パダです 親切で優しく 気遣いをもつことです それはお母さんが あなたに与えたものです
気遣いを持つことです それぞれの人への 気遣いです 気遣いを持たなければいけません 別のグルは“死になさい 自殺しなさい

草を食べなさい”と命じます あなた方は そうではありません あなたは お母さんのようなグル 優しいグル 非常に優しく親切で理解力があり 許すことができるグル にならないといけません その目的は何でしょう 目的はサハジャ ヨガを 広めることですそれが分かっています 私たちのリアリゼーションの目的は 人にリアリゼーションを与えることです サハジャヨガを広め人を 全世界を解放することです 私たちの責任です その責任があなた方にあれば どう振る舞えばよいか分かります 聖職は要りません あの者がこう言ったから こうなったと言うことはありません その者に 言うべきことを言いなさいするとその者に その者の反応や態度に あなたの人格が反映していると 分かるでしょう 私たちは少しずつこのようなことを学んでいます このようなひどい支配的な者も サハジャ ヨガからいなくなっています 人々は非常に愛深く互いに他者にも親切になっています あなたが善の 徳の体現で 忍耐 慈悲 愛と気遣い の体現だからですあなたがどうするかではなく あなたはもうすでにそうなのです ただ諦めてはいけません “ただそのものを見て目撃するだけです” 誰でもできることではありませんが あなた方はそれができます ですからまず自尊心を持ちその力を自覚することです 自身の力を自覚しなさい グルであるなら 自覚しなさい 自分にはその力があるとまだ分かっています “その力があるのかないのか” と考えます つまりまだ初心者なのです “そんなことはない 私はグルです” 私たちは“マザー 私は私自身の グルです”と言いますが 口先だけです あなたは自身のグルであるだけでなく全世界のグルなのです そしてコレクティブなグルです 何も恐れるものはありません 大変力強いです これを理解できるなら私たちは自分の力を 受け入れないといけません ここではある者を選び 服を着せ ローマ法王と呼びます 法王かもしれませんが実際は違います そのように演じたとしても 内側はそうではありません 彼は100回誤ちを犯せます 私たちはそうではありません 内にすべて備えています 内にあります それを持つ者であって ただそれを自覚するだけです 一度自覚すれば すべてのバダが逃げていくでしょう 驚くでしょう 聖人である者 自分がグルであると分かっている者に耐えられませんか 逃げ出します しかし 自分の自尊心が完全に正しいと見れる 内省が必要です 自分がグルだと思ふことではありません 私は別の 本当のグルを知っています でもあなたを 彼らのそこには行かせません 身一つで生きて帰れるか 分からないからです 自分たちが本当のグルであると 伝えましたが 彼らに近づいてはいけません 彼らに欠けているものは慈愛 このサハジャのスタイルです 彼らは自分たちが懸命に頑張ったので皆も頑張るべきだと考えます あなたが何者であっても 仕事は何でも 学識があろうとなかろうと 関係ありません 裕福でも貧乏でも 全く関係ありません 自分はグルであり その力を自覚すれば良いのです 自覚することは 他の才能と同じで音楽家なら 音楽が分かりますし 料理人なら どう料理するか分かります 管理者なら 管理について知っています しかしそれですら 完全ではありません でもあなたはすでに 完全に現実全体なのです 現実があなたの意のままです 自覚しないといけません あなたは凡人では全くありません 俗に言う類いまれな者であると 言えるでしょう あなたはナンセンスなこと 全てなくせます 他の者が見れば この者たちはどんな者なのか どんな人生を歩みどんなにすばらしい人たちが 何て優しいのかと驚くでしょう そしてその知識は大変精妙で 素晴らしく高みにあります だからといって エゴが膨らむわけでもありません “チャクラなら全部知っている” と偉そうに言うヨギはいません 上向きの口髭を生やしてです しかしあなたはこの知識で 木に実が生ると垂れるように あなたは頭を垂れます その謙虚さその素朴さが どんな心にも入り込める 特別な強みを与えます 故にあなたは 真実の使徒となります ウィリアルブレイクのような 預言者になれます 様々なものを現わせるようになります 信じられないほどです でも信じなさい あなたは全能なる神である この偉大な力と一つなのです キリストの無原罪懐胎についての 長い論議がありますがそのような愚かな者は 見たことがありません 彼は神です 全能なる神です 人間ではありません 何でもできます どうして彼を批判できるでしょう 彼の力や働きについて 批判できるのでしょうか 神について論じるのに 神の脳を持ち合わせていますか まるで私が銀行業務について 論じるのと同じです 一言二言で分からなくなります 同じように人が神について論じる上で 神やその関係について どのように息子を授かったかなどを 論じる能力はないのだと分からないといけません 自分を何者だと 思っているのでしょうか あなたはその謙虚さの中で 気づくべきです 全能なる神を彼は全能であると 神は何でもできると すると盲目的ではない 信心深さがでてきます 神は全能であって 自分はその神のメッセンジャーになったという気持ちで 信心深さを持つことで あなたはすべての力と 勇気 そして 彼の慈愛 愛 彼のアテンション 彼の理解を与えられます あなたはこの信心深さを 持たないといけません ある時グルに会いに行きました 彼はひどい者でした 多くの者を叩き 丘から投げ落とすなど 様々なことをしていました でも私には物凄い敬意をもっていました 彼は私と女神と話すかのように 話し始めました “この世俗的な人間をどう思うか”と聞いてきました 私は“まあ仕方ないでしょう 私が創ったのですから” 彼は“それでも神なら貴方の力で少し変えてみてはどうですか”と言いました 私は“そこが問題です 彼らに自由意志を与えました” “自由意志でその者が変わりたいかどうか選べます” “強制できません” 彼は“でも貴方は全能なる神です 何でもできます” 私は“何でもできますが あることはしたくありません” “その一つに彼らから 自由意志を奪うことです” “選ぶのは彼らの自由です 彼らに与えられたものです” “究極的な自由を持つべきであるなら せめてこの小さな自由意志は持つべきです” これについて私と話し続けましたが 彼は“貴方は全能なる神なので 何か他の方法があるはずですよ” “ひどい人たちを どうすればいいのか”

私は“あなたはグルなので 気遣うのは分かりますが” “私を全能なる神だとするなら 私のやり方は違います”
“あなたのようにはなれません” すると彼は“確かにそうです 貴方は私のようにはなれません”と このように彼は目の前に
神がいるかのように話しました そして弟子たちに言います “主を称えなさい” “神は称賛を好むので 彼女を称えなさい”
私は“そうですか”と “はい” “主を称えると何でも与えてくれます 私は知っています 私は常に神を称えます”
“何かを望むとき神を称えます すると叶います” そこで私は “確かにその通りです”と 神はバクティ ガンミヤだからです
あなたに心からのバクティがない限り マザーに至ることはできません すべて組み込まれています バクティがなければ
マザーに至ることはできません 神に至ることはできません バクティがあれば マザーに至ることが出来ます バクティ ガンミヤ
とされています 誰かに“クンダリーニを上げろ”と言われてもできません それどころか7回生まれ変わっても
リアリゼーションを得られないでしょう しかし“マザーどうか授けてください”と言えば一度で得られます 謙虚さだけでなく
バクティです バクティは信心深さが あるときのみ得られます しかし現代では信心深さは 愚かな者や知識人
作り話をするようなひどい者や カトリック教会や様々な教会によって 挑戦されています ですから神に対する信心深さは
揺らぎないものでないといけません 何にも揺らがないことが大切です 奇跡を見てきたはずで
彼の力がどう作用しているかも 見てきています にも拘わらず 神への信仰が欠けています 神に完全な信仰を持つ者を
神自身である パラマチャイタンニヤと呼びます グルはブランマチャイタンニヤ 自身である者と呼ばれています
なので神への信仰が 完全に確立すると “全能なる神がいる 彼は全能である” “そして私は神の メッセンジャーである”といった
理解が内で完全に強くなると あなたはグル パダにいます あなた方がこの グル パダの状態に留まり その状態を
得ることができるよう祝福します そしてあなたがどこにしようと 地位が何であろうと あなたが何をしよう
とあなたの内に全能なる神への 真の信心深さがそれ自体表れます それだけでなくそれが現れて 神のように作用します
様々なことをお話できます 前にも沢山のことを話しました 後にもお話しますが 今日是一つだけ
覚えておかないといけません 私たちは神の王国に 全能なる神の力に そして自分自身に完全な信仰を
持たないといけないということです 神の祝福がありますように

1992-0913, Hamsa Chakra Puja

[View online.](#)

Hamsa Chakra Puja, Vancouver (Canada), 13 September 1992.

今日 私たちは ハムサ チャクラを崇拝します 今まで私たちは常に 神格を崇拝してきましたが ハムサのセンターを崇拝するのは今回で二度目です このチャクラは 二つの眉の間に位置しています 二つの目は 左側と右側を表しています このセンターは 目 耳 鼻 舌 歯 喉 などに関与しています これはとても 重要なセンターです なぜならヴィシュディは 16 の花弁を世話しなければなりません またこれらの異なる器官を 世話しなければならぬからです その上ヴィラータと 伝達し合って このハムサ チャクラのセンターを 通り抜けなければなりません ハムサ チャクラは 私たちの意識の中で 吉兆を表すまさに中枢のセンターです このセンターが 鋭敏で目覚めるなら 私たちは直ちに 何が吉兆で そうでないか分かります 神聖な分別を得ます 人々が善と悪 破壊的と建設的な ものに分別を持つのは 遺伝の一部だと思います 基本的に備わっているものですが 外部からコンディショニングやエゴを 収集しているこれらの器官によって 私たちは容易にこのセンターを損なってしまうのですからこのセンターは 傷つきやすいのです このセンターがこれらすべての器官と関連して 全ての情報を 受け取っているのに比べ 他のセンターはそれほど 外部とは繋がっていません 例えば目は スピリットの窓と言われるように 大変重要です クンダリーニが上昇して スピリットが輝き始めると 瞳が拡張し 純粋な子どものように見え 目に輝きがでます しかし目を貪欲と欲望によって 無分別に使うなら このセンターをひどく損傷させます 一度生活の中に破壊的なものを 取り込み始めると 私たちはすぐに何でも 不適當で破壊的なものをいとも簡単に受け入れてしまいます これは遺伝上の欠陥 ではないかと感じています つまらないもの 破壊的なものを受け入れない者もいるからです 一方でばかげた 破壊的なものに 簡単に引き寄せられる者もいます 集団的に受け入れることもあります 一度集団的に受け入れると 周りに影響を及ぼします 取り込むだけでなく 周りに影響を与える効果があります 例えば 落ち着きの無い目の者が 他者に影響を与えて 彼らもそのようになってしまうことがあります 彼らに影響を及ぼし 同じようにさせる可能性があります つまりこれはあらゆるブーツが入ってくる うってつけの戸口です そしてそれを投影し始めると 同じブーツが 他の者へ乗り移り 同じような真空 その人のハムサ チャクラに 同じような弱点を 作りだすことがあります ですから 目はとても清く 純粋でなければいけません もう一つは 聞くことに限らず 人は聞きたいことを耳にすれば 耳をふさいでしまいますが それを聞くのを 好む者もいます 普通人が好まないような 恐ろしいことを聞くのに慣れ それを好むように 条件付けられます 例えばフランス人は 匂いに関して分別がありません 匂いがひどいのに 腐った食べ物やチーズ ワインを飲み食いしています 匂いが分かりません 近くにいる人でさえ わかります 彼らの手からも匂います 分別の力を失っています 同じように私たちの国には 汚い物を手できれいにする スーパーというカーストがあります 臭いとは考えません 臭覚がおかしくなっています ですから 彼らは仕事ができます 香りに対する 敏感さが失われれば・・・ 煙草から作られた物があつてそれが良いとされています “タバック”のような有名な 香水のブランドもです 一度そのような物を好めば “ポイズン”のようなひどい香りまで 良いとしてしまいます 嗅げばアルコールの 匂いがします 彼らは気にも留めません そのような香りに 快楽を感じるからです これらは 終には 鼻の細胞を破壊させ 臭覚さえ失いかねません 臭覚は喜びを与える器官の一つです クンダリーニが上がると 多くの者がたくさんの香りを感じます グッグルや白檀の香りがする者もいます それらは花や木の 自然のエキスを 不自然に作られたものは 現に鼻の臭覚の細胞を 破壊します 一度それを使い始めると 動物のように悪い匂いが 分からなくなります 動物の大半は何の匂いにせよ 匂いを感じます 人間の香りに対する 感受性が失われてます 私たちがどれほど人間として 上昇したとしても 次第に 完全に失われていきます また喉に関しても 口汚い言葉が使われたり 人を罵ったり 短気を起こしたり 攻撃したりすれば あるいは飲酒や 特に喫煙などのような 破壊的な性質によって 喉をだめにします 煙草を吸えば 喉は傷を受けやすくなり あなたの声の優しさは失われます しわがれ声になってしまいますが 全て外的なものです 口が臭くなり 分別なく取り入れれば 歯も影響されます 流行っている 売れているからといい その通りにしてしまうことは 叡智や人格を持っていないことを 意味します ハムサチャクラが 目覚めると 私たちの分別は 発達します 昨日ハムサの語源について お話ししました 美しいサンスクリットの連句があります それによると 白鳥と鶴は 双方とも白い鳥ですが では白鳥と鶴の 違いは何でしょう ミルクと水を混ぜれば白鳥は ミルクだけを飲むことができますが 鶴は分別できません 私たちが分別の力を失えば 口ポットようになってしまいます 人格を失うからです 誰でも洗脳することができます 分別について説かれれば 耳を傾けるでしょう 多くの人が 誤ったグルへ行き 同性愛やエイズになり ドラッグに手を出しています それは信じ難いことです これらに耽り 人生を台無しにしています 酒屋でお金を 使い果たして酔い潰れます 人はそれを見て 自分にお金があることを確かめ 入っては酔い潰れます そのような愚かさをみても 自分もそのようなことに お金を費やします

自分自身を破壊するために お金を払います これは誰にとっても 不自然なことです 動物でさえ知っていて 危険を嗅ぎつけ 命を守るために逃げ出します 動物は人生の貴重さを知っていて 生きなければと考えます この常識が 失われはじめ 何が悪いのかと 言い出します それはハムサの遺伝に 欠陥があるということです ハムサ チャクラには 神格はいませんが ブッダ マハヴィーラ キリスト クリシュナによって見守られている 多くの器官の 形の無いエネルギーです そしてその四人はシュリ ガネーシャ によって管理されています これらの遺伝はガネーシャによって 設けられています 彼は叡智の源だからです 一度人がムラダーラを 駄目にしてしまうと その叡智 基盤となるものが終わります 私たちの人生において 不道德な 生活を送ることは有害なのです 分別を失うからです ハムサ チャクラにシュリ ガネーシャ を目覚めさせることができれば 突如 サハジャ ヨギの 高度な人種に属することになります 人々が一夜で ドラッグを絶ったり 不道德な者が非常に 道徳的になるのを見てきました このチャクラが 突然目覚めたからです スピリットの光は 日常生活において またコレクティブにおいて このチャクラを通じて最もよく表れます 私たちは真意を 見始めます 現在サハジャ ヨギで 私たちは異なる問題を抱えています 人が初めてサハジャ ヨギに来ると 他者の欠点 落ち度を見始めます 何のためにここにいるのか 見ようとしません 他者の欠点を探すためではなく 自身を正すためです 周りを非難しては 問題を起こします そしてグループを 作ろうとします 何のためにいるのですか 政治のためですか それとも自身の 上昇のためですか あるいはこれで金儲けを 考える者もいます または自分とは関係ないことで 他者を批判する者もいます 彼らはまだ 遺伝子が叡智によって確立 されていないので忘れてしまうのです 心配すべきでない事まで 心配します “私こそリーダーだ” “なぜ私はリーダー でないのか”と考える者がいます そしてリーダーの欠点を 探し始めます 時にはリーダーも “私はリーダーで 厳格にでき” “懲戒でき 支配できる”と 感じることもできます どのように愛し 慈悲深くなり 忍耐強くなるかを ここへ学びに来たのです 統率力や従順さのセンスは 双方とも任意です あなたが誰かに何が言われ 自分の善のために従うなら 自分の善のためだと 精妙な理解をするでしょう リーダーにここが 間違っていると言われたら それに対して傷つくのではなく 間違っているか自分を見なさい いかにより自身を高められるか リーダーでも私でも尋ねてください でもそうする代わりに すぐさまリーダーを非難し 私に言いつけます あるいは“彼はマザーに嘘をつき マザーはそれを聞いています” お母さんは バカではありません 全てを知っています 前世からのものを 生まれ変わっても持ち続けています 卵から鳥になっても まだ殻が 身体にくっついているようです 浄化しなければなりません この時点で あなたはリアリゼーション を得ているので 最初の思慮は “いかに純粋なスピリットの状態で 到達できるか”であるべきです しかし代わりに人は 分別がないので 自分を見失います 啓蒙によって 最初に起こることは 私は見てきましたが 彼らの目が定まることです もはや目は むやみに彷徨いません 大変純真な目を持ちます さもなくば彼らは 本当に狂っています このように全てを見ようとします 気違いと同じです その者は気違いと 同じようなことをします 大変狂っています しかし すぐさま自発的に 部屋に光が入るように 大変自発的に 物事が明確に見え始めます “違います 正しくありません” 以前は庭から棘を集めては 身体に刺すような状況でした 決して花は見ません リアリゼーションの後には 棘ではなく花を見ます 棘を見れば取り除きます リアリゼーションの前や後でさえ 喜びはありますが それを楽しむ能力はありません その能力は リアリゼーションの後で出てきます そしてあなたに起こる 主要なことは分別です そして白鳥のように全てから ミルクだけを採ることができ あなたは大変異なった 態度になります 別の角度から物事を見ます 芸術を見るのに ある寺院を訪ねたことがあります 義理の息子と娘とで山を 何キ口も登らなければいけませんでした 大変疲れたので ある寺院で休憩しました そこで言いました “象の彫刻を見てごらん” “全部異なる尻尾と鼻 ポーズで美しいよ” “僕たちは疲れすぎて 見れないよ” 私のアテンションは疲れでなく 美しいものにあつたからです 同じようにあなたは ミルクを採ることができ あなたは喜びがあつても 感じることはできません 神聖の分別の 精妙な力がないからです 一度それが出てくると 全てを楽しみ始めます 人生も同じです 何も変わりません 同じ家 同じ家族 同じ町 同じ環境 それでいて あなたは楽しめます ハムサ チャクラの感受性は神聖な 分別のためだけにあるからです すぐさま知ることができます 刺のあるものは要らない 花だけを集めたい 花の集め方も知っています あなたは歓びの中にいます そのようにハムサ チャクラを通して 光るスピリットの光は あなたに叡智を授けます 議論や喧嘩の仕方を知っているのが 叡智ではありません 叡智とは あなたが歓びを 感じるために全ての良い面を取る 全ての破壊的なことを避けて 建設的なことを取る ということです あるいは危険と書かれた 道を歩くとし ます リアリゼーションの前は 何が危険か見ようとします そして死んで ニルヴァナを得たと言います 賢明な者なら 危険であれば戻ろうとします 自身を守り 人生に敬意を払います 今や自分は神の媒介であることを 知っているからです 叡智は自動的にきますが 経験を通してです するとあなたは 正しい道が分かります 経験を通して 理解し始めます 今だから話せますが 20年前はできませんでした 話せば“信じ難い話だ 本当かは分からない”と言うでしょう 一度 叡智が明白になると それを通して全てを 明瞭に見始めます あなたの頭を 完全に明瞭にします 誰かに叡智ある言葉を言われれば 決して悪く思わないでしょう 逆に感謝するでしょう “話を聞けて幸運だ” それらはあなたに 歓びを与えます ですから 多くのことは耳で聞きます 以前聞いた事でも 音楽であっても 決して歓びを与えませんでした この変化によって 以前聞いたことのある 同じ音楽を聞けば 天国にいるかのように

感じさせます 喜びを与えます 昔詠んでつまらなかった 詩も同じです “以前ウィリアム ブレイクを読めば 頭が痛くなりました” “でも今は大好きです 聖書のようにです” あなたは新しい見る力 聞く力を 発達させたからです サンスクリット語で アティンドウリヤです 内にある精妙な器官 という意味です 目や耳は精妙な器官です これらの精妙な器官は 美しいと感じるものを集め 自分を取り巻くもの全てに 反響をもたらします 例えば暗闇にいれば 普通あなたは怖がるでしょう ですが 今では “楽しい 冒険的だ” と言うでしょう 互いの手を握って ゆっくり進むでしょう 例えば大変暑いとします 普通人はどう反応するか 分かりませんが “とてもいい日だ 時には 暑くてもいいね” と言う者もいます 寒くても同じです 悪いとされるものでも 全ての面を楽しみ始めます どう楽しむかが分かります 一度分かんると “私たちは喜びの大海で 泳いでいる” と言います 大海は同じですが 大海にある蜜の 美しい雫を手に入れたのです 他の者たちは 溺れることを心配しています 同じ大海 同じ世界です ですからマヤだと 言われていますが この分別が輝き始めると マヤはありません 楽しめます 例えば 誰かが 海に落ちるとします 彼は大変怖がり 沈む前に死ぬでしょう ですが海の中の美しさを 見れる者なら その者は安全で 美しい海中眼鏡やフィンをつけ 煩わされるものはありません そこへ行って 写真を撮り 楽しめます 大海は彼にとっても 海に落ちた者にとっても同じです 安全な者 全ての装具を 身に着けている者 何を見るべきか知っている者は 楽しめます 同じように あなたは叡智と 安心感を備えています 自分が何をしているか知っていて 同じ物でも美しく感じ 楽しめます サハジャ ヨギが全てを 楽しんでいるのを見てきました 例え誰かが会場で 叫んでいても サハジャ ヨギは皆 大笑いしていました 哀れな人は精一杯 非難しようとしているのに ヨギはただ彼を笑っていました 彼は逃げ出しました 彼らは彼の愚かさを 楽しんでいました そのように生きる姿勢がこのハムサ チャクラによって 大変変わります あなたはその叡智を自動的に発達させていることに意識していませんが 後にあなたはそれを 確固たるものにし あなた自身の啓発された 信念にしていけます あなたが信じたこと全て ワークアウトするからです あなたが知ることなく 努力することなく 頑張っていたことが 突然舞い込んでいるでしょう 突然人に会ったり 助けを得たり 多くのことが起こります インドから来た者で ミラノ駅で 会うことになっていました 人を迎いに行かせましたが 小さなバツジしか着けていなかった ので分かりませんでした 探していると 走ったり 動揺せず ヨギのようにリラックスして 立っている者がいました 彼に声をかけると “そうですあなただと思いました” その者の姿勢や様子 話し方 振舞い方が違うので分かります 全ての人生や人格が変わるのは 奇跡のようです 一度夫がイギリスの図書館に ヨギを連れて行きました 人は無礼なものです 閉館して 2分ほど経っていました 館員は彼らに 怒鳴り始めました “おっしやる通りです イギリスの渋滞は 全く閉館時間を理解していません” “僕たちがなんと言おうとだめでした 閉館時間も言ったのに” “大事なことを 全く理解していませんね” “渋滞が僕たちを止めてすみません 次回はそうなりません” 館員は哑然として 緊張がほぐれ “分かりました入りなさい 1時間開けます” 人と接したり話したり 仕事を処理する叡智が 全てのことをワークアウトさせます そしてワークアウトしなくても あなたは悪く思いません “仕方ない 相手は サハジャ ヨギでないのだから” “どうすることもできない” と考えます 今回私たちが来る時も オランダ航空の支配人で 感じの良い紳士が対応しました “座席がないという 問題が生じていて” “3人しかファーストクラスに 乗れません” “それは難しいです 彼は友人と一緒にないとだめです” そこで私は椅子に腰掛け この状況に3回バンダンしました すると“6つ席が空きました” 活発で 私たちを見守る 包括的な力 があるとはっきり分かってきます 偉大な聖人皆が力を貸しています 時には天使たちが 共にいると感じるでしょう どう導き 助け ワークアウト しているか感じるでしょう それら全てを見ます あなたはそれを知り 信じ始めます すると分別が しっかりしてきます その状態になるまで サハジャ ヨガ から脱落することはありえます 些細なことで脱落していった者を 多く見てきました 何か荒っぽいことを言われ 脱落した者もいます あらゆる種類の人々が 縁部にいるからです ですから何か言われれば 脱落します 分別を得た状態に 到達していないからです “私に相応しい場所なのに” “相手が間違っているのに なぜ私が出なければならないのか” 成長はあなたのハムサが 整った時に初めて可能になります あなたが完全にそうならなければ 難しいでしょう 一度ハムサが確立すれば・・・ 人が本当に献身的になるのを 見てきました ご存じのようにサハジャ ヨガは 世界中に広まっています ですが私には秘書も 組織も事務所もありません 皆が私の秘書です 各自ワークアウトしています それと同一化していて それに責任を持っています 私はプラグのようです どこにでも設置できます 皆私の子供たちで 私を傷つけない という分別くらいはあります 時折忙くなったり 急ぎ足だったり しますが私は気にしません 彼らはサハジャ ヨガのために 一生懸命だからです そしてもっとそれをしたいと望み 責任を感じています なので私はそれに敬意を払います 時には“スケジュールが過酷すぎます 見るに耐えません” と言われますが 大丈夫です 彼らのサハジャ ヨガへの同一化に 完全に信頼を置いているからです 彼らは騙しませんし 偽善者でもありません サハジャ ヨガを助けるために 他者を助けるためにそうしています 培ってきた誤ったものの 同一視はなくなります 美しいものと同一視し始めます 美の芳香を得て 堪能し始め ハートは開き始めるからです あなたのハムサが未だエゴや コンディショニングに感化されていたら この喜びやこれら全てのものは 不可能になります 人はヒンズー教やキリスト教など 様々なコンディショニングがあります 間違っただけに従っています でも自分の善のためという 信念のもとに 全てのコンディショニング を放棄すれば このアギヤ

チャクラは開花します それなしにアギヤは開けません それはアギヤへの ヴィシュディへの入り口
頭にある全てのチャクラへの ピタへの入り口です ですからハムサ チャクラを きれいに保つことは大変重要です ハムサ
チャクラを保つための 身体面でのアドバイスはしました 精神面においても 話しましたが すべきことは マインドを落ち着かせ
全てのものの中に 美しさを見出すことです 低俗なものではなく 有益性でもなく 美しさをです 徐々に目が浄化されて
いくことに気付くでしょう 今や多くの人が サハジャ ヨガにいます 深さや探求心ゆえでしょうか あるいは星廻りでしょうか
あなたが意識しているか どうか分かりませんが ハムサ チャクラは 最も偉大なことをします
つまりあなたのカルマがどうであれ 影響されません あなたの先祖の 国の 個人の カルマの責任がなくなります
何であれ私たちが行った過ちは 全て終わりました 過去から完全に 切り離されたかのようにです 一度これが確立されると
全ての過ち 間違った行動 あなたのものだけでなく 親類 先祖 家族 国 この地球全てに あなたは害されません
あなたはそれを超越します そしてこのクリタ ユガにおいて ブランマ チャイタンニヤは過去の
カルマを暴いて罰しようとしています 集合的にも国家的にもです しかしあなたに 触れることはできません
このセンターの光が 非常に力強いので あなたが過去に行ったことからくる 全ての恐怖から救うからです
あなたはまさに泥から出て咲く 蓮の花のように美しく咲くでしょう そしてあなたは全世界に 美しい芳香を発するでしょう
神の祝福がありますように

1992-1225, クリスマス プージャ、人生でキリストを表現しなさい

[View online.](#)

クリスマス プージャ、1992年12月25日、ガナパティプーレ (インド) [Hindi translation missing] キリストについてそしてイエス キリストと シュリ ラダジとの関連性について 多くお話ししてきました 彼はアディ シャクティの息子であるシュリ ガネーシャの化身でした 次にシュリ ラダジに授けられ シュリ ラーダは マハ ラクシュミに 偉大な化身キリストの母メアリになりました 西洋の人は 無原罪懐胎を理解できません スピリチュアルな生き方に対する 感受性が全くないからです インド人には理解できます シュリ ガネーシャが 同じように創られたからです 信じて疑うことはしません 限られた脳で神について疑うべきではありません インドでは疑いません しかし西洋では この限られた脳でキリストの誕生についても口論します キリストの名の下にある 宗教はただ汚れていて ひどいことが言われていて 信じがたいほどです彼の純粋さ 神聖さ 吉兆さは 西洋では決して理解されません なぜキリスト教徒は 徳ある人格において 品格を失えるのでしょうか 政治的 経済的 法的な面は 良いとしても 彼らの道徳面は 完全に欠如しています キリストの信奉者は最も徳の深い者であるべきです 彼曰く “汝 姦淫の目を持つなかれ” 大変精妙な意味合いです 目でさえ姦淫してはいけなく欲や色情を持つてはいけなく 大変精妙なことを言っています 西洋では それに従えませんでした パウロやペテロの影響で宗教全体が汚れてしまったからです キリストに反する深刻なことを しました 未だ続いていますカトリック教会は暴露されてはいますが 未だ続いています インドでも至る所にあります プロテスタント教会もありますキリストの名誉なんて 気にもしません キリストが真ッ先に言ったことは 神の王国に入らないといけなく 再び生まれなさいといけなく ということです 再び生まれるについてもメンタルで 証明書があるだけです 西洋のメンタルな捉え方のせいで 偉大な化身である キリストを殺しています ある意味また 十字に架けているのですメンタルにはスピリチュアルな ものは理解できません 頭脳に頼りなさいと言いますが サハジャ ヨガではこれは理解できません サハジャ ヨガにおいて 脳は何の意味を持つでしょう 思考を超えた意識状態において頭脳は何の意味も持ちません 他の領域で頭脳に頼っても サハジャ ヨガでは違います 頭脳に頼って何ができるのか理解できません 中には壇上で 演説をすることを好み 脳に頼ろうします そういう者は 頭脳に頼りますが 大事なものは頭脳ではなくハートです ハートが開かないといけません 脳を働かせてすることといえば あらゆる類の物質主義ですナンセンスなことは 人間の脳からきます 動物の脳からは あまりありません どの森へ行ってもきれいで 良い香りがしますがそこに一人でも人間が行けば その汚れは人間が残した ゴミだとわかります 同様にすべての 偉大な化身がしたことを人は台無しにしています 最悪なのは キリストにしたことです 無駄なことをしたと思います なので私たちは正しくキリストを理解すべきです 彼は永遠の子どもです 純真そのものです 純真の源です そして彼はすべてのチャクラに祝福を与える者です だからと言ってあなたがキリスト教徒だと 誇らしくすることではありません サハジャ ヨギの中には未だキリストと同一視する者がいます 全くキリストとは関係ありません 彼の奇跡に満ちた人生の中でキリストがいかに沢山の奇跡を 起こしたか理解すべきです まず第一に 彼の誕生は純潔でした人はマリアの出産が処女降誕が議論 しています すべての化身の誕生は純潔です 彼らは罪を超越しています 特別です人間や天使 いかなる姿で化身したとしても 彼らは神聖で 人間の小さな脳で 議論はできないと理解しないといけませんただサレンダーし 崇拝するだけです 彼らは私たちを 遥かに超越しています ですからこの西洋の頭が 理解すべきことはキリストの人生が 素晴らしい恵みであって それを人は見失い 無駄にしてきたということです人はそれに対していかに敬意を払うべきか 理解してきませんでした すべての政治的 経済的 意味のないペテンになりました大分前に私たちはキリストが ガネーシャであると証明し 彼はロゴスであり いわゆるブランマナトゥ初めの音であるとお話ししました ムラダーラを左側から右に見ると スワスティカに見えます 炭素原子でできているからです右から左に見ると オムカラに見えます 下から上部を見ると アルファとオメガに見えます 当時キリストは “私がアルファでオメガです” と言いました 今やアニメにもなっています どうか見られるといいですが それらを明白にみれます私が言っていることを 証明するものです ガネーシャを崇拝するように キリストも崇拝しなければいけません ヒンズー教徒はガネーシャに固執し キリスト教徒は キリストに固執しています サハジャ ヨガをしていても 人はその特性を持続けますある程度まで ガネーシャを崇拝したとしても 彼の化身であるキリストにも 祈りを捧げることは大切です同じようにキリストを崇拝する者は ガネーシャも崇拝すべきです 彼が源であり キリストへと発展するからですこれはすべて神聖の計画通りで 神聖な分別で成されました すべての美しく 成されましたが 人間は美しいものを台無しにするのが得意なようです 大変悲しいことです 彼の誕生日である今日 私たちは決意しなければいけませんアルファでありオメガである彼が 内で正しく再び生まれべきだと 彼の時代に人がこのシンボルを知っていたとは知りませんでした これらのシンボルは無意識の領域から 偉大な数学者に降りて来たとはいけませんなのでこれらのシンボルは正確に アルファとオメガのように使われてきました 彼をはっきりと 見ることができます サハジャ

ヨガでは とても明白です 沢山のことを感知でき 証明できます いかにキリストが人を治し 何をしたか すべて感知できます サハジャ ヨガでいかにこの力が 作用したか証明できますが まず自分たちの人生を 浄化しないとはいけません 大変誠実で力強い 純粋な人生を歩まないといけません 外で店を出していますが ここに店を出さないように言いました サハジャ ヨガのためでなく 自分たちのために利益を得ているからです 一度キリストもそのような者に ハンターを連れ一撃しました 私はしません ですが彼らを 奨励してはいけません ここはショッピング センター ではありません あなた方は 瞑想するために来ました 必要なものは買ってあります それを買えば多少利益となり それはサハジャ ヨガに還元されます 個人的な目的に 使われません しかし外からの人たちは店を出し あなた方はそこに群がります 何のために ここに来たのですか ガナパティプーレにいるなら 常に瞑想的でいるべきです 常に瞑想状態でいるべきです あなたが外でするようにつまらないことに 囚われてはいけません あの者たちはあなたに未だ弱みがあると 分かっているので店を出しているのです リーダーはこのようなナンセンスを 止めるべきです 外食しないよう言ったはずです 前回皆さん苦しみました なのにまだ店があります 買ったがる者が いると彼らは知っているからです 具合が悪くなり サハジャ ヨガの面目を潰します まずガネーシャは観智です その観智はキリストの生き方に 見ることができます 若い頃から 彼には自信がありました 12歳で牧師たちに 説教をしました 牧師やムラヤバルギー いわゆるダルマ マンタンダにです 彼はその若さで主張しました 何をしているのか 口先だけで何を話しているのかと 彼らに言いました 彼は彼らに講義し 話しをしました 両親は彼らに殺されるのでは ないかと心配しました そのため彼をインドに連れて行きました 観智のためです どこでインド人はその観智を 見失ったか分かりませんが この国は当時 観智に満ちていました 彼はインドに しばらくいました 彼の思い出は沢山あります シャリマン王も 彼に会いました カシミールで聖なる者に会ったと 書物に描かれています 彼に名前を尋ねると “私の名前はイサです” と答えました “イ”とはヴェエダでアディ シャクティのために 使われた言葉です “サ”は“と共に” という意味です 彼はそう名乗りました “どこの国から来たのですか” と尋ねると “私にとって異国の国からです そしてここが私の国です” “このインド バラタ ヒンドウスタンは スピリチュアリティの国であり” “物質的に高みにいる 他の国と競ったり” “劣等感を感じるべきではない” と言いました ここは私の国ですと はっきりと書かれています 彼はスピリチュアリティの富むこの国こそ 彼自身の国であると認識していました ですから 私たちは物質的な つまらない 下劣な 生き方をする所ではなく そのスピリチュアリティ 国に属します 彼の大変 短い人生において 彼の言葉はどれも すばらしいものでした しかしパウロは それを完全に变え 聖書を編集し そこに沢山書き加えました 彼の欠点すべてが そこに加えられています 最近エジプトで瓶に隠されていた 書物を手に入れました 50年前に発見したもので ハマディの蔵書と呼ばれるものです 発見された場所が ハマディでした キリストが言ったことや トーマスがインドに来た時に 書いたもので興味深いです 彼はお酒は放蕩を 引き起こすと言っています ひどい言葉で言っていますが キリスト教徒は分かっています それどころかキリスト教では お酒は許されていると信じています 彼はお酒を許したでしょうか 意識に反することを 許すわけがありません それなのに とても良いと思っていて キリスト教では飲むことを 大きな魅力にしています 他の宗教を見ると 例えばカトリック教徒です 結婚は一度だけです なので結婚後十人の 目掛けがいても構いません 聖書にも結婚は一度で 離婚は許されないが 好きにきなさいと書かれています モラルもありません 自己から逸脱し 次から次へと無意味なものを 受け入れるだけです キリストの人生の基本は 道徳性です 彼はシュリ ガネーシャから 来ているので左側にいて その後 アギヤに 彼自身を確立しています 道徳性が 彼の生き方の真髄です インドの言葉で言うと 人格です 私たちの人格は いかに純粋な人生を歩むかです 私たちはあらゆる ナンセンスなことに耽ります 西洋の国でしていることを 見ると驚愕します 信じられない程です 口にもできません いわゆる先進国は 神へ向かっているとは思えません 私たちの想像を超えます あまりに不純で ひどく破壊的な 不道徳さです 遺伝的に何か狂っています どこからその考えが来るのでしょうか 次から次へと これらのことを人々がしていて 日曜日には着飾って教会に行き 神に礼拝します 自国のこのような人々を 救う決意をするのはあなたです キリストや神の名において ナンセンスであると言わないといけません シュリ ガネーシャについても同じです プネーで見かけましたが 驚くことに シュリ ガネーシャの前で 人々は酔い 酷い歌を 西洋の歌 映画の歌を かけながら踊っていました サハジャ ヨギはこのような ナンセンスに抗議すべきです シュリ ガネーシャの前で どうして酔っぱらえるでしょう シュリ ガネーシャの 観智が全くありません 彼の吉兆さへの 敬意がありません 酔うだけでなく 様々なことをします タントラ教の者によって シュリ ガネーシャが酷いものにされています 西洋におけるいわゆる 心理学者によっても同じです ありがたいことに フロイトは暴露されました ガネーシャのもう一つの資質は キリストの人生に見られる お母さんへの献身です その書物によると メアリは知識について 話しています しかしパウロは それに反対しています 彼女はこれを得ないといけないう 言っていますが 彼はそれを望んでいなく 彼女と口論しています そこへトーマスは 十字に架けられたキリストが 言った言葉について言及します “お母さんを心に置きなさい” “彼女はキリストのお母さんです なぜ傲慢にも彼女を軽蔑できるのか” しかしパウロはその逆で 女性に敬意を払いませんでした なので 彼は 彼女をただの女と呼びました マハラクシュミに対して 全く敬意がありません 考えられますか ただの女です いわゆる先進国では女性が牧師に 任命できるか論争しています 私たちが時代遅れだと考えますが

彼らこそ宗教において時代遅れです 私たちはお母さんを アディ シャクティとして敬意を払います 彼女こそが私たちを創造しました 私たちを世話しています 私たちにとって彼女は シャクティは重要です 彼らは彼女をシャクティと呼ばず ただの女と呼んでいます それでいて大変 進んだ者とされていて 先進の名の下で無意味なことをしています 話すこともできない程です 言葉もありません キリストの名において 恥ずかしく感じます 地上に化身したキリストの 純粋な人生を祝う今日において 彼らは彼がそれ程までに 純粋であったとは信じていません 犯罪者も他の者が 犯罪を犯さないとは信じられません 私たちは心の純粋さを 私たちの目を通して表されるように 育んでいるか内に見ないといけません 目は純真でないといけません そうでないと効果がありません 他の者の気を引こうと魅了しようとしているなら あなたはサハジャ ヨギではありません いる必要もありません 一度あなたの内に光を得ると人は分かります サハジャ ヨギとして自身の生き方に キリストの光がないといけません 彼は地上に化身した若者でした すばらしい生き方でした 彼は売春婦のマグダラのマリアとは 何の関係もありませんでしたが 真実に立ち 彼女が投石にあっている時に 立ち上がって “罪を犯していないものは 私に石を投げなさい”と言いました 何という真実の力でしょう 彼は純粋な人格で あっただけでなく その純粋さは真実 そして彼の慈悲深さ 愛にも表れています 彼は素晴らしい慈愛を 表しています シュリ ガネーシャは 少し変化したと思います シュリ ガネーシャは確かに 彼を崇拜する者に大変慈悲深いですが 彼に反対な者には 強く叩きます 彼らは苦しみます エイズなど様々な症状が来ます しかし純粋な者を シュリ ガネーシャは守ります キリストは慈悲深く許します 人は変われると 信じているからです シュリ ガネーシャは あまりに不純であるなら殺され 再び生まれ変わった方が良くと考えます しかしキリストは人は変われると 希望を持っていました しかし叶わず 彼らは彼を十字に架けました 十字に架けるなんて 何てひどい人たちでしょう 脳もない人たちだと言えます 全くスピリチュアリティを 理解していません 真の知識に対して 感受性が全くありません サハジャ ヨギは 賢い者のみができます 愚かでまぬけな者のため ではありませんし 悪賢い者のためでもありません ある者は人生において成功している ので自分は賢いと考えます 気の利いたことや 大変鋭いことを言えたとしても 彼らのためではありません キリストは“心が柔和な者は 地球を受け継ぐであろう”と言いました 柔和な者であって自分のことばかり 考えている者ではありません サハジャ ヨギの中でも 心が柔和な者は お母さんの祝福を受けます 柔和で 賢くないといけません 叡智があつてこそ 柔和になれるます このすばらしい宇宙において 私たちがどこにいるか理解し 神の王国に入っていると 感じるからです 何のために なぜここに入れたのでしょうか 沢山の者が 様々なことを犠牲にして 頭で立ったり 断食したり 何千年も努力をしました それがなぜ突然この祝福を 私たちが得たのでしょうか どうしてここにいるのでしょうか このことを考えると 私たちは柔和になります 祝福であり 恩寵です エゴからでも コンディショニング からでもありません 神の恩寵であり 慈愛 愛 サンドウラカルナです するとあなたは 変わることができた人生を 現実であるスピリチュアリティの 新しい次元を楽しめます あなたは現実を 全体を知りました すべてを知りましたが 自分自身を知らない者は サハジャ ヨギになっていません トウカラマが 簡単な言葉で表しました 自身を知る者は 最後の者である 他者のチャクラを批判できたとしても 自身のを見ることができなければ 他者を顧みることができても 自身が内省できなければ 人のことをすべて分かっている 自身のことを分かっている なければ あなたは サハジャ ヨギではありません まず自身のことを 知らないといけません どんなエゴがあつて どんなコンディショニングがあるのか 今でさえ人は 沢山のコンディショニングがあります ですからサハジャ ヨギには 新しい鍛練があります 新しい鍛練において柔和で 謙虚で賢くないといけません どの動き 言葉においても 叡智を表さないといけません 自動的に間違ったことをさせない 鍛練を持たないといけません 私が歩いているところにある女性が 私の足元にひれ伏すとします 私がつまづいて倒れるかもしれないと 考えもせずすれば 自己中心的といえるでしょう 私がマザーのところに行って 足に触れなければ考えるのは すべてエゴによるものです 真のサハジャ ヨギは 後ろにいます 私がどこにいてもいると 分かっているのを楽しめます 近づいて会おうとしたりしません 強引にしようとはしません マザーはここにいます 心における柔和は キリストが言ったことです 柔和は大事な言葉で 人は意味を理解していません 西洋では柔和なら弱いと考えます だから攻撃的であるべきだと 人を称える時は “攻撃的で素晴らしい”と言います 彼らが遺伝子的に 低レベルなのか 中にある種の動物がいるのでしょうか さもなければ なぜ攻撃的でいることが 高等だと考えられるでしょう 高等であるべき者が 悪魔のようであるのは不可能です ヒットラーは自身が悪魔であるのに 自分は高等の人間だとなぜ言えるでしょう 悪魔は自分が 高等の人間だと言います サハジャ ヨギにおける 柔和とは ビジネスマンのような外見上ではなく 自然な柔和のことです 偉大なスピリチュアリティで あなたを輝かせる自然な柔和です 自分で落ちることはできても 誰もあなたを害すことはできません どこにおいてもあなたは 守られています 自分を叩こうとするなら 私は助けられません トウカラマの言葉のように キリストは “自己を知りなさい”と言っています 内省のまず第一は 自分自身を知ることです あなたは自分自身を 見ようとしていますか 彼は他者の目に大きな光があつて それを見るなら良いと言っていますが あなたは光が目にあるのに 他者の目にその光を見ようとし始めます それでは意味がありません ですから瞑想の中で まず内省しないといけません 主イエス キリストよ シュリ ガネーシャよ どうか私に自身の何がおかしいか 理解する叡智を 良いサハジャ

ヨギとして欠けている 資質を理解する叡智を与えてください 瞑想するだけで あなたは大変幸せに 歓びを感じます
あなたの中の徳が 歓びを与えるからです だからと言って自分は 徳の高い者だとは言いません しかし内に徳を発見したとき
それが歓びを与えます あなたの悪い資質 渴望 欲望や貪欲さに よってではありません ですから私たちは
真に集中しなければいけません サハジャ ヨガに来て人も人は有名になろうと リーダーになろうとします 別の幻です
またはどうにか金儲けのために 利用しようとしています そしてビジネスを始めます サハジャ ヨガやヨギと
ビジネスをしてはいけません 何回も言いました そうすれば問題が起こります それで私のところに来て 相談しないでください
サハジャ ヨガは神の仕事です あなたがするすべては 神のためです あなたは自己のために しているのです
ですから内省は大変大切です 他者への批判は少なくして 自分を批判し笑うことが最善です 私は沢山自分のことを笑い
そのことを話します 人生をもっとおもしろくします そうやって あなたの工ゴを殺します キリストが言っている柔和です
それは私たちの中にある 自然な良さです 一度それが輝き 現れると あなたは大変美しく 愛深くなります どこに座っていようと
そのような者は私には分かります 私のハートは そのような人格に開きます その者たちが誰か 私は分かっています
分かっていたとしても 決して言いませんが 自分で分かっていた方が 私が言うよりいいのです 自身を知ることは
彼のメッセージです 自分を欺くのではなく 真の意味です 自分を欺いてもどうしようもありません 欺きなしに 偽りなしに
完全な集中力で 自分自身を知るのです 自分の注意が どこに行っているのか見るのです そうやって上昇します 他者の欠点を見
ることでは上昇しません 自分の欠点を見ることでのみ あなたは上昇します これこそキリストが言わんとしたこと
私は簡単な言葉で言っています さらに彼は 隣人を愛せよと言っています 大変重要なことです これはサハジャ
ヨガでのみ可能です あなた方がコレクティブだからです コレクティブでない者は 隣人を愛せません 隣人とは誰でしょう
誰も隣人ではありません 外部の者です あなたがコレクティブになると、、、 今日55カ国の人があります
あなた方はコレクティブで 徳があり 美しく 複雑な問題ありません 私は喜ばしく感じますが それを完璧にするのに
私たちは内省しないといけません 社会的に コレクティブ的に あなた方は良くなりましたが 個人的にも自身の中で
自分のために良くなれないといけません キリストによって偉業が成し遂げられたので
この素晴らしい時に祝わないといけません ひどい牧師によって どの国でも宗教でも 彼の偉業は薄れてしまいましたが
私たちはキリストの名を唱え 真逆の ことをする者を救うと誓わないといけません それを成し遂げられるなら あなたの人生で
それを得られるなら キリストの偉業は 成し遂げられます あなたはキリストを あなたの生き方に表さないといけません
あなたの生き方を通して 表すことができます 純粹さ 柔和さ 慈悲深さや キリストの叡智を通して表せます 彼は完全に
恐れを持ちませんでした それゆえあなたは 恐れのない者でなければいけません あなたは神だけを 恐れるべきだからです
それだけです 間違いを犯していなければ 神を恐れることもありません 神はあなたを 大変愛しているからです すべてにおいて
はつきりさせなさい 理解しなさい 疑いなくあなた方は 大変愛されるべき人たちですが あなたの持つ徳のために 自身を敬慕し
愛さないといけません 神の祝福がありますように

1993-0321, Birthday Puja, Satya Yuga

[View online.](#)

Puja for the 70° Birthday, New Delhi (India), 21 March 1993.

これほど多くのサハジャ ヨギが 世界中から来て 笑顔で座っているのが眩しく 胸が一杯です 今日私のヴィジョンが実現したかのようです 私にはあなた方が 明日の世の救済者に見えます カリユガの惨禍が あらゆる方角から私達を取り巻いているなかで あなた方は生まれかわり カリユガの池から 色とりどりの蓮の花になり芳しく美しく咲いています 私の誕生日を祝うのでなく あなた方の誕生を祝うべきです 先日お伝えしたようにあなたこそ偉大な真理と愛の 探求者であり 預言者で それをもたす存在です さもなくば 一人を変えることすらとても難しいことでしょう しかしあなた方は敏感で 深みがあり 驚くことに 精妙な知識を吸収しました 信じがたいことです自分でも このカリユガに 偉大な人々が生まれました これほど沢山の 聖者が私の前に座っていて 信じがたいことですスピリチュアリティ史上 なかったことで 天国においてさえ 神々は少数です 優劣をつけがたい 美しいハートと 卓越した知性 活発な意識を有しています この70才の誕生日に 皆さんに会えて感謝します サハジャ ヨギは 一人から始めました参加者がいても 権力や金銭を求めていたりして 問題を起こすものが多いました 次々と問題に見舞われたり 低次元の探求者も 沢山やってきました しかし今日においては 全員が美しく 見分けがつかないほど 成長しました サハジャ ヨギに コミットできるのは この世の最高の恵みです お分りのとおり 私一人ではできません あなた方が必要です あなた方がチャンネルで もっともっと広めるべきです デリーのヨギたちは全てを 上手に運営してくれました そもそも皆がこぞって 70歳の記念日に 来るつもりでした 理由はともかく 皆が乗り気で デリーのヨギたちは今回は私達がやります といったのです マザーゼビデリーで誕生日をと 大変そうですよ 気をつけて下さい 皆が来たがっているみたいですよ 軽く考えていたようで “沢山何百人も来ますよ 大丈夫ですか”と訊くと それならもっと嬉しいですよ 彼らの運営にかける熱意を 私は見ました 最高なのは デリーのような政治家や政党のある政治の中核で サハジャ ヨギ内に 政争がないことです 言い合いもなく 足の引っ張り合いもなく デリーのような場所で 注目すべきことです 連日のように 国会内ですら 乱闘が報じられるのに おそらくこの地獄ゆえに善人が生まれ サハジャ ヨギに なるべきだったのでしょう サハジャ ヨギの知識は ご存知のとおり 極めて精妙で 簡単ではなく いわゆる知識階層や 因習に囚われている人々には たやすく浸透しません 一方には無知な大衆がいて もう一方には自分の頭で作った 枠組みの中だけで 生きている階層がいます 両者とも極めて荒削りです しかし 如何に彼らが神の微細な恵みを吸収したか 信じがたいことです 私の誕生の後に 多くの者が生まれたこと それをだれも理解できません 私の前に生まれた人も 少数います 彼らは私の誕生直後に生まれ サハジャ ヨギに来たのです しかし私は世界を見て ショックでした カピラ自身よりも 衝撃を受けました どうやって誰かと話せるでしょう 私の家族とも どう切り出せば良いかわかりませんでした 無知の暗闇が深く できませんでした どうしたら 聖なるものを信じるでしょうそれが待っていると分かるでしょう 彼らは皆 ある種の宗教を信奉し 現実から乖離していました どう話せばよいか 思い描くことすらできませんでした 最初の出来事を覚えています ナゴールに行き サハスララを開いたときです最初にリアリゼーションを与えたのは グジャラート人の宝石商でした たちまち他の皆が 35人足らずでしたが 宝石商で金持ちだから だと言いました だからマザーは リアリゼーションを与えた と 本気で怒ったのはあの時が最初で最後でした 彼らに怒鳴りました あなた達は全くの役立たずで 聖なるものを決して分らないでしょう 本気でもうやめよう と思いました サハジャ ヨギが 理解されるまで もう1回生まれ変わる 必要があると ですが突然人々がクールブリーズを 手に感じ始めた 私が怒鳴った直後です マザー 働いていますと 身体の内外で働いています こうして12人を得ました 以前リアリゼーションを 与えた女性も 後に加わって 14人のサハジャ ヨギで 始めました突然そうなったので 皆が驚いていました それが何か 知らなかったからです すると驚くことに 憑依された女性がプログラムに来て ジャガダンバ ジャガダンバと 言い始めたのです 彼らは理解できませんでした 私も自分について教えていませんでした さもなくば 教えなかったでしょう 彼女は次に詩を吟じ始め それはサンスクリット語の ソウンダリヤラフリでした 彼女はただのメイドで しかも男性の声でした 皆ショックを受けて どうして霊が そういったのかと思いました その後彼女は去りました すると人々は 私が何者かわかりだして 最初の私へのプージャをしたがりました 私の自宅でした でもまだ自信がなくて 神官まで呼んだようです このサブタサディは難しいプージャだから どうなってしまうのだろう ですがプージャが済むと 何も起こらなかったし 前より良くなりました皆クールに感じました 雰囲気も完全に変わりました 彼らはサハジャ ヨギが ヨギ ダルマであると知りました このカリユガの時代のダルマで サハジャ ダルマが このユガのダルマになりました このユガ(時代)は とても確かに難しいです だからこそあなた方は 皆さんが 熱烈な探求者になったのです あなた方は大衆が ただ何かに従い

道を見失っていると分かりました 自身の殻のなかで 頭をあちこちぶつけていると 彼らはたちまち リアリゼーションを得ると自身の探求や人生について 私に語ってくれました 私は驚きました 彼らには探究心が働いていて サハジャ ヨガに導かれてきたのです その過程で偽のグルつかまって 道を失った者も多いことも 忘れてはなりません にも関わらずこんなに多くのサハジャ ヨギが 国を代表してここにいます ですが祖国には 更に沢山いるのです インド国内でさえもずっといます あなた方は代表しているのです その何倍もの数が いるということです 何人かわかりませんが サハジャ ヨギは何人いるんですかと 何度も訊かれましたが “わかりません” “わからないのですか” “わかりません 記録しないので” 彼らには理解し難いようで オフィスも記録も事務員もいません 私はタイプもできません 小切手の切り方も知りません 人々は理解できません 現代に私のような人が 存在することを ですが全て何とかなります 現代の無知があるけれども全てが完全に パーフェクトに運びます リモコンのようです これら全てに関して 私はひとことも 言ったことはありません どうすべきだとか 何人必要だとか 全て自然に上手くいきました 皆がコミットしているからです そのコミットメントが素晴らしい運営力を もたらしめたのです 本当に多くがまとまりました パラマチャイタンニヤが クリタ ヨガにさしかかり全てを運んでいるからです それがあなた方を完全に助けます たとえば警察は ムスリムがここに住んでいるので何か問題になるかもと言っていました 危害があるかもというので どのムスリムですかと聞くと ニザムディン アウリアの人が住んでいます 彼らは私たちに危害を加えません なぜなら彼らはスーフィだから それに彼は偉大な聖人だったからなので彼らの殆どがスーフィで それを信じているはずで 私たちに危害を 加えるわけがありませんと 明日早朝にチャードルを頭にまいて 行って来なさい 彼らはとても感激して ここまではるばるやってきて それにとっても丁寧でしたすると私を呼んで チャードルをくれたのです 他にも何かとくれたり 歓待されました 彼の弟子に アミールクスロウがいて彼も偉大なスーフィで 私は彼の詩やニザムディンの 気品ある生き様を 賞賛していました 彼らムスリムは私にこうして手を向け クールブリーズを感じます と言うので これがルーです ああ これがルーですか 彼らはルーを得たらすぐにサハジャ ヨギになり その結果 世界中に沢山のスーフィがいて 彼らの住所を調べて 会いに行きましょうそしたらもう一つ テントが必要になるかもしれません 2つか もしくは 3つかかもしれません デリーではサイズをあまり恐れませんが またデリーでするのが良いでしょう また昨今では デリーは騒がしい都でそれをなだめ沈めるのにも 私達が居ると良いでしょう いわゆる国の舵取りをする 役人たちに智慧を与えられます間違いなくそうなります これらサハジャ ヨギによって レーションが 放たれています あなた方の頭上をみると天井の布が上下に揺れ続けています 外の風はないのにです 木の葉は動きません あなた方の頭が動かしていますこのヴァイブレーションが 政治家や役人を 鎮静して穏やかにし やがて平和を確実にもたします世界で様々なことが起きていて 不安に満ちたこの時代 政情不安があり ロシアでも ポスニアでも イギリスでは不景気アメリカも スペインも不景気で 皆が苦しんでいて 彼らは極端な態度にでました なのでこの極化により 彼らは物質主義との向き合い方を変えるでしょう 必ずあるバランスに至るでしょう あなた方の全なる望みや祈りで この世は美しく 魅力的になり後世の人々は この世が聖なる芳しい 香りに満ちた蓮の花になった ということです あなた方は花びらで コロナであり 色彩であり 美であり 花粉であり 私の世界のビジョンの 美しい蓮の花です 今日この日に サハジャ ヨガのために 働くこと決めて それを広め自らにも働きかけて下さい 危険があるとすれば エゴに支配されないことです それが唯一の暴れ馬で 馬に引きずり回されず自分を乗りこなせば とても早く前進するでしょう 美しく こうしてサハジャ ヨガは広がります 誕生日ごとに誓いを立てたりしますが 私は何を誓えばよいのでしょうか 私に無理をしないようにと 人々は言います私は一生懸命働いています ですがそれを 倍にしようと思います 同じようにあなたも 皆が誓いましょう サハジャ ヨガの仕事にコミットし 社会に出て行くと それについて考えると 科学者なら 博士なら本を書くべきです 記事を書き動きまわり 同僚と話し 同僚たちと 研修会を催すべきです 建築家たちや 他の職業でも 同僚たちにリアリゼーションを与えるべきです 金融の分野にいてさえ サハジャ ヨガをするべきです それが大事でお金の問題は聖なる力でしか 解決できないからです 誰にも解決できません この世の誰もが 法律でも別の分野でも サハジャ ヨガをするべきです そしてクリエイティブに 仕事をなすべきです そしてまた 周りの環境 村や都市 どこであれサハジャ ヨガの プログラムをして 拡めて行きなさい 治療に関しては 誰にも触らないように 私の写真だけを使って こうしてどんどんサハジャ ヨギが増えていき 病気の者は減っていきます 人々は治っていき 皆サハジャ ヨギになるでしょう 農業もあります 何度か試しましたが 更に農業に応用すべきです 政府に農業分野での 可能性を訴えるべきです 委員会を作り 会いに行きサハジャ ヨガが 農業にどう役立つか話しなさい 子どもの援助も必要です 彼らを大切にしなければなりません彼らにどんな未来が 待っているでしょう どんな世になってくるでしょう インドにおいてさえです なので子どもをサハジャの文化で ちゃんと世話することが とても大切です 彼らが明日の サハジャ ヨギだからです 多くが生まれながらにリアライズしています ちゃんとしつけて 彼らをアーラにすべきです アーラ ダルザです カワリで言われる サハジャ ヨギのことです 家庭もとても大切です 今日の家族が 狂っているのを見るのは ショックなことです 誰もその大切さに気づかずにいます サハジャ ヨガでは 小競り合いやケンカ キツさや残酷さはなくすことです ちゃんとした関係をつくりまずは夫婦からはじめて 連れ添っていき それを子どもが見て学び 楽しむのです 生活のなかでの装いも 威厳と品位をもって

自らを敬いなさい とても大切です 自分に似合うものを 国に合わせて着るべきです 真夏の季節で
3ピースのスーツを来たりしたら どうなるでしょう 適切で 文化にあったもの 品があつて伝統に沿った 装いをするべきです
特に女性には大切です より高貴に見えるような 服を着ることです もう一言女性に加えると 女性が少なくとも
新聞くらいは読むことです 注意が世界の問題に 向いていれば とても効果的です あなたの注意は効くからです
注意を使いなさい 新聞も時に恐ろしいのは 知っていますが バンダンをしなさい 何が起きているか見なさい 大切です
男性はセンセーショナルなものは 読まないことです 現実に関係していることに関し 読んで解決を考えなさい サハジャ
ヨギとして どう役立つか 個人的にも社会的にも 私たちは多くの問題を 解決しなければなりません 名作も読むべきです
映画も見なさい それらに対する感想を持ち ころろを敏捷に保ちなさい 私は美しい詩歌を 最近たくさん読みました それらは
まさか詩を書くとは 思えなかった そんな人々による 最上級の美しいものです これらの詩を集めましょう 奇跡的な写真も
方々から集めましょう 今それらを編集しています そしてそれらによって 自然に何かの助けになれば 素晴らしい達成です
今までにそうした情報を集めたり 保管したりしてこなかったからです 最も大事なものは瞑想です 瞑想しなさい
瞑想によってのみ現在に在ることができ スピリチュアルな成長が可能で 何度も言っているのに しようとしません
10分ほど瞑想できれば 寝る前にすれば効果的でしょう 間違いなく 早く成熟します 私には瞑想しているか
すぐに変化が分かります 習慣づけば 決して止めないでしょう 簡単な瞑想です フットソークなどもあります
朝は工ゴを叩きなさい それだけです それは義務や 苦行ではありません そういったことではなく シンプルなことです
でも自分自身でそれを行い 自己実現と神聖への成長に 敬意を現すのです 私たちには 沢山の強みがあります
でも気をつけていただきたいのは 探求心のない人々に サハジャ ヨガを勧めないことです 議論や口論して
力を浪費しないことです あまり議論できることでは ないからです 彼らは忘れて放っておくことです 私に任せなさい
真理を探求している シンプルな良い人を選びなさい 議論ばかりの人々のために 頭を痛めてほしくありません 今日では
サハジャ文化が出てきて 人々はあなた方を見て 特別だと感じるでしょう 何かユニークさをもって 他にない性質があると
これらは全て あなたの内面から 自然に出てきましたが それを恥じずに保つことです 自身の美德を 恥じてはなりません
人が何をしてくるかも こうしろあしろと言われても 間違いなら 従うべきではありません あなたにはもう力があり
したくないです といえば良いだけです あなたが民衆を導くのであって 人にリードされるべきではありません
ファッションにも惹かれず あなたがファッションを作りなさい 彼らに道を作るのです 彼らの道を
あなたが歩くのではありません いいですか あなたの人格は 多くの精妙さを 理解するレベルにあり その力に人は気づきません
だからあなたが 当然リードしなければなりません 彼らの考えを取り入れるのではなく サハジャ ヨガやあなた自身に
何かを言われても 恐れないようにしなさい 自身を持ちなさい そうすれば上手くいきます 私はただの女性で主婦ですが
サハジャ ヨガに自信があるから うまくいきました 始めるかどうか 迷うことなく ただ始めたら 家族ではあまり評判は
良くなかったけれど それは問題ではなくて 自分で全てを初め 全て上手くいきました 真理に完全に自信がありました
真理が私を助け 私を訪れる人々をも助けると そして現にそうになりました あなたにも難しくないでしょう まずは皆さん
自分が条件づけされてなく 工ゴがないことを 確かめてから始めていけば 上手くいくので驚くでしょう
今日のブーチャは短いので 長く講義しました この短い時間では まだ言えないことがたくさんありますが
ですが坐れば簡単にできます 1 2 3 4 5 6 7 8 自分と なので自分がオーガナイザーだと ところに留めて下さい
何をすべきか 何ができるか 何をなさそうとしているか ぜひやってみてください 皆ができます 日記をつけるのが
一番よいでしょう 何をしたかとか リアリゼーションを何人に与えたか 何人治り 彼らについてどう思ったか でもサハジャ
ヨギ達は 今持っていないと マザー 今は持っていないので 明日から始めます 今日から始めなさい サハジャ ヨギの唯一の問題は
ものを軽く考えすぎるところです もちろん そういう性格なのでしょうが サハジャ ヨガに関してはいけません 他のことなら
軽く考えても良いです 誰かに怒鳴られたら 叩かれたとしても 軽く受け止めれば良いでしょう そんなことは何でもありません
あなたはスピリットなのですから スピリットを壊すことはできません ナイナム チダンティ シャストラニ でもサハジャ
ヨガに関しては 違う態度であるべきです 一方ではリラックスしていて もう一方では精力的であるべきで そちら側でサハジャ
ヨガの理論を 前面に押し出すのです 人々に話す際に プレスコンファレンスを催したり したいようにしなさい
どんなレベルであっても やりたいなら キッチンと計画したなら あとはただ実行するのみです 全てうまくいくでしょう
間違いありません 私のこれらのアイデアで 多くの者が来るでしょう 来年にはきっと 実現していることでしょう
ライ氏のように多くの人に 本を書いてもらいたいです 医者は皆書けるでしょう ドクターライは簡単に書きました
簡単に書けました 美しく成功しました 誰もが自分の体験を サハジャ ヨガの理解を持って 書くことができます それがサハジャ
ヨガを 助けるでしょう ただ非常に 誠実な本であるべきです そうであれば サハジャ ヨガでも賞賛され
出版されることになるでしょう アイデアがあるものは 誰でも本を書いてみるべきです 新しいアイデアや創作です
とても大切です 現代では人々は 新しいことをしようとするからです このような状況ですから 皆が上手くやれるに違ひません
サハジャ ヨガについて常に考え アイデアを思いついたら書き留め それを編集し サハジャ ヨガの 美しい本にしなさい
女性にも多くのチャンスがあり サハジャ ヨガのために色々できます 今が絶好の機会です 間違いなく明日から

サツティヤユガが始まると思います 何が兆しかといえは サツティヤ (真理) が 勝利するということです
何であれしようとする 真理が勝利します 真理の勝利 それがあなた達により起こります そのためあなた方に
おめでとうといいます それを是非やってみてください 神の恩恵がありますように

1993-0606, Shri Adi Shakti Kundalini Puja

[View online.](#)

Shri Adi Shakti Kundalini Puja. Cabella Ligure (Italy), 6 June 1993.

今日の崇拝の対象は 私です 初めてです これまでは 私の一部や一側面でした 今こそアディ シャクティとは何かを知るべき時です それは全能の神の 純粋な望みといわれ サダ シヴァに由来します では全能の神の純粋な望みとは何でしょう あなたは自分の望みをみると 何に由来するでしょう 聖なる愛ではなく 身体的な愛であり物質的な愛であり 力への愛です これら全ての背後に愛があります 何かを愛しなければ 欲しないでしょう あなた方はこれら平凡な愛をもち そのために 多くの時間を浪費します 実際それで 満たされることはありません 真の愛ではないからです 少しの間のぼせて すぐに飽きるのです それをあちこちで繰り返します 次々と対象をかえながらアディ シャクティは神の愛の 現れで 神の純粋な愛です でも彼は愛において 何を欲するのでしょうか 人間を創ることを欲し彼らが従順になり 崇高な 天使のようになるよう望みました アダムとイヴの創造は 彼によるものです 天使には自由はありません そのように創造されました そう決められています なぜそうするか知りません 動物もなぜ自分がある行動をするか知りません ただするだけです 自然に縛られていて 全能の神に結びついていて シヴァはバシュパティであるといわれ 動物を支配するという意味です 彼はバシュパティです 彼は動物を支配するので全ての動物の欲求が彼に含まれますが 悔やむことはありません エゴもなく 良い悪いを考えることもありません カルマの問題もありません エゴがなく 自由もないからです ここで 純粋な愛であるアディ シャクティは一つの人格に全ての愛を注ぎ それゆえ何も残されておらず ただ観じるのみの父なる神を 想起します 彼は考えること無くただ自らの思いを観ます 愛を観ます それがいかに作用するかを 観ています それを見る際は注意深く 私の創造した神格は愛と慈悲に他ならないと 知っているからです その慈悲は高貴で それを損ねたり害したり いかなる形であろうと乱したり貶めたり 侮辱することは 決して許しません 彼はその点とても注意深く 良く観ています ある分離が彼の愛によって起こったと言ってよいでしょう この愛にも人格があり つまりエゴをもち作用し 独立した人格となり自由に好きなことを為します 現世の夫婦ではありませんが 夫婦共に完全に自由で 好きにすることができます 何の結合力もなく 合意もなく 調和も関係もないけれど 月と月光のよう 太陽と太陽光のようです ある意味非常に結びついていて 一方がすることを他方が楽しみます その美しい分割において アディ シャクティが彼のプランを変えることにしました サンカルパ ヴィカルパ カロティ として知られます 何かを過度にしようとすれば彼女はそれを分割します 今日の11時のプージャのように なのでアダムとイヴの事にしても 彼らが動物や天使のようになったところで何になるかと そう考えました 自覚が必要だと 自分がしていることを知るべきだと 彼らには知識を得る自由があると 知る権利があると ただ動物のように生活して 機会的に同じ繰り返しをする必要があるでしょうか なので彼女の任意で 当然熟慮の上ですが 蛇として来たのは彼女なのです そして告げます知識の果実を味わいなさい と サハジャ ヨギではない人には これを教えられません ショックを受けるでしょうですがこの蛇こそが 彼らに試しに言ったのです この果実を味わいなさい と 蛇は女性に言いました 男性ではなく 女性は物事を受け入れやすいからです ブーツでも無意味なことでも 受け入れられます 受け入れる存在だからです 一方男性はたやすく受け入れません 議論したり口論します なので女性に行って言いました 彼女が来たと言うべきでしょう 聖霊は現に女性性だからです より女性に近く この力が蛇として来て言いました 知識の果実を味わいなさいと だから夫を説得することは イヴの 女性の仕事です 女性はどうするかを知っています 時に間違えることもあるかも知れませんが 間違った 不吉な事を 言うかもしれません マクベスでもそうでした 夫を愛にする女性は 沢山見てきましたでも夫というのは 導かれることもあれば 解放されることもあります 妻がちゃんとしていればですが 彼は妻に全幅の信頼を寄せ 信じて 知識の果実を味わいました それは神の女性性の人格 聖霊の導きでした これは キリストの姿やモハメッドやナナカを 多少理解したといっても 分からないことです 理解できません ちょっと分かっただけです 人に話してもこう言われてしまいます ハア それは何ですか と 耳を貸そうとはしません なので当時の意識や 世の反応に対して彼らはダルマと上昇について 話しました でもインドではクンダリーニについて 古くから語られ それはアディシャクティの私達の内なる反映であるとされます いいですか 彼女が自ら言ったのです 私は全ての人の中に宿ると ならばアディシャクティは 愛それも純粋な愛であると 慈悲であると知りなさい 他には何もありません 彼女のハートの純粋な愛のみです その純粋な愛は とてもとても力強く この母なる大地に愛を与えました その母なる大地は 我々の行いの罪深さに関わらず美しい物を通して 万人に愛を注いでいます これらの美が あらゆる方法で 銀河や星々を通して 表れています 科学的観点からは科学には愛はありません 愛を問題にはしません 人はヨガでさえ 愛や慈悲を問題にしません 愛と慈悲がなければその人に聖なる光はありません 全てが聖なる愛に 完全に浸っています 地上の被造物は全て 宇宙の創造の全ては

そしていくつもの宇宙が 聖なる母の愛によるものです なのでアディ シャクティの愛は 極めて精妙で
時にあなたの理解を超えています 私はあなたが私を 愛していると知っています それは巨大な愛ですが
そのヴァイブレーションは さざ波のように 岸については引いていきます そして多くのキラキラした泡が
その浜を覆っています 同じように私のハートには あなたの愛が光を放ち その響きがこだましています この聖なる愛において
それがどんな感じかを 説明しがたい経験です まず目に涙が溢れてきます なぜなら それは慈悲で サンドラ カルナで アダル
つまり乾いていません 父なる慈悲は ドライかもしれませんが “これをしなければ撃つ こうすると・・・”
父親はそんな言い方をしますが 母親は そんな傷つけるような 言い方はしません たまに貴方を正すために
言うこともあります 父親のそれとは違う言い方です 彼女はサンドラカルナを 持っているからです アダルとは 乾いていない
の意です このようなハートを 彼女は持っていて この聖なる愛を抱え 体中が 全てが聖なる愛で できています
どの部分も聖なる愛を放ちます ヴァイブレーションとは 聖なる愛です 以前言ったように この化身が来る 必要がありました
時が熟しました その時がきたと皆分かりました でもそれは固定された時ではなく サハジャである時です 固定された時間は
例えば電車の出発時刻や 到着時刻です 例えば 機会があるペースで 生産をし続ければ このくらいの期間で
これくらいの生産量が見込めるだろうと しかし生き物は自発的で サハジャであるので いつとは言えません
自由のプロセスも同様です あなたは最大の 自由を持っています だからいつとは言えません いつ人々が この聖なる愛の
精妙な知識を受け入れるか ドライな知識もあります インドではひどい人がいて 本を読んだりマントラを言ったり
そればかりに忙しく そうやってどんどんドライになります 骨格しが残っていないような 人たちです そしてとても短気で
誰かを見ると その人は灰と化します こんなことのために 地上に生まれたのでしょうか 苦行だとかを重ねて
人を灰にするためでしょうか でもそれで彼らは 自分たちが偉いと思いました 人を見ることで 灰にしたり消したり
バスマサットと呼ばれます 彼らのハートには 善の概念がありません ですから まず聖なる愛によって 成就するのは
あなたの善です 善ということば自体が 大分濫用されています 善とはあなたのスピリットに良い という意味です
スピリットとは 全能の神の繁栄です だからあなたの中でスピリットの 美しさが反映されだすと あなたは与える側になります
もはや何かをとる側の人でなく とても満たされて与える側になります この降臨はそうと決められた その時に起こりました
先にいったように あなたには自由があります 人々は荒んで あらゆることをしています 分かりますか それ以前は
力を求める人の問題がありました インドに行ったり 中国に行つて侵略したり 反対にアフリカを侵略したり そこらじゅうです
いわゆるアメリカ人も アメリカを占拠しました この時期は人が自由を 力の行使に使っていた時代です アディ
シャクティが生まれる 時期ではありませんでした 力を希求する人たちがいました 今日でもそういう人がいますが
当時は力と領土 そればかりでした まったく重要でないのにです その時期ではあり得ませんでした 当時は自由のため戦う
必要がありました 帝国主義者の支配から 逃れるために 力で圧倒する人たちにです 状況は徐々に変化しました
大変スムーズに変わりました 驚くことに 私自身変化を目の当たりにしました 上手くいきました 私自身もご存じのとおり
インド独立運動に参画しました 大切なことです インドからそれは起こったのです まず帝国主義からの自由
その自由の概念が次第に 各国に広がり 民衆は考えだしました 理解しました 植民地は不要だと 自分の場所へ戻るべきだと
これらの変化は 私の生前に起きたのです まず自由を求めた人は 亡くなりました 多くの人が殺されました
バガットシンのような人がいました どの国でも 革命家は投獄され ひどい扱いを受け殺されました
インドだけではなくでした そこを通過する必要がありました 自由が試されたのです 彼らは無駄死にだと考えました
これは自由ではないと 結局あれは何だったのかと後悔し そして ある種の恐れを抱き 他者を恐れ いわゆる レフト
ヴィシユディの問題が 始まりました 強く負い目を感じて 自分が間違ったことをした するべきではなかったと この時点でも
様々なほかの問題があり カースト制度や 奴隷制 身分の格差で 低く扱われる人がいたり より優れた人とされたり
民族的にも優劣があり あらゆる馬鹿げたことがありました 自由を通して これらを作り出したと 自由のせいだと
それは事実ではありません でもそういったものが作られた 例えば これはカーベットじゃない と そう言い続けたとします
するとみな洗脳されて これはカーベットじゃなくて違うものだ と皆が言い出すのです それはまるで催眠術のようです
人々がこの人種差別を受け入れて 格差や隷属を カースト制や女性蔑視を 受け入れました これらは全て
彼らを選択したものです 何が良くて何が悪いが 彼らにとっては 良いことだったと分かります 好ましいことだったのです
このような状況では 慈悲は無駄になるでしょう 聖なる愛も無駄でしょう それを知的に理解する 準備がなかったから
彼らには話せないでしょう これは完全な盲目で 無知だからこんなことをする といつても これは正しくない
これはあなたを貴くせず あなたは卑しいことをしている といつても駄目でしょう もちろん何人もの聖者が やって来て
高貴さや許し 融和や合一が唱えられました 偉大な予言者が生まれ そういったことを語るに至りました 民衆はさほど
準備ができていませんでしたが 次第にそれらの教えが 人々の間で働き始めたようでした でも最も大きな問題は
いわゆる宗教問題です 宗教は皆脱線し 彼らはある種の水たまりをつくり ムスリムはここ クリスマスはここ
ヒンドゥーはここと それぞれが溜まっていました そこで命を与える者が必要でした 水たまりを満たして 一つにするためです
ある種の人種が 他より優っているなど 完全な無知で愚かさそのものです ただ言えるのは それぞれが

違う状態だということです　違う意識があつて　より高い意識の者もありますが　一概に誰かを責めることはできません
彼はだめだとか　この社会はだめだとか　一概には言えません　個人的には言えますが　一概には言えません
でもこの無知の闇はとても深い　集会的になるからです　それは集団での無知　集会的無知です　彼らは皆が手を取り合つて
この宗教が一番だとか　我々こそが　選ばれた民だとかいいます　他の人は　いやいや違うと　この人たちは完全にだめな民族で
私たちが最高だと　宗教の名の下で　全能の神の名の下で　これらナンセンスを始めたのです　なのでアディ　シャクティが
完全な力を　発揮しなければなりません　まず彼女が分かったのは　家族とは何かを知る必要です　こどもは家族の中で育ちます
子どもがきちんと両親によつて　注意されないと　甘やかされて育てば　もしくは過干渉にされたり　放っておかれたりすれば
こどもは愛を知りません　子供が愛が何かをわからないのは　愛とは甘やかして　おもちゃをたくさん与えたり
取り上げたりすることではありません　いつも子供に　注意をおくということです　甘やかす注意ではありません
子供の善に対する注意です　いつもそこに善があるように　こうして家庭生活が　まず維持されるべきと思ひました
とても大切です　なぜならこの時代は　宗教をかたつて　尼僧や聖職者や　出家僧や　ありとあらゆる賢人がいます
彼らはみなとてもドライです　皆民衆をミスリードしています　民衆は色々な修行をはじめ　出家して　妻や子供から逃げ出します
なのでまず私が分かったことは　人間は愛を知らなければ　愛せないということです　この愛はコレクティブなら　より効果的です
インドで見たはずですが　インドの家族は　本当に愛し合っています　会ったことのない親戚でさえも　どんな関係かもわからず
にお兄さんとかお姉さんと呼びます　関係も知らないし　誰が父親とか姉妹であるとか　知らずにです　単にお兄さんのように
感じるからです　自分の兄のことを聞かれても　わからないでしょう　理由は拡大家族制にあり
それはコレクティブのような制度です　誰が本当の兄かもわからない　誰が義兄で　誰がいとこかもわからない
皆が一緒に親戚として　一緒に暮らしたのです　それもまた廃れてしまい　拡大家族も廃れました　経済的理由とか何とか
理由は何であれ　なのでこの大切な時期に　人々は愛を知る必要があるのに　家族制度が　あらゆる国で崩壊しています
西洋諸国では特に　男女ともに家族制度の　重要性を理解していません　家族制度を信じていません　可哀想な子供達にとっては
不安な事態です　不誠実な土台では　ちゃんと育ちません　それによつて暴力的な　ひどく取りつかれた　世代が来ました
彼らは戦争の商売に行きました　無意識に戦いを欲するのです　木と戦う子供を見ました　“なんで戦っているの？”
“戦うのは良いんだよ”　と言います　でもなぜそうするかは　気づいていません　理由は愛の欠如です　見るものすべてが嫌で
これもあれも嫌いだといって　憤りでもって何かをし　見るものすべてを破壊します　新しい傾向が始まりました　戦争が終わると
当然価値観が墮落し　民衆は何だったのかと　私たちの価値によつて　何を得たのか　戦争ばかりで　社会が荒廃し　子供達も殺され
何が戦争だということかと　概ね民衆のころは　まあとにかく戦わねば　となります　痩せている人が最高で　支配する人が
上昇志向が最高だと　こうして帝国主義的な支配は　終わったにもかかわらず　個人の支配に姿を変え　支配へのエゴが育ちました
子供の教育においてさえ　子供をととても傲慢にしむけます　人為的で　極めて傲慢かつ不自然です　なぜ子供がコントロールされず
これは悪いと　教えられていないのか　信じがたいです　なぜなら親が　とても防衛的な態度で　子どもに向き合おうとせず
悪いことを教えないからです　子供に見捨てられるとか　そんな考えにとらわれて　何でもしていいから一緒にいよう　と言います
そんな状況下で　人間は良い家庭生活から次第に　離婚などおかしな　男女を共有する信条などへ　墮落してきています　アディ
シャクティの出現には　何とひどい状況でしょう　それに他に大きな問題として　宗教があれこれと主張して
考えや制約を人々に課して　民衆を盲目にしていることです　なので混乱があり　こうした混乱の時だからこそ　アディ
シャクティがダルマを　確立しにくる必要がありました　彼女がダルマを確立させる　必要がありました　とても不誠実で
胡散臭い時代でした　生まれてきて人々を見て驚きました　当時はシーカーも　あまり居ませんでした　一人か二人の
リアライズドソールに会いましたが　ほとんどは自分の保険とか　お金とかの心配をしている人でした　話しかけようにも
どんなところに来てしまったのかと　何を話せば良いかわかりません　聖なる愛の話を　どうやってするのでしょうか
探求すらしていない人たちに　それが次第に　自信を持ち始めました　最初はちょっと早く来すぎたかと
もう少し待ったほうがよかったかと　そう思ひました　人々はお互いに憎しみ合い　それぞれが敵対しい　騙しあっていたし
それにお互い　嫉妬しあっていました　出世競争とか　足の引っ張り合いもありました　なのでサハジャ　ヨガの時代では
まだないかと思ひました　すると偽のグルに会つて　人々に魔術をかけ　支配しているのを見ました　それで本当に考えました
もう世間の雰囲気　を気にするのはやめようと　どんな人であれ気にせず　始めようと　こうして最初の　ブラマランドラチエダンが
インドで起こりました　5月5日のことです　1970年5月5日の朝です　他にももちろん急いで始める　理由がありました
私の準備は整つて　人間の問題を知っていました　でも人はセルフ　リアリゼーション　を得られるとは
信じないだろうと思ひました　この化身はとても特別です　多くの化身が来ましたが　彼らはやってきて言葉で教えました
これが良いあれが良いと　彼らに魅せられて　追従したものもありました　でもハートは空っぽでした　聞いたことはよくても
それは説教であり　講義であり　ギータであるだけです　そのような人の生も　聖なる愛の輝きが　内にありませんでした
何人もの良い人が　この短い間に存在しました　マハトマガンディーや　マーティンルーサーキングや　色々な人が方々にいて
アブラハムリンカーンも　ジョージワシントンも　ウィリアムブレイクもシェイクスピアも　この間文学のみならず
老師もソクラテスもありました　ソクラテス以来　何人もの哲学者がいて　より高い生を語りましたが　それにも関わらず

人々は彼らを変な人扱いし 理解不能として黙殺しました 誰も例えば グルギータを読もうとしません 読みません 意味のないことだとして 役に立たないたわごとだと こんな態度がそこら中にあり 私はそれを見て ああ どうやって話すというのでしょうか 自分について 彼らについて 見つけねばならないものについて 私はここから 人々に熱心さを望みました 少しでも私に チャンスが与えられたら この聖なる愛はとても精妙で 彼らのハートに届くでしょう でも彼らは石のようでした どんな話をするのも無理でした それに最悪だったのは 自分のことばかり考えていることでした この状況で サハジャ ヨガが始まりました そこでアディ シャクティの力が 問題よりも ずっと強いことが分かりました 自分ではっきり分かりました この力がクन्दリー二を 引き起こすからです 自分がクन्दリー二を引き上げられるのは知っていました それを大勢に一度に 与えられるのも知っていました でもあげた人がまた戻ってくるかは分かっていませんでした 人々は無知だからです 帰ってくるとは思っていませんでした このレベルまで サハジャ ヨガを実践するとは これっぽっちも思っていないませんでした 誰かに言われても 笑って否定したでしょう 最初の講義の時は どこもホールが一杯で もちろんホールのせいでは ありませんが 私は別の場所に滞在していて ホールがなかなか借りられませんでした そしてその後も ほとんど人が来ずです だからもう何を言っても駄目だと 耳から頭を通り抜けるだけで なにも理解しようとしないと 何もわかっていない 私は家族から反対され あれこれと 問題と圧力を感じていました でもそれは重要でなく 一番重要なのは どうやって人の心に届くかです 唯一の解決法は彼ら自身のクन्दリー二を上げることでした それにより内なる光が灯ります 私はずっと座っていて そこへ誰かがクन्दリー二をあげてもらいに来て 私がクन्दリー二を上げてあげて というのは間違った考えで 私にはそれが分かりました そこで集合的 リアリゼーションが始まりました 人々はとても驚きました それはマジックではなく 物語でもなく真理でした 彼らは自分の手先で 実際に感じました 頭頂部でも感じました それがサハジャ ヨガの実現です 驚くほど上手くいきました でなければ無理だったでしょう 今日目にするこのすべての驚異は あなたが反応してくれがおかげです あなたが反応し受け入れたからです でなければ アディ シャクティも役立たずです あなたが受け入れなければ 私は無です 実際それはあなたの英知が 感覚や探求が サハジャ ヨガに導いたのです 手紙を書いたこともなければ 電話もしません 他のグルは皆そうします 新しい場所につくと かの地の要人をリストアップして 手紙を一斉に送ります 少なくとも2、3人が出席するようにです しかしそんなことをせずとも この集合的目覚めを いかに行き届けたか 人々はサハジャ ヨガを それによって理解でき 彼らに浸透していきました まずそのために私は 自分のクन्दリー二をあげます パブリック プログラムの度に 自分で上げます その上あなたの問題をすべて 私のクन्दリー二で受け止めます それは痛みます だからブージャの後は しばらく石のような状態になります あなたの内にあるものを 吸収するからです あなたを私の体に入れるようにです あなたは私の身体の一部なのです 私の体の細胞の一つ一つが あなたの為です あなたにはそれほど 精妙さが必要です 自分が何を抱えているか理解したり サハジャ ヨガや他の事に できることがないか アシュラムを始めたいとか 何かあるなら たちまち私は分かります あなたが私の中にいるからです ほとんどのことをハッキリわかります 分からないこともあります 理由は一つ あなたと私の関係です もちろんそれは親密なもので 私の体の中にあなたがいます でもあなたが瞑想していなければ ありふれたことを言わなければなりません ディヤーナガンミヤです あなたが瞑想していなければ 私はあなたと無関係です あなたは私の親族ではありません 私に対して何の権利もありません 何かを質問することもできません どうしてこんなことが起こるのですかと なのでいつも言います 瞑想 瞑想と 私とあなたは 何の関係もありません もはやそこにはいません 私とはつながりがありません 他の人と同じようです サハジャ ヨギかもしれません サハジャ ヨガの単位を リーダーがくれたかもしれません 偉大な人と 思われているかもしれません でも瞑想していなければ 毎日朝か晩にしないなら シュリ マタジの領域にはもういません つながりは ただ瞑想を通してだからです ギャナです 瞑想をしない人がいました すると苦しんで 子どもも苦しむ何かが起きます そして私に来て言います でもその人が瞑想していないのは はっきりわかります 私は何の関係もありません 私に何か聞く権利は 彼にはありません はじめは瞑想になるまで 時間がかかります ですがどんなものかわかったら どうやって私と一緒にいて 一つになるか どうやって関係を築くか あいだには何もいりません 手紙やなんかも必要なく 特別なつながりも何もいりません 瞑想だけが必要なものです 瞑想のなかで成長します そこでスピリチュアルに上昇します それが起きますと あなたはある意味 成熟した意識状態へと サハジャ ヨガで成熟します すると瞑想を辞めたくなくなります なぜなら瞑想中に 私と一体だからです 3時間も4時間も 瞑想する必要はありません どれだけ本気で私といるかが重要です どれだけ長いかではなくです ならば私はあなたに責任があります あなたの子供や皆に対してです あなたの上昇や ネガティブイティから守ること それらに私が責任をもちます 父親が直接罰するような そういうやり方ではありません そうでなく “そうですか もうあなたは私と 無関係です”と それが唯一起こりうることです 瞑想していない 良いでしょう 無理強いはいけません 私もあなたと無関係です 他のところで外で誰かと 関係をもてるでしょう でもあなたの善を得られる 内なる関係は 瞑想なしにはいられません 何度も行ってきました 瞑想してくださいと 毎日瞑想するようにと でも人は理解しないようです どれほど大切なことか “マザー 私たちは瞑想しません” “なぜ?” “もう私たちはリアライズドソール だから必要ないです”

道具がそろっているのに 主電源につながっていなかったら 何の役にも立ちません 瞑想の中で愛を感じるでしょう
聖なる愛の美しさを感じるでしょう 風景が一変します 瞑想的な人は態度がとても違います とても違う気質を持ち
いつも満たされて 特別な人生を送っています 今日の上昇の初日であると そうも言えるでしょう この崇拜によって
実際は今日でなくとも そう言うことはできます それが起こりあなたを助け あなたへの大きな恵みとなった であれば
それを維持しなければならない さらにいかに高めるか いかに楽しむかを知るべきです ちょっとした出来事 最後の物語や
あれこれで満足せず 完全な一体を得るべきです 神との完全な合一です それは瞑想によってのみ可能です 簡単なことです
マザー 時間がとれませんとか いつも考えてばかりですとか 時計を見たくなくなるとか言います
最初はちょっと問題もあるでしょう あるとは限りませんが ないかもしれません あるとしても最初だけです
徐々に大丈夫になるでしょう 徐々にマスターするでしょう 少しずつですが 極めて上達するでしょう
すると他には何も必要なくなります ほかの安っぽいものには 見向きもしなくなります いいですか その美に至るのに
その栄光に 偉大な人格に至るのにすでに現れてきていますが 信心深く必要なのは 瞑想だけです 今日は遅く帰ったから
瞑想できなかったとか 明日は仕事ではないから 瞑想できないではなく 誰も言い訳を聞きたくありません 自分のことなのです
あなた自身のためです 全てがあなたのためです 誰かに自分が 進化の高みに到達したとか 知らせる必要はありません
その高みから更に上昇する 無理ではありませんし 可能でしょう でもまずはあなたが何であれ ハイクラスなサハジャ
ヨギであれ 瞑想には謙虚でありなさい この瞑想的な資質は こうして話していても 私はそこに入っていきます
とても喜びに満ちているから 喜びの大海に飛び込みなさい 最初は難しいでしょう しばらくするとこのつながりが シュリ
マタジとのつながり それだけが欲しいものだと分かります もう一つ人が迷うのは よく見かけることですが
そこで失敗する人もいます 個人で瞑想するのは とても正しいことで 個人的に瞑想しますが 座って瞑想し プージャも行う
でもコレクティブで瞑想しない これがもう一つの覚えておく点です コレクティブで 瞑想しなければなりません
私が皆をすべて合わせた 存在だからです コレクティブで瞑想すると あなたは私のすぐ側にいます
だからプログラムでも何でも コレクティブで瞑想しなさい プログラムでは常に 瞑想を優先しなさい
歌を歌ってすべて終えたら瞑想です 何か力説するとすれば これが真理であり すべての土台であると 理解することで
平凡なことにみえますが とても重要です 今アディ シャクティを 崇拜するにあたって どうするべきでしょう
かつてないことです アディ シャクティへの祈りなどは ありませんでした バガヴァティまでは行きましたが
それ以上に至ったことがありません なのでどんなプージャになるでしょう でもやってみましょう 瞑想が最上の方法でしょう
実際に何かを成就できます なので5分瞑想に入りましょう 目を閉じてください 11のルドラが覚醒しました 彼らがすべての
ネガティブイティを破壊するでしょう

1993-1225, Christmas Puja

View [online](#).

Christmas Puja. Ganapatipule (India), 25 December 1993.

今日はみなさんで キリストの誕生を祝います とても重要な この時期に祝います なぜなら反キリスト教徒がキリスト教を担っており キリストの誕生に対して 非難しているからです 彼らにそのような権利は ありません リアライズソールでは ありません 神聖をまったく理解 していません 彼らは全てが 偽りだと主張し 彼女がバージンではなくキリストはあのように 生まれてないと 誰が言ったのでしょうか 聖ガブリエル が来て言ったのでしょうか どのような権利があつて 彼らは言うのでしょうか 反キリスト的な人達が 今ではキリスト教を担っています 教皇ですらそうです サティ ユガで彼らは 暴露されねばなりません ここにいる誰かが 教皇に聞いてください ”あなたにどの権利があつてそのような事を言うのか” ”神の包括的な愛を感じたことが ありますか?” ”キリストを攻撃しているあなたの中にどれだけ神聖さがありますか?” おそらく彼らはポールの 生まれ変わりの一部でしょう 彼らは神聖を理解できません 神聖が何をもたらすか 知らないのです どれだけ奇跡的なことが 理解できないのです 皆さんは神の恩恵を感じたことでしょうか 皆さんはそれが 奇跡だと分かるでしょう いつでも奇跡が起こるのです 一つ簡単な例を挙げましょう ナヴァラトリプージャである写真がありました その写真の裏方で ある光景が浮かんできました この光景は何を示しているのかと 思いました その光景とは スーリヤが カーテンを開けていました そこにはスーリヤの目 鼻 口があり 彼は笑顔でカーテンを開けていました これは何だろうと思いました ナヴァラトリ プージャで 何を意味するのだろうと思いました しかしモスクワに行ったとき 驚きました 彼らは背景を全く同じように ペイントしていたのです 全く同じように 背景が描かれていました ナヴァラトリプージャは 一か月半も前のことです パラマチャイタニヤが 描いたのです 物事が奇跡的に起こるのは 驚きです このような奇跡は 数え切れないほどあります モスクワに向かう機内の中で 気温は - 20度だと言っていました 到着すると気温は - 50度だと 翌朝の気温は - 12度くらいまで 回復するでしょうと言っていました 午後になると - 4度でした 次の日は + 10度まで 上がりました 通常は時間の経過と共に 徐々に寒くなるものです 今度は夫がモスクワを訪れ - 20度でとても寒いと言っていました 私は心配する必要はありません 気温は回復するでしょうと伝えました 彼が到着したときは - 2度でした これら全ての要素は 私たちを助けてくれています 全ての 問題は すぐに解決するでしょう どのように問題が解決するか 驚くでしょう するとなぜキリストは 磔にされたのかと 聞くでしょう なぜ彼を磔から救えなかったのかと 彼が磔にされたのは そうされるようになっていたからです 彼はアギヤを通らなければならなかったからです 自身をアギヤで確立し 十字架を 乗り越える必要があつたからです 彼の人生のメッセージは十字架ではなく 彼の復活にあるのです 彼は復活しました これが彼の偉大な成就の一つです 皆さんも復活できるので 進化における 全ての生まれ変わりは とてもユニークな形で 生まれ変わります そして最後にはキリストが 復活を遂げました 彼は死ぬ必要がありました 死なずに 復活はできません たくさんのことが神話ですが 実際は違うのです 明日になれば彼らはキリストは 復活していないと言うでしょう 実際彼はその後 カシミールで亡くなりました 証明もあります しかしそれでも人々は 信じたがらないのです ただ単にキリスト教を 広めただけなのです なぜなら彼らは知っているのです 大衆を得れば権力を持てると 同じトリックを政治家が 行っています しかしこのような大衆は 何の安堵も 慈愛も人々にもたらしません キリストの母は攻撃を 受けていました 彼女に対するさまざまな 虚偽を言われていました 対してモハメッドはコーランで 何人たりともキリストの母である 聖母の純潔を攻撃してはならないと 彼は敬意を表していました なぜ聖母マリアに対する敬意が 聖書で見られないのでしょうか パウロによって 単なる女性と呼ばれています 彼は酷い反キリストとして現れ キリスト教を乗っ取り キリスト教を広め それに自分の価値観を活用し キリスト最悪の弟子である ペテロを利用しました あなたはサタンに乗っ取られるとキリスト告げられた弟子にです 彼らは不可能だと 伝えているのです キリストがヴァージンから 生まれたなどありえないと 私たちインド人は シュリ ガネーシャを崇拝します シュリ ガネーシャは キリストと同一です 私たちは聖母がヴァージンガウリとして子供を創造したと 信じています 信じるだけでなく 私たちは信念を持っています ところが西欧での信念とは全てが合理性にあります そのように考え 過ちを犯していくのです ダラムについて無意味な記事を 発行する意味があつたのでしょうか 彼はさらに 名誉まで与えられていました カンタベリー大司教という反キリストから名誉を与えられていました 名誉を与えられたすぐ後で 彼の教会は ヴィシヌマヤによって 完全に焼き尽くされました 彼女は一時間ほど見回り その後完全に焼き尽くしました わずかに下位部分だけ残ったのは 美しい絵画があつたからでしょう すると愚か者たちは言いました 神の恩恵が ヴィシヌマヤから 下位部分を守ってくれたのだと ではなぜ焼き尽くしたのでしょうか 合理性では神性を理解することは できないのです 無理です 制限や条件付けや エゴが強すぎます どのようにして合理性がキリストの 人生の真実を伝えられるでしょう 私たちには 科学的根拠もあります

皆さんも 知っていると思いますが 炭素の構造上右側から左方向を 見るとスワスティカが見えます
炭素原子を右から左を見ると スワスティカが見えます 以前に大きなモデルを創りました 今度はそれを逆に
左から右方向を見ると オムカラが見えます 間違いありません 下から見上げると「アルファ」と 「オメガ」があります
キリストは言いました ”私がアルファとオメガ”だと 当時はシンボルが存在するか 分かりませんでした
どうであれ彼は言いました ”私がアルファとオメガ”だと そこにはもう一つ意味があります ”私が始まりで私が終わり”だと
彼がアルファとオメガ と言ったように 下から見上げると はっきりと象徴的に見えるのです 一方にはオムカラ
もう一方からはスワスティカが 互いが共に上昇し 生まれ変わると アルファとオメガになります
しかしこれらは反キリストには 理解できません 神聖に何ができるのか 理解できないのです
あなたはリアリゼーションを得ました 二度目の誕生です ただここに 座っているだけです どのようにして
得られたのでしょうか 彼らの話す内容は 自らを不幸にします 自己を破滅へと 追いやるものです リスクを犯すすぎです
皆さんもご存知のように シュリ ガネーシャは とてもパワフルな 神格です キリストも同じです 彼は”聖霊に一言でも
反抗するなら許しません”と言いました 同じく一言でもキリストに反抗する なら私が許しません 一言でもです
そのときはこの酷い人たちを 完全に滅ぼすでしょう 彼の生誕において私たちが 知るべきことは キリストは シュリ
ガネーシャと 同じものから生まれました 彼は叡智であり その源なのです 彼に与えられた人生は短かったため
多くを語ってはいません 3年から3年半の間 キリストは人々に教示しました 彼が話したこと全てが 真実で正しく賢明です
彼らはその真実を 乱そうとしたかもしれません しかし多くの真実が 聖書に残されています 彼は人生を懸けて
真実が何か伝え続けました 彼が最初です 神について 明確に語ったのは 彼のレベルでは このタバの部分に3人存在します
一人はブッダで もう一人はマハヴィーラです ブッダとマハヴィーラは儀式主義の 傾向が強い時代に生まれました
彼らは神について 話さないと言いました ”まずはチャイタニヤについてのみ お話します”と言いました 皆そうしました
ジャナカのグル アシュタヴァクラですら ヴァイブレーションについてのみ 話しました ナナカもそうでした ナーマデーヴァが
プンジャブに行った時言いました 神のことやハリのことは 話さないようにと まずパラマチャイタンニヤについて
話すべきだと 人はまずパラマチャイタニヤに 到達するからです その後”神はどこにいるのですか?” と聞くでしょう 当時
神について話をしたのは キリストのみでした 人々は神について 語りたがらなかったのです 彼は恐れを知らない
勇気ある人でした しかし彼の幼少期については 何処にも説明されていません とても悲しいことです シュリ
クリシュナやシュリ ラーマに ついては美しい記述があります 唯一彼がペルシャ人と 口論になった時
人々は彼の分別する能力や明晰さに 驚いていたくらいです それくらいです しかし後ほど 彼らはメアリに対して
敬意を払いませんでした 女神がいるはずだと 信じざる終えませんでした キリストはどのようにして
彼女から生まれたのかと そこでマドンナと 呼ぶようになりました このようにして聖母メアリは
マドンナと呼ばれるようになりました 未婚で処女という意味です マドンナは教会や至る所に広がり 人は彼女を
女神と崇拝しました 聖書でもキリスト教でもなく 彼女をマドンナと呼び始めたのです このマドンナのレベルから
人は聖母や母性を 見るようになりしました 彼女がマハラクシュミだと 私たちは良く知っています そしてマハラクシュミとして
崇拝します 彼女はラーダです ラーダにも 息子がいました 卵の様な息子でした 卵の半分はキリストで もう半分はシュリ
ガネーシャでした この子が生まれた時に 父を求めました 父親はシュリ クリシュナです デヴィ マハットミヤムを読めば
出ています 彼はいつも手をこのようにして 父に向けています 一つはシュリ クリシュナで もう一つはシュリ ヴィシュヌです
そして彼女がラーダです 「ラー」はエネルギー 「ダー」は エネルギーを支える人を意味します
彼女がジーザスと呼んだのです ヘブライ語ではイエス ヘブライ語から直訳されたマラティの
聖書を読んだときもイエスでした 「イエス」という名は シュリ クリシュナの母の名前です 「イエス」とは彼女の名前である
「イエシヨダ」からきた呼び名です そう呼ぶようになりました 「キリスト」という名は 「クリシュナ」からきました
彼女は「キリスト」と呼びました もしくは「イエス」や 「ジーサス」と呼びました ヤシヨダのことも
イエスやジーサスと呼びます 彼女は彼をそう呼びました それは彼がシュリ クリシュナと 身近にあったことを
私たちに知らせるためにです シュリ クリシュナはインドにのみ 生まれ変わりました なぜなら彼がアメリカに
生まれ変わるには寛大すぎました 彼らには 隙限やマリヤダが無く 戒律が何かもわかっていませんし 全くダルマがありません
キリストのように とても純粋で明晰 シュリ クリシュナのリーラ（遊戯）を信じない人柄だからです シュリ クリシュナ曰く
全てはリーラである シュリ ラーマの厳格さを 乗り越えるにはそれしかないし しかしキリストは そうは言いませんでした
にも関わらずキリスト教では 全てがリーラだと信者は考えています 無戒律はリーラだ どんな過ちを犯してもそれはリーラで
結局全ては純真だと 彼らの論理を 理解することはできません 非論理的で とても自己破壊的です
私たちインド人は戒律について 理解していると知るべきです 何が正しくて 何が間違っているか
しかし私はキリスト教の人達を より称賛します 彼らはクンダリーニが何か 全く分からない国から来て 素晴らしいサハジャ
ヨギに なったのですから すると神の恩恵が与えられます 彼らは純粋で誠実なため キリストが彼らを サハジャ
ヨギに導いたのです 彼の存在無くして それは不可能でした ここではシュリ ガネーシャは 単なるシンボルに過ぎません

石の中に宿ります　そして彼は生まれ変わりました　戒律とは何かを　人々に伝えたのです　しかし人々はその教えに従いませんでした　全く従いませんでした　お金の事ばかり気にしています　彼らが神の名において　行ってきたことは驚きです　彼の出生は　とても象徴的です　彼は馬小屋で生まれました　想像してみてください　沢山の藁の束があるところで　生まれたのです　ほかにも動物がいた場所です　この偉大な化身の　生まれ方を見てください　彼は王様ではありません　彼はお金持ちでもありません　彼はとても　貧困な環境で生まれ　平均的水準を下回る　粗雑な環境で生まれたのです　このメッセージは　生まれる時に　お城や大きな部屋は必要ないのです　あなたが純粋なスピリットなら　何処で生まれてもいいのです　あなたがキリストなら　偉大な人格は　この様に生まれるのです　その反対に向かうと　とても拝金的で　物質的になり　何がしたいのか　全く分かりません　彼らは稼いだお金で　自分自身を破滅させています　センスも　プロポジションもありません　これが現在　西洋で起こっていることです　そして私たちも　それに従おうとしています　彼らの破壊的な法則に従い　それが先進的だと　信じているのです　破滅に向かって先進的　それが彼らです　気を付けなければなりません　子供達のことや　人との関係性など　彼らの汚れたやり方に巻き込まれないようにしなくてはなりません　神の名において行っただけです　ここにいる皆さんは　比較的大きなグループです　私たちはサハジャ　ヨギです　神の恩恵を受けていて　神聖とは何かを理解しています　キリストとは何かも　知っています　例えばあなたがヒンズー教徒で　生まれようと関係ありません　なぜならキリストは普遍的で　宇宙をサポートしているのです　デヴィ・マハトミヤムにも記されています　天地万有のサポートです　キリストを崇拝する人を　馬鹿にしてはいけません　私たちも　シュリ　ガネーシャを敬うように　愛情と献身とサレンダーをもって　キリストを崇拝しなければなりません　キリスト教徒は　キリストに対する信念がないでしょう　“私たちはキリストを信じます　あれこれやってください”と言います　サハジャ　ヨギの信念は　通用します　あなたの信念は　啓蒙されているので通用します　自分自身やサハジャ　ヨギ　自分の人生を信用してください　これが起きるまで　サハジャ　ヨギとは呼ばれません　未だに　表面的な人を見受けます　するとどうしたら良いか　分からないでしょう　思想的に分からなくても　神の広大な愛に包まれ　この愛を誰かに与えたくないので　しかし物質主義が　精妙になる人もいます　未だに物質的です　彼らは物質的で　悪い方法で　お金を稼ぐことを考えています　もしかしたらそれほど　ないかもしれませんが　彼らは急に子供に執着し始めたように感じます　この執着は間違っています　子供達はサハジャ　ヨギに属しています　あなたに権利はありません　彼らは子供達にガナパティプレに　行かず　すぐに帰宅してほしいのです　彼らはサハジャヨギの　子供達です　ガナパティプレに来なくてはなりません　しかし子供を　連れ去りたいのです　直接そうしたいのです　子供はその為に　いるのではありません　サハジャ　ヨギで　成長するためにいるのです　それを望まないのなら　連れ去りなさい　皆がガナパティプレに来るときに　連れ去るのはあるべき姿ではありません　子供もそれを　望まないでしょう　彼らはここに居たいのです　子供に対してもお金を節約する　という物質主義が働いています　物質主義とはキリストが決して執着することの無かったことです　決して望みません　ここを理解するべきです　キリストに敬意を払うには　この物質観念から抜け出すことです　たとえ物に対する　執着があつたとしても　ヒマラヤに行きなさいとか　禁欲主義になりなさいとか　ブッダのように子供を手放しなさい　などといっているのではありません　執着は無くすべきです　例えば鳥がいたとします　海を渡りますが　決して海水を飲みません　塩辛いからです　あなたはそこに居ます　あなたはこの世界に居ますが　執着心を無くすべきです　最初は“父や母が病気で”とか　“子供がこうで”でも良かったでしょう　しかし　もう通用しません　現在はサハジャ　ヨギの　スピードが速くなっています　遅れをとる人は　取り残されます　気を付けてください　このような物への執着に　巻き込まれないでください　特にインド人はアシュラムに　居たがりません　自分の家を持ちたいのです　妻を支配できるし　自分の好きな者が食べれるし　自分の悪趣味を　いつでも楽しめるからです　人々はおそらくそのためにインド人は　絶食するべきと言ったのでしょ　味覚から来る欲求を　取り除くために　絶食中でさえ　食べ物のことを　考えています　意味ありません　キリストは40日間絶食しました　するとサタンが“絶食など諦めなさい”とあれこれ言いました　決して従いませんでした　物質主義には　2種類あります　まず第一に西洋では　“私の家　妻　子供”などと言います　東洋ではどんな食事をして　どのような家に住み　どのような家族を持つべきか　などと言うでしょう　これら全てに　未だ執着しています　あなたのセンターが　より精妙になるように　これらもより精妙になり　あなたの足を引っ張ります　例えばサハジャ　ヨギで金儲けをしようと　しているヨギを知っています　外にいる人は私たちに物を売って　金儲けをしようとしていました　サリーが必要だったので　サリーを買いますと言いました　しかし外の人からは買いません　さらにはどこかのショップに行って　食べ物や飲み物を買います　そして体調を崩します　何をしているのでしょうか　少しくらいのどの渴きを　我慢できないのでしょうか　空腹を我慢　できないのでしょうか　簡単なことです　彼はどうしたでしょう　キリストは我慢しました　あなたはキリストを　崇拝しに来ました　コントロールしてください　重要なことです　一度これが起これば食べ物を　得られようが　住む場所を得られなくても　関係ありません　何処でも暮らせませ　皆さんもご存知のとおり　私は何処でも気にしません　私に欲求はありません　身体が何も欲しがらないのです　とても素晴らしい身体で　何も求めません　その為　疲れることがありません　ここに皆さんと居て　同時に全てに存在します　ここに寝て欲しければ　一晩中寝れます　身体はなんともいいません　反対に経験とは違うものです

過去に列車で旅をしました プーネからハイダーバード だったと思います 乗っていた列車がガタガタと
飛び上がるほど揺れました 寝ていて感じたことは 星から星へ移動しているようでした 宇宙を駆け巡っていました
振動など感じませんでした 星から星へ移動している 感じだけでした 普通の人なら この様な振動に 怒り出すところでしょう
対照的に私は星から星へ移動しながら ただその振動を楽しんでいました とても興味深いことです 反応が違うのです
危機が訪れると 完全に思考の無い状態になります ものすごい平穏が流れ込みます 危機が訪れる時にです
この状態は執着を無くせば 皆さんも得ることができるのです 私にも子や孫がいますが 電話したことがありません
特に気にしてません 向こうが電話してくるなら いいでしょう 夫にも電話しません いつも思うのですが 時間の無駄です
私の中に 電話機能がありますから 皆が無事だと分かっているのに 電話する必要ないでしょう
しかしそのステータスに達するまでは そうなれないでしょう それ以外でサハジャ ヨギに 気づいたことは
突然暴力的になる人がいて 殴られた人がいると報告を受けました この行いは サハジャ ヨギではありません
私は人にも自分の子供にも 手を上げたことはありません 許されることではありません 何人たりとも他者に
手を上げるべきではありません そのような人はサハジャ ヨギでは 何もせずとも低いところまで落ちます 怒ったり 怒鳴ったり
すべきではありません これらは何の 助けにもなりません いつも平穏で穏やかで 慈悲深くあるべきです
間違った行いをする人がいたら 私が何とかします あなたがどうかしようとして 不作法に振舞う必要は無いのです
あなたはまだ 執着しているのです その執着が あなたを引き落とします ですので怒らないよう 気をつけて下さい
キリストを見て下さい 彼は教会の近くで物売りをしていた 人に対して怒りましたが 当時は教会ではなく
礼拝堂と呼ばれていました 彼は怒っていました 神の神殿の外で 物を売っていたのですから 彼は大きなハンターで
一撃しました しかし彼はキリストです 同時に彼が磔に された時に言いました “神よ 彼らを許してください 自分が
何をしているか分かってないのです” このことを 彼から理解するべきです どれだけ人を許し 愛に溢れていたか
どれだけ人の面倒を見て 彼らの解放のための 手助けをしたか 当時の混乱と 無秩序の時代では 彼は真実を伝えるために
スピリットや上昇について 伝えるために立ち上がりました 彼らは無知ゆえにキリストの言葉を 理解していませんでした
しかし彼は話しました 聖書には沢山の神話が 書かれています そのうちの一つは 復活のときに身体が 墓から蘇ってくると
これはキリスト教に 限ったことではありません イスラム教や ユダヤ教にも共通します 考えてみてください 何年も経った後に
墓の中に何が残っているでしょう 骨だけです この骨が出てきても どうやってリアリゼーションを 与えられるでしょう
考えてください ただの神話です 論理的に考えてもありません それはこういうことです “ナル ダマヤンティ アキャン”
インド哲学では 明確に表しています カリ ヨギが訪れると 神を求める沢山の探求者が あらゆる場所から 誕生し始めるでしょう
そしてリアリゼーションを 得るでしょう クンダリーニが覚醒します これらは論理的に語られています
私達が行っていることだからです 近年の人口増加も 沢山の探求者が生まれてくるからです
どれだけの方がリアリゼーションを 得られるか分かりません リアリゼーションを得た人は 自身を確立するべきです
しかしそこでも人に対する 精妙な執着心が見受けられます キリストの資質に 完全にサレンダーすると良いでしょう
それは素晴らしい資質です 最大の特質は 聖霊に対する無礼を決して許しません そのときだけは 彼が正しに来るでしょう
もしあなたがサハジャ ヨギで 羽目を外したら 彼はある程度は 大目に見るでしょう あるアメリカ人がサハジャについて
私と電話で話したいといっていました 彼は自分の手に 負えないと感じたのか 他のサハジャ ヨギ達と話し始め
私とは話しませんでした 皆は怒っていましたが “放っておきなさい”と言いました ある日彼がプログラムを行っている
という連絡が届きました そこで彼は 中風によって倒れました 彼はサハジャ ヨギではありません 私に責任はありません
しかし誰かが私を 「マザー」と呼ぶとき パラマチャイタニヤが それを尊重します サハジャ ヨギであるなら人を殴ったり
罵ったりしてはなりません もちろん人を宥めるときは サハジャ ヨギの方法で行います 暴力的には行いません
暴力は間違っていますし サハジャ ヨギで急に暴力的に なる人がいるのを聞くのは残念です これは肝臓から来ます
肝臓のトリートメントをして 自身を整えてください しかし犯したことから逃れられると 思わないでください 逃れられません
このような人は 2日間絶食をして 自身を罰するとよいでしょう 怒りは最悪な行為です シュリ クリシュナ曰く
怒りは最悪でそこから全てが始まると 私たちは怒りを コントロールするべきです キリストは許しの具現化だと
理解するべきです 私達はそのキリストを 今日崇拝します 彼がどのようにして 人を許したか 彼を磔にしたのは
ユダヤ人ではなくローマ人でした 古代ローマの権威者です しかしパウロはユダヤ人を 有罪にしました 罪を着せたのです
ユダヤ人が行ったのでは ありませんが 彼らはユダヤ人に 永遠の罪を着せたのです これらにより人々は ユダヤ人を嫌い
困難に落とし入れ 拷問にかけたのです ユダヤ人も反応しました 彼らも一緒です ですので ユダヤ人ではありません
執行官が衆人に キリストと盗人どちらを磔にするか 問うたことはありません 行われていません 自分たちの決断によって
行ったのです ただ単にユダヤ人を 呪うために行ったのです パウロが大変な ダメージを与えました ありがたいことに今では
沢山のユダヤ人もいますし イスラエルにセンターがあり 機能しています イランからアメリカに来た人も 沢山の
ユダヤ教や イスラム教の人達もいます 皆サハジャ ヨギを行っています さまざまなことが起こっています
トルコからスーフィの人たちが サハジャ ヨギに参加していますし さらにインドからも スーフィが参加します

これらは皆さんのために なるように働きます 第一にキリストがどんな人物で どんな人生を送ったか
どれだけ世界を愛していたか 理解すべきです 彼は磔にされるために 地球に来たのです 彼は自分が磔にされることを
知っていました そして実行しました 出回っている写真は 彼を正しく表現していません 彼は健康的でたくましく
背が高い人でした 十字架を運ばなくては なりませんでした 彼を結核患者のように 描いた人は
あの十字架を運ぶことができたか 知るべきです あらゆることで彼の人格や 特質を抹殺しました サハジャ ヨギの皆さんは
彼を知るべきです 彼を信頼し 尊敬するべきです 彼があなたのお兄さんです シュリ ガネーシャがあなた
のお兄さんとして生まれ変わったのです さまざまな困難や混乱から あなたを守ってくれます いつも私たちをさまざまな形で
守ってくれます それにはサレンダーすること 許すことです これが私たちが受け入れるべき キリストの性質です
神のご加護がありますように

1994-0314, Mahashivaratri Puja, Surrender

[View online.](#)

Mahashivaratri Puja. Delhi (India), 14 March 1994. シヴァの崇拝に世界中から皆が集まり とても喜ばしいです
実は今日はサダシヴァの崇拝をします ご存じのようにサダシヴァはシヴァとは違います サダシヴァとは全能の神であり
原初の母によるドラマを観る方です サダシヴァと原初の母であるアディシャクティの関係は 月と月光や太陽と陽光のようで
人間同士の関係や婚姻では 理解できません アディシャクティが創造するのは何であれ サダシヴァの望みであり
彼によって観られるのです しかも彼が創造を観る際は 完全に細部まで観ます 全宇宙を観ていると同時に
母なる大地も観ていて アディシャクティによる全創造を観ています 彼の力は観ることであり アディシャクティの力は
偏在する愛の力です 原初の父ともいえる全能の 神の望みである イツチャシャクティが 原初の母として現れます
そして彼女は自らの力を 愛として表現します このように両者の関係は極めて 理解があり、とても深いものです
何であれ彼女の創造で 何か問題を見ついたり 彼女の仕事を邪魔しようとする 神の仕事を邪魔する人が
神でもないのに工ゴを振りまくなら 彼が破壊をもたらします 彼が破壊の力の源なのです 彼は人間のハートに反映しています
全ての創造の中に彼は脈打っています でもその脈、拍動は原初の母の力です そして彼はそのアディシャクティの計画に
反するもの全てを破壊できます アディシャクティは愛であり 彼女は許し 愛します 自らの創造を愛し
想像が繁栄することを願っています そして創造されたレベルに到達するように 願っています 彼女は人間が神の王国
サダシヴァの王国へ 入れるよう願っています そこには恩寵と許し そして歓びがあります これはあなたが探求して
そこに行きたいと望みさえすれば できるものです この望みは原初の母性の反映として 私たちの中にあります
この望みと同時に世俗的な望みもあり それがあなたの上昇を止めます サハジャヨガでは決して
出家したり世俗を捨てたりすることで 欲を乗り越えようとはしません 過去に説かれたような手法も使いません
まずスピリットの光を得たのです スピリットがサダシヴァの反映で この光で彼は道を示し 示し続けます
スピリットは道を照らすために 燃えている光のようです その道中において あなたはとても賢くなり
英知と善の光の中を進むのです 破壊的なものは何であれ スピリットの光で見えるからです あなたは破壊的なことは全て
諦めだすでしょう 誰かにあれこれしてはいけないと 言われる必要はありません あなた自身がそれが間違っていると分かり
止めようと思うのです これが私独自の人間理解でした 今日では人間は完全に幻の中にいて
ただ生きるためにもがいて争っています こんな状況ではどんなことをしたところで
世俗を去ってヒマラヤに行ったりしても失敗するでしょう 大衆にそれをするなら 抜本的な何かをしななければなりません
幸運にも私はその方法を見つけました まずは種を発芽させ リアリゼーションを得るのです リアリゼーションを得た人でも
まだ学ばねばなりません リアリゼーションを得た人は多くて 数えたことがないので 何人かは分かりませんが
まだ彼らにも放棄がたりません 口にするのも恥ずかしいですが それが事実です 現代のサハジャヨガは
放棄さえすればという状況です 自分の理解や別のやり方をし始めても サハジャヨガは理解できません 放棄しなさい
イスラムという言葉が表すように 放棄するのです そしてその放棄なくして 神の大国に入れる者はいません
放棄とは家族や子供を捨てることではありません 家や財産を捨てることでもなくて 放棄とは まずは工ゴを捨てること
そしてコンディショニングを 捨てることです 例えば先日 苦しんでいる ある男性に会いました
彼にあなたの指導者は誰なのか聞いて言いました 彼はあなたに何も良いことをしてないです
彼のもとを去ってははどうでしょうと 明日そうしますというので なぜ今日でないのというので 今日彼に関するモノを捨てて
「明日の朝そうします」「よろしい そうしなさい」「マザー 何を捨てればいいですか」「彼を崇拝するための全ての物を
とにかくすべて捨てなさい」そして彼は家に戻って家中にある 崇拝の用具を集めて海に捨てました そして海に言いました
「すみません」「私はこの男のせいでひどい思いをしました あなたは苦しみませんように」
このような染みわたるような知性がない限り 放棄できないものです 人はしがみつきの続けるものです
コンディショニングがなかなか取れない人を わたしは何人も知っています 工ゴよりも難しいものです
日常のコンディショニングと あなたの状況のはからいがあります まず生まれのコンディショニングがあります
インドとかイギリスとかです サハジャヨガにいくと殆どの人が 自国や国民のどこが悪いが 分かり始めます
自分たちの宗教や読んできた本のどこが悪いが すぐにハッキリと見つけ出して これが間違っているとカダメだと理解します
それを皆からかいます 世界中の人がそうします だれも自分が英国人だから最高だとか ロシア人だから最高だとか
インド人が最高とは思いません 彼らのどこに問題があるかを探し出し どうしてリアリゼーションを得ないかを 理解します
その一方でとても慈悲深くなって 「マザー 多くの人がまだリアリゼーションをもらっていません」
「ぜひ彼らにリアリゼーションをあげましょう」と これは光の二重の作用です まず自分が光を得てそれを自覚している
だから何であれ注意を向ければ現実が見えます するとこれは自分の国や社会のコンディショニングだとか 理解できるのです

するとそれを嫌うようになり 自分から引き離します でもまずはお伝えしたように サレンドリング 放棄です
放棄によってある意識状態になり 内側から世俗を離れるのです あなたは何にも支配されなくなります サニャーシとは
世俗を超越している者という意味で 何も彼には張り付きません 彼が何かを見れば その本質が分かります
彼はすべを知っているとは言わない かもしれませんが間違いを犯しません とても無執着なので それによって
自分の間違いを見ることができます 彼は自分の家族や周囲を観察しだして あらゆる場所で何が悪いかを観ます
驚くことに自分とすら同一化しません トルコに行ったときに ある大きなスイスのホテルを経営している紳士に会いました
彼は私のところに来て言いました 「マザー 私にリアリゼーションを与えてください」と
スイスではリアリゼーションを欲しがる ような人に会ったことがなかったから とても驚きました まさかトルコで会うとは
私がリアリゼーション与えると 「私はスイスに戻りません」と 言いました 想像してみなさい とても明確ですね
この光があなたに偉大な知恵と バランスを与えるのです 例えば道を歩いていて足元が見えなければ
転んでしまうかもしれませんが 少しでも光があれば見えるのです これがサハジャヨガがしたこと
あなたは光を授かったのです その少しの光であなたが多くのことを 放棄するのに十分でした 反対側はエゴの方です
人間のエゴはとても精妙なものです どうやって発達したのか分かりませんが あるのは事実で ちょっとしたことできり立つ
単純なエゴの人もいます 小さなことで怒ったり 誰か支配できる人を見つけると 支配的になります これを見つけたら
自分を笑いなさい 自分はどうしたのかと 考えるのです エゴはコンディショニングのように 外からは来ません
内側からくるもので 原因は何でもでありえます 人間はあらゆる馬鹿げた エゴを持っています ある女性が高慢で笑おうとも
しない日がありました 「あの女性はどうしたのですか」と 尋ねると 「彼女は人形作りが上手だから尊大なんです」と
「ただの人形づくりで鼻にかけるなんて」 「そうなんです 彼女はそれで威張っているんです」
「だれでも人形くらい作れるのに 何を鼻にかけているんでしょう」 「でも本人はそれがすごいと
思っているんです」という具合です このように人はどんどん馬鹿になれます それがエゴを持つ人のサインです
あまりに馬鹿なので話していると 呆氣にとられてしまいます 無料で道化師が目の前に来て あれやこれやとお笑いを
見せてくれるのです 驚くべきことです エゴイストは見ると決まって 「私はこれをした 私は 私は」と言っています
当の本人はまたったくの厚顔無恥で 罪深い生活すら平気でしていたりします 女性や酒やあれこれが好きで
とても罪深い生活をします そしてそれを自慢します 「あの日はこんなに飲んだ」とか
「5人の女性がいる」とか言い出します エゴイストには恥という概念がありません 意味のないことをただ言ってみるの
「ああこんな人と話するのか」と 皆が思うのです その上何だって正当化します
ある人に「心臓発作を起こしたことがあるから 飲まないほうがいい 飲酒をやめたらどうですか」と言うと
「ブーネのキー口スカーという人も 95歳で飲んでいるから」というので 「あなたはキー口スカーさんではないし
彼が飲んでいてもそれで何が得られるというのですか」 「いやいや 飲酒していても成功者ですから」
「飲んでいてから成功しているのですか」 と言いました ごく普通の理性さえないので
一般的に言ってもどんなに飲む国でも 酔っ払いの像があるのを 見かけたことは決してありません
どんな国でも女性がいて飲酒で死んだと 讃えられる国は見かけませんでした 今のところはですが どれだけ人間がエゴを
推し進めるか分かりません 現代ではこのエゴがとても広がっていて 「これが好き これは好きじゃない」とすぐに言います
「どれが好きじゃないの」 「このサリーが好きじゃない」 「こういうのは好きじゃない こんなのが好き」と
でもあなたは何様ですか 人からは見えていても自分で見えていません あなたが好きでも嫌いでも どんな影響があるんでしょう
なのに若者の間でよく目にします 「これがいい あれがいい」と これは完全な破滅のサインです
エゴはあなたを馬鹿にするだけでは ありません 最近の着飾り方を見てください 「好きだからいいでしょう」と言い張って
やりたい放題しています そのうち頭で歩いて 「好きなんだからいいでしょう」というかもしれません
あらゆる愚行がエゴで説明できます リアリゼーションを得ることができた人は 神に感謝して理解することです
これは私のエゴが話していると すると自分を笑ってからかい初めます これはエゴだったなと 一方サハジャヨガには
「まとめ役をしてみたら」と言っても 「マザー私のエゴが出てきてしまうから」 「それは何？」
「エゴがでるからまとめ役はちょっと」と エゴが出ることはあり得ません 例えば何かが燃えていれば それが見えるはずで
どうやって自分を燃やすのでしょうか これはサハジャヨガの仕事を 避ける巧妙な言い訳です
「いや、エゴにとらわれるから」と 「だったらやってみて確かめてみなさい」と 私は言ったのです
人を馬鹿で間抜けにする事が沢山あって 今日では一体いくつあるのか分かりません 結婚でもよく見かけます
「私は彼女と結婚しましたが しなかったら良かったと思います」と か何とか でもその時あなたはどうしたんでしょう
何故その時結婚したのでしょうか こういう話を何度も耳にしました あらゆる愚かで馬鹿げたエゴの問題です
ハッキリと理解することです このエゴが如何に自分の中で働いて 自分を下げているか 私たちが上昇について語る時は
高次の人生について語っています 私たちはサニャーシとなり 蓮のように池から出て 水面より上に位置するのです
蓮の葉ですら見ずに浸かっていません 私たちもそうなるべきです 托鉢僧のような恰好をする 必要は全くありません

でも内面から執着を離れ 注意はそこにあるべきです すると内面と外面の問題点が すぐに見つかるはずですが
サハジャヨガではどうやってそれを 克服するかも分かっています これはとても効果的で 効率の良いシステムです
でもそれを達成するにしても 内面でシヴァになる つまり無執着になる必要があります シヴァは完全に無執着ですから
あなたもそうあるべきです その無執着がシヴァの英知を与えます サダシヴァはアディシャクティの 劇を静かに観ています
奢ることもエゴを発達させることもなく 「私の望みの力がどうしているか見てみよう」と ただ観ています
でも破壊に関しては 彼が壊したほうが良いとなれば たちまちその部分を壊して取り除きます 私たちも同様になるべきで
人生を大きな場所と見て 自分がどうあるべきかを問いなさい 「だから何だ 自分はサハジャヨギだぞ」
という人を見かけました サハジャヨギであるなら そんな話し方をしてはいけません 合掌して「私はサハジャヨギです」
というべきです あなたの態度や言動全てにおいて 極めて謙虚であるべきです でなければサハジャヨガがあなたに
2重のエゴを与えたことになります ご存知のようにシヴァが無邪気で 素朴で許す方です 彼は悪魔も許します
誰でも平等に許します でも原初の母に逆らうものには 容赦しません この彼の性質を理解しなさい サレンダーとは外面を
放棄してしまうことではありません そこに何があるでしょう 石しかないような場所で何を放棄すると？
サレンダーとは自分を完全に浄化して 完全な無執着になることです 無執着でしか上昇できません
あるものは病気になり大騒ぎします 「病気になった 私は病気だ 世界が知るべきだ」と サハジャヨギならただ観るのです
確かに自分は病気になった では観てみよう と スポーツのように観戦するのです 病気だとして次は何が起こるだろう
熱がいい感じででてきたなとか 今度は下がってきたとか 遊びながら陽気に気にかけるのです 来たときは熱があったけれど
だれも気付かなかったな 結婚に疲れていても 「全然疲れてなさそうだ」と言われたら 「そう 大丈夫」と言うのです
こうやって人生で遊ぶべきです それはただの劇なのです そしてそれを智慧の光で観るのです サハジャヨガでは
深刻なことなんて何もありません なのにとっても深刻になって 大騒ぎする人がいます 私たちが学ぶべきことは沢山あります
シヴァを崇拝する際に彼を讃えます あなたはこうだとかあだとか言います 私を崇拝するときもあなたは同じくします
私は意識していませんが あなたが言うなら良いでしょう そういうならいいでしょう あなたはこうです ああですと
シヴァの1000の名前も 女神やヴィシュヌの名前も良いでしょう でもこれらは彼らの名前の崇拝で
あなたたち自身はどうでしょう いくつの名前を持てるでしょう プージャでは実際のサンスクリットの 名前を唱えることで
それらがあなたの中で目覚めるのです それは間違いありません プージャの後にそう感じるはずですが
あなた方はそれを使おうとしません 多くの者がプージャに来ては 神々とおなじ力を授かりますが
終わるころになるともう無くしています どこかに行ってしまう だからサレンダーには別の側面があります 自覚です
サハジャヨギであるという自覚であり それらの力を吸収できるという自覚です つまり一方ではサレンダーし委ねますが
何故委ねるのでしょうか 吸収するためです あなたが何かを放棄すれば自然と 何かを取り入れることになります
取り入れたら維持する必要があります そして自分でその力を持っていると 自覚するのです
そこで失敗するサハジャヨギが多いです 初めはサハジャヨギ達は 誰も触ろうとしませんでした
クンダリーニを上げようとしません そのころには少なくとも50人ほどいたのに 「どうしたものでしょう
チャンネルを用意したというのに 指を使うことすら誰もしないなんて これで上手くいくわけがありません
無理です」と言ったものです ナシックでプログラムがあった際に 私もそこから30マイルほどのところに 滞在していました
そしたら途中で車が壊れて 他の車も通りかからないし 途方に暮れましたが 待っている大勢の聴衆が
「シュリマタジはいつ来るんですか？」 と聞くものだから とてもプレッシャーを感じて
「それじゃ私達がリアリゼーションを与えます 座ってください」 こうしてリアリゼーションを与えました
これがサハジャヨギが初めて 自分の力に気づいて リアリゼーションが与えられると 気づくキッカケになりました
こうして皆が与え始めたのです だから自覚が必要です 自分には力があると そしてこれを無駄にせずに 有効利用すると
他者を助け自分だけに取っておかないと そういった自覚が芽生えるべきです かつて船旅の最中
ある船員が冷蔵庫に閉じ込められて 肺炎にかかりました そこで船長が私のところに来て この子は肺炎をおこしているから
ヘリで搬送しないと行けないと言いました 「私がリアリゼーションを与えたから、 あなたが医師ですよ」というと
「私が」「そう」「でも必要なら私が行きましようか」「いえいえ、私にどうするべきか教えて下さい」
「とにかく彼の胸に手を置きなさい」「私が？」「そう あなたが！」彼が手を置くとその子は回復しました 彼は驚きました
その後結婚式であった際に 「これは私は誰にでもできるんですか？」「そう誰にでもできますよ」と
でも自覚もなくただ座って 瞑想だとか放棄だとかやっているだけでは 何の役に立つでしょう
だからやらないといけないのです シヴァの状態を達成したら アディシャクティの仕事をしなさい サハジャヨガ広げたい
上手く機能させたいという望みを持つべきです でもコンディショニングやエゴが あるかもしれないから 注意しなさい
観察することで上手くいきます 沢山できるに違いありません 自分で自覚して動いている人もいます
各国に沢山成し遂げた人がいます だからまずはサレンダーが大切で スピリットやシヴァ サダシヴァの意識になりなさい
第2の意識は他者に思いを寄せることです はじめの方はサンスクリットでヴィヤシティといひます

個人的な獲得という意味です まずは個人として得なさい 次がサマシユティで集団の意味です
集団で機能させる必要があります リアリゼーションすら持っていない人々が 組織を作ってあれやこれや沢山しています
あなた達はすべてを持っているのです 他者に与えることが大事で この光を他者に広めるのです

1994-0321, パースデイ プージャ、注意力

View [online](#).

パースデイ プージャ、1994年3月21日、インド、カルカッタ 毎年色々な人が 誕生日を迎えます そして誓いを立てます “今年はこれはしない あれはしない”と これは人生において どこまで自分が到達したかを測る 一番の方法ですが スピリチュアルな 人生において 高みに達した 多くの者にとって 誕生日は必要としません 彼らにとって毎日が 誕生の始まりであり 前進であり 理解や学びだからです 毎日が新しい年です 生きる上で 自分を取り巻く周りが大変 ゆっくり変化しているように見えます 周りが変わらないことに 時折ショックを受けたり 驚いたりしますが 精妙なレベルにおいて 私たちの内と外で 物凄い変化が起きています 今日環境の全ては 人間によって左右されています どれほどパラマチャイタンヤが 作用しているか分かりませんが 私たちの人生において 新しい次元を開くのは私たち自身なのです 例えば自身の内省を通して 自分が未だ昔の狡知で無意味なものを 引きずっていると気づけば そのために 誓いを立てることはありません あなたはただそれを 目撃すればいいのです するとあなたはすぐさま 破壊的なことを断念するでしょう 自分に誓いを立てないと 気を揉むこともありません あなたは完全に 力を与えられているからです “サマルタ”です 間違いだと思ふものを あなたのアテンションが次第に取り除きます あなたが懸念する問題や それに関すること コンディショニングやエゴが 未だにあるのではないかと いう疑念を取り除きます 確実に無くせます あなたのアテンションで 無くなります すると日々あなたのアテンションが より純粋に より力強く より慈悲深くなっていることに 気付くでしょう アテンションをおくことで 反応は無くなります 全てを目撃し始めます そしてあなたのアテンションの力 目撃する力が作用します あなたに作用するだけでなく 周りの全てに作用します まず瞑想を通して 瞑想状態において あなた自身の内が 広がります あなたは現在に留まれます 先日ある者に 前回の誕生日は どこで祝ったか訊ねられました “どこであったか忘れました” いつも象のように記憶が いいのですが忘れました 毎回 毎日 現在に生き 成長すると その成長がいつどこで起こったかは 忘れるものです 私自身の成長がそのようです 私が訪れるといつも 大変素晴らしい人達が新たに來ます そして昔からいる ひどい人達はいなくなります まるで木が育つ時と同じで 落ちる葉もあれば 新しい葉も出ます でもサハジャ ヨガでは 少し違うようです サハジャ ヨガの木では 落ちる葉は大変僅かで それは素晴らしい人達で茂る 青々とした庭になります 私にとって 素晴らしい花火のようです 細い線のようなものから始まり いくつかの美しい模様が広がります サハジャ ヨガに 私たちに 何が起こるか想像できません 私は物事を 想像することはありますが あなたが見るビジョンは 本当に素晴らしいものです 全てのサハジャ ヨギ達が 神聖な愛に浸って 大変な美しさと深さでもって 自分達を表現しているのを見るのは 素晴らしいことです するとアテンションが 神聖な至福に完全に包まれ あなたはその瞬間を忘れます 私の誕生日を祝う時も そのような瞬間の一つです 私は自分がこの地上で 何年生きたかさえ忘れます 時には73歳と言ったり 70歳と言ったりします 至福に満ちた状態の時 時間や日付 年というものは残りません 何かとても素晴らしいものを 例えばタージマハールを そうとは知らずに見に行った時のようです 予期せず素晴らしい建築物に出会うと 目がくらみます ヒンディー語で“アワック”です どう表現してよいか分からず 言葉を失います あなたは常に時を忘れるでしょう どのように そこに行ったかも忘れます その背景にあることは そのビジョンのリアリティを 見るやいなや忘れ去ります このビジョンのリアリティは 私の考えや想像さえ超えています この精妙な知識を得た サハジャ ヨギが 大勢いるとは 信じられないぐらいです またこんなにシーカーが沢山いるとは 知りませんでした この地上にこのような精妙な 者達がいるとは知りませんでした 私が世界中のどこに行っても ネパールやブラジルでも 突如素晴らしいシーカー達に 出会います いっブラジルを訪れたかと聞かれれば 日付を言うことはできません 同じ理由で日付を覚えられません ヴィジョンをその都度見るからです そしてその瞬間 時が止まります 表現することも超え その体験以外は 何も残されません この経験は抽象的なもので それを描写することはできません 言葉や描写を超えています その時あなたは真に思考を超え 真に楽しみます 今日において 一番の災いは時計です 人は常に時間を気にします 常に時計を見ている 時計を見たその2秒後に また時計を見ます 私たちは時を超えています “カラティート”です なぜ超えているのかというと 時間が私たち次第で動くからです あなたはそれを経験できます 先日デリーから出発する時 家では皆時計を気にしていました “早く行きましょう 遅れています” “飛行機はすぐには乗れません” と急ぎ立てていました しかし着くと“飛行機がまだいます から急ぐ必要はありません” “まだ15分20分あります” 人は飛行場と聞いただけで 慌てるようです 飛行場に行くのがまるで 戦争に行くかのようです 幸いにも私は一度も飛行機に 乗り遅れたことはありません かなり頻繁に旅行していますが 毎回飛行機の方が私を待っています おもしろい例をお話ししましょう 私たちはブラハから ポーランドに向かっていました さっきと同じことが 乗り継ぎのウィーンで起こりました そこで素晴らしいヨギがいて 11時に飛行機が出発すると言われました その後飛行機は9時半出発でしたと 再度伝えられました 5分で準備できますが

2時間でもよかったわけですからと乗務員に大声で“あなたのようなVIPはこうでああで”と怒鳴られました。彼女は私に様々なことを言ってきました。このサハジャヨギはそれに耐えきれませんでした。間違った時間を伝えたのは自分で。そのせいでお母さんが怒鳴られたと感じたのです。彼はそれに耐え切れずとても悲しく感じました。背後でその女性が怒鳴り続けながらも私たちは飛行機に乗りました。するとパイロットと技師達が器械の不具合で忙しそうでした。故障なので座って待つように伝えられました。さてこのサハジャヨギは耐え切れず涙を流し始めました。もう一人のヨギニは彼に“大丈夫よ泣かないで”と言いました。私は振り向いて“大丈夫ですよ心配しないで”と言いました。“耐えられません”と言って涙を止めることはできませんでした。すると一分もしない内に晴天だった空が雲に覆われました。まるで大きな象がその辺りに急に歩いて来たようにです。外で見ていたサハジャヨギ達もそれを見ていました。あたり中が真っ暗になりました。“見てごらんなさい。この男性の涙にはすごい力があります”。その後飛行機が故障したため降りようアナウンスがありました。なので私たちは降りたわけです。戻る時彼がその乗務員のところに行き“今度は飛行機が飛び立たないことに私たちは誰に怒鳴るべきですか”。“よくも私のお母さんに怒鳴れたものですね”。同じ方針を取っている飛行場の者達は恐れを感じたようで。支配人自身私のところに来て“搭乗時間まで5時間ほどあります。外に出る特別な許可をあげます”。そして特別に案内されました。この反応は良く理解できませんでしたが外に出て買い物をしてから帰ると驚きました。飛行場の人達は私たちを驚きの目で見ていました。私が歩いて行くとそれが唯一出発する便でした。他の全ての飛行機は飛び立てなくなっていました。そして乗ろうと搭乗口へ歩むとそこにいた男性に言われました。“どうか助けてください”。“どうしたのですか”。“腰痛がひどいのです”。私は“どうすれば良いでしょう”。今度は一人の女性がきて“肩がいたいのです。どうか貴方の手を置いていただけませんか”。そして手を置くと彼女は“治ったようです”。と言い腕を上げました。私はそろそろ搭乗しなければと思い再び歩き出すと先ほどの男性が来て“私の腰に手を置いてはいただけませんか”。“飛行機に乘らないといけません”。“では一緒に歩かせてください。きっと治ります”。一緒に2分ほど歩くと彼は“治りました”と言いました。全ての雰囲気は変わりました。まるで軍のような体制の飛行場の者達に大変な効果を与えました。その効果に面白いほどでした。短い間に全てが変わったのです。このサハジャヨギの涙がいかに作用したかは驚くほどです。彼の目から涙が流れ始めた瞬間に大きなドラマが現れたのです。最終的にその飛行場にいた者達は非常に謙虚に。そして敬意を示すようになりました。ですから時間のことばかり考え始めるなら時間に隷属するのではなく時間が私たちに隷属するのだと理解しないといけません。これに関して1001ものお話しができます。場所に着くのが遅れても時間を気にせずとも神聖な力の業がすばらしいことを起こすのを見てきました。人の時間についての心配には驚きます。時間が本当に必要ななら毎年誕生日の時を気にするなら時間が大切だと思うなら現代において本当に必要な時間は瞑想のための時間です。コレクティブの集まりやサハジャヨガのための時間です。この国の独立戦争の頃両親は身体精神富の全てを捧げて戦いました。その時両親は何も気にしていなかったことを思い出します。彼等は全てを捧げました。帝国の支配からこの国を自由にすることが何より大切だったからです。これは非常に大事なことで。彼等が例え脱獄者に出くわしたとしてもこの時間を無駄にはしませんでした。大事な時間や会合や話し合いを無駄にはできませんでした。全てが緊急だったからです。命令や説教されることもなく内側から分かっていました。自由のために戦った彼等は皆伝説の人達と言えます。今日も同じ状況です。緊急事態です。大変精妙な緊急事態です。サハジャヨガを広める以外は何も大事ではありません。それを逃した者や知らないでいる者がいればそれは私たちの責任です。キリストやブッダやマハヴィーラなどの時代は飛行機で移動はできませんでした。拡声器やテレビなどの伝達手段はありませんでした。今は全てあります。今や現れています。それはパラマチャイタンニヤの仕業です。科学者やその他の知識によって可能になりました。でも彼等は人々と向き合って大勢にリアリゼーションを与えることはありませんでした。ですからこれらの発明や現代の企業の活躍で見れるもの全てはサハジャヨガのためです。サハジャヨガなしにはこの世界に何が起こるか想像が付きません。まず私たちのハートには全く平穏はありません。人は平和について語ります。平和賞を受賞した者達を知っていますが。彼等のハートには全く平和はありません。人間の内に平和がない限り全世界に平和はありません。戦争を起こしているのは様々な暴力を起こしているのは私たちです。神の国に入る可能性を損ねているのは私たちです。なので平和は人のハートに平和が確立することでのみ得られます。そしてそれは思考を超えた意識状態に達したときのみ可能です。あなたは現在に留まります。そこでしっかりと立てます。あなたはリアリティを手にするからです。あなたが好きなように作用させられます。現に私は何もしていません。“貴方こそ全てをされています”。と言うかもしれませんが私ではありません。パラマチャイタンニヤがしています。同じようにあなたにも作用します。しかし自分自身をサハジャヨガを完全に信じないといけません。これは私たちと共に全員は難しくとも世界のほとんどの者が神の王国に入れる唯一の方法であると。これこそ他の世俗的なことや無意味なことよりも遥かに大切なことなのです。ですから私たちのアテンションは“何人の者にサハジャヨガを紹介できるか”。“何人の人を救えるか”。それにあたって何をすべきか”にあるべきです。毎朝それについて考えるなら細かい時間や日にちを覚えていられますか。あなたが緊急事態にいてその緊急事態をなんとかしなければと自覚しているなら

どうして世俗的なことや世俗的な達成に アテンションをおけるでしょう それは成り行きに 任せればいいのです
心配することはありません 自動的に作用します あなたが唯一 注意をおくべきところは フォーカスすべきところは サハジャ
ヨガだけです この世に平穩を真に望むなら 自分達の発展を望むなら 様々な肉体的 精神的そして 感情的問題の解決を望むなら
必要なのはサハジャ ヨガです それはクンダリーニを上げ 短い時間 瞑想する以外必要はありません
歓びの状態に達するだけです 今日 私の心は 歓びに満ちています いかに物事が起こっているかが 見えるからです
一人の者が何千ものサハジャ ヨギを 創ることができると分かっているからです 一つの奇跡を見ました 一度お話ししましたが
一つの種から千もの木が生まれます 組織培養の新しい技術を見た時 大変驚きました 一つの小さな種に
たくさんの小さなプリムラがありました 同じようにあなた方も可能です 皆さんにもできます 何が必要かという
自分への自信です そしてサハジャ ヨガに対する 誠実さです それが現れるなら あなた方は真に 私の誕生日をお祝いしています
もし私の誕生日を 大切だと思ふならです 全員がスピリチュアルな誕生日を迎えることが 私にとって とても大切です
神の祝福がありますように

1994-1009, 5th Day of Navaratri, Innocence and Enlightened Faith

View [online](#).

Navaratri Puja, Cabella Figure, (Italy), 9 October 1994.

今日私たちは ナヴァラトゥリのプージャをします 昨日ナヴァラトゥリの 美しい描写をみました そしていかに母なる女神が あなたの中に 様々な力をつくったかをみました 彼女だけが その力を持っているのではなく あなた方全員が持っています そして ワークアウトさせることができます あなた方はこれらの力が 存在するか否か分かります 私たちにおいて リアリゼーションは大変重要です クンダリーニがあなたに このリアリゼーションを授けました もちろんクンダリーニは アディシャクティの一部であり 反映でもあります またー ジャガダンバも アディシャクティの一部です 彼女は 二つのハートの中央に位置します それは大変大切な箇所です 全てのこれらの力は そのチャクラにおかれています どれほどの力が そこにあるでしょう 彼女の力は センターハートを通して あなたの身体にある 全てのガナで表されます これらのガナは あなたに保護を 睡眠を エネルギーを 恩恵を与えます 常にガナ達は働いています そして非常に献身的で 母なるアンバ ジャガダンバとも呼べますが それと始終繋がっています 彼女は宇宙のお母さんです どんなに全宇宙の世話に 忙しくしているでしょう このセンターが弱まれば ガナと彼女の繋がりが 弱まったということです ガナ達も弱くなり そのため 作用すべき力が うまく働きません それは大変精妙なセンターです お母さんのセンターだからです お母さんの愛を理解することができません 完全に不可能です 女の子が結婚して お母さんになると 母の育てた大変さを 理解します 同じように サハジャ ヨギが すばらしいサハジャ ヨギになると ガナ達がいかにネガティビティと 戦うための忍耐が 愛そして知性が必要だったか 気づきます 故にジャガダンバの全ての力が 様々なネガティビティを 打ち負かすのに作用します 何よりも彼女の性質は この世界における サハジャにおける あなたにおける 全てのネガティビティを 破壊することです 彼女の破壊は 様々な方法で行われます まず もしあなたが 女神に対して罪を犯せば 肉体的な問題が生じます 精神疾患や様々な病気です たとえば癌 エイズなどです 病気の中には ガナパティと関連するものがあります ガナパティは ガナ達の神です お母さんにはガナパティがいます 息子であるガナパティを通して 全てのガナを統轄します 強い繋がりがあります お母さんに対して罪を犯す時とは 不道徳になった時です 不道徳とは ダルマが許さないことに 耽るときです 汚れたものは悪です あなた方は内的に サハジャ ダルマを理解しています 何が間違っていて 正しいか知っています ですからそのようなことを あなたがしようとするなら 彼女はお母さんなので 罰するのに時間を与えます しかしお父さんに対して 罪を犯すなら 自慢したり 残酷になったり 乱暴であるなら すぐさま罰がきます しかし彼女は 慈悲の大海なので 罰はもっと遅らされます 十分な機会が与えられます その者自身が改善する 自分を導くための機会です しかし罰が始まると あなたは病気になります それも深刻な病気です それは恐れと 言われているものからきます 他人に脅かされたり 攻撃されたりする者は いわゆる蚊のようになる と言いますが 攻撃的な者に抑圧される 脅される者は 恐怖におののく者は 母の力に自信を失くします 結果としてそのような人はー おしゃべりが過ぎます その子連れ出せますか 父親はどこですか 子どもを コントロールしなければいけません おしゃべりをしているのは ネガティブな子です 誰の子どもですか 自分の子の面倒を見てください 普通ではありません 普通まともな子は 私が話している間は静かにします 外に連れていきなさい このセンターハートは 気遣われるべきです 恐怖で左側に投げ出され 母から遠ざかると お母さんが私たちに 自信や勇気を与えるので もし恐れていた 恐怖の下にいるなら 左側に投げ出されます 様々な深刻な 不治の病に犯されます もう一つは もし快楽に耽るなら 徳を重んじずに耽るなら 中庸から外れ 左側に投げ出されます 母の蓮の御み足に いるに値しないからです このセンターは恐れがあると 胸骨がリモコンのように動き 攻撃が来ているとガナ達に知らせます しかしあえて左側へいって 快楽にふけるなら ガナ達は気にもしなくなります “好きなようにしなさい” と言うでしょう これらの様々な 左への動きは あなたをお母さんから遠ざけます アメリカで起こった ある者の話をします 彼はインド人で 昔からのヨギです 彼は仕事場から出て 車に乗りました そこには刃物を持った男がいて 彼のセンターハートを刺しました 血が流れ始めました 彼は“マザー 何が起きたか 分かりませんが” “力が湧いてきて 戦うことができました” “刃物を奪うと その者は逃げ出しました” “それでも血が出ていることは 気になりませんでした” “近くの同僚に声をかけ 彼の車に乗り込みました” 彼は警察には行かず 犯人探しに 30分かけました しばらくしてから行くと シャツの血に警察官は驚いていました 警察官はショックを受けていました “犯人を30分間追っていました” “なぜ警察に 連絡しなかったのですか” “30分待つなら 自分で探した方が良いと思いました” その勇気を見てください もちろん病院へ連れていかれ 傷口を縫いましたが大丈夫でした これは深刻な病気に 侵されない者の象徴です いかなる恐れもありますが そして彼はインド人です 彼は“子どもを叩いたことも 喧嘩したことも” “レスラーでもありません でも起こりました” “どこからそのシャクティを得たかも どうやったかも分かりません” このような話は多くあり サハジャ ヨギや聖人について話せます いかに攻撃された時

対抗するのが怖くなかったか　あらゆるひどいことから勇気を持って　自分自身を守れたか　これは信じ難いことですが
毎日起こっています　いかに勇敢であったか　手紙で読みます　あなたが女神を信じるなら　彼女は非常に力強いと知りなさい
彼女は大変知的です　あなたを守るべきなら　分からないような方法で　完全にあなたを守るでしょう　この信心は
育まれなければいけません　経験によっても　育まれなければいけません　いかに守られ　助けられ　危機から救われたかの経験です
それにも関わらず　あなたが取り乱すなら　あなたの人生の空に　雲がかかるなら　あなたはまだ　弱いということです　ですからまず
女神を本当に崇拝するなら　いかなる心配も　すべきではありません　恐れは持つべきではありません　恐れなしに進みなさい
あなたがしていることが何であれ　恐れなくやりなさい　しかし同時に　他の事も言わなければいけません　ゾンビのように
振る舞ってははいけません　つまり右側に傾く戯言を　言うことではありません　もし何かをすべきなら
明確な考えで恐れなしにこなさい　彼女の力のすべてが　内に現れます　恐れのない者は　睡眠や幸福を
心配する必要は全くありません　その者は恐れがありません　恐れがないということは　人と衝突したり
好き勝手言うことではありません　誰が攻撃しようと恐れを持たず　常に自分を守れます　先程の話も
これは内にいる女神からくる　守りではありません　彼が彼自身を守りました　彼を通して　その力が働き始めました
あなたは精神に　身体に　この力を投影させなければいけません　さもなければプージャや　他のことには力が備わっていても
あなたの精神は　自分の力を認めないでしょう　この説明を裏付ける　話や奇跡は多くあります　まず　何に対しても
恐れを抱くべきではありません　間違ったことをしていないなら　正しい道にいるなら　あなたは常に守られます
覚えておいてください　あなたは常に守られます　覚えておきなさい　そして信じなさい　“私は常に守られています”
これは大変難しいことです　私たちの精神には　思考があるからです　“神よ　何が起こるでしょう”　ですからもっとも大切なことは
恐れを持たないことです　女神を現せるようにすることです　こう考えてみてください　全てのガナがあなたに従っています
もし軍隊の隊長が怖がっていたら　他の者はどうなるでしょう　あなたは自分自身を頼るべきです　この信心は
育まれなければいけません　病気の者は　私に会おうとします　自分を頼っていません　自分を治せます
会いに来る必要はありません　祈りだけで自分や他の者を治した　事例は多くあります　この信心が成熟していなければ
私に治させようと　触れてもらおうと考えます　以前はそうしていましたが　止めました　自分自身に頼るべきだからです
自分だけでなく　他の者も助けられます　自分を治せる　面倒を見れる　守れるという　信心が内になれば　常にお母さんに
してもらおうと思ってしまう　小さな赤ん坊なら　養わなければいけません　食べ物を与え世話をします　しかし成長すれば
養ってもらいたくありません　サハジャ　ヨギも同じです　私は何年も面倒を見ています　成長しなければいけません　威厳を持ち
自分自身でしっかりできるよう　成熟すべきです　この成熟はあります　お母さんがあなたに恩恵を与えたからです
あなたに全ての力を与えました　その中でも忍耐の力は　難しいものです　お母さんのように　忍耐を持つべきです
難しいと思っても　試してみなさい　自分に忍耐強くないといけません　ある者はスピリチュアルにおいて駄目だと
何も得ていないとと思っているようです　これは一種の逃避です　自分の人格からの逃避です　内省すれば真のスピリチュアルな
大物に育ったと分かるでしょう　誰も手出しはできません　あなたは何でもできます　自分の面倒も見れます
他の者も支えられます　昨日の歌の力全てが　どんなに凄くても　この力は全て　あなたの中に現れています　しかしあなたは
それを偶然に感じ　自分のものではなく　他の力だと感じます　全ての弟子と　神聖な力をつなぐ仕事は　今まで誰も
したことがありませんでした　これは愛の神聖な力なので　あなたは　他者への愛を知らなければいけません　大切なことです
しかしここで愛というと　我が子や妻を思いがちです　サハジャ　ヨギがよくあります　我が子に執着します　以前は自己中心的で
妻子への執着はありませんでした　しかし今はノリのようなようです　子どもたちも妻も　糊づけされているようです
そして家族が大切です　これは克服すべき　もう一つの誘惑です　家族を断念する　ということではありません　もう一度言います
執着してはいけません　執着しないことはあなたの力です　執着のない目で全てを見なさい　“数日前からサハジャをしています”
と考えてはいけません　“誰かの方が優れている”　と考えてはいけません　ただ自分自身を内省し
どれほどの力をすでに持っているか　自分でみなさい　分かれば分かるほど　謙虚になります　驚くべきです　あなたは謙虚になり
いかなる恐れもありません　お金をたくさん持てば　恐れを抱くかもしれません　大変教養があれば
嫉妬する恐れがあるかもしれません　服飾品のような富を持つなら　強盗を恐れるかもしれません　政治家であれば
不在の時に席が取られると　恐れるかもしれません　しかしサハジャ　ヨギにおいては　逆です　誰があなたのセルフ
リアリゼーションを　盗めますか　誰があなたの力を盗めるでしょう　誰があなたのヴァイブレーションを　盗めるでしょう
考えてみてください　誰があなたの愛を盗めるでしょう　それは永遠である　スピリットから来ています　常に流れています
あなたがスピリットから　遠退いた時のみ　人が暗闇にいる時に感じることを　あなたは感じます　もうひとつのお母さんの力は
目撃する力です　すべてを目撃できる状態を　あなたに与えることです　あなたは　絶大な忍耐力を備えます
何が起ころうと大丈夫です　為すがままにできます　つまり怒りと呼べる　ひどいものを取り除いて　大変穏やかな
目撃する状態を与えるので　あなたはより若くなります　私がリアリゼーションを与えた　あるヨギに今年会いましたが
分かりませんでした　突如　10才若返ったのです　驚くべきことで　正直言って　息子なのか本人なのか
同じ人だとは本当に分かりませんでした　あなたに何が起ころうかという　穏やかな人格になります　なぜでしょう

お母さんがいつも そこにいるからです この信じる気持ちです 彼女はいつも共にいて 守っています 私たちが成長したので 全ての力を与えました 全ての資産を与えました 何を恐れることがあるでしょう この信心は盲目的なものではなく 啓蒙されたものです その違いは 盲目的な信心は信心があっても 力はありません 啓蒙された信心には信心と 全ての力があります これがあなたに起こると 急速に成長し始めます まずダルマにおいて 自分の徳に恐れを抱きません どこへ行っても人に サハジャ ヨガについて話します そしてそれは作用します 一度恐れがなくなれば 全体がクリアになります 洞察力を持つからです サンスクリット語で“ドウシタス”です なぜC・S・ルイスは私たちの 状況が分かったのでしょうか ウィリアム・ブレイクは 未来を予言できました ギャネシワラは全てのサハジャ ヨギの 説明をパセイドンで書きました 彼は“立ちあがって働きなさい あなたはすでに備わっています”と言いました 常に人に確信を 持たせようとしたため なぜタゴールは私たちがガナパティプレに 行くのを知っていたのでしょうか なぜこのようなことが起こるのでしょうか 啓蒙された信心を持ったときのみ それは起こります お母さんは啓蒙された信心において 素晴らしい力をさらに与えます 分別です ある者が私のところに来て “マザー この紳士はすばらしいです” “誰の世話にもならず 彼は教養があり お金もあります” “では写真を見せてください” 写真を見て私は “中に入れないようにしなさい”と言いました 彼は驚きました 私は写真から分かりました ヴァイブレーションで分かりました すぐさま “よくありません”と言いました ある男性が来て言いました “銀行に3500ポンド入金するよう” “ナイジェリア人が 手紙で書いてきました” そこに彼も多額のお金を入れるからと 後にその1/3が手に入ると言うのです 私に話してくれました “関わってはいけません” と言いました “なぜですか” “それは詐欺です” 彼がアメリカに帰ると 詐欺だと分かりました “なぜ分かったのですか” “ヴァイブレーションで分かります 大変熱いです” “ですから詐欺です” あなたはヴァイブレーションがあります 感じることができます この新しい意識を使いたくないなら 何の役に立つでしょう “忘れなさい”と言ったら 彼は動転していました 彼は“なぜそんなことを言うのだろう” 私は“お金が必要ならあります” “でもこれには 関わらないでおきなさい” 詐欺だと言われ ショックを受けていました 帰国して詐欺だと分かりました 飛行場で彼は私に ひれ伏しました “マザー おっしゃるとおりでした” その者がベテン師だと教えてくれたのは ヴァイブレーションでした 大金を渡すと言ったのは嘘です その者のヴァイブレーションが 悪かったからです このようにあなたは 次第に経験できます その経験を ハートに入れるようにしなさい その経験に自信を持ちなさい あなたはどう変わったか サハジャ ヨガにおいて マザーの恩恵を受けた経験を どれほどもてたか 内に啓蒙された信心があれば 力強くなれます 信じる気持ちが薄いために 力がないのです もしあなたが進化して成熟し 真にリアライズ ソールになれば あなたのすべての力が 作用します インドにある漁師がいました 漁師ですが 学位を持っています ある日 彼はサハジャ ヨガの プログラムをするため ボートで他の島に 行くところでした 外へ出ると 巨大な暗い雲が漂っていました ヴィシュヌマーヤの戯れでした 彼は岸に立ち ヴィシュヌマーヤに言いました “雲に悪さをしないよう 言ってください” “マザーの仕事をしませう” “その道中 困らせないよう言ってください” 彼と一緒にいた人達が 教えてくれました 彼らはプログラムをして 家に帰りました 家に着くやいなや 雨が降り始めました ですから啓蒙された信心で 5大要素をコントロールします あなたは何も言うことはありません その力はあまりに偉大で 作用します 今日ムーンプージャの時間に 突如快晴になりました 私が頼んだわけではありません ただ快晴になりました 昨日より遥かに穏やかです 寒くなっていたかもしれませんが 信心をもたなければいけません まさに現実です 前はひどい雨でした すべて跳ね上がり 柱を下ろさないとはいけませんでした しかし私の“ジェイ”と言い始めると止みました この経験で分かることは これらの柱は 下ろす必要はなく ただ私の“ジェイ”を言うだけでよかったということです 代わりに下ろすのに 忙しくしていました 私はただ見ていました “やらせておきましょう” これらの試練は あなたを成熟させるために起こります これらの試練がなければ それに取って変わるものはありません 取って変わるものがなければ 信心が何か知ることはできません 岸に立っている者は “どう泳げばよいか分からない”と言うでしょう しかし水に飛び込めれば 泳ごうとします すると泳げると分かります 自分が何になったか分からないので 泳げることに気づいていないので 他の者も救えると知らないの 未だ小さな 些細なことに 忙しくしています しかしあなたが どのような者になったか知れば あなたは完全に変わります 極一部分のように見える あなたの小ささが 空全体を覆うでしょう 内にあるこの力は あなたに工ゴを与えせん 一つにあなたを謙虚にします あなたを謙虚にし 大変愛深く 慈悲深くします これらの力で 他の者を傷つけません これが母さんの愛 お母さんの愛の力の象徴です 母親が大変愛深く 親切であれば 心理的事実として その子どもは大変良い人です それは心理的事実です ですからあなたが 真の自分に気づけば・・・ ナヴァラトウリ プージャはある意味 大変力強いプージャです それはあなたの力の経路を開き 顕わにするからです それ故 これは大変大事です 今朝から ヴァイブレーションは満ち溢れ ヴァイブレーションの滝のようでした 常に光 光 光が目映り 何を話してよいか分かりませんでした そのため目を閉じていました あなた方ではなく 他のものが見えているためです でも今はあなたが光です 光は暗闇を恐れませぬ 暗闇をなくせるからです それがあなたです あなたは自分が何者か知りませぬ 自分自身についての小さな 大変小さな考えで生きています 頭に2つ角をつけた 大口を吐くグールのようになりなさい とは言っていない あなたを飾るのは謙虚さです 親切心 優しさ いかに人と接するかです

何か間違ったところがあれば その者に言いますが その者が自分の為だと 分かるようにします すると全人格 全気質 全てが変わります 表情全てが変わります 動き全てが変わります 話し方も変わります 自然にです まるで内側の機械が 変わったと分かるようにです あなたは 真のマハ ヨギの資質を育みます 以前にもこのマハ ヨギの状態は 多くの者によって達成されましたが 大変な回り道を 経験しなければいけませんでした 全てを断念し 見せかけでなく 真に無執着でないと いけませんでした 彼らは人里離れたとこに行き 素食で 暮らさないとはいけませんでした 仏陀でさえ大変苦しみました キリストも同じです 化身でしたが 苦しまなければいけませんでした ラーマもシュリ クリシュナも 大変苦しみました あなた方は 苦しむことはありませんでした それどころか 苦しみから抜け出して 喜び 音楽 全てがあります しかし 喜び以外の何ものでもない ニラナンダにおいて サハジャ ヨガを楽しむためには 自分が生きている全ての幻を 断念すべきだと知らないといけません 様々な“幻”があります 貧しい 金持ち 不幸せ という幻を持つ者もいます 幸せだという者もいます 様々な幻があります 全て幻です 大事なのは 完全な空です この空は歓びによって 満たされます 完全な空があれば 誰からも何も期待しません そしてその内なる空は 慈悲と愛があなたの中に入るよう 機会を与えます 鍋が満たされているなら それ以上何を入れられますか 何を加えるというのでしょうか あなたの心が完全に空なら 過去や未来 野心 虚為のような ナンセンスは関係ありません 空になれば 歓びで満たされます 永遠の特質を備える歓びは 望まなくとも 期待しなくとも常にあります 今日あなた方がそれを感じられることを望みます ご存じのように女神の話は 大変深く精妙です いかに彼女がお母さんの姿となり いかに愛で 彼女の献身者の世話をしたことが いかに悪魔や ネガティブティと戦ったことが しかし今 悪魔はあなた方の ハートに入り込んでいます 間違ったグルが 頭に入り込んでいます 本を通して多くのことが入り込み 常に人を攻撃しています 悪魔を殺しても あなたの頭に残ります あなたの精神に反映したなら それらは殺されるべきです そうすれば 消すことができます でなければ立ち去っても 頭にブーツを残します 間違っただけで従ってきたものからの 間違った書物からのネガティブティがあります サハジャ ヨガに来てからも 間違っただけで導かれることもあります そのような状況でも その者を許しなさい その者が改善しても あなたは同じ思い違いや おかしなことを続けるかもしれません ですからあなたの本質は 慈悲や愛 恐れのないさや勇気です そして完全な空です この空において 何を求めるべきかは 何人の人を集めたかは サハジャ ヨガに何人来るかは心配しません 自動的にうまくいきます 望むこともありません “人が少ない”と嘆きません 私たちにはいいかもしれませんが 天国には愚かな者たちの 場所はありません ネガティブで役に立たない者を 追うべきではありませんが 純粋に善良な者は 確実に得ないとはいけません もう一つ言いたいことは そういった者はサハジャ ヨガを 自然に止めます 一回で止めるでしょう そこにいるに値しないからです お母さんの力を持つに値しません 大変すばらしく精妙に起こります プログラムには いつも私は遅れていきます 役に立たない者はいなくなります 途中でいなくなる者もいます 何も理解できないので いなくなります 残った者は 真実の探究者です リアリゼーションを得ます サンスクリット語で“シーン” 精選です 自然な選択が行われます 人がサハジャ ヨガを去ったり 戻ったり興味深いです サハジャ ヨガでよくあります 気にすべきではありません 例えば 来た人がロシアから多く スイスから少なかったとします そのように考えるかもしれませんが 私たちはもはやロシア人でも スイス人でもありません 私たちは超越した人間です ロシアやインドや アフリカから来ようと同じです サハジャ ヨギである限り 幸せであるべきです しかしスイス人が来るなら 喜ぶべきです 彼らに来てもらいという執着は ある意味良いです 仲間ができるからです 一人で密林にヨギ以外の者達と 住むことはできません ですから仲間が要るのです もっともっと必要です でも構いません その人数で十分です 人数について 心配すべきではありません 愛を分かち合いたいとき 欠けていると思ってしまいます 自分がスイス人だからではなく 分かち合えないからです その時新しい人格が芽生えます この新しい人格こそが作用します お金や賞与 奨励を もらえるものではありません あなたの写真が 飾られるわけでもありません 如何なる組織体でも あなたのようには働けません 彼らは賞やボーナスや 昇格を与えます 様々な手を使って働かせます しかしサハジャ ヨガでは何もしません 何があなたを 一生懸命にさせるのでしょうか 広めさせるのでしょうか ただ分かち合いたい ということだけです しないではられません 酒飲みも 一緒に飲む人を欲します 一人だと罪に感じるからです 罪なことをしているので 誰かと一緒に分かち合おうとします 罪の半減です サハジャ ヨガでは分かち合います 広めたいのです それはあなたが コレクティブだからです コレクティブになりました だからです もっと来てもらって 一緒に楽しみたいのです あなたは 大変高貴になりました 仮にある者が くじを当てたとします 大きな仕事を得るとします すると誰とも分けたくありません しかし自分がこれ程楽しめるなら 他の者にもと思います 同じような恩恵を持てれば と思います あなたが高貴になったからです 大変一生懸命 それを達成するようにします あなた方が自発的に働いているのを見ると 歓びを表すことができません 昨日映画を 全てのドラマを見て 大変驚きました そしてカペラにマラティの音楽がきた という思いに感動しました イタリア人が思いつきました 想像できますか 何百年経っても考えないでしょう いかに自発的に 起こったことなのでしょう それはうまくいってます 集合的センスがあるからです 新しい時代とは 確かにこのことです 新しい意識もあります 何が新しいかと言うと 集合性です その集合性が作用し 広めたいと望みます もっとサハジャ

ヨギになってもらいたい という切望です もっと兄弟姉妹がほしいという プージャに来れますよう 良いヨギになれるよう
という切望です この種の野望 歎びは 何と呼ぼうと その計画はあなたのハートに集合性が 繁栄している現れです
それ故サハジャ ヨガをヒマラヤで ひとりで楽しめません 他の者と一緒にいたいのです いかにお母さんの愛が
あなたのハートに根付いているかの いかにサハジャ ヨガを 広めるかの表れです オーストラリアで誰かが
金儲けをしているようです オーストラリアは常に問題があります これで金儲けをしているとは 理解できません
どうして金儲けのことや サハジャに反することを考えれるでしょう 頭痛のようなものがします 構いません 私に任せなさい
どうかします あなたはお母さんの すばらしい光となりなさい それを今日 あなたにお願いしています あなたの中に
全ての力が流れています 啓蒙された光があります それを広げないといけません もっと広げなさい
あなたはトゥカラムの言葉に 驚くでしょう “私は塵の小さな欠片のようなものです そしてまた空全体でもあります“
これがあなたの人格です 神の祝福がありますように

1995-0226, Mahashivaratri Puja, How To Get Detached and Ascend

[View online.](#)

Shivaratri puja. Castle Mountain, Sydney (Australia), 26 February 1995.

今日 私たちは サダ シヴァに プージャをするために 集まりました 私たちの中に 反映されるのは シヴァです 純粋なスピリットです 私たちの中にある 純粋なスピリットは 全能なる神 サダ シヴァの反映です 水面に映る 太陽のようではっきりと反映します あるいは 石に映せば 全く反映しません 鏡なら 太陽が鏡に 映し出されるだけでなく その光を反射します 同じように 人間において 全能なる神の反映は あなたの人格がどうであるか によって映し出されます 清らかで明瞭で 純真な人格なら その反映は 鏡のようでしょう ですから聖人は 自分自身を 間違っただけに 同一化していないので 全能なる神を 適切に反映します そのような同一化がなく その者が完全に 純粋なスピリットであれば 他へも神の反映が 投影されます 幸運にも あなた方は セルフ リアリゼーションを 得ました つまり 全能なる神の反映が あなたのアテンションに すでに作用しています アテンションが スピリットの力によって 啓蒙されています スピリットの力とは 反映することです 反映する者は 鏡や水面と 決して同一視しません 太陽が輝いている限り 反映し 太陽がなくなれば 反映しません あなた自身 サハジャ ヨガで 浄化されました クンダリーニも あなたを浄化し 今は純粋な人格です それにより この反映は より明瞭になり 人はそれを見ます あなたの顔に 体に 仕事や 振る舞いに あらゆるところに見ます 自分が 全能なる神を 反映することができると 信じるのは難しいです 自分に対して コМПЛЕКСのような ものがあるようです 全能なる 神を反映する者に どうして突然なれるのか 理解できません しかし 人は 神を反映する者に なれます そのために 自分自身を信じ 自分の上昇を信じ そうなっていけると 信じないといけません サハジャ ヨガにおける 自信は とても大切です 充分な 自信がなければ 上昇はできません 私の講義でも 充分な 自信を持つべきだと 話しています しかし自信は エゴや攻撃性では 全くありません 自信があるなら あなたに全く 攻撃性はありません 大変興味深い 中国の話があります ある王様が 闘鶏で 自分の雄鶏を 勝たせようとして “聖人のもとに 連れていけば” “必ず勝てるように 強くしてくれる”と聞いて 二羽を 連れていきました 聖人に渡して “闘鶏に勝てるよう 強くしてほしい”と言いました 一ヶ月後 王は引き取り 二羽を闘鶏場に連れて行きました 大勢の鶏がいる 闘技場です 闘鶏が始まると その二羽は 攻撃されました しかしその二羽は 忍耐強くその場に立ち 静かに落ち着いていました いかなる攻撃も 遊びのように 見るだけでした 他の雄鶏は疲れて 闘技場から逃げ出しました そのようにして 二羽は優勝しました 執着がない者は 決して攻撃されないと 理解しなければいけません 人は様々なことと 同一視するため攻撃されます まず家族です そして自分の国に 自分の宗教に 人種主義にです 同一視は 本当に自分を弱くします 自分を常に攻撃し サハジャ ヨギの精神に 混乱を引き起こすからです サハジャ ヨガに そして自分自身に 自信を 持たなければいけません そうすることで 正しい道にいますし 救われます 誰にも攻撃されません 神聖によって 完全に保護されるからです 人はいかなる宗教 いかなるグル いかなることに従っても 攻撃されるのではないかと 常に恐れます そして発言することを 恐れます 何を言うべきかの 分別もありません あなたが 純粋なスピリットであるという 適切な理解で それを信じるなら 自分がしていることに 大変自信を持てることに 驚くでしょう もう一つの 大きな利点は 私たちがコレクティブである ということです コレクティブにいと 自分がどう振る舞っているか 分かります どのような反応があるか コレクティブで 大変精妙な者は 多く話す必要はありません お話した雄鶏のように 立つことができます その者の深さは 感じられます 度量を感じられます 攻撃性はなく 深みがあります その者は自身の中に 保護を感じます この保護を 感じないといけません 精神的にではなく 自身の中にです 一度その重みや 感じを持てば 誰も攻撃できません 攻撃する者こそ 不安を感じています あるいは 育ちが悪いのか まだサハジャ ヨギでは ないのでしょう ですからその者に 情け深い見方をする 必要があります シヴァのようにです サダ シヴァの人格は 誰をも許す人格として 知られています 彼は頭で立つ 片足で立つ 断食するなどの 苦行者に対して 愛想をつかし “何が望みですか 叶えましょう”と言います 彼は御存じのように 多くのラクシャサにさえ 恩恵を与えました 彼らの苦行に 愛想をつかし 多くのラクシャサが 彼に祝福されました サダ シヴァが人々に 祝福を与えるという 話が多くあります ラヴァナにさえです 大変 興味深い 話があります ラヴァナは たくさん苦行をしました 頭が十もあり 断食も大変だったでしょう 口が一つでも 空腹になります 十あれば大変です そのような苦行に 何をしたら分かりませんが シヴァは うんざりしました 彼の慈悲は あまりに大きく 望みを叶えようと 考えました ラヴァナが シヴァのもとへ行くと “何が望みか なぜ苦行するのか”と聞かれ “祝福をいただきたい”と答えました “どんな祝福か” “何でも叶えると 約束してくださいました” “できる範囲で叶えましょう” これは大変 興味深い話です ラヴァナは “貴方の妻が欲しい” 彼の妻が アディ シャクティと知っていて アディ シャクティを 配偶者に持てば 効果が得られると 思ったからです 彼は“配偶者に 貴方の妻を頂きたい”とせがみました 悪魔に妻を渡す決断は 難しいことでしたが 慈悲でもって 承諾しました この出来事は 彼の慈悲がいかに作用するかを 物語るものです 結局 彼の妻バルバティは この恐ろしい者に

連れられることになりました。しかし、パルパティの兄弟は、シュリ ヴィシュヌ、つまりシュリ クリシュナです。彼は考えます“悪魔に、姉を渡せない”“手を打たなければ”シュリ クリシュナこそ、最もいたずら好きです。彼はラヴァナに、お手洗に行かせたくさせます。恥ずかしさから、彼女を地面において、お手洗に行きました。実はシヴァに“彼女の母は、母なる大地なので”“決して大地に、降ろしてはならない”“常に背負わないといけない”と注意されていました。ですから、ある地点に達したとき、シュリ クリシュナは、お手洗に行かせたくさせました。そして彼女を降ろすや否や、大地が吸いこみました。彼はどのように、分かりませんでした。二回目も試しました。シヴァのもとに行き“あなたが約束したことです”と言いました。シヴァは“注意したはず”“彼女の兄弟はいたずら好き、なので気をつけなさい”“次は耳を、貸さないようにしなさい”“何があろうと、地面に降ろさないことです”今回も、背中におぶって、やってみました。すると、突然、少年が現れました。それは、嘲け笑うシュリ クリシュナ自身でした。“なぜ私を笑うのか”少年は“なぜ老婆を背負っているのか”宝飾品もつけていない”ラヴァナは“彼女は女神だ”“それは違う、宝飾品がないのに、女神なものか”インドでは、言い伝えがあります。宝飾品をつけない女性は、ランカ、パルヴァティのようだ、と言います。彼女をランカに、連れて行こうとしたのが、由縁です。彼が見上げると、歯のない老婆が、彼を嘲け笑っていました。あまりに驚き、彼女を投げ捨てました。マハマヤです。そして三回目では、シヴァに“妻に誰の言うことも、聞かないよう言ってください”“今度こそ妻を、渡してください”と言いました。シヴァは“ランカで生まれ変わる、ので結婚できる”“その時の名はマンドダリだ”そのように、すばらしい話は続きます。マンドダリは、ラーマが彼を殺そうとした頃、ヴィシュヌの崇拝者でした。全てマンドダリによって、計画されていました。“シュリ、ラーマが、ラヴァナを殺せば”“女性に対する、悪いもくろみから解放される”と彼女が、知っていたからです。彼はシータを、追いまわします。“彼が生まれ変わり”“美しい女性を追いまわすことを、止めるように何か起こるべきだ”と、彼女は望んでいました。シータを連れ去ったのも、反対でしたが、聞く耳を持ちませんでした。ですから、戦争が起こり、その戦いで、シュリ、ラーマに殺されました。これらの出来事は、シュリ、シヴァに、無限の慈悲があったため、起こりました。彼の慈悲は、時折、理にかなって、いなく見えますが、理にかなっています。彼が引き起こすことは、問題の解決を、もたらすからです。例えば、ある戦いでは、その時、問題がありました。シュリ、シヴァによって、誰にも殺せない、恩恵を授かった、ひどい悪魔がいたからです。シヴァはまた、ある聖人に、ヴァラダンという、恩恵を授けていました。“今より眠りに就く、誰にも邪魔されたくない”と言うので、その恩恵を授かりました。眠りを邪魔すれば、一瞥で、灰にすることが出来ます。戦いが起こった時、シュリ、クリシュナは、二人のことを思い出し、聖人が得た恩恵で、この悪魔を殺すのが最良だと思いました。そこで彼は遊びました。戦場から逃げ始めます。そのため、戦場から逃げ出す戦士、ランチョルダスと呼ばれています。戦場から逃げ出す者です。彼は逃げるとき、ショールを羽織っていました。こっそり洞窟に入ると、そこには聖人が眠っていました。そこで彼のショールを、聖人にかけました。ショールを、その者にかけたので、追ってきた悪魔が、その場に行き、そのショールを見ると、“ああ、疲れてここに横になっているのだな”と言いました。そこに横になっているのが、誰か知らずショールを取りました。眠っている聖人が起きて、悪魔に目をやり、三番目の目で、燃やしてしまいました。そこで解決です。すべての出来事は、このように、三つの力が働きます。最終的に、真実が見えます。まず、シヴァの慈悲深さ、善があり、シュリ、クリシュナ、あるいはシュリ、ヴィシュヌの戯れで、中和します。三つ目は、ブランマです。彼は創造します。これらの、三つの力が働きます。人間の意識に、何かが起こるべきであると、私たちに感じさせる、雰囲気をつくるためです。真実を追求する、望みを、私たちの中に、進化させます。シヴァは、非常に慈悲深く、悪魔にさえ、優しい一方、もう一方では、非常に、残酷でもあります。彼は全宇宙を、破壊することも出来ます。もし人々が大変堕落し、スピリチュアルに、成長しようとしなければ、純真が、完全に失われれば、この世界で、問題を引き起こしている、誤った同一化に、執着し続けるなら、彼は、全宇宙を破壊します。彼はアディ、シャクティの、仕事を目撃者です。彼女に、人間の創造や、リアリゼーションの仕事を、させます。しかし、彼女の子供も達が、彼女によって、救われた人々が、悪行や侮辱をするなら、彼女の仕事を、台無しにするなら、彼は怒り、全宇宙を破壊できます。しかし、今となつては、彼にその機会はないでしょう。世界中に、サハジャ、ヨギがいるからです。サハジャ、ヨギの中でも、ある者は、大変早く成長します。着実に強く、シヴァ、タトゥワの原理を、達成しています。まず、最初の達成は、内側から、執着しないことです。メンタルに、執着しないのではありません。サニアーサのようになると、ヒマラヤの修業とか、家族を断念することではありません。執着をしないとは、自身の中のことで、執着しなくなると、まず、欲びに満ちます。幸せになります。“なぜ不幸なのですか”と人に尋ねれば、妻のことや、恐らく家のこと、子どものこと、国、社会のこと、何であれ言うでしょう。自分の周りの、出来事に、完全に腹を立て、不幸だと思うでしょう。リアライズソールなら、不幸だと思うことは、何の助けにもなりません。これらの社会や家族、国全体の欠点は、あなたが人を変えることで、正すことができると、知る必要があります。悪く思うことによって、ではありません。それをするのに、大事なことは、完全に、執着しないことです。サハジャ、ヨギを、私が始めた頃、自分の国の人について、私に、的確に話してくれて驚きました。宗教についても、聞いて驚きました。私は知りませんでした。執着心がないため、はつきりどこが悪いのか見えます。社会や人々、家族、国、全世界の、悪いところが、どこか分かります。それらと同一視しないことで、のみ可能になります。そうでないと、欠点や、人の何が悪いのか見れません。どのチャクラが、キャッチしているか見れません。最初に、起こるべきことは、執着しないことです。では、いかにして、達成できるでしょう。多くの者が“どうしたら、良いでしょう”と言います。私には執着がないので、分かりません。しかし、あなた方は、自身を理解するための、内省が必要です。自分が何に執着しているか、

見るようにしなさい なぜみじめなのか 誰を心配し なぜ心配するのか 以前は決して 大切に思わなかったものが あるヨギには 大切になりました 例えば 西洋では 我が子をあまり気かけない と聞きました しかし リアリゼーションを 得るやいなや 我が子に執着します まるでのりのようです 子どもにとって 何がよいかも分かりません 子どもに関するすべてが 主要な義務だと思います 先日 親が パースデー プージャの後に 来たいと聞いて驚きました ショックでした パースデー プージャが 次いでなのです “なぜ終わってから 来たいのでしょうか” とヨギに尋ねると “子どもがいると幸せ だからです” “親のためにもなります” でも全てのアテンションが 子どもにいきます 子どもを連れてきて 世話をしなければいけません ですから 子どもへの執着が 確実に そのようにさせます よくないことです あなたにとってよくありません サハジャを始めた後で 新しい執着が始まります 良くあります 家族に対する執着が 出てきます 西洋ではたいてい 家族に執着しません お酒を飲んだり 様々なことをします リアリゼーションを受けると 急に家族に注意が向きます 家族に執着し 家族や その全てに執着します 理解できません あなたが純粋なスピリットなら 執着はありません あなたは ただの反映です 全能なる神の反映です これらの同一視は なくなります どのようになくなるかと 尋ねるでしょう 私にはなくす必要がありませんが 提案できます まず瞑想です 自分自身を知るべきです どこがおかしく どちら側がキャッチしているか 右側か左側か 瞑想を通して分かります お金や仕事に 執着していますか それとも家族ですか サハジャに反するような 自分の国や 文化に執着していませんか それなら瞑想を通して これらの執着を なくすようにしなさい 左右の問題の治し方を あなたは知っています この執着は 指先に現れます どの中心部がキャッチしているか 自分自身で見なければいけません サハジャの簡単な治し方で 浄化できます 何かに執着すると 自分では気づかないことが問題です “ある者を愛しているの” “大変すばらしいことをしている” と考えます “これはシヴァの特質で 慈悲の気持ちである” と人に執着し始めます 全く慈悲ではありません そのように執着するのは いかなる慈悲でもありません シヴァの慈悲を 持つことはできません “心の中で作用しているのは シヴァの慈悲だ”と考えますが違います その慈悲は 大変純粋なものです 何度もお話ししたように 木の樹液に例えられます 上昇し 木の様々な 部分に行き渡り 蒸発するか 母なる大地に行きます 執着しません 一つの花にあるいは葉や 果実に執着すれば 木全体が苦しみます そして花は枯れます ですから特定の者への ある特定の考えへの執着は 正しくありません サハジャ ヨガにおいて 人は大変順応でき 何をすべきか 理解するようになります それには 瞑想が大切です ハートに シヴァ タトゥワに シヴァの原理に 瞑想することで 確実に執着から 離れます すると歓びが 最高頂になるでしょう 人は 食べ物や服や 家に興味を持ちます あなたは興味を持てます 興味を持つべきです しかし その興味を執着しない 啓蒙があるべきです 例えば インド南部の者は 北部の料理を好みません 北部の者は 南部の料理を好みません 大きな問題です インド航空の者に“標準の 料理を出さないのですか” 彼は“何が標準料理ですか” 良い質問です インド人は嗜好や 食べ物にこだわります インドでは標準の料理が ないのも事実です 同じように西洋でも 必要でないことに 多くこだわってます 流行だからといって こだわります 人格が未熟だからです 成熟した人格なら 全てを 高い視点から見て 他者と 一緒になろうとしません あなたが知るものは より高く 偉大で 歓びを与えるものです 喜びを与えると考える 執着ですが 子どもが 妻が喜びを 与えると考えるのは 間違っています 歓びはあなたのスピリットの 源から来ます 夫がすばらしくても 子どもが良くて悪くてもなんであれ 彼らが歓びを 与えることはありません あなたは自分自身を 楽しむだけです それによって 人は 大変許せる者になります 誰もあなたを傷つけることができないなら 誰に腹を立てるといいますか これはサダ シヴァの 偉大な特質で 彼は寛大である ということです あるところまで耐えて アディ シャクティのした 仕事を破壊します さもなければ 彼は 大変寛大で 大変バランスを 保っています 一度 アディ シャクティが 大変墮落した世界に腹を立て 全てを 破壊し始めました そこで彼は彼女の足元に 幼い子どもをおきました 衝撃で巨大な舌を出し 破壊を止めました これがシヴァのやり方です 自分に シヴァの原理を育む者は 大変 寛容でないといけません 残忍で苦しめる者がいる のは知っています その者たちを耐えられないのなら 縁を切りなさい 私はあなたを支えます でも耐えられるのなら 耐える方が良いでしょう その経験を耐えなさい そこから離れるより 耐える方が難しくないからです 例えば ある女性が私に “夫と離婚します” “なぜですか” “いつも遅く帰ってきて ほとんど会えないからです” 私は“離婚したら 全く会えませんよ” 理屈に合いません せめて今は会えます 会える時もあります 解決策ではありません 離婚すれば 決して会えません では離婚をする 必要は何でしょう このようなことは あなたが 執着のない者になれば 何も執着しないのであれば 理解できます 誰にも執着しないなら 誰があなたを攻撃できるでしょう 誰もできません 抗議すべきだと感じるなら そうすべきです それも執着せずです 抗議するのも 完全に執着しない ということが大事です 重要なことは 皆 上昇しないと いけないということです 一様の力で 上昇しないと いけません 網に捕まった 鳥の話があります 鳥たちは “この網から抜け出そう”と言い 皆 抜け出そうとしましたが 個々では 上手くいきません そこで一斉に 飛び立つことにしました “1、2の3” 網と共に飛び立ちました そしてねずみに 網を切ってもらおうよう 頼みました 鳥は自由になりました 鳥とねずみで うまくできました 私たちもできるはずです コレクティブにおいて いかに関わり合い 歓びを感じられるかに 驚くでしょう あなたの母 父 姉妹に問題があると思います 構いません あなたにはコレクティブにおける 歓びの大海があります 問題を解決したければ コレクティブに解決できます

コレクティビティに 頼らないといけません コレクティブと 一つになることです 一度 サハジャの海に 飛び込めば 歓びがあなた達を 一つにします お互い会うことは 喜ばしいことです 見知らぬ場所で 偶然サハジャ ヨギに会えて 嬉しく感じる経験を 多く耳にします サハジャ ヨギ間の つながりは 最も喜ばしいもので 一つになる源です 一度 お互いを楽しむと・・・ インドの偉大な詩人の話しを 一度しましたが 彼の名はナマデーヴァで 仕立屋でした もう一人は 陶芸家でした (英語を時折忘れます) この陶芸家は 詩人でもあり コラクンバと呼ばれています ナマデーヴァが 彼に会いに行くと (聖人は聖人に会いたいと望むものです) 彼を見てその場で すばらしい対句を 口にします 彼は“形のない チャイタンニャを見に来きたのに” “チャイタンニャが形になっている” と言いました “形のないものを ヴァイブレーションを見に来たのに” “私が見ているものは 形である” 聖人のみが 他の聖人にそう言います 精妙な評価は 二人の聖人の間で可能です 土を捏ねているとこや 仕事場での 汚いドーティは 目に映りません そのように見ません 身体や顔は 目に映りません 彼の中に人格化した 神聖を見ました 他のサハジャ ヨギを 感じる感受性を あなたの中に 育まないといけません するとあなたは 無意味な上辺のことを 気にかけません これはシヴァの 偉大な原理の一つです 彼は気にしません 彼の髪は もつれています 素早い雄牛にまたがり 結婚式に向かいます 想像できますか 彼の友達や 信奉者は 片目であつたり 片手しかなかったり 腰が曲がっていたりします 彼にとって 外見は関係ありません スピリチュアリティが 大事なのです 片目でも 身体が曲がっていても 重要ではなく 皆は彼にとって 自分のもので 上辺のことに 気を取られません 人の神性だけです 彼の原理を理解する 多くの方法があります 彼が包括的だからです 誰かに慈悲を感じるなら 作用します 確実に作用します 最近の例があります 不治の病を 患っている者が メキシコにいました 国連に務める メキシコ人の女性が 私に手紙を書きました “息子を亡くすかもしれません 重い病気を患っています” 彼女は私にそう書きました 私は彼女に 大変慈悲を感じました その手紙に 涙が流れました その涙が その少年を治しました 完全に治し 彼女は感謝の手紙を 書いてきました 私は驚きました 私の慈悲はメンタルなもの ではないからです ただ内在し 流れ 作用します 同じように あなたもそうなれます あなたに全ての力を 持つことを望みます まず 慈悲の気持ちです 人に対して ひどい扱いをしてはいけません サハジャ ヨギであろうと なかろうとです 誰も他のヨギを 攻撃することはできません それが サハジャ ヨギでなくてもです ヨギは決して 攻撃すべきではありません ヨギらしくありません ヨギは違います 先日ある者に“あなたは 短気です”と言いました “誰かが私を 怒らせるとそうなります” 私は“皆怒りを 駆り立てれば怒ります” 怒りを駆り立てられても 怒らないのは狂った者だけです ですからあなたを 怒らせる者がいれば怒ります 皆そのように怒ります しかし“駆り立てられないのであれば 怒りません” と言うならそれは 大変違う状態です 今日の現代における 全ての環境で 大変な 苦闘があります それはシヴァの 文化ではありません シヴァの文化とは サハジャの文化と言えます あなたがサハジャ ヨギなら あなたの中に慈悲や 他者への 理解があるべきです サハジャ ヨギだけでなく ヨギでない者も 助けなければいけません するとあなたの慈悲が 効果的になります ご存じの通り今日の文明の 最も大きな問題は 西洋の文化が 墮落しているということです 新聞を読むと ショックを受けます 破滅する前にどれくらいの方が 気づくかわかりません 本当に自虐的です 一方で放縦な 自由放任な社会があり もう一方では対抗しようとする イスラム文化があります 対抗しようとするのも 最中です しかし そのやり方が 問題を引き起こしています あれこれしてはいけない と反対するならもっとやるでしょう 例を挙げると インドの北部に行くと 文化がよりイスラム的です 人は不道徳で 常に女性に目がいきます ヒンズー教であると言っても 悪い習慣があります イスラム的な 抑圧から来ます 女性が 完全に覆われていて 誰も見なければ 人はもっと興味を持ちます ボンベイから来た 私と旅をしていた者が 通りの女性全員を 見ていて 私は“そのように見ていたら 首が折れますよ” しかし普通のことで それだけに留まらず 好奇心が行き過ぎれば 人は非常に 不道徳になります 西洋と同じようにです ですから あなたの欲求を抑えるのもよくありません 外側を抑えようとする この文化は 内側で 人を不道徳にします 一度リオからロンドンに 旅をしていました 眠ってしまい 起きた時 短いスカートを履いて 蝶ネクタイをした女性が 着飾って 座っていました スチュワーデスに “どこかで止まりましたか” “直行便です 止まっています” “この人たちは誰ですか” “同じ人達です” 全く違う姿でした 裾の長い服から おかしな格好に 変わったので驚きました 理解できませんでした このようなことが起こります 抑圧によって作られた 好奇心は 健康的ではありません サハジャでは 抑圧はありません あなたは純真になります 純真になるだけです シヴァの原理です サハジャの文化は 中庸にあり 行き過ぎた不道徳や 抑圧はありません 中庸です シヴァの最も偉大な原理は 純真であることです この純真が あなたの中で輝きます それを見てきました 過去に関わらず あなたは大変純粋です 西洋のように 振る舞おうとする愚かな考えは あなたにはありません サハジャ ヨギになった 多くのイスラム教の人々は サハジャになり すばらしい人生を歩んでいます 告白する手紙を送った イラン人がいました ショックを受けます 私には耐えられないので 読みませんが 今彼らは 最も道徳的です 極端に走るのは 間違っています 中庸にいます サハジャにおいて 人生に大切なのは 徳であると理解できます それは あなたの純真からきます それはシヴァの息子である シュリ ガネーシャの本質です そして シュリ シヴァの 純真を通して放されます シヴァの次の講義で あなたに純真について話します そのために執着しないことについて 理解しないといけません 自分の中で育まれるものです 強制できません

瞑想を通して無執着を 内に育むことができます それは大変 喜びを与えるものです シヴァの多くの特質を 説明できます 彼については多くの講義で お話ししたと思います あなたのアシュラムで コレクティブな瞑想を持つべきだと言わなければいけません コレクティブな瞑想を するのは良いことです 人にバイブレーションを 与えることはありません 他者のチャクラを 世話することはありません 自分を気にしなさい どこが問題が見なさい あなたの上昇における困難への解決策が何であれやってみなさい 全世界の責任が サハジャ ヨギにかかっているからです あらゆる問題から 人類を救うのに サハジャ ヨギが地上に 生まれなければいけませんでした 正しい状態に自分を保つのは あなたの責任です サハジャ ヨギに関してです 左右の問題を なくしなさい そして 大げさな言葉や 攻撃性からではなく 愛と慈悲で サハジャを広めなさい 多くは達成しましたが 私が正す嫌な問題が いくつかあります 何であれ 作用してると言えるでしょう 皆 自分を見て どう変わって 深まるかを感じないといけません 神の祝福がありますように

1995-0507, Sahasrara Puja, Achieve Complete Freedom

View [online](#).

Sahasrara Puja, Cabella Ligure (Italy), 7 May 1995.

今日 私たちにとって 全てのサハジャ ヨギにとって すばらしい日です 一日 二日 遅れていますが この日にサハスララが開かれました 奇跡といってよいでしょう それが為される時点に きているとは 思わなかったからです 時期を遅らせたかったのですが 私に開かなければならないと思わせる いくつかのことが起きました これ以上遅らせれば間違ったグルのナンセンスな教えを 世界中に広めるのを 促してしまう 状況に陥ると感じたからです これは 自発的にサハジャに起こったと言えるでしょう 25年が過ぎました その間 あなた方が集まりました ここに来ていませんが多くのことを達成した者もたくさんいます しかし 本当の意味で 私たちが何を達成したか おそらく意識していません あなたはヴァイブレーションを得ました この包括的な力を 感じるができます いわゆる歓びの大海に あなたは泳いでいます あなた方全員が コレクティブを楽しんでいます そしてあなたは多くの 自分の限界を超越しています これら全てはあなたに起こっています あなたには それを得る権利があるからです 私の功績ではありません あなたに常に指摘してきましたが あなたは 神の王国に入っています そして自分自身を楽しんでいます 私たちは自分たちの周りをみなければなりません 全ての自然はそれ自体で楽しんでいます 何も気にしていません 何に対しても気にしません リアリゼーションも受けていませんし パラマチャイタンニャを感じていません しかし なぜ楽しむことを知っているのでしょうか 花は短い間だけ咲いて 枯れます しかし生きている限り 大変幸せです 過去や未来について考えていません 現在を楽しんでいます 現在において楽しみます つまり それらは香りを持ち 他へ与えます 美しく他を癒します 自然界全てがそのようです 鳥を見ても 自然と呼べるすべてのものを見ても 皆瞑想状態です 丘も大きな山もそうです 起こったこと全てを 目撃しているように見えます 私たちが何を得たか まず省みるべきです これは大事なことです あなたが丘を登っているなら 振り返って下を見れば 衝撃を受けます 落ちるかもしれませんですから普通 人は 決して振り返らないように言います しかし 宝を手にした者は 何度も何度も そこに行つて数えどれほど得ているか確かめ それを見ては楽しみます ですから自分が何を得たか 相対的に知ることです そしてどのように得たか知ることです より強い心と人生の豊さを 確かに与えられるでしょう あなたに最初に起こったことはとても大事なことです この包括的な力を 感じたということです つまり あなたが誠実で 正直で 分別のあるすばらしい真実の探求者であったということです 私のプログラムにただで ヲヴァイブレーションを感じました その後 除々に定着していきしました 皆さんのほとんどが 突然感じました 驚嘆し 衝撃を受け 驚いたでしょう あなた方はそれが真実かどうか見ようと思いましたが そして自信を持ち 真実を見つけ 人生に新しい次元を 確かに得ました 神聖な愛の包括的な愛を感じています この包括的な力についての説明は 長い話を要するほどです あなたがそれから得たものはその真髄だと知らなければなりません それは完全な自由です あなたは 完全な自由を得ました まず始めに この自由があなたにないといけません もっとも大切なことです あなたの工ゴからの解放です 工ゴの束縛から逃れました工ゴは大変大きく あなたにとって大きな問題でした この工ゴはあなたが意識していない 多くのことをします工ゴイストの者は 誰を傷つけても気にとめません 彼が傷つきます しかし彼が傷つけられると 気に入りませんすぐさま泣き出します 工ゴを持つ者は 特に傷つきやすいです それなのに 自分が何人の者を傷つけたか 怖がらせたか解っていません あなたは 工ゴから逃れられました 他の人間を傷つけることは 罪深いことです 如何なる理由があろうと他の者を傷つけてもいいと感ずるのは 罪深いことです 第一に復讐があります 復讐心があります 自分を傷つけ自分に対して間違ったことをした者に対して 復讐をしなければならない と思います 復讐心はあなたが反応した時に起こります 大変攻撃的に 反応する者もいます 復讐の名の下で 自分の親族や仲間 自国の者の間で互いに殺し合う者もいます 世界中で 復讐の愚かな観念があります しかし復讐を 精妙な側面から見るとどうでしょうどんな復讐を できるというのでしょうか あなたを困らせた者が いたとします その彼に対し 怒りを感じたとします 彼を殺せば実際あなたは その者を救ったことになります 彼が罪悪感に 苦しむこともありません 彼は何もすることがなくなりただ終わります 復讐とは何でしょう 復讐とは 人を殺す観念から 逃れることです 例えば 剣は 剣とは決して戦いません 盾と戦います 同じように 私たちが他の者にする復讐は 復讐ではありません なぜなら復讐の名の下で行う行為はあなたに返ってくるからです そして さらにあなたを傷つけます 人が復讐の名の下において行動し始めれば様々なことが起こります 例えば今日 世界中で復讐が多く起こっています 神の名においてでさえ 復讐していますある者はある宗教に 従っているため あるいは あなたがしていない何か他のことを 彼らがしているため復讐しますこのような復讐で 上手くいかせようとするのは あなたがなぜ復讐しているのかも理解されず、 人はただ殺され滅ぼされているに過ぎません 爆弾をしかけたり 様々なことをされ 何千もの罪のない者が 殺されています どんな復讐が

できるというのでしょう　いかなる復讐も　彼らには値しません　膨れ上がった復讐心は　大勢の罪のない者を殺します
そして確かに　自分に返ってきます　それから逃れることはできません　これは復讐の　長い過程のことです
バーミューダの三角地帯について　お話ししたことがあります　多くの黒人や奴隷が連れ去られ　その場所で溺れました
話によると　彼らの霊が　そこを通る者を呪うと言われています　ほとんど白人を呪い　溺れさせます　ですからそれは
大変長い過程です　この吉兆な日に　長く話す必要はありません　私たちが復讐をする時　どんな行為にも
反応があると言わなければなりません　ですから　あなた方は　この復讐の観念から逃れられました　ただし観念だけです
もう一つあります　あなたが復讐せず神にゆだねれば　作用があります　作用があるだけでなく
神聖な力がそれ自体でコントロールし　あなたに復讐しようとする者に　その共同体　組織体のようなものに　教訓を与えます
あなたは　心配する必要はありません

1996-0321, パースデイ プージャ、気持ちは幻

[View online.](#)

73歳のプージャ、「気持ちは幻である」1996年3月21日、デリー（インド）[Hindi translation missing] 今日はこちらについてお話しします 人はこちらについて 分かっていません しかしサハジャ ヨギであれば 容易く理解できます 人は外的なものの全てに反応するのです その理由は私たちにある 二つの悪い傾向にあります 一つはエゴで もう一つは“そのように訓練されたもの”です これをスーパーエゴ またはコンディショニングと呼びます このエゴとコンディショニングが外界に対していつも反応します 内に組み込まれている この反応は 大海のあぶくのようなのです これらのあぶくが現実から私たちを遠ざけます これらのあぶくは 思考であり 常に頭で噴き出しています どこから来るかも分かりません自分で作り上げた 思考に頼れば 何が正しくて何が間違っているかの 理解において分別を失います 口論や喧嘩 所有欲 終いには戦争も引き起こされます 幻に過ぎないこの思考による 破壊的な考えは さらに大きくなりますそして感銘を与えられる者を見つけ 本や講義や催眠などで その者の頭に考えを吹き込みます 人は限られた枠の中にここを入れてしまうので 個人でも集団でも 破壊的な考えを受け入れてしまいます 思考は幻に過ぎませんそして人はこの思考を通して 行動します 私たちは常に 自分を満足させようとし “これは私の頭が” そう望んだから”とあるインドのサハジャ ヨギが アメリカに行きこう言いました “アメリカ人は自分の思考に 踊らされている”と 訳を聞くと妻にシャツを買うように頼んだところ 彼女はスカートを買ってきました すでにいっつもスカートを持っているのにまた買ったのです そこでなぜ また買ったのか尋ねると “私の頭が” 買うべきだと言ったので”と ですから頭は様々な間違ったことをさせます 第一に現実と全く 繋がっていないからです そして第二に 全くの幻だからです人は自分が生み出したものに対して 自分のところがしたことだと考えますが それは全く間違った考えです 偉大な科学者達は例えばアインシュタインは言いました “私は相対性理論を発見するのに 疲れ果てました” 科学者は自分の概念を持ちそれに基づき研究しますが彼もそうでした でも彼は自分の概念が 間違っていたと気づき 突如庭に出て シャボン玉で遊んでみようと思い立ちました 子どものように シャボン玉で遊んでいると “突然未知のどこからか” と彼は言っていますが彼に相対性理論が 下りてきました 多くの科学者はどこからその考えが 来るのか分からないと言いますその閃きがどこから来るのか調べる 特別な研究もありますが とてもサハジャ的です ベニシリンでさえ同じように発見されました 発見されたものは全て 証明によってではなく 思考を操作すること によってでもなく何か未知の領域から 来るものです 自分達の頭からだと思う 人もいますが ほとんどの者は気づきますニュートンでさえ“私が意識しない ある領域から来る”と気づきました ヨギは全てを包括する パラマチャイタンニヤである神聖の力の源から それが来ると分かっています 事実感じられて そこにあると分かります しかし最低限でも思考を超えないといけません 私は常に“瞑想しなさい” と言っています あなたは反応しない 思考を超えた意識状態に在るべきだからです つまりあなたは目撃者になります 全てのドラマ 全ての場面の目撃者になりますすると自分に対して 完全に楽になります そしてこのパラマチャイタンニヤの 包括的な力の道具になります ただ目撃します目撃者です すると目撃するものに対して 反応が起きません それでいて それが何か分かっています つまり状況全体の現実を理解できる状態です 例えばあなたが水面にいれば 波に飲み込まれると恐れます しかし船に乗っていればその波の美しさを眺められます さらに泳げるなら 飛び込んで 溺れそうな者を救うこともできますその状態にいればそうなります リアリゼーションを与えることが できる状態だとされます 彼らを神聖な力と繋げることが出来ます そのためには思考を超えた意識状態に どうしたらなれるか知らないといけませんある者は“一瞬だけならなれますが” と言います それはサハジャ ヨギに来て 頭に コンディショニングが沢山あるからですまずインド人に生まれれば インドと同一視します イギリス人なら イギリスと同一視します でもサハジャ ヨギについて言えることは この思考から 一度でも離れられるなら 自分が住んでいる状況について 批判できるようになります例えばインド人なら“これがインド人だ インド人はそういうものだ”と イギリス人なら“これがイギリス人だ”と一番批判できます 普通の者は ヨギほど批判できません ヨーロッパ人なら ヨーロッパの者を批判しこう言います “ああヨーロッパ人だね 私は良く分かる”と 思考自体を見れるようになります つまり思考が 幻であると見れますすると常に騙そうとする 思考が止まります あなたは物事を 適切に見れるようになります あなたが反応しないからです反応するのは コンディショニングがあるからです 人は沢山のことに 条件づけされます 例えば ある特定の宗教に生まれるとかです 現代において宗教は 人間と何の関係があるでしょう どこにも真の宗教は存在しません金儲けや権力志向になっています それゆえ互いに争っています どの宗教も排他的で 戦っていますその理由は頭で“自分の宗教のために 戦うべきだ”と思ひ込むからです 彼等には内なる宗教がありません自分達の人生を向上させる 宗教がありません 彼等は最も腐敗した 不道德な者達かもしれません ただある特定の宗教に同好会のように属しています そして自分達を何かと同一視します 特定の宗教やカルトに属しているから

何でもする権利があると信じています 思考は人が作り上げたものですが この思考を利用する者がいます 現代において
作り上げられた思考が利用され プラスチックのように普及し 至る所に入り込んでいます このような思考はどんなものにも
人々のところにも入り込みます ヒトラーはこうして ドイツの若者を手なづけました このような人たちは論理的な理性を
破壊することに成功したのです 愚かさを見通すのに 必要なのは理性で 思考ではありません 思考を通すと
論理ではなくなります ただのあぶくに過ぎない この思考は限られたもので 現実の美しさ 栄光
広がり理解することはできません この思考はごみの 寄せ集めに過ぎません それをどうにか否定し
自分にこう言い聞かせます “自分の思考を 超えないといけない” “いわゆるこの思考は 私にとって何の役にも立たない”
“私を常にコントロール しようとするこの思考は” ”自分で作った時計や コンピューターのようなもので”
“いつでもコントロール しようとしている” ですから 気を付けないといけません この思考を創ったのは自分で
自分をコントロールさせることは全くないと 多くの者が自分の思考を コントロールしようします
“さあ思考をコントロールしよう” どうやってコントロール するのでしょうか 思考ですか エゴやコンディショニング
によってでしょうか 自分の思考を コントロールする方法はありません それはあなたが作り上げた思考で
そこに存在しています 思考でどうにかできると 考えても コントロールできません 思考を超越しないといけません
思考を超えるのに 最も助けになるのが クンダリーニの覚醒です 彼女があなたの 大脳辺縁系を通して泉門を貫き
現実の領域に連れていきます 脳あるいはハートが この包括的な力と繋がるからです 彼女が繋げるのです まさに彼女がします
多くの者が サハジャ ヨガをしますが 瞑想 思考のない意識状態を 確立するのは容易ではありません しかし皆さんが確立すべき
非常に大切な状態です 私は沢山のサハジャ ヨギがいて より深まっていくことに 喜びを感じますが
自分達の思考の混乱にいる限り 向上できません 思考が作り上げるものには 現実性がありません 限界があり 時には反発します
思考で人は“私はこれこれだ” と考えるからです 例えばあなたが ある地位に就くとします 知事であれば自分は知事なので
好きなことができると考えます ですがこの思考はあなたが 知事になったことは分かりません つまりこの役職が
あなたを支配しているのであって あなたがその職を 支配しているのではありません 一度このような考えが出てくると
とるべきではない 態度をとるようになります サハジャ ヨガにおける リーダーもそうです リーダーになる者は
時折“私はリーダーだ”と考えます 完全な幻です サハジャ ヨガのリーダーの 地位は完全な幻です 理解すべきことですが
リーダーになったと知るや否や 思考でいっぱいになります いかにか支配し コントロールするかという思考です
人をコントロールしようとするなら 命じているのは思考だと理解すべきです そもそも人をコントロールする
必要がありますか 真のサハジャ ヨギなら そうする必要はありません 操る必要はありません ひとたび意識が思考を超えると....
これはサハジャ ヨギであれば はっきりと理解できます 思考を超えると アテンションを操ることが 大変大切になってきます
操る つまりあえて他のあるものに アテンションを向けると 自分がいかにダイナミックで効果的で
その知識に精通しているかに驚くでしょう 自分が望むものに アテンションをおくと すぐさまその論点に
その者にその問題に光が差し どう解決し助けられるか 分かるからです サハジャ ヨガで“貴方のアテンションは
沢山の奇跡を起こしてます”と言います ですがあなたのアテンションも 普通の人にはできないことができます
あなたのアテンションが まず浄化されていて 次に神聖な力によって 操作されているからです そしてその力が現れています
しかし人はサハジャ ヨガにくると 私に涙の手紙を書いてきます “こんなことが起きました 父が病気です
足や手が痛みます”など 身体的な話から 精神的な話まで 時には長い手紙を書いてきます どう読んでよいか分かりません
彼等が反応する段階にいては どうすることもできません 終いにひどくなり サハジャ ヨガを 何か契約のように考えます
サハジャ ヨガにきたから 自分にこれが起こるべきだと 契約を交わしたかのように 得られるのが当然だと思います
このような振る舞いは サハジャ ヨギらしくありません サンスクリット語に タタスタという言葉があります
とてもいい言葉で説明すると... 適切に訳すことはできませんが タタスタとは 岸に立ち眺める者の意味です
これがあなたがあるべき状態です だからといって あなたは 効果がない者というわけではありません
あなたは非常に効果的になります そのような者がいれば 沢山のことが起こります 戦争を止められます 平和が広がります
邪悪な者は暴露されます サハジャ ヨガは 大きく作用するものなので 如何なるときもサハジャ ヨギは
互いに争ってはいけません 時には自分自身問題があるのに 他のヨギやリーダーを 批判しているのを見ると驚きます
ひとたび思考を超えると 自動的に内省できるようになります そして“自分の思考の どこが悪いのか”見始めます 鏡の前に立ち
目を閉じて “思考さん あなたは 何をしようとしているのですか” 自分自身向き合い 自分を見ることです そして自問します
“何をしようとしているのか” そこから一度離れると コントロールできます 私の誕生日を お祝いしてくれて嬉しいで
かなり年を取っているようですが そうは思いません 考えないからです 思考を超越しないといけません
常に自分や自分とは全く 関係ないことについて考え 思考を混乱させることは 大変危険なことです 思考を止めるにはサハジャ
ヨガでは まず本を読むのをやめるべきです 読み始めると その本から思考を集めるからです 多くの人が他の人の本や
言葉や引用で頭をいっぱいにしています そこに書かれている者達はいません 真実からかけ離れた者達です
“誰々がこう言っている” 私がこの本を書いている時も “でもマザー プラトンはこう言っています” “ルソーがこう言ってます”と

私は“言わせておけばいいのです” 私が分かっていることを書くのであって” “私がルソーやプラトンについて読む必要はないのです” 私が知っていること 人生で目撃したことを 私は書くべきであって 人が主張すること 記述したことを考察するのではありません またこの思考には もう一つ大きな問題があります 活字となって書かれたことが 聖典となり偉大なものとされます 今日キリストもモハメッドや アブラハムもクリシュナもラーマもいませんが 彼等はラーマやクリシュナが 言った言葉を氣にかけます ギータではクンダリーニについて 語られていないのに なぜマザーはクンダリーニ について話しているのかと でも彼等は言ったかもしれません ギータを書いたのはクリシュナはではありません キリストは聖書を書いていません モハメッドもコーランを書いていません 書いてあることを 氣にかけなくてもいいのです そうではなく彼等が言うように経験しないと 再び生まれないといけません “思考を超えないといけな” とも言っています そうすべきです そして自分自身で見極めるべきです しかし人は同一視します 以前キリスト教徒であった者は キリストについて喜びますし ヒンズー教徒ならクリシュナや ラーマについて喜びます イスラム教徒なら モハメッドやファティマなどでしょう そこから抜け出せません 難しいです 彼等の頭は子どもの頃から“イスラム教徒だ キリスト教徒だ”と教えられた通りに信じます 他の宗教に生まれていればどうなるでしょう 何か違うものを信じていたでしょう この思考はあなたの頭に植え付けられて 全く自由が利きません これらのコンディショニングに縛られます サハジャ ヨギの中でも コンディショニングで 良いか悪いか判断します 自分自身で見極めるべきです 例えばグル ナナカについて話せば シーク教の者は喜ぶでしょうが キリストのことを話せば 喜びません プーナでキリストの話をするれば 人は“改宗させようとしている”と言うでしょう ロンドンでシュリ クリシュナの話をするれば “ヒンズー教徒に改宗させようとしている”と ですからこの同一視は 生まれた時から強くあります そのような考えを 未だ持っていて自由ではありません だからと言って彼らを 信じてはいけないという意味ではありません 彼らは偉大で 私たちに 大いなる敬意と理解を持っていました しかしまず自身を自由にすべきです 彼等を知ることです 思考は自由でないといけません あなたの頭に植え付けられたもの 真意を見れないといけません 楽しめないからです 部分的にしか楽しめません なので自由な人間であることです サハジャ ヨギは あなたに完全な自由を与えます また完全な解放を与えます すると他の者の自由に 敬意を払えます そして自由とは何かを理解します そうでないなら サハジャ ヨギは意味がありません あなたにある全てのコンディショニングが 取り除かれるように作用するものだからです 私たちにある 二番目の敵はミスターエゴです これもまた頭痛の種です エゴが膨れ上ががり 多くの国に広がっています これらの膨らみが 一度膨れ上がると また大きくなるのは 簡単なことです しかし膨れ上がることが なければ次は難しくなります このエゴは 異なる側面からやってきます 驚くでしょうが 私たちのチャクラの欠陥から来ます 例えばお金に非常に重きをおいている者がいるとします “お金が得られないなら サハジャ ヨギをする意味はあるのか”と お金が何より重要ですが 私たちは確かに 金銭重視の世界にいますが 人を愚かにするような お金には意味がありません お金重視の 裕福と言われている国 スカンジナビアの国やスイスは 金儲けのためなら どんな手を使おうと構いません でもお金はしっかり稼ぎます そして若者は自殺をし さらにそれを競い合っています 彼等は大変不幸せなのです つまりお金で幸せにはなれません 常にお金のことしか頭になければ あなたはサハジャ ヨギになれません お金は愛を表すためだけにあります 例えば店に行って 良いものを見つけたとすると “あの人にこれを あげれば喜ぶだろう”と考えます それは大変優しい気持ちです “これをあの人にあげよう きっと必要だろう” あなたの頭が違う方に働けば つまり思考を超えた状態なら 何か喜びを与えるもの 芸術的なもの 美しいもの 役に立つものをその人のために買うでしょう あなたは寛容さに満ちた心持ちで 寛容さを楽しみ 常に人に喜びを与えられるものに アテンションが向けられるでしょう 高価なものでなくとも 何か細やかなもの お金があるなら 人に贈れる何か 愛 感謝 シュラツダを 表現できる物を買う方が良いです 驚くことに人は苦行者などにお金を与えたりしますが 彼等のシュラツダを満たすために 与えなければと思っているようです そして大枚をはたきます 全く無意味です 価値を全く理解していません 彼等にとってお金はお金に過ぎません 現代においてエゴの最悪の産物はお金でしょう お金持ちや実業家は 個別に私と話したがります “マザー 是非貴方にお会いしたい” でも彼等は全くの役立たずです “このことで大変な損失を受けました 助けてください” 私は彼等に何も言いませんが 彼等は“貴方の恩恵により 取り戻せました”と言います そうかもしれません ですが愚かです 老子はこのように記述しています “揚子江の両側は大変美しいが それに見とれていると大海にたどり着けない”と 同じように 人が飛行機に乗る時も 途中で良いものを見つけて そこに足を留めれば飛行機に乗れません ですから頭を使うことで 副作用が起きます つまりアテンションを間違ったものに向ければ 無駄なエネルギーを使うことになります 結局は満足できません 一般的に欲求は満たされないものです それはあなたが与える愛 受け取る愛です それはある目的や 下心のある愛ではありません 他者に感じる愛 自身の内にある純粋な愛です それは神聖からの 最も素晴らしい贈り物です 他の全ては意味がありません 毎日出てくる欲求です 今日車を欲しくなって買い 次に家が欲しくて買います すると手に入れた車はどうでもいいのです 家を手に入れたとしても満足しません また別の物を欲しがります

あなたを満足させるものは何でしょう この純粋な愛 真の愛です 他の者に感じる そして他の者があなたに感じる愛です 私たちには沢山のコンディショニング エゴがあります 私たちの国 特にインドにはです 妻を支配することは最も大きなエゴです そのせいで女性や妻や 子ども達が苦しめられます 彼等がただ “自分は男だ”と思うからです そこから喜びは 全く得られません 決して喜びを感じることはありません 他者を支配して喜びは感じられません 喜びは愛と愛情と労わりを通してのみ感じられます なぜなら喜びにそのような 性質があるからです 喜びは支配や要求ではありません それは喜びを感じる者の 証ではありません 喜びに満ちた者とは 労わることができる 愛深い 優しい関係を楽しむ者です 北インドの男性に特に見られますが 人はイスラム教の影響と言いますが 北部では男性は非常に妻に対し支配的です そして妻を大変けなします ですので今では 女性も非常に支配的になっています 作用には反作用があるものですが この反応自体 間違った考えです この反応は純粋の愛の感情に 慈愛の大海に溶け込ませないといけません 例えばデリーの道端には多くの者 子どもが乞食をしています 私が抱く感情はその者に対して 叱るものでも 怒るものでもありません 彼等は騙したり奪おうとしている かもしれませんが 誰だって騙します 同じです 私の中に組み込まれている 慈愛はこうです “土地を手に入れ 孤児のための施設を作って助けてあげよう” “この惨めさや貧困の池から 沢山の蓮の花が咲くかもしれない” でもこの気持ちは コレクティブでないとはいけません それならデリーの問題を 解決できるでしょう 社会福祉事業に 頼るというではありません ある社会福祉事業を知っていますが 単なるエゴを甘やかす事業でしかありません 社会福祉と関係ありません いい加減ですし これらの人々を世話したいという 彼等のアテンションには深さがありません ですから私たちは 愛と慈愛の大いなる気持ちでできます 私たち皆でできます これは私の望みの一つです あなた方の望みであるならうまくいきます とても大切なことです 彼等も人間で私たちは彼等の 面倒を見ないといけません しかしそのために こう考えるはいけません “私が会計係をする 会長をする” そのような発想は 頭から取り除かれるべきです でないと自由ではありません 自由ではありません 面白い冗談があります ある村人が大臣に会いに行くと そこにいた秘書が人々と話していました すると秘書は怒り始めました 村人は“あなたは誰ですか” 秘書は“知らないのですか” “私はPA(個人秘書)です” “ああPA(お父ちゃん)ね” “つまり酔っぱらっているのですね では話すことはありません” エゴが大きい人は 酔っ払いのような者です 時には気が狂ったような者です 会う時は押し竿を持っていないといけないほどです 平和賞を受賞した者の中にも 押し竿を持って話さないといけない者もいます 猫や豹のように 飛びかかってくるかもしれません 平和賞をなぜ 受賞できたか分かりません さて平和は 私たち自身の内にあるものです この平穏は維持され 内省され 現れるものでないといけません 私たちは平穏でしょうか それとも反応していますか 反応ばかりしているなら 平穏ではありません でも中には“私は平穏ですが 反応しないといけません”と 全く平穏ではありません ただ自分自身に真向から向き合いなさい 自分自身で見てみなさい 自分が平穏なら この平穏が周りに広がり 他者を助けます 彼らに身体的 精神的 感情的 そしてスピリチュアルな平穏を与えます あなた方にはサハジャ ヨギにきて 大いなる責任があります ヨギであることは 単なる証明書でも 私のバッジをつけることでもありません 女性にも理解してもらいたいことです 女性を見ると心配事と言えば 自分の子どもや夫 仕事のことについてで 他者 周りの者 については心配しません 女性もサハジャの生き方を しないといけません それによって他者に 愛やアテンションを広げ いかん人々を喜ばせられるかみます かつて西洋の国々では そうではありませんでした 報酬や目的なしに 他者を喜ばすことを知らなかったと思います 誰かに贈り物をすれば 彼等は“あなたは何が欲しいの” “コーヒーでも飲む” とすぐさま尋ねるでしょう 彼等には愛の表現について 理解できません しかしこの考えは変わりました サハジャ ヨギがいるからです ヨギは別者です 驚くことに以前人は 弱いから贈り物をすると思っていました ですがこれらの考えは 西洋で変わりました そして私たちも物をあげたり 約束をすることで 人をコントロールできるという 彼等の愚かな考えをすべきではありません 私たちは自分自身を コントロールしないといけません そのコントロールはあなたが 自分の頭にコントロールされなければなりません そのコントロールは完全に自由です 例えば飛行機も完璧に作られていたら 飛ぶことができます 同じようにあなたが 完全なサハジャ ヨギなら いかなる問題や状況でも どんな者でも対処できます 西洋には沢山のサハジャヨギがいます 彼等は“エゴが大きくなるので 活動したくありません” エゴの膨らみが大きすぎて 何か活動すればさらに膨らむと考えるのです そうではありません それは愛です あなたは愛のために働いています 愛の大海があなたの内にあります それなしで何ができますか これは全てにおいて作用すべきです あなたの家族であろうと 町であろうと 全世界であろうとです 真実である愛を信じる 新しい世代の人達を創らないといけません 愛なしには真実は持てません 誰かを愛するとき あなたはその人の全てを知るからです 同じように自国を愛するとき その国の全てを知ります しかしまず 愛さないといけません なぜ人は問題を抱えるのでしょうか 自国を愛さないからです 自国を愛するなら あなたの国の 真髓が何でも問題は何か分かります その強い一体感自体が作用します 結局は神聖と繋がっているからです そしてその中で 現代における破壊的な そして問題となるのが 何かを感じるべきです この誕生日のお祝いと 私への優しさに感謝します あなた方は私にとって この花のようです 常に私やあなた方を 喜ばせようとしている この美しい神聖が香る

花のように私の前にいます あなた方自身の価値を理解し 作用させることを願っています 神の祝福がありますように

1996-1110, Diwali Puja

[View online.](#)

Diwali Puja. Lisbon (Portugal), 10 November 1996

今日はマハラクシュミを 崇拜します この国ではマリア崇拜で マハラクシュミが敬われています ご存知のようにマリアの
スワヤンブもあります 彼女が現れたと聞いても 信じられませんでした ですがヴァイブレーションを見たら
本当だと分かりました 彼女は本当に ここに現れたのです 私の前にも現れました あなた方も写真を見ただしょう
あなた方はこの原理によって 今の高みに達しました マハラクシュミの力により 上昇する中道が作られました
そこをクन्दアリニが 昇ります コラプールの マハラクシュミの寺院では ウデ ウデ アンベ と いつも歌います そこでどうして
そのアンベの歌を マハラクシュミの寺院で 歌うのが訊きましたが 何故かわかりませんが 間違っていますかというので
間違いではなく クन्दアリニは マハラクシュミの経路を昇るからです それにクन्दアリニはアンバですからと
それで分かりました それで説明がつくので 驚いていました 古来からこの歌は そこで歌われてきて 誰も何故かは
分からなかったのです マハラクシュミに 関しては このチャンネルで マハラクシュミの力が 上昇のため適切な
バランスの道を作りました 左右の均衡が 取れると彼女は 上昇のための道を広げます これは愛と慈しみの道で それを通して
道を作ります その道が狭いと クन्दアリニが 上昇できないからです 結果人は探究を始め それに伴って マハラクシュミの原理が
覚醒します 時にはとても強く覚醒し 狂った探究になったりもします 残念なことに多くの者が 探究中に 迷ってしまいましたが
上昇への正しい道へ 来たものも多くいます マハラクシュミの もう一つの原理は クन्दアリニの力を困難な
チャクラへと導くことです 困難なチャクラへの道を作り それらを治します 彼女が柔軟にクन्दアリニを導く力
であるというべきでしょう クन्दアリニの助けが どのチャクラに必要なかも知っています クन्दアリニが昇ると
拍動するのを見ただしょう どこに行って何を覚醒する 必要があるか それを示します 彼女の溢れる愛と慈悲によって
全てが機能します あなたが究極の真理に 到達するためです ご存知のように サハジャ ヨガでも多くの問題があります
過去の石を背負いながら 登ろうとして 登れなくなる者が いるからです 試しては失敗し また試して 失敗しと繰り返します
でも今日はどんな意識が 必要か教えましょう シュリクリシュナがギータの第2章で スティタプラギヤを語りますが
理解するのは とても難しいです 彼はマザーほど クリアカットではありません なので人は理解できず 質問します
どうやってスティタ プラギヤになるのですか どうやってそこに行けますか でもガネシュワラは その著書ガネシュワリで
それはサハジャステイティ つまり サハジャの状態だといっています スティタプラギヤとはいわず サハジャステイティ
と呼びました そして美しく精妙に それを述べました もちろんそれすら理解するものは 少ないと思います そこに至ったものは
鏡のようで 多くの顔が通りかかり そこに自らを映し出します 多くの者が 自らを飾りますが 鏡自体は 変わりません
スティタプラギヤ またはサハジャな者とは 直面するものに とらわれません 誰といても どこにいてもです 自分の中に留まり
自身を抱えます 太陽のようです 様々な光線を放ちながらも 自らを失わず その光線は自分に戻ってきます
私たちの感覚も同様で 様々に動き 戯れつつも サハジャ状態の者にとっては 何の影響もなく 巻き込まれず ただ戯れるだけです
そして全てがもう一度彼に帰って いきます 皆さんそうなるべきです それで初めて サハジャヨギですが 未だに道に迷って
サハジャ ヨガで儲けようとする者がいます リーダーシップや 嫉妬や羨望に迷う者もいます まだ内面の仕事がたくさん
残っているということです いわゆる労働は 全てを委ねれば 必要ありません だから常に瞑想しなさい と言うのです 瞑想すれば
あなたを引きずり下ろすものは 全部なくなります あなたが自己になるに従い 徐々に消えていきます 自身に満足し
飽きることがありません 私は飽きることがなく それがどんなことかも分かりません 何かがあってもなくても
飽きることはありません 何を飽きるのでしょうか 巻き込まれていなければ飽きません あとは強欲などの影響を
超越するようになります 欲のある人はまだ 金儲けに拘っています あちこちで稼ごうとしたり 色情で一杯の人も
まだ何かと企んでいます でもサハジャステイティでは ただ観じます ただの観察者で 引きずり降ろされません あなたには
全く難しくはありません もう自分のところを 超えたからです これら全ては ところを通して来ます
ところは幻想だと何ども言いましたが それを受け入れる必要があります ところがあなたにアイデアをくれると
思う人もいます わかりました、でも...という この「でも」はところから来ています 脳が現実で ところではありません
ところで「でも」と言って その後とても落ち込んだりします とても良い人でありながら ヨギが少ないと落ち込んだりします
関係ありません ただ観察しなさい この観ずる状態こそが サハジャステイティです そこであなたは 精妙になり自己になります
何にも乱されず変えられないほど 精妙になります 自然をありのまま見なさい 92のエレメンツがあります そのエレメンツの
どれを取っても 例えば銀は金にならないし 逆もまたそうです 原子の配列には ある原子価が関係し
分子構造にも厳然と法則があり それを変えることはできません 変えようとしたのが 原子爆弾で それは 極めて破壊的です
人間だけが それを変えられます さて人間であるとは 恩恵であり 自らのエレメントを 自己へと変えられるのです これは

人間のみ特別です　でも偽のグルや誰かが　何かを企むなら　あなたは爆発してしまいます　偽のグルについていた人が
今でもフラついたりするのを見ました　他の人に比べ　まだ多くの問題を抱えています　殆どの方は　良くなりましたが
これを理解しなさい　あなたが分析したり　原子や分子を分割したり　変えようとすると　上手くいかずに爆発します
反対に統合すれば　良いのです　すると自然に全てが　形成されます　例えばこのプラスチックは　統合により生成されました
物質は統合により　融合します　人間も　統合されるべきです　変容できる分　モノより統合されやすいはずですが　例えば金などを
アクセサリーにする際　どんな形にもなりますが　金は金であり続けます　宝飾品にしても変わらず
金のエレメントはそのままです　でも人間は統合されると　変容します　これが物質や自然と　人間の違いです　人間は他とは
違っていて　一度変容すると　自然の摂理で　花のようになりますが　それでも自然で見られるのとは　違っています　自然には
ここがないからです　自然の摂理に従って　働いているだけです　ですがあなたは自分の　コントロール下にありますが
こうして自分を　コントロールできます　この統合が　内面で育つと　自分が完全に　コントロール下に入ります　それが
起きているのです　自分を全てと　切り離して見るようになります　マザー　私のエゴがとても悪いから
取ってくださいと頼まれたりします　自分のエゴが問題だと分かるのです　私のナビが悪いという人もいます
まだお金にとらわれています　自分で分かるのです　まずは自分を　分かるようになります　自己認識ですが
それをも超える必要があります　その認識によって　どうするのでしょうか　まず知識のなさに気づきます　人々は無知で
暗闇があります　そこへ光がもたらされると　何が悪いが自分で見えるのです　自分と見えている悪いものを
分けて見ることができます　それが徐々に　なくなるのを見ます　嫉妬や羨望　強欲や色情など　無意味なものが沢山あります
ディワリのお祝いで話すのも　憚られるようなことです　ディワリでは電気が一つずつ　沢山灯されていき　自身の悪いところが
見えるようになって　見れば手放したくなって　そのために努力します　清められたいからです　今はその知識さえ　消えます
何かを知る必要はありません　あなたはもうそこにいるのです　チャクラの知識はもう要りません　もうその段階です
そこでは何も問題ではありません　石のように堅固になり　同時にハートと頭脳　そして意識をしっかり用います　何も気にならず
慌てることなく　愛と慈悲を　ただ楽しめます　するとその余波があなたに　帰ってきます　それすらがしばらくすると　無くなって
あなたはサハジャそのものに　なっています　それをかつて人は　成就しました　しかし不足があったので再び迷いま　した
他者に何もできなかったのです　一人がその境地に達して終わりが　せいぜい二人でした　今サハジャヨガでは皆
まず知識の水準にあります　まずは自身についての　完全な理解が必要です　自己認識が　完成すべきです　そして第三段階で
知識が完成すると　自分で気づいたことを　取り除けるはずですが　無意味であなたの成長を　邪魔するもので
悪いとわかっているものです　私のサリーに埃がつけば　それを取るように　するとサハジャの状態　自分を切り離していき
ますでもサハジャヨガでは　もう一つの次元があります　それは集合意識で　それこそが現代のサハジャヨガです
昔はそれがなかったので　どれも廃れてしまいました　現代では集合意識により　他者を感じるようになります　他者を感じ
他者への慈愛で　働くようになります　そんな中でもどれだけ儲けになるか　考えることがあります
リーダーとして何を達成できるかとか　あれこれはまだあります　でも集合意識が高まると　お伝えしたように
あなたという雫が大海になります　完全な大海となり　大海はそれ自体の節度があります　惑わされず　節度を持った生活をします
一線を越えることなく　その限界を受け入れます　同様にあなたも　自らが満たされて　自己中心的でなく　内面で満たされます
多くのサハジャヨガが　憤っているのを知っています　私が酷い人たちを　罰しないからです　サハジャヨガを　邪魔する者たちを
私は気にしません　パラマチャイタンニヤが　働き者なので　任せましょう　誰かを気にする必要はなく　結局うまくいくのです
なので邪魔をせずに　ただ見るのが私の仕事です　それで十分です　誰かを殺す必要もなく　今生において　彼らは自滅します
誰かを暴露することはないと　伝えました　でも私がどの国を訪れても　人々は暴かれるものです　時に私は逃げます
どんなことが起こるか　神のみが知ると　思います　ちょっとある国に　注意を置くだけで　何かが働き
私自身気づかないこともあります　神よ　いつの間に　そうしてしまったのかしら　だから神の聖なる愛の力に　なるべきです
神の神聖な愛の力を持ちつつ　それを操作せず　聖なる力に任せます　それは私の力の一部で　働いています　驚くでしょう
私は全く一人で　この力も私から出ています　でもこの力は　サハジャヨガや人類に何が良いか　わかっています
それ自身で働くので私は　邪魔しません　反射的に起こります　信じてください　反射です　あなたは言うかも知れませんが　マザー
あなたがもうなさったことに　私は邪魔に入りません　私が何か言う必要もなく　それ自身でとても良く働いています　例えば
イギリスで昔　マザー　長い夏が欲しいです　というので　何でそんなことを頼むの　マザー違うんです　とても長い夏が　必要です
あまりに何回も頼んだので　その年は長く酷い夏になりました　インドのようにエアコンや　ファンもなく　せいぜい
うちわぐらいで　何もないので　私たちは当時小さなギャラリーで　寝起きしていて　どうしたものかと　それでロンドン市内で
ファンを買おうとして　３ヶ月後に入荷しますと　いわれました　３ヶ月　寒くなった頃に手に入るというので　要りません
と断りました　なので娘に２つ空輸して　もらいました　そうやって何とかしたのです　インド人は暑がりです　自国で沢山太陽を
浴びたからです　あなたの方の誰よりも　暑がりです　あなたは日なたに座りますが　それを理解できません
わざわざ日に当たりにいくのは　イギリス人と狂犬くらいだといいます　そんなわけで私たちは　日に当たりません
もう当たりすぎて　いるからです　それでこの夏は酷暑になりました　でも一つ良いこともあって　黄色から赤に徐々に

紅葉が見られました 最高の秋になり あるサハジャヨギは夢で マザーに裏庭にドライブするよう 頼まれたと言いました 皆にそれを 伝えました 私はそんな夢については知りません ですが 彼に電話して言いました ちょっと来れますか 英国中の 秋の紅葉を見に行きたいから それで一緒に ずっとドライブしました それで知ったのです マザー 彼はあなたの裏庭と言っていました 彼は何マイルも 運転していたんですよ カナダのように 美しかった 英国中が秋の 美しさで満たされて だから何かあっても ちゃんと補われるものです それはとても美しく 皆が秋の外出をしていました 美しい自然の色を見て 緑 黄色 黄土色など あらゆる色を楽しみました 驚くことにあの国では 普通は紅葉しないのです ですが夏の太陽のおかげで こちらが補われました パラマチャイタンニヤの働きです 全てはパラマチャイタンニヤで 私は ニシクリヤで何もしません 座って見ているだけです 何も問題はなく 全てがゆっくりと確実に働いています 例えば誰かが マザー あなたに祈ったから こうなりました と そうかも知れませんが 私の周りの存在が聞いたのでしょうか 私ではありません 彼らのしたことですから 私に責任は全くありません 例えばあるメキシコの女性の 息子は酷い病気で亡くなりそうな時に 彼女は 私に3通手紙を書きました 息子がまだ若いのに 亡くなりそうです 彼はハーバードで勉強していますと 私は何もしてませんでした 返事もしてませんでした すると4通目が来て 彼が完全に 治りましたと 私がしたわけではなく 私は1箇所に座っていただけです こうやって働くのです 私が何でもすると 思うでしょうが 私でなく パラマチャイタンニヤです 私はあなたと完全に 全くもって別々でもあるからです 人は祈るように言いますが あなたの祈りは神格達への祈りです 彼らグナ達は私の周りにいて 私に祈るのではありません なぜならそれに何の関係もないからです わかりますか 神格達は私にあれこれ指図しません なので私も指示しません そうなっています そうなって初めて あなたはサハジャの状態であるということができます 何も望まず 何も求めない 私はあらゆることをします 太陽のように行います ある意味私もしています 花や自然を世話したり あなたからプレゼントを受け取ったり でも同時に何も受け取っていません 何も所有せず 何の関心もありません あなたが自分の喜びのため プレゼントしたいのです そうしたいならしなさい 花もいいでしょう 私個人にとっては 何の違いもありません でもマザーとして 私は皆を愛しています でも愛で何かするわけではありません あなたはこう言うかも知れませんが マザーあなたは沢山愛してくれます いつですか？ いつ愛したでしょう キスすらしてないのに でもあなたはいつも 私が沢山愛してくれたと言います 何ででしょう 誰がしているのでしょうか それは私を超えた 私でない何かなのです ここに至って初めて サハジャストゥティなのです そこではあなたは 何もしていないと思います 全てが上手く働いています でもあなたの今の段階では こう言うでしょう 私たちが 何もしていないなら どうしてサハジャヨギを広める 必要があるのでしょうか まだその水準に 達していないからです 成長しなさい 自分や世界を認識する意識になって 初めてそれが可能になります でも知識を超えると 何度もあなたが見たように 私が言うだけでそれが起こります 私は誰かの クンダリー二もチャクラも感じません 全くです でも自然にわかります コンピューターのようにですが 私はそれでもありません 説明するのは 難しいです あなたは実際にそうなる 必要があります そうなれば とても精妙になり そこには恩恵のみがありますが それを楽しむこともありません どう楽しむかも 知りません ジエイマタジと あなたが言っても 自分のことと感じません 私もジエイマタジと 言ったりします とてもシンプルなことで それを理解して そうなるべきです 何もすることなく全てが働きます すでにそうなら良いでしょう まだだとしたら そうなりなさい まずは行動が必要です 知識が第一で すると知識も 必要なくなります でも経験してその段階に 至る必要があります ディワリでは 光をあちこちに灯します サハジャヨギを 広げるように でも光は自分を知っていますか キャンドルは自己意識を持っていますか 皆に光を与えるけれど それを知りません 月も月光を放つけれど 意識していません 楽しむこともありません 同じようにディワリでは あなたたちは確かに 人々に光を与えますが そしてそれは良いことで 行うべきですが 一方でランプのように なりなさい 自分を意識しません なので2つの メッセージがあります 一つは他者や世界に 光をもたらすこと それが一つ 次に何も意識しない 光そのものになることです 昨日皆さんは あなたが光ですと歌 いましたが それはあなたのことです 良いですが 私は光で自分を 意識しないと言いました 自分が光であると 意識すらしない状態です ただ意識せず 頭に入ってこないのです あなたは何度も歌い 名前を唱えますが 私について歌っているという 実感がわきません こういうとあなたが どう反応するかわかりませんが 人間というのは おかしな存在ですから あなたにこんなことを言うと エゴが出てきて 私もそうです なんていうかもしれません そんな人が 沢山いました 私は マタジより上だとか そうなのかもしれません そういう人が多くいました 自分はカルキだとか そういつて回る人がいるようです 良いでしょう そういうことにしておきなさい でも私がアディシャクティである と言う際には 自己意識がないのです そう宣言すべきです と 人は私に言いますが 何を宣言するのでしょうか 何と言おうと私は私なのです 宣言するとあなたがより 成長するようです なのでそれはそれで 良いでしょう でも自ら宣言する 必要はありません ここに到達しなさい そのためには 働くことです サハジャヨギのために働き 多くの光を与えなさい 自分が光だと わかってくるでしょう 他の全てを 啓発することで 精妙な形でわかってきます 私は光である 多くのサハジャヨギが 沢山の仕事をしています サハジャヨギを広め 作用させています 多くの国で起こっていて 素晴らしいことです こんなに広まり 外的な宗教の暗闇を取り除きました 人種差別だとか 一主義とか 暗闇が深かったのです だからこれが必要でした 浄化して そこを泳ぐために 始めれば徐々に

解ってきます 海は浄化されていることを 見てみなさい どう働いているかを 今生でわかってほしいと願っています
他者への完全なリアリゼーションの 仕事を達成します 他者にリアリゼーションを 与えない者は ただプージャに参加している
ような者は凡人です 大した高みには 行けません プージャに来るとは何でしょう 高みに登るためです でもまた落ちます
安定して登るには この状態に入る必要があります 私の生前に間違いなく ただ立っているだけで 平和や光をもたらす
そんな人々が現れます 彼らは光なので外から光は必要なく 自らが光である そんな段階に至るべく あなたの内面の
仕事をしなさい この状態は多くの詩人や聖人達に 詠われました でも彼らは その水準にいたので
人々は何を言っているか理解できず 彼らは狂人だと考えました キリストさえ理解されず 磔にされました あなた達は一つ一つ
ステップを踏んでいます 今はこれがわかり キリストや他の聖人も理解できます でもまだ仕事があります
サハジャヨガの仕事をしないと 上昇できません サハジャヨガのために働きなさい もっと広げ 作用させるのです
互いに兄弟愛を 楽しみなさい 美しい人格が そこにあります その意識に至って 初めて上昇できます
サハジャストゥティの段階です そこではあなたは 完全です でもこれら全てを 取り除きなさい 今日はマハラクシュミの日で
まずは お金の病気を理解し 本当に病気だと理解しなさい 金持ちはお金を持っていません 金持ちに訊くと
お金がないといいます なぜでしょう 貧しい人も お金がないといい 金持ちも お金がないという それは欲は決して満たされず
助けにならないということです こうした些細なことが まずは落ちていくべきです すると働くことで 浄化されます
働きながら自分が浄化されているか 解ってきます 自分がどう働いているかも 見えてきます これが起これば
間違いなくその状態に 至るでしょう 私の生前にあなたの生前にです ディワリの日に伝えたかったのです
どんどん精妙になっていく 必要があり 外の影響を 受けないように 流行だとか 外面的なことです
ファッションに流される人は馬鹿で 盲目のネズミのようです 誰でも彼らを 操作できます ハイ次はこれ 次はこれをしろと
誰かに考えをもらって 追従しようとするなら その考えにより完全に 自分を見失うでしょう
私はクリスチャンとかヒンドゥーとか ムスリムと言い出します でもスピリットになれば とても多くを知るでしょう
大切な知識です これが 聖人と凡人の違いです あなたは徐々に そこを渡りました 今やあなたは 人間の問題を理解し
どう対処するかも わかっています サハジャヨガによって 集合意識が 現代に もたらされました これは聖人も 持っていました
でもそれを口にしませんし そんなそぶりも見せません よろしいこの人は このチャクラ 地獄に行かせなさい 構いませんと
世話をしません 気にしないのです 彼らは その状態で座り 記録しているだけです よろしいでしょう 鏡に映るのが醜い人でも
美しい人でも構いません そのように彼らは人々を 通り過ぎさせましたが 私たちはまだ成長する 必要があります
私たちは作用させることで成長し それを方々でしている者こそが その水準に達した者たちです
そして彼らにはパラマチャイタンニヤ が隷属するでしょう 何かを望めば自然と 手に入る人を見ました 何かが必要なら
作用します ならば何を望むかが ポイントです リアリゼーションの後 全てを得て後 何を望むかといえば信念です
自己に対する信念です あなたはスピリットであり 光であり 啓発を与えるべきだと この信念が自分が
思った以上に深まっていくと 私は スピリットであると あなたがスピリットであるなら 全ての自然があなたの内にある
私はあるサハジャヨギを知っています 彼は漁師でした サハジャヨガの仕事をしていた 私に強い信念を持っていました
サハジャヨガの仕事のために 別の村に行く際に 小屋から出ると 空が暗く曇ってきました 彼は空に向かって いいかい
これからマザーの仕事に行くので 雨を降らさないようにと そのままで私が仕事を終えるまで いるんだぞ わかったかいと
彼はボートで 向かっていったからです 他のヨギたちは 何を言っているんだと 皆がボートに乗り込み 現地について
リアリゼーションを与え 講義をし 全て終えて 岸に着いて 帰宅して 彼は 玄関のドアを閉め はいもういいよ
どうぞと言いました 本当に雨は降りませんでした なのでパラマチャイタンニヤがあなた のために働くという完全な信念です
常にあなたに仕えるために 待機しています 何でもいえば 起こります そのためにはまず 自己に信念を持つことです
あなたはサハジャヨギである との信念です 今でも人々は 色情などの 醜いもの を 持っているようです まずはダルマにおいて
確立し ダルマとはご存知のように 正道の意で その正道に沿っていれば必ずパラマ チャイタンニヤはあなたに従います
でも例えば何かを欲しても その通りにならない時 がっかりすることすら あまり良くありません 落胆は 未熟さのしるしです
何をがっかりすると いうのでしょうか それはあなたの為 なのかもしれない 例えば私がある道を選んで 道に迷うとして
どこに行くか分からなくなります 迷いましたがそれが何でしょう どこにしようと私はいるのです
自分を見失うことはありません するとそこに来るべきだったと わかるのです ちょうど会いたかった
誰かに会うためだったりします 考えらえるでしょうか そんなことが起こるのです 仮に誰にも会わなくても
何だというのでしょうか そちらに行くべきだったのは バイブレーションのためかもしれない ということです どこに行こうと
完全な信念を 持つことです 実際完全な権威が 与えられます サンンスクリットで サツタと言いますが 真理を意味し
それが権威を与えます もう一つは グルに対する信念です グルに信念を持つなら パラマ チャイタンニヤが親切にしてくれます
とても助けになります 疑うなら あなたもパラマチャイタンニヤに 疑われます パラマチャイタンニヤはグルを介して
あなたを知るからです 私でも別の真のグルでも 同じですが 私に対しては 私が許すので 皆甘えてしまいます 他には
叩くグルもいます ちゃんとしないなら 恐ろしいことをするでしょう すでに多くのグルの 話をしました 良いグルたちが

どう弟子を扱うか でも私は許します 何も言いません 放っておきます 放っておかれて 初めて 立ち上がりこの段階へと成長するからです でも 反対になることもあり 許されても当たり前と 受け止め 何をしてもいいのだと 考えてしまいます だから自分への信念とは 自分を見る忍耐です 何があっても がっかりしないことです 今では沢山ガリアリゼーションを得て 聖人が沢山います 昨日はフランス人が 上手に歌えて驚きました 初めてハーモニアムで 教えた時は 30分かけても ダメでした そのフランス人が こんなにクリエイティブに なりました あなたの能力が向上して 現れてきます でもエゴに 行かないように 徐々に開花して 香りを周りにもたすでしょう そして彼らもサハジャヨガにきます その時が本当の神の恩恵で あなたが完全の 水準に達します プルナットヴァ 完全性です 自分で判断しなさい 完全にサハジャと一つですか サハジャに献身していますか それともサハジャヨガより 大切なものがありますかありますか ならどうぞご自由に サハジャヨガには競争はないと はっきりと理解すべきです ありえませんが 競争はありません 羨望も陰口もありません 皆違って聖人です スタイルも違うし 全く超越しています 嘘をついたり 人を騙したりもできません 未だにしているなら まだ成長する必要があると どうか理解してください 影響力の大きいものは サハジャヨガで上位にいと 考えますが そうではありません 何を考えるかでは 道を誤ってしまいます 何をしたかを 理解すべきなのです 何人にリアリゼーションを与えたか 何人にそれを 話したか みなシャイでサハジャヨガについて 話したがりません ある女性が私と同乗しましたが とても熱い人でした この人は誰ですかと聞いたら私の グルはああでこうでと話し始めました この人から熱が出ていて 話し続けるばかりです でもサハジャヨギは サハジャヨガについて話したがりません 恥ずかしがって 百人友達と会っても サハジャヨガについて話しません 恥ずかしがります パーティーに出席して 飲み会の席では 自分は飲みませんとは言いますが サハジャヨギだとは言いません 飲めないクチなんですと それだけです これが第3のポイントで アナウンスです 自信を持って アナウンスしなさい 聖人は皆します それで殺されたりもしました ソクラテスは毒を盛られました 構いません 現代では誰もあなたを殺しません 生存の権利があります 誰も殺せません 信じてください アナウンスしなさい サハジャヨガに対する 完全な信念と理解で持っています どれほど大切なことが 目的は世界を 変えることです あなたが変われば 世界中が変わります とても複雑な機構で サハジャヨガは 作用します 先日マイクが 壊れました 私の講義中でした でもその後も皆が 聞こえていました 何が起きたのかわかりません エーテルを通したのでしょうか 壊れたことすら 気づきませんでした 皆がちゃんと 聞いていたからです 後で後半はマイクなし だったと告げられました でも皆が完全に 聞こえていたのです いいですか 何か不思議で 素晴らしいことがあるのです 何かが起こりつつあり 我々が向かっているのは 神の王国なのです あらゆる恩恵が 降り注ぐでしょう 恩恵と知識 全てが一つの恵みになり その恩恵の状態に 気づかずしているのです 最高の恩恵は 何も気づかないことです ただそうなります 皆がそうなれると 良いです ポルトガルでの このディワリで ここはマリアが 出現した特別な地で スワヤンブもあり マハラクシュミの顔もあって 皆に作用するでしょう 少々精妙な状態について 話していますが あなたの成長のため 必要なことです あなたにとっては 容易いことです 何もせずとも 徐々に その村に入ってきた 全てがそこにはあるでしょう カイロに行ったのですが 皆が私に 挨拶するのです どうしたのかと 思ったら レニングラードの プログラムに来たと どうしてきたのですか というと もちろんお顔です と 小さな新聞記事を見たのです 見るからに聖者です そうなれば アナウンスもできます サハジャヨガは 唯一の道だと 何の害もありません そしてあなたの愛する人たち 彼らは成仏 できるのでしょうか 自分ができたのなら 皆も助けるべきです 彼らは探していないかもしれませんが 構いません もう探究者は 残っていないと思います そうであるなら 探究していない人をも 助けるべきでしょう 神の恩恵がありますように

1997-0504, Sahasrara Puja, At Sahasrara you stand on Truth and go beyond Dharma

View [online](#).

Sahasrara Puja, "At Sahasrara you stand on Truth and go beyond Dharma". Cabella Ligure (Italy), 4 May 1997.

今日はサハスララの崇拝に 集まりました ご存知の通りサハスララは サトルシステムで 重要な部分です 1970年にこのチャクラが開かれ 私たちは何を 達成したのでしょうか まずクンダリーニが上がり ヴォイドでダルマを確立します ナビチャクラとその周辺で ダルマが確立され 内なる純粋な宗教が 確立します さらにクンダリーニが上昇するとダルマの確立にも関わらず おかしな世間と距離を とり始めます キャッチや不道徳を 恐れるのでしょうか その段階ではサハジャヨガの プログラムにでたり 私生活も全てサハジャにしたいくなります これは大切なことで このチャクラが完全に滋養される必要があるからです ナビの周りをスワディスタンが 回転していますが 脳にエネルギーを与える 大切な役割がありダルマの確立時に クンダリーニを通して ダルマやサハスララに エネルギーを送り スワディスタンの力も流れサハスララに上ります それまでは 完全なサハジャ ヨギではなく サハジャヨガがぶれだったりします サハジャヨギ以外の人に会うのを 怖がる狂信的な人もいました サハジャ ヨギ以外の人を 恐れ嫌がったりします もちろんサハジャヨガを 批判したり邪魔したりする 悪人とあう必要はありませんが 真理を求める人に会うのは 私達の義務ですダルマを超えた意識が脳で 確立されるとダルマティトゥとなり ダルマが自分の一部になり サハジャ ダルマが 内面化しますそれはすばらしく もう儀礼も必要なくなり 他者を気にする必要も キャッチしないので ヴァイブレーションを気にすることもなくなります 誰にも乱されなくなります これはシャッダの完成形です サハスララが完全に啓発されあなたはダルマとなります キリストの例では 娼婦が投石されていると 売春とは正反対のキリストが その際石を握り言います全く罪を犯していないものは 私に石をなげなさい 皆驚きました 娼婦の方を持つのかと 彼は宗教的な人なのにと彼は真理に立脚していました あなたもそうなります サハスララにおいては 真理に立ちます ダルマと真理では 少し違いダルマの人は過剰に 理不尽なまでに道徳的になり ライトやレフトにいつてしまい 優越感を持ったり 他者をなぜ助けなければならないのか 地獄に行かればよい と思ったりします サハジャ ヨガで新しい技法を始めたり人に指示を与える人を見ました 彼らはダルマに とらわれないので これがよいとかあれが 良いと言いつししますが真理に到達すると 儀式は必要なくなります ダルマと真理に立脚しているので 気にしません 真理はダルマより高次です真理に立つ者は 宗教やサハジャについて おかしな考えを 気にしたりしません これはサハジャだとかサハジャでないとかを超えます 自身に普遍的な真理を見ます そして見るだけでなく知ります 自分がそこにいることを知っています そこにダルマの花が咲けば とても美しく 皆が体験すべきです ダルマだけでは まだ取れない要素が多く人がエゴや金欲に 走るのを見てきました 私に無断ですべきでないことを 始めたりします それはサハジャ ヨガには良くありません 謙虚さが欠けていて 真理が真理でないかが 分からないのです ダルマの基礎である 真理に立ち返るべきで生命の樹は 脳に根差していて 身体が枝葉です 何事も根本が大切で そこでサハスララが 完全に確立されます サハスララが全ての形の根本です ダルマを達成したとして なにがその根本でしょう なぜダルマを守る 必要があるのでしょうか 守ってなくても 豊かな人が沢山います 外面的には 彼らは楽しくやっています 私たちには それがないように見えますダルマの意識においては 真理とは関係ないことが 大切に見えたりするのです このように ダルマの意識を達成しても サハジャヨギが 躓く点は多くあります 酒やドラッグなど依存から抜けだしても 語学が堪能になっても行いが良くなって謙虚になっても まだ自分が道徳的だと 意識しています それは消えるべきです サハスララではこの意識がなくなります 真理が愛で 愛が真理だからです ここでクンダリーニが ハートと出会います ハートのピタはここですクンダリーニがハートを貫くと 脳に真理が流れます 愛が流れます 真理そのものと愛としての真理は 違うものですキリストは娼婦の側に立った時 真理に立っていました 彼の胸には 純粋な愛が流れていました 誰かに大して純粋な愛があれば 全てを別の角度から捉え その人を違う角度で見て とても優しくなります でないと真理は とても苦く痛くもあります でも愛が伴えば 棘のない花になります 真理に立ちつつ 愛を与えるようなそんな人格になるべきです 愛を表現するにあたり こんな例があります 私が誰かに会ったら その人が他人の悪口ばかりだったとします すると私はその人と悪口を言っている 人の両方に強い愛を感じます なので完全な嘘を言いますですがある意味それも真理です あなたが悪口を言っている人は いつもあなたを褒めているのにそんなことばかり言うのですか もちろん 真実ではありませんが 友達関係を修復する という意味で 真理ですこれが愛の働きです 人を近づけ一つにします 差別的なやり方は消え 人心を一つにするための 方法は何かを分かろうとしますあなたが集合意識にあるように それも表面的には アシラムを建てたり いろいろと 結果には結びつくものの愛に満たされてはじめて 集合意識も完全なものとなります 人は平和を語りますが 集合意識なしには無理です そこにも愛の原理が必要です 例えばドイツのヨギが イスラエルに行くとします このプージャにもイスラエルのヨギが 選ばれ

とても嬉しく思います　さらにイスラエル人が　ムスリムにされたことを　忘れてエジプトにいくとします
こうして愛の表現に惹かれていくのは　驚くべきことです　サハジャヨギの仲間に対しての愛　それが育ちだすと
そうして世界を変えられることに　驚くでしょう　人間の問題はほとんど　憎しみによるものです　誰かを憎むのは罪です
罪や悪を憎むべきで　憎しみのための憎しみでは　いけません　それがあらゆる問題を　起こしてきました
権力のために差別することで　多くの国が破壊されました　私の国もイギリスにより　分断されました　これは止まりません
それにより　インドを去った国々は　皆大変苦しんでいます　国を分割しようとした人は　自分が首相になれるとか　考えましたが
殆ど暗殺され　憎しみがいかに現れるかが　よく分かります　些細な事がそこら中に広がるのです　どの国でも分裂が見られます
分ける必要は全くありません　それは憎しみと問題を生みます　サハジャヨギでも分裂を　考えてはいけません
先日ガンジスの畔に美しい　土地を得ましたが　皆別々の家や部屋を　欲しがるのです　なぜでしょう
共同生活の楽しさをしているのに　別々の家を欲しがるのはなぜですか　どんな秘密があるのですか
結局ヴァイブレーションで　全てバレルのに　ならどうして別の家や　プライバシーが必要でしょう　サハジャ　ヨギでは
プライバシーはありません　皆がお互いを知っています　何をしていた何が問題か　どのチャクラがキャッチしているか
そこでプライバシーは必要ありません　理解できません　まだ計算が働いていて　彼らは相続を　気にしているのです
相続して良いといいました　でも息子がサハジャ　ヨギに　ならなかったら　どうしようもありません　ルールや決まりでは人は
結びついて幸せになれず　純粋な集合意識と愛が必要です　私たちには組織も　聖職者もいません
リーダーもしょっちゅう変わります　足場の悪い砂上にいる上に　マザーは　あらゆるトリックを使います　あなたに岩の上に
立って欲しいからです　美しい聖なる愛と　歓びを放つ岩です　例えば特にインド人は　個別の浴室を欲しがります
それが急にイギリス人のようになり　逆もあるのです　なぜかインド人は　個別の浴室を欲しがります
よくあるインド人の病気です　時にそれが人を離してしまいます　コレクティブの生活では　必要ありません
浴室があるとかないとか　私は意識すらしません　そこに行って帰ってくるだけです　同様にあなたも
海のような社会の概念を持ちなさい　波と同時に上下する　愛のユニゾンです　私はヒマラヤの麓に　そんな社会を期待します
皆ヒマラヤがサハスララであると　やがて解るでしょう　サハスララ　プージャの前に　できたのはヒマラヤの恩恵です
ヒマラヤはクンダリニが昇り　ヴァイブレーションが空に出て行く　サハスララのように　ヴァイブレーションが空に見えます
同時に憤怒するシヴァの領域で　危険もあります　とても気をつける必要があります　憎しみや分裂など　サハジャでないもの
分裂を選ぶなら　憤怒する神がそこに座しています　メッカにもシヴァはおり　無作法をすれば怒ります
シヴァはどこにでもいるので　常に気をつけるべきです　マハラシュトラでは　違うタイプの　サハジャ　ヨギが始まり　シュリ
ガネーシャのお祝いの日に　酒を飲んでいると　シヴァの怒りが大きな地震を　起こしました　多くが亡くなりましたが　サハジャ
ヨギは全員助かりました　大きな火事が先日もありましたが　あなた方は守られて無傷でした　常に守られています　だから
シヴァの怒りが及びませんでした　あなた方が　守護の下にいたからです　この守護は母の愛に他なりません　とても強くあなたを
守り　助けています　同じ愛を他者に向けなさい　サハジャ　ヨギにも他人や別の　母なる大地などにです
あなたの愛が自分だけでなく　他者も助けます　自分のことばかりだと　あなたの意識はどんどん小さくなり
あれこれ欲しがります　これが好き　と言わないように　私は自分が何が好きか　わかりません　あれこれ好き嫌いをいう
あなたは何様でしょう　純粋なスピリットなら愛だけです　愛において他者を思います　他者を心地よくさせ　世話をしようとして
自分だけにはなりません　そんな境地に至りなさい　あなたが道徳的でダルマがあり　全てにおいてサハジャヨギであっても
サハスララのその状態になるまでは　まだ大丈夫とは言えません　やり遂げなさい　それにはもちろん瞑想が大事で
考えがあれこれ邪魔をします　自分の心を見続けなさい　どこにあなたを連れて行くか　何を吹きこもうとするか　自分の家は
子どもは　国はどうかと　そうやって私の私の...と言ううちに　道に迷ってしまいます　カビーラが美しく言ったように
山羊はメエメエと鳴きますが　それは私は　私は...と聞こえます　しかし山羊が死んで　その腸が綿花を洗うのに　使われる時
トゥーヒ　トゥーヒと音がします　“貴方こそがその方です”という言葉です　それが響き渡っていると
だから同じようにあなた方も　他者の視点から　考えるべきです　そもそもトゥーヒとは　グルや神で　貴方こそがその方で
自分は何者でもない　自ら愛の大海と一体になり　貴方こそがその方ですと唱える　それがサハジャの文化です　表では愛を伝え
裏では悪い企みをする　そういったことは　サハジャ　ヨギはしませんし　その境地に達しましたが　まだ意識はしています
常にこれをしないように　酒を飲まないとかグルメでないとか　自分の境地を誇っています　とても自慢気です
自分たちはこうですと　純粋なスピリットだと言いますが　実際そうなりなさい　自分が実際にそうになると人は
自慢しないものです　アディシャクティであることを　誇りに感じますが　と訊かれましたが　自分がそうであるなら誇る
必要があるのでしょうか　自分がそうでなければ　誇りに思うかもしれませんが　太陽は太陽であり　自らを誇りません
あなたも自分が人間であると　誇ったりしません　人間であると誇りますか　同じことで　自分であることは意識しません
自分はアディシャクティだとか　意識しません　それが事実ですから　神がそう選んだならそれまでです　それでよいでしょう
でもある人びとは　サハジャ　ヨギがまるで　貴族のような特権階級と感じます　自分がそうなったなら
ただそうであると理解しなさい　石が金に変わったなら　それをわざわざ誇らないはずですが　なぜ誇るのですか　同じように

自分はサハジャ ヨギだと 意識しなくなります 気をつけて下さい サハジャ ヨギだから 何だというのでしょうか 偉いわけではありません 自分に鼻があると誇る人はいません もうあるのだから 誇るものでもありません とても大切なことで 自意識はなくなると理解しなさい 全体の一部 大海の一滴だと 自他の境界を意識しないことです このような意識が育つべきで 喜びに満たされると 愛に満たされると それを見たり表現するだけです 話しても話さずとも 微笑むとも微笑まずとも 胸にあるのは歓びです このハートチャクラのピタが 真理の光で満たされます 真理とはいわゆる馬鹿げた 真実ではありません 誰かが“真理とは何か” ときくので “真理を語り 人を喜ばせることだ” と教えました サッチャンヴァデーツ プリヤンヴァデーツ それをどうやるかといえば 真理とは味の良いもので 人が好み 間違った人でも引き寄せると クリシュナは サッチャンヴァデーツ ヒタンヴァデーツ プリヤンヴァデーツ といって 真実を語るが 歓迎される真理を語れ それはスピリットを滋養し 善をもたらし真理である そしてプリヤであれ つまり人がはじめは ひどいことを言われたと思っても 後には言ってくれて良かったと それによって欠点が補われた と思うような真理 でもくれぐれも人を 不快にしないように あなたは人を正す役割はありません まずサハジャ ヨギはこのチャクラがキャッチしている あのチャクラがキャッチしていると いつも工ゴでたわむれていますが 人を責める権利はあなたにはありません 自分が責められてきたのに どうして同じことを人にするのですか ただサハジャ ヨギにおいて あなたが十分に成熟したなら 愛をもってそれに 挑戦するでしょう でもそれもやり続けないことです だれかの短所を指摘し続けることは 嫌なことを避ける言い訳です 例えば誰かが病気で医者がお手上げだと 医者はどうするでしょう 例えば寒い中外出したからだと そうやって説明します でも治療の方はどうなるのでしょうか いや あなたがこうしたのが 良くなかったと そうやって過去の 間違いばかりを責めます 私達も同じです 何でこんなことをしたのか あんなグルにいったのか だから今こうなっていると そう責めずに治療しなさい もちろん責めたり批判せず 訊ねることはできます でも間違いを 責める必要はありません これは優越感によるもので 自分が何でも知っていると 思っているのです あなたは現に知識に富む グノスティクスですが その自意識があるうちは違います それが消えて初めて サハジャ ヨギになります このサハスララの発達を あなた方皆に期待します 世界について考え サハジャ ヨギや シーカーのことだけでなく 他にも目を向けなさい 多くの問題と仕事があります 例えばインドには貧困があります 私はそのために何かしようと思ひます あなたの国にもあります 問題を見つけ 運動を起こしなさい できるだけ助けようとしなさい それは賞や名誉のためでも 改宗目的の宣教でもなく 自分の歓びのためにするのです それは歓びなのです そうやってキャッチを恐れることなく 社会に出ていきなさい ある夫婦は 社会に働きかければという工ゴが出てくるのが怖いのですと そういう人は他でもなく 自分を恐れているのです これら無意味な考えは捨てて 恐れのない意識に入りなさい あなたにはその力があります そのための特別な 力が与えられています でもその力を使わなければ ランプは光らなければどうでしょう 置物ですか 使うのです 意識すること無く 自分が偉大であるとか 優れているとか 選ばれていると意識せずに するとたちまち 慈愛と理解が広まります ありとあらゆる愚か者がいますが あなたは解っています 笑ってからかいつつ 問題を解決するので そこでも人を傷つけないように 何をするにしても 上手く行ったか結果を見なさい ある人はより優れた類の 知性を持っています その知性でどう話すか どう人に関わるのかを知ります この聖なる愛であなたは自分を 完全に律せられるようになります どう振る舞い 話し 人を扱うか 人間の最大の 欠点はなんでしょう クリシュナによれば それは怒りで 私にとっては嫉妬です どんなものであれ嫉妬は アクのように出るものです サハジャ ヨギでも 人は嫉妬したとえ表に出さずとも 人間関係において 問題を生みます 自分の心を見ることです 嫉妬がないかどうか 時々私は心配になります 誰かにプレゼントすると 嫉妬を生んでしまうので しないほうが良かったと感じます マザーが忘れたか 足りなかったかもしれない だから良いのです でもサハジャ ヨギでは皆とても過敏です 例えば 私が 誰か特定の人に会うと もう終わりです 別の人がその人に嫉妬します 時々悩まされます 皆が何故か“マザー私に会って下さい” とせがむのです 私はどこにでもいるというのに 私と話す必要がありますか 私はあなただけのために いるのではありません 皆のためにいるのです 自分に特権があると思う人もいて 私と個人的に会わないと 気を悪くします これらはあなたが大海となれば 全てなくなります どこにこうと気にせず ただ大海と一体です 上下に波で揺れるだけです これは愛の生きた大海です 見せびらかさず 支配せずに 育みなさい 全てが自分の中にあります ヒンディではアブネメといい 自己の内にあり 最高の楽しみです 自分が何か欲するなら 努力してそれを得ますが それが自分の中にあるなら 自分で完全に満たされます それより大事なことがありますか ありません 完全に満たされ ただ分かち合いたいと思う それがサハスララの理想で やがて世界がこの境地に達するでしょう そのサハスララが開くべきです それが私達の仕事で 浮世離れして瞑想にふけるだけでは 途絶えてしまいます そうではなく それはあなたが 自身が育つための瞑想です 素晴らしい場所かもしれませんが どうか自分の価値を分かって下さい この時代生まれ リアリゼーションを得たのは 世界の解放 人類の変容のためです 世界を神に導くためです あなた方は そのためにいるのです 神の恩恵がありますように！

1997-0525, Adi Shakti Puja, Respect the Mother Earth

View [online](#).

Adi Shakti Puja. Cabella Ligure (Italy), 25 May 1997.

今日はアディ シャクティの プーजाを行います この力がサダシヴァのもので あることは分かりにくいので 難しいトピックです サダシヴァは全能の神で 彼女はその息吹であり その欲求であり 力の全てで 彼女の力なしにはサダシヴァも 何もできないと言われていました このことは多くの著者によって 様々に述べられています でも 創造の起源については 最低7回講義が必要ですので 触れる必要はないでしょう 今回は アディ シャクティが地球に作用する 部分についてお話しします まず興味深いことに 地球の内部に クンダリーニが作られ 地球から シュリ ガネーシャが作られます なので地球が 私達には大切ですなのに私達は どうやって母なる地球を そして自分自身を 敬うかを知りません アディ シャクティはあなたの方の中に クンダリーニとして現れています それがアディ シャクティの反映です また ご存知のように 地球上の様々な国や 地方 都市が 母なる地球のチャクラを 表現しています まずは 人類の誕生のため 聖なる母である 地球を創ることが必要でした なので まず クンダリーニは 地球に反映したのです クンダリーニとは アディ シャクティの一部で 彼女の純粋な望みといえます アディ シャクティは サダシヴァの望みの全てであり アディ クンダリーニは アディ シャクティの望みの全てです それがまずは 母なる地球 大地の中に現れます クンダリーニは地中に及び 地球内部を冷やした後 地表に現れて チャクラを構成します なのでヴィラータ 母なる地球 そして人間の間には 大きな類似があります すべてがアディ クンダリーニの 反映であれば 密接に繋がりがあはるはずで 人間は母なる地球との固い 結びつきに気づいていません クンダリーニは地球の各地の センターを作りつつ通過していき 最後はカイラス山から 抜けていきます 皆さん行った事があるか 知りませんが カイラス山からは強大な ヴァイブレーションが流れ出ています 母なる地球を侮辱することは アディ シャクティを 侮辱することです 母なる地球を敬うには 多くの仕方があります インドでは 一日の始まりに 起き上がり 大地に足を置いたら “ああ 母なる地球よ” “どうか足で踏みつけることを お許し下さい”といえます 大地の動きは全て アディ シャクティの反映である クンダリーニによって コントロールされています 重力も地球の クンダリーニの現れです 私達が苦しむのは この美しい惑星を 敬わないからです 地球を敬うとは どのような意味でしょう？ それは地上と海 エレメンツの全ての 創造を敬うということです 今日 汚染などの 多くの問題がいわれますが エレメンツの重要性と それに助けられていることを 人々が理解しないからです 母なる大地を敬うため 家を耐えてる時に プミ プーजाをします でないと地震が 起こったりするからです つまり母なる大地には 意識があつて動くということです 人間には 理解できないような動きをします ナグプールという ところのお祭りで シュリ ガネーシャの像を 海に捧げようと 皆が歌い 踊っていました 後に皆 飲酒し始めたのですが それを 母なる大地は嫌います 酔うとふらついて 地面に倒れたりします 飲酒により 大きな地震が起こり 人々は母なる大地に 飲み込まれてしまいました サハジャ ヨガのセンターは 地割れに囲まれましたが 一人として 犠牲になりませんでした 母なる大地は サハジャ ヨギを救ったということです 聖なる存在を 彼女は理解します 誰が聖者で 聖者の足がわかるからです そういう事が何度もありました モーゼが海を渡ろうとすると 陸が盛り上がり道ができたように もしユダヤ人だったら 起こらなかったでしょう モーゼの聖なる性質のために 大地が助けたのです 同じように ラーマがランカに渡る際 大地が隆起し 橋渡しされた事がありました なので 災難にあつても 大地に悪態をつくべきではありません 聖なる人であれば 常に大地に守られるでしょう 常に必要な物は 与えられるでしょう 些細な事にも それはあつて 例えばカベラでは バラがとても大きく育ちます 他に見られないほど 大きいものです ブラティスタンでは ひまわりがとても大きく 持ちあげられないほど育ちます これらがある特定の場所で起こる というのはどうしてでしょう 母なる地球が 知っているということで 誰が彼女の背中を 地表を歩いているか ヴァイブレーションがわかるのです 特定の場所でも 聖なる場所が存在します どうやってそれらの聖なる場所が 分かったのでしょうか 磁力によってです 驚くことに 私がいたオクステッドでは 磁力が交差していました 以前から交差していて そこに引越したのです 母なる地球は 聖人に便宜をはかるのです 大地があなたを導くことは とても面白いことです 母なる地球が理解を示し 愛を持って聖者を守ろうとする そういったことが多くあります 私達はその価値を分かっています 同じように 雨が適切に降ったり 大気が 月や太陽 全てが 聖者のために 美しく働くことを知りなさい 聖者が座っていることを 知っています 純粋な人がわかり 命の精髓であり 守られるべきであると 知っています 一方 役に立たない人を守ることはありません 例えばハッジに行き 多くの者が亡くなったことがありました アマナスに行き亡くなりました 聖者でなく ただの儀式的な人で 母なる大地には 無益だったからです でも そこから誰も 学ぼうとしません アマナスで 沢山の人が亡くなった後 パキスタン人は “アマナスは悪い場所だから 行かないほうがいいんだ” と言い “そこは聖地ではないということだ” と言いました しかし ハッジによって 多数が亡くなったことを 説明する術を

知らなかったのです　これらの人々は　ハッジにいつも行っていたからです　かつては32000人も　死傷者がでました
そういうことなのです　そこは確かに聖地ですが　そうであっても　その地を訪れることが　スピリチュアルな上昇を
意味しないということです　聖地を訪れることは　何も成したことはなりません　一方　聖地に疑義を　呈することはできません
私はチンドワラで生まれましたが　メッカと同様　北回歸線上に位置しています　どうしてでしょう　メッカとは何でしょう
マケシュワラシヴァの意で　シヴァのことです　なぜムハンマドが石を　崇拝するように言うのでしょうか　偶像崇拝に反対で
石を信じてはいなかたのに　なぜあの黒い石を　崇拝するように言ったのでしょうか　皆がそこを　訪れる必要があります
何故でしょう　それがスワヤンブーで　ヴァイブレーションがあるからです　だからです　それでムスリム達が狂ったように
訪れています　それで成長した人を　見たことはありません　それは単なる儀式で　そこに行きさえすれば
死後にメッカを訪れたと　証明書を神に見せようというのです　教皇がかつて　真のクリスチャンであることの
証明書を与えたように　このように　全ての儀式が始まりましたが　現実には内面にあります　現実には本物の人たちの為で
偽物の為ではありません　ですが　この儀式主義が　高まりすぎました　インドには沢山のクンダリーニ
由来のスワヤンブーがありますが　これもまた　崇拝されています　ほとんど行きましたが　驚くことにそのプジャリ達は皆
何らかの重病を患っていました　例えば麻痺がある者です　“私達はスワヤンブーや　神に奉仕しているのに”
“なぜ病気になるのでしょうか”　と相談されました　“金儲けしているからです　神の名において金儲けはいけません”
“神に奉仕したくないなら　去りなさい”　“でなければ儲けることをやめなさい”　と言いました　金儲けをしている人が
麻痺を患うのはよく見かけることです　これはとても深い理解で　エレメンツや大地の全てが　持っている理解力です
彼らのクンダリーニが　あなたのようではなく　エゴやスーパーエゴなど　無意味なもので　敏感さがなく　現実を示さないからです
あなたのスピリチュアリティは　注意深く鋭敏で　感じたことをたちまち　説明できるべきなのに　そうでないのが問題です
なぜ敏感でないのでしょうか　反対に　他人を気にして　“あなたのここがキャッチしている”　と言い出したりします
本当はそう言っている本人が　キャッチしています　アディ　シャクティの　反映であるなら　曇り一つなく　純粹であるべきで
白いサリーに黒いインクがつけば　目立ってしまいます　あなたは純白で　自他共になんの汚点も
みられないようでないといけません　純粹な知性とハートで　その高みに　達する事ができれば　何かを操作する必要は
全くなくなります　母なる地球のように　全てが自然です　彼女はなにかを　操作するのでしょうか　どれほど彼女が　自発的かみなさい
大地に種を植えると　いかに芽吹くか　その自発性を　私達は疑問に思いません　多様な花を見ても　色々な香りも　林も木々も
いかにバランスよく　各地で育つか　分子や原子の一つ一つまで　大地においては意味があります　この身近な母なる大地こそが
アディ　シャクティの反映の　最たるもののなのです　なので　まず　大地を崇拝すべきです　あなた達がこうやって
大地に座るのは好ましいことです　瞑想時に大地に座るのは　とても良いですし　あいにく私も同じですが　吸収力があるので
あなたの問題事を　簡単に取り除いてくれます　例えば大地に　座れないのであれば　石や大理石などの
自然なものに座るとよいでしょう　でも　プラスチックに座り　瞑想しても　どれほど効果があるか　分かりません　問題をよく
吸収してくれるので　自然なものを　使うように言うのです　他には身体や知的なラインで　理解する人があります
知的にはどうなるかという　議論と説明が　延々と続いて終わりません　それで実際頭痛持ちに　なったりするのです
あなたが自発的であれば　相手が何を伝えようとしているか　たちまち理解できます　大して考えなくとも
相手の考えを吸収できたりします　吸収とは悪いものをもらうのではなく　選り分けるということです　相手の言うこと聞いて
選り分けるのです　問題は私が　あなた方全員を　自分の体に取り込むと　決めたことです　危険なことだと　解っていますが
今日における私の使命なので　そうしました　なのであなたの問題が全て　私に行きました　海に入ると　あなたは浄化されますが
それを吸収する　海の方はどうなのでしょう　海はあなたの厄介な問題事を　抱え続けることになります　なのであなた方が
自分で浄化するのが一番なのです　内省を通した浄化が大切です　それは考えることではありません　内省とは瞑想であり
皆が瞑想をすることです　リーダーたちのミーティングで　皆が客間に座った時ですが　皆が集まった途端に
私は腹部に深刻な痛みを感じ　ひどい下痢をしました　誰が問題を抱えているか　知りません　誰が持ち込んだのかも　知りません
でも母として　私はあなた方が元気で純化されれば　何も気になりません　大地が養うように　私はあなたの世話をします
大地が愛するように私も　あなたが善かれ悪しかれ愛しますが　それは問題ではありません　良いサハジャ　ヨギで
あろうとするなら　見栄や義務でなく　思考や議論　他人の批判でなく　あなたが一日10分でも瞑想すれば
私は最高に健康になるでしょう　あなたの注射を受けたせいで　私の健康が無意味に害されるからです
私の負うリスクが分かれば　マザーが苦しまないようにする　分別があるに違いありません　時に連日の磔刑のようで
なんと言うべきか分かりません　例えば先日デリーでのこと　あるリーダーの男性が　私に会いに来た時に　私の足がこう動き始め
痛み出しました　出て行くよう　言うわけにも行きません　彼を傷つけないで　彼を傷つけないで　“どうしたんですか
一体どこに行っていたの”　彼は理解してそこを去り　その後良くなりました　問題を沢山抱えている人が　私に近づくと
意識に入ってくるので　私が影響されることになるのです　なぜサハジャ　ヨギにいるのか　というシンプルな問いがあります
それは上昇のためです　より高くと　昨日歌ったように　昨日あなた達が上昇への望みを　歌うのをとても楽しみました　間違いなく
歓びを感じられました　ですが　実際そのために　何をしているでしょう　真剣に考えるべきです　誰かの成長や理解に

何をしているでしょう 特に女性は あまりしないようですが 母性であるのに それではいけません どんどん外に出て リアリゼーションを与えるべきです 男性は積極的ですが 女性は違います それは反対なのです 男性は活動的だが 瞑想をしない一方 女性は瞑想するが 外に出ようとしない ある種の 分業のようになっています これではうまく行きません 瞑想も外でのサハジャ ヨガの啓蒙も 両方必要です 両方するべきです 瞑想だけで与えなければ 上昇できません クンダリーニは 非常に分別をわきまえています 成人にする必要があるのか と彼女は考えます どんな用途があるでしょう サハジャ ヨガは 誰かが聖者になり その人がどこかに座っている というような個人の上昇ではありません 一人の人間 自分のためではありません それは集合的な現象です なので集団に働きかけて初めて クンダリーニが認めるのです 身体が働くようにです 身体においても もしある臓器が 自分はもういい と言ったら ある細胞が成長をやめる 身体全体はもう構わないとなったら うまく行かないでしょう 何度も言うように それは生きた組織で 育ち また吸収する 必要があります エネルギーを得て成長するには 瞑想が必要です 成長しなければ 終わりです もうサハジャ ヨギではありません 誰にもリアリゼーションを与えていない人を サハジャ ヨギとはいえません サハジャ ヨギは 与えなければいけません 他の活動に加え 主な活動は リアリゼーションを与えることです その側面を 生活においてケアしない限り サハジャ ヨガで 成長することはないでしょう 例えば私の立場は 私は完全で 問題はありません ではなぜサハジャ ヨギのために 一生懸命働いたのでしょうか 私は成熟しすぎていて これ以上は必要ありません 私にはしなくても良かったのに どんな必要があったのか それは 愛のためです 私の中には沢山の愛があり 伝達しなければなりません でなければ窒息してしまいます 自分を愛せません この愛は広がる必要があります そのために あなた方が必要だということ が私のヴィジョンです この特別な 約束された時代に あなた方は このために選ばれました さて あなた方がどれだけその重要性を 理解しているかが大切です 自ら瞑想により 成長するのは構いません ですが それを使わなければ どんな意味があるのでしょうか 例えば何かを 修理できたとして このマイクをきちんと直したとしても 私が喋らなければ なんのためのマイクでしょう 同じように あなたが一生懸命でも 4時に起きて シャワーを浴びて瞑想し そして夜も瞑想 という人を知っていますが 外で誰かにサハジャ ヨガを 広めようとしません 聖なる愛を 与えようとしなければ 愛の無い世界の問題が 解けることはありません 聖なる愛を誰も知らずにいるので 与えるべきです このアディ シャクティの 力を感じるべきです 知らせることをしなければ 自分だけが全てを楽しんでいて 自分勝手といえるでしょう こんなわけで サハジャ ヨガで バランスのとれた人格に ならないことがあります 例えばサハジャ ヨギ同士で 結婚したとします 私の願いは 彼らがお互いを完全に理解し 愛するのみならず サハジャ ヨガや 他者をも愛することです これがサハジャ ヨガの結婚を 正当なものにする唯一の理由で なければ 結婚する必要はありません でも そうなりません サハジャ ヨガでの結婚は 簡単なので 口論の末 離婚話になるか 幸運にもそうならない時は 自分の家族を持ち 家を持ちと 非常に小さく 限られた生活を初めます そんなことのために サハジャ ヨガにきたのですか 自分の人格を悟りなさい 母なる大地を見れば 彼女は自分の人格を知っています 土や泥だけで出ています にもかかわらず いかに自覚があり こだわりつつ 注意深く働くでしょう あなたは こんなにも恵まれます 与えることを考えていますか お粗末で 問題はあったにせよ キリスト教は 12人で拡がったのです イスラム教もあまり上手くないにせよ 拡がりました これらのお粗末な仕事は 拡がるなら サハジャ ヨガの 良い仕事はどうでしょう 色々なところに拡がるべきです どこに行って何を話せるか どうやって人を助け 苦しみ 不幸や破壊を 超えられるかを見つけない 時間は限られていて 私達はそれに見合った 動きをしていません ずっと早く先に進み 一貫した集中的な努力を通して サハジャ ヨギを 産み出さねばなりません でも サハジャ ヨガは ついでのことになっています 責任感にける理由です 母なる大地から 学ぶ必要があります “あなたのようにはなれません” “あなたは結局 アディ シャクティだから” 指先一つでものを動かせるからといって 何だのでしょうか 私に必要な理由が あるのでしょうか あなたが私であり 大地が私であるという 美しい創造において あなたは世界の二一に 敏感にならなければいけません 世界は何を 必要としているのでしょうか あなたが今日ダメなら 永遠にダメでしょう 少数しか存在しないでしょう なのでサハジャ ヨガを 拡めるべきで この愛はあなただけのもの ではありません あなただけが 楽しむためではありません 世界中のできるだけ多くに 楽しまれるべきです 今日はアディ シャクティの 子どもとして 外に出て あらゆる場所に赴き 声高らかにサハジャ ヨギとしての 責任を全うするべきです あなたがここにいる理由が あるに違いません 初めの頃 ヨギ達は “マザー 私の過去世はこれですか シヴァジですか” “知っても意味がありません” 過去がなんであれ 今は高みにいます 理解すべきです ナポレオンだったとか どこかの王様とか 女王とか言うかもしれませんが 何をしたのでしょうか 誰かのクンダリーニを あげましたか 何らかの力を 持っていましたか キリストやムハンマドの 弟子達ですらできましたか クンダリーニについての 知識を持っていましたか リアリゼーションを与えたいという 純粋な愛を持っていましたか スーフィー達もリアリゼーションを 与えませんでした 多くの聖者もです ムハンマドも ゴータマ・ブッダも 誰にもリアリゼーションを 与えませんでした 考えてみなさい キリストもクリシュナも ラーマも誰もです あなただけができるのです そしてクンダリーニについて 知っているのです あなたはアディ シャクティの子であり これは大きなことです あなたとともに 母がここにいるのです あなたがいてくれて 私にはとても幸運です 誇らしく思います

サハジャ ヨガに もっと多くを もっと早く 連れてくる 必要があります ご存知のように何かを強要するのは私の性格ではありません 怒りに任せて強制的に 何かをさせることはできませんが あなたが失敗すれば 私も完全に失敗することになるのです そういうことで 今日は 皆がサハジャ ヨガについて語り 広げ 知ることを誓って頂きたいと思います 何も知らない者が多くいます サハジャ ヨギであっても 何も知らず 夫婦問題に陥ったりする者がいるのは驚きです あらゆる無意味な問題事が 私に持ち込まれます あなたは問題を起こすためにいるのですか それとも誰かの問題解決のためでしょうか 全体としては 上手くやれていますが 更なる早さと熱意 喜びをもって働くべきです 誰かにリアリゼーションを与えることが どんなに喜びかをあなたは知りません 最も喜ばしい瞬間です 一度試せばもっとしたくなってくるでしょう サハジャ ヨガにきたら “彼が行ってしまう リアリゼーションを与えよう” それだけを願うべきです “ちょっと来て下さい あげたいものがあるんです”と座らせ 路上でも与えるのです こういうおかしなスタイルでやるのです “この人はまだ得ていない あげよう” 教会や大学 あらゆる集会に行って 何を得られるかを恐れず 敵意なく伝えるのです あなたの徳のために来た と言えます 自分ではなく あなたの 徳のために来たと言えは間違いなくあなたの クンダリーニはご機嫌でしょう 彼女は自分を十分に 使おうとしない人に満足しません 世界救済のためになら 喜んで力を貸してくれるでしょう 神のご加護がありますように

1997-0720, Guru Puja, A Guru Should Be Humble And Wise

[View online.](#)

Guru Puja. Cabella Ligure (Italy), 20 July 1997.

今日のプージャは とても大切です あなたは 自分がリアリゼーションを得て 他人に与えるために必要な すべてを知っています もう知っているのです 大切なことで 与えようとしなければ 自分に信念もなく 自信や自尊心を 持てないでしょう 次に与えたとしても 巻き込まれないことです 多くの人が 巻き込まれ過ぎです 誰かに与えると すごいことをした気になって 家族や親戚などに 働きかけます ご存知のように 親族だからといって リアリゼーションに近いとは 限りません 成長するにはコレクティブである 以外にありません 道場からはなれ 一人で 成長できると思っても不可能です サハジャ ヨガとは そういうものではありません 昔は別々に分かれて ヒマラヤに入り 数人だけがスピリチュアルな 成長のために選ばれました ここではそういう問題でなく コレクティブを どう育てるかという問題です それで コレクティブな人になり それを楽しみ そのために働き とともに生きようになります そのような人は 新しい力を得ます 精妙で 浸透力がある あらゆるところに 入り込んでゆく力です それはコレクティブな気質を 持たないとできません 完全にコレクティブでない サハジャ ヨガに必要な 高みは至れません 知つての通り 世界は問題だらけで 沈みかけているようです アメリカに行ったときは “ああ これは地獄です” と感じました 何の徳もなく 徳を信じようともせず 不徳を崇めるような そんな雰囲気の中にいました 世界中で そのアメリカの影響がみられ 何も悪いことはないと思っています 何を言ったところで 耳を傾けることはありません 生活の根底から 崩れてきていることが見えています 家族 社会 国中がです ひどく醜い不徳な性質が あたりに満ちていて そんな考えが どこからきたのか解りません 私が一つ一つあげる必要はありません ご存知でしょう あなた方は子供たちを救うためにも 指導者になる必要があります サハジャ ヨギだからと それについて話し 宣伝しても 相応の力があなたになれば 失敗に終わるでしょう では どうやってそれらの力を 内面で育てるかをみるべきです 言うのも気恥ずかしいことですが 師に対してきちんと振る舞うことです 教わったと思いますが 教わらずとも リアリゼーションを得ると 自発的に 自然に 謙虚な態度が出てきます それとともに 指導者に必要な 多くの性質を 身につけます 指導者と同じ地平に 自分が立っていると あなたに向かうものは ないでしょう なので指導者の位置より ずっと低い位置に立たねばなりません 私が怒らないのを 利用する者がいます 何度も “あの人たちを糾すべきです” と言われました “あなたと対等にしゃべっています” 私は “彼らは教訓を学びます” と言いましたが 学ばない者もいて 相変わらず私に対して 友達と話すかのように 振る舞う者がいます まずは完全な謙虚さです 極めて 謙虚でなければいけません 誰かと話すとき謙虚ですか 誰かについて考えるとき 謙虚ですか 家族に対しては 謙虚ですか 指導者であらんとするなら 謙虚さが最も大切です 謙虚の海に飛び込むべきです “謙虚だと利用されます” という者もいますが そんなことはありません あなたは常に守られていることを 忘れないでください パラマ・チャイタンニヤが 世話をしています 頭で知っていても あなたは本当にそう信じていますか 本当に信じるなら 恐れないことです 心配せず 無意味な影響を 受けないことです “何が起るんだろう どうなるんだろう” と心配していると パラマ・チャイタンニヤは あなたをそのままにします いかにかが働くかを見なさい 自分がどう振る舞うか見なさい ちゃんとしないまま 自分を誇示すれば それなりの見返りがきます 私が何かするのでなく パラマ・チャイタンニヤが教訓を与えます あなたは 今のようではいけなかったと そもそも何故 我々は サハジャ ヨガにきたのか 根本から初めなさい 私たちがサハジャ ヨガに来たのは 究極の真理を知りたいからです そしてヴァイブレーションを通して 知ることができました 何が絶対的な真理かを 知ることができました その真理にそって働くべきです あなたが感じる絶対的な真理に従わないといけません 残念にも 自分のヴァイブレーションを過信して 自分が感じているヴァイブレーションが 最高だと思っている人がいます それは正すのが 難しいポイントです エゴから来ます エゴがあると 自分の間違いに気づきません ヴァイブレーションが 何か示唆していても 自己からでなく エゴからきています エゴが自分を甘やかして 本来なら “こんなこと するんじゃないかった” とか “私は間違っている” と 気づかずにいるのです このプロセスでは 自分が “精妙になっているか” “粗野になっているか” 観察するのが一番です 些細なことで いつもヴァイブレーションを チェックしている人もいます 木や花 土地などの 物質的なことを チェックします でも何のために しているのでしょうか 物質的な利益のためです ヴァイブレーションさえ チェックすれば 安全で 損失を被らないと 考えるのです そうではありません ヴァイブレーションは 世事のためではありません ヴァイブレーションをおとしめる事をするべきではありません ヴァイブレーションが害になる事を 示唆することさえあるのです ある人にある場所に行くよう頼んだら 彼は “行きませんでした” “何故?” と訊くと “ヴァイブレーションが悪かったからです” “ヴァイブレーションが良かったら 行く必要ありません” “だからあなたに頼んだのに” “ヴァイブレーションが

悪いからといって” “行きたがらなかったなんて” 結局 楽で 快適な生活をしたいのです サハジャ ヨガによる解決を期待し 叶わないなら役に立たないと考えます どんな望みでも 叶えたいのです それらの望みは 個人的なものです “子供が具合悪いので 良くなって欲しい” “夫の態度が良くないので 良くしたい”とか “家がないので欲しい”と いつも気が散っていて 未だにいわゆる 消費マインドでいます “女の子でなく男の子が良い”と言い 娘が生まれると サハジャ ヨガのせいにしたりします 望み通りにはならないのは サハジャ ヨガのせいだと 更には サハジャ ヨガのせいで 苦しんでいると考えます または信念が弱まったり ぶれたりします 深く根付いていれば “何があるかとサハジャ ヨギでいる” というでしょう 誰かが亡くなったとして といっても サハジャ ヨガでは難しい事で パラマ・チャイタンニャが許さない限り 死のうとしても死ねません ですが 仮に 誰か自殺しようとしても その望みが叶うとは 限りません 叶わないからといって 機嫌を損ね “何がいけないの?” と考えます でも あなたの望みは 神の望みでなく パラマ・チャイタンニャが それなのです 私がアメリカに行ったときに ネガティブイティに攻撃され 困らせられました この間ずっと いわゆる苦しみと痛みを味わいましたが それはこの頭の悪いアメリカ人が 育つ為にどれほどの尽力が必要か それを かの地のヨギに 見せるためだったのです お金を搾り取られて どれほど彼らが 愚かで馬鹿げているか 多くの者が私に “マザー 例えば あなたが300ドルでもとれば” “何千人もの弟子が 出来るでしょう”と告げました 私は“そんな人たちは 私の弟子ではない” “お金をとるなら 価値あるものを あたえるだろうと考えるなら” “彼らは完全に馬鹿です” と答えました サハジャ ヨガは 金銭で買うことができません この第一の原理を 彼らは理解できません 大半の者がリアリゼーションは 無料で得られると 理解しません ある裕福なグジャラート人が ニュージャージーで サハジャ ヨギに聞きました “どうして こんなに簡単なんですか?” “これは難しい事だと 教典に書いてあります” “リアリゼーションを得るのは 極めて困難だと” “なのにどうやってそんなに 簡単に与えられるのですか”と 誰も答えられませんでした こう言うべきだったのです 確かに難しく 多くには 与えられないと言われていますが 現にできる人がいます ならば どうやっているか 考えてみるべきです この種の馬鹿げた質問が多く 今も続いています 丁寧に伝える必要があります “でも それなりの人でないと・・・” そんな訳で彼らはお金を払い 自らを愚弄するのです “私にはグルが3人いる” “私には7人いる” どんな状況なんでしょう 彼らは極めて愚かで サンスクリットで ムールと呼びます 頭のない人はリアリゼーションを 得られませんので諦めなさい 口論しようとするなら 諦めなさい そんな権利はありません リアリゼーションを 得る権利はありますが 馬鹿げた質問をして 論争する権利はありません あなた方も指導者としての 自分の威厳を保つことを 忘れない事です 自分が指導者と知ったなら おどけてばかりではいけません 威厳ある態度と同時に 楽しみを与える人格 イライラする事もなく 何か特別なものを感じさせる人格になります では どうやって そのような人格を持つか 西洋では エゴが最大の問題で 東洋では スーパーエゴが問題です このエゴのあれこれは どこから来たのか解りませんが 自分のエゴを見せびらかします 例えば アメリカでは驚くことに 人種差別の問題があります 黒人と白人間で 差別があるのです 肌の色は 神が与えたもので 皆が同じだったら 軍隊のように見えます 多様性があるべきで 自己表現や表情にも 違いがあるべきです それぞれが 固有の表現を持っていないと 皆が同じでは この世界は何の面白みもなく つまらないものになってしまうでしょう ですが 人々の心に どれほどの差別心が入り込んだかに 驚かされました あなた方は指導者として 断固として差別に反対すべきです 簡単に解ることは 男性 女性として 更には母親としても 白人が最も 残酷になりうる一方で 優しく寛容な黒人が いることです 肌の色と気質は 対応しないということです ですが 黒人は 差別されたことに反応しがちです その仕方が粗野であったり 残酷になりがちなのです でも この種の間違った 人に対する態度には 動物だって 我慢できないでしょう ならば人に対して そのような態度を見せるなら その人は サハジャ ヨギに値しません そのような 肌が白いとか 黒いという意識をもつ人は サハジャ ヨガで 指導者にはなれません インドのカースト制度も 同様に酷いものです 何の理屈も基盤もなく 身分の上下を 信じる者がいます どんなカーストの者でも 最悪の行いをする可能性があり そこに境界線は存在しません 最下位のカーストから 偉大な詩人や スーフィが輩出されました カーストは人為的です 人為的なものは 私たちに合いません 結局は大変破壊的な事態を 呼びこみます 憎しみは憎しみを呼び 増殖していきます 憎しみを心から取り除けないなら サハジャ ヨギではありません これらすべてが コンディショニングです 白人家庭に生まれれば 白人だし クリスマン家庭に生まれれば クリスマンだし ユダヤの家庭に生まれれば ユダヤ教徒です ただ そのように 産まれてきただけです それが身分の高低につながるのでしょうか これらすべての人間の問題は 意味のない優越感に対する 人のこだわりのためです 共通意識によってのみ 変えることが出来ます 例えば 道場でも様々な人種の人が 平等な権利を 相互理解と愛を持って 暮らしていますそれが無いなら 道場 (アシュラム) とは言えません かつて “ハーレムで講演をして もらえませんか”と頼まれました “もちろん”と答えましたが “ハーレムがどんなところか ご存知ですか”と言うのです “知っています 害はありません” そのヨギ達は “黒人がいて・・・”と “私も黒人です” 私は黒人とも 白人とも呼ばれますが このような人間に対する 馬鹿げた考えを浄化してくれるのが 愛なのです 白人 黒人と差別すること自体が 人を見る目がない証拠です 深みと博愛があれば そんな表面的なことは 目に入りません 今日 指導者の 偉大さを祝す日です 彼らがどうだったか見なさい インド内外にスーフィなど 多くが存在しました 彼らは白人 黒人などの 人種による差別を 信じませんでした キリストも白人黒人の区別を 信じませんでしたし ブッダも同様です だれもこのような 人為的な問題を 信じませんでした このような人為的な考えが リアリゼーションの後でさえ受け入れられ

私がその対処に追われます それは言葉でなく 行動することで取り除けます どうなくしていくか見てみなさい 簡単です瞑想をして 自分が何人を愛しているか そして何故なのか 哀れみでなく 愛をどれだけ持っているかを見てみなさい 中には美しい例もありますが 捨てるべき固定観念が まだあります サハジャ ヨガで指導者なら とても大切なことです 心が清浄で開かれていて 愛情深く パラマ・チャイタンニヤの旋律を 奏でるべきです まだ人為的な考えで満たされているなら何が起るか分かりません 心臓移植でさえ 人工物でなく 本物を使う必要があります なので人工的な おかしな考えを採用すればどんなことになるか 差別的で コレクティヴィティ(集合性)を 与えることはないでしょう 内省が必要です私たちは一つですか? それともお互いを 裁き合っていますか? この裁きも多く見られます こういったことはともに生活をして初めて気づくもので さもなくば気づきません 共同生活をして初めて 自らに足りないことを悟るのです何があって 何がないのか 愛に満ちたハートは 非常に穏やかで あらゆる瞬間が 愛の契機であり 喜びを与えるものです シュリラーマのお話があります ベールと呼ばれる 果物を食べる際に ある老女が愛情から その果物に口をつけて試食しました最高位の王である シュリ ラーマに対して この老女は 最低の位でありながら 愛をもって 果物を試食した上でおもてなしをしたところ 彼はそれを賞賛したのです 彼の妻も“私にも下さい” と言いました が 弟はまだそこまで成熟しておらず 腹を立てます そこに彼女が“本当においしいですよ”と言うと “じゃあ 下さい”と 彼女は“どうして? 怒っていたじゃないですか” “あなたにあげることはないですよ” と言います どれほど心が清らかで 愛情があるか 崇高で非凡な人格かによって 指導者としてのあなたのレベルが 判断されることが示されています これは完全に自然なもので人為的に組み込めないものです なんであれ 自然にするべきです 共同生活や 言動の中でのわざとらしさは 問題をうみます ニューヨークのアシュラムには とても細かく 厳しい女性がいました スプーンやフォークの位置や 他の何にも細かくて多くの人を傷つけるのです サハジャ ヨガでは あなたが指導者になったら これらの文化的タブーは 重要ではありません指導者はどこでも寝起きできて いつ何でも食べられる そうあるべきです しかし サハジャ ヨガでは 食事が出されるとすぐ食べたがる人が沢山いるようです 一度食事を出された時 すぐにお皿を持っていかれたことがあります “どうしたんですか”と言うと “マザーまだ食べていないんですか” “触ってすらいらないですよ”と 空腹というのは最低レベルの欲求です 指導者はそれに頓着しません 得られても 得られなくても大丈夫です エゴを消して与えられずとも気にしない そんな意識を持つべきです 人より少し遅く出されただけでも 傷ついたりしますそんな様々なおかしなことが サハジャ ヨガでは見られます これは最低レベルの欲求で 真の指導者になりたいなら頓着すべきではありません もちろん 麻薬とか 飲酒をしないなどの問題は もう解決されました それは恩恵ですもしそこから始めるとしたら あなたを引っ張り上げるのに どれほど深くまで行く必要が あるかわかりませんそれは良いとして 皆の注目に値する 美しい生活のため 話し方 振る舞い方 愛し方を 学ぶ必要があります 指導者の権威は愛を通さずして得られません 例えば 10人で劇をするとして 同じ国や 同じグループの人が 集まっても 面白くありません音楽のグループにしても 同じ身分や 同じ宗教 同じ学校でやろうとするなら まだ至らない証拠です 指導者であるならあらゆる文化 あらゆる美を好み 生活に取り入れられるべきです 人種や地位 階級意識で 誰かを 見下すべきではありません指導者や聖者は 皆そうでした トゥカラマも “神よ 私をシデュールカーストにして 下さり感謝します” と言いましたが実際は違いました 出自や人格に 常にこだわらないようにしなさい 誰が聖者で誰が違うか わからないくらいが良いのです聖者であることで 高慢になるものさえます アメリカ在住のロシア人が とても際立っていることに 驚きました私に対して目を上げずに 伏し目がちで 深い人々でした ヴァイブレーションが とても深かったのです共産主義で抑圧されてきて アメリカで 自由というものを見て その無意味さを 悟ったのでしょうか 両極端を知って自身の深奥に触れ 強さと団結力を持っています 始めて会った時に驚きました ロシアから訪問しているのでなく 現地の人です何故かと言うと 彼らの頭に 宗教がなかったからです どの宗教も彼らには同じで どれにも 追従していませんでした宗教も人為的なものなので 指導者は 何の宗教にも属しません 宗教は世界中に問題をもたらし お互いに争っています 彼らは聖なる存在ではありません 宗教の偏見に 巻き込まれないようにするべきです サハジャ ヨガでもクリスチャンならそのように見えるので分かります ユダヤ教徒も分かります 何のために サハジャ ヨガに来ているのでしょうか注意が内面に向けば 見つかるはずですが どこが間違いか 指導者として何故成功できないか 自己分析するべきです指導者としての成功とは 時間に惑わされないことです どの時間も聖なる時間で 誰かが遅れたり早くても 気にしません時間や時計に隷従しません 300年前なら時計すらなく 誰も時間に 捕われなかったでしょう 第1に 彼は時間を超越している“カラティス”と言われます “グナティス”とは左右 あるいは中央のどこにも属さず それら3つのグナを 超越していて “全てを聖なる光のもとに見る” と言う意味です 良いことであろうと 悪いことであろうと全てに “聖なる光の働きです”と全てをそこに帰するでしょう グナを超越しています 例えば 誰かが ライトサイドでエゴがあれば “こうしなかったのに どうして 上手くいかなかった”と挑戦します レフトサイドの人は 泣き出して “こんなことが起るなんて” と言ったりしますセンターの人でも “ヴァイブレーションが足りなかったのか” “なぜ分からなかったのだろう” と考えたりしますが本物の指導者は “それは起るべきして起った” と言うのです 教訓は何でしょう 間違っていた正しくなかったと分かるだけです 色々考えて 頭を使わないことです それだけに気をつけて 他のことは気にも留めません

こうしてグナを超え どこでも寝食でき 生活できるのです 車でも牛車でも移動できます もらう花輪がみすばらしくても侮辱されたとは思いません 彼は何にも 影響を受けないのです 贈り物がシンプルであろうと 何もなかろうと気にしません あなたの目ではなく 自分の目を通して 自分を評価し楽しむのです 何かにしがみついたり こだわる必要が どこにあるでしょう 上手くいかないなら いくまで待てば良いだけです どうしたのでしょうか サハジャ ヨギでは指導者は人を結びつけなければいけません その一方で 関係を壊し続ける人もいます そういう人は 文句ばかりいっています でも優しく人を結びつけることが 出来る人もいます 許さなければいけないとかではなく 自然と出来るのです とても自然で そんな人に人は惹き付けられます アメリカでサハジャ ヨギが 少ないので驚きました 5万ドル使って 50人が来たというので 一人あたり千ドルです 非常に効率が悪いですが 希望を持たないといけません 多くの探求者がいて 道に迷っているからです 回り道のようなもので 馬鹿をやって初めて 分かるようになるかもしれません 先日の講演では 4000人の人が訪れました 米国では かつてなかったことです “こんなに人が集まったことは ありません”と言われましたが それでも多いとは言えませんが リアリゼーションは得ました なので アメリカでさえも 徐々に育つでしょう サハジャ ヨギ達は自分の住居や生活の心配だけでなく 外に出て行くべきです 余裕のあるものは アメリカに行き 働くと思いいます 部外者が来てサハジャの話をすれば 興味を持たれるかもしれません 偽の指導者が数えきれないほどいて 受け入れられています 驚くことに お金や全てを失い 辛酸をなめても 受け入れてしまうのです “彼は私たちの師ですから”と何を期待すべきが理解できない点で 何かおかしいのです 私は一冊 本を書いたところですが あなた方も経験やら何かを出版できるでしょう それが人々が目を覚ます 助けになるかもしれません 何を書くにしても あなたのサハジャ ヨギの性質を表しなさい 人を傷つけてしまうと 貶めてしまうと気にせずに 人々を正し 助けるようにしなさい 指導者にとって 自身を勘違いしないことが重要です 貧しい あるいは豊かな家族の 出身であるなど意識しないことです ひとたびそこに至れば 指導者なのです 職人だったカビーラや トウルシダのように インドでは低位のカーストとされていますが 美しい詩をかきました ナーマデヴァは仕立て屋でした 皆が同じ真理を 大変美しく詠いました どうして出来たのかといえば 皆 偉大なるスピリチュアリティの 領域に入ったからです あなた方も 美しい詩を詠みますが 良い詩を詠める反面 頑固で自己中心的な人もいます 美しい詩を詠めるのに エゴで一杯というのは理解できません だとしたらこの詩は 何に由来するか怪しいものです まずは自分です 人々に“本物の指導者に出会った”と言わしめるべきです その為に家族や何かを 放棄する必要はありません エゴを放棄するのは まだあるなら 何と言うべきか分かりませんが 完全にエゴを 集散的にも取り除くべきです 人々は密かにエゴを内に秘めていて 急にそれが出現します そのような精妙で 無意味な病理に耽っています このグルプージャに際し 真剣にとっても一生懸命 働くように言わねばなりません 最も大切なのは どれほどあなたが時間を 人生を サハジャ ヨギに捧げたかです それで初めて あなたは指導者になります 私を見なさい ただの主婦で 家族に責任があり 問題もあります にも拘らず 常にサハジャ ヨギと サハジャ ヨギのことを気にかけていて 世界中の人類の覚醒に 心砕いています 身の回りだけでなく 世界中のです あなたのヴィジョンも広げなさい 自分の学校や大学など 身の回りから より広いヴィジョンを抱き あらゆる問題や状況に 働きかけるべきです ひとたび そのような人格に至れば 多くの人を 助けられることに驚くでしょう ここにはそんな称賛に値する ヨギ達がいいます 彼らは私を愛していて 私も愛しています ただ 指導者になるにあたって 自分を指導者だと思わないことが大切です 自分がもう指導者だと 考えるべきではありません そう考えたときに “ザ・指導者”と言うエゴが出てきます “自分は何でもない” “母の胸の小さなさざ波です” と思うことです そのような謙虚さを身につけると 全てが上手く働き出すでしょう あなたの振る舞い 意識に 人が啓発されるからで 他はあり得ません 何を試そうと あなた以外にサハジャ ヨギを 推進する者はいません 良き指導者については まだまだ言うべきことがあります 次回にお話しすることにします ありがとうございます

1998-0419, Easter Puja, You Can Spread Sahaja Yoga Only Through Love and Compassion

View [online](#).

Easter Puja. Istanbul (Turkey), 19 april 1998.

今日 私たちは キリストの復活を 祝います 復活はキリストの生涯で 最も偉大なメッセージです 十字に架けられたことは 重要ではありません 人は十字に架けられると 死にますが キリストは 死から復活しました 死そのものがなくなり 克服しました 普通の人間にとっては 奇跡ですが キリストは 神聖なので 奇跡では ありませんでした 彼は シュリ ガネーシャです オムカラそのものです 水面を歩くこともでき 重力にも影響されません また彼の復活は 死にも影響されません 偉大で 神聖な特質を持つ 彼が 人類のために 特別に送られ者だと 人々は 理解できませんでした 人は彼のことを 理解できませんでした 人々は彼を 大変野蛮な方法で殺しました 今でさえ人は キリストが十字に架けられて 亡くなったことから 十字架を 偉大だと思っています 十字架を尊ぶことは 人間の 非常に残酷な 考え方です この意味は何でしょう 彼にした 残忍な仕打ちを 十字架に象徴される 彼の死 残虐や苦しみを 人は好んでいる ということです 十字に架けられるという 大変悲しい時がありましたが 復活は 最も喜ばしく 最も吉兆で 美しい時でした サハジャ ヨガにとって キリストの復活は 大変象徴的です キリストが 復活できるのであれば 人間もまた 復活できます なぜなら彼は 全ての力を備えて 人間として化身し 私たちのために 復活の道を創ったからです サハジャ ヨガにおいて この復活の道こそ 私たちがたどる道です 最も重要なことは アギヤ チャクラを 通過することです これについては スピリチュアルな書物や いわゆる聖典に “アギヤ チャクラの黄金の 扉は覆われていて” “誰も通過できなく 閉ざされた扉だ”と記されています しかし キリストは 通りました この通過は今日 あなたのアギヤを開くための 助けとなりました アギヤが開かれないと サハスララまで行けません キリストが苦難と 残虐を経て越えたことで あなた方は大変 容易に できるようになりました どれほど彼の恩恵に 授かっているか 言葉に表せません 彼こそが 人々の先頭に立って “求めなさい” “そうすれば 見つかるでしょう” そして“扉を叩きなさい” と言いました これが あなたに起こったことで アギヤ チャクラまで 上がって その先まで行きました アギヤを通過することは 難しいことでは全くありません 将来の計画の 遂行のための思考や コンディショニングの 黒雲が アギヤを 漂っていたとしてもです 思考が支配し 自分では覆われたアギヤを 通過できませんでしたが 可能となりました アギヤ チャクラを通過した ことさえ感じないほどの 容易さです まず あなたのために アギヤ チャクラを開いた キリストに 感謝しなければなりません 彼にとって 苦難や残虐は 何でもありませんでした なぜなら 彼の人生の目的 彼の出現の目的 化身は アギヤ チャクラを 開くためでした 今日 人のアギヤが 開いていても アギヤ チャクラに 巻き込まれる者が いるのに驚くでしょう サハジャ ヨギでも アギヤ チャクラに巻き込まれます 何が起っているかは 内省を通して 見ることができます 例えば 一度 サハジャ ヨギになると 自分が責任を 負わなければならないと思います 様々なことに責任を持ち サハジャ ヨギに対しても 責任があると思ひ込みます サハジャ ヨギとして ふさわしくない態度をとります その者たちが いかにも責務を感じて 人を押し分け 偉そうに先頭に 立っているかに驚きます これは現代に 始まったことでなく 人類において 絶えずありました しかしサハジャ ヨガ 以前の問題のはずです 今でさえ人は 責務から 他者に対して 支配的になる意向があります あなたが思うほど サハジャはシンプルではありません 多くの誘惑があるからです ある者をリーダーにすると その者は 責任を感じ また 権力に酔います 他の者たちを 支配し始め 自分が何か偉大だと 見せ始め 他の者たち皆を 配下に入れようとし ますそして皆に 恐怖感を与えようとし ます まず間違ったことを 言い始めます “マザーがこう言いました そう言いました” “マザーの考えです” 私は直接関わっていません 彼はそのように話し続け 人々は恐れを抱きます 彼は“言いつけますよ マザーはそれを聞いて” あなたを罰することができます” と言って恐れを与えます 私はそのような者に 大変驚きます 誰かを罰することを サハジャから追い出すことを 決して 言ったことがありません 自分のことばかり考える この者は リーダーかもしれませんが そうでないかもしれませんが そのように 大変おかしな態度で 人と話すのは サハジャ ヨギでは ないように見えます さらに悪化すれば “より上昇するために 特別に選ばれた者で” “偉大である”と 自分を称します このようなことを耳にすると なぜ人は 絶えず 自分自身を騙し そのように振る舞えるのかに 驚きます サハジャ ヨガで まず大切なことは 謙虚さです 謙虚な者でなければ サハジャ ヨギにはなれません 命令したり 話し方が ヒットラーのような者は 人を支配したり 責務を負う者は サハジャ ヨガで 何も 得ていないと 言っているようなものです まずは 謙虚さを楽しむことです このような人を見かけます 最前列に座り 私が見える場所に 必ず座って常に ほほ笑んでいる人です 自分を誇示しているに 過ぎません 自分のことしか 考えていないため そこに座りたがり ます 自分自身を見失っています 見失っていて あまり 幸せではありません ですから このようなこと 支配するようなことをします そうでない者は 大変謙虚で シンプルで 正直で 真実の探求者なのですが ある者によって 威圧されてしまいます その者が彼らを 威圧したり 誇示したり 他の者を 奴隷のように扱います 極端に走る ひどい人達を見てきました 彼らは リーダーの許可がなければ 1 cmも動かず そのような

不合理な人格の持ち主に 大変 従属してしまいます まずこれは母の愛です 母は決して支配しません 愛の何ものでもないので 支配できません 問題に気づくや否や すぐさま吸収します 彼女は故意に 怒っていると見せるために 芝居をしなければいけません しかし基本的に 誰にも怒ることはできません 愛が絶えず 絶えず流れていて その愛があなたもお母さんも包み込みます それによってあなた達は サハジャ ヨガを理解します 人類の必要とするものは 愛と慈悲だけです 大変純粋な類の 愛と慈悲です キリストをごらん下さい 彼を十字に架けた者たちに 憐れみを感じました 彼は全能なる父に 言いました“彼らを許してください 自分がしていることを解っていません” 彼は 人々の盲目からくる 間違った行動に 父なる神が腹を立て 彼らを滅ぼすかもしれないと 感じていました 彼はそれについて 考えずに 慈悲の心で 自然に 次のように感じました “彼らは私に対してしています 彼らはどうなるのでしょうか” 彼は 父なる神に祈りました “どうか許してください” “彼らは自分がしていることを 解っていません” “彼らは盲目です どうか罰しないでください” なんと 慈悲と愛でしょう 考えてみてください 人生の中で 誰かに危害を加えられたり 困らされるなら そのようにできますか 自分が何をしているか 解っていない者たちを 許してもらうよう 父に頼めますか それがサハジャでなければなりません 許しを求めれば ワークアウトします 神はその者たちの 面倒を見て 彼らを変え まともに導くでしょう キリストのメッセージは 愛 慈悲 純粋な慈悲に 満ちています 罪深い人生を歩んでいた メアリ マグダレナを挙げれば 彼は彼女を 守ろうとしました 聖人である彼は 彼女と 何の関係もありませんでした 投石刑にあっている 彼女を見て 彼は彼女の前に 立ちただかり 自分の手に石をとり “過ちや罪を 犯したことがない者は” “この石を取って 私に投げなさい”と言いました 誰も前に 出てきませんでした 自分自身と 向き合う必要があったからです 他者を支配する時 人はある種の 残酷な喜びを持ちます 私自身理解できない 喜びの一種です しかし人はそれを持ち 誇示します “この喜びに到達しました この偉大な力を得ました” 何世紀にも渡り 偉大な皇帝や 独裁者によって 起きています しかしサハジャ ヨギは 逆でないといけません 平穏と愛で世界を 統轄しなければなりません 全く誇示することはありません そのようにしてサハジャ ヨギは より早く広まります 世界は何を 必要としているでしょう 愛 愛情のみです 人生に無知で 我を見失う者 他者を困らせたり 苦しめたり コレクティブに 反する者は まともにならなければなりません なぜ時折 大変異常な行動を取り 狂人のように振る舞うのかを 理解できないでしょう そのような者に 狂っていると 伝えるのは難しいです 権力を持つ者 狂ったような者と 一緒にいるのも 難しいです 多くのサハジャ ヨギは 彼らに権力があると 思っているようです 彼らは 自分の好きなようにでき 誰にでも 好きなように話せ 誰をも混乱させられる と思っています しかしサハジャ ヨギでは 混乱する必要はありません あなたの愛をはっきり 表さなければなりません それは特定の出来事のための 特定の仕草という意味ではありません 互いの間での一体感です 時折サハジャ ヨギが 互いによく理解し 愛し合い 他者の愛を 美しく 楽しんでいるのを見ると 大変幸せに感じ 完全に歓びで満たされます 私が望むものであり 人が楽しむものです あなたは 他者に与える愛が 最も楽しめることに驚くでしょう あなたが もらわなくとも 他者に愛を与える時を 最も楽しみます あなた自身を 表現する方法は 他の者をいかに歓ばせ 幸せにするかを 理解する業です 以前ある聖人について 話をしたことがあります その者はガガンガドゥに 住んでいました それは丘か 山のようなところです 彼はそこに住んでいて 歩けませんでした ヴァイブレーションのために 脚を失ったからです 寅を愛していたので 彼は 寅に乗って移動します この男性は ボンベイからの者に 常に言っていました “マザーが来ています 御み足に触れに行きなさい” なぜ私にそんなに 関心があるのか知りませんでした そこで“この者に会いに行きます” と言いました これらのグルは “私たちは 自分の場所を離れません” と言います つまり彼らはどこに住もうと 決して外へ出ません 私は正反対です 決して一か所には 留まりません そこで彼らは私に 来てくれるよう頼みました “いいですよ”と答えました ヨギは“いつもは出向かないのに 今回はなぜですか” ヴァイブレーションをみると 物凄いヴァイブレーションです ですから私は 訪ねに行きました 彼は雨をコントロール できる者でしたが その日は叶わず 雨に対して 腹を立てていました 彼は雨をコントロール できるはずでした 彼はコントロールできなかったことに驚いていました そして私は ずぶぬれになりました 彼は怒っていました 岩の上に座り 怒りで震えていました 私は何も言わず 洞窟に入り 彼が準備した 場所に座りました 彼が入ってきました まだ怒っている彼に 私は驚きました 彼はなぜ雨を止められなかったか 理解できませんでした そこで私に“なぜ雨を 止めさせてくれなかったのですか” “あなたがここまで私に 会いに来てくださったのに” “雨はわかまえるべきです” “それなのに雨を コントロールできませんでした” “なぜですか どんな教訓ですか”と尋ねました 私はただほほ笑み “あなたは修行者です サニアーシです” “そして私は あなたのお母さんです” “あなたからサリーを 受け取れません” “なぜなら あなたがサニアーシで” “サニアーシから物を 受け取れないことになっています” “お母さんでさえ 受け取れません” “しかし私に素敵な サリーを買ってくれました” “ずぶぬれになることで サリーを受け取れます” 伝える私の優しさは 彼を溶かし 彼は涙をこぼしました 彼は言いました “この世界に お母さんが必要です” “お母さんがいるべきです” 人は問題を 解決することができません 問題が何であれ 腹を立てるか 目を背けようと するからです 問題を 罪深くひどい者たちと共に 解決することを 望みません これが今日の 世界における問題です 全世界にスピリチュアルな 者がいないのもそのためです 彼らこそ苦しめられ 困らせられ 侮辱され あらゆることが降りかかった 者たちだからです ですから もがき

早くに死を望みます ギャネシワラは 偉大な人格を備える 偉大な作家 詩人です 大変美しいものを 書きます しかし 23歳で
サマディの道を行きました つまり洞窟にこもり そこで亡くなりました 無知な人々の中で疲れ うんざりしたに違いありません
それ故 亡くなりました カルティケヤの化身である ギャネシワラのような者は 大変苦しめられ 耐えられず 死の世界へ
去るしかありませんでした 人は 彼を非常に苦しめ “サニアーシの息子だ”と 罵りました サニアーシの息子とは “役に立たない”
“庶子である” という意味です ひどい扱いを受け 履く靴すらありません 灼熱のインドを 裸足で歩きました 偉大な学者であり
偉大な聖人であり 偉大な化身である 彼の兄弟姉妹もです 結果として 彼は消えることを望み 大変美しい方法で 行いました
彼らに“行かなければいけません” と伝えました 彼らから去り 洞窟に入って サマディを得ました キリストでさえ
十字に架けられた時 大変若く 33歳でした 私たち サハジャ ヨガの道をつくり アギヤを開くため 命を犠牲に
十字に架けられることは 神聖によって 全て計画されました 非常に恐ろしく 残酷な方法で刑に処されましたが 普通
死を目前とする者は 彼が振る舞うようには できません 彼の処刑に携わった者たちに 何が起きたでしょう
彼らの振る舞いからも 悪魔であつたに違いありません キリストが言ったとしても 彼らを許すことは不可能です
十字架のキリストを見ていた そのような者を許すことは難しいです キリストのような者は
“(サハスララを突き抜けるために) 私に仕事をさせてください” と考えますが これらの者たちと共に生きて
苦しむことを望みませんでした 彼は復活後 カシミールに去り そこで暮らしました 彼の 上昇や復活について
様々な話があります これらの話を読めば いかに奇跡的か 驚くでしょう 彼は再び 生まれ変わり カシミールで 再び生きました
彼は母とある年月 幸せにカシミールで暮らし そこで亡くなりました キリストの墓がそこにある と言われています そして
彼の母も そこにいました 彼の人生を 利用したのは誰でしょう 彼の死を 望んだのは誰でしょう あなたは よく知っています
いかにキリストが 亡くなり パウロや ピータのような者が 突如現れ 巨大な事業にしていって 知っています
この二人の人物によって 恥をもたされたことは 悲しいことです このパウロは 間違いなく組織者です
官僚と言っても良いでしょう 官僚だけでなく 高い地位も欲していました ですから彼は虚偽を公言し ダマスカスに行きました
途中で彼は 大きな十字架を見ました サハジャ ヨガによると 超意識の兆候です スピリットのものではありません
彼は戻って調査を始め 多くのことを 書きました 全てに及んで あなたが読むなら 彼がサハジャ ヨギでない
ことは解るでしょう 彼はただの組織者で 官僚で 管理の方法を 書いており 様々な種類の者の 必要性を説き 人の管理について
綴っています ですから彼は経営陣で キリスト教の経営者でした このためキリスト教徒は 大変事務的になりました 全てに
時間は定められ このようになれば 座らなければ 話さなければいけない キリスト教徒である国も 公式にそれらを
守っています なぜそのように 事務的なのが 理解していません アギヤを開いたキリストが 為したことは反対に
このようなことが 築きあげられました キリスト教徒の国は 世界で最も傲慢で 最も攻撃的な国です 彼らは
目に着く土地は支配する 権利があると思っています 彼ら自身の 法律や議会を 設置する権利がある と思っています
今日でさえこれは インドのプンジャブのような 場所でも起きています ほとんどの者は 質素に暮らしていて 大変勤勉に
働いていますが 支配的な者や 利用しようと する者たちによって 常に 攻撃にさらされています キリスト教徒として
このように振る舞うのは ばかげています 人々を改宗させようとします 改宗させるのは ナンセンスです 南インドで
彼らがしたことは・・・ インド人は決して パンを作りません 南ではオープンな 使い方も知りません そこで彼らは大きな
ケーキのようなパンを作り 水または 井戸に入れました そして “牛の一部を そこにいれました” と言うのです 人々は信じました
そして “あなた方はもはや ヒンズー教徒や” “他の宗教に 属していません” “今やキリスト教徒になりました” と告げました
そのように 何千もの人を虐げ キリスト教徒に 改宗させました このような虐げられた者たちは キリスト教徒を望みました
キリスト教徒もまた 宣教活動に従う 疑惑の持たない 者たちを 望んでいました 人々には教育がなく 彼らが 何者が理解する
知性や理解力も ありませんでした 虐げた者に対して 彼らが宣教を始めると 多くの者も 入信しました
彼らは自身の同志を見つけ 事業を始めました いかん人々を 支配しようとする性質が 特定の宗教を受け入れたか 理解すべきです
宗教とは謙虚さの 何ものでもありません キリスト教の責任者が いかん人々を 愚かな者へと変えたか 理解すべきです
それは人間の性質で いかんナンセンス あらゆる残虐 あらゆる抑圧をも 楽しみます 彼らは支配した領域を
決して断念しません 今ではキリスト教徒の国は それ以上です キリスト教徒の間で 自由が与えられているためです
彼らは自由です “好きなことをしなさい より良くなるでしょう” “あなた方は大丈夫です” 彼らこそ 支配する者です
そして支配される者が 至るところにいます 彼らはいわゆる 先住民といった 普通の人のところへ 行つては改宗させます
主な活動は 改宗させることです 多くの者を改宗させる 必要は何でしょう 人数が民主主義において 重要だからです
数の獲得のために 改宗させました それは多大な 破滅をもたらしました キリストの 後の状況に 大変懸念を抱きます 今日
あなた方皆 サハジャ ヨギです 他の者より高みにいます あなたには 全ての力が備わっています あなたがキリスト教徒
のように振る舞えば どうなるか 分かりません サハジャ ヨガがあらゆる 国で受け入れられ 人はサハジャ ヨギである
者に敬意を払い 地位がある状況に 置かれています そこで突如 権力が あなたの頭によぎり 独裁者のようにな
らうとするかもしれません それは人間の性質です 神聖ではなく 人間の性質です 例えば 動物の世界では 互いに攻撃的
それは許されています そこには支配における体系や やり方 法則があります 誰にでも飛びかかる ようなものではありません

サハジャ ヨギの中でも リーダーに指名すれば 大変になります その者は皆を 仕切り始め リーダーにしなければ 次から次へと私に 手紙を書きます “マザー 私は リーダーになりたいです” そう彼らは 主張し続けます 何のために他の者を支配する リーダーになりたいのですか この支配欲はサハジャ ヨギに 必要ありません 今日私は 死を超越した キリストの 美しさについて お話するためにいます 同時に 彼の死における概念 ネガティブな思考 全てが克服され なければいけません あなたは自身の 主でなければなりません それによって あなたは大変癒され 幸せに感じなければ なりません 人に与えることについても 同じです 人から何かを奪うよりも 大変簡単です サハジャ ヨギが これら全てを あなたに教えたことは 大変驚くべきことです サハジャ ヨギは 大変すばらしく 大変美しい者たちで 愛深く 親切であると 人に言われなければなりません あなた方皆が 個人的にも コレクティブにおいても 大変 偉大であると絶えず 耳にするのを望みます しかし この偉大さは 支配することあるいは誇示することによる ものではなく 内側から来る偉大さです 人はあなたを見て 何かであると知ります そのようにして サハジャ ヨギは広がります あなたの中で 目覚めるべきはキリストです 導くのは あなたの中のキリストです 他者に対しての 振る舞いや 信用をどう得るか あなたの中に流れる 愛と平穏をどう与えるか 幸せで 喜びに満ちた者に どう変えるか教えるのは キリストです これが 復活のメッセージです サハスララを貫く メッセージです デヴィ マハトゥミヤムでは この卵について 大変驚くべき形で 明記されています いかにこの卵がつくれ 二つに分けられたか 内一つから キリストが生まれました もう一つからは シュリ ガネーシャが生まれました 全て記されています しかし キリストは マハヴィシュヌとして記されています ですから マハヴィシュヌとなって これら全てを すばらしいこと全てをします 真のメッセージであり キリストの人生が 美しく書かれています これを思考のない状態で 意識することができます その光を 人生を通して 表さないといけません 私たちには それが可能で 自身の内でのみ 私たちは全く完全であると 世界に 示さなければなりません 私たちは他から 何も望みません 自分が得たものを 他の者にあげたいだけです 人々はそれをあなたに 全てのサハジャ ヨギに見ます 皆さんに 神の祝福がありますように キリストのことを考えると 起きている状態でののは 難しいようです キリストのことを考え 彼のことを話す時 現代において 起きている状態でののは 難しいようです 人は 彼のような偉大な者 偉大な人格を 全く 理解できなかったからです 彼は神聖でした 完全に神聖でした それにも関わらず 演じました 苦しみを経験しなければ いけませんでした いかに 自分自身を 十字にかけ いかに亡くなったか 思い出すだけでも 心が痛みます しかし大事なことは あなたのために したということです 全て彼のおかげです クンダリー二の覚醒を助け 大脳辺縁系を 突き抜けることができたのも 彼の働きでした キリストの犠牲がなければ これら全ては不可能でした あなたはその犠牲を 受けるに 値しなければなりません 起きたことは 大変象徴的です あなたは 人類の解放に できるだけ 犠牲を払う準備が常に できていなければなりません 今の時点で 真実の探求を忘れなさい 全てを忘れなさい あなたが聖人であると 常に覚えておくことが 必要です あなたは キリストの犠牲によって 祝福を授かっています 大変重要です 神の祝福がありますように

1998-0816, Shri Krishna Puja

[View online.](#)

Shri Krishna Puja. Cabella Ligure (Italy), 16 August 1998.

今日 私たちは シュリ クリシュナ プージャ をします シュリ クリシュナの 力において 大切なことは あなたに 目撃する状態を 与えてくれることです なぜなら 今日が カリ ユガの時代にあり 価値観における 完全な混乱 あらゆる混乱が 大変複雑な状況を 生み出しているからです 目撃する状態は 瞑想を通してのみ 可能です 思考のない意識状態に 到達します それらは 合わさったものです 目撃する状態とは あなたがただ 反応しないという状態です 反応すれば 問題は起こります 容易に分かりますが 私たちはエゴや コンディショニングで反応しています そうでなければ 何の反応もありません 例えば ここに 美しい絨毯があるとします 私にエゴがあれば それを見るなり どこからそれを 手に入れたのか それにいくら払ったのか 考え始めます これは最初の反応です それ以上反応すると 怒りが沸くかもしれません なぜすばらしい絨毯を置くのか ここに置く必要はあるのか このように 次から次へと出てきます コンディショニングで 私が見るとすると この色はクリシュナ プージャに適していない このプージャのために 他の色にすべきだったと言うでしょう 次から次へと このようなことが起こります つまり コンディショニングが 私たちの中にあります 私たちの コンディショニングの問題は 全て本当に ひどいものです 例えば “人種差別”です アメリカで 人種差別があります 強く感じられます 彼らは口にはしませんが イタリアから行けば 感じます インドから行っても また感じられます なぜこのような 人種差別があるのでしょうか 理由は何でしょう 異なる共同体や 表面的な違いだけの 肌の色に対して なぜこのような ひどい憎しみで 反応するのでしょうか 合理的に説明すると “ああ 神よ” “彼らは全く 役立たずである”とか “私たちの国にやってきて 私たちを” “困らせている”と 言えますが 全てコンディショニングです 彼らが 移民のことを話すなら アメリカ人は皆 移民であると 解らなければいけません アメリカは決して 彼らの国ではなかったのです 彼らが北米先住民を 皆追い出し 土地を奪い 平然と アメリカの領主となったのです その反応は 白人でない者は誰でも 誰でも非難され 苦しむべきだ というものでした もとから暴力的なら 暴力をする コンディショニングが出てきます そして互いに 殺し始めます 彼らは冷酷にも 多くの人を殺しました どの国においても 彼らには権利があり 皆殺しにし 自分の土地ではないものでも 奪って良いと 考えているのです 土地は 誰のものでもありません その国に属さない者が そこにいる人たちを 追い出す権利は どの国においてもありません 昨日は インドの独立記念日でした そして 私は 自分たちの国旗が 上がって 英国の国旗が 降りていくのを見ました それは苦闘の末 人々のあまりの 苦しみを経て 起こったことです なぜなら 彼らは インドにうまく上陸し 支配者になったからです ですからこれも 一種のコンディショニングです それは 集合性をおびています 誰の国でも入り込み その者達を追い出し その場所を支配し 主人になるのです それはまるで 誰かの家に行き そこに住む者達を 追い出し 自分が家主として うまく居座るのと同じです 彼らは恐らく より知的であるか悪賢いのです その悪賢さで 白人が黒人を 支配できると思うなら 目撃する状態は 発達することができません ですから このような コンディショニングは 疫病のようなもので ある国から別の国へ渡り 自分たちの方が 勝っていて 彼らの方が劣っていると 感じさせます またその人たちも 同等であるのに このような地位や状況を 受け入れてしまいます 今回はアメリカ人が 主催者なので アメリカの例を挙げます クリシュナが 統治者だからです クリシュナは アメリカの統治者です 彼は色黒で 肌の色は黒い方でした 彼が支配するその国で もう一つ 気づくべきことがあります 彼らは気づいていません もし全ての黒人や 全てのアジア系の者が 国から出て行ったら 彼らはどうなるでしょう スポーツの大半は 黒人が活躍していて アメリカのスポーツを見るなら 99%は黒人です 音楽を見ても黒人です 色が黒いけれども・・・ 悪いことではなく 白人がいるように 黒人もいるのです 彼らには白人にはない 素晴らしい声があります どんな白人でも競うことが できない程 素晴らしく歌います 肌の色に 完全な公平さがあります すべての アジア系の人を 除くとしたら すべての 医師 看護師 建築家 すべての会計士は 消えてしまうでしょう 誰が残るのでしょうか 肌の色は あなたの 知性や価値観 あなたのスピリットと 何も関係がないことを 理解しないと いけません スピリチュアリティを 得る為にここにいます スピリットは 肌の色を理解することは できません 上辺だけのものだからです 肌の色のために 人を非難することは 大変残酷です 同じ反応が 起こっています どの行動にも 反応があります 何が起きているか というと 黒人が 反応しているのです 反応していて その反応は大変危険です 毎日のように ひどく反応が 起こっています アメリカだけでなく 世界中で 支配に対し 立ちあがって 反応しないと いけない と考えています 異なる色の人種 少数のアジア系の人 ほとんどは黒人ですが 自国でグループを結成し 互いの喉を 切り合っています 残酷な殺しを テレビで見たことがあります 肌の色の違いは 私にはよく解りません グループを結成し グループで殺しにいたり 殺しにきたりします カウラヴァスと バンダバスではありません 二種類の人ではないのです 全く逆です ネガティブなものと ポジティブなものではありません 白人であろうと黒人であろうと それらは皆ネガティブで 互いに口論し合い 戦い始めます この暴力は 大変大きくなっています

暴力が自分たちを表現する 唯一の武器であるかのようにです どこかで 何かが起これば 爆弾を爆発させ 多くの罪のない人々を殺しています それは 大変 罪深いことです 小さな暴力でさえ 罪深く シュリ クリシュナの目から見ると このような暴力は完全に 罰せられるべきものです これは工ゴから来ます 人は何らかの 党派に属していて 別の党派を殺すことができると考えます そのようなおかしい 考えが入ってきます 他の者を殺す権利がある と決めつけます ある者はこれが憎しみから 来るというかもしれませんが 憎しみは 工ゴから来るものです 工ゴが作用し始めると憎しみのようなものを 全て集めてしまいます 支配欲 怒り 暴力 これらすべては 彼らを盲目にする 工ゴから来ます暴力を振るったり 人を憎んだり 他の者を殺す 必要もないのに 工ゴがそこにあるので 盲目的になります “マザー どうやって工ゴは起こるのですか” もちろん ほとんどは 反応することで起こります あるいは コンディショニングによってです 子供の時分 これらの人を憎むべきだと 彼らは間違った者達で 悪い者達だと教われれば 憎むようになります 大人になるとその憎しみを表し始めます サボテンのように 大きくなり 他の者を殺します 人間の このような振る舞いは 正当化することはできません 人は人間的な資質を 持たなければいけません そして それは ただ目撃すること 反応しないことを学べば可能になります 例えば あなたは 二羽の雄鶏が戦っているのを 見るのを楽しみます 二羽の雄鶏の戦いで一羽が死ねばとても喜びます あたかも死んだ鶏が あなたの両親を殺したかのようにです とても驚きます スペインでは闘牛がまだ続いています 毎年六頭戦い 闘牛場にはここにいるより 十倍の人が来ます 常に満席です 女性でさえ 闘牛を楽しみ 闘牛が殺されなければ 道に放し人を殺させるのです このような 暴力的な快楽が 人々の心に 入り込んでいるのです 博愛主義を唱え 平和を唱え 歓びについて語る者達が このような暴力的な行動を まだ楽しんでいるのを見るのは大変悲しいことです 彼らは実際やっているか それらを見たがっているかのどちらかです 残酷な暴力性を帯びた映画を見に映画館に行き 人々はそれを楽しみます そのような映画が 次々と作られています 目撃する状態に入れば 目撃する状態に あなたがいれば そのようなことが 起こったとしても 静まるでしょう あなたが目撃する状態のレベルにいるなら 目の前で事故は 起こらないでしょう 事故が起こったとしても あなたは人を救うことが できるでしょう 大変積極的に人を 助けることができます これは小さなことですが 大きな規模でも 何か素晴らしいことが できるでしょう 思い出しますが 私がまだ若い頃 私たちは大臣の 近くに住んでいて ある時 ストがあり 彼らはマハラシュトラ州の独立を主張していました そこには警察が立っていて 治安当局の大臣の命令で そこにいた皆や道行く人に 発砲し始めたのです 射撃のゲームを 楽しんでいるようでした 私はこれを目の当たりにして 耐えきれずそこに行き 警察に止めるよう 頼みましたすると 驚くことに 止めたのです 傷ついた人々を家に運び 弾を取り出し救急車を呼び 人々を助けました ひとつ言えることは 私が目撃する状態にいた ということです あなたは 恐れのない者になります 一度 あなたが 目撃する状態にいることを学べば 全く恐れはありません あなたが 目撃していない時は 動揺したり 憤りを感じたり 興奮したりするからです 間違った人たちの仲間になるかもしれません しかし あなたが 目撃する状態でいれば それ自体が力となります そして目撃することが他の者の多くの困難を 乗り越える助けとなります 聖人についての 中国の話があります ある王様が彼のところに雄鶏を持ってきて 勝てるように仕込むよう 頼みました 彼は承知し 一ヶ月 預かることにしました 闘鶏が 始めると 雄鶏が様々な所から出てきて 戦いが始まりました この雄鶏はただ立ち上がり 目撃し始めたのです ただ目撃していました他の雄鶏達は 恐れを抱きました 他の雄鶏達は この雄鶏が微動だにせずただ目撃していることが理解できなかったのです。彼はただ立っているだけです。何もせずにいるだけです 闘鶏場から皆消え 彼が勝者となりました これが非暴力をもたらす 最善の方法でしょう 暴力的なところに出向き 起きている全てに向き合っ てじつと立って見ます すると その目撃する行為が そこで起こっている 暴力的なことを抑えるでしょう しかし 目撃する状態とは 精神的な状態ではありません それはスピリチュアルな 上昇の状態です 目撃者となります 目撃する状態を得る 最善の方法は 誰も批判しない ということです 常に他の者を批判する人がいます 彼らは自分自身を 批判できません ですから あまりにも他の者を批判し始めると 自分自身のことでさえ何がおかしいのか 他の者に対してどのように 悪いことをしているのか見ることができません なぜなら他の者を批判する 権利があると思っているからです それに 批判することを 大変楽しんでいます 実際 批判することは 何もありません ただ自分自身を見てみなさい それだけです あなたの権利です あなたには他の者や他のことを 批判する権利は全くありません しかしある者は 批判しなければ 事はそのまま続いて 決して終わらないだろうと思うのです そうではありません そのことを一度自分自身で見ます あなたのアテンションを見ます アテンション自体すでに啓蒙されています その啓蒙されたアテンションで あなたは見るができます 無意味なことを 止めることができます しかし私たちは 常に自分達が何か 偉いという意識を持っています そしてこれをしなければいけない あれをしなければいけないと考えます このような状況で 何が起こるかということ あなたがまた 問題となるということです 何ができますか 何もできません あなたができることは 目撃することです 見ること ただあるがままを見ることで あなたは大変違った状態に 発展できます まず初めに 目撃できる人は おもしろいことに 忘れることが少ないです 彼らが見るものすべてを 写真のように捉えるからです 色や組み合わせを 言うことができます 彼らが見るものすべて まるで写真のように頭に残ります そして その記憶は失われません 自分が見たものを

正確に言うことができます一方あなたがすべてにおいて反応するなら あなたの記憶は ひどいものになります
おまけに人々は反応するという ことに対して癖になっています 私が知っている 一人の男性は 反応する癖がありました
車で一緒でしたが 彼は 広告を どの店の名前 人の名前をすべて 読んでいました これは何で あれは誰でと話していました
たくさんしゃべっている この男性を見て 彼はどうなるのかと思いました 常に反応する者は忘れがちに
大変忘れがちになります しかし このような人は それだけではありません 彼らが集合体になると 大変危険になります
なぜならそのような性質で 何かをするわけですから 彼らは何かをしないといけないと思うのです
つまりある目的で一緒になっています 彼ら全員がつくりあげたある反応で 一緒になっているとも言えるでしょう
小さなことでも 大きなことでも このような行動にでる者達は 多くの者を集めることができ 他の者に
どんな害も与えられるのです ヒットラーのことが 目に浮かびます 九年間もこの男は
ユダヤ人のどこが間違っているのかと見ていました 彼はドイツ人が 何をしているのか 彼らの社会のどこが
おかしいのかは見ません その当時 社会も大変ひどかったのです なぜなら様々な 淫らな行為があったからです 彼はユダヤ人が
このようである 彼らはこれをしてお金を取り お金を貸すといった 様々なことを 書き留めていました そういったことを
頭に入れていき その結果 こういった人々はドイツから出ていくべきだ と考えるに至ったのです しかし その後
彼はユダヤ人がドイツから出ていっても なお彼らは繁栄するだろうと考え それなら殺してはどうか と考えました つまり
映画ですら 見られないような類のことを ヒットラーは行いましたし 彼は何のためらいもなく まるでそれが大いに
楽しみであるか 彼の責務であるかのように 行いました どうやったら何千もの ユダヤ人を殺害するような
責務を負えるのでしょうか

1998-1025, Diwali Puja, Expression of Love

View [online](#).

Diwali Puja, Novi Ligure, Italy, October 25th, 1998

今日ディワリ プージャのために 皆さんに会えて嬉しいです ポルトガルで行う予定でしたが ここになりました ディワリ プージャは小さなものですが 極めて意義あるプージャです まず ディワリでは初日に 家族のための何かを買います 何か料理に使うものや 奥さんに宝飾品などです その日が主婦の日で 主婦に敬意を表す日だからです その結果 インドでは 主婦がとても尊敬されています 実際は 世界中で 尊敬されています 政府の祝賀会でも 婦人がどこに座るかが 大切にされます 今日先進国においても 特別な尊敬を集めます 主婦は学もなく 素朴で 現代的ではないかもしれません ロンドンで プログラムをした際 私たち政府の代表が 招かれましたが 団長の奥さんが 見つかりませんでした “席はあるのに 彼女はどこでしょう” と訊かれました “分かりません この辺りにいるのでは” 会が始まる前に化粧室に行ったら そこで座っていて驚きました “何をしているの 皆待っていますよ” 彼女は“座っているように 言われました” 私は外に行き “あそこに 座っていますよ 呼んできたら” “あれが奥さんですか?” “もちろんです” “事務員かと思いました” “なぜそう思ったの?” この女性はモダンな スリットの入ったドレスを着ていたので 秘書官だろうと 思われたわけですから 待合室で 待つよう言われました 主婦であれば キチンと立派な服装をすべきで 事務員や秘書のような 格好をするべきではありません 主婦が最高位だからです ですが彼女はパーマをかけて お金をかけて着飾ってきました のに可哀想に 待合室で待たされることに なるのです 主婦とは 家の威厳なのです それどころか 国の文化や国自身を表す存在です その国の文化を 表すのです 最近のインド映画では おかしな格好をしています が そんな格好をした主婦は 見たことがありません 映画だけです 社会が強固で 主婦はキチンとすべきと されるからです キチンと 威厳を保ち 品のある振る舞いをしなければなりません 逆にインドのシャハストリ首相 の例があります 妻はシャハストリさんが投獄されたので 学校にいけず 学がない人でした 素朴な 普通の女性でしたが フランスへ行きました 当時フランスの大統領はド・ゴールさんで 奥さんも素朴な人だったのです シャハストリさんは妻に“親友の ド・ゴール婦人と別れる時泣かないで” 彼女たちはお互いにフランス語も ヒンディー語も知らないのに 二人は大親友になったのです 結局旦那さんに泣かないように と言われたけれども 結局 帰り際に 泣きだしました シャハストリさんは “泣かないように言ったのに” 奥さんは “彼女が先に泣くもんだから” そうやって主婦同士で分かり合い 連帯ができていったのです 共通の問題があるのです 子どもや夫を丸々世話しているからです 主婦の問題は 同じだということです 主婦は小さなことを よく知っています 少なくともインドの男性は何も知りません 地に足がついてないと思います 女性のほうが理性的で 細かいことにも良く気づいています 面白いことに 男性は日常の問題ごとに 関わっていないため 可笑しい間違いをしたりするのです 一方では 主婦は生活に関わり 他方では 家族や子どもを世話します さらに社会に対しても 責任があります 世間を維持しなければなりません 女性に分別があり 成熟した国では 社会や家庭 子ども達が 極めて良くなるのは驚きです この意味でインドは 良い国 良い社会です これはグルハ ラクシュミ である主婦の 文化における 重要な働きのおかげなのです これは インドではよく見られ 主婦が とても尊敬されています なのでサハジャの文化でも 主婦を尊敬することが最も大切です でもそれは夫を支配して 喧嘩したり 困らせるようなことを 意味しません 社会において主婦が 重要な役割であるということです 彼女は女神のように 扱われるのです でも 彼女も 女神に値すべきです 彼女をドアマットのように扱えば 子どもたちは尊敬しないでしょう 適切に尊敬しなければ 子どもたちも母親を尊敬せず 子どもへの影響力がなくなるでしょう 母親が尊敬されないと 子どもたちは我がままで 支配的で怒りっぽく 協調性のない子になってしまいます なので今日 13日目の ダンテラスの日には 主婦に何かを プレゼントするべきです 少なくともポットか 何かキッチンで 使う物をプレゼントして 敬意を表すべきです 母親が尊敬されない家庭では 子どもが問題を起こし 結婚時など家族の皆が 大変な思いをします 男性は妻を尊敬しなかったことが 間違いだと気づくべきです 子どもの前で怒鳴ったり 敬意に欠けた態度を見せれば 子どもは母親を 尊敬しません 何も欲しがらずに あなたや その家族を世話している女性に そんなことをするのは 罪なことです 女性がどれほど問題を起こすかは 政治を見れば良いのです 政治に参入すれば 男性たちを皆おかしくします しかも一人の女性の 特有の考えによってです 彼女たちの領域は 家庭にあるからです しかも一人の女性の 特有の考えによってです 彼女たちの領域は 家庭にあるからです 女性が家庭で尊敬されないと 外へ出て 突飛な振る舞いをします 忍耐も苦勞も多いけれど 家庭で主婦は尊敬されるべきです それがとても大切な グルハ ラクシュミのメッセージです 2日目はナラカスラという ひどい悪魔が成敗された日です これはシャクティの力によって なされました ナラカスラは多くの人を苦しめ ずる賢いことをたくさん行ってきました とても狡猾でずる賢く 誰も殺せませんでした そこで特別な力が地上に降りてきて ナラカスラを倒したのです ナラカスラの成敗は 4日目でした

その際に地獄の門が 閉じたとされます なので人はその日は 早朝にシャワーをしますが 地獄の門が開いている時に水浴びは良くないと思います むしろ 彼が地獄に 落とされるまで寝ていなさい ナラカとは地獄(奈落)を意味し 彼がおびき出されて殺されます 最後が一番良い日で シュリ ラーマと弟のバラットの再会です シュリ ラーマは父親の命で14年間森に追放されていました ある意味 投獄されていたようなもので 城での生活から森での大変な生活に妻や弟と共に追放されたのです ラーマーヤナの話は ご存じですね 城で生まれ育った子どもが 王になることなく酷い生活を強いられて あんまりです でもシータが同行して 彼を支えました でも結局シータすらもラヴァナに誘拐されてしまいます そしてラーマはラヴァナと戦い 殺して妻を取り戻すのです 都アヨッディヤに帰還したときは 大きなお祝いでした 弟のバラットは 兄が大好きで 国を治めるにも兄のサンダルウッドのサンダルをおいて 統治したと言われています それを王座におき 統治しました バラットミレンといわれる バラットとシュリ ラーマの再会が祝われ シュリ ラーマが 王として戴冠されます 何千年も前の古い話です この祝祭は意味深く 善き王が王座につき統治する という意味があります 彼の経験した不正や残虐な行いが全て終わるという意味で ディワリは重要です 最終日は 女神ラクシュミを崇拝します 彼女の恩恵でこれら全ての出会いが 可能になったからです 9種の色々なラクシュミが私達に 宿っていると以前お伝えしました ラクシュミ プージャでは ラクシュミ自身を崇拝します 金銭ではありません 金銭の崇拝は間違っています 私達のもつ金銭や富をラクシュミとして 注意深く使うべきだという意味です 彼女は流動的なので お金も滑り落ちることがあるからです 反対に ケチになってもいけません ラクシュミは けちな人を好みません でもお金を使うなら 正しく使うべきです ラクシュミは原初の海が 攪拌された際に創られ 4つの手を持っています ひとつは与えるためです 彼女は気前よく与えます そして別の手では祝福します 片方で与え もう片方で祝福します 大切なのは誰かに何かをあげるときに その何かというより 祝福を与えることです 金銭だけでなく 祝福を与えるのです 残りの2つの手には ピンク色の蓮の花を持っています ピンクは愛の色で お金を持つ人は 愛に満ちた家を持つべきです 客人は誰であれ 尊敬されるべきです 神のように 扱われるべきです インドでは外国人は 神のような存在と考えられています ここでは悪く扱われますが インドでは尊敬を表します 神のようです あなた達もインドで受けた 歓待を覚えていますね これがインドの文化の基盤で 客人であれば 神のように扱われるのです 別の国なら 全くの反対で 外国人なら話すことも憚れると思われ どのようにそんなメンタリティに なったのかわかりません でもサハジャ ヨギ達は 違います 彼らはお客を歓待し 良く面倒を見て 美しく連帯していると聞きます これが蓮の花の意味で 愛に満ちた家というものです 身体に刺のある カブトムシですら 蓮に止まると内部に招き入れられ 心地よく眠ります カブトムシすら 邪魔されません 富める者は このように人を扱うべきです でも世間では金持ちは カブトムシのようです 刺だらけで人を侮辱したり 自分のことばかり考えています ラクシュミとしての金銭を得ることで 悪魔的になるというのが驚きです 彼らが他人をどう扱うかは 更にそれ以下です これらが女神の姿の意味です なによりも蓮の花に立っています 誰にも圧力をかけません 自らで存在します 誰にもプレッシャーをかけません 自らの脚で立ち 威厳をもって自分の体重をバランスしています これこそが ラクシュミのあるべき姿です この作用で経済やその他の危機に陥った国が発展していくのです 人民が楽しむでしょう お金を楽しむのではなく いわゆるデザイナーズブランドなどの高いものを持つと思うのは 攻撃的な考えです デザイナー達は ラクシュミに反しています あなた達のお金を巻き上げて無駄にさせるのです 人は異性関係や飲酒といった 無駄な習慣に走りまわります ラクシュミの本来の恩恵といえるようなことはしません なので誰かに何かを贈るときには 心から贈るべきで それがラクシュミのプラサードになるべきです でなければ誰かに プレゼントを贈る意味がありません とても狭い見方で 贈り物をする人がいます それでも 贈ろうとするのです 日本では 大きな贈り物をします ところが開けていくうちに 結局マッチ箱サイズになったりします そのマッチ箱の中に 2つのマッチ人形の ようなものが入っています “何でこんなに大きな包装を するんですか”と驚きました でもとても素朴な民族です 日本に行った時には雨の日でも行った先々で 贈り物を頂きました “何故こんなにくれるのでしょうか” と尋ねました “彼らはあなたが王族と思っています” “何でそう思うの?” “あなたが美容室に 行かないからです” “本当に?” “日本の皇族は美容室に行かないんです” “それは知らなかった” “それであなたが 王族だと思ったんですよ” 彼らが美容に関してどんな考えを持っていたか 想像してみてください インドでは女性はキチンと 髪をとかしていなければなりません 彼女はヒッピーみたい ではありません ここにはまだヒッピーを信じている人がいて そういった髪型をしています 女性は社会で 大きな役割を果たします 着るものや行く場所など 子どもは父親よりも母親から 影響を受けます 父親の方が影響力がある 場合もありますが 洗練されたものは 全て母親から受け継ぎます なので衣服や生活スタイルの理解は女性によります ロンドンにいるインド人のヨギニに 今の流行を訊いたら マラティ語で “ジブレヤ”と答えました 前髪をこうすることで インドでは母親に “ジブレヤをどけなさい”と言われます 前髪をこう被せていると斜視になるからです でも前髪を目まで伸ばすのが 流行っているようです これが流行りです 今は皆 品のある人でもそうして しないのは サッチャーさんぐらいです どう逃れたのか わかりませんが 女性は誰かの真似をする

必要はありません それは卑屈です 流行っているからといって 何故するのでしょうか 流行を作る人の術中にはまるのは馬鹿げたことで あなたが依存的だからです 自分の個性や 理解の上に立脚しなさい 自分の見かけを 台無しにするのでなく 威厳と理解をもって 良くしていくようにしなさい これは女性に より当てはまります ラクシュミ プージャは 女性向きです 女性がいかにあるべきかに 関するものです 私は女性は男性よりずっと 威厳を持ちなさいといつも言ってきました 男性は馬鹿かもしれませんが いいのです 女性が威厳と分別を 持たなければいけないのです よくご存知のように 男性はよく解っていないのです 可哀想に 大学の勉強しかわかりません 実際的なことになると 何も解っていません だからそれで 気を悪くする必要ありません 男性達が“自分はあれもこれも 知ってる”と言いながら 何も知らずに間違えるのを見てると面白いでしょう でも男性は“知りません”とは言いません そいいう性質だからいいのです それは別に何か意味があるわけではなく 単に分かってないだけだから 芸術や美的センスについても 男性はどこか抜けていて 大して知っていると思えません 可哀想に ある種の服を手にとると ずっとそれで通します いつも同じようなスタイルの服を着ていて 他に欲しがりません でも女性は芸術的です インド女性がサリーをやめて ジーンズを履いたら農村部はどうなるでしょう 内職でサリーを作ったりして 生計を立てているからです なのでインドにそういった 洋服を紹介するのは無理です 学校ではあっても 結局は好きなサリーに戻るでしょう サリーはこれからも 続いていくでしょう それぞれが個性的で とても美しいです 芸術やアートに関しては やはり女性の方が優れています 男性が分からないのは 構いませんが 女性は家の中を 完全に綺麗にするべきです 蓮の花のように 居心地よくしなさい でも家事に関して独裁的な ヒットラーのような女性もいます “こうでなければダメ”と 男性の生活を惨めにします 自分の家でいつも新聞を 持ち歩く男性がいました “こうでなければダメ”と 男性の生活を惨めにします 自分の家でいつも新聞を 持ち歩く男性がいました なぜ持ち歩くのか 尋ねると “新聞を敷いて座るんです” “何故?” “ちょっと汚しただけで 妻に怒られるから” “どうして?” “彼女は何かが汚れるのが 嫌いなんです” “とても細かいので 新聞を敷いて座ります” “やり過ぎです” と言いました 彼は“あなたもやったほうが いいですよ”というのです とにかくやかましくて 病院よりひどく そんな家に住むのは 無理です このようにとても細かく 几帳面な女性もいるのです でも普通女性は親切で 家族や皆にもとても好意的です これはとても大事なことで 私には大家族がいて 皆が兄弟で 一人ひとりが大切なのです だれもが違った香りの個性的な 人格を持っていて 素晴らしいです 違いにもかかわらず 皆がお互い好意的に 楽しんでいるのが素晴らしいです ロシアでは特に女性が 非常に気立てがよく かつユーモアがあって 何でも楽しんでいます 驚いたのは彼らに 二千人分の贈り物を持って行ったら 一万六千人もいたのです どうやって 贈り物をあげましょう すると一人の女性が ネットレスを外して “これをあげましょう イヤリングもあります”と言い 何ももらえなかった 男性をからかっていました とても楽しんでいて よく解っています お金に恵まれなかったのが 逆にスピリチュアルなのです スピリチュアルな女性は物に執着せず 自分の威厳を保ちます そしてスピリチュアルであることを 態度で示します これはとても素敵なことです 例えば日本に関して ちょっと変わっていると言いましたが その日本に行った時 建造中の建物のデザイン タイルを気に入りました “一つもらえませんか”と言うと “いいですよ あとで船に送ります” そしたら大量の タイルが届きました “どうしてこんなに?” と船長に訊くと “全種類を持ってきてくれたようですよ” 信じられますか つまり 彼らの包装の仕方とは 違う面があるということです だから何かをもらった時に がっかりせずに 込められた意味を 理解するので 気づいていない素晴らしい意味が あるかもしれません どうしてそれをくれたのか 訊くとよいでしょう これが吉兆というもので ラクシュミの最高の性質です あなたの贈り物は何であれ 吉兆であるべきです 例えば子どもがイタズラで トカゲを捕まえてきてあげようとして 不吉なことでも教えられていないので そういうことをします 吉兆でないと教えないといけません 女神は喜びません 間違った物を持ってきてラクシュミを侮辱して はいけないと分からないといけません 知らないのであれば 学ぶべきです この意味でこれは デイワリに関係しています 最も素晴らしいメッセージは シュリ ラーマに王座が与えられた事です シュリ ラーマは 正義とフェアプレーの体現でした 私達の感謝の念や愛情は シュリ ラーマのような偉大な存在に 向けようと感じるべきです これはとても精妙なことです 分かろうとしなさい あげたくないのに あげてはいけません 贈るなら その人にふさわしいものを 贈らないといけません これこそがシュリ ラーマの 性格から学ぶべきことの一つです 彼が村の森で 老婆に合った時です 彼女は歯が全部欠けているような その地の原住民でした 彼女はシュリ ラーマに “ペール”と呼ばれる ある果物を贈りました “味見したら どれも甘かったです” “甘くないものをあげたく なかったから味見しました” “ちよっとかじったら甘かったら どうぞ食べて下さい”と 彼はすぐに食べました でも弟のラクシュマナは とても腹を立てました インドでは口をつけたものを あげることは不吉で やってはいけないこととされます でもシュリ ラーマは “こんなおいしい果物を 食べたことはありません” すると彼の妻が“私にも下さいな 私はあなたの分身なんだから” シュリ ラーマが彼女に渡すと “なんて美味しい 素晴らしい” 彼女が食べたので ラクシュマナも “お姉さん 私にもください”と 彼女は“この女性のことを 散々言っていたのに” 彼は“もう許してく下さいよ”と シュリ ラーマは 彼女の愛を ヴァイブレーションを この果物から感じられたのです だから奥さんにもそれが届いて その和に加わりました なんであれ愛をもってする ということです 愛をもってすれば

吉兆にすることができます でも愛がなく 何らかの企みが あるなら役に立ちません これこそが贈るということ シュリ
ラーマのような 偉大な神に贈るということです 彼女は愛をもって 彼にそれを贈りました そのようにあなたもとても素朴なら
何が一番分かるでしょう 今日でディワリはお終いです 改めてディワリおめでとう 栄えある新年を祈念します
神のご加護がありますよう！ このラクシュミは マハラクシュミになります それはお金の価値の理解が ある点に達すると
あなたは執着を 離れるということです すると新しい姿のラクシュミが現れます それがマハラクシュミです
それがあなたをより高みへ スピリチュアルな目覚めへと 連れて行く力です 豊かな国では どこでも真理を探求し
見つけたいという欲求が 出てくるのを見てください マハラクシュミの力が働き出し 真理を探求し その探求の中で皆さんは
サハジャ ヨガに来たのです なので マハラクシュミは大切です コラプールには マハラクシュミの寺院があり
地面から隆起したと 言われています でも彼ら自身何故 その寺院で ジョガワで “アンベよ 目覚めよ”と歌われたのか
知りませんでした アンベとはクンダリーニです 何故マハラクシュミの寺院で歌うのでしょうか
どうしてその寺院でクンダリーニを上げる “ジョガワ”が歌われたのか あなた方なら理解できます

1999-0925, Shri Ganesha Puja

[View online.](#)

Shri Ganesha Puja. Cabella Ligure (Italy), 25 September 1999.

今日はシュリ ガネーシャを 崇拜するために集まりました 皆さんは彼が力強い 神格であると知っています 彼の力は純真さから来ます 小さい子どもを見ると 自然と惹きつけられ 愛し キスし 一緒にいたくなります 子どもは純真です 非常に純真です 私たちが シュリ ガネーシャを崇拜するとき 自分が本当に純真かどうか 知らなければなりません 最近 人は狡猾になっています どんなに狡猾でも 気にしません 純真で素朴な者に対して 狡猾になります 常に自分を 正当化できます 現代 皆が狡猾なので 自分のすることを正当化します この狡猾さは人を 極端な右側にもっていきます それは大変悪い影響として跳ね返り 肉体的なあらゆる問題が 生じる者もいます 例えば 手が麻痺したり 足が麻痺したり 肝臓に支障をきたします さらに心身障害を 引き起こすこともあります このような問題 右側の問題で苦しむ者は シュリ ガネーシャを崇拜すべきです 例えば 最近あなた方は 生活に忙しく 仕事に忙しく 普通より余分に 雑用もあります 偉大な仕事をしているとさえ 思っています 結果 シュリ ガネーシャを 疎かにし その者は冷淡になるか わがままになります どちらかになり 自分を見失います サハジャ ヨガにおいて 中庸にいさせるのは シュリ ガネーシャのプージャであり シュリ ガネーシャへの崇拜です それによってあなたは 常に中庸でいられます このような右側の問題はシュリ ガネーシャのプージャで治せます シュリ ガネーシャの崇拜には 様々な方法がありますが 一番簡単な方法は 彼を心におき彼の写真の前で ヴァイブレーションを受け取ることです 自分のバランスをとる 最良の方法です 多くの心配事や葛藤があります 全てシュリ ガネーシャによって なくなります 彼は純真ですが 非常に賢いです 彼の助けが来ると 驚くほどにワークアウトさせ 全ての障害 心配事を取り除きます なので私たちにとって 重要な神格です シンプルな神格ですが ムラダーラは大変複雑です 最も複雑なチャクラだと 思います 多くの起伏や区画があり 絶えずヴァイブレートされ振動しているからです それを 落ち着かせるには シュリ ガネーシャに完全に 献身的でないといけません シュリ ガネーシャはキリストとして化身しました キリストも 大変純真でした 純真でなければ 十字に架けられませんでした 人の狡猾さを見れる狡猾さはありませんでした 裏切った弟子が誰か知りながら 口にしませんでした 彼の人生を見ると 純真の美しさに満ちています 彼は素朴な心の 持ち主で 素晴らしい人格で 間違ったことを見れば それに対して戦いました シュリ ガネーシャも 同じです シュリ ガネーシャの恩恵は 特に何か障害やサンカタ を抱える者にとって重要です 彼はサンカタ ヴィモチャナ と呼ばれ 生きる上で 障害を取り除く方です あなた方の多くは 様々な問題や障害 大変困難な時期から 救われた経験をしています うまく対処させるのが 彼の特徴です ガナパティだからです ガナパティとはガナの最高神のことで お話ししたように ガナ達は私たちの中に存在します 小さな小さな体として 存在し 何か問題があれば 脳に報告します 胸骨には女神ドウルガの 玉座とも言える住まいがあります 私たちに問題や困難が生じれば 胸骨が 振動し始め ガナ達が 情報を得ます 医学用語で 抗体と呼ばれています これらのガナ達が 攻撃します 問題に的を定め 攻撃します 疾病に苦しむ者だけでなく 精神的に動揺したり 苦しんでいる者も助けます ガナ達は問題に的を 定めるのが上手で いかに関与するかに 驚くほどです 例えば ある子どもに 何かあったとします 両親はお母さんに すがり泣いています お母さんが ドウルガだとします すると彼らが そこにかけつけ その子を奇跡的に 治します あなたの人生に起こる多くの奇跡は説明できません それらはガナパティの ガナ達によって起こっています ガナ達は 大変小さく活発で 注意深く 決して寝ません いつでも問題があれば そこに行きつけて攻撃し 問題を解決します いかに関与し 効くか 信じられないほどです 沢山の例を 挙げることができます 男の子が 溺れたことがあります アメリカのあるアシラムの プールで起きました 子どもははしゃぎますが 危険なのであまり好みません 一人の子が落ちて 中に 15 分から 20 分いました 皆 落ちたことを 知らず その子の行方を 探していました どこにも見当たらず ようやく 水中にいるのを見つけました 怖くなってマザーに 皆でお願いしていました 驚くことに私は 一度も電話をしたがありませんが この番号にかけるように 言いました 私は誰の番号も 知りません 電話をかけると リーダーの一人が出て 男の子のことは分かっています 助かりますと告げました 誰からも 聞いていませんでした "全く大丈夫です" と伝えました 水から引き上げられると 医者だけではなく ヴァイブレーションでも働きかけました 今日 その子は大丈夫です 医者は"助かったとしても 一生昏睡状態だろう"と言ってました 今回アメリカで その子に会いました このようなことが 多く起こりますが これはあなたの恩恵ですと 人は言います ある意味そうかもしれませんが シュリ ガネーシャのお陰です 彼のもう一つの本質はお母さんに 従順であるということです 彼はシヴァやヴィシュヌ 他の誰も知りません 彼にとって お母さんがすべてです ですから父 シヴァとも 誰とでも戦えます 完全にお母さんに 従順で 母の望みを 大変素早く理解し ワークアウトさせます 彼のやり方は純真で シンプルで子どものようですが 彼のすることは すごいです ガナ達も 大変純真ですが 特定の問題を 攻撃するように言われれば 大変すばやく 迅速です もう一つの要素は 純潔を人生の中で最も大切に する者に敬意を払うことです 彼は 純潔を好みます

女性だけでなく 男性に対してもです リアリゼーションの後は 完全に純潔でないといけません 目をあちらこちらにさまよわせてはいけません 若い女性や男性に 色目を使って 純潔を 汚してはいけません 目は清らかでないと いけません 思考もです そのために内省し どんな間違いを犯しているか いかにも不純な振る舞いを しているか見ます 正さないといけません

そしてシュリ ガネーシャに 許しを請います 許しを請えば 彼は何でも許します 大変純真で美しいので あなたを許します とても大切なことです 私たちの徳は 純潔感から成り立っています 様々な宗教が 純潔について語っていますが 宗教は無意味になっています 全く基礎がなく 彼らのために記されたことも 実行されていません 彼らはあらゆる 好きなことをし ヒンズー教徒 イスラム教徒 キリスト教徒と自称します 現に宗教は 墮落しています それゆえ シュリ ガネーシャは 彼らを咎めます シュリ ガネーシャの もう一つの特徴は 彼が母なる大地によって 創られたということです 彼がある国の者達を 好まなければ 例えば 黒魔術や原理主義 ひどく不道德な 者がいたら 彼らに 問題を起こします 彼が母なる大地に 地震を起こさせるように言います 地震は純潔を 尊重しない者や 原理主義や 黒魔術を崇拝する者が いるところで起こります 彼の母を通して 攻撃されます 母なる大地も 理解しています 最近トルコや台湾で 大きな地震がありましたが サハジャ ヨギは 一人も死にませんでした 彼らを守ります 彼は分別があり この様な者のみを 滅ぼします 以前もそのようにして 多くを滅ぼしました 彼は母なる大地の力を 持っています つまり 彼には惹きつける力 があり 人を惹きつけます 私たちが子供に惹かれるように 彼に惹きつけられます これが彼の 惹きつける力です 驚くことに この力は 鳥にもあります 他の動物にもありますが 特に鳥です 向かう方向が 分かります シベリアから オーストラリアまで飛べます

そして戻って来れます 魚にもあります 例えば 魚は 上流から 下流に行き また戻って来ることができます 同じ場所に戻るには 方向を知らないといけません 彼らには 方向感覚があります また彼ら自身の特質を 備えています 例えば 蛇は蛇です 犬は犬です ライオンは ライオンですが 人間は全ての動物を 内に持っているのでしょうか しかし自分が何にでもなれると 認めるには狡猾すぎます 一度そうなると 人間であるのになぜそんなに 低俗になれるのか驚きます

生き方においてガネーシャに 敬意を払わなかったからです どんなレベルへも 落ちることができます 例を挙げると インドの ラトゥルで大地震がありました ラトゥルでは シュリ ガネーシャの 14日目の祝いの日でした シュリ ガネーシャを 海や川の中にお供えします ラトゥルである者達が シュリ ガネーシャの素敵な像の前で 踊り 奇妙な映画の ひどく低俗な歌を流し始めました あまりにひどく 耐えられないほどです それがシュリ ガネーシャを 怒らせました 彼らは像の前で そのように踊っていました 像を水の中に入れ 家に帰りました 彼らは酔っ払って踊りだし ジェイ ガネーシャと歌っていました その時 大地が揺れ 地震が彼らを 飲み込みました 皆 大地に 消えました 同じようなことをしていた者も 大地に飲み込まれました そこに私たちの アシュラムがありました その周辺も 素晴らしい土地がありましたが そこには 触れませんでした 広範囲に渡り その周辺を囲むように 大きな亀裂が 走りました アシュラムの周りの母なる大地に 亀裂が起こりましたが 誰も 傷つきませんでした 皆 家にいて 大丈夫でした アシュラムには 一切触れず サハジャ ヨギも 誰一人として 死にませんでした いかにもシュリ ガネーシャとガナ達に 守られているか驚くべきです なので ガナ達に 敬意を払わないといけません 彼らが内在し 作用していると 分かることが大切です あなたが どんな者か見えています あなたの間違った態度で シュリ ガネーシャを失望させても あなたをまともに 戻そうとします あなたに何度も 機会を与えますが それでも狡猾な 自己中心的な考えを持つなら 彼によって 大きく打ちのめされます あなたにとって 大きな災難です なのでシュリ ガネーシャを 崇拝しないといけません しかし 職人が作るシュリ ガネーシャ を崇拝しないように言います 職人がどんな者か 分からないからです 金儲けのため かもしれませんが 純潔でない者が 作ったかもしれませんが そのような者が作った物を 崇拝しても 助けになりません

このような理由で モハメッドは 偶像を崇拝しては いけないと述べています 作る権利のない者 によって作られるからです スワヤンブーではなく 母なる大地 から作られているのではなく 金儲けのために 模倣されたものです そのように店で買う 偶像は 如何なるものでも崇拝する 必要はありません ヴァイブレーションの悪い者 詐欺師や狡猾な者が作る物を 崇拝することはありません そのような者から買えば 害が及び 助けになりません 装飾品として置いても 崇拝するものではありません シュリ ガネーシャの 本当の写真はありません 母なる大地から出てきた シュリ ガネーシャが8つあります そこにいるプジャーリ 祭司は ひどい者達でした ある者を訪ねると 私は喘息で 身体も麻痺している 私も祖先も シュリ ガネーシャを崇拝していて なぜこのような 目に合うのか ”まず自分を内省しなさい” と言いました ”どんな人生を歩んでいるか” “シュリ ガネーシャの プジャーリに値する者か” 彼は気がつきました “治してあげます 後は純粋な者に なるよう努力しなさい” “狡猾で悪賢い者になるのではなく 純粋な人生を歩むようにしなさい” シュリ ガネーシャの引き起こす 問題は数えきれません どんなにあなたを阻み 困らせ 死へ近づけるか分かりません 彼は大変力強いです 彼の全エネルギーは 神聖な仕事を するために注がれるからです それ以外は望みません 彼の全エネルギーは そのためだけにあります シンプルなものしか 望みません ココナッツから 作られるモダカを食します 身体は大変精妙で 力強いです 彼は山を次から次へと 動かします 彼の気取らなさ 優しさ 純真さで 真に人を変えることができます 大変困難な 乱暴な者も 変えることができます 彼のシンボルは スワスティカです 時計回りの方向です 逆であるなら ヒットラーはそれを使って 初期の頃 大変成功を治めていました しかし彼らは 型版を持ち

逆方向に使い始めました 左側から 出ていました 彼らは 滅ぼされました シュリ ガネーシャのスワスティカは 大変威力があります スワスティカを左から右に見ると 炭素原子の形をしています 炭素原子には スワスティカがあり チャクラ全体が 炭素原子でできています チャクラを左から右に見ると オムカラが見えます 右から左に見ると スワスティカが見えます 下から上を見ると 十字のように見えます つまり ガネーシャがキリストとして化身したことを証明します 彼こそ世界中で 崇拝される者で デヴィ マハトミヤムに 卵から生まれ 半分はキリストに 半分はガネーシャに なったことが記されています しかし人はあまりに混乱して いるので理解できません 全て記載されていると 認識したくないのです ですからキリストを崇拝する者は シュリ ガネーシャも崇拝します あなたがキリストに言うことは シュリ ガネーシャに言うのと同じです 彼らは全く異なる 二人ではなく一人です 私がキリストに対して言ったこと全て 真実が見ることができす 証明できす 例えばキリストはこの二本の指を見せていますが 一本はヴィシュディ つまりシュリ クリシュナで もう一本は シュリ ヴィシュヌです つまり父であるシュリ ヴィシュヌと シュリ クリシュナを意味します はっきりと この二本を使っています なぜこの二本の指なのでしょう 父であるシュリ ヴィシュヌとシュリ クリシュナの方に向けていました 私の言っていることは簡単に分かるはずす シュリ ガネーシャのヴァイブレーション を見て 彼のことを想えば アギヤが開き 思考を超えた状態になることに驚くでしょう 彼はイエスで アギヤに内在するからです ですから開いていきます アギヤを詰まらせる愚かな考えはなくなります シュリ ガネーシャの名を 唱えるだけでアギヤが開くからです アギヤからくる狡猾さは完全に消えます もはや狡猾ではありません あなたの額にこの純真さを 見れば驚くでしょう これらの考えは 全て消えます 狡猾になったり 他者を 傷つけるようなことは考えもしません アギヤが完全に開く時 あなたは完全に変わります ムラダーラチャクラが整うことは 私たちにとって大きな恩恵です 地面に座ると より助けになります シュリ ガネーシャのお母さんは プリトゥヴィで 母なる大地だからです ですからこの母なる大地は 大切にしなければなりません しかし人は大切にしていせんし 母なる大地の真価を理解していません インドには 起床時に母なる大地に ナマスカーする文化があります これは母なる大地に足が 触れるため 礼拝します 母なる大地にそのような 敬意を持てば 現代に見られる開拓や 公害の問題は起きません 全て無知から起きています 大地はムラダーラとして内在する シュリ ガネーシャのお母さんです これを理解するな 何をすべきか分かるはずす 大地自体を 大切にすべきです 人は彼女を称賛し 美しくし 様々なことができますが 今しているような 開拓は誤った考えです 公害でもって 自分たちを傷つけています 金銭のために 母が育てた自然を 切り倒すのは間違っています 考え直すべきです 一本伐採すれば そこにもう一本植えないといけません 青々とした草木や全てが 母なる大地の美しさです 庭の手入れや自然に対して 全く興味のない者が多くいます しかしどうしてか 庭や自然に 興味を持たず生きています 自然は大変美しいです 自然をみれば 臭い汚れありません どの葉も陽光が浴びれるよう 体系化されています 対立もなく体系化 されていて 美しく 動物によって 滅ぼされることもありません 動物でさえ壊しません せいぜい草を食べる程度で 私たち人間が 母なる大地を壊しているように 動物は通常自然を壊したり 木を損なわせたりはしません 何であれ 大地に敬意を払うべきだと 理解しなければなりません 母なる大地は 最年長のヨギである シュリ ガネーシャのお母さんです 彼はあえてヨガの状態にならなくとも 常にヨガの状態です 最も偉大なヨギであり 常に正しいことをしています 彼は決して 間違ったことをしませんが 最も偉大な神格として 位置づけられます 最も偉大な神格です 真に崇拝しなければなりません 彼を通して他の神格が崇拝され 歓ばれ 恩恵を授かります 今日人は 羞恥心を忘れ ある種の名声のため 私たちの 純潔を困らせようとしています 少しでも自尊心があれば 純潔でいられます 自分を蔑み 罪深くいることが 大変利口で 現代的だと思っています 現代における罪深い行為は 完全に間違っていて 完全にいとわなければ なりません シュリ ガネーシャが怒るので そのようなことに近づいてはいけません 最も重要な基礎が 純潔だと理解するのに まともでいることが大切です インドでは三万二千人の女性が 純潔を守るために焼身しました 私は同じ家族からきます 彼女達はどれほどの勇気を持ち 純潔を信じていたことか 純潔を失うなら 人生に意味をもたないほどでした ですから純潔が 最も大事であると示すために 大いなる犠牲を払いました 男性のためでもあります 特に男性です シュリ ガネーシャはとても大切です シュリ ガネーシャに敬意を払わなければ様々な病気にかかるからです シュリ ガネーシャを尊重すれば 私たちの健康は大変よくなるでしょう 絶えず私たちの身体を 治しているからです 絶えず世話し 守っています シュリ ガネーシャは ムラダーラに内在し クンダリーニを世話し 私たちのクンダリーニを守っています 何かあれば クンダリーニは上昇します 彼女を支え 上昇させるのは シュリ ガネーシャです 彼がワークアウトします あなたのリアリゼーションの礎である クンダリーニを守っています シュリ ガネーシャの 重要性を知るべきです 自身を知り 内省し シュリ ガネーシャに献身的か見るべきです それについて 何をしていますか 汚いものに対して 本当の嫌悪感を持つでしょう そのような者も好みません そのようにして ワークアウトさせます 子どもたちはよく知っています 子どもたちは 愛らしく 優しく 愛に満ちていて 美しいです 同様にシュリ ガネーシャが いると知るべきです 彼こそ真に純真で 非常にあなたを守っています 純真で守っています 私たちも自分の純真を 大切にすべきです 時折 騙され 支配され 傷つくこともありますが 構いません そのような者は 皆苦しめられます 全世界でそれについて

激論が交わされています 純粋で素朴な者に対して 支配してはいけなと訴えています すでに起こっていますが 全て変わらなければいけません 終止符が打たれなければ いけません どこへ行くにも抑圧するなら 人は存在できません アメリカにはレッド インディアンが 多くいることに驚きました 彼らは皆抑圧され 他方に逃げなければならませんでした カナジョアリに行きましたが ヴァイブレーションが 大変良いと分かりました つまり 純真で素朴な者を かつてアメリカ人は そこへ行き滅ぼそうとしました そして カナジョアリに 隠れ住むようになりました カナジョアリは素晴らしいヴァイブレーションで 今でさえ感じます 彼らこそ 完全に その場所を楽しんでおり レッド インディアン “アメリカン インディアン”と呼ばれていました 大変素朴で純粋で スピリチュアルな者たちです 常に“お母さん”を 崇拝していたからです 他国にも見ることができます オーストラリアは種族に 大変寛大で嬉しく思います マウリ族や他の種族もいて 大変奨励しています 彼らの富んだ才能には 驚きました オーストラリアでは彼らに同じ権利 政治的権限があると示すために この州に連れてきています 大変良い試みです ガネーシャはオーストラリアで ウルル山として出土しています 大きい山で シュリ ガネーシャのように見えます 大きな鼻が見られます ヴァイブレーションが シュリ ガネーシャだと証明しています シュリ ガネーシャはそこだけでなく 多く母なる大地から出土しています ヴァイブレーションの 源を感じます オーストラリアで サハジャが簡単に広まったのは 彼のおかげだと思います 政府も私たちを 困らせたことはありません ウルルとして現れたガネーシャが サハジャ ヨガを守り ワークアウトさせているの だろうと思います 同じようにあなたがどこにしようと ガネーシャは崇拝されるべきで 全てにおいて 奇跡的に助けられます でもまずシュリ ガネーシャである 純潔を大切にしなければいけません 神の祝福がありますように

1999-1017, ナヴァラトリ8日目、シュリ マハカリのカ/ナヴァナトリ プージャ

[View online.](#)

1999年10月17日、カベツラ リグーレ (イタリア) 今夜は女神へのプージャを 行うために集まりました マハカリもしくは
ドュルガと呼びます 彼女はさまざまな姿で 現れました ころ優しい善人の 成長を妨害する ネガティブな勢力を
打ちのめすために 現れました 私たちが知っている さまざまな姿で 多くの邪悪な 行いをする存在や ラクシャサーを
破壊しました 知られていませんが 前の世界大戦でも 正しい人々を守る ために現れました このようにして彼らは
残酷で邪悪な人々の殺戮プラン から救われました 邪悪な人々は 憎しみをもち あらゆる方法で 表現します
生まれながらに邪悪な人と 邪悪になる人がいます 邪悪に生まれた彼らは とても攻撃的で 弁明的です しかし憎悪には
際限がありません 彼らは人を憎み その憎しみを正当化するため あらゆることを言います ただ正当化するためです
時には正当化もしません あたかも憎しみを持つことが 重要な権利だと感じるのです この勢力は統合し 人類を苦しめるために
悪の共同体を創り出します それはさまざまな名前で 呼ばれるでしょう 彼らが なんと呼ばれようと 完全なる悪で
神からの同情の余地は 全くありません 彼らは 破壊されるべきです これらの悪を 破壊するのが 愛に満ちた
母親である女神の仕事です 彼らを抹殺する役割は 女神本来の役割とは 対照的ですが 全ての悪は完全に
抹殺されるべきなのです しかしそうなりません 時に彼らは牢獄に入れられ 地獄に行き苦しみますが 強力に復活し善人を
苦しめるのです 彼らは世界中で 頻繁に起こります 彼らは善人のように 振る舞い 神について知識がある ふりをして
リアリゼーションを与える ことができると言うでしょう あらゆる嘘で邪悪なパワーを 使うでしょう そして
悪行の限りを尽くし “我々はこの存在だ” “あなた達にこれらを提供できる” と言うでしょう 彼らは人々を駄目にする為に
地球に来たのです このような悪人は 以前に多く存在し 愚かな人は 彼らについていったのです 悪人は互いを攻撃し合う
ことはありません キリストは言いました “悪魔は自分の家を攻撃しない” あたかも彼らは一つの家に 集まって居よう
この家の中では彼らは 自分のコレクティブィティや 兄弟意識を乱す発言はしません 彼らがどこに居ようと
常に共同体だという同胞意識は とても強力です 想像してください 不思議なことに全ての 悪は共に集まるのです
そうすればコレクティブで 居られるからです もし誰かが土地を得たとしたら その人はそこを占領するでしょう
他者が他の土地を占領し これを繰り返します このような競合は あってはならないのです 悪の究極の目的は 神の創造物である
全ての善人を破壊し セルフリアリゼーションや 現実の知識を 与えないことです このような状況は
カリユガの時代には最悪です 素朴で良い人だが 愚かな人は 邪悪な人々に 引きずりこまれます 時には善人でさえ
彼らに従おうとします 良いか悪いかの判断を善人が なぜできないのか不思議です しかし善人でさえ
この分別する能力が足りずに 過ちを犯すことがあるのです そしてその行いを いつも正当化します
彼らが行っていることは全て 正しく最適で証明できると カリユガでは多くの 悪がいましたが 多くが近年 この地球から去り
もう私達を苦しめることは できません しかしまだ明るみに出てきた 残党がいます 人々は多くの証拠を持って
彼らの正体を暴いています それでも彼らは 何でも好き勝手できると 自信を持っており 正体を暴こうとする者を 抹殺します
彼らはさまざまな悪行を 行いますが まず最初に嘘の 情報を頭に刷り込みます “我々は神の使者で偉大だ” などというでしょう
その様なことは もちろん証明できません だが人々は “あなたの言っていることを証明 できますか?”と聞くことはありません
解決策はサハジャヨガです サハジャヨガではあなたが体験し あなたが証明できるのです 成長できるのです
もちろんすぐに偉大なヨギに なるわけではありません 事実です 成熟しなければなりません 時間がかかる人もいれば
そうでない人もいます でも時間は重要ではありません あなたは成熟します もし間違った人に ついて行くな
あなたに成熟する 可能性はありません 特にサハジャヨガで高いレベルに 成長する人にとってはです 彼らが脱落するとき
はとことん落ちるでしょう “マザー彼はどうしたのでしょうか” とサハジャヨギたちは言うでしょう このような時私たちは
内なるマハカリを 崇拝することが大切です 彼女が何をしてくれるか私たちは 気づいていないかもしれませんが まず第一に
私達を守ってくれます あなたがどこにいて 何をしようと 人生のどのような危険に さらされていようと
彼女は守ってくれます まず第一に私達を 守ってくれるのです どのように守られ 治癒され 助けられたか 多く人が私に
手紙を書いてくれます 私たちが知るべきことは 全てが内なるマハカリの パワーにより起こったのだと 彼女は
あなたの内に存在します あなたがマハカリを崇拝する ときあなたの内なるマハカリ を崇拝しているのです
マハカリは非常に繊細な性質だと 尊敬の念を持って知るべきです 彼女はとても繊細です もしあなたが誰かに過ちを
犯そうとすれば 彼女がガイドしてくれます “あなたは過ちを犯しています なぜこんな事をするのですか”
色々な方法で教えてくれます もし反省せず同じことを 繰り返すなら 彼女は あなたを見放すでしょう
マハカリから見放されると あなたはあらゆる邪悪さに 陥りやすくなるでしょう それは... [赤ちゃんが泣き出す]
赤ちゃんはどうしたのですか? 彼女を崇拝するとき 何を求めますか? 守ってもらうことです あなたは差別や間違いによって
過ちを犯すかもしれません あなたにとって危険で 良くないことを行うかもしれません 彼女があらゆる危険から

ガイドしてくれるのです あなたの人生や 身体や臓器を守り 人生の全ての安全を 確保してくれるのです 彼女の領域内ではとても安堵します 何も恐怖を感じることは ありません あなたが恐怖を感じるのは 彼女の領域を出てしまったからです もし彼女の美しいガイダンスと 恩恵を受けていれば 何をするにも怖がることは ありません 同時に過ちを犯すことも無いでしょう 過ちを犯そうとするとすぐに 止めに来ましょう まさにガイド役なのです そして私たちを存在させてくれています 彼女がいなければ私たちは 存在できません なぜなら彼女が シュリ シヴァのパワーだからです 彼女はたくさんのことを 与えてくれます たとえば安眠や リラックス感を与えてくれます 真実を与えてくれます 何が真実で何がそうでないかを 伝えてくれます 人は工ゴに囚われると“私の考えが 全て正しい”と信じたがるでしょうすると“マヤ”による混乱で 指摘を受け あなたは“これは何” と考え始めるでしょう 彼女は幻想を与える “ブランティ”とも呼ばれます あなたに幻想を与えます 幻想へと呼び込み そして最後は幻想から連れ出します あなたの全ての責任を取り除き リラックスさせてくれます あなたの全ての問題を取り除き 解決してくれるのです 私たちが彼女に問題の全てを 任せることを忘れているです 問題を彼女に任せれば 全て解決します それだけでなく祝福を感じるでしょう 肉体的だけでなく 精神的にも心配事から 開放してくれます 彼女に心配事はありませんし あなたにも心配してほしく ありません もしあなたが心配しているなら 彼女を否定していることになります 彼女を受け入れていないのです ”とても心配しました”と 自慢げに話す人もいるくらい 心配事はよく起きることです あなたのマザーは“サクシャマハカリ”なのに何を心配する必要がありますか 彼女は全ての悪を滅ぼすことができ 物事を管理する方法を知っています もしあなたが彼女の前で 子供のようにしていたら 何を心配する必要がありますか もうあなたの心配事は おしまいです 彼女が心配してくれます あなたは心配する必要ありません それが重要です 彼女の保護は素晴らしく あなたが必要な全ての 保護を与えてくれます 彼女のおみ足や もしくはイメージなどを しっかり捉えなさい 祈りを捧げていいでしょう 彼女にお祈りするだけで 治癒する人もたくさんいます 彼女が治してくれます 難病であっても 治すことができます ではマハカリは何を 好むのでしょうか 彼女は光を好みます 彼女を夜に礼拝するのは 火を灯すことができるからです 彼女は 啓発された人を好みます そして光や太陽を好み 完全に啓発された 輝きを好みます みなさんはこの話を 聞いたことがあるでしょう 西洋ではなんと言うのでしょうか... 大きな牙を持っていて... [聴衆の誰かが叫ぶ“ドラキュラ”] そう 彼らは太陽の元では 存在できないのです 朝日が訪れると共に 寝てしまうのです 彼らは太陽を見ることができず 光の下で存在できないのです 何が起きているかということ マハカリが去りマハラクシュミが 去ってしまったのです マハカリが去ってしまうと 恐怖に駆られる人がいます 恐怖を感じていると彼らに 知られると攻撃を受けます マハカリを作用させるには 太陽がとても重要になります 特に西洋ではとてもよく働きますし 太陽を崇拝します 太陽を崇拝することで ライトサイドに偏ります その時彼女がバランスを整えてくれます 彼女が私たちをリラックスさせ 守ってくれます 私たちは時に競争心を出し 不安を抱え できないことまでやろうとします するとイライラして どうしてよいかわからなくなります すると彼女が 安眠を与えてくれます 私たちが眠るとき彼女がさまざま 問題を取り除き面倒を見てくれます 沢山のことをしてくれています 私たちは彼女のために何をしている でしょう？ここを見る必要があります 大事なことは私たちが彼女を 崇拝することです 彼女は子供たちが彼女を 崇拝することを好みます そうすれば彼女と ひとつでいられるからです 慈愛を与え 悪魔から守ってくれます しかし自分が定まらず マハカリのご加護を受けていない者は 悪魔の攻撃を受けてしまうことを 知るべきです 彼女の元を去ると 大怪我をしたり 殺されたりすることもあります 私たちはこのとても危険な カリユガの時代に生きているのです 何が起きても おかしくありません とても注意する必要があります 思考がどのように作用するかを 観察するべきです これは何を 教えてくれているのかと 知るべきは 何が悪魔の策略か あなたはそこに陥るのですか？ 彼らのやりたいようにさせ あなたは悪の道に陥るのですか？ そして工ゴは 女神への反抗です 昨今では工ゴが 大きな問題です 工ゴが現れ囁きます “これは私にできる” “私がやります” “私が完了させます” しかし人類は 工ゴに従います 工ゴの力は強力で 大きな満足感を与えるためマハカリの力を受け入れようとしません [子供が泣き出す] その子を表に出しなさい 彼は私といたいのです 子供たちはこのように一瞬たりとも 離れたくないのです 皆さんも 子供たちのようでありなさい 子供のように純真であることが 最適な方法です 女神も純真な人を好みます 彼女自身が純真なのです 彼女は純真な人を愛し 純真なあなたを守ります あなたはずる賢くありません 他者に工ゴを 使おうとはしません 純真であれば女神は 助けてくれます 必ず助けてくれるでしょう しかし工ゴを完全にコントロール する必要があります なぜなら女神にとって工ゴが最大の敵だからです 彼女は工ゴを嫌います あなたに工ゴの無い純真な人で いてほしいのです 皆さんもご存知のように 女神は最初にシュリガネーシャを 創造しました だからこそ私たちは シュリガネーシャを崇拝するので 私たちは純真でいるべきです それは良いも悪いも 何かを計画するという 意図を持たないことなのです それはまさに 時間軸の無い行動です 何をすべきかしないかに 囚われないことです あなたはただ純真に存在し自分自身を楽しみ他者を楽しませることだけです 一人の子供が家の中で 100人を躍らせることができます そんな感じですから なぜなら子供たちは 純粋なパワーを備えていて 女神も リスペクトしているからです 時に人は騙された

と覚えることがあるでしょう　なぜ人を騙したり攻撃することが　できるのかと覚えるでしょう　時には嘘もつきます
あらゆることをした上でたくさん　要求をしてくるでしょう　こういったことは起こってしまいます　気に留めないことです
純真を維持していれば完全に　守られていることに驚くでしょう　どのようにして？　マハカリがそばにいてくれます
純真であれば彼女が守ってくれます　純真な人は怒りません　怒る必要が　どこにあるのでしょうか？
純真は強靱さとパワーがあります　とてもパワフルです　残酷な人でさえ子供を見た瞬間　子供がいると意識するでしょう
どんなことがあっても子供たちを　危険にさらしたり　傷つけてはいけなと世界中が　認識しているのです
なぜなら子供は純真だからです　純真な性質はあなたを　助けてくれるでしょう　なぜなら女神は　それを好むからです　もう一つは
あなたの慈愛も好みます　互いへの慈愛　互いを愛する気持ち　互いをいたわる気持ち　彼女はこれらを愛します
あなたがサハジャヨギで　リアライズソールであれば　女神はいつもあなたとともにいます　しかし彼女はこう言うでしょう
あなたの慈愛はどうしましたか？　何人の人に　リアリゼーションを与えますか？　どれだけの人を治療し　助けていますか？
彼女はあなたが　何をしているかわかっています　あなたの全てを　知っているということは　マハカリのすごいパワーなのです
全てです！　あなたの思考を知っています　あなたのハートを知っています　あなたの健康面を知っています
あなたの全てを知っています　彼女は子供たちの面倒を見る母親です　この子は何もしていない　あの子は
とても純真だと知っているのです　あなたが子供のころ母親に面倒を　見てもらったのと同じように　マハカリがあなたの面倒を
見てくれるのです　そしてマハサラスパティのパワーが　あなたを教育します　さまざまな知識を　与えてくれます
しかしあなたの内なる子供の純真や　慈愛の面倒を見てくれるのは　マハカリのパワーなのです　彼女は子供たちへの思いは
とても繊細です　誰であつても子供たちへ　指一本触れさせません　彼女にとっては皆が子供のよう　なのです
特にリアライズソールの人たちは　彼女にとって子供のようなもので　その子たちが痛みを受けるなど　あつてはならないのです
このようなことがあつてはならないの　で彼女はいつも見守っているのです　"彼女が人ならどうやって皆を"
"同時に見守ることができるのでしょうか"　という人がいるでしょう　彼女は　"オムニプレゼン"だからです
何処にでも存在できるのです　あなたの人生の　何処にでも存在します　特にサハジャヨギたちへは　何処にでもついていきます
あなたが何処にしようと　何をしようとです　もし事故に巻き込まれようと　あなたを守ります　もしあなたが女神を
心から崇拝するなら　彼女は天使のようにあなたを　守ってくれます　何かを得ようとするのではなく　彼女の恩恵のためにです
彼女の恩恵は人類に豊かさを与える　素晴らしいものです　この地球にも豊かさを　与えてくれました
マハカリの恩恵により全てのものに　豊かさを与えてくれました　そこでマハラクシュミが現れます　マハラクシュミの法則では
執着から離れます　"この世にはどんな意味が　あるのだろう"　あなたはこのように感じ始め　執着から離れ大切なことがあるはず
真実があるはずと　覚えることでしょう　特に悪人からひどい目にあつていた　人はそのように覚えるでしょう
"誰かがここから救い出して　くれるはず"だと　ここでマハラクシュミの法則　女神の法則である　アセンションがやってきます
彼女があなたに次のような　アイデアを与えてくれます　"次は何？　どうすればいいのだろう？　これでこの人生の終わり？
今生での目的は何？　なぜ地球に生まれてきたの？　何が良くてこの地球に生まれての？　このような根本的な疑問がこみ
上げてきて人は探求を始めるのです　そして　マハラクシュミの法則とは　人々が考えるものとは　遠くかけ離れています
探求とは科学的かつ思考的で　合理的で明瞭であるべきだと　人は考えています　よってその様に行動しますが
これでは何も得ることはできません　マハラクシュミの法則とは　熱心に真実を探求することで　それ以外にありません
このように考えられれば　他のことが気になりません　多くの人がドラッグを常用すればリアリ
ゼーションが得られると考えています　間違つた考えです　なぜ自分の意識から遠ざかり　得ることができるでしょう
意識が最も大事なのです　もしあなたが　意識の領域に入るときには　意識の基礎をなくしては　ならないと知るべきです
人々が飲酒やドラッグにより　意識が朦朧とすると　彼らはそれが探求だと　勘違いします　"探求する"ことを理由に
誤つたことをするので　それは自分自身に　復讐しているようなもので　"探求している"と思うことで
自分自身に復讐しているのです　これは本当の探求ではありません　本来の探求とは瞑想によってなにが
真実の探求かを知ることなのです　それは本を読んだり偽りの指導者の　教えを聞くことではありません
実際にクンダリーニの覚醒が　現実を知る唯一の方法なのです　他に方法はありません　しかしそれを誰も　教えてくれません
人々は言うでしょう　ここそこに行きなさい　これをしなさい　そしてどこに行き着くのでしょうか？　また振り出しに戻るだけです
ここそこへ行き　過ちから次の過ちへ　移動するだけです　このようにして多くの探求者が　失われます　彼らは指導者に
多くの金品を貢ぐことが　重要だと感じ　多くの探求者が失われます　指導者は　お金で買うことができる
だからお金持ちだけが悟りを　得られるということになります　しかし善人とはお金持ちの人　だけではありません
善人は善人です　貧乏でもお金持ちでも関係ありません　しかし多くのお金持ちは　同じような人で集まります
なぜなら"私には何でも買える　お金がある"　というお金に対する　エゴがあるからです　アメリカにいたときのことですが
一人の女性が私に会いに来ました　彼女は私がスピリチュアルな　人物だと知らなかったようです　彼女は言いました"素晴らしい
指導者がアメリカに来ましたよ"　私は言いました　"あらそう彼は何ができるの？　彼女は言いました　"今セールをやってるわよ"
"あら本当"　"半額を支払えば指導者の恩恵が　受けられるのよ　あなたもどう？"　次の週に彼女は言いました"セールが

なんと75%オフになったわよ” “25%だけ払えば彼が全ての 知識を与えてくださるって” なぜこのようなやり取りがあるの？
分割できるようなことではないですよ 半額を払って彼は半分あなたに与え 1/4を払えば彼は全てを与えてくれる
”そこなのよ、彼はとても 太っ腹なの！” 真実をお金で買えると思っている人が 真実を得ることはありません
買うことはできないのです クンダリーニの覚醒にお金を払う ことはできません ありえませんが もちろんお金を受け取ることも
してはいけません セルフリアリゼーションは 神聖なる恩恵です お金を受け取ることはできません 売ることでもできません
売るほど安っぽいものではないのです このことが分かれば マハラクシュミのパワーが作用します マハラクシュミのパワーは
純粹に探求している探求者のために 存在するのです その効果は素晴らしいもので とても自然にリアリゼーションを
得られることでしょう このとても自然な リアリゼーションは皆さんも得ています ヒマラヤに行ったり
そのようなことはする必要ありません これらは全て過去のことです 過去にやってきています あなたの過去生で
行ってきたことでしょう 今は何する必要もありません ここに座りながらにして 得ることができるのです
世界のどこにしようと 得ることができとても速いスピードで広がっています そしてサハジャヨギの仕事は
サハジャヨガを広めることです 理解するべきことは マハラクシュミとマハカリは 相互関係にあるということです
あなたがマハカリの領域において 恩恵を受けるとき マハラクシュミも現れあなたが
セルフリアリゼーションを得られるように そしてさまざまな問題から開放される ように助けてくれます 経済的な問題も
全て解決してくれます そして最大の問題解決は あなたの重要な欲求である セルフリアリゼーションが 得られること
ですので女神たちに 争いはありません 3つのパワーは互いに作用し 必要なことを満たしてくれます
マハカリのパワーは必要なことを 満たすガイド役をしてくれるため とてもリスペクトされています 彼女はたくさんの悪魔を
退治してきましたが まだ残党がいます まだ多少残っていますが そのうち全ていなくなるでしょう 以前にいたひどい悪魔も
すべていなくなるでしょう しかし私たちはこのような 悪人たちの何が問題なのか 注意深く 見ていく必要があります
彼らは何をしていて 何を広めようとしているのか 邪悪な行いをする人々の行動を 認識する必要があります
彼らがなにをしているか 見つける必要があります あなた方は悟りを得ているので これはとても簡単なこと
どの組織のどこが悪くて邪悪な人々が なにをしようとしているのか あなたの啓蒙された意識によって
見つけ出すことができます 最善の方法は 瞑想することです 攻撃的になるのではなく ”どうか彼を破壊してください！
彼が世界を滅ぼそうとしています” と瞑想してマハカリに お願いするのです それが彼女の仕事で それを好んで行うでしょう
それには誰かが彼女に お願いする必要があります これは素晴らしいことです なぜなら邪悪な存在はたくさんいるので
誰かが指摘するまで彼女の意識が 届かないことがあるからです 最善の方法はいつも彼女に 助けをお願いすることです 個人的
国家的 グローバルなレベル においてお願いするのです そのために彼女は どこにでも存在します 世界のどこからでも
お願いできます あなたがどんな肌の色 人種 国民でもです 彼女はあなたの内に いつも存在します
彼女を崇拝し覚醒させることは あなたの仕事です もし彼女があなたの内で覚醒すれば あなたはとても謙虚になるでしょう
あなたが今までどのような過ちを 犯してきたか気づき 悪いことをしたとを感じるように なるでしょう”罪悪感”ではなく
悪いことをした気持ちが起こり 酷いことは二度と繰り返さないと感じ それを修復しようとするでしょう
これらは全てあなたのハートが ピュアなときに起こります ハートはピュア でなければなりません
もしあなたのハートが不純で サハジャヨガを 人との競争やお金や物を得るために 利用するなら うまくいかないでしょう
子供が母親を愛するように 純真さをもってマザーを 崇拝するのです 皆が感じているように マザーを愛し
彼女のご加護やガイダンスのもとに いられるシンプルな関係性です これはあなたが子供の頃に感じた
とてもシンプルなことで マザーを本当に崇拝するのであれば この子供心を思い出してください 神のご加護がありますように

1999-1225, クリスマス プージャ

View [online](#).

クリスマス プージャ、1999年12月25日、ガナパティプーレ (インド) Now that the talk was partly extracted from the "Shores of Bharat" VHS it became evident that the major part of the Puja protocol is missing. If you happen to come across a Recording of the Christmas Puja from the 25th of December, 1999, please be so kind to provide this tape to the archive. Contact the team at archive@nirmalavidya.org 今日私たちは イエス キリストの誕生を祝います 彼は特異な状況で つまり処女から生まれ 地上に化身しました そして ご存知のように シュリ ガネーシャも 同じように生まれました イエスがシュリ ガネーシャの化身なので 私たちには理解することができます 生まれた時 彼は すべての力を備えていました 自分の持つ力を示す外的な 武器を持つ必要はありませんでした すべての力を 自身に備えていましたが それでも忍耐と理解を示そうとしました なぜなら当時の人々が スピリチュアリティに対して 完全に無知だったからです 実は彼等はユダヤ人でした モーゼやアブラハムによって 指示されましたが 彼らは拠り所を失い 何をいかに求めるべきか 分かりませんでした 真実の探求者ではありませんでした 他の宗教も同じですが 彼らはユダヤ教の儀式に 満足していました 高次のものへの 探求心がありませんでした それゆえ彼にとって 人生は大変困難なものでした 彼が生まれた時 三人の者達が星を追って その場所に行き 飼葉桶に横たわる キリストを見つけました 生まれるには 大変質素な場所です 困難な状況の中 生まれましたが 彼が偉大であることは 星によって明確に示されていました 先日ガナパティプーレは どのように探したのか尋ねられました マハラシュトラ州では あまり知られていない場所です 人はアシュタヴィナヤカには行っても マハガナパティには行きません ある時 ラトナギリから帰る途中 ある寺院の上に 大変大きな星を見かけました しかし誰もそれが見えませんでした サハジャ ヨギにもです なので私はこの星を 辿ってみようと言いました とてもとても大きな星で 通常の星とは違い 稀でした でも人の目には映りませんでした 一緒にいた者達も 見えないと言っていました 私は”構いません” “道を曲がり 別の道を行こう”と言いました そして星を辿っていききました もちろん皆文句を言わず それに従い先へ進みました 遅い時間でしたが “先へ進みましょう”と言いました ガナパティプーレに着いたのは 夜明けでした 忘れられない 美しい夜明けです 夜明けに見たのは私たちが今いる この美しい場所です そして“ここがサハジャ ヨギ達皆が” “集まる場所です”と言いました ラビンドラナート タゴールは この場所について “このバラトウの海岸に 世界中の人々が集まる”と記しています これらすべて預言されています いかにこの場所を奇跡的に 発見できたかは驚くほどです この三人の偉大な者達が キリストを発見したようにです そしてこの場所は 大変祝福されていて 素晴らしいヴィブレーションに 満ちていました 私は二日滞在し この場所に決めました 最終的にこの土地を 手に入れました キリストは 多くのことを言っています 十字架の上で “母を見よ”と言いました “behold”は意味深い言葉で 母を心待ちにしなさい という意味です 亡くなる前にも言いました 人々は暴力や拷問など 神聖とはかけ離れたことを し続けています 宗教は暴力や力尽くで 広めることはできません 愛と慈愛でのみ広められます あなたは愛と慈愛でのみ サハジャ ヨギを広めることができます その慈愛は メンタルなものではありません 私たちが人より優れているから 彼等を変えるべきだというものではありません その人の何かを変えるのではなく 人を真に復活させることが できると感じさせるのは 大いなる愛や慈愛なのです 復活させ真実を与えるのが 私たちの仕事です 世界中沢山の人がいます 今私たちはか 86カ国で活動しています ベニンでは七千人も サハジャ ヨギがいます 彼等はかつてイスラム教徒でした なぜサハジャを選んだのか尋ねると 当然ですと答えました “なぜ?” “なぜ初めは キリスト教徒だったのですか?” “いえ キリスト教徒ではなく イスラム教徒だけです” さらに尋ねると “支配していたフランス人が 非常に不道徳で” “酒飲みで 不埒な彼等の宗教に従うのは無意味だと思ったからです” “もっとましになるにはどうするか考え イスラム教にしました” そして今彼等は サハジャ ヨギをしています 彼等には分別があるからです 真実の探求者で 分別があります 彼等はいわゆる黒人で 啓蒙された精神を持っています 私への詩を詠ったり 私のために様々なものも作っています 今となっては 七千人ものヨギがいます 彼らはいつか国民皆が サハジャ ヨギになるだろうと言っています トルコでは いわゆるイスラム教ですが リーダーのケマル アタテュルクは 啓蒙された魂の持ち主で パルダや女性を抑圧することは 意味がないと話しています 彼女達たちを自由にしました 彼らは非常に創造性豊かです トルコには二千人の サハジャ ヨギがいます 以前地震が起きたときも 一人もサハジャ ヨギは 亡くなっていませんし 家も壊されませんでした 私たちの国でも四つの州が カトリック教徒に改宗しました 彼等と話しましたが “どう着飾って教会に行き 讃美歌を 歌うかを教わっただけです”と それを聞いて驚きました 確かにましな格好をしていましたが なぜ受け入れたのか分かりません 彼等は先住民で 現代に影響されていないからでしょう そしてその後 カトリック教はオリッサ州にも 手を伸ばしていました オリッサ州ではすでにカトリック教徒が 35から40人程いました そして私は オーストラリアのヨギにそこに行って サハジャ ヨギを教えるように言いました そこで彼等は 九つのセンターを作りました 良いことに 巨大な破壊的なハリケーンに

襲われたとき サハジャ ヨガを新しく 受け入れた者達は全員無事でした 家もすべて無事でした さて最後の審判が起こります
原理主義を唱える者や 原理主義者は破滅します これらの国々で 彼等の破滅を見るとそう思います 何が起っていて
なぜ彼等や家族 家が破滅するのか分かりませんが おそらくカルキがそれらの場所で 厳しく作用しているのでしょう
黒魔術をする者なども 破滅させられます 驚くことにオリッサ州では サハジャ ヨギは誰も怪我しませんでした サハジャ
ヨギに対する 神聖の大いなる保護です 昔から言われた通りです ですが人々は儀式主義や司祭職や
説教で道に迷ってしまいました 説教や読むことによって スピリチュアルな経験はできません グル ナナカやカピラ アディ
シャンカラチャリヤでさえ言ってます “お母さん そこから 抜け出させてください” 真実を知る者は 同じことを言っています
同じことを繰り返しています 彼等の生き方を読めば 驚くことでしょう イスラム教徒であったスーフィーでさえ
同じことを書いていました トルコに住むスーフィーも あるいは当時インドだった パキスタンでも
彼等は同じことを書いています イギリスの偉大な詩人も 同じことを書いています 真実は真実であり 真実は愛であると
これこそキリストが 確立したかったことですが 彼は大変困難な状況において 生まれました 祭司や教会として
支配していた人々は それを利用し すべての者を抑圧しました サハジャ ヨガでは 抑圧はありません 参加するのも自由意志です
そこで自己における真実を 知らないといけません キリストは常に “汝自身を知れ”と言っています
しかし人は決してしようとしません 自分自身を知らないからです この状況は どの宗教にもあてはまります
聖人は何が正しい道で 何に従うべきか教えるために戦いました キリストがしたことは 大変注目すべきもので 彼はユダヤ人に
彼が光であり 道であると教えたが 彼が到達点だとは 言っていない 誰かが来ると 知っていたからです
そして聖霊が来ると言いました 彼女はつ三つの要素を持ち 慰め主で 指導主であり 救世主です 彼は“彼女”や“彼”ではなく
ヘブライ語の“それ”で使っています 人々は聖書を悪用し イギリスでは王が妻との 離婚を望んでいたの 権威を聖書にまで
及ぼしました なぜ聖書のような聖典に不道德者が 権威を与えられるのでしょうか 権力で彼は 支配したかったからです
現実であるすべてを 支配したかったからです これは盲目的な権力です あなたに真の力があるなら
何に敬意を払うべきなのか分かります どの道へ行くべきか分かります 見る力が 全体への冴えた 理解が出てくるからです
どの道に従うべきか どこへ行くべきか 何が正しいのかです このカリ ユガを通して あらゆる酷いことのお陰で
またヒンズー教徒の間にも おかしな儀式があり それを通して人々は これが終着点ではないと 悟っています あなたは真実を
求めなければいけません 一つ大事なことは 全ての者が “真実を求め 自己を見つけ なければいけない”と言っていることです
それは明確に インドの聖典に記されています いくつかには記されています “自己を求めなければいけない”と
特にインドで化身した聖人達は 常に真実を見つけ 求めないといけない と言っていました 彼等は真実を知っていて
皆にも見つけてほしいからです 全ての宗教には 啓蒙された者達がいました 仏教徒においても 真実の探求について語った者が
達磨大師や老子や その他大勢いました キリストは大変明確に それを言っていました 彼の誕生日に皆さんが
すでに真実を見つけたこと 愛 慈愛そして謙虚さの道を 知っていることに嬉しく感じます 私たちは自身の中のどこに
キリストが内在しているか いかにかにキリストに敬意を払い 崇拝するかを知っています このアギヤであなたは
その者が真実の探求者か 支配力の強い傲慢な キリスト教徒か見分けられます あなたがキリスト教徒であるなら
それができません それができれば キリスト教徒ではありません キリストを見なさい いかにかに彼が謙虚だったか
彼はすべて滅ぼすこともできました その力がありましたが 自身を十字に架けました その理由はアギヤ チャクラが壊され
超えなければいけなかったからです なので彼は受け入れました 彼は最も破壊的な力である シュリ ガネーシャの力を
すべて備えていました これらの力全ては 母なる大地から来ます そして母なる大地は 全世界を揺さぶることができます
しかし彼はデヴィ マハトゥミヤに 記されているマハヴィシュヌの化身です 彼はどんな者で 何をしたか 彼がした働きについて
美しく記されています さて キリストが生まれ 化身したのであれば 大変偉大なことです 彼は私たちに人生を捧げ
全てを成し遂げました そして私たちは許すことで 彼に従っています あなたは他の者を 許さないといけません
自身を許し他者も許します 主イエスが内在するこのアギヤ チャクラを開きたければ大切なことです 人を許せず
自身も許せなければ このアギヤは開きません 何よりキリスト教徒と呼ばれる 全てのキリスト教国では
皆大変ひどいアギヤをしています キリストに真に従うのであれば アギヤをキャッチすることがあるでしょう
かまして彼等は非常に支配的で 傲慢です 彼等は キリストの弟子にはなれません 彼はあまりに謙虚でした 全能なる神と一つで
自分が十字に架けられることを 受け入れました 彼の誕生自体が 偉大な奇跡です 彼の働きはさらに偉大です
私たちは全てのキリスト教徒に 伝えなければいけません 何が真のキリスト教か 何が現実か 何に従うべきか
どのようにキリストに正当に従うか 教えないといけません ですが大変大きな組織や 政治的なこと 様々なことが絡んでいます
さらに彼等は 例えばヒンズー教の時 から悪いことを続けています それでは改宗する 意味があるのでしょうか ですから
彼の生き方から 私たちは学ばなければいけません 彼は誰も望まないような 状況で生まれました 大変暗黒で 人々は無知で
残酷であった時代に彼が誕生したことは 非常に注目すべきことです 大変勇敢で 勇気のある人格です 今日人はキリストを
結核患者のような者にしています 乞食のような者です 人も乞食のようです ポンペイにいる時 少女や少年たちが
近寄ってきては歌を歌って “お金を恵んで”と言っていました 私は“キャロルを歌うなら お金をねだったりしてはいけません”

“私たちはお金がいるの 食べるものがないの” それならなぜ キリストの歌を歌うのですか 様々な人が物乞いしています
キリストは物乞いをしたのでしょうか この世に乞食を 作ろうとしたのでしょうか 彼は自尊心をもち 生き 死にました
人は彼の資質を学ばず 世俗的なものを受け入れています 時には完全に 品位を落としています
宗教的という言葉を使うと違う意味に なるので使わない方がいいでしょうが 彼は私たちに大変徳深い 敬虔な
美しい人生を与えるために来ました 彼は手本でした 私たちが従うべき手本です サハジャ ヨガをする者は
何が正しくて間違っているか意識できます サハジャ ヨギにならないかぎり この分別を持つことは難しいです
ですから多くの者は キリストの名において そして自分の破壊的な力に 自分を見失っています それらは私たち人間が持つ
六つの敵と呼びます なので今日彼の生き方を 彼の誕生 働き 偉大さ 犠牲を思い出す時 私たちは彼の人生に従うべきだと
理解しなければいけません 彼は私たちの見本です 私たちは多くのことに 忍耐強くないといけません 攻撃的ではいけません
他の者の自由に対して 脅威であってはいけません 悪魔のような者がいるでしょうが 彼等の脅威であってはいけません
真実は戦います これは私たちがすべき 大変簡単なことです サハジャ ヨガでは 大変徳のある生き方 徳のある振る舞いを
人々はしています 文化においても全てそうです サハジャ ヨガの文化は 大変徳のある 愛深く 慈愛に満ちた文化です
あなた方の中のキリストがこのような 様子に歓びを感じていることでしょう 神の祝福がありますように

2000-0723, Guru Puja, Sharddha

[View online.](#)

Guru Puja. Cabella Figure (Italy), 23 July 2000.

今日 私たちは グルの原理について 知るために 集まりました グルは 何をするでしょう グルはあなたが持っているものが何であれ あなたの中にある 貴重なもの全てを あなたの知識のために 発見します 実際 全てがそこにあります 全てです 知識の全て スピリチュアリティの全て 歓びの全てが そこにあります あなたの内に 備わっています グルがする唯一のことは あなたの知識について あなた自身のスピリットについて 理解させることです 皆 自分自身の中にスピリットがあります 自分自身の中に スピリチュアリティがあります 外側から 得るものはありません この知識を得る前は 無知の中に 生きています 無知の状態では 内にある宝に 気づきもしません ですから あなたが何であるかを教えるのがグルの仕事です それが第一段階です あなたは “自分のアイデンティティは” “幻影である この外観の世界にはない” と気づき始めます そして自分自身の中に 光を見出すようになります 十分な光を得る者もいれば 少しずつ得る者もいます 全ての宗教の真髄は 自分自身を知ることです 宗教の名の下で 戦う者たちに “あなたの宗教は” “自分自身が何であるか 教えてくれましたか” と尋ねるべきです 全ての宗教が 一つのことを言っているなら 自分を知るために これら全てをしなければいけません しかし 人々は 儀式に走ります 儀式をすることで 神に近づけると考えます 自分自身について 完全に無知のまま生きています 毎日 自己と全く 関係ないことをしています 祈りやプージャ このようなことが 続けられています 全て無知から来ます 彼らは人々の払い続ける お金で大変金持ちになり お金だけに興味を持ちます 彼らはあなたのお金を 全て奪い あなたを愚かにします あなたの工ゴを 甘やかします 工ゴを甘やかすことで あなたは 幻の大海に漂い始め 幻に溺れ 自分が大変宗教的で 神と繋がっていると思い込みます 神を知るには まず自分自身を知るべきです 自分を知らないで 神を知ることはできません 自分自身を知ること は不可決です しかし 自分自身を知る時 一部しか知ることができません 経験が 十分ではないからです 知識は出てくるものです グルが あなた自身についての 知識を与えます 照らし合わせなければいけません あなたのグルが 教えていることが何であれ 真実が真実でないか 正しいか正しくないか 幻かどうか 見極めなければなりません 上昇において 多くの問題が生じます まず第一に 工ゴの問題です 特に西洋では 工ゴが大きくなり 自分が偉大で 他者より秀でていて 何か特別である と考え始めます この無知は 世間的な無知より 大変危険だと思います なぜなら 世間的な無知は 間違ったことからの結果を感じます あなたが 上昇の途中にいる時 自己について 無知な時 より高度な領域に 行こうとしている時 工ゴを持つてはいけない と常に理解すべきです そこで内省が始まります 自分の何が間違っているのか 自分自身を見始めます 自分に工ゴがあると分かれば 自分自身を見始められます 自分に何か欠けている 何か間違っていると 分かれば内省できます これは大変正直な 努力でないといけません サハジャ ヨガを 始めた頃は 自分が大変偉大で 内省は必要ないと考える者がいます 自己に到達せずに 再び 無知の雲に覆われます ですから 自分自身何をしてきたか 自分が何であるか どれ程成長できたか 内省しなければいけません (今 通訳をしないでください 後でできます) (集中して聞かないといけません) (理解できなかったとしても 効果はあります) そのような態度で望む者は 少しずつ変わります まず非常に攻撃的で 短気で 工ゴが大きい者は 大変穏和で 柔和になります 恐れを持つ者 怖がる者 とても用心深い者は 恐れのない者になります この段階において 恐怖心はありません あなたは 自分が正しい道 正しい軌道にいる と確信します 容易に心を 乱されません しかし さらなる高みに 上昇しなければなりません 瞑想すると 自分の何が おかしいか気づきます あなたは セルフ リアリゼーションを得ました セルフ リアリゼーションの 恩恵を受けました 身体も健康で 数えきれない程の恩恵を受けています 全て得ていますが あなたはさらに 成長しなければなりません サハジャ ヨガについての 全ての知識を理解しなければなりません まずメンタルに 理解します そして どこまで正しいか 証明しないといけません どれほど理解したか どれほど 自分のものにできたか どれほど認識できているか 自分自身を 見始めると バクティ (献身) の領域に 入り始めます あなたは穏やかな者になり 優しい者になり あまりしゃべらず 誰も困らせません 大変感じよく 大変温和で 大変理解力のある者になります 他者に対する あなたの振る舞いで 確かめないとはいけません アテンションを 自分から他者へ移し 自分が どう振る舞っているか見ます どれほど愛しているか あなたの 慈悲の程度はどれほどか 人を見返りなしに愛せれば (愛だけです) その者に 完全に献身的で 従順です サレンダーといえる この愛があれば あなたはその者のために 何でもします これは愛そのものです サレンダーは 愛以外の何ものでもありません この愛は 大変歓びを与えます すると バクティ (献身) が始まり このバクティによって あなたは浄化されます あなたの 悪い面 あなたの持つ欠点 抱える問題を理解し 克服できます 同じような性質 同じような 問題を抱える者を見ると その者への愛から あなたは寛大に接しようとし ます その者への愛ゆえに 忍耐強くなろうとします そういう者は忍耐強いですが 攻撃性はありません 許します リアライズ ソールは許し続けます 彼らの許す能力は 物凄いです 誰に対しても

悪意を持つことは全くありません。いかなる怒りも持ちません。絶えず寛大に接し、許し、そして許します。この許しは、いわゆるあなたのバクティの、美しい調べに過ぎません。これらのマスターが持つ、許しの大きさは、キリストの生き方に見ることができます。聖人達は苦しめられ、十字に架けられました。人々は彼らを決して好みませんでした。ご存じのように彼らは十字に架けられましたが、受け入れ、決して復讐しませんでした。慈悲に反することは、決してしません。彼らは慈悲を持っていました。その者に対して、慈悲を感じ、"神よ、彼らを、どうか許してください"、"自分の行いが、解っていないのです"。大変、慈悲深いです。彼らの特質です。特質となり得た時、完全な、平穩を持ちます。彼らは全く乱されません。何が起ころうと決して乱されず、神の意志だと信じます。如何なるものも、彼らを乱すことはできませんでした。献身を楽しんでいました。グルへの神への献身です。その献身で、美しい詩を詠い、踊り、歌いました。内に平穩を持ち、自分自身を楽しんでいたからです。彼らが一人の時、決して孤独ではありませんでした。自分自身を楽しんでいました。神と、一体であると知っていて、神の恩寵を楽しんでいました。彼らは上辺だけのものに、惹かれませんが、決して心配したり、動揺したりせず、未来や過去を考えず、現在にいました。現在にいる時、彼らは完全に静寂の中にいます。何か問題が起こったり、彼らに何か起これば、彼らはすぐさま思考のない状態になります。それが、彼らの持つ能力です。あなたはグルになるために、その人格を備えないといけません。何かに囚われずにです。例を挙げましょう。私は決して急ぎません。時間をほとんど気にしません。一度アメリカで・・・神が計画を立てていると確信したなら、何も気にすることはありません。神聖が面倒を見ている時に、何を気にすることがありますか。アメリカで子どもが、高いところから落ちてしまいました。私は丁度、出発するところでした。その子は、腕を折ってしまいました。子どもを見て、"治しましょう"と言いました。彼らは時間を気にしていましたが、"いずれにしろ行きます"と答えて、30分程かけて治しました。"では向かいましょう"と言うと、彼らは"間に合いません"と言います。"私は決して遅れたことはありません。さあ、行きましょう"。私たちが、飛行場へ着くと、その飛行機は、故障していて、NYではなく、ワシントン行きが待っていました。実際、私はワシントンへ、行きたかったのです。いかに色々なことが、ワークアウトするか想像してみてください。それを"サハジャ"と呼んでいます。サハジャに、ワークアウトします。つまり努力を要しないということです。しかし、まず、あなたの人格が、大変すばらしく、献身的でないといけません。すると神聖が、あなたの面倒を余儀なく見ます。神聖な力が、あなたを取り巻き、この力が、あなたの安全を、完全に保証していると理解しなければなりません。あなたが望む、全てにおいて言えます。"マザー、貴女は、とても力強いです"。あなたが神聖な仕事に、完全に献身的であれば、あなたも大変、力強くなれます。あなたは、全ての力を備え、神聖はあなたが望む、必要な仕事、時間を与えてくれます。全てが、神聖によって与えられます。この慈悲が、人から神へ、神聖へ、あなたの、グルへ広がるなら、生きることが、とても楽になります。シンプルになります。複雑でなくなります。全てが整い、どんなことも、気にならないでしょう。目を閉じるだけで、全てがワークアウトします。全てがあなたの意志で、あるかのようにワークアウトします。あなたはそれを望むことも、考えることもありません。ただワークアウトします。神が、全て面倒をみてくれます。あなたの安らぎも健康も、全て面倒をみてくれます。そして、あなたが望んだり、願ったりすることなく、神聖は助けます。神聖が責任を持たなければいけない。人格を備えるからです。神聖はあなたに対して、特別な責任を持っています。そして何があなたにとって良いか、悪いかわかっています。多くありますが、一つ例を挙げます。例えば、誰かが私に会いに来るとします。"マザー、彼はとてもネガティブです。彼は決して来ません"。"決して来ません"。様々なポジティブなことが起こります。ネガティブなことであれば、あなたの慈悲を使うことができます。ネガティブなことであれば、慈悲を使って問題を解決できます。自分自身の問題を、自分を取り巻く、あなたの共同体の問題を、解決することができます。今あなたは、リアリゼーションを得ています。どれくらいあなたが、深くなったかは分かりません。多くの女性が瞑想をしていないという、不満を耳にします。そのような女性は、自分自身を大切にしています。リアライズ・ソールではありません。多くの男性は、"そのような女性は、役に立たないので離婚したい"と口にします。その逆も言えます。この問題の解決には、慈悲がないといけません。あなたは、人生のパートナーを、慈悲でもって、勝ち取らなければなりません。男性は女性より、遥かに多忙ですが、女性は、他のことで忙しくします。家族や子どもの面倒を、見なければいけません。そして、そのような、日常的なことに気を取られ、瞑想する時間はありません。しかし、瞑想なしに、上昇できません。瞑想しなければいけません。人は"リアリゼーションを得たので、大丈夫だ"と考えますが、毎日、瞑想しなければなりません。その時浄化されるからです。浄化されることで、理解します。あなたには何が必要で、必要でないか理解できます。浄化されます。それは、神聖によって行われます。あなたは宗教的に、瞑想しなければいけません。次第に瞑想が、深まっていくのが分かるでしょう。あなたは、大変深くなります。すると力が、現れ始めます。あなたがどこにしようと、ネガティビティは逃げ出します。あらゆる問題も解決されます。あなたが望むものは、手に入ります。あなたの望みが何であれ、人を助けるにしろ、人に与えるにしろ、叶えられます。私がお話していることは、私自身の経験です。毎日せめて十分、朝は五分ほど、瞑想しなければいけません。完全な献身と崇拝の気持ちを持ってです。バクティである献身、より高い献身である、シュラッタを持つ者がいます。それは、あなたの一部になります。あなたを完全に、包み込みます。あなたが、シュラッタを持つ時、多くの奇跡が起こるでしょう。ある者は私を想うだけで、治りました。だからといってシュラッタに、達していたことにはなりません。シュラッタを育まなければなりません。では自然のスピリットの光、であるシュラッタを育むには、どうしたらよいでしょう。人々は

シュラッダを得ようと 努力しますが メンタルによって 育むことはできません 静かな瞑想によって 得られます 瞑想によってです・・・ 瞑想するよう 常に言っています 瞑想している者と していない者はすぐに分かります 私のプージャへ来て サハジャについて話し 人気を得るために 何かする人がいます 多くの者がそのようです 外へ出て人気を得るために活動します 内側で自分自身に 向き合っていない 成長段階において 瞑想と内省によって 容易にそのレベルに到達できると理解し 励みに思わないといけません 内省することで 新たな理解の質を得られます 様々なものへの 解決策が見つかります リアライズ ソールである者が 持つ一つの特徴です 他者の問題を解決することもできます どのようにしたら 助かるか 提案できます するとシュラッダから 一種の兄弟愛が芽生えます あなたはサハジャの講演も することができですが シュラッダがない限り 上昇できません シュラッダは あなたの内にある一種の愛です それは燃えることのない 熱を帯びない 優しい炎のようです 冷たく美しいそよ風のような感じで あなたに理解させます あなたは決して他の サハジャ ヨギの悪口を言いません 私はサハジャ ヨギを悪く言う者には 決して耳を傾けません 度を過ぎれば コレクティブにおける 不満であれば 少し気になり それについて リーダーに話します しかし ある者が 私のところに来て苦情を言えば その者に自分自身を 内省するように言います 人の粗を探すのは 人間にありがちな遊びです 自分の欠点は見ません 他者の欠点を見て 何の役に立つでしょう 他者の欠点を見ることは 自分の助けになりません 自分の欠点を 探すようにしなさい それは治すことのできる 助けることのできる ワークアウトさせることの できるものです 自分の欠点を探し それらを正すことは あなたの責任だと知るべきです ある者は自分の好みを 誇りにします “私はこれが好きです あれが好きです” しかし あなたのスピリットは 好みますか これが好き あれが好きでも あなたのスピリットはどうですか それを好みますか それを楽しみますか “これが好き あれが嫌い” と言い続けます 西洋ではよくあります 女性達が私のために 美しい絨毯をつくりました それはとても分厚く 歩くと少しバランスを崩しますが 愛でもって 彼女達がつくったことは 私を喜ばせ 幸せにしてくれました 私がどう感じているか 想像つかないでしょう この歓び この歓びの大海は あなたの中にあります それが現れると 些細なことは気になりません あなたに 美しさを与えます どう表現してよいか 分かりませんが あなたに霧雨が降るような 恩寵が 降り注ぐような感じです 人の愛に あなたは虜になります それを求めなくとも とても愛に溢れた 心優しい者と逢えば その関係に 真の友情を感じます サハジャ ヨギについて 悪く言うことは間違っています その者が犯した間違いを 皆に言うのは間違っています その者を助ける代わりに その者へのコレクティブな 嫌悪感をつくりだすことは間違っています 常に人は問題を抱えています 悪口を言うのではなく コレクティブで助けるべきです その者は 間違ったかもしれませんが しかし その者の悪口を言い始め “彼のこれは間違っている あれが間違っている”というなら あなたは サハジャ ヨギではありません 内省を通して自分の欠点を見る ことができるなら あなたはサハジャ ヨギです あなた方のほとんどは リアリゼーションを得ました 経験をしました しかし 中には知識を得ていない者もいます 知識は 得なければいけません 知識が本当にそこにあるか 確かめないとはいけません アメリカの 国立衛生研究所NIHで サハジャ ヨガの試験を 試みました 医者が集まり その内の一人が進み出て “私のどこが悪いかわいブレーションで 教えてください”と言いました 女の子は“ハートに何か感じます” と答えました 彼は“当たっています” と答えました 彼は一カ月前に心臓の バイパス手術をしたばかりです 全く当たっていました 彼らを大変驚かせました 医者は誤診を するかもしれませんが これは人を診断する とても簡単な方法です ヴァイブレーションを 感じるだけです ですから彼らは 私たち到大変注目し 病院内でもサハジャ ヨガを取り入れたいと望んでいます あなたは 自身で証明すべきです 自分自身を吟味し 自分自身について 何を学んだか解るようにしなさい 例えば夫婦なら 妻が瞑想し 全て解っているとします 夫の何がおかしいのかも 知っています しかし 彼女は 夫には言いません 我慢します 不満をもらしません 何も要求しません ただ我慢します この忍耐こそ 彼女が彼より高い 人格であることを夫に納得させます 彼がどんな者であれ 次第に彼女が偉大な人格を 得ていると理解します 人には多くの欠点があります 特に西洋では 道徳的にあります 蛇にでも噛まれたかのような 人たちがいます 人々がしていることは 後進国の人間には 思いもよらないことです 発展は あらゆる放棄を だらしのない気質を もたらしめた 人々は自分が大変自由で 楽しめれば良いと思っています このような生き方は 良くありますが 自分自身を 判断してみてください あなたも このようなタイプですか 上昇において 高みにいる者ですか これは過程です 急に高みに 立てるわけではありません 時折 新しいサハジャ ヨギの者の方が 良い場合があります これは彼らがとても強い 望みを持っているためです 私たちは 何を求めていますか なぜ求めているか 理解すべきです なぜなら自分自身を知ることを 望んでいるからです なぜか 自分自身を知らないといけなかつたので 今まで分からなかつたので 求めます 真実の追求という 名の下で 私たちは様々なことを 間違ったことをしました しかし この求める気持ちは サハジャ ヨガに導きます そしてリアリゼーションを得ます クンダリーニを通して 容易に得られます クンダリーニはほとんどのことを ワークアウトさせます ある者は飲酒や喫煙を 一晩で止めました 一晩です 私が止めるように 言ったわけではありません たった一晩で止めました そしてその者は “以前は自分の髪型にこだわり” “美容院で何時間もかけて 皆と違う髪型にしていました” “でも止めました” と言いました “あまり道徳的とは言えない 服を着ていました”

“自分に敬意を払うようになり まともな服を着始めました” 全ての知識は あなたから来ます あなたの中に自然にあります 全て自分のものだからです あなたのグルが言うように あなたは導かれています グルの仕事は 人々を導くことです ではこの時点で 何が欠けているでしょう サハジャ ヨガにおいて何が 欠けているかお話ししなければいけません 大規模な災害が多く起きています 災害は多様にあります 地震や洪水 大雨 川のように押し寄せる 泥水など 世界には様々な災害が起きています ヨギは それらから救われます 疑いなく全てのヨギが 救われています しかし 救われることをどう理解しますか 知っていますか なぜこのような 災害が起きるのでしょうか サハジャ ヨガが強固なコレクティブでないためです 強固にならなければいけません あらゆるところに 広まらないといけません 未だ会ったことのない人にまで 行き渡らないといけません 行き詰っているか 頑張りが少ないのでしょうか 隅々まで広めなさい キリストの12人の弟子を ごらんください もちろん人々は誤った方向に 行ってしまいましたが 彼らの働きと行いの徹底さを見るべきです 徹底的にしないのなら サハジャ ヨガを広めるための 完全な自己の奉仕がなければ コレクティブな問題は 解決しません あなたは日常や仕事や その他の生活に忙しくしています サハジャ ヨガでは構いません しかし アテンションをもっと 人生の この側面に置くべきです コレクティブのために何をしているか サハジャについて話しているか 広めているか 人々に伝えているか 一度 飛行機で 驚くことがありました 一人の女性が私の隣に座りました とてもひどい ヴァイブレーションでした 私は自分にバンダンし “スピリチュアルなことをしていますか”と尋ねました 彼女は バハイの名を挙げました “まあ大変” このような人が増えれば 大勢になってしまいますすると何が起きるでしょう 災害です 彼らは大変 ネガティブな者たちです 世界に善を もたらすことはありません いかの間違ったグルが 人々を引きつけて虜にし メッセージを広めているかをみると 大変なものです おかしな服を着て道で歌う グルの賛美を歌う人々を見かけます 私たちはそのようなことを 願っていません もちろんあなたは知識を持っています 疑いなくリアライズ ソールです しかしサハジャのために 何をしたかが大切です あなたは広めないとはいけません 隅々までです 例えばバッジを付ければ “これは何ですか”と尋ねられるでしょう あなたは説明できます サハジャについて 話し始めることができます それ以外 話す必要はありません サハジャについて話し 広めないとはいけません それをしない限り コレクティブにはなれませんし コレクティブなナンセンスから来る 様々な災害が起きます あなたは多くのことから 助けられています 公害があったとしても ヨギに影響はありません 大地震が起きても ヨギは助かります しかし 全世界を 救うことはどうでしょう 災害は次々と起こります あなたに慈悲があるなら 災難に遭う者 大変な目に遭う者のことを 考えなければなりません もちろん私は多くの者を 治すことができますが コレクティブを強固にする 方法は分かりません ここには大勢います 各自 せめて百人に リアリゼーションを上げることができます あらゆるところへ行きなさい サハジャについて話しなさい 神の賛美を歌いなさい そうすれば 全世界は救われます 素晴らしい サティヤ ヨガの到来は 数人を救うことではなく この母なる大地をも救うことで来ます 母なる大地に住む人を 救わなければなりません とんでもないことをする者たちを テレビで見かけます 何を発言しているかも分からず 恥じらいなく話しています 後方には 何千という人もいます 彼らが愚かであるというわけではありませんが 間違った道を望んでいる わけではありませんが これらの間違ったグルは 如何に人を魅了し 虜にし 話すかを心得ているようです サハジャ ヨギであれば ネガティブなヴァブレーションを 持つ者を見れば逃げ出します そのような 社会から逃げ出します 近づきません “ひどいヴァイブレーションです 要りません”と言えます あなたは勇気を持ちこれらの場所に行って人と話し コレクティブにして いかなければいけません さもないとこの世界を 神の怒りから救うことはできません 疑いなく神は 怒りに満ちています 神はあなたを救うでしょうが 何のためでしょう 母なる大地を 救わなければなりません そのための準備と ワークアウトが必要です 機会があれば サハジャを広めなければいけません “マザーが来てくださればうまくいきます” と言いますが なぜですか あなただって私のようにできます 人に話すことができます 私は一人の人から 始めました 当時は 至るところ完全に暗闇でした シーカーはいなく ひどい人たちがばかりでした しかしワークアウトして 光がもたらされました 一人でも多くのヨギを得られるのですから あなた方もできます あなたの態度 生き方の全てが 人に感銘を与えるでしょう 私たちの最終目標である 集会的意識に到達できるよう ワークアウトしなければいけません サハジャ ヨギだけでなく 皆のためです 起きている全ての災害 ひどいことが止むようにです 完全になくなると 確信しています あなたは常に救われるからです リアリゼーションを得た者 全てが救われます 私たちが間違ったことを 不道德なことを 騙したり 他の者を抑圧したりするなら 私たちは 破壊の力となりえることを 率直に人々に 伝えてはどうですか でなければ 大規模な災害が起こり 責任を持つことになります あなたが 伝えようとすることは 組織体でもって 立ち向かうものでなく 人を納得させたり サハジャに連れてきたりする あなたの力によって 作用します あなたがグルとして 何をすべきか理解したと思います グルとして 多くのことがあります 昨日 登場した人物は 老子が師をどう描き いかん全てを超越していたか 表していました 彼らは混乱することも 嫉妬することもあります 軽率でもありません 全てを超越した 偉大な師です あなたも努力すれば グルになれます 到達しなければなりません 達成している者もいますが あなた方も慈悲と愛で 達成しなければなりません

2000-0820, Shri Krishna Puja

[View online.](#)

Shri Krishna puja. Cabella Ligure (Italy), 20 August 2000.

今日 私たちの中に内在する シュリ クリシュナを 崇拝するために集まりました ご存知のように サハジャ ヨガに来る前 皆さん 真実を探求していました 様々な所に行くことで 読むことで探そうとしました 中には自分を 見失う者もありました しかし何を探していたか 分からなかったでしょう あなたが探していたものは 自己を知ることでした すべての宗教が “汝自身を知れ”と言っています このことについては どの宗教も言っています 自己を知らずして 神を知ることはできないからです スピリチュアリティを 知ることはできません 最初の段階は 自分を知ることですが それにあたっ人 は あなたを騙そうとしました 間違ったことを教え お金を奪い 騙しました 様々なことを経て サハジャ ヨガにたどり着き リアライゼーションを得ました リアライゼーションの目的は 何でしょう 神を知ることです 女神を知ることです これがリアライゼーションの目的です リアライゼーションの後 あなたに何が起こるべきでしょう 多くが麻薬などナンセンスなことに 無関心になりました 無益な本を読むことにも もはや関心がありません お酒を飲むことにも 関心がありません しかしそれだけでは 十分ではありません いずれにせよ そうなったでしょう なぜ神は自己を 知ってほしいのでしょうか あなたの中に 彼の反映を見たいからです 反映を見たいので あなたを創りました 女神も同じです 彼女はあなたに リアライゼーションを与えました あなたの中に 彼女の反映を見たいからです ですから より純粋で 美しく 愛深く 慈悲深く 何より叡智が反映されるように ならないといけません 叡智を持つことを理解できる 地点まで到達しないといけません 叡智が欠けているなら あなたは自覚を得た者ではありません シュリ クリシュナの 域において 彼はあなたが ヴィラータの ヴィラタンガナの一部に なることを望んでいます ヴィラータの 一部になるべきであって リアライズ ソールだからといって 完全に大丈夫で 何もしなくて良いと 思っはけません そこから何をするかが 大切です リアライゼーションの後 シュリ クリシュナのような 神々の人生から あなたの中にあるべき反映を 見なければいけません シュリ クリシュナは 大変困難な境遇で生まれました そしてヤシュダによって出身地へと 連れ出されました そこで彼の戯れが 始まりました あなたも人生において 遊び心を持ち 楽しさや歓びを 創り出さないといけません 聖人のようにヒマラヤで 座禅をしなさいとは言っています 子どもたちと戯れ 話し 遊び 楽しみなさいと言っています 彼は同時に 彼に挑む ネガティブな力を全て滅ぼしました 子どもでありながら 大変成熟しており プトゥナや2人の恐ろしい ラクシャサも殺しました 同じ頃 彼は ゴピスと戯れたり からかったり 困らせたり 茶化したりしていました なぜでしょう 彼らに遊び心を 持ってもらいたかったからです それに対して 様々な祝賀がありました ある豪雨の日 彼は指先で山全体を持ち上げました 人々は不可能に思いました 奇跡です 山を指先で掲げ 立っていました 気取らない様で 彼と遊んでいた男の子達を 守るために持ち上げました また彼は大蛇カリナを 水中で殺しました この恐ろしい蛇は水中で 人を殺す毒液を作っていました 彼はあつという間に ヤムナ川の物凄い水流に飛び込み カリナを打ち負かし 殺すことで人々を救いました しかしこの大蛇の妻は 彼に夫を許すよう懇願しました 彼は許しました 6-7才の子どもが このような偉業を 自分がしていると思うことなく 成し遂げました そのことを考えもせずにと 言ってもいいでしょう シュリ クリシュナであると 悟っていたのでできました ですからあなたは自覚を得た者 であると意識すべきです 普通に振る舞うような 凡庸な人間ではありません あなたは特別な人です 全能なる神の本質を 反映するために創られました 誰もあなたにカリヤを殺すよう 期待していませんが あなたは絶えず 守られている状況です 誰もあなたを 傷つけられませんか 殺せませんか あなたはサハジャ ヨギです 面倒を見てもらっています では物事を決めるにあたっ サハジャ ヨギはどうあるべきか 理解する必要があります 自然な判断であるべきです 計算たり 下見したり 検討することはありません シュリ クリシュナが川に飛び込んだように 即座に自然な判断を下します 同じように全てにおいて 自然な判断をすべきです 例えば 絨毯を買うとします 店に行き どれを買うべきか すぐ分からないといけません 人生のどの瞬間も 自然な判断をすべきです 即座にです しかし私が見る限り そうではないようです 店を次々の渡り歩き リストを作って測定したり 帰宅すると 明日決めようと言います サハジャ ヨギの 振る舞いではありません サハジャ ヨギは全て その場で自然に判断します そうあるべきです 例えば誰かが 溺れそうだとします 最初の衝動は その者を救おうとします どう助けますか 水に飛び込みます 守られているからです あなたに悪いことは起こりません ですからただ飛び込み 人を救います これがとるべき 最小限の姿勢です 自然な判断が あなたの気質です 悩んで決断し 決断にあたっても 会議を開いたりすることはありません 日常においても そうあるべきです 政治面 経済面 全ての生活面においても 自然でないといけません いか自然な判断が できるでしょう あなたにどのような 素質があるでしょう 何を使って決断しますか あなたには ヴァイブレーションがあります 感じられます ヴァイブレーションとは 何かも知っています あなたに何を教えているか 知っています あなたに語っています

ですからヴァイブレーションで 何をすべきか瞬時に分かるはずですが “カペラは物凄いヴァイブレーションです”
と言う者がいます 事実です どれくらいの人が そう感じるでしょう あなたの感受性は まだ発達していません
自分のヴァイブレーションに対して 敏感でないといけません 誰を見ても 隣に座る者が誰であれ 誰と握手をしようと
その者のヴァイブレーションが 分からないといけません このような感受性を発達させるなら 自然な判断ができます
私にはそれができます カペラの城を 5分で買いました 近くまで行くと 車が大型で 行けませんでした “私の車で行きましょう”
と市長に言われました 到着すると 確かに荒廃していました 周りの足場も悪く 幽霊が出そうな場所でした 一緒にいた皆が
“ひどい場所です これは買えません”と言いました そこで私は市長に言いました “買います 今です” 彼は驚いていました
どうやって購入できるか 尋ねると “イタリアでは簡単に 値段の 1/3 を払えば自分のものです” “気に入らなければ断れますが
返金はできません” “競争相手がいれば 倍額を支払います” “お得ですね 買います” と言いました 皆がこの出来事に
驚いていました 決めては ヴァイブレーションです その場のヴァイブレーションです 7つの城を彼らに 案内されましたが
中に入らずに断りました 入りもしなかったのに 驚いていました “以前は何だったのですか” “女子修道院でした”
このような自然な判断が できるようになるべきです できるようになれば 短い時間で素晴らしいものを
得られることに驚くでしょう だからといって 粗雑にするのではなく まずヴァイブレーションの 敏感さを持つべきです
敏感になるならサハジャ ヨガ において成熟しています 成熟しないといけません リアリゼーションを得たので
これができると思うものではありません まず敏感さを 持たないといけません どのくらい敏感か どう分かるでしょう
自然な判断で結果が 芳しくなかったとします 自然な判断で 決断しながら 失敗し 間違っていたとします 経済的 政治的
あらゆる面で 苦しむことになると思います そこであなたの価値観が 評価されます どれほど サハジャ ヨガで深まったか
リアリゼーションを どれほどものにしたら このように 自分を試すことができます でも失敗を恐れてはいけませんし
成功に舞い上がることもありません あなたが 自覚を得た者だからです もちろん敏感なら すぐさま分かります
私と同じようにとは言いませんが やってみるべきです ある者を称賛する人がいます “素晴らしい人です
是非会って下さい”と言われました その者の写真を 見せてもらおうと “残念ですが会いたくありません” と言いました
彼らには理解できません “どんなに偉く 将来大臣になろうと 会いたくありません” すると翌日の新聞に
悪人であるという記事が載りました あなたは自然に決めたことに 対する経験や 理解と 向き合わないといけません
それでも自然な判断を するよう言います どうやったらよいかなどは 考えるはいけません 何が正しくて間違っているかを
知っていると思ひ込むことは 自然な判断に 影響を及ぼします (私が建てた家を 何人の者が見たか分かりませんが) シュリ
クリシュナのもう一つの側面は 創造性の豊かさです 幼少時代 いたずらのような 様々なことをしました 大人になると
ドワリカの王になりました そして王様のような 装いをしていました 何であれ王でした 子どもの頃は小さい孔雀の羽根を
一つ着けていたものです しかし王になると王の装いで 王座に座り 人々と話しました 偉大さを持ち 創造性は大変豊かでした
彼はドワリカに金でできた 大変美しい宮殿を建てました 信じられますか 彼が建てましたが 水面下に沈みしました
西洋諸国に洗脳されたインドの知識人は それは不可能だと言いました 水中には何もなくて 宮殿は建てられなかったと
作り話で神話だと しかし ある者は それを信じ 水中に宮殿を見つけました 全てではありませんが 金が少し残っていました
彼の建てた巨大な宮殿に 驚いていました 水中に沈みながらもありました このように化身たちは 大変創造性豊かでした
あなたが創造的でなければ リアリゼーションは何の役に立つでしょう 簡単に 最も素晴らしい 創造的なことは 他の者を
サハジャ ヨギにすることです 最も簡単に歓びを与えることは 他の者をサハジャ ヨギにし 彼らが長年求めていた
神聖の恩恵を得ることです あなたは素晴らしい 癒しや恩恵を与えます あなたはリアリゼーションを 簡単に得ました
瞬時のニルヴァナといえます サハジャ ヨガの 瞬時のニルヴァナです 人は簡単に瞬時に得られるものの 価値を理解できません
インド人は“独立で 簡単に自由を得た”と言います そのため貴重に思いません ただで特別な努力なしに得ると
それを尊重しません 理解しません 当然のように思いますが リアリゼーションを得るための 人の苦難を知っていますか
ヒマラヤに行き一本の脚で 何ヶ月も立ったり 逆さ立ちしました それでも得られませんでした 28年間 こもった者もいます
なぜそのようにするのでしょう 人や悪い環境から離れれば リアリゼーションを得られると 考えたのでしょうか
得ることはありませんでした 簡単に得られるものでも 大変貴重なもので 素晴らしいものだ と 理解すべきです
リアリゼーションを得るのは 容易なことではありませんでした 自覚を得た者について 読んだことがあるでしょう
彼らはそれをどう得たかも クンダリー二のことも知りません でもグルや 苦行を通して得ました
仏陀はリアリゼーションを得るまで どれほど苦労したでしょう いかにも得たか 考えてみてください 彼の人生を見れば
ぞっとするでしょう 最期は飢えと貧困で 亡くなりました しかしあなたには そのようなことはありません
何の困難もなく得ました 大変優しい方法です お金も努力もなしにです だからといって尊重しなくていい
ということではありません それは種が母なる大地に植えられ 自然に発芽し 木へと育つようです 胚芽に生命が宿ります
しかし水を与えなければいけませんし 世話する者がいないといけません この場合 あなたが 世話をしないといけません
まず慈悲と愛の栄養を与えます 慈悲と愛を持っていますか 人を愛していますか 今日子どもが嫌いだという者がいて
ショックを受けました “他人の子は好きですが 自分の子が嫌いです” なぜ我が子が嫌いかなどと 言えるのでしょうか

まずあなたは “好きです 嫌いです”と 決して言うべきではありません 反マントラです “私はこれが好きです”
と言うあなたは誰ですか “この絨毯が嫌い 銀のものが嫌い” あなたはそれを創れますか この決めつけは自然な判断だと思いがちですが違います そのように言う権利があるという発想は コンディショニングから来ます あなたは何ですか
スピリットなら 決して言わないでしょう 人を傷つけるかもしれません 傷つけるような言葉は使いません 危害を加えません
スピリットなら愛深さ 慈悲深さ 穏やかさ を与えることを言うでしょう 他者に歓びを発するでしょう
スピリットは他者に歓びを 与える力があります あなたが不機嫌なら 自覚を得た者ではありません あなたは歓び 愛 慈悲を
与えることができるはずですが そしてそれは 全く自然に起こるものです マハラシュトラでの 聖人の話しがあります
人は“カヴァドゥ”と呼ばれる水亀で 水を運んでいました グジャラートからシュリ クリシュナの 寺院まで遥々運びます シュリ
クリシュナに帰依する すばらしい行為だとみなされていました その聖人も“カヴァドゥ”と呼ばれる 水亀で水を運んでいました
マハラシュトラの村から 遥々運んでいて 寺院のある麓にさしかかると 喉が渇いて死にそうな 口バを見かけました
すると彼はその口バに 水を与えました “神格に捧げるため 何マイルも幾日もかけて運んだ水を” “この口バにあげるのか”
と皆は言いました 彼は言いました “神が水を飲む為に降りて来られた ことが分からないのですか” 彼の態度を見てください
自覚を得た者にとって 慈悲はこのようでないといけません 大変寛容です あなたが寛容でなく狭量で
常にお金や貯金のことを心配するなら 成熟したサハジャ ヨギとは 言えません それにそのようなお金は 幸福を与えません
欲深さは スピリットに反しています スピリットは非常に寛容です 決して何かを儉約したり 人を騙したり
盗んだりしようとしません 論外です その者に欲が 全くないからです 欲が全くないので リアライズ ソールは欲深くないのです
大変寛容です 大変寛容な者を 他者の問題に理解力がある者を 多く見てきました 自分の問題事に悩む者は サハジャ
ヨギではありません 他者の問題を 解決する為にいるのであって 自分の問題解決やそれを 話題にする為ではありません
現代の“これが私の問題です” という言葉は 以前は幾何学でしか 使われていませんでした 人は“問題はない” とか言いますが
それが問題なのです あなたの問題を 他者に振るべきではありません 何も要求しないことです “私のためにこれをして
あれをして” 人が相手を利用しようと するのは驚きます 外国に行くのが好きで “あなたの国に言ってみよう”
と連絡する者がいます 寛大なサハジャ ヨギは “来てください”と言うでしょう 問題は要求している方です
何も要求すべきではありません あなたは完全だからです 満足してるだけでなく 完全です 人が何をあなたに
与えられるというのでしょうか あなたが完全であるとき 全ての欲求が消えます 来るとき 多くの星が見えました
でも月が出るや否や 星は全て消えました 同じように あなたが完全なら 人から何かしてもらおうと 期待しません
反対に他の為に何が出来るか 見つけようとしめす 他者の問題を 自分のことのように考えます 真剣に考えます
あなたの成長につながります あなた方全員に起こるべきです リアリゼーションを 得ているからです 自分の為でなく
他者の為に生きる人格が発達します あなたはどこでも暮らせます 寝れます どんな食事でも 食事がなくても構いません
あなたは 満足しているからです 逆に他の者の為に 料理したいと望むでしょう できることは 何でもしようとしめす
できるならそうするでしょう しかし自分の問題にしか 目を向けられない者がいます サハジャ ヨギではありません
スピリットは問題を持たないものです あなたはもはやスピリットであって 全てを超越していると理解しなさい
あなたの創造性は また別の次元へといきます もちろん他者に リアリゼーションを与え始めます 芸術を創造します
ババママは文学が 得意ではありませんでした 母が数学者だったので 数学は得意でしたが 言語においては
得意ではありませんでした 私が彼の小論を 書いていたほどです しかしリアリゼーションの後 大変美しい詩を書きました
ババが書いたとは 皆信じられませんでした 先程言ったように 私が小論を書いていくくらいです 驚くことに
ウルドゥやマラティ ヒンディの詩を書き始めました 兄弟が彼にどうやって ウルドゥの詩を書いたかと尋ねると “シュリ
マタジに教わった” “全てにおいて教わった” と答えました ですからあなたの中の 創造性が開花します
どこから創造性がきたのか 自分でも驚くでしょう 数学者が突然詩人になったと 想像してみてください 不可解に見えますが
あなたにはこのような能力があります あなたは多岐に渡って 創造的にならないといけません 私は大変創造的です
常に何かに働きかけていて 結果も良好です それに人から称賛されるべきだとか 新聞に載るべきだという
普通の人々が持つような興味は 私にはありません 創造のために創造します その創造をただ楽しめす
すると人が言ったり話したり 行動したりすることにも 適応性を 持てるようになります 人は攻撃的になったり
称賛したりするでしょう でもあなたを称賛していると 気がつかないでしょう “シュリ マタジ キ ジエイ”を 私と一緒に言って
私のことを言っていると 忘れることがあります あなたは これらを超えています そのような人間の振る舞いに
全く理解できないほどです サハジャ ヨギに来ると リーダーになりたい サハジャ ヨギの偉い組織者になりたいと
強い欲求を持つ者がいます そのようなものは 偉大なサハジャ ヨギとして 国際的な名声を欲します 伝えている創造性とは
離れています 私は何を創造したでしょう 人間にとって 人から称賛を得たいと思うのは 普通のことです
あなたがスピリットなら 皆知っています 何を自慢することがありますが 脚光を浴びる必要がありますか
後ろにいても光はあります ですからあなたは 暗闇から出ないといけません あなたが光で 光を広げる者だからです
暗闇にいるなら 光を広げることはできません ですからあなたのスピリットは 問題を持てません 恐れはありません

そして何よりも すごい叡智があります それがより高次な人格である あなたの印です これは進化です あなたが変わったとき 別の特質を持つ者として進化します 際立ちます 周囲と同じになるなら サハジャをしても 意味がありません キリストはどうでしょう 大工の息子でした 教育を受けていません でも何をしたでしょう 彼はスピリットでした 内に神を反映しました そしてまた そのために 十字に架けられました サハジャ ヨギでは 起こりません そのような試練はありません しかし 自分の判断基準が どうであるか見るべきです 内省を通して ワークアウトしているか 自問すべきです “サハジャ ヨギ氏 ごきげんよう” “自覚を得ていない者が夢中になることに 没頭していませんか” 探ってみなさい サハジャ ヨギの成長は その振る舞いや生き方や 表情に表れます このような者にシワはありません 心配事はありません それなのに なぜシワがあるのでしょうか そのような者は 誰に対しても逆上しません 逆に笑います 一度スイスの教会で 私を聖書で叩こうとした 女性がいました 私は聖書で叩くなんてと 笑いました 笑っていたので 彼女は怖がりました 聖書で叩こうとする愚かしさを 見なさいと言いました 石ならまだ分かりますが 聖書では叩きません 皆さんの目の前で 起こったことです ご存じだと思います ネガティブな力が あなたを精神的にも 感情的にも 傷つけるかもしれませんが 超越していれば 誰もあなたを傷つけられません 傷つけられたと感じないでしょう 気にもなりません しかしあなたは 何か創造しましたか 今日何人かの男女が 離婚しようとしていました サハジャ ヨギで結婚して 離婚を望みました 考えられますか ショックでした 夫が兄弟のようだと 変な考えをしていました おかしな考えをしていて スピリットの光が ありませんでした スピリットの光があれば あなたの理解は 違ったものになっていたでしょう 自分でなく 他の者のことだけ心配し その者の為に 解決策を見出そうとします 助けようとする あなたにとって 簡単なことだからです 光を灯すのは簡単です 一度啓蒙されて 灯されているからです 輝きをなくす方が 難しいです 人間は リアリゼーションの後でさえ 何年も成長した後でも まだ愚かです リアリゼーションの価値を 分かっていません スピリットを 殺すことはできません 吹き払うこともできません この光は消しても スピリットの光は消えません 灯し続ける油は 何でしょう 慈悲や愛 他者への思いやりです 中には支配的な人がいて 問題を起こします それでも 思いやりなさい あなたとは違います 完全ではありません だからこそ 思いやりなさい “そうする必要があるのか” と思うならあなたは終しまいです このような反応は スピリットの者ではありません スピリチュアルな者の反応は これとは全く違います シュリ クリシュナの生き方に見ることができます 彼には 大変貧しい友がいました シュリ クリシュナに 会いに行きたがったので 妻は彼に 米菓子を持たせました “あなたの友達に 持って行ってください” 彼は恥ずかしく思いましたが 持って行きました シュリ クリシュナは 宮殿にいて 門番に“彼には会えません” と言われました “スダナが来たと伝えてください” シュリ クリシュナは王座に座り 話しあいをしていましたが 伝言を受けて 門へ駆けて行き 友を何度も 抱きしめました 彼は“なぜここに立っているのか” と言いました 中へ招き入れ 王座に座らせ 妻に友の足をきれいにしよう 言いました そして服を持ってこさせ 風呂に入れました そして彼のベッドに 寝かせました シュリ クリシュナの愛です そして友の足が汚れ ひび割れていたのを 薬を塗ってあげました ひび割れを治そうと 精一杯のことをし 彼のベッドで休むように 言いました そして眠れるように うちわで扇ぐよう女性たちに言いました シュリ クリシュナの慈悲深さが 美しく表れています 私たちは 慈悲深いでしょうか 彼はそれをする義務も ドラマもありませんでしたが 彼のハートからくる 自然な判断でした スダナが来たと聞いて 友のもとへ駆けました 旧友が来たことに 嬉しく感じたのです 彼がハスティナプールに 行ったとき カウラヴァの長男 ドウリヨダナに “私の宮殿に来られて 滞在してはどうか”と言われました 彼は“行きます でもヴィデユールと食事をとります” ヴィデユールは 使用人の息子です 彼は行って ヴィデユールと食事をしました ヴィデユールは 貧しい者でした ドウリヨダナなら豪華な食事が 出たでしょうが どんな食事だったかは 分かりません 味や食事の質は 関係ありません 愛です リアライズ ソールであった ヴィデユールへの敬意です 他のサハジャ ヨギへの敬意です 政治家だからといって サハジャ ヨギが尊敬するなら 理解できません スピリットは 全てを超越しています 他のヨギに敬意を払えないなら 何かがおかしいのです スピリチュアルな者は肩書きを持つ者より 高次であると理解すべきです そして生き方に 愛が表れています 全ての聖人 化身は皆 愛を持っていた 全てを超越し そして何も期待しません 人の期待から 行動するものではありません 神の愛を反映する人格です その反映が あなたにもあるべきです サハジャ ヨギでは人より秀でている という意味ではありません 人と異なる 超越している ということです 優越感がないので あなたは人と違うのです 大変謙虚なので 人と違うのです 大変欲びに満ち 穏やかなので 謙虚なのです シュリ クリシュナの生き方から お話していただくことができます 彼はヨゲシュワラ と呼ばれています ヨギの神です 彼がヴィラータだったからです 彼はアルジュナだけに 姿を見せました 誰もアルジュナのようでは なかったからです アルジュナでさえ 彼を見た時長怖しました 彼はシュリ クリシュナのように 牛飼いとして暮らしました シュリ クリシュナはゴクールで生活し 自分の力を自慢しませんでした 彼の力は内にありました そしてそれは 自然に表現されました この力は叡智と分別です 完全な分別がありました もしなければ 神聖な力ではありません 悪魔的な力だったでしょう あなたに親切だからといって 親切にするなら間違っています インドではアヴァデユタ と呼ばれる者達がいました 彼らはリアライズ ソールで 社会から離れ 人から隠れ 質素な場所や 洞穴に暮らしていました

“理解されないなら話す必要はない” と考えたからです 彼らは孤立し それぞれで暮らしていました
何ができたのでしょうか 多くのサハジャ ヨギという あなた方とは違います あなたにはたくさんの友や お互いがいます
でも彼らは孤独で 社会から離れました 人とも会いませんでした そうしようものなら 十字に架けられていたでしょう
あなた方は違います 社会があります 良い友や スピリチュアルな人々の すばらしく啓蒙された 社会があります それらを伴い
創造的でありえないなら 何と言って良いかわかりません 何かを創造しないといけません 芸術や音楽 詩 文学 何であれ
創造しないといけません 何よりもサハジャ ヨギを 創らないといけません これが一番の 創造であるべきです
至るところでサハジャ ヨギを 創ることが大切です 私が色々な場所へ行き プログラムをすることもできますが
すばらしい状態を得たという 模範を示さないといけません あなたが彼らに 気付きを与え サハジャ ヨギとしての生き方が
できるようにしないといけません 実際完全になるなら あなたはマハヨギです そうならないといけません
あなたのスピリットが 皆に歓び 平穩 恩恵を与える マハヨギになること以外に 大切なことはありません
神の祝福がありますように

2001-0225, Mahashivaratri Puja, Destructive Power of Shri Mahadeva

[View online.](#)

Mahashivaratri Puja, Delhi (India), 25 February 2001.

今日 私達は マハシヴァラトトリを祝うために 集まりました シュリ マハデヴァについて 理解することは 私達 皆にとって 大変光栄なことです あなたがセルフ リアリゼーションを 得ない限り シュリ マハデヴァの 偉大な神格 その性格 その力を 理解することはできません 私達が謙虚でない限り 彼の偉大さ その深さに到達することも 理解することも 容易ではありません シュリ マハデヴァの 蓮の御み足に到達するためには 私達はとても 謙虚でないといけません この偉大な人格の 蓮の御み足にいたるために サハスララでさえ 越えないといけないのです 彼は私達の 概念を超越していますが スピリットとして ハートに内在しています そして あなたが リアリゼーションを得たとき 大変よく反映するのです しかしながら 私達は シュリ マハデヴァの力を 理解しなければなりません この偉大な神について 短い言葉で説明することは 容易ではありませんが 彼自身が持っている 最初の力とは 大いなる許しの力です 彼は許します 彼は たくさんある私達の罪 たくさん破壊的な行動 みなに問題を起こそうとする 気質を許します ある程度までです しかし 同時に破壊する 最も大いなる力も持っています 彼はすべての 五大要素を支配しているので 彼の破壊は 突如起こります すべての要素を支配しています 母なる大地を 支配していますし その他の要素も すべて支配しています 彼は問題を見つけ 望みさえすれば すべてを 破壊することもできます 地震は私ではなく 彼によって 起こるといわなければなりません 私は破壊のために いるのではありません この地上で何が起きている 人間に何が起きているのかを見るのは 彼なのです グジャラットの例をあげましょう グジャラットの人々は 大変な金銭主義者です 株式取引について心配したり あれこれと 常にお金のことばかりです 外国に暮らしていたとしても 非常にお金重視です 彼らにサハジャ ヨガの話を するのが不可能なのは 時折 驚かされます 彼らは偽者のグル達が 好きなのです どこからそれを得るのか わかりません ともかく グジャラットに バヴナガールという場所があります ある時バヴナガールの人達が来て 銀のスリッパ パドゥカスを 私にヴァイブレート してもらうために持ってきました 驚きました この人達がそのように考えていたことに 少なくとも嬉しかったのです バヴナガールで そしてバロダでも 彼らはプージャをし ハヴァンをしました これらがボカンバや地震によって 害が及ばなかった 二つの場所なのです 想像できますか そして 遠いところにある スラットは 完全に破壊されました 何人かのサハジャ ヨギは すべて助かりました そして彼らの 家も動きませんでした つまり あなたのお母さんの保護と 全能なる神の 怒りの間にいるのです 彼がすべての要素に対して 力を持っていることを 良く理解するべきでしょう 私がフランスに行った時 何人かが 私を困らせようとしてました マスコミが 私を追いかけていました テレビや他のところで 私のことを悪く言っていました どこかで何かが起こることは わかっていました そして突然海から大きな 何と呼ぶかわかりませんが 大きな嵐が起こりました 誰もなぜそれが 起きたのかわかりません そして二つの船が 完全に沈み 助けように行った人達は ガンになりました 次に起こったことは この嵐が早く動きはじめ すべての教会の屋根を ふきとばし たくさん牧師の家が こわされました その嵐がどんどん進み 私が買ったとても大きな 城のところまで来ました そこでまさに止まりました それは私が やったことではありません 彼がすることなのです 彼は大変許すことができます 非常にやさしく 穏やかですが 彼の力を意識するべきでしょう これらすべての力は 私の仕事を守るために 使われています 行き過ぎることもあります スピリチュアリティの仕事を 邪魔すべきではないことを 人々に示すためなのです 本物のスピリチュアリティ でないといけません 偽りのグルのような者が 魔法のようなものを見せたり 不自然なことを話したり するのではダメなのです 本当のスピリチュアリティ であるなら 常に守られますし シヴァはこの上なく幸福です そして あなたに与えられたものは あなたが想像できる以上の すばらしいもののなのです 彼は大変許すことができます そのような許しの源です あなたの心に許しがあれば 彼はあなたの心に内在します そうでなければ 次第にあなたは 大変重い病気にかかるでしょう あなたが許せるなら あなたのハートはとても早く動くでしょう 誰もあなたのハートを おかすことはできません 心臓発作を起こすことは ありえません しかし もしあなたが 我慢強く 苦しみ いろいろなことを 自分の力として受けとめるなら 間違ったことをし 神を忘れるなら あなたのハートは だんだん弱まり始めるでしょう ですから 一方では非常に 攻撃的なハートになっていき ヒットラーのような ハートになれるのです いかなる主張をしようとも あなたが誰かを 苦しめるのであれば あなたのハートは固くなり 強力な心臓発作になるでしょう これは避けられません また あなたが 大変辛抱強く 意味のないことを辛抱し 大変従順で おびえているとします おびえているのなら その恐れでそれをしているなら 別の心臓疾患 狭心症を引き起こすでしょう 最終的には 罪悪感のようなものを持ち始め ありきたりの人生を 送ることでしょう このような精妙なことが とても辛抱強いと思われる人に よく見られます スピリチュアリティのためであれば 辛抱するのにかまわないでしょうが 恐れをから するものではありません あるいはこわさから するものではありません

サハジャ ヨギであるなら 何も恐れることはありません インドでは 人々は何でもこわがります リスを見てこわがったりします トカゲを見ようものなら もうおしまいです 彼らは何でもこわがり 女性はゴキブリでさえ こわがります このような気質は大変ばかげています 狭心症に陥りがちな 人になるからです こわがる必要はありますか サハジャ ヨギであるなら 何にもこわがることはありません 人はねずみを見てはこわがり 何でもないことにこわがり それを自慢し 話題にします ハートがどんどん 弱くなっていきます また インドの男性にも 責任があるでしょう 女性を付属物が義務のように扱ったりするからです 女性をどう思っているか わかりません 彼らの態度は 信じられないほど悪いです 特にインドの北部です 女性に地位はありません 家の中に閉じ込められ 召使いのようです 顔を常に 覆っていないといけません 許可なしに 外出はできないのです ひどいものです イスラム教徒の影響である という人もいます しかし 永遠の命 スピリチュアルな命を 信じるのであれば いかなる無意味な残虐行為にも 支配されるべきではないのです ですから インドの女性が 自由になる必要を感じるわけです 彼女達は大変いい人達で 辛抱強く 心やさしいのですが 自分の価値を自分自身を尊ぶことを 知らないために 悪い病気にかかったり 精神疾患を引き起こしたりするのです このことについてはすでにお話しています なぜ男性は このように振舞うのでしょうか 私達の国では 少なくとも70%が女性ですので 北部では70%の人々のエネルギーが 無駄になっているように思います 彼ら自身 どう思っているか 分かりませんが その報いを受けています このような国々は 決して栄えることはありません 女性はラクシュミだからです しかし 彼女達もラクシュミであるべきです ラクシュミのように 振舞うべきですが このようなひどい状況には ショックを受けます どうして女性でいられるのでしょうか 悪魔のようです このような社会での アンバランスもまた シュリ マハデヴァによって 罰せられるわけです 彼は大変親切で 苦しんでいる人達の 面倒をみようとし 苦しめる人達を 罰しようとし 攻撃的な人達を滅ぼすことで 助けようとするのは 彼の本質なのです 彼はクンダリーニや セルフ リアリゼーションについて語りません ただしっかりと罰を与えます ショックを受けるくらい ひどい方法でやります 苦しみの中で生きている女性達を見てきました 彼女達は寿命より かなり早く死んでしまいがちですが そういう人達を彼は救います これらのことを正しく見なければなりません 彼はもちろん 守るためにいますが それ以上に 滅ぼすために存在します 彼はさまざまな動物 さまざまな鳥 あらゆる自然を守ります 彼が守ります すべての喜び スピリチュアリティの 喜びをもたらすのは 彼なのです しかし もしあなたが 攻撃的になろうとしたら 滅ぼすのは彼なのです 自分の首を吊るためのロープに ゆとりをもたらせますそれで人はまだ大丈夫と思い 自己満足するのです 逆に西欧では 男性より 女性の方が支配的なようです 大変驚きです どうやっているのでしょうか 常に支配しているのです 男性は 手玉に取られています どうやっているのかわかりませんが 支配しています 彼女達は 謙虚ではありません 愛していないのです 常に夫と 離婚し続けているのです 愛していないのです 愛とは何か 知らないのです またインドの男性も 愛が何であるか理解していないようです 一生のパートナーである妻を どう愛していいかわからないのです どう敬意を払っていいか わからないのです そして ひどい怒りが起こってきます この怒りは いろいろなところに作用し そのような男性達には 恐ろしい病気や問題ごとが 次々と引き起こされます 社会全体もまた 謙虚な者達に対してふりかかる さまざまなことに責任があります 双方です あなたが攻撃的であるなら シュリ マハデヴァの 第3の目に見つめられていると 理解するべきでしょう 例えば あなたの召使に 攻撃的であれば 部下に攻撃的であれば あなたの子供達に 攻撃的であれば この怒りに満ちた神がいます 彼の破壊の呪文の下に置かれるでしょう しかし 彼は私達に ヒマラヤのすばらしい高さを与えます 彼は人間を非常に美しく とても気高くしますそして 彼は人々がお互いを 愛し合うことを望んでいます 人間の間には 純粋な愛があるべきです そして彼があなたをとてと繊細に 人に対して振舞えるように 人にやさしくできるようにします それができないのであれば あなたは違う方向へ行っています 彼の最も偉大な特権は あなたに高さと深さを与えるということです あなたが彼を崇拝するなら 全世界を目撃者として 見ることができの高さを得られます 彼は全世界を サクシ スワルパとして目撃します ですから 彼は知識なのです 彼は純粋な知識なのです あなたはリアリゼーションを 得たかもしれませんが 涼しい風を感じたかもしれませんが しかしその知識を持っていますか 自由とは何かを この手の意味は何かを ヴァイブレーションは何かを 話さなければなりません 彼がその知識なのです その純粋な知識です 最も高いレベルの 完全な知識なのです ですから 彼が知識の源なのです 謙虚でない人は その知識を得ることはできません 傲慢な人 他の人を繊細に 優しく 美しく扱えない人は 彼の恩恵を得られません そういう人は 人生において何も得られません 何を得るべきでしょう 地位でも富でもありません これらの外的なもの ではありません 愛することができるハートを 得ないといけません あなたが愛することができるハートです シヴァがハートに 内在するのであれば あなたはすべての人を 大変美しい方法で愛せます 愛について おかしな考えはありません 純粋な愛だけです すべての人への純粋な愛です そのお恵みで あなたの荒っぽさは すべて消えます 例えば もしほんの少し 力があるとします するとあなたは 良くないことに使うでしょう シヴァを見てください 非常にたくさんの力を 持っています 彼がそれを 間違って使えば この地上に草一本も 生えないでしょう いかにもあなたが罪深い 自己中心的か それでも彼は あなたにチャンスを与えます “成長するかもしれない”と 彼は非常に寛容です 彼は大変許すことができ また極めて寛大です 仮に 砂漠に住んでいる人達が いるとします そして彼らが 大変いい人達だとします 砂漠に住むがために 苦しんでいるなら 彼らにオアシスを創るでしょう 彼は母なる大地を

支配しています 彼らを幸せにするためなら 何でもできます 彼らがスピリチュアルであれば 崇拝しているのなら しかし人間はとても愚かで 神の名のもとで戦いつづけます 例えば南部では 二つの種類の人達がいます 一方はシヴァを もう一方はヴィシュヌを崇拝します ヴィシュヌは シヴァを崇拝していたのです 誰も高くも 低くもありません すべてが大切なのですが シヴァを崇拝するか ヴィシュヌを崇拝するかで 人々は戦っていました 彼らは現実から程遠かったのです 現実が何か 知らなかったのです ただ戦い 戦いだけです 神の名のもとで戦う者に シヴァが行き 彼らを三俣の鉾で 刺します 神の名のもとで戦ってははいけません 愛し 理解することです 神の名のもとで 戦うことは無意味です それだけではなく 大変危険です そのようなことをする者は 滅ぼされるでしょう 自己破壊的です 完全に滅ぼされます ですから 神の名において 愛さねばならないことを 理解する必要があります ばかげたことを 我慢する必要はありません 愛さなければいけません 愛を広めなさい 次第にその愛は 世界中に達して 私のヴィジョンが達成されつつあるのを見ることができます しかし 諍いや憎しみ あらゆる攻撃性があるなら これら全てはシヴァに反し 滅ぼされるでしょう 彼らが滅ぼされるとしたら 何ができるでしょう 拝金的で 物質主義であるなら 彼らは愛しません 金銭のためだけに 愛しています 彼らが皆滅ぼされるのは 疑いがありません 謙虚であるばかりでなく 非常に愛する人でなければいけません シヴァの恩恵に与るには 極めて愛する人でなければなりません そういった人は利口だったり ずる賢くはないかも知れませんが 純真であると思います 誰かを愛すると その人を助けたいと思うからです 私自身苦しみました 人々を助けようとして 彼らは私を欺きました だから何だというのでしょうか それが彼らの性質であげく破滅しました 私は自分を欺くように 頼んだわけではありません 私は彼らに良くしましたが それでも私を欺いたのです ですから 破滅がやってきます 私に何が できるというのでしょうか 誰も破滅して欲しく ありません この自らの創造を 愛していますが 彼らが破壊的であるとしたら 守る方法がないのです 彼らを破壊するもう一つの 偉大なる力があるからです 私がどうしてもない立場にいる ということがわかるでしょう どう表現してよいか わかりません しかし シヴァの愛と恩恵によって あなたは極めて愛情深く 寛大で 非常に優しく 子どものように 純粋になれるということを サハジャ ヨギとして 理解すべきです あなたは 純真でなければなりません ずる賢くなる必要は 全くなく 純真さが如何に守られるかに あなたは驚くでしょう あなたが純真なら 心配する必要はありません シヴァの第3の目の力が存在して いてあなたを保護します どこに行こうと あなたと共にあります 馬鹿になる ということではありません 現実的でなくなる というわけではありません シヴァの力によって 現実的な側面は ことごとく引き受けられます 彼の導き 愛 優しさを 人生の中のありとあらゆる 歩みの中で見ることができます まず自分の歩みに 気を付けなさい 攻撃的ではないですか 人を困らせてはいませんか 他人につらくあたったりは していませんか あなたは謙虚ですか 穏やかですか 親切ならば 彼はとても喜びます 自然のなかで働いているのは 彼の掟です それは非常にシステムティックで お互いを理解し合いながら 生きています 例えば ジャングルに行つて 全く静かで 鳥のさえずり さえも聞こえなければ そこに虎が座っている と思うべきです 彼は王様です 従うことを皆知つていて 王がいる場には 礼儀が存在します 自動的に礼儀を 理解しています 虎がいれば 誰も動かないでしょう 彼は威厳をもって座ります 1週間か 10日に一度だけ 一匹の動物を殺します 彼も食べなければなりません 一匹殺して 彼とその家族が まず食べます 血が流れ出るまで待つてから 家族皆が来て食べます それからその動物を そこに残していき 他の動物たちが順に来て プラサードとしてそれに与るのです 最後には カラスたちが来て その動物を食べます それほどの規律 礼儀の理解が存在しています シヴァによってどれほど動物たちが 統率されているかに驚きます 動物が ストライキをしているとか 動物の巨大な裏社会がある とは聞かないでしょう 動物がものを盗む というのも聞きません 私達は動物の段階から 進化してきたというのに動物以下です 争いのようなおかしい 行動様式をもちながら どうして私達が 上昇できるというのでしょうか どんな小さな原因であれ 争い始めます 動物も多少戦いますが 集団ですることはありません 人間のように 集団ではしません ほんのちょっとした腹立ちで 仲間をつくつて争い始めます 動物も仲間集団をつくりますが 争いしません 動物たちは 真に理解しています 私達も自然の掟を 理解してはどうでしょう このような自然の摂理に 従わせるのがマハーデーヴァです 空や大地ですら 全てが彼によって保護されています 美しいことを 私達のために行います 季節の移り変わりと共に 美しい花々をつくり出します 心地よく 美しい 喜びを与える ようなものを創造し 保護します 自然が与えるものを示し 私達が無邪気な子どものように楽しんだり 喜んだり 幸せでいられるようにします しかし 私達は傲慢にも 何事につけ反応します 絨毯を見れば “これは好きではない”と言うでしょう 特に西欧では 良くあることです 何かを好まないというあなたは 自分を何だと思っているのでしょうか 良くあることで 恥じらいもなく“これは好きではない これは好き”といえます そういった人間はどこへ行き着き 何が起るのでしょうか 何事も愛でることなく 楽しむこともなく なぜ批判的な反応を するのでしょう そういった反応は西欧に多いです インドではあまりありません しかし そこにはある種の 文化の違いがあると思います インドなら 異常者のように思われるでしょう どう愛について語り それを表現するかが大切です まず 自分の妻から始めなさい そして自分の子どもや 他人に向かうようにしなさい 時折 世界は愛せても 妻は愛せないようなことがあります それは特殊です インドではあります 西側でも 妻を怖れるが故に愛するような おそらくは離婚を怖れる人がいます 愛はただ “自由な” 愛であるべきです 怖れなしに 責めることなしに

その純粋な愛を楽しみなさい それが今日の 人間に足りないことです 人々が愛の美しさを 悟る日が訪れると 天国から花々が私達に降り注ぐでしょう マハデーヴァが 第3の目を閉じることができて ころころ穏やかになるすばらしい日になることでしょう それが私のヴィジョンです それがあなたの方の未来です どれほど人と 穏やかに話せるか どれほど優しく 人を愛せるか どれだけ人に 与えられるかわかるでしょう 例えば 何か贈り物を しなければならぬとすると 彼らは店に行き 最も安っぽい ひどいものを買って 贈ろうとします そうではないのです 大きさが何であれ 愛情をもって買うべきです それが愛を語るべきで どれほど費やしたかではありません インドですら昨今では いかに着飾るか どれほど自分に価値あるかを 見せびらかすのが とても一般的です 何のためでしょう なぜでしょう そういった人々を多く知っていますが 亡くなれば 遺体を運ぶのに 4人の人さえもいません 生前は 自分のことばかりを 際限なく考えていました そのような時に その人を愛したり気にかけてたりする人が 何人いるかを見るべきです 育ちのせいか 愛を知らなかったのかも知れませんが どんなことでもそのせいでできます しかしサハジャ ヨギにとっては 愛こそが人生であり スピリチュアリティであり その愛は 見返りを期待しない 愛であるということを学ぶことが重要です 貧しい人や何かを援助するのに 長けた人がいることも知っていますが その背後に力があって 単に権力意識を満たすだけで 愛を満たすことなく考えます ですから 働いているときに 何らかの利益や 地位のためではなく 単にスピリットを満たすためだけ 愛を満たすためだけにしていると 知っていなければなりません こういった類の執着のない愛 ヴィラクタを有していれば 何らかの資格を 得る必要もありません あなたはすでにそれを得ているし 楽しんでいるのです 英語で話さなければならぬ というのは残念です 英語を解さない人も いるかも知れませんが 英語が最近では 優位でどうしようもありません 英語を強いなければならぬのです 他の言葉を私は話せません しかし 人は 愛の言葉を発するべきです 動物たちを見ると 馬でも犬でも 動物たちは みな愛を理解します あなたになついたり 愛情を表したり 非常にかわいらしいです これを今 彼らから 学ばなければいけません 他にどうやって愛の価値を 理解させられるかわかりません 現実的ではないと 批判したり たいしてお金がないとか 権力がないとか そういったことではないのです それは重要ではありません そんなことならいくらでも 手にはいるからですが けれども 私達は違います 私達は人類の宝石で 輝いていなければなりません ダイヤモンドが貴重に見えるには カットされる必要があるように 内にある悪いもの全てを 切り落とすのです 私の唯一の 望みがあるとすれば “シュリ マハデーヴァの性質に 従うようにしなさい”ということです いかにかが偉大か いかにかに執着がないか 完全に執着がありません 彼は骨やそういったものと 暮らします どこに 誰と住むか 何を所有するかにも 何にも頓着しません 私達も 無執着であるべきです 同時に彼のように 極めて愛情深くあるべきです どれほど彼のハートが 他者への愛で満たされていて どんなに他者の世話をするか 私は警告しています あなた達は私を愛していることを 知っていますが あなた達がお互いを 愛するべきだからです 愛するハートを持ち 他者を愛することに満足しなさい それを育てることができたら サハジャ ヨギでのあなたの 高みと深みが増すでしょう 確かに女神があなたに シュラッタ (信仰) を与えます しかしそのシュラッタの深さは サンスクリット語や ヒンディ語では知りませんが マラティ語ではデヤスと言います その愛の深みに飛び込めば 愛を全身に浴びれば 愛を楽しめば あなたは何も欲しいとは思いません 全てを得たのです 何を欲しがるといえるのでしょうか シュリ マハデーヴァの 偉大さのように 彼はあまりに偉大なので 執着がありません 彼以上に偉大なものがなければ 彼以上に重要なものもありません 何を望むといえるのでしょうか だから彼は無執着です この無執着を あなたも育てる必要があります しかし同時に 彼は芸術 音楽 リズムの 神でもあります 先日 男の子達が リズムを奏でていました 彼こそが万物に リズムを与えます 自らの命のリズムに 私達は無自覚です 子どもが生まれるのも 9ヶ月と何日と正確です 誰がこのリズムを守るのでしょうか そしてある花が ある季節に咲きますし 自然には四季が存在します 誰がこのリズムを守るのでしょうか 彼はリズム以外の 何者でもありません そのリズムが自然において 守られています 全てにおいてリズムがあります そしてリズムのある人こそ 大きなハートを持った人です それは大海のようです そのリズムが狂うと 残酷だったり 妄想的な人がいたりすると 整った 美しく穏やかな 全くさざ波もないような湖の中は 愛以外は 存在しないのですが そういった静かな ハートのリズムが乱されると シヴァが働き出します ですから 人は完全な時間のリズム 自然のリズムや 全てにおいてのリズム感を持つべきです 花の名前さえ こういった花が何かさえ 何時ごろに咲くかも 知りません そういった生命のリズムに 関して全く知りません 知ろうともしません 見てみれば 全てに渡って 季節が存在します ですから 彼はあらゆるリズムを タブラやパクワジを演奏するように 全ての季節のしらべを 奏でたのです そしてそれによって自然が芽吹き 花を咲かせ 枯れていくのです その点を わかっていません 自分自身にかかずらって ばかりいます “調子はどうですか” と尋ねれば “マザー 頭痛や胃の痛み 他にも・・・” 何から何まであります 別の人はいいいます “ええ 順調です” “マザー 世界をどうか 正して下さい”と 自分の心配をせずに 他者のことを心配します 世界を幸せにするために何ができるか という美しい理解のもとで いわば一生懸命に 働かなければなりません そのなかで “この世を美しくするのは 私達の義務ではないか” “この世界をリズムックに スピリットと調和のとれた世界にするのが” “私達の仕事ではないか” と考えるのです それは私達の義務です サハジャ ヨギを自分のためだけでなく 他人のためにするのです 自分のことをいつも心配するのではなく 他人の心配をするのです

世界で起こっていることに気を配る それが愛です その愛は自発的で 働くときにはすてきな働きをします 今夜は美しい夕べで
この場所で偉大な成長の源を 崇拝しています あなた方が どれほどその力を得ているか シヴァのリズムにおいて
どれほどその力を 全身に浴びたかを 理解するよう望みます 彼はそのリズムカルな方法で
あなた方にヴァイブレーションを与えます 私達の生の道すじを流れ それがあなた方を 完全に包み込むはずで
そこであなたの自己意識は 溶けていくように要請されるでしょう 私はそれを祝福します ありがとうございました

2001-0603, Adi Shakti Puja, The Work of the Adi Shakti

[View online.](#)

Adi Shakti Puja, Cabella Ligure (Italy), 3 June 2001.

今日 私たちは アディ シャクティを崇拝します 最も大切な プーージャだと思います なぜなら あなたにセルフリアリゼーションを 授けたのも あなたに真実を 与えたのも 慈悲と愛の力を与えたのも アディ シャクティの力からです それは サダ シヴァから 分かれた力です この力は この完全な宇宙を 創ることを望みました 次々と宇宙を創り 愛します 彼女の愛で この偉大な創造を この世界の創造をしました この惑星は 人間の創造のために特別に選ばれ 太陽と月の間の 中央に美しく位置づけられました これは彼女の偉大な業です 大いなる愛と慈悲で 創られました そして 彼女の子どもたちが 真実を知り 自分自身や他の全てについての 究極的知識を得ることを 期待して創られました 聖書で記された通り 蛇の姿をして アディ シャクティが現れ 人間たちに アダムとイブに 特にイブに “知識を知らなければいけない” と話しました 彼らは知識の果実を食べることを 受け入れました 人生の精妙さを知らなければ 動物のように生き続けたかもしれません 少しだけ動物より ましだったかもしれません 果実を食べると 何も身にまとっていないことに 違和感をもち始め 自分自身を木の葉で覆いました 最初の知識は純潔でした なぜならシュリ ガネーシャが 確立されたからです 彼の影響は私たちに 体を覆わなければいけないという 意識をもたらしめました 私たちはもはや 動物ではありません 動物は二本足で立ちませんし そのようなことを意識しません 純潔の知識でもって 次第に人間は 美しい国を 建国し始めました しかしまだ 知るべきこと 意識すべきことは 多くあります 人は多くのことに 気づいているかもしれませんが スピリチュアルな 覚醒なしには 自己の知識を得ない限りは 他のすべての知識は 全く意味がありません 自己の知識によってのみ あなたは力を持ちます 真の力である 愛と慈悲の力です 今日の世界は 戦いに明け暮れ 人々を戦争から守るための 巨大な防衛武器を作っています 全世界が互いに殺し合い 滅ぼし合い 野心 競走 紛争へと発展し より悲惨な戦争に 繋がります 彼らは一区画の土地のために戦います 彼らは大変無知です 死ぬ時に人は 土地の一部でも持ってはいけませんが 人は生まれた時 こぶしを握っています 死ぬ時 手は開いたままです 何を持ってはいけませんが 何も持っていきたくない かもしれませんが あなたが戦っている 素晴らしいと 思っているものを楽しんでいますか 愚かな者たちの間で なぜこのような戦いが起こるのでしょう 平穏を望まないことに 驚きます 土地のこととなると 理解がなくなることに驚きます 全体が 間違った方向に進み 完全な破滅へ向かっています 彼らの無知によって 人間は大変苦しんでいます 無知によって これらの習癖を持ち 間違ったものに魅了され 間違った同一性を持ちました それは彼ら全員を滅ぼします 彼らはまともにならなければなりません 自己の知識を 得なければなりません 自己の知識は 人に与えられた救いの鍵です 多くの聖人がいました 多くのスーフィがいました タオイストの者も 禅の者もいました この地上には あらゆるリアライズ ソールがいました 彼らは苦しみました 苦しめられました 誰も彼らを 理解できませんでした しかし今 あなたが 真実を知る時が来ました 無味乾燥なものではなく 慈悲深さのある真実 すべての人を包み込む 真実であり 私たちの存在の 完全な見解を与えてくれます なぜこの地上にいるのですか 私たちの目的は何ですか 私たちは何をすべきですか アディ シャクティの力は 愛のそして慈悲の力で まずあなたの自己を 理解させてくれます あなたにとって愛は とてもとても限られています 自分自身について意識できません あなたにとってどんなにすばらしいか 考えてみてください あなたは自己を しっかり意識できるように ならなければいけません 非常に大切なことです まず自己を 意識しないと いけません 今あなたは スピリットの光を持ちました その光で自分が何であるか 見ることができず どれぐらいのところに達しているか どんな間違いをしているか どれほどの害を 自分に及ぼしているか あなたにはそれを治す 改善する まともにする力があります これは最も大切な時間です あなたはこのような時間を 二度と持てないでしょう これまでの歴史にもありませんでしたし 未来にも決してないでしょう これはあなたが得た時間です 意識するだけでなく 自己の知識を得るだけでなく どうしたら良いか 解っています 聖人について タオイストや禅の者について言えば 彼らは 自己の知識を持つ者について 振る舞い方や生き方 他者と比べて何が違うかを ただ語っているにすぎません どうすればそうなれるのか 誰も言うていません 誰も言えませんでした することもできませんでした なぜならほとんどが クンダリーニのことを知りませんでしたし 知っていた者は 人々にそれを 話すことができませんでした ですから アディ シャクティの最大の仕事は あなたの仙骨に クンダリーニを置くことです このクンダリーニは アディ シャクティではありません アディ シャクティは もっと偉大な 大きな 広大な 深い 強い 力強いものです クンダリーニは アディ シャクティの力の反映です 彼女が覚醒されると 何が起こるか いかによりアリゼーションを得られるかは ご存じのとおりです しかし あなたは大変 注意深くいないといけません あなたは本当に 慈悲深い者ですか あなたが慈悲深ければ・・・ 慈悲深い者に まず起こることは 他の者を助けること 他の者を救うことだと思います 自分自身の達成や セルフリアリゼーションの状態だけでは 満足できません 起こりえませんでした アディ シャクティが 全てをする必要は何でしょう

私が一生懸命やらなければ いけなかったことはご存じだと思います 幼少時代から 大変努力してきました 大変困難な時期もありました 人間からみて 困難な時期です しかし最悪なのは 私がリアリゼーションをあげた者たちが セルフリアライズした者たちが 他者に責任を感じていません あるとしてもほんの少しです 今日彼らには人類を救う 世界を救う 慈悲の気持ちや愛がありません 私たちの大事な仕事であるだけでなく しなければならない唯一の仕事です 他から得るものは何もありません 他の者にリアリゼーションを与える この知識を与える あなたの努力 個々の努力だけです この知識は大変容易に 理解することができます もちろん大変精妙です お話ししたように 話題になっている量子論ですが 奇跡的な光の波動を見た 科学者たちが それは何であるかを 知ろうとしています サハジャ ヨギが他の者の上をいくということではありません 自分に起きた 大変特別なことだと 皆さん一人一人が 理解しなければいけません たとえヒマラヤで修行しても 断食しても 何年も神の賛美を 歌い続けても あらゆる儀式や 苦行に耐えたとしても リアリゼーションを 得ることができませんでした 可能ではありませんでした このことは知っていました それゆえ 私は大変努力が要りました 様々な問題 様々な混乱 様々な圧力と 向き合わなければ なりませんでした なぜでしょう あなた達が創られ 私の手となるよう見るためです あなたは働かないといけません どの指も働かないといけません ずっと言い続けていますが 今は私たちの責任です 私たちが サハジャ ヨギになるためだけでなく 開花の時 多くの人が サハジャ ヨギになるためです それはアディ シャクティの仕事です 理解するようにしなさい それは どの聖人の仕事でもありません どの化身の仕事でもありません いかなる政治家の 仕事でもありません いかなる偉大な指導者の 仕事でもありません アディ シャクティの仕事です それはあなたの中に 結果をはっきりと見せています それに あなたが気づくことです 私を歓ばせることは あなたの切なる望みです 解っています あなたが どんなに私を愛しているか どんなに私のために 尽くしたいか知っています 私のためにできる 最大のことは サハジャ ヨギを広めることです それはとても特別なことで あなたに与えられた 非常に難しいお恵みです あなたはいかなる努力も 要りませんでした 全くお金を払うことも ありませんでした あらゆる儀式で 変になることもありませんでした 自発的にそれを得ました それを生まれ持った権利のように 捉えてはいけません それはアディ シャクティの仕事です アディ シャクティの仕事は あなたの生き方の中に 現れなければいけません 見返りを期待しない 慈悲の心です 人は貧しい者に 同情を見せることで 貧しい者や障害者の世話をすることで 宗教を広めようとしてました サハジャ ヨギは それをする必要はありません すべきことは人を変えることです どのように人を変えられるか いかにアディ シャクティのメッセージを 広められるか 方法を探してみなさい 心がけなさい そうすれば どうしたら良いかわかるでしょう サハジャを広める方法を 見つけなければならないという 強い願望を 常に持つべきです でなければ キリストが述べていた 湿地に落ちた種は 発芽しても 決して育つことがなかった話の ようになってしまいます 自分ができることを 知ることによって あなたは 本当の意味で成長でき 何かとても特別な者 真の者になれます もちろん 私にはビジョンがあります 何度もお話ししました プージャだけで終わるのは よくありません とても困難な国もあります 問題は何か なぜ難しいのか 分かるようにしなさい 最後の審判と呼べる 同じ土壌の中で 人はなぜ自分自身を 滅ぼそうとしているのかということに 私たちのアテンションはあるべきです 私たちの慈悲と愛を通して できるだけ多くの人を救いましょう これはアディ シャクティの仕事です いかなる聖人や 化身の仕事ではありません 彼らは皆そこにいます 私たちの中にいます 終始私たちを助けています あなた方は とても偉大な 浸透する奇跡のような アディ シャクティの力を持っています 大変効果的です しかし あなたが 自分自身の力を意識しないかぎり どうやって ワークアウトするのですか それは全てを備えた 死んだ機械のようなもので 誰も操作する人が いないのと同じです 私は常に 大変際どい時期を 過ごしてきました 大変困難であったので 時には来世でないと無理かと 感じたこともありました しかし 今はあなたにとって とても簡単なことです それは大変な思いをして 作られた道を 自分がどれほど簡単に得たか 気づきもしないで歩いているようなものです それに気づけば “この道を 多くの人が歩けますように” “大変な忍耐と理解と愛で創られた この道を”と感じるでしょう 全てのサハジャ ヨギが この世界を変えるために 最善を尽くさなければいけません 実際人類は 他の誰でもなく あなた方によって 救われなければなりません 大統領でも首相でも 大臣でもありません 彼らは世界を 変えることはできません その権利を与えられているのは あなたです あなたは この力を持っています 自分の地位 立場が 遥かな高みにあることに 気づいていますか その悟りがあれば 愛と慈悲を表わすために 人が本当はどんな存在か 気づいてもらうために あらゆるところに出向くでしょう サハジャによってのみ 世界を救うことができます 他の方法はありません 何をしようと 何を言おうと 貧しい者を助けようと それは上辺だけのものです 最良なことは 全ての者に リアリゼーションをあげることです 私たちは子どもたちを見てきています 彼らは成長しています 偉大なヨギになるでしょう 分かります しかしその前に 自分がして得たものを 示さないといけません 静的な仕事ではありません 爆発的な大きな動きです そのような 大きな歩みでないかぎり 審判の日に 誰が咎められるかわかりません 人類の運命を高めるのは あなた達です 自分自身を 何でもない者として見てはいけません あなたはリアリゼーションを 得なかったかもしれませんが 多くの中からあなたこそが 私のところに来て リアリゼーションを望み 授かりました 強制されるものではありません このリアリゼーションは

強制されるものではありません この意識は 強制されるものではありません この意識の成長もまた
強制されるものではありません あなたはアテンションを 自分の中で深く育まなければなりません そして何をしてきたか
見ないといけません 金銭問題 権力問題あるいは 他の様々な問題で忙しくするなら 問題はあなたです あなたは サハジャ
ヨギではありません サハジャ ヨギは 全てを超えています とても強力です 力が備わります 口先だけの愛でなく
愛と慈悲の力です それは他の者を愛するだけの 業ではありません あなたが持つようになる 強力な人格です それは偉大で
神聖な光をただ放ち 人を捉えることができます 皆が とても勇気ある人格を 持つべきです 皆さん成長しました
以前私に“これが私の悪いところですよ あれが父の悪いところですよ” “曾祖母の悪いところですよ”といった ことを書く者がいました
しかし そのようなことはなくなりました 大変少なくなりました 病気の者 失敗した者 改善することができない
状態にいる者について 私に話すかわりに アテンションを 変えなければなりません ある人が 癌にかかれば 私に少なくとも
10枚写真が届きます リーダーもその妻も 私に手紙を書くでしょう 皆が私に手紙を書くでしょう なぜですか
それは私の仕事ですか その人は治るすることができます 病院があります 写真で治せます しかしアテンションは
常に同情の方になってしまう いわゆる肉体的に 精神的に 感情的に 財政的に また結婚生活で 苦しむ者に対して
あなたの仕事ではありません 私のもではありません その人が病気なら 写真を使ってワークアウトすべきです
うまくいかなければ 仕方ありません 彼らを特別に扱ったり ワークアウトさせたりする 必要はありません うまくいなくても
“こういう人が病気です” と私に書くことはありません 何がそんなに大事ですか 健康な人はたくさんいます その者たちに
働きかけてはどうですか 私たちの仕事は 人を治すことではありません 愛情はいいでしょう 慈悲もいいでしょう
私たちのアテンションが病人 あるいは貧しい者 苦しんでいる者にいくのは 自然なことですが サハジャ
ヨギはどうなるのですか 一人の病人がいれば 百人のサハジャ ヨギが気にかかるでしょう その理由は何ですか 慈悲ですか
そうではありません 彼らはその人を治すことができると 証明したいのです 慈悲ではありません 今日慈悲とは 人をサハジャ
ヨギに 良い人に変えていくことです それがアディ シャクティの愛です 生まれた者は必ず 死ななければいけません
もちろん不親切になることは ありませんが どれほどの者にリアリゼーションを 与えられるかにアテンションがあるべきです
人がいわゆる治療や改善に 夢中になるのは とても普通のことです いいでしょう 例えば 結婚生活に問題が生じます
夫婦で暮らしたくない者もいます 終わりにしなさい 一緒に住みたくないなら そうしなさい
この世界にはもっと分別のある者が 健康な者が多くいます なぜ住みたくない者と 一緒に葛藤し続けるのですか
あなたの仕事ではありません まずあなたは スピリチュアルに働く者です ソーシャル ワーカーではありません もちろん
社会的に働くことができます しかし あなたにとって一番大切なことは 人を変えることです これにおいて 最も厄介なことは
冷酷さ 残酷さ 他者を苦しめること 怒りです 内的なものである これらすべては 直すことができます 今日求められています
どの国も戦い 苦しめられ 常に破滅への危機に さらされています あなたができる唯一の方法は
リアリゼーションをあげることです リアリゼーションをあげた時 何が起こるか しっかり見るべきです
その人はそれを大切にし 成長すると 守られます 完全に守られます 誰が守るのでしょうか アディ シャクティと
言ってもいいでしょう この世界には 破壊の力があります ネガティブなものではなく シュリ シヴァの
ポジティブな破壊の力です アディ シャクティの仕事が うまくいっているなら 彼は幸せです しかし 彼はひとりひとりを
サハジャ ヨギのすべての仕事を そこに座って見ている 彼が何かとても 間違っただけを見つけたら 私はそれを
コントロールすることはできません 彼は滅ぼします 私はそこには立ち入れません 彼は滅ぼします 何千もの人を
彼は滅ぼすことができます 災害があるところはどこでも 地震や ハリケーンのようなものはすべて シュリ
マハデヴァの働きから来ます 私はそこでは助けられませんが しかし あなたが人々に リアリゼーションをあげたなら
それらの人々は 危険を避けることができます もちろんこの世界を創り あなたを サハジャ ヨギ達を創ったのも アディ
シャクティの 気まぐれと言えるでしょう しかし あなたの責任もまた とても大切です あなたは 責任を持つことはできません
私の責任だったかもしれませんが 違いがあります 決して私の責任だと 感じませんでした これは私の仕事だと
決して感じませんでしたし 私がしなければいけないと 思いませんでした 私はやりました これが仕事です このような人格を
あなたは持つべきです あなたは とても謙虚な気持ちで とても美しいやり方で やらないといけません
そしていかに守られているか いかに支えられ いかにすべてがうまくいくかに 驚くでしょう
人にリアリゼーションを与えられると 彼らの人生を変えることができると分かる時 最大の喜びを得られます
そのような喜びは他では 決して感じられないでしょう 仮に宝くじに当たっても 大きな仕事をもらったとしても
有名になったり 表彰されたりしても 感じられないでしょう サハジャ ヨギを創る喜びは 計り知れません
大変喜びに満ちたことです そのような仲間 そのような結束 そのような一体感 愛の喜び 慈悲の喜びを あなたは得られます
それは普通の喜びではなく 違うレベルの喜びです あなたは私を 恐れることはありません でも自分自身を恐れなさい
自分自身を注意深く見なさい そして今まで何をしてきたか これまで何をしたか 自分自身で見なさい
あなたは啓蒙されています 啓蒙された者が光を与えられなければ それを持つ必要があるでしょう これらの小さな
口ウソクを見てみなさい どんなに炎が小さくても その光を放っています 自分自身を燃やして 光を与えています

光が与えられなければ 啓蒙されても 何の役にも立ちません 啓蒙されるとは 自分だけに光が当たることではありません 愛の慈悲の光であり 神聖です 普通のものではありません 映画でみるような 普通のものではありません 働きかけるのは神聖な愛です サハジャ ヨギが 金銭問題に絡んでいるとか 騙しているとか 犯罪に関わっていると耳にすると 弱ったように感じます 理解できません 信じられません 最も高いものを得たのに なぜそのように下落するのでしょうか それは自分が得たものを まだ感じていないからです あなたは自分が得たものに 気がついていません 敬意を払っていません まだ同じライン 同じレベルに留まるなら 私や自分自身を 公平に評価していないと言うべきでしょう ワークアウトしなければなりません ひとりで私はやりました 一生懸命やったと言うべきでしょう ひどい者と 大変冷酷で 自己中心的で残酷な者と 付き合わなければいけませんでした それは問題ではありません 大変美しい鳥を見つけました あなたは自分の光沢を保ち ワークアウトさせなければなりません すごい速さでサハジャ ヨギが 広まっていると聞くと そして人々が 平穩 歎び そして幸福の領域に 本当に達していると聞くと 大変うれしく感じます それが私の夢です あなた方皆が ワークアウトすることを望みます ありがとうございます

2001-0922, Shri Ganesha Puja, You Have To Protect The Innocent

[View online.](#)

Shri Ganesha Puja, Cabella Ligure, 22 September 2001.

今日 私たちはシュリ ガネーシャを崇拝する ためにここに集まりました シュリ ガネーシャは 純真さの神です 彼は純真さの海です そして彼は あれほど若く 小さな男の子でありながら 全世界を相手に戦え 全てのネガティビティを破壊できます それが純真さの印です 子どもがとても高い所から落ちてても 全然怪我をしない 何事もないという話しが聞かれます 彼らの純真さは とても強力なので 害されるべきでない者には 全く害は及びません それは全世界の叡智を備えており 世界を完全に理解しています そして その純真さを 傷つけようとする者に対しては 世界が 全世界が今までそれほど純真さを 大切にしなかったり あまり崇拝してなかった かもしれませんが 純真さを傷つけようとする者があれば 誰に対してでも 彼ら全員が立ちあがります あなた方の生活においても 誰かが子どもたちを困らせようとする と どんな者であろうと どこから来て 国籍が何であれ 皆その子どもを守り 事態を統制しようと飛び出します これは一体何でしょう 私たちの内にある 非常に注意深く純真さを 守ろうとするものは何でしょう それは本当に恥ずべきことです この世界において この純真さが 攻撃されているという事態をみれば 非常に恥ずかしいことですそれ以外なら 大抵は容認できます 何も間違いを犯していない 悪意のない人々 敵意の全くない人々 子どものように生活している というべき人々 そのような人が何者かによって 攻撃を受ければ 全世界がそれに反応するという以上に 世界中の一人一人が 純真な人 あどけない存在が 害されることに耐えられない思いをします 私たちは解っていません 私たちの中に 愛の大海や - 子どものことを理解する 大海が存在することを どうしてでしょう特に子どもに対してそういった感情を 抱くのはどうしてでしょう 特別に無垢さに対して そう感じるのはどうしてでしょう常に敵意のない人々や 無垢な子どもたちを攻撃する人がいます そのような人が存在します しかし 誰も彼らを支持したいとは思いません 子どもたちを虐待することが適切であると 考える人は誰もいません そしてそういったことを した者たちは苦しまなければなりません 彼らは皆 反動として苦しみます 私たちの中で こういった反応 純真さに対する大きな反応を引き起こすのは一体何でしょう 例えば通常の戦争があり 戦っている人々がいても 通常の戦争では人々はあまり同情を抱きません 人々は「いいでしょう」 「こういった理解もあるだろうしそういったことはあることです」と言います 一番大きな同情心が起こるのは 純真さが挑戦される時ですそれが人間の特性です 彼らは内なる力 シュリ ガネーシャの力を持っていて その力が あなた方に 純粋さ 純真な子どもたち 純真な人々を 守らなければという 感覚や能力 理解を与えます そして全世界が 純粋な人を 殺そうとするような人に対して立ち上がることが出来ます 疑いの余地はありません こういった攻撃に反対 もしくは批判することができなければ その者はまだ人間ではないと言えます 最高の人格は 何であれ犠牲にできますし 諦めることもできますが 純真さに対する感覚だけは捨てられません 非常に注目するに値します 純真な存在に対して どれほどの保護と愛の大海が 存在しているのか 私たちは知りません 最も強い力が 引き出されるのは 私たちが 純真な人や純真な子どもが 攻撃にさらされているのを見るときです それが人間の美しさです もちろん 残酷になれる人間も多くいて 悪魔と言えるような者も 存在するかもしれませんが しかし 特に子どもや 純粋な人々のことになると 誰もが自らの責任を感じるものです 普通の人間が純真になるのは 難しいです なぜなら 彼らは 自分たちが何か偉いと思ったり 全てを理解したり 分析できるような ある理解の仕方をしていて 曲がったり 攻撃的になったり 厄介事を起こしたりと 何にでもなる可能性があるからです その上それに対して言い訳できます しかし構いません それでも 彼らは概して 自分のしていることに対して尊敬されたり 名誉を得ることは 決してありません 私たちサハジャ ヨギは サハジャの文化では 純真さは尊敬されるべきものです あなたは少し騙されたと 感じるかもしれませんが なんとなく支配されている ように感じたり 恥ずかしい思いをさせられていると 感じるかもしれませんが サハジャ ヨギは 純真でなければなりません 彼らの中にシュリ ガネーシャの力が 宿っているからです 落胆させられたり 利用されたり 侮辱されたり 苦しめられたり 支配されられても大丈夫です 彼らは誰であれ 他人の純真さを 破壊すべきではありません 自動的にそれは機能します 純真さが挑戦を受けたとき 世界中のあらゆる善なる者が それを救いに来ることに驚くでしょう その例として 先の戦争があります いわゆるアメリカの戦争です そこで無実の人々 何の罪もない人々が 苦しめられ 殺されました あの時 世界中からの 支持が彼らに寄せられました 全ての国々が 信じる信じないに関わらず この犯罪者たちを 探そうとしました 彼らは必ずしも同じ宗教や 同じ国に属しているわけでは ないかもしれませんが 同じ犯罪に 関わっていないかもしれませんが この機会に 純真さの味方をしない者たちは 孤立し 破滅するでしょう それについて 疑いようがありません これではっきりと 彼らは 無実な人々を攻撃することはできない ということを学ぶことになるでしょう すでにお話したように サハジャ ヨギにおいて 私たちは決して子どもたちに イライラすべきではありません 罰することはもつての他です 私たちが

一番得なければならないものは 子どもに対する愛情のこもった 眼差しです 世界中で その子が自分の家族でも他の家族の子どもでも またあなたに対して なつかなくても それは彼が子どもで 純真だからで 彼の中の純真さをあなた自身の純真さが 守ろうとしています 人が攻撃から 純真を守るために 自分の命の犠牲を 選ぶことには驚きます決して子どもは 攻撃されるべきではありません もちろん彼らは 自分を守る力を持っていますが 自分の力を無駄にすべきではありません - 極めて不吉で 残酷で 醜いものに あなたが子どもを 愛することができなければ何をも愛することはできません 私は今まで 幸運なことに 子どもを愛さない人に 出会ったことはありません 花が好きですと言う者がいるでしょう なぜでしょう なぜ人は 花を好むのでしょうか それらが純真だからです それらに純真な美しさが備わっているからです あなたは自然を愛しますが なぜでしょう それが純真だからです しかし最も偉大な純真が人間の中に見出される者が サハジャ ヨギです ずる賢くなることは簡単です 非常に簡単にずる賢くなれます利口になるのも非常に簡単です しかし賢くなるためには 純真でいることの美しさを 理解しなければなりません 「マザー純真でいると人に利用されてしまいます」という者もいるかもしれませんが 純真な人を 利用できる人はいませんこんなことをされた 攻撃的だったと 思う者もいるかもしれませんが そんなことはされません それはまるで岩のようですそれはまるで岩のようです どんな怒りや復讐の海によっても 打ち碎かれることはありません その岩は シュリガネーシャによって 擁護され、養われています すでに述べましたが 純真さは決して 破壊されることはありません驚くべきことです 罪人や 残虐な人 どんな人であれ 純真さは 破壊されません 純真に関して 非常に密やかなものが神によって込められています 私たちはよく 自身の純真を もてあそぶことがあります 自分が好きなようにすれば 「大丈夫結局は -」 「自分の望み 自分の願望だから」と思うのです そして常に 自分たちの力を弱め続け 自分たちの純真の力を隠しています 覆い隠しています そして 上手くやったと思うのです 自分の悪賢い性格によって 全ての人を騙せたとこの悪賢い性格は いかなる満足も与えません 自己を満足させません あなたが誰かを騙そうとすると あなたにその企みが作用します あなたに跳ね返ってきます そして 純真に対する信仰を なくさせます それは最も大きな信仰で 最も大きな助けで地上における 最も強力な力です 自分の純真に敬意を 払えない者は 自分が弱くなると思うからで 純真の力が いかに作用し、いかに効くか解っていません 世界中どこからでも 作用します しかしこれまで 人間は純真の力に 気づいていません純真になることは 最も高貴です そしてそれは作用します 全ての理解 全ての問題の解決が その人に素晴らしく得られるようにです この世の中で 何が言われ 人は何を覚えていて 何が尊敬されているでしょう 理想が高い者が尊敬されています しかし精妙な側面から見ると このような高い理想を持つ人は とても素晴らしい 生き方をしていますとても良い人格で 良い性格です これらの者たちは 傷つけられ 殺されたかもしれませんが 彼らの純真のおかげで彼らは輝いています 長年に渡って 輝いています そのような偉大な者たちの 人生を見ることが出来ます 彼らは皆とてもシンプルで 彼らは 考えた末の行動ではなく 自然に行動しています 自然に生きています 次々と国が 滅ぼされても純真の力は 滅ぼされることはありません 自信を持つてください 自分自身に完全な自信を 持たなければなりません自分は純真以外の何者でもない 信じなければなりません 純真な者は 騙されると言うかもしれませんが 誰も純真を騙すことはできません それは永遠の価値を 持つものだからです 他の金銭面や他の何かで あなたを騙すかもしれませんが最も永遠なものは あなたの純真さです あなたは人生において最も 成功する者になれるでしょう あなたが全く純真なら - あなたの純真さを 大切にしているなら 純真は決して 壊されることはありません それはあなたの悪い考えで悪い行いで一時的に 覆われることはあります あなたが純真の空から 雲を取り除くことができたら 世界をものにしたことは明らかです キリストの例を挙げられます 彼は十字に架けられ 侮辱され 苦しめられました これをした者たちはどこへ行ったでしょう 誰が彼らを知るでしょう 誰も彼らの名前すら知りません 誰も彼らのことを気かけません たった一人の者が利用され苦しめられました それにも関わらず どうなったでしょう 彼は世界中から尊敬を得ました 全世界が尊敬しています誰も どのように十字に架けられ 何をしたか 一切口にしませんでした 尊敬しただけです 人は何を尊敬したでしょう完全な純粋の真髄です サハジャ ヨギでは 彼が 純真の化身であったと 言います 彼はシュリ ガネーシャの化身でした証明できます 私たちは自分の好き勝手が できると思ったり それが間違っているとすら 思わないなら 私たちに何が起こるか分かりません ヒットラーに何が起きたでしょう 彼は全世界を滅ぼせると 思いました 大勢の者を殺していながら大変偉大な人物になれると 思っていました 真に尊敬される者とはどういう者が 理解していませんでした 時代を超え歴史を超え 誰もヒットラーを 好きではありません 世界中の力を 自分のものにしようと思う者は偉大な者として名声を望む者は - 偉大な者を見習うべきだと 理解していませんでした 偉大な者とは 純粋な者たちのことです偉大な者の誰をとっても 彼らの一番の力は純真です この力がどのように作用するか どう言ってよいか分かりません多方面に作用するからです 歴史上の出来事を顧みると 彼らの存在が見えます どんな者たちだったでしょう 大変純真でシンプルで 賢い者たちです ずっとあなたの人生の中で 記憶に残る者たちです 私が子どもで 学校に通っていた頃よく図書館へ行き 素晴らしい者たちの 伝記を読みました 私たちのために 偉業を残しました たくさんいます大変感銘を受けました 大変シンプルな者もいて 子どものようでした 例えば アブラハム リンカーンです 私は彼に大変敬意を持っています 彼は妻に苦しめられました 彼女が言うに 「あなたは少し抜けていて服も着こなせない」

「振る舞い方も知らない」現に彼女は 彼に大変乱暴でした 常に彼を苦しめました 彼は最終的に殺されました こうも言えます
「アブラハム リンカーンである意味は どこにあるでしょう」 「なぜなら彼は殺されました」 「彼は成功しませんでした」
今日まで世界中どこでも 人はアブラハム リンカーンを 知っています 恐らく彼の妻を知る者は いないでしょう
しかしアブラハム リンカーンは 誰でも知っています 彼女によると 少し抜けていて 様々な悪口を言っていました
誰も彼女を尊敬していません 誰も彼女のことは考えもしません 今日尊敬されているのは アブラハム リンカーンです
なぜでしょう 実際彼は暗殺されました 殺されたということは 生き残る力がなかったことを 指すのでしょうか
彼は時代を超えて生きています 何年も過ぎていますが 彼はまだ生きています 純真であった 全ての偉大な者を見ると
彼らには理想がありました 彼らにとって 理想が他の何よりも 自分の命よりも 遥かに大事でした 理想を抱く気持ちは
あなたの純真から来ます それがあなたに 何が理想で いかにかに生きるべきか どんな人生を歩むべきか 教えてくれます
あなたに大きな権限があるとか 大臣としての大きな地位は 重要ではありません 多くの者が生きて死んでいきます
野心を持つ者が多くいます 抑圧する者が多くいます 彼はどこへ行ったでしょう 誰も気にしていませんし 見ようともしません
彼らの写真を見せられれば 目を閉じて 見たくありませんと言うでしょう しかしもし小さな男の子
とても純真な口調でしゃべる 無垢な子どもがいれば 世界中の人々が その子を称賛します これらの偉大な人は
真に純真の象徴です 彼らの一番の本質は純真で 彼らの叡智はそこから来ます ガネーシャの一番の 特質は叡智です
彼は成功とは何かを 知っていました - 彼の純真の本質を通して 時折り純真な者は、 自分の純真の本質に気づいていません
驚くことです いかにかにその者に 純真の本質が輝いているか 普通の人であつたり とてもシンプルであつたり あまり知的で
鋭敏に見えない者であつたり 外交的でなかったにしても 純真です 人間の栄光を見るようです 純真に 純真になるには
どうしたら良いでしょう 人はこう言います 「マザー 私たちは純真になるには どうしたら良いでしょう」 まず始めに
自分自身で 自分の頭がどう動いているか 見ることが出来ます 何をしているのか どんな反応をしているのか
これをしっかり見ていくべきです 私はそれを内省と呼びます どんな計画を この頭がしようとしているのか
何が一番だと思っているのか その考え 思考のプロセスにおいて 自分を見るのに 一番大切な見方は何なのか 何よりもまず
自分が人に対して どういう反応をしているか知るべきです 純真な反応ですか それとも下心のある反応ですか
自分自身を見るのは 容易いことです あなた方皆 サハジャ ヨギだからです あなたの反応がいかなるものか 見ることが出来ます
あなたへの如何なる攻撃 あなたに降り注ぐあらゆる問題に どう反応しているか あなたの態度はどうであるか
あなたが力強い者なら それに対してあなたは 全く気にしません 人があなたにすることは 愚かなことに過ぎないと見れます
全く愚かしいことであると 人が愚かしいことを しているときに なぜそれを 気にすることがあるでしょう なぜエネルギーを
消耗させることがあるでしょう 彼らの愚かさは暴露されます 彼らが生きている間 そしてその後も 人から蔑まれるでしょう
人は彼らの名前を 口にさえしたくないでしょう 写真も持たないでしょう 彼らと関わりたくないでしょう この時代に
このような時に 何が起るかという 騙すような者 純真に反する者は 彼らに従い始めてしまいます そういう者たちと彼らが
合っているからです 攻撃的であつたり 悪賢いことが 合っているからです そのように新しいグループが 結成されます
そういう者たちを 悪魔的なグループと呼べます そしてこの悪魔的なグループは 全く何も出来ません
純真な人格の持つ者に対して サンスクリット語で スローカがあります スピリットについてのスローカです 「如何なる武器も
殺すことができない」 「如何なる火も 燃やすことができない」 マルタは空気です あるいは風とも言えます
「風はそれを吸いこむことができない」 破壊しようとするどんな性質の ものより上回っています しかし驚くことに
自然は理解しています 自然は純真です それを理解し 適切な時に作用します 攻撃的な者 純真を困らせようとする者に対して
このように自分たちの純真を崇拝 すべきだと知るべきです 純真であることで支配されると 感じるのはいけません
なぜこのような扱いを受けるのか と悲しく感じるでしょう 様々なことが 頭によぎるでしょう しかし純真を崇拝するなら
あなたは常に幸せな者になれます 常に優しい者になれます 常に謙虚な者になれます ですから注意しないといけません
あなたは あなた自身の破壊者です あなたは殺す者です ヒットラーはどうでしょう ヒットラーは自分を滅ぼしました
誰が滅ぼしたでしょう どうであれ人は死ぬもので いずれにせよ彼は死んでいましたが 永遠に滅ぼしたのは彼自身です
ですからあなたは自分を殺せます 自分を救うこともできます 純真であれば 栄光も授かります
純真の力に自信を持ってください 何が大切かという あなたの人生の中で 純真の力をどう表していくかです
互いにどのような態度で 接するかです 私はそれを愛と呼びます 自分に対してこの態度で望まない限り
あなたは慈悲深くいられません あなたは親切になれません - 一時的になれたとしても 永遠の慈悲深い気質は
あなたの人格を通して永遠に 流れる純真さからです 純真な力は 人間にとって気取らないもの 支えてくれるもので
全てを上回り 時を超えます 何千年経っても 人はあなた方サハジャ ヨギを 忘れないでしょう - あなたの勇氣
あなたの純真な力を見れば 今日のプログラムが 遅くなってすみませんでした 行く準備はできていましたが
結婚のことが大切なものに なってきているようです 書類がぎりぎり届いて 結婚について 最後まで決めていたためです
こういうことは最後です 次回はしないでください 自分の申し込み用紙は せめて八日前までに 送らないといけません
ガナパティプーレでは 二週間前です そうでないと 一日は 24 時間しかありません それを増やすことはできません 一つ謙虚に

お願いしたいことがあります 結婚を上手くいかせたいなら 私が見る時間があるように してください そうでないと
他の者に決めてもらいます それでよければそうします 簡単なことですが 結婚というのが大切なことだと 理解してください
結婚すれば 純真な子どもが授かります しかし このような態度をとれば 責任がない感じがします
ですから時間の大切さについて 理解するようお願いします 次回 あまりにも遅く書類を送れば
結婚式が行われないのは確かです せめて一週間以内であるべきです 理解していただけるよう お願いします
ありがとうございました

2002-0321, Birthday Puja

[View online.](#)

Puja for the 79th Birthday, Delhi (India), 21 March 2002. English part

愛について話しています 全能の神の全てを遍く 包み込む愛についてです それは全てを産みだし 全ては愛の空気
満たされています しかしそれは子どものように 純粋な者にだけ可能で あなたが非常に憎しみに満ちているなら
誰もあなたを救えません 憎しみを正当化するのに 十回でも議論をするでしょう 正当化するために
どこまででもいってしまいます 私たちの国は穏健で 平和な国とされていますが 殺人だけを 信じるような人がいます
このようなことは全く信じなかったこの国が 長いあいだ暴力に溺れています 基本的に私たちは 平和を信じる国民です
平和なくして 成長は起こりえないからです 完全な平和が必要です 内に平和が宿れば 平和な環境にあれば
美しい国民に育つでしょう 怖れからでも 圧力からでもなく あなたの内なる完全な 平和が胸にあれば
怖れていないというだけではなく 平和を醸し出します 平和を与えます そういった者の近くに行く人は
誰でも穏やかな感じを持ちます あなた方は皆サハジャ ヨギで リアリゼーションを得ています
つまりスピリットが平穏さと喜びの ヴァイブレーションを発しているということです どこにいても穏やかな
ヴァイブレーションを発するでしょう 平和をつくりだすのです 如何に平和をつくり出すか 平和な
雰囲気確立するか見いだすでしょう 私たちが平和をつくり 平和を他人に与えるような 模範となるよう成長していく
ことが非常に重要です このデリーでこんなに多くのリアライズ ソールをもてるとは信じられません 期待していませんでした
まず 私は 人々の心が私の仕事を理解できる状態に なるのを待たなければなりませんでした
なぜなら私たちは国の分断を体験し 多くが命を落とし 財産を失いました 私はそれに直面し 目撃しました 彼らは本当に
他の人を許せませんでした 許しは他者の痛みや困難を理解するために 非常に良い方法ですが この深みを まずあなたは
開発しなければなりません 怒ったり 復讐的になったりするかわりに 聖なる愛を通して 心の平穏を持つことができれば
何かを特別にする必要など ないのです 今やあなたが胸に宿しているのは 平穏さだけです それをただ感じなさい
あなたは平穏な人で 簡単に気分を害したり 人の気分を害するために腹をたてることに 対して言い訳をしたりしないでしょ
う あなたはこれらの怒りやばかげた復讐心など 全てを超越した者です リアライズ ソールでない人たちに
説明するのは難しいです 彼らはそれを 好まないからです リアリゼーションを得れば 話せます 最良なのは サハジャ
ヨガを広めることです シーク教徒 イスラム教徒 キリスト教徒... 隅々まで広めなさい 特にヒンズー教徒です 今日
ヒンズー教徒もまた 私たちの国と文化に対する理解を 失ったように見られるからです したがって彼らは復讐します
このような復讐は 理解できません 人々はすでに多くのことを理解しない ような低い水準にいるのです 例えば
彼らはある場所に シュリ ラーマの寺院を建てたがりません 彼らはサハジャ ヨギでないので そこが彼の生まれた場所だと
私が伝えることができないからです 私たちは彼の化身に対して 最大の敬意を払う必要があります 彼の生誕の地であれば
ヴァイブレーションで感じるができます しかしなぜ彼らはそうしたくないというだけで 事実や真理を否定するのでしょうか
彼らに話すのは難しいです 理解すべきことは ババールが私達に何をしたかです ババールとは誰でしょう 彼は外国人で
それは彼によって 建てられたわけですらないのです これを建てたのは彼の軍の一人で 彼がそれを建てたので バブリ
マスジッドと 呼ばれています しかし このMr.ババールに 何が起きたのか調べましょう 彼は亡くなりましたが
彼は外国から来ました インド人ですら ありませんでしたが 生まれは 問題ではないのです 何もその地と
関わりありませんでした けれども私はあなた方が バブリ マスジッドこそ シュリ ラーマが生まれた場所だと
感じれると知っています ですから そこに寺院を建てる人々は どんな間違いを 起こすことになるでしょう
何が彼らに起こるでしょう 彼に対する尊敬と感情の問題だと 私は言いたいのです 私もまたラーマの名をあげます
すばらしい魂で安楽をもたらすので 皆彼の名をあげます しかし 人々のものの見方は難しく 彼らと話せません 今では人々は
別の無意味な話をしています ムハンマド サハブの髪の毛が カシミールにあります 彼のものではない と言う者がいます
なぜ分かるのでしょうか 何をもって 彼の髪の毛だと 決めるのですか 驚くことに私がカシミールで 車に乗っているとき
突然強い ヴァイブレーションを感じました 運転手に そちらに行くよう頼みました “そこは古い道で 小さな集落が
あるだけです”と言われましたが “構いません”と言いました それで 少しずつ近づいていくと イスラム教徒の家がありました
そこで彼ら呼んで 事情を聞きました 彼らは“それはハズラット バルです” と言いました 彼の名前を言うだけで
平穏が与えられえます そこにムハンマド サハブの 髪の毛があったのです 今はヒンズー教徒は 彼について知ろうとしませんし
イスラム教徒もシュリ ラーマに ついて知ろうとしません 彼らは自分の店を構え 自分たちの物を売っています
他の人と同じものを売っていることに 気づかないのです 例えば 彼らはアッラーと言います アッラーとは誰でしょう サハジャ
ヨガによれば アッラーとはヴィシュヌです ヴィシュヌはまた シュリ ラーマとして来ました

アッラーと呼ばれる存在は何であれ シュリ ラーマ自身なのです サハジャ ヨギだけが 理解できます
私の話に彼のヴァイブレーションを 感じて驚くでしょう アッラーとは シュリ ラーマで
そのアッラーを自分達の愚かさでもって 侮辱しようとしています ムハンマド サハブの側の愚かさか
ヒンズー教徒の側の愚かさといえます ヒンズー教徒も また理解していません 何となくあそこがシュリ ラーマの
生誕の地だと知っています 誰かが教えたのか わかりませんが 彼らはヴァイブレーションを知りません
ヴァイブレーションを持つヒンズー教徒に あまり会ったことがありません いわゆる原理主義者 といわれる人達です
彼らはヴァイブレーションがありません ですからなぜこれがシュリ ラーマの ジャナム プミだと分かったのでしょうか
彼らには証明できません 彼らが 高等裁判所の裁判官が リアライズ ソールであれば 内閣がリアライズ ソールであれば
話をすることができたのに 問題は彼らが完全に阻害されて いるというべき人々だということです
どうやってこの議論が無意味だと 教えられるのでしょうか シュリ ラーマの寺院を建立することは 全く正しいことなのです
しかし なんとおもうと 問題はまず 彼らがリアリゼーションを得る 必要があるということです
リアリゼーションを得た人の数が 十分ではありません 私たちは皆 リアライズ ソールです 別の者は マハンタスと呼ばれる
いわゆる聖者達にリアリゼーションを与え 彼らの偽善性が 暴露されてしまったと言いました 彼はどうしていいか
分かりませんでした 誰にでも起こりえます キリスト教会やユダヤ教 どこに行っても こういったことが
問題になると知るでしょう 彼らにリアリゼーションを与えると 彼らは暴かれます それでは自分達が偉大だと
信念をもっている人達をかき乱して 何になるというのでしょうか さて 彼らを判断する 唯一の方法はヴァイブレーションです
けれども 彼らへの愛から “あなた達は リアライズ ソールではない” “シュリ ラーマやモハンマド サハブ
について話す権利はなく” “彼らはもっと超越している” とは言えません ですから問題は 見識のある者と
そうではない者の間に存在します 以前は大きな差でした 一人だけがリアライズ ソール ということがありました
人々は彼に石を投げつけたり 殴ったりしました 今 あなた方は多数です 現段階でさえ 自分の例を挙げても
誰も耳をかさないでしょう 私は一つのことをお願いします リアリゼーションを できるだけ多くの人に与えなさい
いわゆるスピリチュアルな 人々には与えないことです 彼らは暴かれてしまうからです 何のためになるのでしょうか 多くの者が
聖職者に与えたら 暴かれたと言いました 何があつたか尋ねると “彼は暴かれ刑務所に 入れられました”
リアリゼーションを得たあとに 刑務所に行くのは あんまりです 愛においては 偽善的ではいられないのです 純粋な人格で
なくてはなりません 自身を浄化し 変わらなければなりません まだ腹をたてていたり 欲深いなら これら全てを持つなら
愛は作用しません 誰かを神聖なやり方で愛するには まず純真さの価値を理解することです 私が子ども達を好むのは
純真だからです こういったものは 持っていません 例えば 私たちの国では 近年汚職が伝染しています 伝染です
汚職の伝染です 三人に一人は汚職に 伝染している人を見かけるほどです ではなぜでしょう 彼らはお金が欲しいからです
ではそのお金で 何をするのでしょうか 保管の仕方もわからずに 容器が何かに入れて そのお金を 失くしてしまいます でなければ
お金に取り憑かれます しかし重要なのは なぜこういった貪欲を持つかです 金持ちの人は 貧乏な人よりもっと貪欲です
貧乏な人は神に対して 恐れを抱いているからです しかし金持ちは 非常に貪欲です あれこれの後を追って 走り回り
際限がありません この国で こういった新しい病が 始まったということは驚きです この病気によって サハジャ ヨギで
金儲けをする者までいます 貪欲は ライトサイドから来て それを正当化し始めるようなものです ライトサイドのためには
愛の場所はありません 今やこの貪欲が行き過ぎて 国全体が駄目になろうとしています 前進することはありませんし
達成することもできません 貪欲が蔓延していて 人々はただ奪っているからです しかし国を愛していれば
愛国心を持っていれば そんなことはしようとしません ですが愛が欠けています 彼らの愛はわかりません
自分の子どもを人生を台無しに するようなやり方で愛します 愛は制限がありません 無制限であるべきです
全世界を結びつける愛は 存在しています この力がすでに存在し 活動しています あなたはその力の 仲介者になればいいのです
その力を伝えることが できる者です あなたは偉大な愛の仕事を 正当な権利をもっています それを広めることができます
しかし ここでさえ人々は 金銭の尺度でものを考えます お金は愛の敵です お金への興味はサハジャ ヨギでの進歩を阻害します
私はどうやったらお金に 興味をもてるかわかりません 何が面白いのでしょうか 人々は私を笑って
お金の勘定も知らないと言います でも知っていると言いました 目の前に いくらあるか分かります しかし他に興味深いことが
たくさんあるでしょう 子ども達もいるし いい人達にも会います 世界中には美しい人々や 事柄が存在するのに
なぜやって来ては出ていくような くだらないものに気をを使うのでしょうか しかしそれが今日の人々の 最大の関心事なのです
インドでは最も汚職が ひどいといわれます 実際に見たことはありませんが 事実であるに違いありません このような良い日に
金銭は価値のないものだ と 考えることはたいへん吉兆なことです 全く価値がありません すると自分が全くお金に関して
汚点を背負うことがないことに驚くでしょう これはあなたがそうならなければ ならないことの一つで お金は全く価値がない
という状態です お金に興味がない という状態です あなたのお金は サハジャ ヨギに 何人の人がいるかということです
何人連れてきたか 何人の人が喜びを得られたかです それを買うことはできません それはただで 喜びを与えてくれます
お金で何を 得ようというのでしょうか 何もありません お金からは ただ頭の痛いことや 恐れや あらゆる問題がやってきます

ですから サハジャ ヨガと並行して お金に対して心配がなく 左右されることもない自由な生活 完全な自由と楽しみに満ちた生活があるべきなのです 貧しい状況ながら 幸せで喜びに満ちた 生活を送っている人々に対して お金を持っている 特に外国で生活している人々は お金持ちですが 抑鬱状態だったり おかしな状況にいたりします 自殺する者もいます お金が全てなら なぜ豊かな国の者が 自殺するのでしょうか 彼らが得たものとは 何でしょう そして人々は常に あるファッションにのろうと考えています しかし お金を 持っていなければできません ファッションは今日 非常に一般的で ファッションにのれないと 何かうまくいっていないと考えるくらいです しかし あなたは サハジャ ヨギです ではこれらのことを目にして 何をすべきでしょう そういった人々に軽蔑ではなく 哀れみを感じなさい そして言うべきです “なぜ時間を 無駄にしているのですか” “人生の目的であるリアリゼーションに 到達するのに良い時代なのに” “なぜこんなものを 追いかけているのですか” この鼠の競争のように 走らせるのは一体何でしょう 現在あらゆる領域で限界点に達し 人々は考えています あなた方が 彼らに提供すべきで 大きなスケールで それを成就させれます 内に何も持っていない人々が スピリチュアルでもなく リアリゼーションを与えられないのに ある社会福祉をしているというだけで 有名な人を知っています 社会福祉とは何でしょう 貧しい人の 面倒を見たりなどします さて あなたの効果的な 大きな愛が働き始めると あなたは何かをすべきだと 感じ始めます するとサハジャ ヨガが どんなに理解されるかを知って驚くでしょう これまでのサハジャ ヨガはまずまずで 人々は良識があり すばらしいです けれど効果が 見られるべきです あなたの愛の効果を 人々が見る必要があります まず許しです あなたは 許さなければなりません 人々は全く愚かです 説明したとおりです だからそれについて 心配はいりません あなたが賢明な人格なら 全てを知恵でもって判断すべきです そしてファッションや ある種の集団のように 何かをしなければならぬと感じるような 罫にはまらないようにしなさい 私たちはサハジャ ヨギで 自分だけで事足ります 何も必要としません 一人でも大丈夫だし 何人もいても大丈夫です 今 あなた達は 大変な高みに達したこと そして神の普遍的な愛に 触れたことを知るべきです その愛を日々の生活にも 表現しなさい その愛を人との関わりの中で 表しなさい あなたの愛を 他人を幸せに するようなやり方で表現しなさい これら全てを考えるべきです 真のヨギなら なぜ口論や 他人を貶めることが できるでしょう 誰かを裏切ることが なぜできるでしょう 不可能です このようなことに 無関心であるべきです つまり あなたは今や浄化され 純粋だということです 今やニルマラなのです 誰も手出しできません この姿勢が必要で 自身を尊重する必要があります このような理解を持つ必要があります あなたの役割や位置は どこでしょう 自分がリアライズ ソールだと 知るべきです そしてリアライズ ソールとしてすべき事を あなたもすべきです あなたは鼠の競争のように走り回るような ばかげた人ではないし 競争している わけでもありません あなたは競争的でもないのです 自分の愛と恩寵によって 進歩しているのです 私は恩寵がどう働くのか 知っていますが まずその恩寵を受けるに ふさわしくないとはいけません でなければ あなたの愛すべき性質を 助けられません だからキリストは 神の国に入るには 子どものようでなければならない と言ったのです すでに神の国にいますが 子どものよう でなければなりません 子どもはいかに純真で 無邪気でしょう 小さなことで幸せを感じます 何か特別なものを 欲しがったりはしません 私達の愛が 実際に神によって 啓発された愛ですが どれほど 世界を変えられるか そして私がどのようにこの着想をもち どれほど成功したか 驚きです あなた達皆が 私に協力すれば 未だ成されていない多くのことが できると確信します 家に帰り 私の言ったことを 考えてみなさい あなたに必要なのは 内省です 理解です “私はサハジャ ヨギとして 人生において何をしたか” そうすれば 非常に多くのことが できると気づくでしょう それをすべきです 神の祝福がありますように

2002-0421, Easter Puja

[View online.](#)

Easter Puja. Istanbul (Turkey), 21 April 2002.

今日は イエス キリストと 彼の母を崇拝します 偶然にも彼の母も こことトルコに滞在していました 驚くことにキリストも十字に架けられた後 ここに滞在していました 彼と一緒に来たのでは ないでしょうか 彼がカシミールに行った時彼女もいたようです 途中でそこに寄ったのでしょうか ですから私達は ここで彼を崇拝します サハジャ ヨガでは彼女はマハラクシュミの化身です そして宗教の為に 息子を犠牲にしました 残念ながら彼女の価値は 誰にも理解されませんでした 偉大で スピリチュアルな人格だと 分かりませんでした サハジャ ヨガを通してのみ キリストを生んだ大変偉大な人格であったと理解できます 彼女が敬意を払われなかったことは 残念なことです 特にイスラムの世界です その為イスラム文化において 女性の居場所がありません 彼女達における私の経験は 大変悲しいものです 貧困で苦しむ女性の更生の為に 協会を設立しましたが 申し込む女性皆が イスラムの女性でした 悲しいことです モハメット曰く “自分の母の世話をしないといけない” しかしこの女性達の中には 子どもが8人や10人いて この貧困者の為の家に来ました 私達は家を与え 世話をしなければいけません 宗教に対する狭い考え方は 指示しないからです 最も大切なのは “人間”の宗教です 全ての宗教が ひとつにならなければいけません 大変なことです イスラム教徒はキリスト教徒に キリスト教徒はヒンズー教徒に 敬意を払いません 神と神の仕事 そして彼の愛の為に皆がいます それなのに 互いへの敬意や愛がありません どこでも口論したり 争ったり 殺し合っています 宗教の神の名の下で 人々があまりに残忍に 愚かになるのは 大変悲しいことです セルフ リアリゼーションを が唯一の解決策です リアリゼーションをコーランでは “ミラージ”と呼んでいます しかし人は得ることができない と言います モハメッド以外は 得ていません まるで人には得られない と言っているようです 真実ではありません 全ての人間が得られます アフリカ 英国 アメリカ インド どこ出身であろうと 皆ミラージを得ることが出来ます 人は戦うために創られたわけではないと理解すべきです 動物でさえ戦いません なぜ人は戦うのでしょうか それも宗教や 神の名の下です キリストは宗教に統一感を 与えるために来しました キリスト教徒でさえ戦いを始め 他者を支配します 全ての者が神や宗教の名の下で戦い 世界は混乱しています 私達の宗教はグローバルで ひとつの宗教です 私達は全ての神格 全ての神々や女神に敬意を払い 崇拝します 神は皆ひとつであると分からないほど 愚かではありません リアリゼーションを得た後も 全ての神々が中枢神経系や チャクラに内在すると悟ります 歴史において語り継がれたから いるのではありません 実際皆そこにいます 全世界の救済のため 働きかけています キリストが為した最も偉大なことは救済です 彼は救済において 苦しみました 多くの試練がありました そして身体が復活しました 同様にサハジャ ヨガが 作用しています リアリゼーションを得たことは 自身の救済を意味します 間違った考えや 無意味なことは消えます そして愛において 深い理解が芽生えます この仕事をインドや他で 始めた当初は大変でした 至るところ人々は無知で 互いに憎み合っていました 言い訳をしたり 良く分かりませんが 歴史的な偏見からか 憎み合っています インドにもありました 外国でも同じです ヒットラーは人間を 憎んでいたので来しました 彼は化身した 悪魔的な力でした 様々な残酷なことをしました その殺し方は 人間にできるとは 想像もできないほどです ガス室で 子どもや大人を殺しました ひどいです ドイツに私に これを見てほしい と言われましたが断りました 夫がそこに行き 帰ってくると 7日間病気になるました 気分を害します 何らかの状況下で 何らかの概念や間違った考えで そのように行動を起こす 人を殺すことは 非人道的です どんな考えか 殺すために ユダヤ人を狙いました 宗教の名の下で 様々なことがこの地上で起きています 人は宗教の名の下に 殺し合っています 宗教は神を 互いを 愛することを教えます どうして憎しみや殺すことを 教えるでしょう 未だ続いていることに 驚きます この愚かさを止められるのは サハジャ ヨガだけです そうなるべきです 私達は人間だからです その為人は キリストがしたように 復活しないといけません それはサハジャ ヨガでもって 容易にできます モハメッドは ミラージと呼んでいます 彼は明白に説明しています しかし誰も ミラージを望んでいません ワークアウトしようものなら 人はその者を潰そうとします “これはとんでもないことで 間違っている”と言います この為に皆が苦しみました 人間の無知が原因です 私もです あれこれ批判されます しかし私は 彼らより力強いです 愛は何にもまして 力強いからです そして世界中に作用します 至るところで人は このような憎しみや 他者への間違った考えは 大変危険だと悟り始めています 多勢の人がこのことを知れば 全てが終わると確信しています このような事柄は たくさんあります 特定の宗教に従っているからといって 人を憎むことは理解できません 自分でも説明できません 人間を創造した神の名の下で 憎むのは間違っています 人は神や 神の愛を理解しています 例えばキリストの生き方をみると たった33才で 十字に架けられました 彼の母は 苦しまないといけませんでした なぜ十字に架けたのでしょうか 彼が愛について 教えていたからです 誰も互いを愛す考えを 好みませんでした

愛なしにどう助けるのですか どのような根拠で他者を助けますか 愛する故に他者を楽しみ 理解したいのです
一度他者を愛し始めれば この作り事は終わります キリスト教徒やヒンズー教徒として 生まれるとします 何が他者との違いを
思わせるのでしょうか 同じように 母親から生まれました 見た目も同じです 鼻も目も全て同じです 何が違うのでしょうか
政治的なことが 絡むのでしょうか 神や宗教の名の下で 分裂させるのはひどいことです 逆にサハジャ ヨガは 神の名の下で
人をひとつにします 例えば誰かが南アフリカに 遠く離れたベニンに 住んでいるとします サハジャ ヨギになるとします
そこには何千ものヨギがいます 彼らは皆 あなたの兄弟姉妹です 行けば 我が子や親族のように もてなされるでしょう
どこの宗教から来たかは 決して考えません 愛の深さに驚くほどです 現に愛することは 人間の内的な資質です どの人間も
愛する能力を与えられています しかしその能力は 大変弱まっています その能力で人は 互いに戦ったり殺し合ったりします
宗教の名の下で人を殺めるのは 最も大きな罪です 殺し合うことで天国に行けると なぜ信じているのか分かりません
最悪の地獄へ行くでしょう この考えは和らいでいますが 未だ存在しています このようなナンセンスが 日々見受けられますが
未だ続いています サハジャ ヨギはそれに対して 何ができるでしょう 人は何らかの宗教に 生まれるものです 天から舞い降りる
わけにはいきません ですからいかなる宗教に生まれても それに縛られてはいけません あなたは愛と歓びの宗教に
縛られています 人は不幸や戦いで泣き続けます これでいいのでしょうか これでいいのでしょうか 私達は人間です
動物ではありません なぜ人間は互いに殺し合い 他者や自分の人生を 惨めにするのでしょうか 他者を憎めば
憎しみに満ちた者になります AがBを憎み BがAを憎みます すると全人類や文明を 憎むことしかなくなります サハジャ
ヨガは あなたにとってお恵みです 内に全ての神格を 与えたからです そして今は全体に 属していることを知っています
愚かな考えに属して いないことを知っています 私がここに来たとき 彼がいつ住んでいて 母マリアも住んでいたと
分かりました 家があります 彼女が住んでいたと知り 喜ばしく感じました ですから彼女を 崇拝しないといけません
何と言っても キリストの母です 彼女がどんな教徒でも 何の関係もありません 彼女の愛 全世界 宇宙の為に
息子を犠牲にしました 何という母でしょう この世に我が子を 十字に架けることを余儀なくされる 母がいるのでしょうか
何という勇気 愛 グローバルな人格でしょう 私達はここにいます 偶然です 彼がここに住んでいました
なぜここに来たのでしょうか 彼女は直接行けたはずですが ここに来て住みました 家があります キリスト教徒はここでも
宗派を始めるでしょう イスラム教徒とキリスト教徒で 互いに戦おうとします 何をしようと戦うでしょう
主な気質は戦うことで 他者を助けることではありません ただ大変おかしく 残忍でいようとしているだけです
“互いに愛し合わないといけない” と教えた者達がインドにはいました にも関わらず インドでは人々は戦っています
この国には多くの スーフィ達がありました インドでも至るところに 偉大な聖人がいました ある者はイスラム教徒であったり
ヒンズー教徒であったり それぞれで讃美歌を歌います 別々に崇拝し 神の名の下で人々は戦います 戦う対象を探したいのです
闘鶏のようです 人間の資質である愛や愛情を 内に持っていないようです 互いへの愛を楽しむべきです
愛する能力を失っています 中国やインド どの国に生まれようと関係ありません 人間です その者には愛する能力があり
あなたも愛する能力を持つべきです 違う経験をしたことがあります 夫と中国に行きました 当初人はインド人に対して
好感を持っていませんでした しかし私に大変親切でした いかに私の世話をしたか 周りは驚いていました
“なぜそんなに親切なのでしょう インド人は好かれません” “それは作り事です” と言いました 彼らは非常に親切で
私に敬意を払っています 彼らに何ををしたのでしょうか あるホテルで私はアンクレットを 落としてしまいました
シルバーです 大変離れたところに 移動してしまいましたが 彼らは封筒に入れて を送ってくれました
私ははるばる送ってくれたことに 感動の涙を流しました “これらの中国人は 非常に愛深いです” 私は会議に参加しました
女性会議です なぜか中国の男の子達が 空港まで来てくれました 私は大変遅れていました 会議は10時からで
8時半頃に着きました 車まで案内してくれました 荷物を詰めながら 会場に直接行きますと言われました 彼らは短時間で
私に大変良くしてくれました 会議の間待っていてくれました インド人に反感を持つ 同じ中国人がです
そしてその後も続きます 彼らは私の車いすと 私のために車を2台用意しました そしてショッピングに
連れていってくれました 階段に差し掛かると 彼らは手で車いすを運びました 彼らは私の親戚でもなければ
一会ったこともありません 一人が “明日は来られません 結婚するからです” “この数日 何をしていたのですか”
“貴方のそばにいられて楽しかったです 嫁も連れてきます” 涙が出てきました “何という愛 親切心でしょう” 私は彼らに
何もしていません 最後まで 良く世話をしてくれました 皆25才以下の 若者たちです 私の車いすを 3階まで手で運びました
“しないでください”と言っても “是非見てほしいのです” “なぜですか” “皆のために 大変すばらしいことです”
大変啓蒙された者たちです 愛でもって人は 啓蒙されます 深い理解を得ます そのような深い愛が あなたに存在します
政治家であれば 説得しようとするでしょう 戦いをけしかける者もいます ドイツではそのように 若者をけしかけました
しかし今は 変わってきています この世界は 変わらないければいけません 苦しんだからです これは宗教でも
聖人の教えでもありません 他者を憎むように教えるのは 悪魔的です 最悪のことです 愛の歓び 愛情の歓びを知らないのです
今日 教会の問題や 他にも問題があります 愚かな人達です 人は多くの掟をつくり 理由が何にせよ かわいそうな子どもたちが
苦しんでいます 彼らは純粋な愛が 分かりません 誰も純粋な愛を理解できません 愛は生来の資質です 生来の資質ですが

人をどう純粋に愛するか知りません 大変剛直です そのようになるのは 人間としてふさわしくありません 人間はその極端に走ります 美しさや想像性の豊かさ 芸術の豊かさ 芸術的気質 人生を楽しむ豊かさがありません 闘鶏であるなら 他の者の 他の全てに 良いところを見ることはできません 他の者と戦い 自分達自身の間で戦います “戦わないといけない” と訴えます でも仲間同士でも 戦っています 自分の兄弟姉妹を苦しめます もはや愛してはいません なぜ宗教の名の下で 戦うのでしょうか 自分達の間で憎み合うような ひどいことを教えられるのでしょうか キリスト教徒 ヒンズー教徒 イスラム教徒だけでなく 至るところ人間は 大変汚れてしまいました カリ ユガであると言います 愛する力を どうして失くせるでしょう これはキリストが話したことです 愛についてはっきり語りました “隣人を自分のように愛しなさい” それができる人を 知っていますか そのような人は見つかりません キリストに従う キリスト教徒はどうしたでしょう モハメッドに従う イスラム教徒や シュリ ラーマに従う ヒンズー教はどうしたでしょう 指導者に近づけていますか 神聖の化身に少しでも 近づけていますか いません その理由はリアリゼーションを 得ていないからです スピリットを知りません リアリゼーションがなければ 何も理解できません いかなる歓びも理解できません ドイツへ行って 彼らがしたことは 見れません 人間の質を持つ者は 倒れます 日本においても 広島にしたことはひどいです 耐えられません “なぜ人間はそこまで 残酷になれるのか”と言いました 我が子を殺す者もいます 極限がこれです その反対がサハジャ ヨガです 全ての人間を愛します 皆人間だからです 皆この時期に 生まれました 互いに助け合い 愛し合わないといけません 大切なことです これを育めば 強いヨギになれます 神聖に支えられ 祝福されます 神聖があなたのすべての問題や 苦難から助けます あなたが愛深い人格ならです これはカリ ユガの恩恵です 以前は存在しませんでした あなたが愛深い者なら 神聖があなたを助けます 問題を解決し あなたを困らせる者を罰します 私自身の経験です 私は決して人の災いを願いません 怒鳴りません 自動的に作用します 神聖に頼むことさえ言いません 神聖は最高の正義の人格であり 全ての正義を与えます 誰も神聖の導きと愛の下で 苦しむことはありません これはカリ ユガの恩恵です カリ ユガが大変な時期であることは分かります しかし神聖は 大変油断がありません これほど注意深いことは ありませんでした この時期ならキリストは 十字に架けられなかったでしょう カリ ユガの間に 生まれたからというだけです 私達にとって恩恵です 誰も苦しめられたり 困らされることはありません ただ謙虚でありなさい すばらしい人格を持ち 愛深い人格でなければいけません それだけです 愛深い人格を楽しめるでしょう 愛深い人格ゆえに 恩恵を受けます いかに神聖が面倒をみるのか 人から奇跡を聞きますが 驚きません 神聖が非常に油断なく すばらしい人間を見ているからです 面倒をみて 支え 全てをします 注意深さに驚くほどです モハメッドも含め 皆が苦しみました 今は違います サハジャ ヨギは苦しみません 神聖によって全て 面倒をみられています 世界中から手紙が来ます いかに支えられ 助けられたか いかに救われたかは 驚くべきです ですから自分自身を信じ 人を本当に愛さないといけません 謙虚になり 愛さないといけません この愛が人生を通して 助けるでしょう これがキリストのメッセージです “彼らを許してください” と言いました “やっていることが 分かっているのです” 十字に架けた者に対して 愛でもって懇願しました “何をしているか分かっています お許しください” 彼の愛深い徳性を 想像できますか そして今 祝い 彼を崇拝するとき 内にある徳性を崇拝すべきです 私達もまた愛深い者です 世界中の全てのサハジャ ヨギは 互いを愛しています ほとんどのサハジャ ヨギは 互いを愛しています 私からの祝福はこれです “この日に神がたくさんの愛を 内に愛する能力を与えますように” それを持つべきです 人生を変えるものです 力強い人格 力強いサハジャ ヨギになります 愛の理解を育むことができれば 奇跡的なことができます 神の祝福がありますように

2002-0623, Adi Shakti Puja, Use Your Right Side For Giving Realization

[View online.](#)

Adi Shakti Puja. Cabella Ligure (Italy), 23 June 2002.

今日は皆さんにとって いつもとは違った日です アディ シャクティ プージャだからです アディ シャクティとは 完全なる人格 皆さんの知っている レフト サイドだけではないのです 皆さんはレフト サイド すなわち シュリ ガネーシャから上昇する 左側のチャクラしか 知らないでしょう 私が最初に ライト サイドを伝えなかったのは ライト サイドを通った人は 自分を見失ったからです 彼らはガヤトゥリ マントラを 書面から得たのですが どういう意味が分からず ただ暗記していたのです 本来の意味も分からず そのため ライト サイドに傾き アギヤに到達し そしてセルフ リアリゼーションを 得ようとした 彼らはライト サイドさえ しっかりと行えば 最終的にリアリゼーションに 到達すると約束されましたが 誰一人 到達できませんでした 人々はひどく短気になり 他者に呪いをかけ 破壊するようになりました これら全てを ライト サイドから学びました クンダリーニを覚醒できず 彼らはアギヤ チャクラ までしか上昇せず そして無知へと 崩壊していったのです これらの書物は ライト サイドからのアプローチが 簡単ではないことを理解せず クンダリーニを 覚醒させようとしたのです クンダリーニは 中心にある全てのチャクラに沿って アギヤまで到達し 交差し サハスララに到達後 突き抜けます ブラマランドラというこの突き抜ける場所が なぜ重要なのでしょうか お話したことは ありませんでしたが 皆さんに お伝えする時期が来ました 幼少の頃は タルという泉門が 常に脈動しています なぜ脈動しているかというところからスピリットが入り込み そこを閉じた後に ハートに留まるからです あなたはスピリットを 認識した人になるべきですが どのようにして サハスララに入るかが問題なのです タントラ教の人々は レフト サイドを通り さまざまな呪術を 発達させました ライト サイド寄りの人は とても短気で 野心的で 残忍でした 彼らは人に呪いを かけることにとても長け 人々を呪いで殺し始め 強引に他者の権利を 踏みにじりました 彼らは最も野心的で パワフルな人とみなされていました パラモン教やクシャトリヤの人々は ライト サイドを通りました ライト サイドは彼らを とてもパワフルにしました 彼らは世界中の パワーを手に入れ パワフルで威厳ある人だと みなされていましたが そうではなかったのです とても短気だったからです 短気な人は スピリチュアルにはなれません “心配しないで続ければ スピリチュアルリティを得られる”と言われ ライト サイドの 7つのチャクラの説明を受けました 彼らによると “ブー” と “ブルバ” があります “ブー” とは プリシービ この世です “ブルバ” とは全コスモス アンタリクシャとも言えます “スワーハ” とは ナビ チャクラでの消費 “スワダ” とは 内側で消費 吸収 “スワーハ” “スワダ” “マナー” とは 精神 心 その次がヴィシュディ ヴィシュディ とは “ジャナ” 集合性 人の集り アギヤは“タバ”です “タバ”の 中心には キリストが居ます レフト サイドには ジャイナ教 ライト サイドには キリスト教がありました それらは 上昇の道ではありません 真実を求める者達の エネルギーの捌け口のようなものでした これらはインドで 長い間起こりました これらを行った全てのグル サドウ タパスビスは どこに到達したのでしょうか タパスビスは人々に “クシュ” 鋭い呪いをかけることができます “カタクシャ” 一瞥で 人を殺したり 燃やすことができます このライト サイドのパワーによって 彼らはどこに到達したのでしょうか 地獄 辺獄です セルフ リアリゼーションを 得た者は誰もいません インドの古い書物を 読んでもわかるように ギリシャ人 エジプト人 イギリス人 ドイツ人などは皆 攻撃的でした カトリックの人々や ローマ人などは侵略的で 外国の土地や 所有物を奪いとりました 極端に攻撃的でした 人を殺すことに 何の抵抗もない とても侮辱的で 短気な人々たちでした どうしたら彼らを正常に 中心へと戻せるのでしょうか ひとつは先ほどお伝えした “ブー” “ブルバ” “スワーハ” “スワダ” 消費です それはグルの原理により 行われます そして“マナ” “ジャナ” 即ち集合体 彼らは 集合体となりました なぜなら 彼らはパワフルだった為 沢山の人を抱え 抑圧のために戦いました その抑圧的な気質で 人々を押さえつけたのです ご存知のように このような時代は歴史に現れ 消えていきました 戦争が行われ 沢山の人が殺されました ヒットラーが 残虐の極みでしょう 人類に対して なんとも思わなかったのです そしてアギヤに到達し キリストを殺したのです 中心の経路を通った 多くのすばらしい聖者や化身をも 破壊しました 全てはラーマの時代以降に 起こりました 次から次へと 悪魔が現れ 世界の平和な文明を 破壊していったのです ひどい傲慢さの自己顕示だと言えるでしょう とても攻撃的な人々です 攻撃性は とても強い力で 次から次へと行われました 行き着くところまで 行きました 人々は反抗すると 殺されたのです 残酷な人々が 生み出されました 攻撃的で 破壊的な人々です この性質が未だに 残っている人もいます 右寄りだからです 癡癡 攻撃性 他者をコントロールするなど ライト サイドの人は 皆これらの問題を抱えています スピリチュアルな成長は 止まります 彼らはスピリチュアルリティを 求めていましたが これらの行いをした為に スピリチュアルティから遠ざかりました この世には沢山の 化身が現れましたが 全て殺されました 人類を救うことなど 不可能でした 一人の悪党が現れ 世の中を破滅させたのです ヒットラーによって 全ての人々 国々 民族は破滅しました これらの原因はライト サイドを

選択したことにありました スピリチュアリティにとってそれが 簡単だと考えたのですが 間違いです そして一線を越えて悪魔になったのです 人は悪魔になれる ということを知らずに 彼らのグルも同様でした 全ての化身を拷問にかけたのは彼らです どの様にして 自分自身を救ったかは驚きです しかし 最終的には何も 達成できませんでした まず最初に私は クンダリー二について学び それを上昇させることを 行いました 私はクンダリー二を上昇させるために来ました 人々が右寄りでも 左寄りでもなく 中央経路を歩めるようにです レフトサイドの知識とクンダリー二を 上昇する方法を以前お伝えしました クンダリー二を上昇させることで サハスララを突き抜け 現実の歓びの領域に 到達します 全ての悪い性質は そぞろとされます 中央経路で まず最初はムラダーラです 中央経路でムラダーラを覚醒することで とても純粋になります 目は純真になり 放縦さや軽薄さは無くなり とても神聖な人になります そうでなければ サハジャ ヨガには居られません みだらであったり 軽薄だったり 他人のお金を盗み取ろうとしたり 攻撃的であってははいけません サハジャ ヨガから 追い出されます 一度追い出されると 彼らは怒りをぶつけます 追い出されたことが 気に食わないのです しかし今となっては自分たちが 過ちを犯したことに気付いた人もいます まず第一に純潔さを養い 尊重し 楽しむことです これはムラダーラが覚醒されたことにより起こったのです 左側の第一チャクラには シュリ ガネーシャが宿っています 右側にも 神格がいます 全てのチャクラには 互いを補う神格がいます シュリ ガネーシャは 中央にいます ですから私たちは彼の強力な純粋さに祝福されました そして純粋の美しさや 純粋の力を理解し始めました このようにして右寄りから脱することができたのです ライト サイドは争いや殺戮 憎悪のために使います これらの人々に 平穏は訪れません 他者を制圧することしか 知らないのです そしてスワディスタナのレベルへ 上昇しました スワディスタナまで上昇し 攻撃的な人による 創造が行われました 今でも行われています 名声を得るために さまざまな 無意味でグロテスクで汚いことが創造されています これがスワディスタナの 別の側面です 地位や名声を求める 人々です これは右スワディスタナから来ます 次に3つ目の ナビ チャクラに到達します ナビ チャクラでは 金儲けに翻弄します ラクシュミではなく お金です あらゆる方法で 世界を騙したのです これによって得たお金で さまざまな悪行を働きました 欺瞞が 侵略を行ったのです 欺瞞はインドのような 左寄りの国々で見られ 侵略は右寄りの国々で 見られました 中心経路のスワディスタナの 性質は創造性です アートの創造性などは とても美しく 深みがあり 非常にスピリチュアルです これらは消滅し 人々は悪習慣に満ちた 化身まで表現し始めました このプロセスにより さまざまな不浄が現れたのです そしてお伝えしたナビです ナビでは人は お金を追い求めます 左の者は金儲けに 右の者はお金で攻撃的になり 稼いでいれば自分が世界で一番だと感じ お金があれば自分たちに 勝る者はいないと思っていました これは彼らを 滅亡させました 彼らは お金とは破壊するためでなく 建設するためのものだ と 気付かされるのです 国を建設したり 人類が共に愛と平和を育んだり 助け合ったり 良いことに使われるべきだと 同じく右寄りの人が 母なるチャクラへ到達し 子供や皆を支配しようとしたり 子供の為に何も犠牲にできないなど 酷い母親になりました このように夫や子に対して 攻撃的な女性はいくらもいます 男性間でも母性は消滅しています 私が地球に来たとき このような人が 沢山いてショックを受けました なんとひどい人達なのでしょう 彼らをどのように扱い クンダリー二を覚醒すればよいのでしょうか ナビ チャクラにおいても 自分を見失っているのに さらには母なるチャクラもです 彼らには父性も母性も無く 子供を排斥したのです とても身勝手に 自己中心的で支配的な親です これがハート チャクラです 次に集合性のチャクラである ヴィシュディに到達しました ここでは全世界を 支配しようと目論んだのです 世界を支配し 自分たちが皇帝になろうとしたのです そして帝国を築き 人として受け入れ難いような 無礼な振る舞いを行ったのです 彼らは魔でした その悪魔の性質は 未だ存在します 人に対する態度 全てに見て取れます 人をその様に扱うからです これはスピリチュアリティに反する人 攻撃的な人を創り出します そして二面性の世界 即ち攻撃する側とされる 側を創り出したのです この二面性の世界は 大分減りましたが 今でも存在します 集合的理解のおかげで 沢山の良い施設が創られましたが あまり機能していません 何故ならトップにいる人が 支配しているからです 自分自身でなく 他者を支配するのです これらの行いが このチャクラの働きを阻害したのです 現在私たちの周りにある 集団性を見て分かるように 至る所で戦争が起こり 戦いが続き 殺人と破壊が 行われています なぜでしょう この世界には沢山の スピリチュアルな人たちがいるのにです それはスピリチュアルな人たちが とても静かで平和的になり 単にスピリチュアルな人生を 楽しむようになったからです これでは平和は もたらされません もっと活動的になり 世界に平和を 呼び込まなければなりません 自分たちの進化に 満足していても 他者の進化がどれだけ進んでいるか それに対して何ができるのかなど 気にかけていないのです 私は沢山の変容をもたらしますが あなたのレベルで どれだけの人を変容しましたか 何をしましたか これが分からないといけません あなたはまだアギヤの工場で 生きています サハジャ ヨガによって得た平穏に とても幸せなのです これは現在世界が 直面している不幸なのです スピリチュアルな人 高みに到達した人が やるべき善きことに無頓着なのです 彼らは自身の スピリチュアリティを楽しみ プージャに参加し もっともっと得ようとし ますが しかし人々を変容するという コレクティブな仕事を行っていません しっかりやっている人もいますが それもほんの少数です ほとんどの人は周りから素晴らしい人だと受け入れられている 自分自身を楽しんでいます あなたがどれだけ コレクティブな仕事をしたか

どれだけの人に 行ったか内省してください 誰と話し どれだけの人に サハジャ ヨガを伝えましたか
キリストは12人の弟子しか いませんでした 彼らの方があなたより 活動的でした ここでライト サイドを 活用すべきです
ライト サイドを活用するとき ダイナミックな人を創造するでしょう 平穩で静かで忍耐強く 役立たずな人ではなくです
これはサハジャ ヨガの 意図ではありません サハジャ ヨガの意図は変容 沢山の变容です これを行う人には
私からの恩恵が受けられます 自分だけの為に サハジャ ヨガを行う人は良くありません あなたの国にどれだけ サハジャ
ヨギがいますか どれだけの人に サハジャ ヨガを教えましたか あなたのヨガは完全でなく レフト サイドの部分的なヨガです
愛情があり 優しいだけです 攻撃的になれとは 言っていない リーダーになって偉くなろうという
人達を見たことがあります どれだけの人に リアリゼーションを与えたのでしょうか サハジャ ヨガを伝えたのでしょうか
至る所で サハジャ ヨガの話をしています しかしサハジャ ヨガを 自分自身の為に 自分自身を理解する為に 使用しています
その為にあなたに もたらされたものではありません リアリゼーションを人々に広める為に もたらされたのです
若い世代の人へ忠告します サハジャのエネルギーを 無意味なことに使わないことです サハジャ ヨガをどんどん
勧めてください 広めてください 学校を営んだり貧困者のために 何かしたりする者がいますが あなたの 仕事ではありません
あなたの仕事は サハジャ ヨガを増やすことです しかし これが 行われていません ライトサイドが欠けているのです
ライトサイドを活用してください 悪いことは起りません 誰もあなたを殺したり 邪魔をしたり 逮捕したりしません
私を信じてください パワーが備わっていても 使わなければ意味がありません それ故ライト サイドを使うことを
知るべき時が来ているのです ライトサイドは とても重要です 次回ライト サイドについて お伝えします 今後何をするにも
レフト サイドに偏るべきではありません ライト サイドを正しく理解し 正しく活用してください
ヒットラーのように独断的であったり 支配的にならないでください サハジャ ヨギにも ヒットラーはいました しかし今は
以前に聖者が成し遂げた 以上のことを皆さんがやる時が来ました 自分だけの為に 素晴らしい家族や
子供を楽しむだけのものではありません サハジャ ヨガはそのために あるものではありません サハジャ ヨガは
全世界を変容するためにあるのです このことを考えてください あなたは何をしていますか 何処にいますか サハジ
ヨガから何を得ましたか そしてアギヤに到達しました アギヤで 何が起こったかという
ヨギ達は様々な苦しみに耐えられますが それは望んでいません 人々の苦しみや攻撃性を 取り除くことを望んでいます
私たちにはそのような組織や 理解はありません それがワークアウトすれば あなたは変わるでしょう 私たちは聖なる間にいる
聖者のように変容したのです 攻撃性無しに何か ポジティブなことをしてください 皆さんの中には未だ攻撃的で自己
顕示欲のある人がいるのを知っています コレクティブでワークアウトする 気があれば あなたの何が間違っていて
何が欠けているかが分かるでしょう とても重要なことです アギヤ チャクラではなぜか 多くのヨギがつまづくことがあります
アギヤでは 許すべきと伝えましたが 他者の間違った行為を 見過ごすことではありません 争わず 何も言わず 許すことは
簡単ですがそうではないのです その人の所へ行って 間違いを伝えるのです 向き合わなければいけません 向き合えなければ
あなたは役立たずです 何のために リアリゼーションを得たのでしょうか 今理解すべきことは
私達にはヴァイブレーションがあり 人を癒すことができる ということだけではありません 公共の場に行って
コレクティブになり サハジャ ヨガを広めることです 世界中にサハジャ ヨギが 沢山いるのに進展がありません
具体的にどのようにサハジャ ヨガを 広めていくか考えてください とても重要なことです 皆さんはサハジャ ヨガを話したり
歌ったりするのはとても上手ですが もっとヨギを増やさない 限り意味が無いのです トルコのような小さな国でも
2万5千人のサハジャ ヨギがいます 皆イスラム教徒でした 2万5千人のイスラム教徒が サハジャ ヨギになったのです
それに比べ 他の国では ヨギが少数しかいません 彼らは裕福ではないけれど 自身のリアリゼーションや
他者に与えることを大事に思っています どのようにして広まったのか 興味深いことです 自身の問題や敵 権力
について考えるより 他者にパワーを与え ヨギにすることを考えてください とても重要なことです
あなたがサハスララに居るなら 全てのパワーを持っています サハスララに居て 広めないなら
何のためのリアリゼーションでしょう 自分のためだけですか 自分勝手です 自分の栄光や 名声を広める代わりにも
もっとサハジャ ヨガに連れてきてください ダイナミックな勢力になってください サハジャ ヨギは死人のようだと
沢山の人が愚痴をこぼします それがあなたですか 一人で沢山の仕事をしてくれました あなた達はどうかのですか 自分の国で
できる限りのことをしましたか 考えてみてください これを行わない限り “サンプルナ” 完全にはなれません
アディシャクティの完全なる パワーを理解していません それ故 私をアディ シャクティとして 崇拝するのは重要です アディ
シャクティは完全でなくては ならないと理解すべきです レフト サイドだけでは だめです これをワークアウトせず
何の意味があるでしょう それは他のリアリゼーションを 得るようなもので重要ではありません あなたは広めるだけでなく
ヨギを増やし認識させるのです あなたに与えた全ての恩恵 愛 パワーをどうぞ理解してください ありがとうございます

2002-1027, Navaratri Puja, Develop Wisdom Through Meditation, Bhakti & Shraddha

[View online.](#)

Navaratri Puja, Wisdom Through Meditation, Bhakti & Shraddha, Los Angeles (USA), 27 October 2002.

今日 私たちは 女神を崇拝します まず左側に プログラミングするのは 彼女です そして サハスララにおいて 彼女はアディシャクティです 左側において 彼女がすることは すでに記憶されています 彼女は記憶でもあるからです そして 叡智です またあなたを守ります これは 彼女がガナ達に 力を及ぼすときに 見られます ご存じのように ガナ達は あなたにおける様々な修正に 責任があります このガナ達は 左側に作用します ご存じのように癌は 左側の問題に 起因します ガナ達は左側にいます 彼らは 女神の力と 完全に一つです 彼らに指示することも 導くこともありませんすでにそのようにできています このガナ達は 目標を定めます 病気に目標を定め あなたを治します 多くの癌患者を左に問題がある者を 治しました ガナ達によってです ガナ達は 誰にも耳を傾けません 彼らの隊長は ガナパティです ガナ達をコントロールします あなたのガナパティが 健全なら 問題は少ないです 健全でなければ 様々な問題が起き あなたを苦しめます 次のことを強調します 私たちのガネーシャは 正常に機能していないといけません 先日 受け取った手紙にこう書かれていました “マザー ガナ達を コントロールするのが難しいです” ガナパティは もっと難しいです “ではどうしたら良いですか” “トラウマになってしまいます” 簡単なことは トラウマになったとき ガナパティを 克服できないときに何をすべきかと言うと 瞑想です 瞑想が ガナ達を克服する 唯一の方法です まず 子どもの成長と 実在する環境 この2つの要因は大切で ガナ達とうまくいく 助けになります しかし 問題は 人間は道に迷い ガナパティを 気かけないことです ですから 女神を 崇拝するとき シュリ ガネーシャも崇拝します 彼は 彼女の陰の力です お母さんの最も偉大な力はあなたへの保護です あらゆることからの保護です 左側への保護もあります デヴィ マハトゥミヤムに 記されているように素晴らしい保護を あなたに与えています 彼女の保護する力は 絶大です この保護する力は あなたに理解を与えます いかにも彼女が優しく いかにも 守っているかの理解です 非常に保護的です あなたが常に 守られるように 彼女は導きます 左側を守ります ガナ達を通して あなたの面倒をみます 右側も同じです 右側に偏る者は 女神が正し 力添えます 正常な状態に戻し 謙虚にし そして 理解させます あなたがお母さんの 子であり 子として振る舞わなければいけないという理解です あなたが極端に走れば 左側に混乱が起こるように 右側も様々な 混乱が起こります 右側の問題は今日よく見られます 人は克服することが できないようです アルツハイマー等 あらゆる病気が 後に起こります まず肝臓から起こります 肝臓の問題に陥るので 肝臓が起因となります 考えすぎたり 未来思考であったり 攻撃的であるなら肝臓がやられます それら全ては 肝臓の力を使うからです 肝臓の力が衰えると 肝臓の力がなくなります 多くの病気が起こり あなたが打ち克てないような 問題が出てきます 大変困難です もちろんサハジャ ヨガで 肝臓が治った者は多くいます 肝臓にとって 素晴らしい作用があります しかし 謙虚でないといけません そして 肝臓を正常に 保たなければいけません ですから あなたの身体には 保護が備わっています 左側がガナ達によって そして 右側が反応によって 保護されます しかし最も偉大なことは お母さんの祝福です いかにもあなたの面倒を 見ているか あなたを愛しているか あなたを大切にしているか 当然のことだと 考えてはいけません あなたは 瞑想しなければいけません とても大切なことです 瞑想なしに大丈夫でいることはありません 瞑想は最も大切なことで 実践すべきものです それによって彼女のヴァイブレーションに近づけます 彼女の 特質に近づけます 動物でさえ お母さんに大変敏感です 動物はヴァイブレーションに大変敏感です しかし 人間は 自分なりの理解があり 自由があり いわゆる知性があり その罫にも陥ります 従うべきでないものに 従います アメリカのような国で 何が必要かという 献身 そして バクティ (献身的愛) です この2つが欠けています インド人がサハジャ ヨガを始めると 深く根付きます バクティが何か 献身が何かを知っているからです 全てのエゴは 溶けてなくなります このバクティは 楽しむべきものです あなたの中にどうしたらバクティを創れるかは 分かりません バクティがある者を 見してきました 彼らは素晴らしい高みを得ました 左側の動きではありますが 左側の動きで 素晴らしい高みを得ました いかにもバクティとシュラッダ (啓蒙された信仰) が彼らを助けたでしょう このことにおいては インド人が一番です 彼らにはバクティとシュラッダの 力があるからです ここで見られるような 熱狂ではありません 宗派に属し 狂う者を見てきましたが 熱狂ではありません バクティは愛です 理解がある愛です バクティそしてシュラッダとは何か という理解です あなたの中にバクティと シュラッダを育まない限り 上昇できません 自分の問題を 超えられませんか 人格を越えられませんか なぜなら バクティは人に押しつけられるものではありません 誰にも強制できません 熱狂的になることで バクティを持つことはできません あなたは全ての特質を 完全に備えなければ いけません 知的であるべきです 理解があるべきです 全てあるべきです 同時にあなたの中に バクティの喜びがあります バクティの喜びが 流れ始めると 女神自身 あなたの中に入ってきます インドでは高みを得た 多くの偉大な聖人や 献身者を見てきました 深みがありました 彼らについて読めば 彼らを理解すれば

誰の助けも得ず 指導もなく 深みの境地に 達しており いかに女神を崇拜したかに 驚きます 崇拜は 読書から 学ぶものでも 復唱することでもありません それはハートの 深い意識です スピリットです スピリットが覚醒すれば バクティを育むことができ あなたは 全ての無意味な考え 頭に入りこむ あらゆる偽りがなくなります あなたはただ バクティを育めます デヴィについて記された これらの特質は 左のもので 脳にあります 記憶も 他に記されるものも 脳にあります バクティがその状態に 達すると 全てを中和します 脳の全ての問題が 中和されます そして あなたは 賢い者になります 女神の最も 素晴らしい恩恵は あなたに叡智を 与えることです それは 意識と呼ばれます 叡智のようなもので あなたは完全に 神聖な人格になります バクティを通してその叡智を 得なければいけません 様々な人がいます シュラッダ バクティ 献身が 強くあると思う者がいますが 間違っています 彼らは誰を崇拜すべきか どこに向かうべきか 理解していません サハジャ ヨガは 実現するものです サハジャ ヨガは サクシャツ 実現です 誰を崇拜すべきか 誰にサレンダーすべきか 分かります 全く盲目的ではありません 盲目であれば バクティは 無意味な者にさせます そのようにして 多くの宗派や 他のもので出てきました しかし それによって見たり 知ったり 理解することはできません あなたの知性によって あなたの特質によって バクティとは何かを 理解すべきです 私たちは クンダリーニの覚醒によって バクティの理解と力の 素晴らしい高みに達しました バクティの最も偉大な力は あなたを守ることです 守ることです どんな困難に苦しむ者も どんな問題に苦しむ者も 抜け出すことができます あなたのこのバクティは 正しい理解を 与えるからです あなた自身の理解も 与えます 周囲の理解も与えます 全宇宙の理解も与えます なぜ人はこのように振る舞うのか なぜこうなのか これら全てあなたの バクティによって解決できます 盲目的であってははいけません 賢いバクティ 叡智ある賢さ でないといけません サハジャ ヨガを通してのみ 可能です 人が狂ったようにする バクティは バクティではありません 狂うのではなく 賢い者になります 賢い者が 過去に多くいましたが 彼らが語ったこと全ては 驚くべきです いかに彼らが 人間の意識について あなたの上昇について 語ったかに驚きます 私が人に話せるように 適切な場を準備した と感じます 特にインドでは どういうわけか 古来から 大変献身的でした 同じように世界中も そうなるべきです もちろんインドにも 熱狂的な者がいます 確かに宗派や 様々なものがあります しかし 私たちを 大変よく導いた聖人も 実際いました それにも関わらずインドでは 誤った道に行く者や 誤ったことをする者 誤った崇拜をする者がいます 事実です それは 叡智のない おかしな熱狂とも言えます 狂人と聖人は違います 狂人には叡智がありません 叡智を持つ者が "自分は賢い" と言うのは 間違っています そのような者の 振る舞い方 過ち 注意の向く先 行動全てが 驚きです 彼らには叡智がないからです 自分を 試すなら まず 自分が賢いが見るべきです 自分は賢いことを しているか していないか サハジャ ヨギについて 不平をよく耳にします なぜそのようなことを するのか驚きます 彼らはまだバクティの状態に 達していないと言えます バクティとシュラッダの2つが 西洋に欠けています 正常に戻り 育まなければいけません 今日では東洋でも 欠けています 彼らは西洋の生き方を 理想にしています 西洋の生き方に耽れば 終わりです 観念によって全てを 判断するからです 人生において何が有益で 何が助けとなるか の観念です バクティとシュラッダは 彼らによると何の役にも 助けにもなりません 今日 ほとんどの人が そのように考えています あなた方は何がバクティで 何がシュラッダかを 理解した少数の人です 女神があなたにバクティと シュラッダを与えます どのようにでしよう あなたに瞑想を通して 与えます 人生に垣間見る 多くの奇跡に驚くでしょう 決して思いも 寄らないことです いかに起きたか 上手く行ったか また 彼女は あなたを正します 常に意識すれば 彼女は あなたを正し この道には行かないよう エゴの方に行かないよう 教えます あるいは 左側に 傾いていると教えます 彼女が 始終正します 私たちは病気や 様々な問題に陥ります なぜならバクティが ないからです バクティによって お母さんの 叡智に頼らなければいけません シャクティの叡智です 彼女はあなたの面倒を見て 道を教え 助けます 自分でいようとするなら "私は大丈夫 自分でできる" と考えるなら 間違いだと分かります 自分や神聖について 間違っていて考えていたと 分かります ですから一番大切なことは サレンダーです "イスラム"の言葉の意味は サレンダーです モハメッド曰く "サレンダーする前に" "リアリゼーションを得るべきです" しかし リアリゼーションを 得た後でも 人は定着させるのに 時間をかけます 一度 定着すると 女神の保護下に あることを理解します あなたは日々 女神がいかに作用し 助けているか見ます サハジャ ヨガをする 多くの者は 私に大変 敬意を抱いてますが まだ十分 深みにいません ゆえに 彼らは苦しみ 問題を抱え 私に尋ねます "マザー なぜ私は 問題を抱えているのでしょうか" 答えられません 人は攻撃的だからです 事実は なぜなら 神聖と一つでないからです 神聖と一つなら 慈悲と愛以外は 持ちません あなたがすばらしく 事を成すことに 人は 理解できないでしょう 人は キリストを十字に架けた ように様々なことをしました しかし今 あなたは女神の保護を 願うべきです 女神の最も偉大な特質は あなたを守ることです あらゆる問題から 困難から 起こりうる あらゆる ナンセンスなことから 守ります 多くのことが起こります サハジャ ヨギの リーダーの一人が 殺されたと聞きました "それは不可能です" と言いました その男性はローマにいて 殺されていませんでした その若者が 殺されるのは 不可能です もちろん年を取れば 死にます 殺されるというのは ありえませんが ですから 守られています 肉体的 精神的 感情的 のみならず スピリチュアルな 保護もあります スピリチュアルな保護とは あなたが間違った事をしない ということです 誰も殺しません 誰も苦しめません 乱暴なことをしません これがあなたが達することが できる状況です あなたはサハジャ ヨギだからです

達成できます あなたには力があります あなたにたくさんのシュラツダと たくさんの理解があるので あなたは保護 成長 叡智のある 状態に達しました まず あなたの叡智を 確かめなさい 確かめなければいけません “私がしていることは賢いか” “良いことか なぜそれしているのか” 叡智を確かめなさい すべきでない間違いを 多くしていると 分かるでしょう まず 叡智が発達させ 叡智が作用し 助けると 分からなければいけません 昨日の劇で ある女の子を見ました 大変繊細な彼女は 叡智を通して何が良いか 見ていました あなたに善し悪しの 見識がないなら 叡智が欠けている ということです あなたがすべき事を知らないなら 叡智に欠けています 叡智があるなら 間違いにすぐさま 気づくでしょう それとは別にあなたは あらゆる問題から 救われます 事実です 多くの者が 死のみならず あらゆる災難から 救われるのを見てきました いかにサハジャ ヨギが 神聖によって 助けられているかに 驚きます 神聖は力です どこでも存在します しかし 神聖なサハジャ ヨギ である者だけを助けます そうでない者は 決して助けません それどころか 思いも寄らない方法で 罰するかもしれません ですから 自分を確かめ なければいけません 内省することです 問題に対して 賢い対処をしたか どのような姿勢であったか 金銭欲や支配欲に よるものか どのような力が 作用してたか 内省して 見るようにしなさい あなたは 大変驚くでしょう 神の名の下でさえ 間違ったことができます 実際 多く行われました それ故 今日の宗教には 大きな無秩序があります 宗教自体は 間違っていない 教えを説いた者たちは 間違っていない しかし 理解の仕方や 利用をしたことが間違っていました 彼らに叡智が 欠けていたためです 叡智は “自分は賢い” などの決めつけから 生まれるものではありません 叡智は 断言でき 作用するもので 善し悪しを示します 叡智は 高みにある リアライズ ソールの証です 叡智を持っていなければ あなたがすることに 満足を感じる かもしれませんが 叡智を持つことは 大変重要です これは 私たちが 最も重きをおく部分です ご存じのように ガネーシャが叡智を与えます ですから ガネーシャは 崇拝されるべきです 適切な養育によって シュリ ガネーシャは 確立されます 彼はまさに叡智を 与える者です この叡智は 先天的です 判断することでは ありません 先天的にあります 私たちの中にある 他の特質のように育られます 人によっては 時間がかかります 確かにがかかります しかし 一度開花すると その者は 静かで 素朴で 大変 誠実になります 自身で気づきます これが 育まれる べきものです どれほど自分が 賢くなったかです この世界で人々は あれこれ主張し 争い 様々なことをします しかし あなたに 叡智があるなら このようなことを する必要はありません 何が起るかということ その者が賢い者であると 人は自動的に解ります 古代より どこでも 賢人は 称賛されてきました その者は 金銭面や 感情面について 心配しません その者の関心は 自分は賢いかに ありました それは 最初の 神の恩恵の象徴です 神聖の恩恵を得た者は 賢人です 大変 賢く 静寂によって 叡智が表されます そして 全ての力 神聖な力は その者を媒体とし 大変作用します その者自身 いかに 助けられたかに驚きます 女性も男性も 持つことができます 誰でも 叡智の深さと気質を 持つことができます それは 大変美しく 力を与えるものです そのような者は 誰も冒涇しません 冒涇することは ありません 作用します 誰に対しても 決して怒りません 作用します 決して短気を 起こしません 短気を起こしたとしても 作用します 相手に打撃を 与えるでしょう 賢くあることは 人間として内に 備わっている力です 動物はヴァイブレーション に敏感です 大変敏感です なぜでしょう 叡智が損なわれずに あるからです 作用していますが 意識はしていません 人間との違いは 人間は 叡智を意識しています 唯一の違いです 動物は叡智を持っていますが 自動的に自然です しかし 私たちは 自分のものにできます また 叡智を育むことができます 瞑想を通してです バクティとシュラツダを 理解することによってです 私たちの中で バクティの価値を 理解することは 大変大切です 表面的に触れることは できません 上辺だけの者は 決して得ることはできません 叡智は 何が叡智かの 理解を通してのみ 得ることができます 大変賢い者が いるとします 使用人や運転手かも しれません 誰でもありえます なぜそのような者が 賢くなれるのかと驚くでしょう 前世で 得たのかもかもしれません それとも深まることで 見つけたのかもかもしれません それは 一人の者の財産でも 資産でもありません 多くの者に 属することができます ですからサハジャ ヨギとは この叡智があるべき者です “なぜこれをする必要が あるのか” 自問することはありません 彼らはただ 間違ったことをしませんが 常に正しい道にいます これがサハジャ ヨギである 印だと思います 女神の恩恵です あなたの中に女神の力が 働いているなら 作用する叡智を 持っています 偽りのグルは アメリカへ渡り 様々なことをしましたが 皆 いなくなりました 支持する者もいません どこへ行つたでしょう 彼らは金銭主義か 権力主義 何主義かは 分かりませんが それらは失われました 叡智に立つ者は いわゆる 賢人 聖人です どのサハジャ ヨギも 聖人に 賢人になれます どのサハジャ ヨギもです しかし 叡智が失われるなら 意味がありません 一つ言えることは 叡智があなたを救います 無意識的に 叡智は助けます ある男性の サハジャ ヨギが 車でどこかへ 向かう途中 突然 別の道に行くことを 決めました その道には大きな 事故がありました 巻き込まれていたかも しれません そのような多くの出来事を 私に話します いかに私たちが 救われたか いかに死に直面し 生き延びたか それは 神聖があなたを 必要としているからです 死んでほしくありません あなたを必要としています あなたは 神聖の働きに 使われる道具です 叡智があるなら あなたは 神聖が作用する 最適な道具です 女神の力は 始めは 彼女の身体のみ内在しました 彼女は 多くの悪魔や 邪悪な者を殺しました 実際 殺しました しかし今 その必要は ありません 道具として あなた方がいます そして それは作用し 善なる者を 賢い者を 滅ぼそうとする者は 殺され 消滅し 滅ぼされます これは外側の 道具によって なるものではありません あなたの叡智である 最も偉大な道具によってです 初めて アメリカを 訪れたときは ひどい状況でした

人はひどいグルに 従っていました その後 9年間は 訪れませんでした “彼らは狂っています” “あのようなグルに なぜ従い信じれるのでしょうか” “真実とは何かを理解する 叡智がありません” しかし今日 変わりつつあります 多くの者に見られるでしょう それが叡智です アメリカ人に この叡智があれば サハジャ ヨガに來ます 來るだけでなく その中で成長します 叡智とは 何をすべきか 何を得るべきか 何が目的か 分かることです これら全て もたらされるべきです 普通 もたらされません 私たちは 彼らに 伝えなければいけません “あなたの中にあるものは スピリットです” “皆が言うように スピリットになるべきです” “スピリットになるように しなさい” そうすれば 彼らは 真実を自分自身で 感じます スピリットになるべきだと言われています 人は教会や寺院 あらゆる所に行きます なぜ行くか 理解もせずです 彼らは保護を必要としています そのために行っています しかし この保護は スピリチュアルな状態 から來ます スピリットにおいて 何が分かるべきでしょう スピリットを楽しむ者は 正しい道から 逸れません 楽しまない者は 自分をサハジャ ヨギと 呼ぼうと 間違える事があります まず 自分を理解すべきです 真のサハジャ ヨギなら この力の道具に 真になりたいなら どういう者になるべきかという バクティとシュラッダがある 者になることです バクティとシュラッダは 大変喜びを与えます 決してあなたを 疲れさせません 決して困らせません それは滋養するもので 美しいです あなたは 正しい場所で 正しい目的 正しい理解を もつべきです そのために必要なのは 叡智です 自分が十分賢いか 見るべきです 賢いかそうでないか 見るべきです どの人間も 自分は 正しいか 正しくないか 見極めるのは 難しいです なぜなら 叡智の効果を 周りを見るからです 女神への バクティとシュラッダは 確実にあなたに 叡智を与えます インドでは いわゆるバクティを 多くする者は 信仰を強く示しました しかし 彼らのは違います 彼らは それについて語り 様々なことをしていますが 違います 叡智は 生来の特質です 表面的なものでなく “この者は賢い 賢くない” というだけのものでもありません 力のように表れます 理解する力です 女神の力に 支えられています ですから 彼女が 叡智を与えます これは女神の 最も偉大な特質です 叡智を与えます 叡智は 進化の過程の 一部として來ます 女神がこれまでの進化を もたらしました さらに進化のため あなたを賢い者にします 田舎に暮らす 普通の賢人でさえ 真の賢人であれば 尊敬されます 愚者であれば どうでしょう あなたを騙し 様々なことを 企むかもしれません あなたのために 何か善をもたらしますか？ 全く もたらしません あなたのグル あなたを導くとされる者は まず 女神へのバクティを 持たなければいけません この理解が大切です 現代では 女神への敬意が 全く見られません 人は 女神について 口にしません 説明や理解のできない ことについて ただ話します キリストについても 同じです 彼が十字に 架けられたとき まさに “母に注意しなさい” と言いました なぜそのように 言ったのでしょうか 彼は お母さんが 苦難に陥らないよう “母に注意しなさい” と言いました 來たるべきお母さんに 注意しなさいということです 示されていましたし 言われていました しかし 私たちは 自分のエゴに 自身の理解に忙しくし 真実でないものを 追っています まず 真のもののみに 従わないといけません 偽りにではありません これにおいても 叡智は必要です より多くの叡智が あなたに要るでしょう それには 叡智を持つか お母さんの恩恵を 授かるかのいずれかです 一つ言わなければ いけないことは サハジャ ヨガを 広める前に どうか自身を 省みてください 賢いかどうか見なさい 自分はお母さんの恩恵を 得ているか見なさい 賢い者のみが お母さんの恩恵を 得ているか 否か 知っています それが分かるようになる 方法はたくさんあります まず 瞑想です 次に 写真から自分の ヴァイブレーションを感じることで そして 自分にしっかり 向き合うことです あなたが リアライズ ソールなら 良いリアライズ ソールか 深みはあるか 自分のヴァイブレーションは 作用しているか それを見れるなら どんな野心よりもすばらしい と分かるでしょう 最も偉大なことは 献身的な 賢い人格になることです それは あなたに 喜びを与えます あらゆることへの喜びです でなければ 他の者同様 ただの人間です ワークアウトする時 が來ました 特別な時です 確かに私にとって 苦難ですが構いません 物事がそんなに 単純でない 領域にいるので 仕方ありません しかし 全体を見ると あなた方は 私を支えることができます 私の働きを支えられます あなたに叡智があればです 叡智があつて 自身を判断できます 何人愛せるか いかん愛せるか いかん人と話すか 人に何を望むか これら全てを得ます 自身を判断し 内省しなさい 内省を通して見れます サハジャ ヨギにとって 内省は大切です 二番目は瞑想です 三番目は ヴァイブレーション を見ることです 大変大切です ある者は “これはしません”と言います なぜしないのですか？ “サハジャ ヨガをしているので” どの部分を？ これらの基本ができなくて 本当にサハジャ ヨギですか？ 彼らは 複雑な事情に さいなまれます サハジャ ヨガが何か を理解する 叡智がなければいけません 時折 人は 理解していません サハジャ ヨガが何かを 全く理解していない者 同士がグループをつくり ます ヨギは 大変深みの ある人格です サハジャ ヨガは “私はヨギです” というだけではありません 大変深みのある人格です 深みのある人格は 賢さとして 他の者にも 感じられるもの でないといけません どれほど話し 声を上げ 講義をするかは 大切ではありません 内にある平穩 静寂 愛する能力 が大切です これによって お母さんの恩恵を 得ているか判断できます ですから これは 大切なことのひとつです 問題からアメリカを 守るために訪れました 突如これが問題へ 発展したからです 避けられないことでした 彼らは 何が間違いかの 理解に盲目的でした この盲目が 自分達の 特にエゴが 顕著になってくるまでに 至りました エゴは 彼らを崩壊させ 金銭主義にしました 自分は裕福で お金で好きなことができ 他国や人を征服できると 思い込む愚かさを 示しています まず 自分自身に 打ち克ちなさい 自分自身を 知らないといけません 他者に打ち克つて 何になるでしょう どう打ち克つて良いか 分からない者は 常に

みじめです 常に 問題があります 他者に打ち克とうとすれば それは反応します そのために 完全な 内省が必要です
何度も言っていますが 内省することです もちろん 今日 素晴らしいヨギは 多くいます ワークアウトさせました 彼らは
素晴らしく 素朴で 賢いです 私にとって 大いなる希望です そこまで素晴らしくワークアウト するとは予想しませんでした
あなたの中にその力が 常にあると知るべきです その力を使わないと いけません ナンセンスな考えの
餌食になってはいけません ありがとうございます

2004-0215, マハシヴァラトリ プージャ、グルの資格

[View online.](#)

マハシヴァラトリ プージャ 2004年2月14日 インド、プーネ 今日はグルプージャをします グルは神々よりも称賛されます
グルとはいかなる存在でしょう グルに最も大切な力は何でしょう シヴァこそがグルの原理です シヴァの力の現れが
グルの力であると思なせます グルの力を授かったり グルになって力を得ると 一生の祝福を授かります この力を得た者は
全ての祝福を授かったように見えます カツリヤンという言葉は 簡潔に説明するのがとても難しい言葉ですが
カツリヤンとはあらゆる方向から祝福を授かる 全方向から歓びを得るという意味です 誰かがカツリヤンを得たといったら
どのような意味になるでしょう カツリヤンとは何でしょう それはアトマ (自己) の現れであり
セルフリアリゼーションのことです セルフリアリゼーションなしに カツリヤンはありません
それなしに理解することはできません カツリヤンにこれら全てが 含まれています あらゆる歓びを得て 彼は輝きを放ちます
このカツリヤンのために 全てのことをしてきたし あなたの全ての努力や 全ての信仰がカツリヤンのためだったのです
でもあなたがカツリヤンへの道中にある時 カツリヤンへのマントラを与えられたとしたら
それにはどんな意味があるのでしょうか 最も大切なのは 内なる満足 (サマダン) です すると探求することはなくなり
自分がグルになるのです もはや大切な何かを 得ようとする必要もありません このサマダンの恩恵は
誰でも自身の内面で感じられ 知ることができ 楽しむことができます まず身体の病気に気づきます
身体の問題がカツリヤンの道中でなくなります あなたが開花するのを妨げるような 内面の全ての問題が
カツリヤンへの道中で取り除かれるでしょう これにより誰であれカツリヤンを得て セルフリアリゼーションに至ります
ここではシュリマハデーヴァが助けています クンダリニによりサハスララが開く時
その上にシュリマハデーヴァが座しています この意味で彼はマハデーヴァと呼ばれます
マハデーヴァとは神々の神という意味です カツリヤンには多くの重要な面があります まずはシャンティ (平穩) です
心身や家庭の平穩です 家庭生活には沢山の問題や障害がありますが すべてカツリヤンへの努力により解決されます
終には障害を感じることもなくなります 世界中の多くの人々が カツリヤンを得ようと瞑想し 人生をまるごと楽しんでいます
このカツリヤンにより人類は 内的バランスを得るのです そのバランスのためには グルの守りが必要です
グルの信奉者になると このバランスと他の全てを手に入れます この後で必要なものはありません こうしてバランスを得て
自分の中に愛の力を獲得します 人がそれを得ると 全身が歓びに沸き立ちます この意識を得ると
シャクティの力が全ての問題を破壊して 身体的にも物質的にも 障害がなくなります なので多くの人が
この力を得ようと努力しているのです でもこれは自己を悟った人からだけ 授かることが可能で
それを授かると終には彼自身が 神ようになっていきます これはヒンディー語でないと言明できない現象で
グルの資格というのは誰か他者により 与えられるものだけでも その誰かはそれに足る力を持っている
必要があるということです まずはこころの平穩 次にあらゆる俗世の問題を 克服する力 そして心身の問題を克服する力です
全ての問題を グルから授かる 精神のバランスと祝福で克服できます あなたがグルになると あなたが人を祝福する力を得ます
あなたの祝福の力で多くの者がグルになります そしてそのような力を持った グルが生まれることは
とても満たされることです それ以外何も望まないほどの満足です これがシヴァの力です
シヴァはご存じの通りあまり服を着ていません 自分を飾りません 常に瞑想的な雰囲気です 何も求めません
大変満足していて何も求めません 自己を悟るとあなたはこの力を得るのです あなたにそれに足るのグルがいればです
自分からグルになろうとしないことです 現実的ではありません なろうとすると出来ません 求めることも努力もせずに
向こうから自然にやってくるものです 唯一の方法はディヤーナです ディヤーナとは瞑想です 瞑想する際
何も求めずただ瞑想しなさい 瞑想自体があなたに グルの偉大な力に足る道具を与えます
すると自然にあなたは他者に力を与えます あなたがしなくても良いのです あなたがいるだけで 人々がこの力を得ます
完全な満足です そこには自他の解放があります 上昇の旅における問題は 全て無くなり あなたは天上の平和と歓びの
至福に満たされます なのでこれは祝福そのものという意味の カイヴァラヤと呼ばれます 他の言葉に訳せません
他に説明する術もありません ある意識状態 スティティです その状態に上って行きなさい そこにいる自覚がありますね
それは真に偉大なことで 到達したらもう何も求める必要が無く 全てがあり満たされています
この特別な力についていくらでもお話できますが 私の話したことについて ぜひ瞑想してください
皆がそこに至れる力があります この完全なる平穩と歓びの状態に 神の祝福を

2004-0509, Sahasrara Puja, Continue To Live A Life of Reality

View [online](#).

Sahasrara puja, "Continue to live a life of Reality", . Cabella Ligure (Italy), 9 May 2004.

今日はサハジャヨギとしての 人生でとても大切な日です サハスララが開いた日です
真にカリスマティックなことが起こりました 私の生きている間に出来るとは 思っていませんでしたが できました
そして皆の多くのサハスララが開きました それなしでは真理を知ることは できなかったでしょう
皆同じように人生に迷っていました 第一に サハスララ以外に現実を知り 理解する道はありません あなたは現実とは何か
悟りました そして現実を知っている意識を 楽しんでます サハスララが開いてそれを知ったのは 大きな恩恵です
でなければそれはただの話にすぎず 意味がありませんし 理解もありません だからまずサハスララを開きたかったのです
それができました 上手く行きました それで皆さんの サハスララが開きました 特別なことです
こんな多くのサハスララが開くとは 誰も信じられないことですが 私には皆の頭上にハッキリと 光が見えます
間違いなく素晴らしいことです 誠実な探求のおかげです 誠実に探求したから 得られたのです 私は何もしていません
そこにたまたまあなたがいて ランプを灯すようにただけです 大したことではありません あなたがその意識に至ったのです
悟りの意識です それを求め 作用させ 努力をしたから 得られたのです 立派なことです 私の手柄ではないと思います
私はサハスララを開いたけれど それをあなたが体得していくのが 私にはとても嬉しい だからあなたは理解できます
サハスララが開くまでは 話せません 何も通じません わからないからです サハスララが開くことで 理解が大きく進みます
それが皆に起こりました だから嬉しいのです 多くの人がここに座り サハスララを開きました 更に来ていない人も多くいます
つまりこれは人類にとって大きなことで 集団でサハスララが 開きました それによって初めて 究極の真理がわかります
リアリゼーションの後に知ることは 何であれ究極の真理です それを議論したり 疑いません それを知って受け入れます
知識としてです 全てがあつたのは良かったけれど 開いていませんでした それが開けば私のことが解る それも聖なる法則です
サハスララが開いたのは 偉大な神の恵みですが 何もしていないと言うかもしれないけど 違います あなたの真理の探求が
真摯でありはっきりしていたから 真理を知りたいと望んだから それが叶ったのです でなければどんなお金も 多大な努力も
何も上手く行かなかったでしょう サハスララは自分で開く必要があります あなたの準備ができていたから
すべてあなたが自分でしたことです それによって美しい事が起きましたが 私の手柄ではありません ハッキリ言います
私が教えたように サハスララが開くのが大切です それ以上話すこともなく 質問もありません
サハスララを開くことによってのみ 何が真理か分かります この美しい状況で 母として何が言えるでしょう
現実を理解して行きなさいと それだけです 全てにおいて 真理がありますが どうやって成就した真理を使えるでしょう
人々は迷っています 知識がないからです 本からの知識は本物ではありません 知識は内面から来るものです
自分たちの中からです サハスララが開いたからできるのです どの国でもそれができています 世界中で起こるでしょう
多くの人が悟るでしょう ただあなた達に一つだけ言いたいのは 感情的に執着しないことです 現実的につながるのです
そこにあつて それが起こり 働きます すると人々に悟りを与えられます リアリゼーションの大切さが分かるでしょう
使わないと リアリゼーションの力が分かりますん なのでこの力の使い方を覚えなさい あなたの中にあります
それは作用し始めました それは莫大な能力を与えるでしょう 歳なので 私の体調は少し落ちました でも疲れは感じません
皆さんに話していて 夢中になってしまいます 沢山のサハジャヨギがいて 沢山のサハスララが開き 皆がそれを愉しんでいます
実は質問を受けたいと思っています 質問をかいて送ってください のちにお答えしましょう それが良いでしょう
ありがとうございます 神の恩恵がありますように サハジャに育っていきなさい 自分になっていきなさい 神の恩恵を
私の恩恵を受けます

2004-0606, アディ シャクティ プージャ

[View online.](#)

アディ シャクティ プージャ 2004年

イタリア カベツラ リグーレにて 今日の集会は特別です 今日特別な日でもあり 多大なお恵みの日です なぜならある力秩序が 誕生したと歌われ 語られるからで それはアディであり始源なるものです 偉大な宇宙の創造は この力によります理由や方法については あなた方は既に知っています わざわざ話す必要はありません 今日はこの力について話しますあなたのハートに隠されています それによりあなたは創造できます 新しい世界や家族や秩序 まだ見ぬ全てを創造できますそれは可能です それは可能であり起こりつつあります 難しいのは 人間をどう適応させるか 互いに完全に同調させるかそれが難しいようです 彼らは身内では大丈夫です 同じスタイルなどを持つ仲間内なら大丈夫です別々の者を完全に一つにしようとするのは とても難しいし するべきではありません 一つにするべきではなくそうされるべきでもなく そうなるべきなのです 問題は 美しい魂の人たちがいるのに 彼らは 十分に一つになれないことですどう解決すれば良いでしょう 多くの人々が「マザーなぜこの問題があるのでしょうか」私は微笑みました なぜならあなた方がどうしてX線のような 新しい方法を用いるようになったか それを考えると 私たちが皆ひとつであり唯一の存在であると分かるためだからです だから皆の内面が一つであり 一人として違いがないことに 感謝すべきなのですその唯一なる存在が輝き 何かを執り行うなら すべてが同じ方法になることに驚くでしょう 同じことには同じ様に作用します両者に違いはありません にも関わらず私達の心はさ迷い サハジャヨガには意味のないような 問題にはまっけてしまいます私達は問題がないということを 解っていないことが一番の問題です 私達には問題がありません 問題があると考えそれに取り組むべきと思いますが そもそも問題がないのです 私にはどこにも見当たりません 問題があると思う人は私に手紙を書くように言いました 私から問題について 教えようと思います でも私がなにか言う前にサハジャヨギ達がまだまだ 自らが唯一無二であることを 理解する水準でないと言いたいです全ては外からでなく内面からなので 外面の努力は全て無駄です 私達は努力を放棄して自分自身にならねばならないそこであなたは無を発見するでしょう 別の集会も謎解きも 何も必要ありません 全てはそこにあるのですあなたがそうなれば良いだけです これを理解するのはかなり難しく 皆が違った鼻をして顔も違いながら 同じになれるのですでも同じなのです 同じだからこそ違っ見えるのです みな一つであると言わなければなりません 同じというのは衝動も感情も理解も全てが 同じだということです ただ違ったタイミングで経験するから 勘違いして違うと感じますが実際はそうではありません 一つの存在で一つの関係です アディシャクティとの関係です あなたはその一部であり何をしようとするにしても アディシャクティなしには行えません あなたは彼女から生まれ導かれ 養われます私には全てが一つです あなたには道も行動も違うと思いますが それは間違いです私が何を言うにしてもそれは証明されるべきで ぞっとする話をあなたは受け入れることはありません 私自身あなたと一つですいつもそうだしこれからずっと皆さんと一緒です 私には少しも違いはありません 外側のことで服やスタイルだけです内面的な気質は 多分人によるでしょう それが少し変わるだけで あなた達は一体感を感じてあつという間に違いはなくなるでしょう 今日私はとても危険な人に会いました 彼はそうしなければ私を殺せると思いました何でも出たはずですがそうなりませんでした なぜなら私が誤解していたのです 彼は私に敬意を示したかっただけだったのです私を殺害しようとしたかっただけではないのです あなたがいかに互いを理解するかに驚きます その理解が適切にならない限りありのままを理解することができません 本質や正しさや真理が分かりません 真理とはずっと前に人がそれを望むずっと前から存在しましたが 多くの偽りの物事と共に 真理も失われてしまいました 例えば私があのヘビは無知から生まれと言い 他のヘビをがそれを支持すると ヘビがどんどん増えて 不正や嘘で宇宙全体を一杯にしますするとそれを信じてお互いに 殺し合います 皆同じヘビなのにです どれだけこのナンセンスを信じるのでしょうか どれだけそれに従うのでしょうか どれほどそれを受け入れるのでしょうか とても難しいことですがのに真理以上に受け入れられています 不正は真理より簡単に受け入れられます なぜでしょう私達が不正に立脚しているからです 私達の理解が不正確だからです だから真理の理解の仕方を変えなければいけませんそれは難しくありません 私達が真理だからです 真理になるのは何故難しいのでしょうか 自然に起こることなのに何かがおかしいからです 私達のどこがおかしいのか 何がおかしいのか見つけなさい 自分のどこに向き合っていないかです私たちは自分に向き合えません 人には向きますが自分には無理です 自分を見ることはありません自分の置かれた状況を理解していません それこそがマザーに示されるべきことです そのためにマザーがここに來たのです地上に降りてあなたの内なる問題を 指摘しに來たのです それを受け入れなさい この原理を実践しなさいするとあなたが知識をもっていて どれほど自分や周囲を理解できるかに 自分自身が驚でしょう

特別でも異質でもないことです 自分を受け入れるだけでよいのです 人はサハジャヨギになっているよう
なりきっていません 成ろうとしていますはまだ成り切れていません 反対に彼らは自分がサハジャヨギであると 知るべきです
何かになる必要はありません すると問題がなくなります でも違うサハジャヨギやヨギがあると 受け入れると
あなたが違う存在になります するとどうやってサハジャヨギになれるでしょう 無知です 私達の無知ゆえなのです
まるで知らない人同士のように振る舞う 全くの無知です 全てが同じであると 理解する必要があります
無知は全く必要ありません それが起こればたちまちにして 世界の問題がたやすく解決されるでしょう
今日のプージャは特別です なぜならこのプージャは 決して変わることも変容もせず 常に同じ様に存在し続けるもの
そのためのプージャだからです そこで私が何を言えるでしょう なにか言う必要があるでしょうか ありません
自分自身と一体になりなさい それこそが結論で 自己と一体になるのです 頭で考えて言葉に溺れたり
雰囲気や他人に流されたりしないことです 現代こそ脳が刺激され コントロールを失う時代だからです ヘビのようなもので
然るべき場所に納まるべきです 動き出すと危険です 私達の心も同じで すぐに間違った方向に行こうとします
そのためには原始の母のプージャが必要です 私達は原始の母に沿うようになるべきで 自身の始原を保持し
本源的な自己を働かせ 自分を詩歌や理論に流されないことです これができれば最高の達成です できると確信しています
問題ありません ただ私達は自分がインド人であるとか 英国人とかヨーロッパ人とか意識しすぎています でも私達は違います
私達は単に私達そのものであり それと一つになることが目標です 神のお恵みがありますように！

2007-1013, ナヴァラトリ 2 日目、スワディスタンを満たしなさい

[View online.](#)

ナヴァラトリ 2 日目、2007年10月13日、オーストラリア、シドニー 皆さんが楽しんでいるのが とても喜ばしいです
今日は2日目で 進化の点でとても大切です ご存知のように 第二のチャクラは大切です なので今日はとても大切です
第二のチャクラは何ですか？ 知っていますか？ 何と言いましたか？ 大きな声で言って下さい スワディスタンですね
カリ・ユガにおいて重要で 最も働くのです 沢山のエージェントが このチャクラを酷使させます 第二のチャクラにおいて
人は野心に取り憑かれて 忙しくさせられるのです 多くのサハジャヨギが それで迷っています だから今日は大事です
二番目のチャクラは大切です なぜなら 現代はとても過活動で 私達は関係もない人のことを 心配しては頭を悩ませます
このチャクラはあなたの頭を悩ませ 人のことを心配させるのです 何を言ったか 何があったか 誰かを怒らせたか
といった無意味なことです あなたはサハジャヨギですから 人の心配をする必要はありません 自分を愉しめばよいのです
第二のチャクラでは あなたは愉しめば良いのです サハジャヨギを楽しむには それが一番です スワディスタンが満たされると
決して乱されなくなります サハジャ ヨギであれば スワディスタンをケアしてマスターできます このチャクラで
皆心乱されます 特に西洋では 皆考えすぎです いつもいつも考えています あなたはスワディスタンで この問題にはまります
スワディスタンを満たすためには 静けさを得なさい 黙って 自分を見つめるのです どんな考えによって 自分を悩ませているか
困らせているか 考えすぎる人もいます 問題はないのに 考えすぎて頭を悩ませ 問題を作ってしまいます スワディスタンは
無意味な問題を忘れて 笑って楽しんでいると 満たされます サハジャ ヨギには 悩みは必要ありません 自己認識がない人だけが
苦しむのです 彼らは苦しんで あなたを困らせるかもしれませんが ただ笑って許しなさい そういう人は
そうならざるを得ないからです スワディスタンが そうさせているのです 座る場所がありませんか？
ちょっと前にいらっしゃい 可哀想に ごめんなさいね 前に来なさい ちょっと空けてあげてください これでいいですね。前へ
ハーモニウムをこっちに あなたはダンスをするんですね 良いですね ですから あらゆる無意味な考えを 気にしないことです
あなたはその考えと 何の関係もありません それでもスワディスタンさんの お陰で考えが出てきます
彼はあなたを乱そうとするので あなたは静かになるべきです 静けさに入れば 彼は去っていき邪魔しません 私はあなたの国に
全幅の注意を置いています あなた方はとても良い サハジャヨギだから 世界中に何千もの サハジャヨギがいますが
オーストラリア人とは 違うと思います 彼らは深く 世界の問題に触れています あなた方は スワディスタンに関わらず サハジャ
ヨギとして 乱されないことです 皆さんがこんなにいるとは 思いませんでした “何人かいます”というから
“分かりました”と言ったのに 何人いるのですか？ 数えましたか？ とても可愛いですね このような子どもたちが
オーストラリアにいて素晴らしい 皆子どもを大切にします こどもの世話が まず第一です それでスワディスタンと戦えます
何か心配があるなら 子どもの心配をしなさい それで終わりです 子どもの世話をすれば 全てが上手くいきます “どうしたの？
大丈夫ですか？” あなた達はスワディスタンの翼に はまっていないので恵まれています 間違いなく あなたの国の
チャクラのお陰です 考えに惑わされて 右往左往しなくて済むのです サハジャヨギは皆 この問題があります
だからスワディスタンに 乗っ取られることなく 乗りこなすのです 良いですか？ この国の皆さんを とても誇りに思います
どうやって一つにまとまるかを 世界に示しました 驚くべきです 他の国では 別的问题があります あなたの国では
スワディスタンの問題がありますが 皆さんは 静かに 穏やかになって 無意味な悩みが去ったのを見ると とても嬉しいです
あなたには もう何の悩みもありません 病気の元は スワディスタンなのです なのでスワディスタンにかかずらって
考え続けないことです ありもしないことを考えては 悩み続けます そんな考えが出てきたら
“考えたくない”と言って終わりです 私が代わりに 悩んであげましょう でもあなたは 悩まないことです 何かあったら
私が見てあげるから いいですね スワディスタンは あなたの国のチャクラです でも 他の国にも ヨギ達はいますが
この国のヨギ達は特別です 大きな自信を持っています 間違った考えをしません 私はそれに感謝します じゃあ
どの歌を歌ってくれるの？ 歌を聴きたいです

2007-1021, ナヴァラトリ10日目、ダッシエラのお祭り、ダッシエラ

[View online.](#)

ナヴァラトリ10日目、2007年10月21日、シドニー（オーストラリア） 今日にはインドでは ダッシエラという大切な日です ラヴァナがやっつけられた日と言われます 彼は人類の最大の敵でしたが 抹殺されました 故事はともかく シュリ ラーマという素晴らしい人を偲んで 今日ダッシエラを祝います それによると この日にドウシュタと 言われる悪人達 ネガティブな人々が 抹殺されました 分かりますか？ だからインドでは とても大切な日とされるのです ラヴァナの 大きな像をつくり ラヴァナのことを 皆さんは知っていますか？ シュリ ラーマに 成敗されました 彼は酷い人で シュリ ラーマの奥さんのシータを 無理やり誘拐しました でも 彼女は とても貞節な女性で ラヴァナは彼女に 触れられませんでした 触れようとしても できませんでした 彼女を従わせることが できませんでした 反対に 彼女はとても強かった そして 当時シュリ ラーマの義母が ダシラタの妻でしたが かつて彼女は厳格な 修行僧でもあったのですが 彼女は 今日から 重婚を禁止するとしたのです なのでヒンドゥーでは重婚はなく 一夫一婦制です 浮気は罪深いと みなされます インドの文化ではそうです そういう人もいますが 間違っているし インド的でもありません 義父はその法律を通しました 彼自身2人の妻がいて 苦労していました その妻うちの一人がシュリ ラーマをジャングルに左遷しました 彼女はとても残酷でした 自分の息子を 王にしたかったのです 父もうかつにも 自分を戦地で 助けてくれたお礼として 見返りを 約束してしまったのです そこで彼女は シュリ ラーマを ジャングルに左遷するよう 頼んだのです そして第2には自分の息子に 王位を望みました 息子はラクシュマナでした しかし彼はそれを望みませんでした 彼はシュリ ラーマの権利を 奪いたくないと言いました 彼はジャングルの シュリ ラーマを訪れ 戻るように説得しました どうか都のアヨッディヤに戻り 戴冠してください シュリ ラーマは“それはできない 義父に従わねば”と が ちょうどその時に インドでは 重婚を認めないと 義父が制定しました 2人の妻のために 家族が苦しんでいたからです そこで妻は一人のみで 二人はダメだとなりました インドでは今でも一夫一婦制を 信じています 驚くべきことです しかし外国では 重婚しなくても 浮気をしたりして 妻を尊敬しません 悲しいことです これによって 国が苦しみます 女性が虐待され苦しみば 子どもが苦しむからです そこで彼は法律で 重婚を禁止しました ムハンマド サヒブだけが 4人までの重婚を認めました なぜなら 戦争で死傷者が多く 男性があまり 残っていなかったからです 女性が多く 男性が少なかったのです なので彼は 4人の妻をみとめました それで問題を解決しようと ですが解決しませんでした ムスリムだって この問題を抱えています 彼らが4回結婚しても 驚きません でも彼らの家庭生活は 悲しいものです 私たちインド人は彼らから それを学んではなりません 反対に 全世界に言うべきです 女性を追いかけずに 自分の世話をしなさいと この点を西洋ではまったく わきまえていません もちろん彼らは 重婚はしませんが 別の女性と関係が続けます サハジャ ヨガでは それは禁じられています そうするなら 離婚するように私は言います そして彼らの結婚を アレンジします とても悲しいことです なぜ西洋的なライフスタイルに 影響されるのでしょうか 別の妻を持つとし それにより 全てを汚してしまいます 結局彼らの子供たちが 苦しむのです その場のモラル意識が 悪ければ 次世代を担う子供たちが 苦しみます それにより国が 病気になるのです イギリス人はかつて分別があり 自らを誇っていましたが でも今では とても不幸になりました なぜなら一人の妻を 信じないからです 家に妻がいても どこか別にもいます とても悲しいことです サハジャ ヨガでは こういったことを我慢しません 一人の妻をもち 一人の妻と暮らすのです 確かに 頑固な女性もいるでしょう ならサハジャ ヨガをやめなさい 問題を起こす 男性もいるでしょう だから私はサハジャ ヨガを やめるよう言います サハジャ ヨギであることの 恩恵を得たいなら 他の女性や男性を 持つことはできません 共に幸せな生活を 送りなさい できないならサハジャ ヨガ から出ていきなさい でも妻や夫のために 酷い思いをした人もいます だから 浮気をするような人は サハジャ ヨガに入れない と言うのです 私たちは純粋な社会を 作らなければなりません 私たちの責務は争わずに 幸せに暮らせることを示すことです サハジャ ヨギ達は分別ある 夫たちであると思われています 皆さんにこうして会えて 嬉しいです 何人かは私が仲人をして 幸せなのを知っています なので男女全ての 皆さんに言います 献身ある人生を送りなさい 夫が浮気しているなら 地獄へ行かせなさい 妻が浮気しているなら 地獄へ行かせなさい 私たちはサハジャ ヨギで よい人格を保たねばなりません あなたの人格が良ければ 自分の人生を楽しむでしょう あなたが浮ついた人生を送るなら 人生を楽しめず この人やあの人を 追いかけ続けます そういう人は幸せになれず 人生を無駄にするでしょう ですが死ぬ間際になって 自身の状況がとても酷くて こういう人は とても苦しみます とても酷く 苦しんだひとを見てきました だから私たちはお互いを 楽しむために夫婦なのです それで幸せな人生を送るのです 惨めにならないことです サハジャ ヨガで結婚した 皆さんの中には まだ夫婦で幸せでないという人も いるかもしれませんが でもそれはサハジャ ヨガの間違いではなくどうしようもありません あなた自身の誤りであり あなたの妻の誤りです さあ 皆が襟を正し きちんとした生活をおくりましょう 口論やケンカに時間を 無駄にしている暇はありません どこに違いがあるのか なぜ争ってしまうのか見つけなさい 違いはあるべきで 問題ではありません 結局あなたは別々の人間 だからです

違って当然です　しかし違いが　問題を起こしてはいけません　逆にその違いを楽しみなさい　献身的な妻や夫でなければ人生を楽しめません　いつも心配で不安でしょう　では皆さん　ありがとうございます　このような偉大な吉日に　皆が集まりました　そしてみんな幸せそうです　ありがとうございました